教科書を作ろう

中等教育向け 初級日本語素材集

（改訂版）

れんしゅう編 1

国際交流基金
The Japan Foundation

はじめに

国際交流基金日本語国際センターでは、海外における日本語教育への支援の一つとして教材開発支援を行っています。その一環として、海外で日本語を勉強する中等教育段階の学習者向け教材を作成するときの参考となるように、1999年3月に『教科書を作ろう』を、2001年5月に『続 教科書を作ろう』を刊行しました。その後、多くの先生方にご使用いただきました。そして、ご使用いただいた先生方からの多くのご意見を受け、今回、『教科書を作ろう（改訂版）』の刊行に至りました。

わたしたちは『教科書を作ろう』を作るにあたって、世界中のさまざまな環境で日本語を教えている先生方が、今までの経験から得たアイディアをどんどん加えて、学習者に合った教材を作成するために利用していただきたいと考えていました。そして、教材を作るための素材集として『教科書を作ろう』を制作しました。その考えは、改訂にあたっても変わっていません。

中等教育段階での日本語教育は、国・地域によって、その目的、学習時間、学習環境がさまざまです。みなさんの国の学習者に合った教科書や教材を作るには、翻訳が必要なところ、もっと詳しい説明が必要なところ、学習者が親しみ易いように語彙を替えた方がいいところなどがあるでしょう。『教科書を作ろう』を利用するみなさんとわたしたちの共同作業の結果として、生徒がページを開くのを楽しみにするような教科書や教材が多くの国で開発されることを期待しています。

今回、大きく改訂した点は、『教科書を作ろう』『続 教科書を作ろう』の「せつめい編」をまとめて1冊にし、より使いやすくしたことです。「れんしゅう編」は今までと同様、２冊に分かれています。『教科書を作ろう』「れんしゅう編」を「れんしゅう編１」に、『続 教科書を作ろう』「れんしゅう編」を「れんしゅう編２」に改めました。また、「せつめい編」「れんしゅう編」とも使用漢字や学習項目の級別表示などを、平成14（2002）年度からの「日本語能力試験出題基準」の一部改訂に合わせてあります。

わたしたちは、今後も、みなさんが『教科書を作ろう（改訂版）』を利用して教材を作っていく過程で感じた疑問や問題は何か、また、どのような教材を作り、どのように利用したかなどを教えていただきたいと考えています。みなさんからの報告をお待ちしています。

最後になりましたが、最初の『教科書を作ろう』の制作から、今回の改訂版に至るまで監修をひきうけていただきました聖心女子大学の佐久間勝彦教授には、さまざまな助言や励ましのことばをいただきました。ここに心からお礼申し上げます。

2002年春

執筆者一同

目　　次

はじめに……iii

『教科書を作ろう』について……viii
「れんしゅう編１」について……xii

れんしゅう

1　わたし

1-1　聞いてください……2
1-2　数字……4
1-3　すきな数字……6
1-4　1時ですか……8
1-5　すきなものクイズ……10
1-6　自己紹介……12
1-7　何時に起きますか……16

2　教室

2-1　教室にあるもの……18
2-2　ペンがありますか……20
2-3　上・下・となり……22
2-4　わたしのとなり……24
2-5　それは何ですか……26
2-6　だれのですか……28
2-7　どこにありますか……30
2-8　本は机の上にありますか……32
2-9　机の上にかばんがあります……34
2-10　わたしの学校……36
2-11　行く・来る・帰る……40

3　外出

3-1　いくらですか……42
3-2　何本・いくつ……44
3-3　ハンバーガーを食べます……48
3-4　ハンバーガーの店……50
3-5　形容詞のビンゴ……52
3-6　どんなかばんですか……54
3-7　新しいですか……56
3-8　どんな店ですか……58
3-9　今、何がほしいですか……60

4　生活

4-1　何番ですか……62
4-2　わたしの一日……66
4-3　7時間ぐらい寝ます……68
4-4　いつも・ときどき・あまり……70
4-5　どこで・どこに……72
4-6　田中さんの一日……74
4-7　いとうさんの一週間……76
4-8　わたしの家族……78
4-9　クロスワードパズル……80

5　休みの日

5-1　何月何日ですか……84
5-2　テレビを見ましたか……86
5-3　楽しかったですか……88
5-4　おいしかったですよ……90
5-5　休みのこと……92
5-6　手紙……94
5-7　映画を見に行きませんか……96
5-8　さそいましょう……98
5-9　ポスター……100

6　授業

6-1　「て形」のビンゴ……102
6-2　わたしは先生です……104
6-3　おねがいします……108
6-4　名前を書いてください……110
6-5　どこですか……112
6-6　科目の名前……114
6-7　時間割……116

7　旅行

7-1　言えたらあげる……118
7-2　めずらしい経験……120
7-3　旅行の思い出……122
7-4　旅行に行きましょう……124
7-5　どこで・どこを・どこから……126
7-6　うちから学校まで……128
7-7　駅はどこですか……132
7-8　どのコースがいいですか……136

8　高校生

8-1　辞書形の練習……138
8-2　趣味は何ですか……140
8-3　友だちと何をしますか……142
8-4　友だちはどの人ですか……144
8-5　アルバイト……148
8-6　もしもし……152
8-7　日本の学校制度……156

9　健康

9-1　「ない形」クイズ……160
9-2　ペンを使わないでください……162
9-3　目・鼻・口……164
9-4　宇宙人……166
9-5　お大事に……168
9-6　スポーツテスト……170
9-7　健康チェック……172
9-8　料理を作りましょう……174

10　友だち

10-1　赤くて丸いものは？……176
10-2　この人はだれですか……178
10-3　どっちが先……180
10-4　日曜日の計画……182
10-5　手紙をください……184
10-6　わたしの友だち……188
10-7　どうやってしますか……190
10-8　わたしの将来……192

11　昔と今

11-1　どんな順番？……196
11-2　何ですか……200
11-3　インタビュー……202
11-4　どう思いますか……206
11-5　昔のまち・今のまち・将来のまち……208
11-6　どうなると思いますか……212
11-7　わたしの国の一年……216

12　日本

12-1　あしたいいことがあるでしょう……220
12-2　それはいつですか……222

12-3　何と言いますか……224
12-4　便利なマーク……226
12-5　日本の行事……228
12-6　クイズ「日本」……232
12-7　有名な所……238
12-8　ごみの出し方・集め方……242
12-9　有名人……246
12-10 かさじぞう……252

巻末

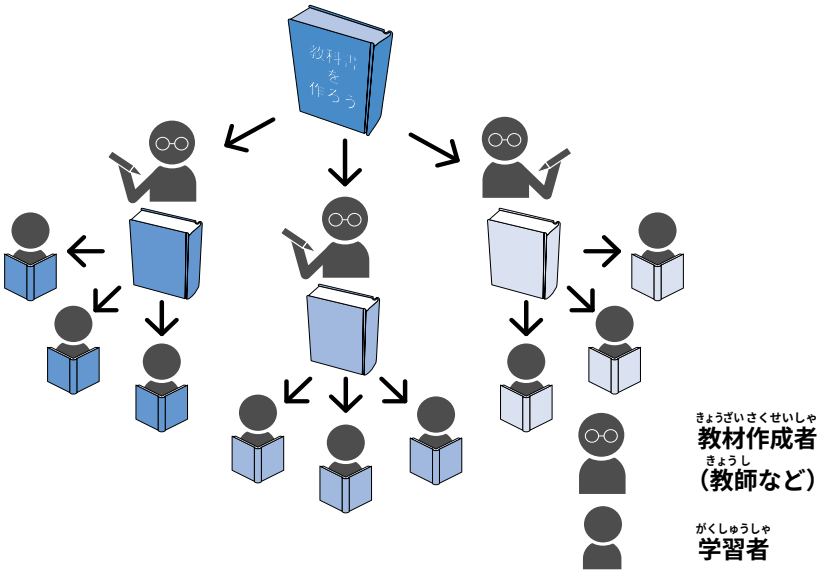
1.教室で使う表現……261
2.練習一覧……262
3.ブロック別練習の順序例……266
4. 談話単位の機能……270
5. ＜談話の技術＞一覧……271
6. ＜モデルテキスト＞と＜タスクシート＞の漢字一覧……272
7. 語彙索引
（1）五十音順語彙索引……273
（2）表現索引……282
8.「せつめい編１」との対応表……283
9. 参考文献……286

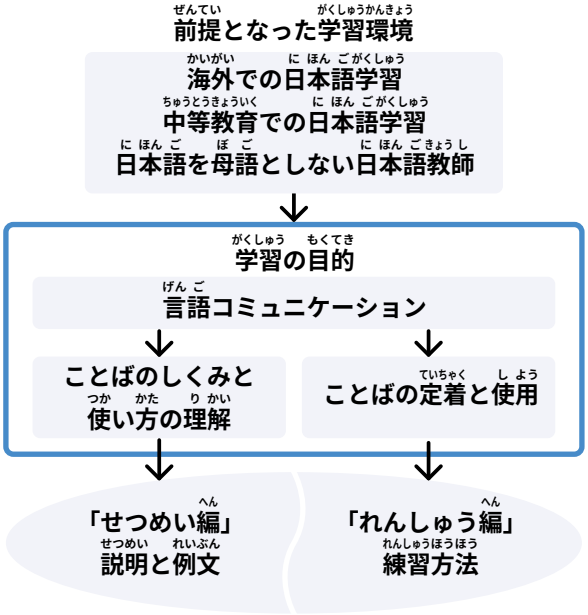
『教科書を作ろう』について

『教科書を作ろう』は、教科書や教材を作るための素材集で、このような素材集の制作は、新しい試みです。これを手にとったみなさんにこの『教科書を作ろう』を有効に活用していただくために「教科書・教材作成用の素材集とは何なのか」「どのように使うことができるのか」を説明しましょう。

1.『教科書を作ろう』とは

『教科書を作ろう』は、教材作成者が海外で日本語を勉強する中等教育段階の学習者用の教科書・教材を作るときに参考となるように日本語の説明、例文、練習をまとめたものです。学習者用の教科書・教材にするには、教材作成者が、その目的、カリキュラム、教師および学習者の状況などに応じて加工することが必要です。





『教科書を作ろう』には、「せつめい編」と「れんしゅう編」があります。２編の制作にあたっては、日本語を勉強する学習者の学習環境と学習目的を左の図のように考えました。「せつめい編」には、ことばのしくみと使い方の理解のための説明と例文をまとめました。「れんしゅう編」には、ことばの定着と使用を目的とした練習方法をまとめました。

また、執筆にあたっては、以下のことに配慮しました。

- 海外の学習者間での日本語によるコミュニケーションを意識する
- 外国人の教材作成者や教材使用者を意識する
- 日本語について知ることと日本語を使うことの両方に対応できるようにする
- 段階的な学習を示す
- 図やイラストなどの視覚的な素材の活用の可能性を示す

＜『教科書を作ろう（改訂版）』の概要＞

対象とした使用者	日本語教材作成者、中等教育段階（中学・高校）の日本語教師
対象とした学習者	中等教育段階の学習者
学習段階	初級（日本語能力試験３級相当）
内訳	「せつめい編」 せつめい編１：日本語能力試験４級及び３級の一部の文法・文型 84 項目の説明と例文 せつめい編２：日本語能力試験３級相当の文法・文型 48 項目の説明と例文 「れんしゅう編」 れんしゅう編１：「せつめい編１」に対応する 100 の練習（音声テープ付き） れんしゅう編２：「せつめい編２」に対応する 61 の練習（音声テープ付き）

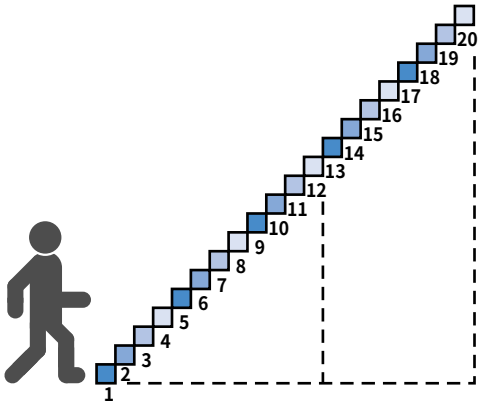
2. 教材構成のモデルとしての『教科書を作ろう』

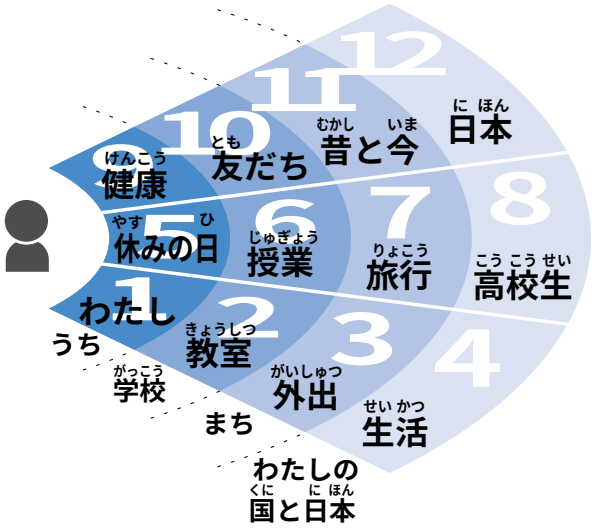
『教科書を作ろう』は、素材集を提供すると同時に教材構成のモデルを示すことを目的としています。私たちは、教科書・教材を作るときには段階的な学習、学習の目標設定、また、学習者の達成感を考慮することが大切だと考えています。『教科書を作ろう』は、この考え方を具体的に示す教材モデルの一つとして、以下のような構成をとりました。この構成は、「せつめい編」「れんしゅう編」に共通しています。

（1）ブロックについて

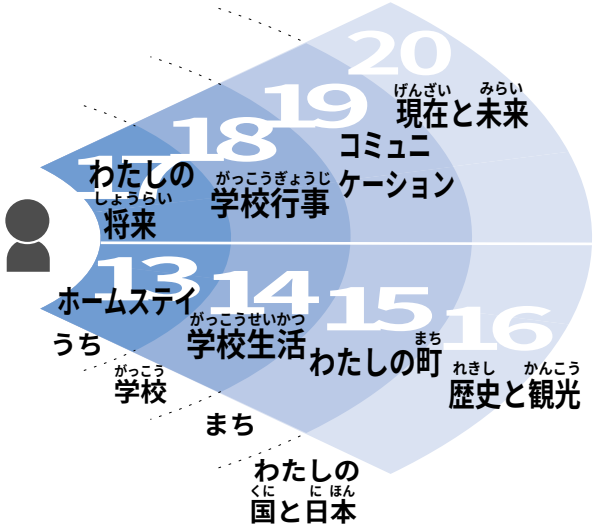
ブロックは、学習内容のまとまりで、全体で、20 ブロックあります。

そして、ブロック番号は「1→2→3→…→20」と学習を積み上げていく順番と段階を示しています。「せつめい編 1」「れんしゅう編 1」は 1～12 ブロック、「せつめい編 2」「れんしゅう編 2」は 13～20 ブロックで構成されています。





「せつめい編 1」「れんしゅう編 1」



「せつめい編 2」「れんしゅう編 2」

(2)「話題」について

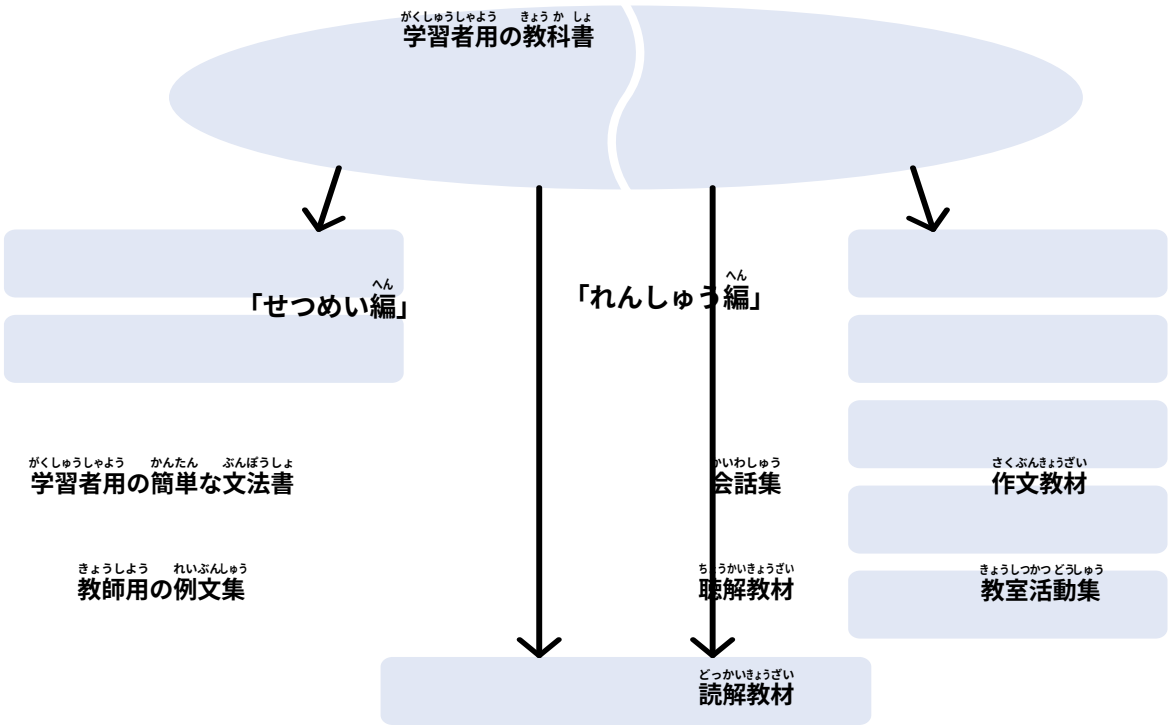
海外の学習者の生活を考えた、学習者に身近な「話題」が各ブロックに当てはめられています。「話題」は、「うち→学校→まち→私の国と日本」という学習者に身近なものから少しずつ遠くへ向かう空間的な広がりにそって、各ブロックに当てはめられています。この「うち→学校→まち→私の国と日本」は、1～12ブロックで3回、13～20ブロックで2回、全部で5回繰り返されています。また、四つのブロックごとに一まとまりとなり、全部で五つの学習段階を示しています。

(3) 学習項目の配列

「せつめい編」の132項目は、その難易度と、「話題」に関連した言語活動に配慮して、20のブロックに分けられています。

3. 『教科書を作ろう』の利用について

『教科書を作ろう』からは、学習者用の教科書以外にもいろいろな教材を作ることができます。『教科書を作ろう』を使ってできる教材例を紹介しましょう。また、そのほかにも日本語教師研修用教材の作成にも利用できます。



ほかに、日本語教師研修用教材の作成にも利用できます。さまざまな教材開発に利用してください。

最後に、みなさんが『教科書を作ろう』を使って教科書、教材を作成する場合、著作権の許諾を国際交流基金日本語国際センターから得る必要はありませんが、作成した場合は、以下のことをお願いします。

① 完成したものを3部、国際交流基金日本語国際センター制作事業課まで送ってください。

国際交流基金日本語国際センター制作事業課
住所：〒336-0002　埼玉県さいたま市北浦和5-6-36
電話：048-834-1183
FAX：048-831-7846
ホームページ：http://www.jpf.go.jp/j/urawa/index.html

② 完成したものには、この『教科書を作ろう』を使ったことを書いてください。
例1）この本は、国際交流基金日本語国際センターが作った『教科書を作ろう』を一部翻訳して作りました。
例2）この本は、国際交流基金日本語国際センターが作った『教科書を作ろう』から一部を転載して作りました。

「れんしゅう編1」について

1.「れんしゅう編」とは

「れんしゅう編」は、学習者が日本語でコミュニケーションができるようになることを目標としています。「れんしゅう編」には、以下のような特徴があります。

目標はコミュニケーション

ことばは、自分を表現したり相手を理解したりするコミュニケーションのために使われます。ですから、学習の初歩の段階から四技能を使ってできるだけ日本語でコミュニケーションの体験ができることがよいと考えました。

学習者同士のコミュニケーション

海外での日本語の学習を考えて、学習者の日本語を使ったコミュニケーションの相手としては、いっしょに勉強しているクラスの人を想定しました。そして、学習者がこの練習を通して少しずつクラスの人や自分の新しい側面を発見したりすることができるように工夫しました。知識も経験も共有している学習者同士なら、ことばがまだ少ないときでもよく理解し合えるはずですし、なじみのない場面を設定して行う練習よりも、自分自身の気持ちや体験を表現する練習の方が、ことばの練習にはよいと考えたからです。

練習の種類の多様性

練習には、単語や文型などの定着を目指すものから、実際にコミュニケーションを体験するものまでのいろいろな段階の練習があります。実際にことばが使えるようになるためには基本的な定着練習が必要ですが、その練習ができるだけ楽しくできるように、「れんしゅう編」ではゲームの要素を取り入れたり、多様な種類の練習を取り入れたりして工夫しました。そして、コミュニケーションを体験する練習では定着練習で学習したことが応用できるようになっています。各ブロック内の練習はこの練習の流れを考えて並べてあります。この流れは、巻末「3.ブロック別練習の順序例」でくわしく紹介しました。

日本のことを知る

海外の中等教育段階の学習者が日本語を学習しながら、日本人や日本について少しずつ知ることができるような読み物も練習に取り入れました。

「れんしゅう編」の練習は、『教科書を作ろう』のブロック構成にそって書かれています。教材作成者のみなさんが、別の構成や提出順で教材を作る場合は、それに合わせて練習を書きかえたり、新しい練習を加えたりしてお使いください。『教科書を作ろう（改訂版）』では、「れんしゅう編1」にブロック1から12までの練習が、「れんしゅう編2」にブロック13から20までの練習がおさめてあります。

2.「れんしゅう編 1」の見方

①左の大きい数字がブロックの番号。右の小さい数字がブロック内での練習の番号。

②練習の名前。

③付属テープがあることを示す。

④学習者が話したり聞いたりする内容を自由に考えて、その内容を伝え合う練習であることを示す。

⑤練習の種類。「語彙」「活用」「文型」「会話」「聴解」「読解」「作文」のいずれか。2つ以上の組み合わせもある。

⑥練習のとき使う技能を示す。
聞く　話す
読む　書く
2つ以上の技能を使う練習の場合、よく使う技能は青の白抜きで示す(例)。

⑦練習の内容の簡単な説明。何をするか、どんな場面か、どんな機能か、ゲーム的な練習の場合ルールを簡単に示す。

⑧練習のタイプを示す。
個人（1人）
ペア（2人）
グループ（4、5人）
クラス全体
矢印（→）は練習の中で形態が変わることを示す(例 →)。

⑨練習にかかる時間の目安を示す。●○○は約15分程度。●●●+は、1コマが45～50分の授業の場合、2コマ以上必要であることを示す。練習のしかたや学習者の人数などによって変わる。

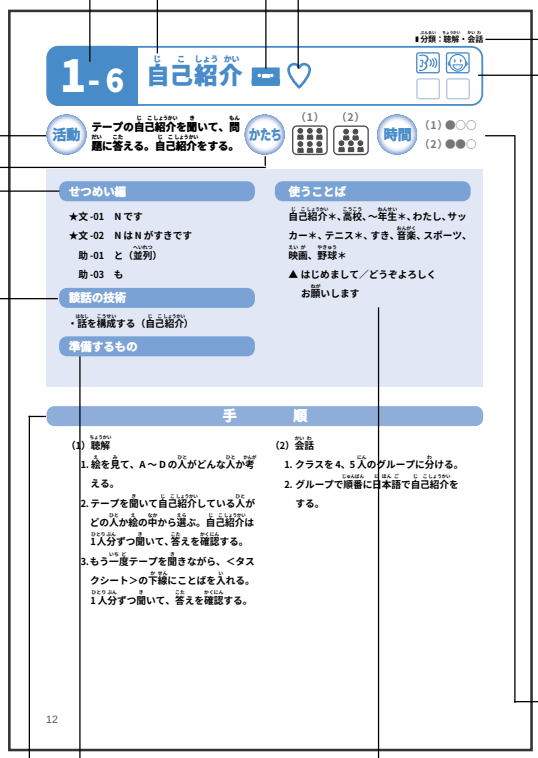
⑩練習に使われている「せつめい編」の項目。特に大切な項目や練習の目的になっている項目は、★で示す。

⑪ひとまとまりの内容を持った会話をしたり、文章を書いたりする時に使う、内容構成にかかわる技術とそれに使われる表現。

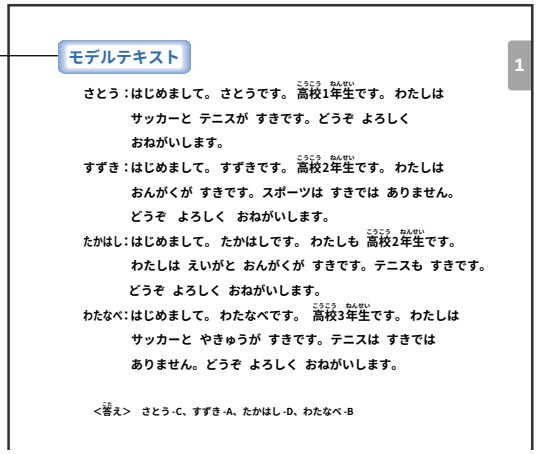
⑫練習に必要なもの。ただし以下のものは省略した。
・学習者がふつう持っているペンなどの文房具。
・黒板や机などたいてい教室にあるもの
・付属の絵やタスクシート

⑬＜モデルテキスト＞に使われていることばや練習のときに使うことば。それまでのブロックで未出のものを中心に取り上げた。『日本語能力試験出題基準』4級以外のものには＊がついている。▲はあいさつ表現や慣用表現。ことばも表現もそれ以前のブロックで使ったものには（　）がついている。

⑭練習のしかた。進め方。



⑮ 練習の会話例、作文例。付属テープのスクリプト、読み物など。



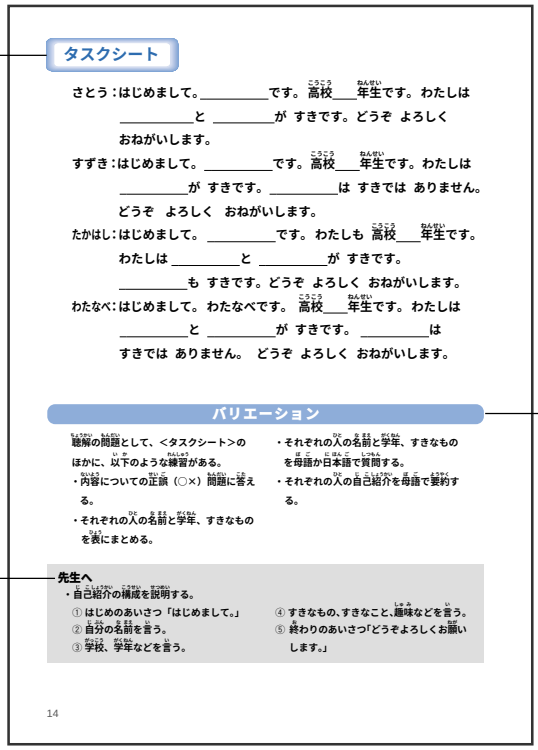
モデルテキスト

1

さとう：はじめまして。さとうです。高校1年生です。わたしは
サッカーと テニスが すきです。どうぞ よろしく
おねがいします。
すずき：はじめまして。すずきです。高校2年生です。わたしは
おんがくが すきです。スポーツは すきでは ありません。
どうぞ よろしく おねがいします。
たかはし：はじめまして。たかはしです。わたしも 高校2年生です。
わたしは えいがと おんがくが すきです。テニスも すきです。
どうぞ よろしく おねがいします。
わたなべ：はじめまして。わたなべです。高校3年生です。わたしは
サッカーと やきゅうが すきです。テニスは すきでは
ありません。どうぞ よろしく おねがいします。

＜答え＞ さとう -C、すずき -A、たかはし -D、わたなべ -B

⑯ 学習者が書き込んで使う用紙の例。



タスクシート

さとう：はじめまして。_____です。高校___年生です。わたしは
_____と _____が すきです。どうぞ よろしく
おねがいします。
すずき：はじめまして。_____です。高校___年生です。わたしは
_____が すきです。_____は すきでは ありません。
どうぞ よろしく おねがいします。
たかはし：はじめまして。_____です。わたしも 高校___年生です。
わたしは _____と _____が すきです。
_____も すきです。どうぞ よろしく おねがいします。
わたなべ：はじめまして。わたなべです。高校___年生です。わたしは
_____と _____が すきです。_____は
すきでは ありません。どうぞ よろしく おねがいします。

バリエーション

聴解の問題として、＜タスクシート＞のほかに、以下のような練習がある。
・内容についての正誤（○×）問題に答える。
・それぞれの人の名前と学年、すきなものを表にまとめる。
・それぞれの人の名前と学年、すきなものを母語か日本語で質問する。
・それぞれの人の自己紹介を母語で要約する。

先生へ
・自己紹介の構成を説明する。
① はじめのあいさつ「はじめまして。」
② 自分の名前を言う。
③ 学校、学年などを言う。
④ すきなもの、すきなこと、趣味などを言う。
⑤ 終わりのあいさつ「どうぞよろしくお願いします。」

14

⑰ 手順で示した以外の練習の方法。アイディア。

⑱ 練習をするときに教師が注意することや知っておくといいこと。モデルテキストについての情報など。

巻末に一覧や索引があるもの

①～⑩→巻末 1. 練習一覧

⑪→巻末 5. ＜談話の技術＞一覧

⑬→巻末 7. 語彙索引（1）五十音順語彙索引（2）表現索引

⑮、⑯で使った漢字→巻末 6. ＜モデルテキスト＞と＜タスクシート＞の漢字

＜モデルテキスト＞と＜タスクシート＞の表記について

・漢字の表記

漢字の使用を日本語能力試験4級の漢字（『日本語能力試験出題基準』のリストに掲載されている103字）とそれに20字を加えた123字に制限した。（巻末6）

・数字の表記

主に算用数字（1、2、3～）を使用した。ただし、人数（一人、二人）と一つ～十は漢数字にした。テキスト内の統一をとるために、人数（一人、二人）と一つ～十以外の数字も漢数字で表記した文章もある。

固有名詞について

日本人の人名については、「12-9有名人」以外は、以下の名前を使用した。ここで使った名字は現在、日本人に多い名字の上位6番目までである。

（名字）いとう、さとう、すずき、たかはし、田中、わたなべ

（男性の名前）たく、のりお、まさる　（女性の名前）さとこ、ゆかり、かおる

町、村、川、通りなどの固有名詞は、「あさひ、あおぞら、こだま、さくら、ひかり、ふじ、みどり、もみじ」を使用した。

3. 付属テープについて

「れんしゅう編」の中の24の練習の＜モデルテキスト＞を付属テープに入れました。テープ録音したものは、各練習または巻末「2. 練習一覧」を参照してください。テープの使い方は、主に聴解練習と練習の発話モデルとしての使用であり、＜手順＞に示しました。この素材集が対象としている、海外の中等教育段階の学習者に配慮して、日本で市販されているテープに比べてスピードを遅くしました。

れんしゅう編１

1-1 聞いてください

活動 指示を理解して、それに合ったジェスチャーをする。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

談話の技術

準備するもの

使うことば

～ページ

▲聞いてください／書いてください／読んでください／～ページを開けてください／言ってください／見てください

手　　順

1. 教師が＜モデルテキスト＞の指示のことばを言い、学習者はそれに合わせて絵のようなジェスチャーをする。はじめはゆっくり指示する。だんだん速くする。

モデルテキスト

a. 聞いて　ください。

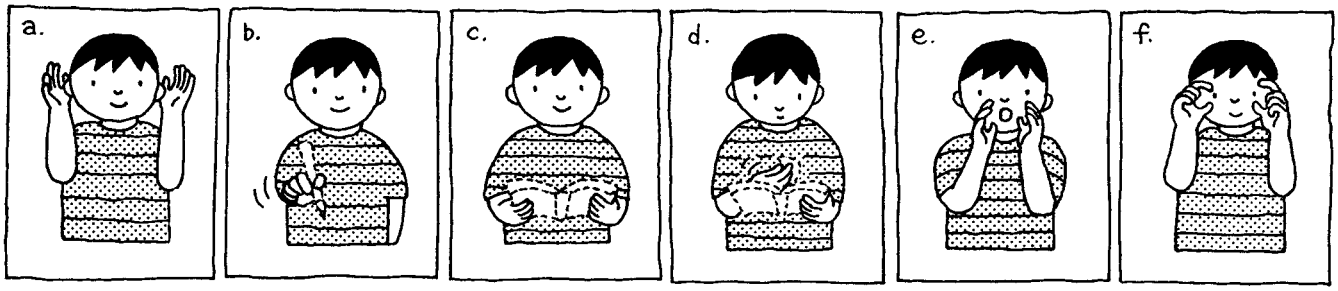
b. 書いて　ください。

c. 読んで　ください。

d. 5ページを　あけて　ください。

e. 言って　ください。

f. 見て　ください。



バリエーション

（1） 指示のことばを増やす。巻末「1.教室で使う表現」を参照。

先生へ

・ジェスチャーは、学習者にとってわかりやすく、速くできるものなら、ほかのものでもよい。
・バリエーションのように指示のことばを増やすと動きが大きくなり、気分転換にもなる。

1-2 数字

活動 歌やビンゴで数字やあいさつを覚える。

かたち

時間 (1) ●○○
(2) ●○○

せつめい編

★語 -01　時刻

談話の技術

準備するもの

使うことば

1～12、～時

▲ おはよう／さようなら／こんばんは／こんにちは／ありがとう／すみません／またあした

手　順

(1) 歌

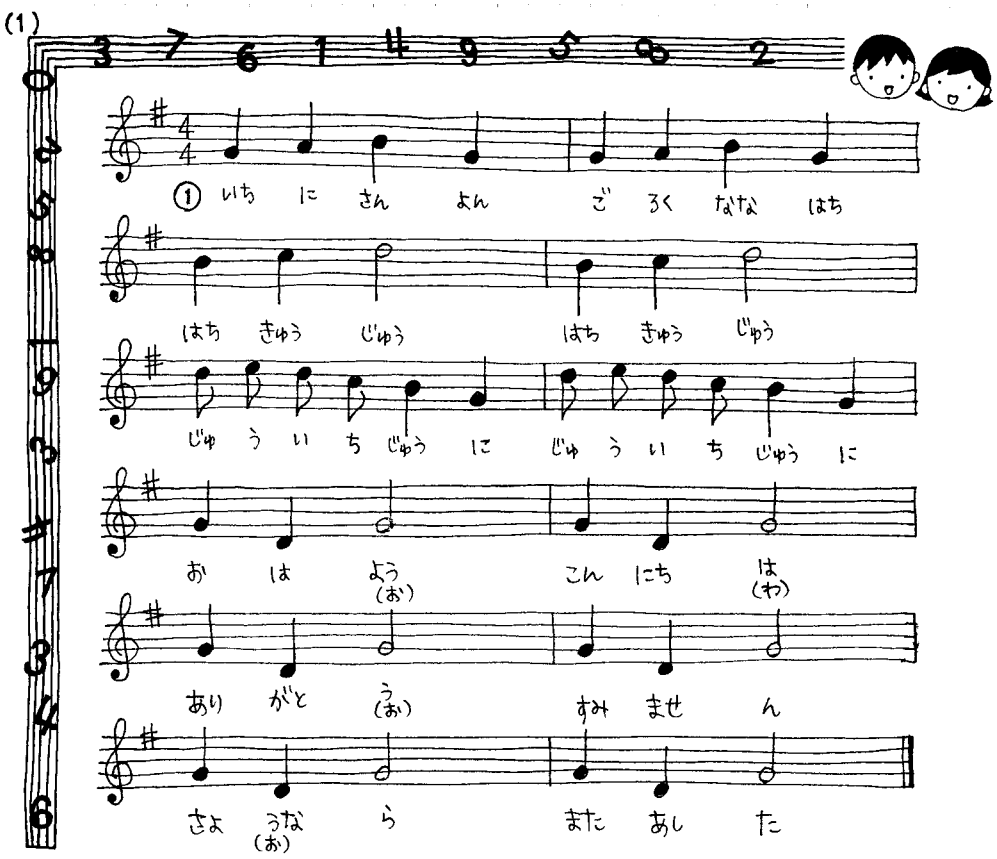
1. ＜モデルテキスト＞の歌で数字とあいさつを覚える。

(2) ビンゴ

ビンゴのます目の例

1. 学習者は、＜ビンゴのます目の例＞のようにたて3、横3の3×3のます目をノートにかく。
2. 学習者は1～12の中から9つの数字を選んで、すきなます目に1つずつ入れる。
3. 教師が数字を言い、学習者は聞いた数字が自分のます目の中にあったら、その数字に×をつける。
4. ×をつけたます目がたて、横、ななめのどれか1列に3つ並んだら、「ビンゴ！」と言う。
5. 「ビンゴ」と言った学習者は、並んだ数字を言う。

モデルテキスト



② （はじめの３行は１番と同じ）

4時です、 さようなら

7時です、 おはよう

9時です、 こんばんは

バリエーション

(1)「ビンゴ！」の代わりに「できた！」など日本語のことばを言うようにする。

先生へ

(1) 歌

- **歌で練習するときは、拍や無声化についての注意が必要である。**
- **「おはよう」、「ありがとう」のていねいな言い方は、「おはようございます」、「ありがとうございます」になる。**

(2) ビンゴ

- **＜手順＞（2）のようなゲームを「ビンゴ」と言う。ビンゴは数字のほかの単語や文型の練習にも使える。「れんしゅう編」の中には「3-5 形容詞のビンゴ」、「6-1『て形』のビンゴ」がある。**

1-3 すきな数字

活動 すきな数字を言う。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文 -02　N がすきです

助 -01　と（並列）

談話の技術

準備するもの

使うことば

～さん、1～12、すき

手　順

1. クラスを 4、5 人のグループに分ける。
2. 1人ずつすきな数字（1～12）を1つ言う。数字だけを日本語で言う。
3. グループの人が言った数字を聞いて、＜モデルテキスト＞（1）のようにノートに書く。
4. グループの中でおたがいにノートを見て、間違いを直す。
5. グループの中の 1 人がみんなの前で＜モデルテキスト＞（2）のようにまとめて発表する。
6. 聞いている人は、発表したグループが言ったすきな数字とその人数をメモする。
7. 教師と学習者は聞き取った内容を確認する。

モデルテキスト

（1）ノート

Aさんは 1が すきです。

Bさんは 1が すきです。

Cさんは 5が すきです。

Dさんは 11が すきです。

わたしは 8が すきです。

（2）発表

Aさんと Bさんは 1が すきです。 Cさんは 5が すきです。

Dさんは 11が すきです。 わたしは 8が すきです。

バリエーション

（1）数字ごとにすきな人の人数を合計し順位を調べる。

先生へ

- 自分以外の名前を言うとき、名前の後に「さん」をつける。
- 男子生徒の名前に「くん」をつける場合もある。
- 先生の名前には「先生」をつける。
- 「～さん、～くん」は名字にも名前にもつけられる。
  例）「さとうゆかりさん」の場合、「さとうさん」とも「ゆかりさん」とも呼べる。
- 数字ではなく「食べ物」「スポーツ」など生徒に身近なもので練習してもよい。

1-4 1時ですか

活動 相手の考えた時刻を当てる。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文-01　N です

助-04　か（疑問）

★語-01　時刻

使うことば

1～12、～時、半、はい、いいえ

談話の技術

準備するもの

手　順

1. 教師は学習者に、朝うちを出る時刻をノートに書くように指示する。
2. 学習者はペア（A、B）になる。
3. ＜モデルテキスト＞のように相手が書いた時刻を当てる。
4. A が当てたら、B は自分のノートを A に見せる。
5. 役割を交替する。

モデルテキスト

A：6時ですか。

B：いいえ、6時では ありません。

A：7時ですか。

B：いいえ、7時では ありません。

A：7時半ですか。

B：はい、7時半です。

バリエーション

（1）当てる時刻を、夕方うちに着く時刻、晩ごはんを食べる時刻などに変えて練習する。

（2）質問の数が少ない方が勝ちというゲームにする。

1-5 すきなものクイズ♡

活動 すきなものを言う。

かたち →

時間 ●●●

せつめい編

★文-01　N です

★文-02　N がすきです

助-01　と（並列）

助-04　か（疑問）

談話の技術

・会話を始める（～さん）

準備するもの

使うことば

～さん、1～12、～番、何、だれ、すき、はい、いいえ、そう、違う

▲ ありがとうございました

手　順

1. 黒板に母語で次のように書く。

① 色
② 食べ物
③ 数字

2. 学習者は色、食べ物、数字の中で自分のすきなものを考える。

3. 4、5 人のグループになり、おたがいに＜モデルテキスト＞(1) のようにインタビューする。数字以外のすきなものは母語で言う。

4. グループの中でインタビューが終わったら、グループの代表者は、クラス全体に＜モデルテキスト＞(2) のように質問する。
ほかのグループの人はだれのことか当てる。

モデルテキスト

（1）インタビュー

A：Bさん、 1ばんは 何ですか。

B：1ばんは みどりです。

A：2ばんは 何ですか。

B：2ばんは ドーナッツです。

A：3ばんは 何ですか。

B：3ばんは 6です。

A：ありがとうございました。

（2）質問と答え

A：みどりと ドーナッツと 6が すきです。 だれですか。

D：Cさんですか。

A：いいえ、 Cさんでは ありません。

D：Bさんですか。

A：はい、 Bさんです。

（下線部は母語）

バリエーション

（1）インタビューの会話を下のようにする。

A：Bさんはどんな色がすきですか。

B：わたしはみどりがすきです。

A：どんな食べ物がすきですか。

B：ドーナッツがすきです。

（2回目以降は主語を言わない。）

先生へ

- 母語を使わないで練習をしたいときは、黒板にいくつかのことばを日本語で書き、そこからすきなものを選んで答える方法がある。
  例） 色：赤、白、黒、緑、青、黄色（ひらがなにして、母語の訳をつける）
- 質問の項目は自由に入れかえてもよい。たとえば、「趣味」を入れる。
- （2）のAの答えの言い方は「はい、そうです。」、「いいえ、ちがいます。」を使ってもよい。

1-6 自己紹介

活動 テープの自己紹介を聞いて、問題に答える。自己紹介をする。

かたち (1) (2)

時間 (1) ●○○ (2) ●●○

せつめい編

★文 -01　N です

★文 -02　N がすきです

助 -01　と（並列）

助 -03　も

談話の技術

・話を構成する（自己紹介）

準備するもの

使うことば

自己紹介＊、高校、～年生＊、わたし、サッカー＊、テニス＊、すき、音楽、スポーツ、映画、野球＊

▲ はじめまして／どうぞよろしくお願いします

手　順

(1) 聴解

1. 絵を見て、A～D の人がどんな人か考える。
2. テープを聞いて自己紹介している人がどの人か絵の中から選ぶ。自己紹介は1人分ずつ聞いて、答えを確認する。
3. もう一度テープを聞きながら、＜タスクシート＞の下線にことばを入れる。1 人分ずつ聞いて、答えを確認する。

(2) 会話

1. クラスを 4、5 人のグループに分ける。
2. グループで順番に日本語で自己紹介をする。

モデルテキスト

さとう：はじめまして。 さとうです。 高校(こうこう)1年生(ねんせい)です。 わたしは
サッカーと テニスが すきです。どうぞ よろしく
おねがいします。

すずき：はじめまして。 すずきです。 高校(こうこう)2年生(ねんせい)です。 わたしは
おんがくが すきです。スポーツは すきでは ありません。
どうぞ よろしく おねがいします。

たかはし：はじめまして。 たかはしです。 わたしも 高校(こうこう)2年生(ねんせい)です。
わたしは えいがと おんがくが すきです。テニスも すきです。
どうぞ よろしく おねがいします。

わたなべ：はじめまして。 わたなべです。 高校(こうこう)3年生(ねんせい)です。 わたしは
サッカーと やきゅうが すきです。テニスは すきでは
ありません。どうぞ よろしく おねがいします。

＜答(こた)え＞ さとう -C、すずき -A、たかはし -D、わたなべ -B

タスクシート

さとう：はじめまして。＿＿＿＿＿＿です。高校＿＿年生です。わたしは
＿＿＿＿＿＿と ＿＿＿＿＿が すきです。どうぞ よろしく
おねがいします。

すずき：はじめまして。＿＿＿＿＿＿です。高校＿＿年生です。わたしは
＿＿＿＿＿＿が すきです。＿＿＿＿＿＿は すきでは ありません。
どうぞ よろしく おねがいします。

たかはし：はじめまして。＿＿＿＿＿＿です。わたしも 高校＿＿年生です。
わたしは ＿＿＿＿＿＿と ＿＿＿＿＿＿が すきです。
＿＿＿＿＿＿も すきです。どうぞ よろしく おねがいします。

わたなべ：はじめまして。わたなべです。 高校＿＿年生です。わたしは
＿＿＿＿＿＿と ＿＿＿＿＿＿が すきです。 ＿＿＿＿＿＿は
すきでは ありません。 どうぞ よろしく おねがいします。

バリエーション

聴解の問題として、＜タスクシート＞のほかに、以下のような練習がある。

(1) 内容についての正誤（○×）問題に答える。

(2) それぞれの人の名前と学年、すきなものを表にまとめる。

(3) それぞれの人の名前と学年、すきなものを母語か日本語で質問する。

(4) それぞれの人の自己紹介を母語で要約する。

・自己紹介の構成を説明する。

① はじめのあいさつ「はじめまして。」

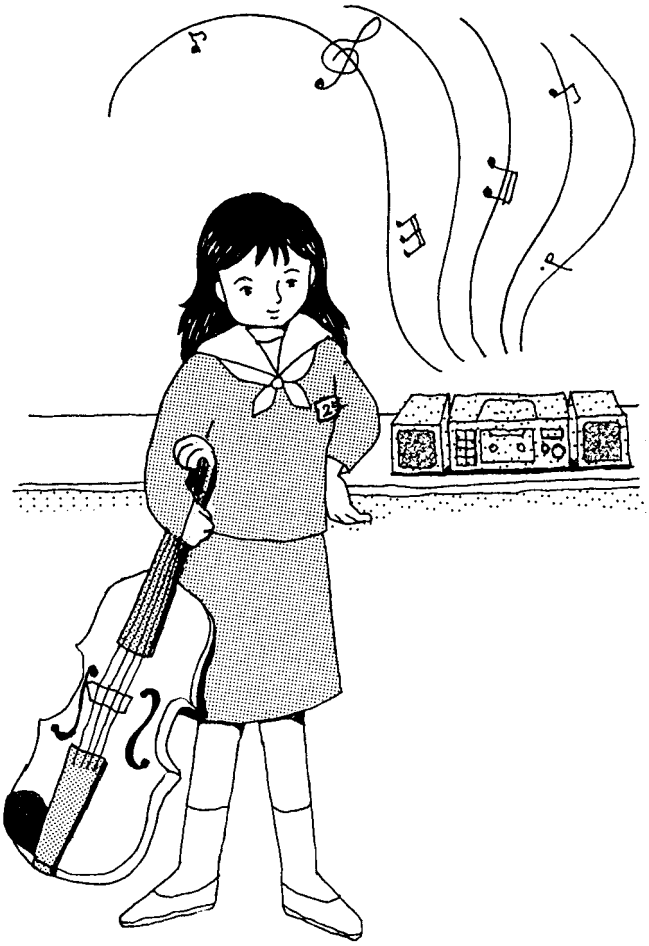
② 自分の名前を言う。

③ 学校、学年などを言う。

④ すきなもの、すきなこと、趣味などを言う。

⑤ 終わりのあいさつ「どうぞよろしくお願いします。」

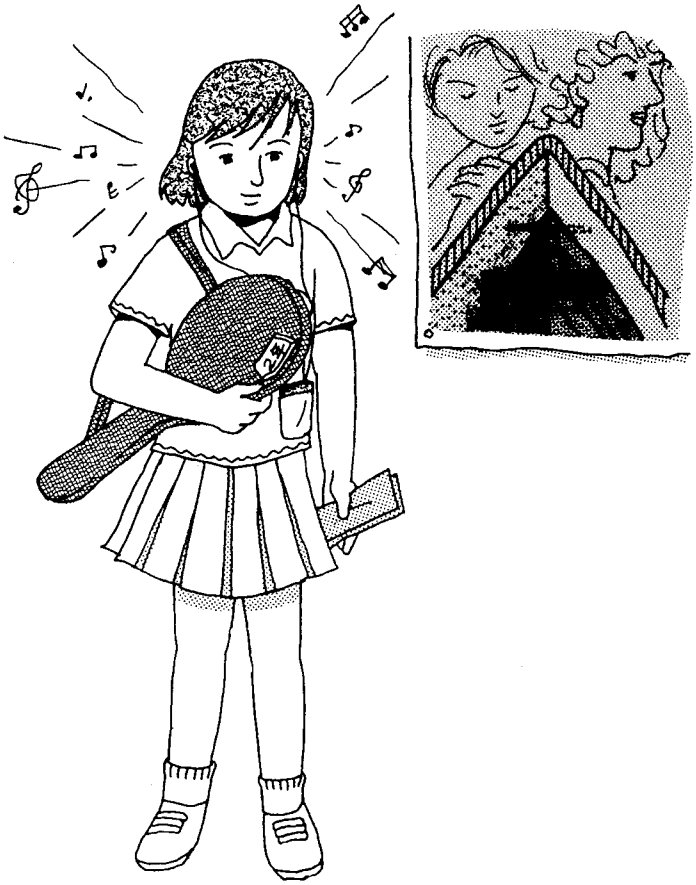
A



B

C

D



1-7 何時に起きますか

活動 起きる時刻と寝る時刻をたずねる／答える。

かたち (1) (2)

時間 (1) ●○○ (2) ●●○

せつめい編

★助-02 に（時）
助-04 か（疑問）
★語-01 時刻

使うことば

～さん、何、1～12、～時、半、起きる、寝る、午前、午後、えっ＊、じゃあ

談話の技術

- 相手の発話を聞いて話を進める（じゃあ）
- 確認する（～ですか）
- あいづちをうつ（そうですか）

準備するもの

手順

(1) 聴解

1. 学習者はテープを聞いて、起きる時刻と寝る時刻をメモする。
2. 教師は学習者とメモが正しいかどうか確認する。

(2) インタビュー

1. ペアを作って、おたがいに起きる時刻と寝る時刻を聞く。
2. 教師が2、3人に1の質問をする。質問された学習者は自分のことと、ペアの相手のことを答える。
3. 教師は「このクラスの中でいちばん早く起きる人はだれですか。」と母語で聞く。クラスの中で自分のペアの相手がいちばん早起きだと思う人は、「～さんです。○時に起きます。」と日本語で答える。そして、クラスでいちばん早起きの人を見つける。同じように、遅く起きる人、早く寝る人、遅く寝る人を探す。

モデルテキスト

(1) テープスクリプト

① 聞き手：田中さんは 何時に おきますか。
田中　：8時に おきます。
聞き手：何時に ねますか。
田中　：12時に ねます。

② 聞き手：いとうさんは 何時に おきますか。
いとう：4時に おきます。
聞き手：何時に ねますか。
いとう：9時半に ねます。

③ 聞き手：たかはしさんは 何時に ねますか。
たかはし：11時半に ねます。
聞き手：何時に おきますか。
たかはし：6時に おきます。

④ 聞き手：さとうさんは 何時に ねますか。
さとう：1時半に ねます。
聞き手：午前1時半ですか。
さとう：はい。
聞き手：何時に おきますか。
さとう：7時半に おきます。

⑤ 聞き手：すずきさんは 何時に おきますか。
すずき：午後4時に おきます。
聞き手：えっ、午後4時ですか。
すずき：はい、午後4時です。
聞き手：じゃあ、何時に ねますか。
すずき：午前9時に ねます。
聞き手：午前9時ですか。
すずき：はい。
聞き手：そうですか。

(2) インタビュー

A：Bさんは 何時に おきますか。
B：7時に おきます。
A：何時に ねますか。
B：11時に ねます。

バリエーション

(1)インタビューの結果をクラスで報告し、クラスの人の起きる時刻と寝る時刻のグラフを作る。

先生へ

・この練習を通して学習者同士がよく知り合うために、起きる時刻や寝る時刻が早い理由や遅い理由を母語で話すとよい。(家が近い、遠い、睡眠時間が長い、遅くまでテレビを見ている、など)

2-1 教室にあるもの

活動 見たものの名前を覚えて書く。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

談話の技術

準備するもの

ものの絵、または実物

使うことば

机、いす、カレンダー、時計、ボールペン、ノート、えんぴつ、本、辞書、テープ、テープレコーダー、かばん、テレビ、教室

手　　順

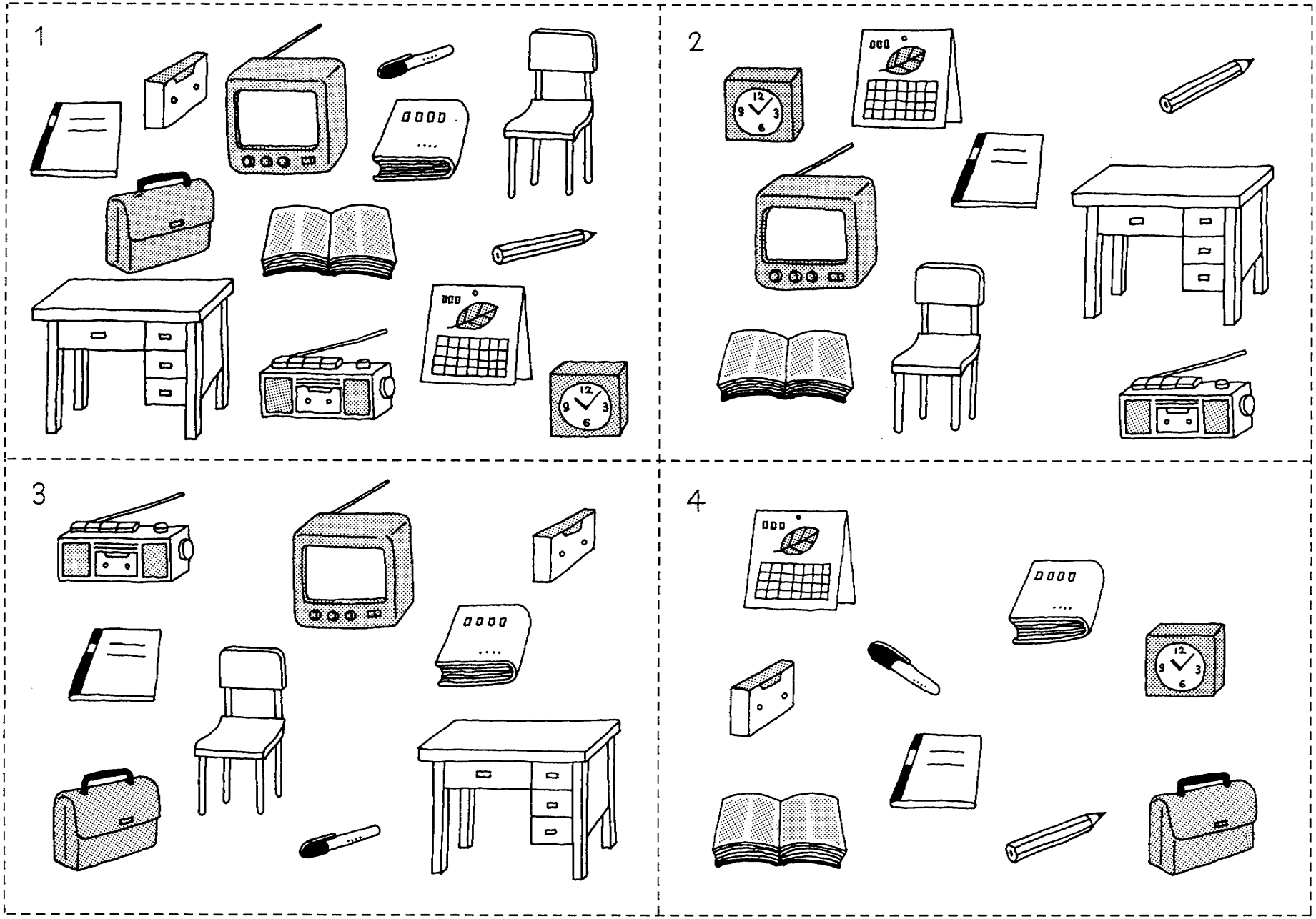
1. 絵（1）を見ながら、ものの名前を確認する。
2. 絵（2）～（4）の中の一つを使い、それを30秒見た後で、そこにあったものをできるだけ多く思い出して、名前を日本語で書く。

バリエーション

（1）個人またはチームで競争する。正しい単語の数が多い方が勝ち。

（2）ゲームにするときは、文字の正しさも採点の対象にする。

（3）最初にものの名前のリストを作って、絵を見た後であったものには○、なかったものには×をつけると、もっとやさしい練習になる。


1
2
3
4

2-2 ペンがありますか♡

活動 必要なものを借りる。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文-03　V ます

文-05　N に N があります／います

談話の技術

・会話を始める（すみません）
・応答する（はい、どうぞ）

準備するもの

使うことば

ペン、消しゴム＊、えんぴつ、ボールペン、ある、どうぞ

▲（すみません）

手　順

1. ペアになっておたがいの机の上が見えないように、間にノートやファイルを立てる。
2. ペン、消しゴム、えんぴつ、ボールペンの中から 3 つ机の上に出す。
3. Bは、Aからものを借りるためにAに「～がありますか。」と言う。
4. そのものがあったら、A は「はい、どうぞ。」と言いながらわたす。なかったら、「すみません。ありません。」と言う。
5. A、B の役割を交替する。

モデルテキスト

A：すみません、 ペンが ありますか。

B：はい、 どうぞ。

A：ありがとう。

A：すみません、 けしゴムが ありますか。

B：すみません。 ありません。

先生へ

- Aの「すみません」は呼びかけるときに相手の注意をひくために使われている。言われたものがないときのBの「すみません」は相手のほしいものがなくて申し訳ない気持ちを表している。
- 「～がありますか」は、ものを借りるときも、メモ用紙などのものをもらうときにも使える。
- 「～がありますか」は、「～ありますか」のように「が」が省略されることが多いので、「が」を省略して練習してもよい。

2-3 上・下・となり

活動 位置のことばを理解して、それに合ったジェスチャーをする。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

談話の技術

準備するもの

使うことば

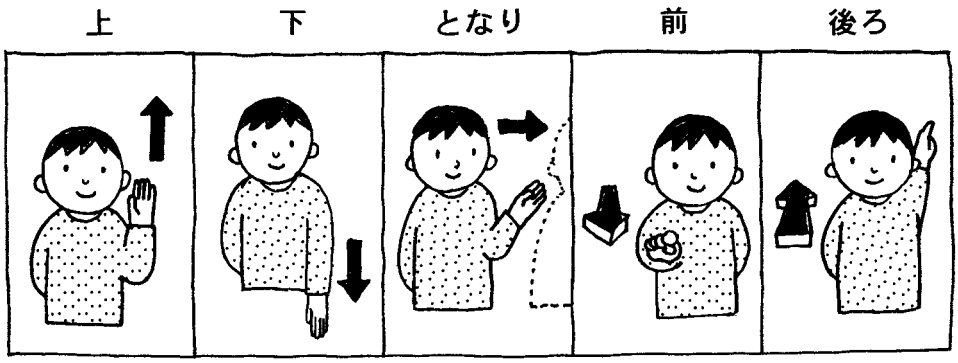
上、下、となり、前、後ろ

手　　順

1. 教師が位置のことばを言い、学習者は聞いたことばに合わせて絵のようなジェスチャーをする。

モデルテキスト

上、下、となり、前、後ろ



バリエーション

学習者が聞くことに慣れたら、次の方法でも練習できる。

（1）指示をする役を学習者がする。

（2）ペア、グループを作って、学習者の中で位置のことばを言う人と、ジェスチャーをする人を決めて行う。

先生へ

・テンポの軽い音楽のテープをかけながら行うと、授業の始めのウォーミングアップや気分転換になる。

2-4 わたしのとなり

活動 人の位置を説明する／説明を聞く。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

文-03　V ます

★文-05　N に N があります／います

助-05　の

助-07　に（場所）

談話の技術

準備するもの

使うことば

（わたし）、前、後ろ、となり、いる

手　　順

1. 絵（1）のようにノートに3×3のます目と黒板をかく。
2. 一番左の列の、まん中のます目に「わたし」と書く。残りの8つのます目に8人の人の名前を入れる。
3. 3×3のます目と黒板をもう一つノートにかく。2と同じ場所に「わたし」と書く。ほかのます目はあけておく。
4. ペアになって、1人が2で書いたます目を見ながら、どこにだれがいるか説明をする。そのとき、黒板に近います目を前、遠います目を後ろと考える。もう1人はその説明を聞きながら、3の何も書いていないます目に人の名前を入れる。
5. 1人の説明が終わったら、ノートを見せ合ってもう1人が書いたものが合っているかどうか確認する。
6. 役割を交替して4と5をくりかえす。

モデルテキスト

わたしの 前に マリさんが います。

わたしの 後ろに アンさんが います。

わたしの となりに ヨンさんが います。

マリさんの となりに ポールさんが います。

ヨンさんの 後ろに ハリーさんが います。

ハリーさんの となりに ミシェルさんが います。

ポールさんの となりに シリポーンさんが います。

バリエーション

(1) 質問と答えの形で練習する。
例) A：～（ペアの相手の名前）さんの前にだれがいますか。
B：マリさんがいます。

(2) 説明を書いて、書いたものを交換してます目を完成させると、書いたり読んだりする練習になる。

(3) 絵 (2) のようにます目を学校の建物に見立てて「上、下」を入れた練習にする。使うことばは「2-10　わたしの学校」を参照。

(1)

こくばん

マリ	ポール	シリポーン
わたし＊	ヨン	リン
アン	ハリー	ミシェル

(2)

3ねんせいの きょうしつ	りかしつ	としょかん
わたしたちの きょうしつ	2ねんBクラスの きょうしつ	おんがく しつ
1ねんAクラスの きょうしつ	1ねんBクラスの きょうしつ	じむしつ

2-5 それは何ですか

活動 図形についてたずねる／答える。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★語 -02　これ／それ／あれ

談話の技術

準備するもの

使うことば

それ、これ、何、テレビ

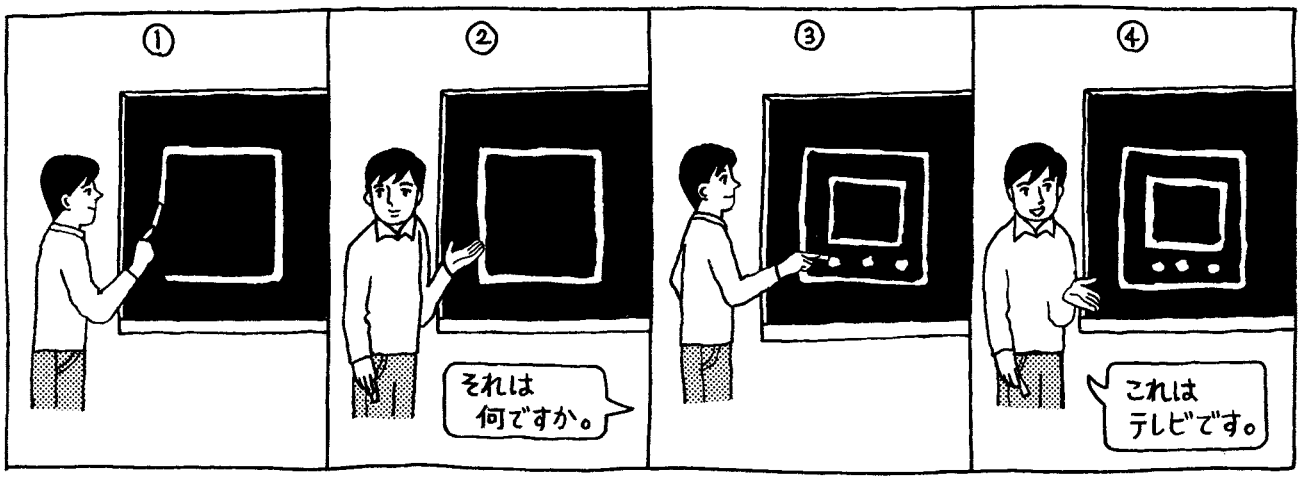
手　順

1. 教師は黒板に大きい四角をかく。
2. 学習者は、「それは何ですか」とたずねる。
3. 教師は、大きい四角の中にもう１つ四角を、また、下か横にスイッチをかく。そして、「これはテレビです。」と答える。
4. 学習者はペアになり、ノートに大きい四角をかいて、四角を使って表わせるものをいろいろイメージして、同じように会話をする。答えは、何でもよい。知っていることばは日本語で、知らないことばは母語で答える。
5. 同じように丸や三角をかいて、会話する。

モデルテキスト

A：それは 何ですか。

B：これは テレビです。



バリエーション

（1） Aが「それは～ですか。」とたずねると、Bは必ず「いいえ、違います。」と答えて、違うものの絵にする。

先生へ

- 答えが未習語のときは、母語を使ってもよい。
- 三角形の例としては、えんぴつの先、サンドイッチ、ヨットの帆、魚のしっぽ、屋根などがある。
- 四角いものの例は、黒板、ノート、机、本、テープレコーダー、テープなど。
- 丸いものの例は、時計、池など。

2-6 だれのですか

活動 文房具の持ち主を探す。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★助 -05　の

語 -03　この／その／あの

談話の技術

・応答する（はい）

準備するもの

使うことば

この、ペン、だれ、（わたし）、はい

▲（ありがとう）

手　順

1. 4、5人のグループになる。
2. グループでそれぞれの学習者が、ボールペンなどの文房具を2つずつ出して1か所に集める。その中からほかの人の文房具を2つ取る。
3. 最初の学習者Aを決める。その人は2つの文房具のうちの1つをグループの人に見せ、だれのかたずねる。
4. 文房具の持ち主Bが「わたしのです。」と答えたら、AはそれをBに返す。
5. Bは「ありがとう。」と言って自分の文房具をAから受け取る。
6. 今度はBが持っていた2つの文房具のうち、1つをグループの人に見せ、だれのかたずねる。
7. このようにして、自分の文房具を受け取った人が、次に質問して練習を続ける。

モデルテキスト

A：この　ペンは　だれのですか。

B：わたしのです。

A：（Bにわたしながら）はい。

B：ありがとう。

バリエーション

(1)「その」を使う練習。

＜バリエーションの手順＞

以下①～④は絵を参照。＜手順＞5までは、同じ。

6. Aは、Bに文房具をわたしたら（絵②）、Bが持っていたものを指さし、「じゃあ、その～はだれのですか。」とたずねる。Bは「わかりません。」と答える。（絵③）

7. Bはその文房具をグループの人に見せ「この～はだれのですか。」とたずねる。（絵④）

8. Cが「わたしのです。」と言ったら、Bは「はい。」と言ってわたす。Cは「ありがとう。」と言って、受け取る。

9. BはCが持っていたものを指さし「じゃあ、その～はだれのですか。」とたずねる。そして、このようにして続ける。

先生へ

- この練習の中の「はい」は、肯定の答えではなく、ものをわたすときに相手の注意をひくために言うことばである。わたす相手に向かって、わたしながら言うことが大事。

2-7 どこにありますか♡

活動 教室の中で、実際にものの位置をたずねる／答える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

文-03　V ます

★文-04　N は N にあります／います

助-05　の

助-07　に（場所）

談話の技術

準備するもの

使うことば

（わたし）、ボールペン、机、いす、かばん、テレビ、テープレコーダー、まど、ドア、消しゴム＊、えんぴつ、ペン、ふでばこ＊、先生、上、下、中、前、後ろ、どこ、ある、はい、どうぞ

▲ どうもありがとう

手　順

1. 教師は学習者Aからボールペンや消しゴムなどの文房具を１つ借りる。
2. 教師はAとは別の学習者BにAの文房具をわたす。
3. B以外は目を閉じる。Bは、教室の中のどこかにAの文房具を置く。
4. AはBに、Aの文房具を置いた場所をたずねる。
5. Bは答える。
6. 教師はA、B以外の学習者Cを指名する。CはAの文房具を見つけて、Aに返す。

モデルテキスト

A：わたしの　ボールペンは　どこに　ありますか。

B：先生の　つくえの　上に　あります。

C：（Aのボールペンをとって、Aにわたす。）はい、　どうぞ。

A：どうも　ありがとう。

バリエーション

（1）学習者が慣れたら、一度に5人ぐらいまでの学習者から文房具を借り、文房具の数と同じ数の学習者にBの役をさせることもできる。

（2）Aだけが目を閉じて、ほかの学習者はBが置くところを見ている。Aは、場所を教える学習者を指名する。

先生へ

・＜手順＞3でBが文房具を置いて席にもどるまで、ほかの人は目を閉じて、音が聞こえてもだまっているようにする。

・「前」「後ろ」も使えるが、「Xさんの前」「Xさんの後ろ」は、位置がはっきりしないことがあるのでしない方がよい。「テレビの前」「テレビの後ろ」などは可能である。

2-8 本は机の上にありますか

活動 教室の絵を見て、ものの位置をたずねる／答える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-03　V ます

★文-04　N は N にあります／います

助-05　の

助-07　に（場所）

談話の技術

準備するもの

教室の絵（1 人に 2 枚ずつ）

使うことば

まど、本棚、ごみばこ＊、黒板＊、机、いす、ドア、カレンダー、時計、ボールペン、ノート、えんぴつ、本、辞書、テープレコーダー、かばん、テレビ、（はい）、（いいえ）、ある、上、下、横

手　順

1. 教室の絵の中にかくものの名前と、位置を表すことばを復習する。
2. クラスで、えんぴつや時計など絵の中にかきこむものを決める。
3. 1人2枚ずつ教室の絵を配る。1枚の絵の中のすきな場所に 2 で決めたものをかきこむ。絵でも文字でもよい。
4. ペアになる。ペアの１人が＜モデルテキスト＞のようにそれぞれのものがある場所を相手に質問する。相手の答えを聞いて、何もかいていないほうの絵の中のその場所にかく。
5. 聞き終わったら、絵を見せ合って位置を確かめる。
6. 役割を交替する。

モデルテキスト

A：本(ほん)は つくえの 上(うえ)に ありますか。

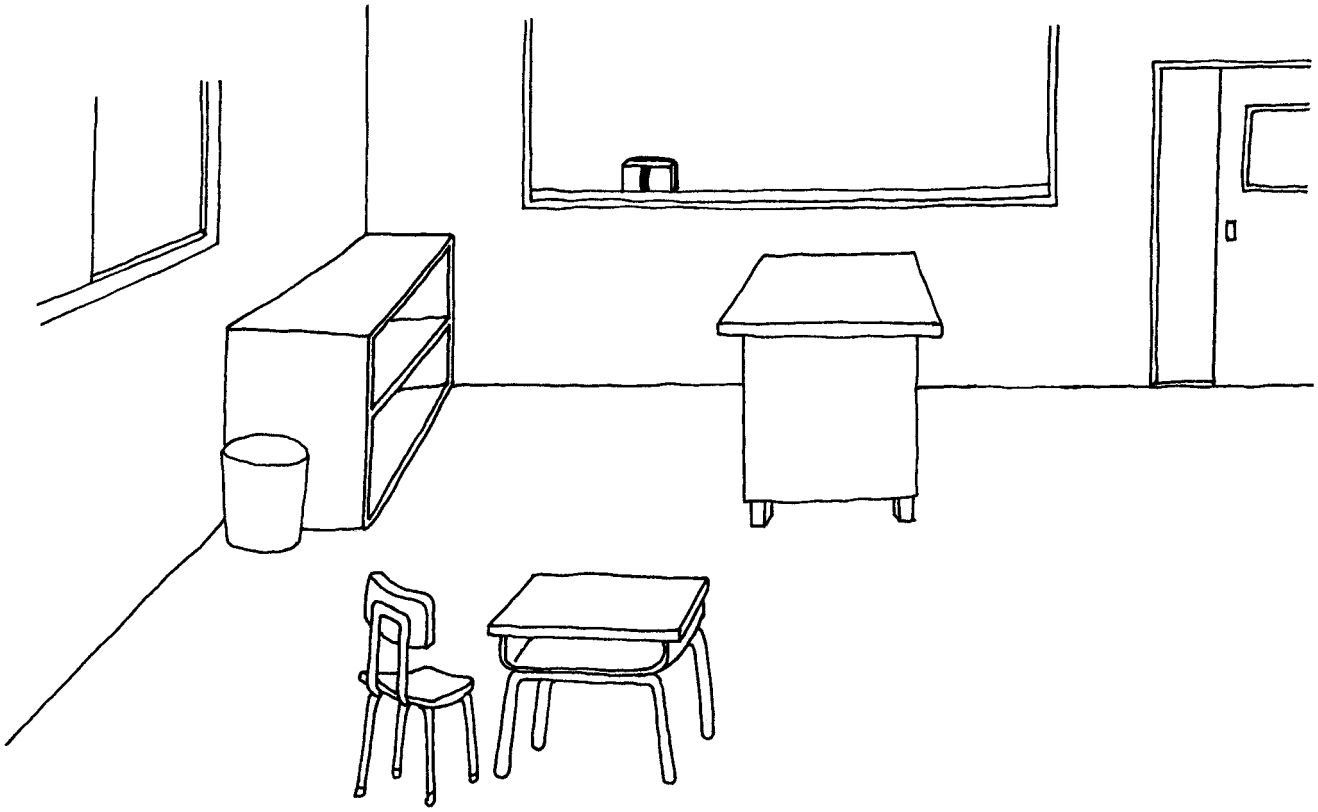
B：いいえ、 ありません。

A：本(ほん)は 本(ほん)だなの 上(うえ)に ありますか。

B：はい、 あります。

A：かばんは つくえの よこに ありますか。

B：はい、 あります。



バリエーション

(1) 早(はや)く正(ただ)しくできたペアが勝(か)ちとして

もよい。

2-9 机の上にかばんがあります

活動 説明を聞いて、説明に合った絵を選ぶ。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

文-03　V ます

★文-05　N に N があります／います

助-05　の

助-07　に（場所）

使うことば

上、横、下、机、いす、かばん、ノート、えんぴつ、ある

談話の技術

準備するもの

手　　順

1. テープを聞いて、聞いた順に絵に番号を書く。

モデルテキスト

（れい）いすの　よこに　かばんが　あります。

① いすの　上に　ノートが　あります。

② つくえの　上に　えんぴつが　あります。

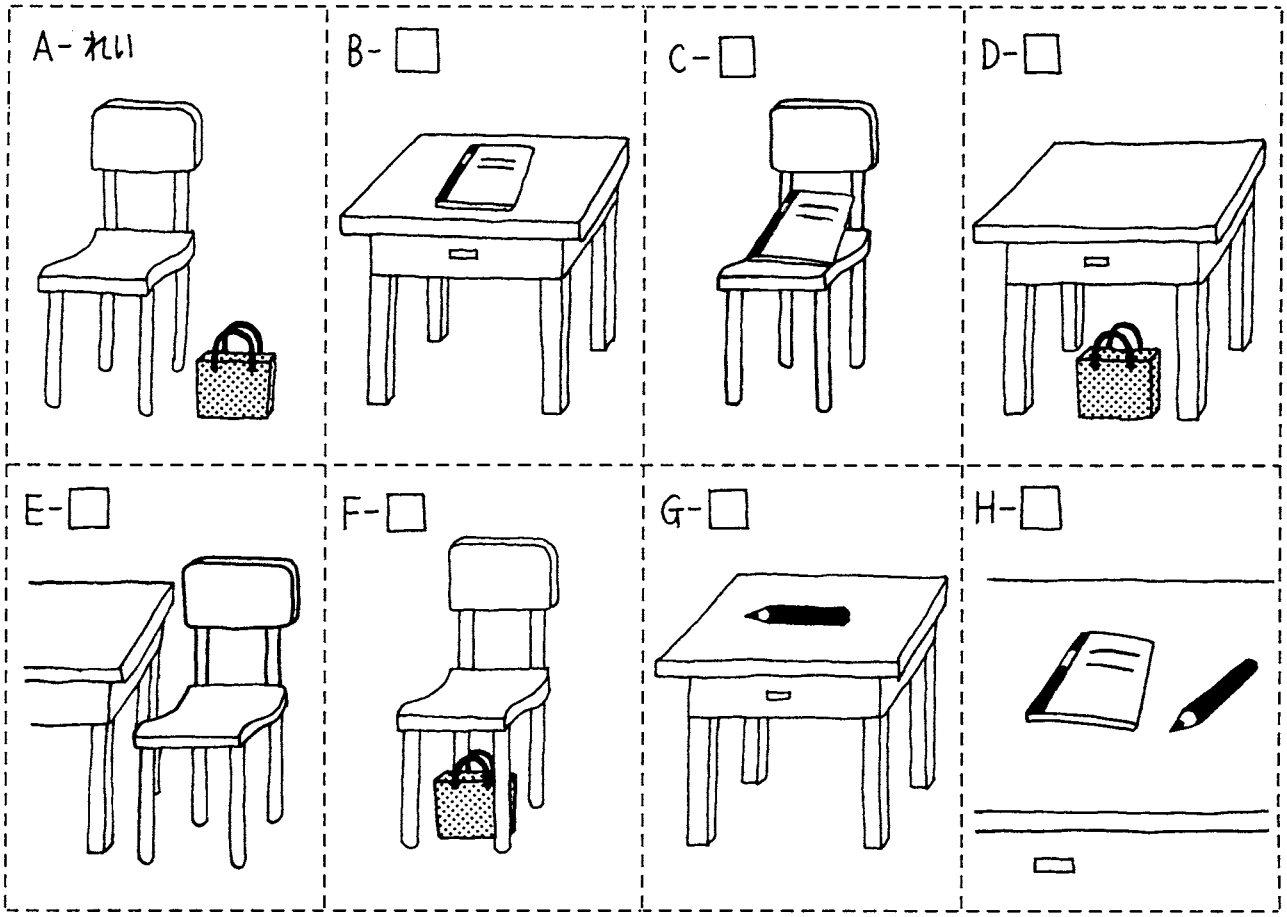
③ つくえの　下に　かばんが　あります。

④ つくえの　上に　ノートが　あります。

⑤ つくえの　よこに　いすが　あります。

⑥ ノートの　よこに　えんぴつが　あります。

⑦ いすの　下に　かばんが　あります。



<答え>　B-④、C-①、D-③、E-⑤、F-⑦、G-②、H-⑥

バリエーション

(1) 教師または、学習者が8枚の中の1枚を選んで文を言う。ほかの学習者は、それがA～Hの中のどの絵か言う。

2-10 わたしの学校

活動 学校の中を案内する。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

文-03　V ます

★文-04　N は N にあります／います

助-05　の

助-07　に（場所）

★語-04　ここ／そこ／あそこ

談話の技術

- 会話を始める（あのう）
- 確認する（～ですか）
- あいづちをうつ（ああ、～ですか）
- 会話を終わる（どうもありがとうございました）

準備するもの

実際の校内図

使うことば

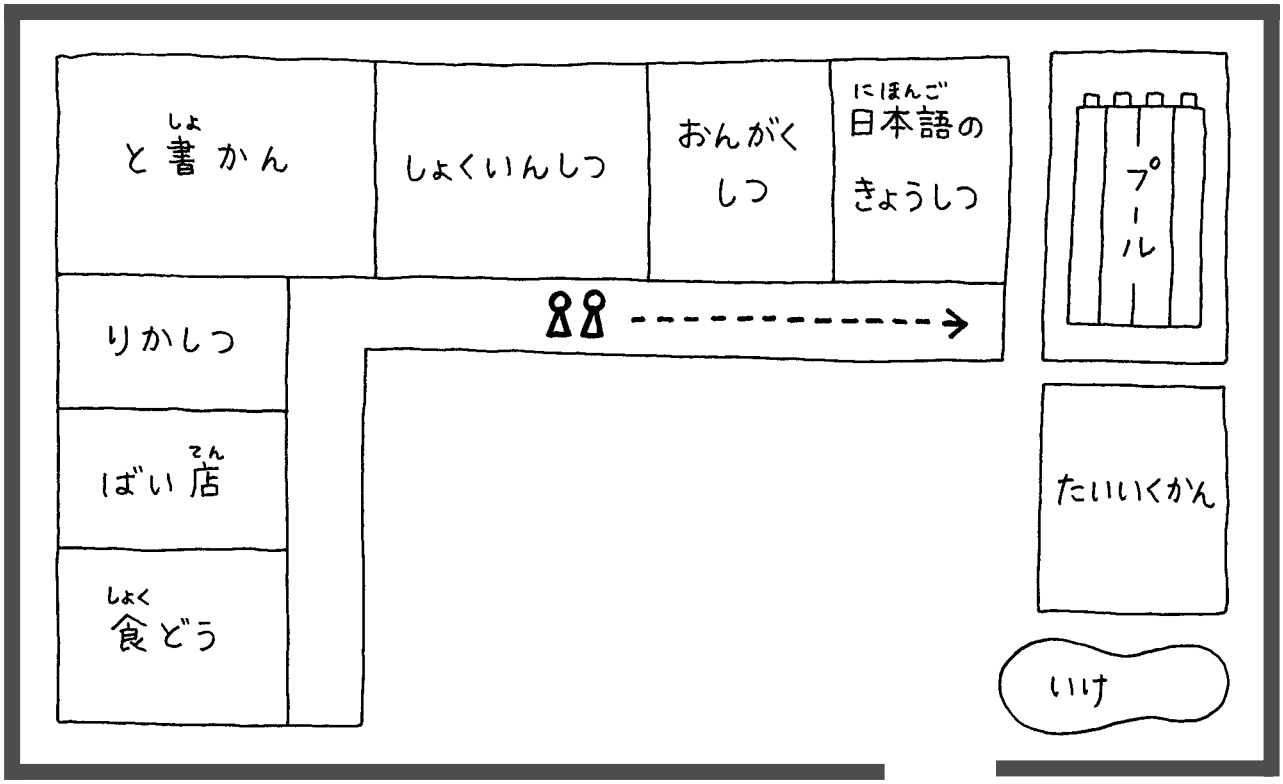
（わたし）、学校、教室、音楽室＊、理科室＊、図書館、事務室＊、体育館＊、池、グラウンド＊、売店＊、食堂、プール、ここ、そこ、あそこ、どこ、となり、前、日本語、ある、ああ、あのう、いいえ

▲ どうもありがとうございました

手　順

1. 校内図を使って、学校の中の部屋の名前や位置の言い方を確認する。
2. 学習者がそれぞれ自由に学校の図をかく。
3. ペアになり、1人が案内役、もう1人がお客さんになる。案内役が自分の学校でお客さんを案内するということにする。2の図を使って、2人の人の代わりに2本のペンを進ませながら＜モデルテキスト＞のように会話をする。
4. 途中でお客さん役は「日本語の教室／図書館／食堂…はどこにありますか。」と質問する。案内役はそれぞれの場所について「～は、そこ／あそこです。」と答える。

モデルテキスト



A：ここは しょくいんしつです。……

　　ここは おんがくしつです。……

B：あのう、 日本語の きょうしつは どこに ありますか。

A：日本語の きょうしつですか。 そこです。

B：ああ、 そこですか。

A：ここは プールです。……

B：あのう、 食どうは どこに ありますか。

A：食どうですか。 あそこです。……

B：どうも ありがとうございました。

A：いいえ。

（A：案内役、B：客）

バリエーション

（1）学校説明をする。

＜バリエーションの手順＞

1. 学習者はノートに校内図を作る。
2. ペアになり、1人が学校について説明をする。（「～に～があります」の文型を使う。）＜モデルテキスト＞の会話をする。説明が終わったら、聞き手は学校について質問する。（「～さんの学校に～がありますか。」「～はどこにありますか。」など。）

＜バリエーションのモデルテキスト＞

案内役：ここに図書館があります。
ここに池があります。
ここに理科室があります。

客　　：あのう、リンさんの学校に売店がありますか。

案内役：はい、ここです。

先生へ

- この練習では、話し手と聞き手が同じ領域にいる状況として「ここ／そこ／あそこ」を使い分ける。
- 「～はどこにありますか。」の答えは「～です。」でも「～にあります。」でもよい。（「せつめい編」の「文-01 Nです」を参照。）
- 教室の名前や使い方は国によって異なるので、その国に合わせて、変えるとよい。
- 校内図を作るときは、学習者に自分のすきなようにすきなものをかき入れるようにすすめる。
- 自分の学校にある部屋の特徴や学校でできることなどを母語で説明して、本当にある学校らしくしてもよい。
- 図を使うのではなく、実際に学校案内をしてもよい。

2-11 行く・来る・帰る

活動 文に合った正しい動詞を選ぶ。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

文-03　Vます

助-06　へ

談話の技術

準備するもの

使うことば

教室、うち、図書館、日本＊、来る、帰る、行く、学校、ここ、食堂、プール、あそこ

手順

1. まず、「わたしたちは今、教室／学校／（学習者の国の名前）にいます。」などと言って、今、自分たちがいる場所をことばで確認する。
2. 教師は＜モデルテキスト＞の「～は～へ」までを言う。
3. 学習者は「～は～へ」までを聞いて、それに合った動詞を言う。
4. ＜モデルテキスト＞の①～④に以下のことばを入れかえて練習する。
   ① 学校、ここ
   ② 学習者の国の名前
   ③ 食堂、プール、あそこ
   ④ 学習者の学校名

モデルテキスト

①わたしは　きょうしつへ　来(き)ます。

②わたしは　うちへ　かえります。

③わたしは　と書(しょ)かんへ　行(い)きます。

④田中(たなか)さんは（学習者(がくしゅうしゃ)の国(くに)の名前(なまえ)）へ　来(き)ます。

⑤田中(たなか)さんは　日本(にほん)へ　かえります。

バリエーション

(1)「～は～へ」まで書(か)いたシートを作(つく)り、
学習者(がくしゅうしゃ)が１人(ひとり)で動詞(どうし)を選(えら)んで書(か)く
練習(れんしゅう)にすることもできる。

先生へ

・状況(じょうきょう)を説明(せつめい)するために、学校(がっこう)、うち、図書館(としょかん)、学習者(がくしゅうしゃ)の国(くに)、日本(にほん)などの絵(え)や写真(しゃしん)を使(つか)うと理解(りかい)しやすい。

3-1 いくらですか

活動 値段をたずねる／答える。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★語 -05　数

談話の技術

・確認する（～ですか）

準備するもの

紙（<手順>参照）

使うことば

いくら、～円、百、千

手　　順

1. ペアになり、教師は各ペアに１枚ずつ紙を配る。
2. 各ペアはその紙を切って11枚の同じ大きさのカードを作る。0～9の数字と「えん」と書いたカードを１セット作る。
3. 机の右のほうに「えん」と書いたカードを置く。

4. 数字のカードをよくまぜて、裏にして重ねる。
5. ペアの一人は「いくらですか。」と聞く。
6. もう一人はカードを上から4枚とって、絵のように「えん」のカードの左側に順番にならべる。<モデルテキスト>のように「～円です。」と答える。
7. 聞いた学習者は、カードを見ないで、聞いた数字を自分のノートに書く。
8. カードの数字と、ノートに書いた数字が同じかどうか、<モデルテキスト>のように「～円ですか。」と聞いて確認する。
9. カードをもどして、もう一度まぜて、役割を交代してくりかえす。

モデルテキスト

A：いくらですか。

B：7　5　8　3 円です。

A：7　5　8　3 円ですか。

B：はい、そうです。

7	5	8	3	えん

→

3

バリエーション

（1）ならべるカードの数を変えて、もっと大きい数字や小さい数字の練習をする。

（2）練習の回数を決め、それぞれが金額をメモしておき、合計した金額の高い方を勝ちとする。

3-2 何本・いくつ♡

活動 (1)(2) 助数詞を覚える。
(3) 買いたいものと数量を言う。

かたち (1)(3) (2)

時間 (1)●○○
(2)●○○
(3)●●○

せつめい編

★文-08　Nをください
助-08　を（対象）
語-05　数
★語-06　助数詞

談話の技術

準備するもの

46ページの絵を大きくしたもの、または、
＜使うことば＞の実物など
（＜手順＞(1)と(3)で使う。）

使うことば

いくつ、～枚、～本、～冊、一つ～十、（ペン）、（かばん）、ハンカチ、シャツ、CD＊、（えんぴつ）、かさ、ネクタイ、（テープ）、（本）、雑誌、（ノート）、コーラ＊、ハンバーガー＊、りんご＊、ケーキ＊

手順

(1) 助数詞の練習A

1. 教師は絵または実物を用意する。
2. 黒板に1から10までの数字を書くか、この数字のカードを用意する。
3. 教師は絵または実物と数字から同時に1つずつ選んで、学習者に見せる。
4. 学習者は絵（実物）と数字を見て、それに合った「数字 ＋ 助数詞」を言う。
5. 教師が絵(実物)と数字の組み合わせを変えて、上の3と4をくりかえす。

(2) 助数詞の練習B

1. ペアを作る。
2. 1人が両手を後ろに回して、指を何本か立てて、「何本ですか。」と聞く。もう1人が立てた指の本数を当てる。

(3) 文型の練習

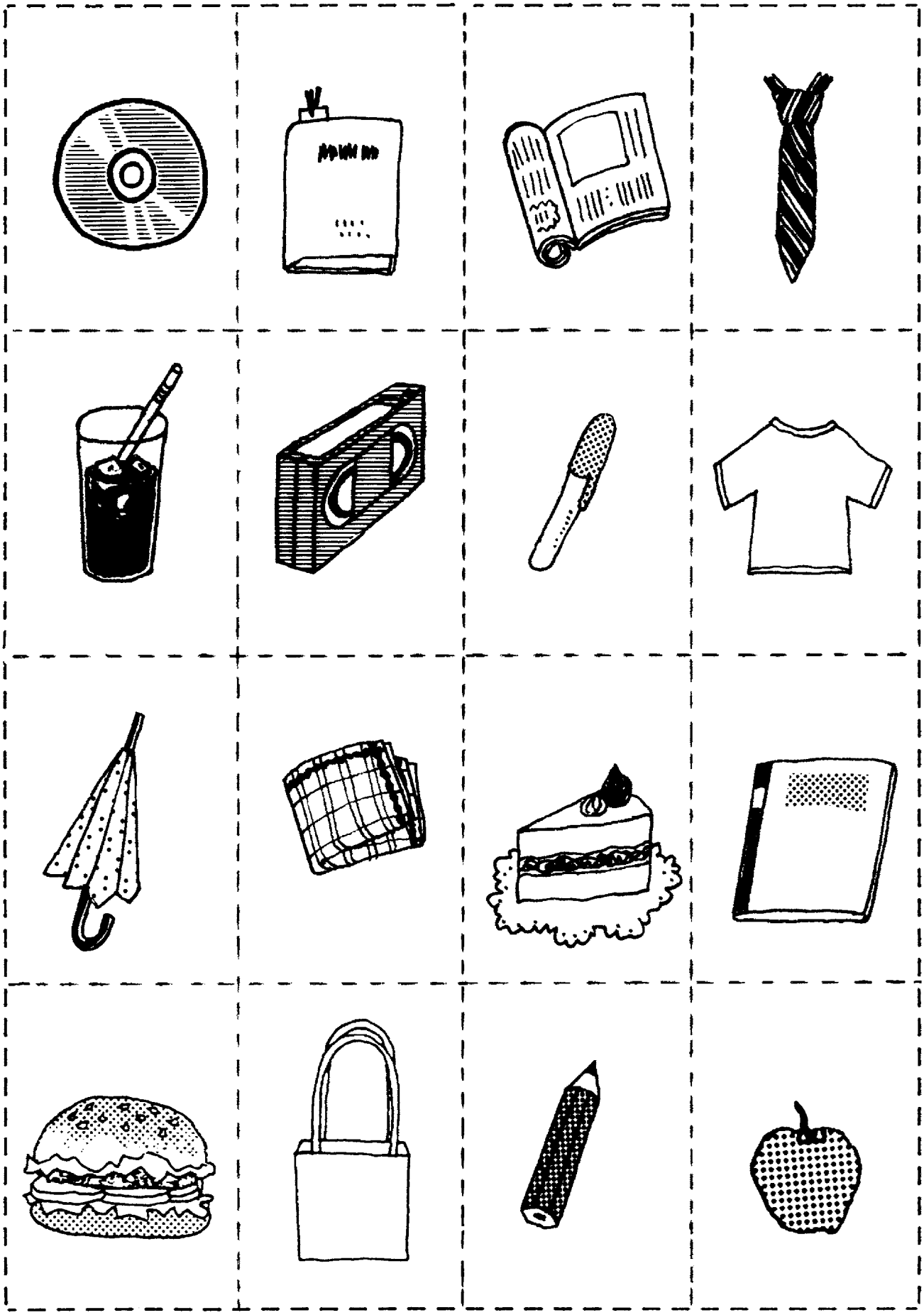
1. 教師は黒板に次のページの表を書く。学習者はノートに書く。一番上の段のことばは母語で書くか、絵をかいてもよい。たくさん練習させたいときは、列を増やす。

2. 学習者は 、ノートの表の「わたし」のところに、それぞれの助数詞に合った品物または食べ物の名詞を 1 つと、数字を1つ入れる。たとえば、「ハンカチ 2」「えんぴつ 1」「ノート 3」「ケーキ 5」のように書く。
3. 学習者は1人ずつ＜モデルテキスト＞のように「～を～と、～を～と、～を～と、～を～ください。」の文型に入れて、文を言う。
4. ほかの人は、3 を聞いて、人の名前と品物と数を自分のノートに書く。
5. 黒板の表に、文を言った人が自分の名前と品物と数を書くか、ほかの人が書いて、合っているかどうか確認する。

	A. うすいもの ～まい	B. 長いもの ／テープ ～ほん	C. 本、ノート ～さつ	D. 小さいもの／ みせでかう食べもの ～つ
わたし	ハンカチ 2	えんぴつ 1	ノート 3	ケーキ 5

モデルテキスト

(3) ハンカチを 二まいと、 えんぴつを 一本と、 ノートを 三さつと、ケーキを 五つ ください。



バリエーション

（1）助数詞の練習 A

グループやペアになって、学習者同士でものと数字を示す役、「数字 ＋ 助数詞」を言う役を交替で行う。

（2）助数詞の練習 B

「何枚ですか」、「何冊ですか」、「いくつですか」などに変える。

（3）文型の練習

「～を～と、～を～と、～を～と、～を～ください。」の代わりに「～を～と、～を～と、～を～と、～を～買います。」の文型で言う。

3

先生へ

- 「せつめい編」の巻末「5. 助数詞」参照。
- （2）助数詞の練習 B は「鹿の角、何本」という名前の日本の子供の遊び。
- （1）、（2）、（3）は別の助数詞の練習。教師が選んで行う。全部する必要はない。

3-3 ハンバーガーを食べます♡

活動 食べたいものと飲みたいものをたずねる／答える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★助-08　を（対象）

助-10　よ／ね

語-05　数

語-06　助数詞

談話の技術

- 確認する（～ですね）
- 相手の発話を聞いて話を進める（じゃあ）

準備するもの

使うことば

ハンバーガー＊、チーズバーガー＊、フライドポテト＊、コーラ＊、ジュース＊、コーヒー、紅茶、一つ～十、食べる、飲む、じゃあ

手順

1. 3、4人のグループになる。
2. グループの一人が＜モデルテキスト＞のように、メニューを見ながらほかの人に何を食べるか聞く。ほかの人はメニューの中から食べたいものを言う。
3. 聞いた人は自分の食べるものを言ってから、みんなが注文するものとその数を確認する。
4. 同じように何を飲むか聞き、確認する。

モデルテキスト

A：何(なに)を　食(た)べますか。

B：わたしは　ハンバーガーを　食(た)べます。

C：わたしは　チーズバーガーを　食(た)べます。

D：わたしも　チーズバーガーを　食(た)べます。

A：わたしも　チーズバーガーを　食(た)べます。　じゃあ、　ハンバーガーを　一(ひと)つと　チーズバーガーを　三(みっ)つですね。

B・C・D：はい。

A：何(なに)を　飲(の)みますか。

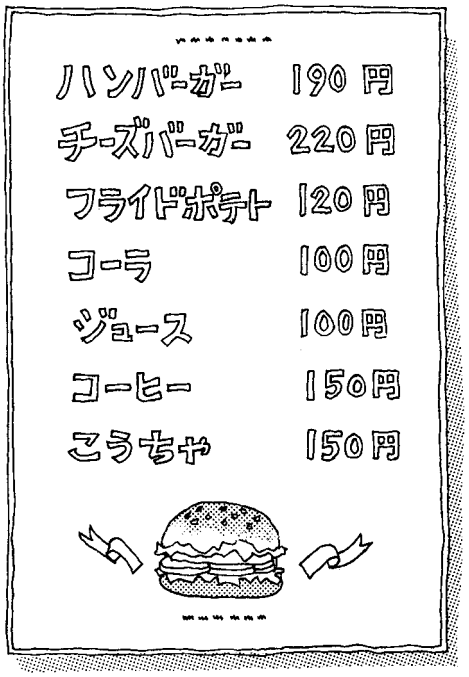
B：わたしは　コーラを　飲(の)みます。

C：わたしも　コーラを　飲(の)みます。

D：わたしは　ジュースを　飲(の)みます。

A：わたしも　ジュースを　飲(の)みます。　じゃあ、　コーラを　二(ふた)つと　ジュースを　二(ふた)つですね。

B・C・D：はい。



先生へ

・この練習(れんしゅう)の会話(かいわ)は、グループで食事(しょくじ)をするときに全員(ぜんいん)で何(なに)をいくつ注文(ちゅうもん)するかを確認(かくにん)するためのやりとり。

・メニューは黒板(こくばん)に品物(しなもの)と値段(ねだん)を書(か)いてもよい。

3-4 ハンバーガーの店

活動 注文の会話を聞く。店で注文する／注文を受ける。

かたち （1） （2）

時間 （1）●○○ （2）●●○

せつめい編

★文-08　Nをください
助-08　を（対象）
助-09　で（基準／範囲）
★助-10　よ／ね
語-05　数
語-06　助数詞

談話の技術

・応答する（はい）
・確認する（～ですね）

準備するもの

使うことば

店、ハンバーガー＊、チーズバーガー＊、フライドポテト＊、コーヒー、コーラ＊、ジュース＊、紅茶、一つ～十、全部、～円
▲ いらっしゃいませ／お願いします／お待ちください／（ありがとうございました）

手　順

（1）聴解
1. テープの会話を聞いて、注文したものと金額を聞き取る。

（2）会話
1. 教師は黒板に「3-3 ハンバーガーを食べます」のようなファーストフードの店のメニューを書く。
2. 学習者はペアを作る。1人はファーストフードの店の店員、1人は客になる。
3. 店員と客の会話をする。客は食べ物を2つ以上と飲み物を2つ以上注文する。
4. 役割を交替して会話をする。
5. ペアの練習が終わったら、教師はペアを指名する。指名されたペアはみんなの前でロールプレイをする。

モデルテキスト

（1） A：いらっしゃいませ。

B：ハンバーガーを 一つと、 フライドポテトを 一つと、 コーヒーを 二つ ください。

A：はい、 ハンバーガーを 一つと、 フライドポテトを 一つと、 コーヒーを 二つですね。

B：はい。

A：おまちください。（計算する） ぜんぶで、 610円です。

B：（お金をわたす動作） はい。

A：（お金を受け取る） はい、 ありがとうございました。

（店員は品物をわたす。客は品物を受け取る。）

（2） A：いらっしゃいませ。

C：ハンバーガーを 一つと、 チーズバーガーを 二つと、 コーラを 二つと、ジュースを 一つください。

A：はい、 ハンバーガーを 一つと、 チーズバーガーを 二つと、 コーラを 二つと、ジュースを 一つですね。

C：はい。

A：おまちください。 ……ぜんぶで 930円です。

C：……はい。

A：……はい、 ありがとうございました。（A＝店員、B・C＝客）

先生へ

- ＜モデルテキスト＞（1）、（2）とも、4、6、9行目の「はい」は＜談話の技術＞の「応答する」の用法。8行目の「はい」は、お金や品物をわたすとき、相手の注意を引くための用法。
- 「全部で～円です。」は、「全部で～円になります。」と言うこともある。
- ロールプレイのとき小道具を使うと会話しやすくなる。食べ物は小さい紙袋に紙を丸めて入れて作り、飲み物は紙コップを使う。お盆を１つ用意する。
- たくさんの表現を覚えることが大変な場合は、「いらっしゃいませ。」「お待ちください。」は黒板に書いて、ロールプレイをする学習者に見えるようにする。
- 発表のとき、聞いている学習者は何をいくつ注文し、いくらだったかをメモするようにする。
- 計算が大変な場合は、レジの係を作ってその人が計算して、店員に教える。

3-5 形容詞のビンゴ♡

活動 形容詞を聞き取る。形容詞で名詞を修飾する。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

文-06　A いです／AN です

★文-07　A い／AN な N

談話の技術

準備するもの

使うことば

高い、安い、青い、赤い、黒い、白い、黄色い、大きい、小さい、新しい、古い、長い、短い、重い、軽い、かわいい、おいしい、あまい、からい、こわい＊，静か、じょうぶ、きれい、便利

手　順

1. 教師は黒板に学習者が学習した形容詞を日本語で 16 以上書く。
2. 学習者は4×4のます目をノートにかき、1の形容詞から 16 選んで、母語ですきなます目に１つずつ入れる。後で全員で母語訳を確認する。
3. 教師は 1 の形容詞に「です」をつけて、順番を変えて言う。
4. 学習者はノートのます目を見て教師が言った形容詞があったら、それに×をつける。
5. ×がたて、横、ななめのどれか一列に並んだら、「ビンゴ！」と言う。
6. 「ビンゴ！」と言った学習者は、×が並んだ一列分の形容詞にそれぞれ合う名詞を選んで発表する。

例：おいしいりんご

バリエーション

（1）文字の学習を重視する場合は、形容詞をひらがなでます目の中に書く。

（2）＜手順＞3の代わりに、教師は形容詞を1つずつ書いたカードを用意する。学習者は1人ずつ順番にカードの字を見ないでカードを取って、大きい声で読む。このようにすると、学習者にとって読む練習になるほか、偶然性のおもしろさもある。

先生へ

- 名詞はそれまでに学習したものを使う。
- 「こわい」には、映画、ビデオ＊、本などが使える。
- 「からい」には、料理、お菓子（snack）が使える。
- 「長い／短い」には、えんぴつ、かさ、映画が使える。
- ビンゴについては「1-2 数字」の（2）を参照。

3-6 どんなかばんですか ♡

活動 かばんの絵をかいて、説明する／説明を聞いて、絵を選ぶ。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-07　A い／AN な N

談話の技術

準備するもの

次のページのかばんの絵の紙
（学習者１人に１つのかばんの絵）

使うことば

（かばん）、丸い、四角い＊、大きい、小さい、青い、赤い、黒い、白い、新しい、古い、かわいい、どんな

手　順

1. 学習者は5、6人のグループに分かれる。
2. 教師は、学習者１人に１枚ずつかばんの絵を配る。
3. 学習者は、かばんの絵に色をつけたり、新しそうなかばんにしたり、古そうなかばんにしたりする。
4. グループごとに集めて、机の上に並べ、順番に＜モデルテキスト＞のようにかばんについて聞き合い、それぞれのかばんを当てる。

モデルテキスト

A：B さんの　かばんは　どんな　かばんですか。

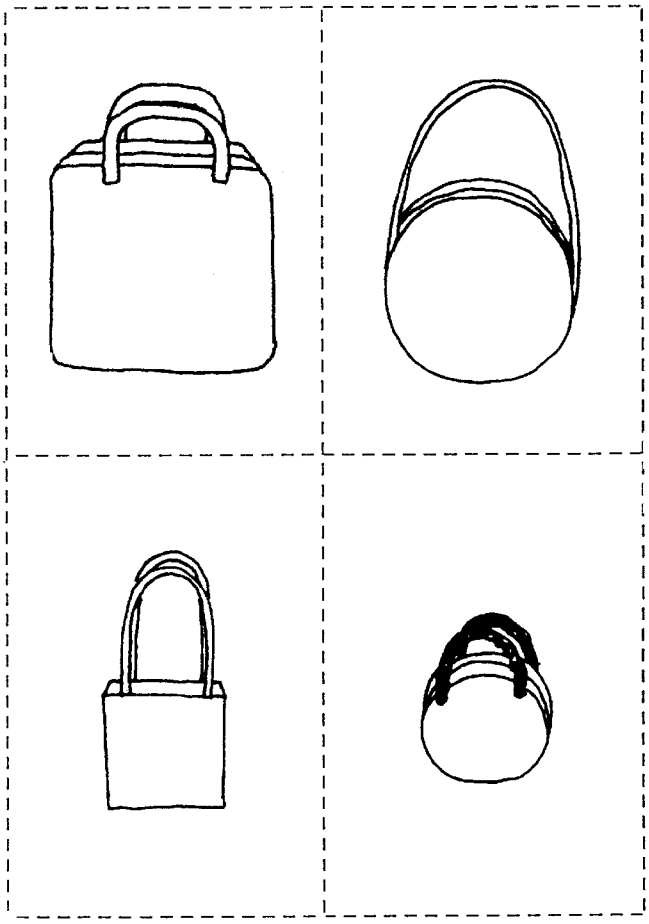
B：大きい　かばんです。

A：これですか。

B：いいえ、ちがいます。あかい　かばんです。

A：これですか。

B：はい、それです。



バリエーション

（1）かばん以外に、かさやいすなど、複数の形容詞で修飾できるものなら何でもよい。

（2）クラスの人数によっては、クラス全員でもできる。

3-7 新しいですか

活動 ほかの人が考えているものについて、質問をして当てる。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文-06　A いです／AN です

談話の技術

準備するもの

使うことば

高い、安い、青い、赤い、黒い、白い、黄色い、大きい、小さい、新しい、古い、長い、短い、重い、軽い、かわいい、おいしい、あまい、からい、こわい＊、静か、じょうぶ、きれい、便利、（机）

手　順

1. クラスを 2 つのチームに分ける。
2. 一方のチームは相談して教室の中のものを 1 つ選ぶ。
3. もう一方のチームは「Aいですか／ANですか。」と聞いて、それが何か当てる。

モデルテキスト

A：新しいですか。

B：いいえ、新しくないです。

A：おもいですか。

B：はい、おもいです。

A：つくえですか。

B：はい、そうです。

バリエーション

（1）チームの数は３つ以上でもよい。そのとき、１つのチームが考えたものを残りのチームが当てる。

（2）教室の中のものでは範囲が広すぎる場合は、絵カードや『写真パネルバンクⅠ.』などを使ってものの範囲を限定する。

先生へ

・会話の文に主語を入れたい場合は、質問する人、答える人とも「それ」を使う。このときの「それ」は、見えるものを指すのではなく、相手の考えているものを指している。

3-8 どんな店ですか

活動 店についての情報を求める／与える。そして、その店に行くかどうか決める。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-06　A いです／AN です

★助-10　よ／ね

談話の技術

・応答する（そうですか）

・相手の発話を聞いて話を進める（じゃあ）

準備するもの

使うことば

どう、りんご＊、人、料理、広い、せまい、安い、高い、親切、おいしい、まずい、行く、大きい、小さい、きれい、かわいい、あまい、からい、こわい＊、新しい、古い、じゃあ

手　順

1. 学習者に、よく行く店やレストランの名前を言わせて、それを黒板に書く。
2. それぞれの学習者は、その中からすきな店を選び、どの店を選んだかクラスで発表する。
3. 学習者は、自分が選んだ店やレストランについて、＜使うことば＞の形容詞を使って説明する文を作り、ノートに書く。
4. クラスの中で自分と違う店を選んだ人をさがして、＜モデルテキスト＞のようにノートの文を見ながら会話する。

モデルテキスト

(1) A：スーパーあさひは どうですか。

B：ひろいですよ。

A：そうですか。 じゃあ、 行(い)きます。

(2) C：こだまやの りんごは どうですか。

D：安(やす)いですよ。

C：そうですか。 じゃあ、 行(い)きます。

(3) E：さくら電気(でんき)の 人(ひと)は どうですか。

F：しんせつでは ありませんよ。

E：そうですか。 じゃあ、 行(い)きません。

(4) G：レストランふじの りょうりは どうですか。

H：おいしいですよ。

G：そうですか。 じゃあ、 行(い)きます。

先生へ

・「スーパーあさひ」、「こだまや」などは店(みせ)やレストランの名前(なまえ)。

3-9 今、何がほしいですか♡

活動 ほしいものについてたずねる／答える。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

文-07　A い／AN な N

★文-09　N がほしいです

談話の技術

準備するもの

使うことば

今、ほしい、（かばん）、かさ、くつ、くつした、シャツ、スカート、ズボン、ハンカチ、CD＊、どんな、高い、安い、青い、赤い、黒い、白い、黄色い、大きい、小さい、新しい、古い、長い、短い、重い、軽い、かわいい、静か、じょうぶ、きれい、便利

手　順

1. ペアを作る。
2. ペアで＜モデルテキスト＞のように、ほしいものについてたずね合う。
3. 2 で練習した会話をみんなの前で発表する。

モデルテキスト

A：Bさん、今、何が ほしいですか。

B：かばんが ほしいです。

A：どんな かばんが ほしいですか。

B：小さいのが ほしいです。

4-1 何番ですか

活動 聞いたことばの絵を選んで絵の番号で答える。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

談話の技術

準備するもの

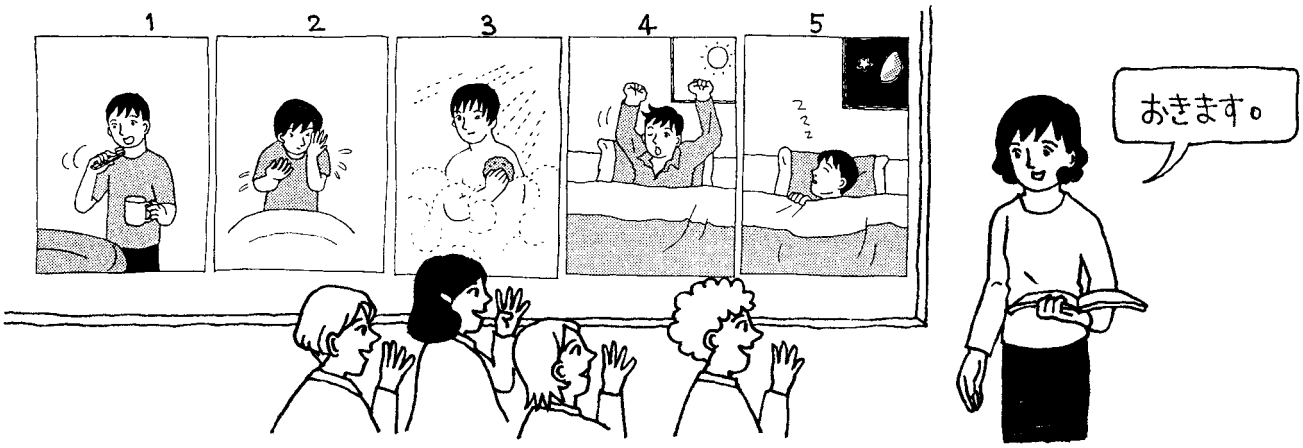
＜使うことば＞の行動を表わす絵

使うことば

歯をみがく、顔を洗う、シャワーを浴びる、勉強〔する〕、する、手紙を書く、新聞を読む、（テレビ）を見る、（音楽）を聞く、（学校へ行く／来る）、（うちへ帰る）、（起きる）、（寝る）、ごはんを（食べる）、（コーヒー＊を飲む）

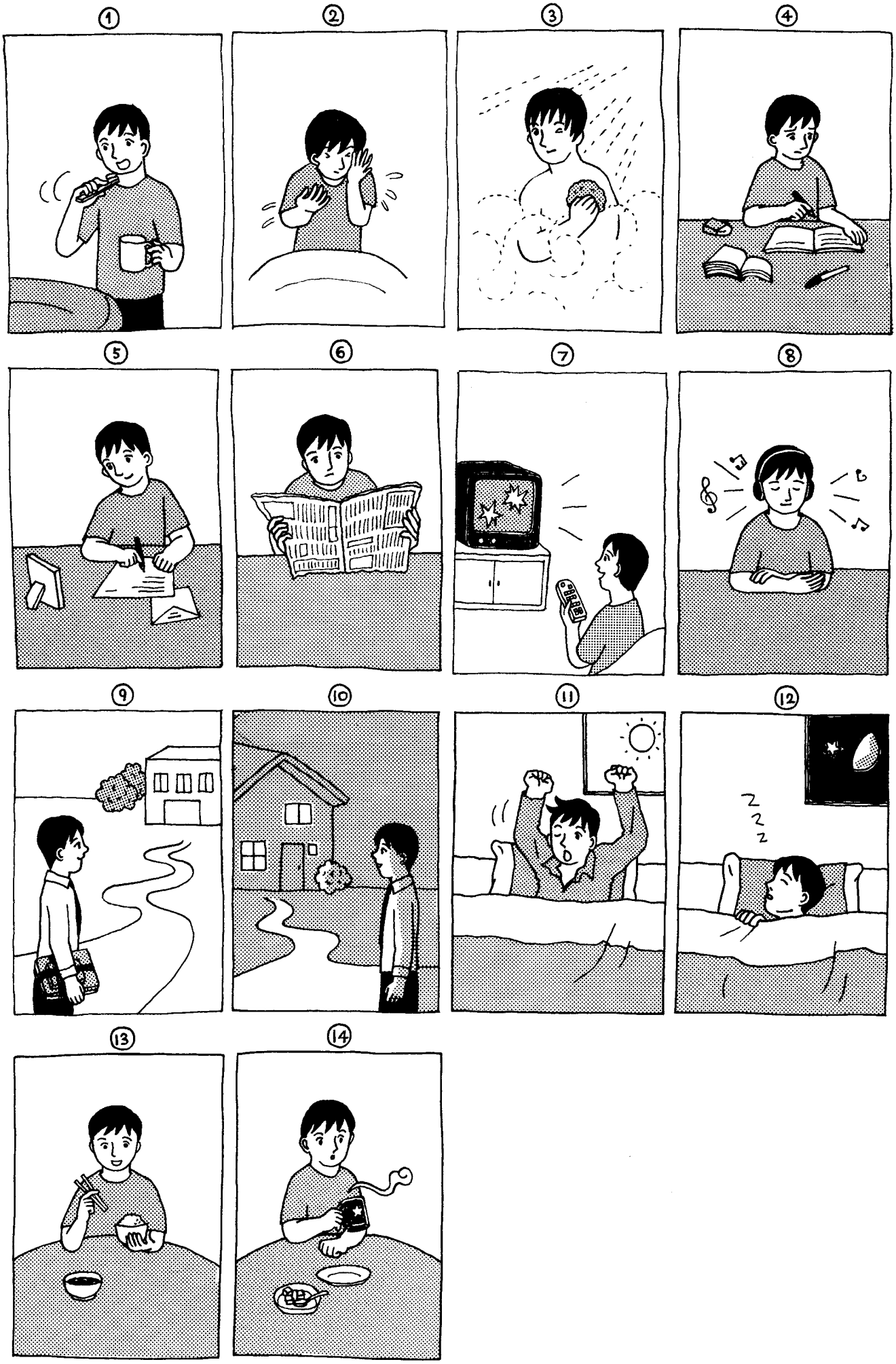
手　順

1. 教師は①～⑭の絵の中から5枚選んで黒板にはり、絵に1～5の番号をつける。
2. 教師はその中の1つが表す動詞を言う。
3. 学習者はその番号を指で示す。



モデルテキスト

① はを　みがきます。
② かおを　あらいます。
③ シャワーを　あびます。
④ べんきょうを　します。
⑤ 手(て)がみを　書(か)きます。
⑥ 新聞(しんぶん)を　読(よ)みます。
⑦ テレビを　見(み)ます。
⑧ おんがくを　聞(き)きます。
⑨ 学校(がっこう)へ　行(い)きます。
⑩ うちへ　かえります。
⑪ おきます。
⑫ ねます。
⑬ ごはんを　食(た)べます。
⑭ コーヒーを　飲(の)みます。


①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭

バリエーション

（1）慣れてきたら、全員が立ち、間違った生徒から座り、だれが最後まで残るか競争する。

（2）学習者がキューを出す役をする。

（3）＜モデルテキスト＞のような文はビンゴゲームでも練習できる。ビンゴについては「1-2 数字」（2）を参照。

先生へ

・「シャワーを浴びます」を「お風呂に入ります」に変えるなど、動詞は学習者の生活習慣に合わせるとよい。

4-2 わたしの一日♡

活動 一日の生活についてたずねる／答える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★語-08　ぐらい／ごろ

談話の技術

・あいづちをうつ（そうですか）

準備するもの

使うことば

一日、朝ごはん、晩ごはん、シャワー、宿題、（テレビ）、新聞、（食べる）、浴びる、する、見る、読む、ごろ、毎朝

手　順

1. 学習者は下のように一日の行動が書けるようなわくをノートにかく。
2. 学習者は、わくの「わたし」のところに下の行動リストから行動を選んで、その記号を書く。書く位置は、その行動をする時刻に合わせる。（Gには学習者が考えた行動を入れる。）
3. ペアになって＜モデルテキスト＞のように相手が何時にそれぞれの行動をするかたずねる。
4. 相手が行動する時刻のところに行動の記号を書く。
5. インタビューの結果わかったことを発表する。

わたし		（　　）さん
	5：00 6：00 7：00 ： ：	

行動リスト

A. 朝ごはんを食べます　B. シャワーをあびます　C. テレビを見ます
D. 晩ごはんを食べます　E. しゅくだいをします　F. 新聞を読みます　G.（　　）

モデルテキスト

（1）インタビュー

A：Bさんは 毎朝(まいあさ) 何時(なんじ)ごろ 朝(あさ)ごはんを 食(た)べますか。

B：7時(じ)ごろ 食(た)べます。 Aさんは。

A：わたしも 7時(じ)ごろです。

B：そうですか。 毎朝(まいあさ) 何時(なんじ)ごろ シャワーを あびますか。

A：午前(ごぜん)6時(じ)ごろ シャワーを あびます。 Bさんは。

B：午後(ごご)10時半(じはん)ごろです。……

（2）発表(はっぴょう)

A：わたしは 午前(ごぜん)6時(じ)ごろ シャワーを あびます。Bさんは 午後(ごご)10時(じ)ごろ シャワーを あびます。 わたしと Bさんは 7時(じ)ごろ 朝(あさ)ごはんを 食(た)べます。

バリエーション

（1）＜手順(てじゅん)＞2で、行動(こうどう)を記号(きごう)ではなく日本語(にほんご)の文(ぶん)で書(か)く。この場合(ばあい)、書(か)く練習(れんしゅう)になる。

先生へ

・リストにある行動(こうどう)が学習者(がくしゅうしゃ)の生活習慣(せいかつしゅうかん)に合(あ)わない場合(ばあい)は、ほかの行動(こうどう)に変(か)える。

4-3 7時間ぐらい寝ます♡

活動 時間についての生活習慣をたずねる／答える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

語-07　時間

★語-08　ぐらい／ごろ

談話の技術

準備するもの

使うことば

（本）、（テレビ）、毎日、勉強する、読む、見る、（寝る）、時間、分、ぐらい

手　順

1. 黒板に次のような行動を書く。

① 寝ます
② 勉強します
③ 本を読みます
④ テレビを見ます
⑤（そのほかクラス全体、またはグループで決める）

2. 学習者はノートに一日に自分が①～⑤をしている時間を書く。
3. 4、5人のグループになって＜モデルテキスト＞(1)のようにおたがいに①～⑤の時間についてインタビューする。
4. グループの人のそれぞれの行動の平均時間を調べる。
5. みんなの前で＜モデルテキスト＞(2)のように平均時間を発表する。

モデルテキスト

（1）インタビュー

A：B さんは 毎日 どのぐらい ねますか。

B：7時間ぐらい ねます。 Aさんは。

A：8時間ぐらいです。

B：A さんは 毎日 どのぐらい べんきょうしますか。

A：1時間ぐらい べんきょうします。 Bさんは。

B：8時間ぐらいです。

（2）発表

わたしの グループの 人は 7時間ぐらい ねます。
1時間ぐらい べんきょうします。30分ぐらい 本を 読みます。
2時間ぐらい テレビを 見ます。

バリエーション

（1）最後にクラスの平均時間を計算する。

先生へ

- 10分ごとの時間の言い方が必要な場合は、この練習の前に練習する。
- 自分が聞かれた質問と同じ質問を続けてほかの人にするとき、イントネーションを上げて「～さんは。」とたずねる。

4-4 いつも・ときどき・あまり♡

活動 生活習慣について話す／聞く。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-10　あまり…否定

談話の技術

準備するもの

使うことば

いつも、ときどき、あまり、朝ごはん、(食べる)、朝、新聞、読む、夜、(テレビ)、見る、日曜日、部屋、掃除〔する〕、散歩〔する〕、する

手　順

1. クラスを５、６人のグループに分ける。学習者はそれぞれノートに下のような表をかく。
2. ＜モデルテキスト＞(1)の①～⑤の行動について、自分の生活習慣に合わせて「いつも、ときどき、あまり」などを表に書く。
3. 学習者はそれぞれ表を見ながら、自分の生活習慣について＜モデルテキスト＞(2)のように、グループの中で発表する。
4. ほかの人は聞きながら「いつも、ときどき、あまり」をノートの表に書く。「～ません」のときは×をつける。
5. グループでおたがいのノートを見て、確認する。
6. それぞれグループの中の１人がみんなの前でグループの①～⑤の中の一つの結果を＜モデルテキスト＞(3)のように発表する。

	わたし（A）	B さん	C さん	D さん	E さん
①	いつも				
②	ときどき				
③	あまり				
④	いつも	あまり	ときどき	×	ときどき
⑤	×				

モデルテキスト

(1) ① 朝ごはんを 食べます。

② 朝、新聞を 読みます。

③ よる、テレビを 見ます。

④ 日よう日に へやを そうじします。

⑤ 日よう日に さんぽします。

(2) A さんの例

① わたしは いつも 朝ごはんを 食べます。

② わたしは ときどき 朝、 新聞を 読みます。

③ わたしは あまり よる、 テレビを 見ません。

④ わたしは いつも 日よう日に へやを そうじします。

⑤ わたしは 日よう日に さんぽしません。

(3) 報告

わたしは いつも 日よう日に へやを そうじします。

C さんと E さんは ときどき 日よう日に へやを そうじします。

B さんは あまり 日よう日に へやを そうじしません。

D さんは 日よう日に へやを そうじしません。

先生へ

・「あまり」には頻度（回数）と程度（数や量など）の意味がある。たとえば、「あまり朝ごはんを食べません」は「朝ごはんを食べる回数が多くない」という意味と「朝ごはんの食べ物の量が多くない」という意味がある。これは文脈によって使い分けられる。ここでは、「いつも」、「ときどき」とともに頻度（回数）として練習する。

4-5 どこで・どこに

活動 動詞を見て助詞を選ぶ。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★（助-07　に（場所））

★ 助-11　で（場所）

談話の技術

準備するもの

使うことば

部屋、お風呂、デパート、ベッド、宿題、する、シャワー、せっけん、レストラン、雑誌、浴びる、買う、勉強〔する〕、読む

手　　順

1. ＜タスクシート＞の（　）に「で」か「に」を入れる。
2. 答えをクラスで確認する。
3. 「に」の入る文のグループと「で」の入る文のグループの違いは何か考える。

タスクシート

①へや（　　）ベッドが あります。

②へや（　　）しゅくだいを します。

③おふろ（　　）シャワーを あびます。

④おふろ（　　）せっけんが あります。

⑤デパート（　　）かばんを 買います。

⑥デパートの 中（　　）レストランが あります。

⑦きょうしつ（　　）先生が います。

⑧きょうしつ（　　）日本語を べんきょう します。

⑨と書かん（　　）本が あります。

⑩と書かん（　　）じ書が あります。

⑪たかはしさんは へや（　　）ねます。

⑫たかはしさんは へや（　　）います。

⑬すずきさんは と書かん（　　）ざっしを 読みます。

⑭ざっしは 先生の へや（　　）あります。

⑮先生は へや（　　）ざっしを 読みます。

＜答え＞

①に ②で ③で ④に ⑤で ⑥に ⑦に ⑧で ⑨に ⑩に ⑪で ⑫に ⑬で ⑭に ⑮で

先生へ

・③、④の「おふろ」はここでは「浴室」の意味なので注意する。

・文の最後の動詞が「あります」「います」の場合、「に」が入り、そのほかの動詞の場合は「で」が入る。

4-6 田中さんの一日

活動 内容を推測してから文章を読む。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

助-11　で（場所）

助-13　や（並列）

語-07　時間

★語-08　ぐらい／ごろ

談話の技術

準備するもの

使うことば

一日、朝、朝ごはん、晩ごはん、宿題、（テレビ）、新聞、（うち）、（食べる）、する、見る、読む、勉強〔する〕、（寝る）、（起きる）、（学校）、雑誌、時間、ぐらい、ごろ、そして＊、いつも、ときどき、パン

手　順

1. 教師は黒板に以下のように生活習慣に関する行動のリストを書く。

①起きます　：（　　）時ごろ
②朝ごはん　：（　　）時ごろ
③学校の勉強：（　　）時間ぐらい
④宿題　　：（　　）時間ぐらい
⑤テレビ　　：（　　）時間ぐらい
⑥晩ごはん　：（　　）時ごろ
⑦寝ます　　：（　　）時ごろ

2. 学習者は黒板のリストを見ながら、これから読むテキストの田中さん（日本人の高校生）の生活を推測して時刻や時間をノートに書く。
3. 田中さんの一日についての文を読む。
4. 自分の推測が正しかったものに○をつける。

モデルテキスト

田中さんは 毎日、 朝6時ごろ おきます。 朝ごはんは いつも パンです。

学校で 5時間 べんきょうします。 そして、 うちで 1時間ぐらい しゅくだいを します。

テレビを 2時間ぐらい 見ます。 ときどき 新聞や ざっしを 読みます。 午後7時ごろ 晩ごはんを 食べます。 11時半ごろ ねます。

バリエーション

(1) 田中さんの生活を推測してから、テープを使って時刻と時間を聞き取る練習をする。

(2) ①～⑦について、推測した時刻や時間がいちばん近かった人を探す。

(3) ＜モデルテキスト＞の形を使って、学習者が自分の一日について書く。

4-7 いとうさんの一週間

活動 文章を読み、表の内容と合っているかどうかチェックする。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

助-11　で（場所）

助-12　から／まで

語-07　時間

語-08　ぐらい／ごろ

談話の技術

準備するもの

使うことば

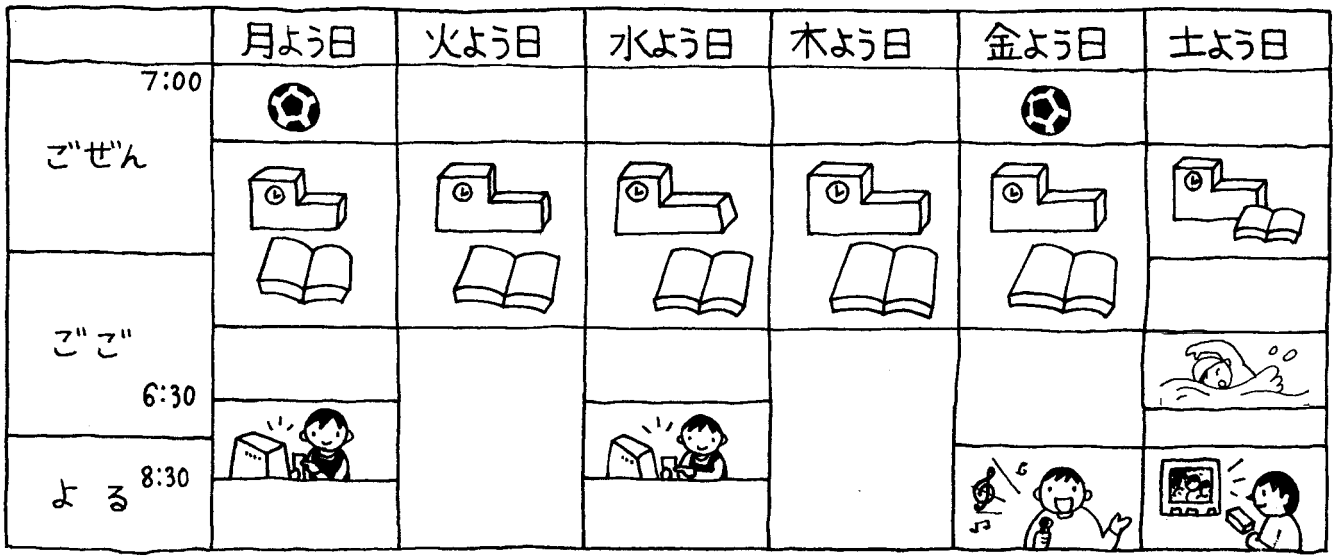
月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、たいてい、ときどき、～週間、授業、練習〔する〕、朝、夜、カラオケ＊、スーパー＊、アルバイト〔する〕＊、ビデオ＊、ぐらい、ごろ、する、泳ぐ、（ある）

手　順

1. 表を見て、いとうさんの一週間の生活習慣を確認する。絵の内容がわかりにくい場合は教師が説明する。

2. ＜モデルテキスト＞を読んで、表の内容と合っているものに○、合っていないものに×をつける。

モデルテキスト



① 月ようび日から 土ようび日まで 学校で じゅぎょうが あります。

② 月ようび日と 木ようび日に 朝7時から、 サッカーの れんしゅうが あります。

③ 月ようび日と 水ようび日に 午後6時半から 8時半まで スーパーで アルバイトを します。

④ 火ようび日の よる、ときどき カラオケを します。

⑤ 金ようび日の よる、たいてい ビデオを 見ます。

⑥ 土ようび日の 午後、プールで およぎます。2時間ぐらい およぎます。

＜答え＞

①○ ②× ③○ ④× ⑤× ⑥○

先生へ

・日本では、土曜日が休みになる週五日制は、1992年から始まった。1992年は第2土曜日だけ休みの月1回週五日制、1995年から第2、4土曜日が休みの月2回になった。毎週土曜日が休みになる完全学校週五日制は2002年から始まる。

4-8 わたしの家族

活動 文章を読み、内容に合った絵を探す。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

談話の技術

準備するもの

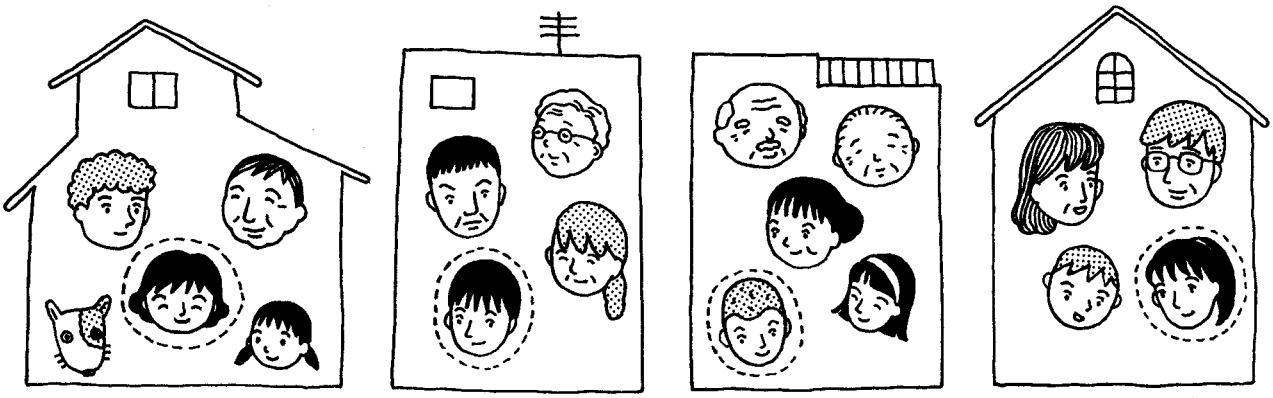
使うことば

一人、二人、～人、家族、兄弟、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、弟、妹、おじいさん、おばあさん、小学校＊、中学＊、高校＊、大学生＊、犬、名前、（全部）、それから

手　順

1. ＜モデルテキスト＞(1)～(4)を読み内容に合った絵を選ぶ。

モデルテキスト



a.　b.　c.　d.

（1）わたしの かぞくは 四人です。お父さんと お母さんと
おばあさんが います。 わたしは 高校1年生です。

（2）わたしの かぞくは 四人です。お父さんと お母さんと
おとうとと わたしです。 おとうとは 中学2年生です。

（3）わたしは 二人きょうだいです。おねえさんが 一人 います。
それから おじいさんと おばあさんと お母さんが います。
かぞくは ぜんぶで 五人です。

（4）わたしは 三人きょうだいです。 おにいさんと いもうとが
います。 おにいさんは 大学生です。 いもうとは 小学校6年生です。
お父さんが います。それから、いぬが います。名前は ポチです。

〈答え〉
（1）b.（2）d.（3）c.（4）a.

バリエーション

（1）テープを聞いて、内容に合った絵を選ぶ。
（2）絵を見て、その家族の中のだれかになったつもりで家族を紹介する。
（3）家族の呼称について父、母などもいっしょに教える場合は、上のテキスト中の語彙を入れ替える。
（4）男子の場合は、「わたし」を「ぼく」に入れ替えることもできる。
（5）学習者が自分の家族について書く。その後で教師がだれかの作文を音読し、学習者はだれの家族か考える。

先生へ

・クラスで自分の家族について話したくない学習者がいる場合、学習者が考えた家族を使って練習してもよい。
・『写真パネルバンク』V.日常生活シリーズ家族1～4が利用できる。

4-9 クロスワードパズル

活動 横のかぎ、たてのかぎを読んで、適当なことばを入れる。

かたち

時間 （1）●●○ （2）●●○

せつめい編

文-10　あまり…否定

助-11　で（場所）

談話の技術

準備するもの

使うことば

あした、花、買う、この、あの、あなた、ひらがな、かたかな、書く、お姉さん、大学生＊、レストラン、友だち、宿題、する、朝、あまり、公園、（うち）、紙、いつも、名前、朝ごはん

▲（またあした）

手　順

1.「よこのかぎ」と「たてのかぎ」を読んで、○の中にひらがなを1つ入れる。

2.「よこのかぎ」のことばは、番号のますから横に並べて入れる。「たてのかぎ」のことばは、番号のますからたてに並べて入れる。1つのますに1つのひらがなが入る。拗音の小さい「ゃ、ゅ、ょ」も1つのますに入れる。

3.（　）の中のことばをヒントにする。

モデルテキスト

（1）

1		2		3		4
5				6		
7			8		9	
		10				
11						

＜よこのかぎ＞

2. あしたも ここへ ○○○か。
5. 日本語(にほんご)の ○○○は と書(しょ)かんに あります。
6. ○○○な 花(はな)を 買(か)います。
7. この ケーキは ○○○○です。
9. A：これは あなたの 本(ほん)ですか。
   B：はい、 ○○です。
10. ○○○の 上(うえ)に ノートと えんぴつが あります。
11. ハンバーガーを ○○○ ください。（ヒント：5）

＜たてのかぎ＞

1. ○○に ねます。（ヒント: 9：00）
2. 1年生(ねんせい)の ○○○○○の となりに おんがくしつが あります。
3. わたしは 日本(にほん)の おんがくが ○○です。
4. ○○○○○の 午後(ごご) プールへ 行(い)きます。
7. A：あの ○○○○ かばんは あなたのですか。
   B：いいえ、 わたしのは あの 小(ちい)さいのです。
8. A：これは ○○○ですか。
   B：170円(えん)です。

（2）

	1			2		3
		4	5		6	
	7					
8		9			10	

＜よこのかぎ＞

1. ひらがなと ○○○○を 書(か)きます。

4. すずきさんの ○○○○○は 大学生(だいがくせい)です。

8. レストランへ ○○○○。

10. 友(とも)だちの ○○で しゅくだいを します。

＜たてのかぎ＞

1. 白(しろ)い ○○を 1まい ください。

2. A：お○○○は？

   B：さとうゆかりです。

3. 8時(じ)に 朝(あさ)○○○を 食(た)べます。

5. 午後(ごご)11時(じ)に ○○○。

6. A：○○○○○。

   B：○○○○○。また あした。

7. わたしは、あまい おかしが あまり ○○では ありません。

8. わたしは 朝(あさ) ○○○ コーヒーを 飲(の)みます。

9. 学校(がっこう)の ○○に こうえんが あります。

（1）答え

1 く		2 き	ま	3 す		4 す
5 じ	し	ょ		6 き	れ	い
		う				よ
7 お	い	し	8 い		9 そ	う
お		10 つ	く	え		び
き			ら			
11 い	つ	つ				

（2）答え

	1 か	た	か	2 な		3 ご
	み			ま		は
		4 お	5 ね	え	6 さ	ん
	7 す		ま		よ	
8 い	き	9 ま	す		10 う	ち
つ		え			な	
も					ら	

バリエーション

（1）かぎを母語にする。

先生へ

- ほかの部分の答えがヒントになることもあるので、わかる問題から書いていくように学習者に言う。
- ブロック１～４で勉強したことばを使っているので、学習者に思い出させる。
- ＜かたち＞はペアやグループでもよい。

5-1 何月何日ですか

活動 日にちをたずねる／答える。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

談話の技術

準備するもの

使うことば

1～12月、1～31日、テスト、夏休み、子供の日、いつ、誕生日

手　　順

1. ＜モデルテキスト＞のように、学校行事、国や地域などの祝日、誕生日を使って日付の練習をする。

(1) 学校行事

・教師が学校の行事名（母語でよい）とそれが行われる日を日本語で言い、学習者はメモをとる。

(2) 国や地域などの祝日

・教師が祝日名（母語でよい）を言って、学習者が何月何日か答える。

(3) 誕生日

・学習者がおたがいの誕生日を聞いて、同じ月、同じ日ごとに集まる。

モデルテキスト

(1) 学校行事

・テストは 9月8日です。

・春休みは 3月20日から 4月7日までです。

(2) 祝日

A：子どもの日は いつですか。

B：5月5日です。

(3) 誕生日

A：Bさんの たん生日は 何月何日ですか。

B：1月2日です。

バリエーション

(1) クラスで誕生日を聞き合い、それぞれの月に生まれた人のリストを作る。

先生へ

・カレンダーや学校行事の一覧などがあれば利用してもよい。

・(1)、(2)、(3) の中から教師が選んで行う。全部する必要はない。

・1～12月、1～31日の言い方は「せつめい編」巻末「7. 日付けと曜日」参照

・＜かたち＞はクラスやペアでもよい。

5-2 テレビを見ましたか♡

活動 過去の行動についてたずねる／答える。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文-11　V ました

談話の技術

準備するもの

使うことば

きのう、洗たく〔する〕、映画、（見る）、買い物〔する〕、（公園）

手　順

1. 学習者はノートに自分がきのう（週末、休みなどでもよい）したことを3つ書く。
2. ペアになって、おたがいにペアの相手に自分と同じことをしたかどうか、＜モデルテキスト＞（2）のように聞く。聞かれた学習者は、そのことをしていたら「はい」と答える。
3. 質問した学習者は、「はい」の答えのときは○、「いいえ」の答えのときは×を自分の文の横にかく。
4. ＜モデルテキスト＞（3）のように相手についての報告文をノートに書く。
5. 相手のことをほかの学習者に報告する。

モデルテキスト

（1）Aのノート

わたしは きのう せんたくを しました。

わたしは きのう えいがを 見(み)ました。

わたしは きのう 買(か)いものを しました。

（2）質問(しつもん)と答(こた)え

A：Bさんは、日(にち)よう日(び)に せんたくを しましたか。

B：はい、しました。Aさんは 日(にち)よう日(び)に こうえんへ 行(い)きましたか。

A：いいえ、行(い)きませんでした。Bさんは 日(にち)よう日(び)に えいがを 見(み)ましたか。

B：いいえ、見(み)ませんでした。……

（3）報告(ほうこく)

Bさんは、日(にち)よう日(び)に せんたくを しました。えいがを 見(み)ませんでした。買(か)いものを しました。

バリエーション

（1）文(ぶん)の数(かず)は3(みっ)つに限(かぎ)らず、ペアで二人(ふたり)と もしたことをできるだけ多(おお)く探(さが)して、数(かず)が多(おお)いペアを勝(か)ちにする。

5-3 楽しかったですか

活動 与えられたことばを使って質問文を作って、たずねる／答える。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文-12　A かったです／AN でした

談話の技術

準備するもの

使うことば

テレビ・ゲーム＊、映画、（公園）、天気、難しい、（おもしろい）、つまらない、いい悪い、（おいしい）、楽しい、（静か）、（きれい）、にぎやか、～通り＊

手　順

1. 教師は＜使うことば＞にあるような名詞と形容詞のリストを作る。
2. ペアでそれぞれのリストにあるものを結びつけて過去形で質問を作ったり、答えたりする。答えるとき、「はい」だけでなく「いいえ」も使うようにする。
3. ペアでしたやりとりをノートに書く。
4. ペアでしたやりとりを発表する。

モデルテキスト

(1) A：テレビゲームは むずかしかったですか。

B：はい、 むずかしかったです。

(2) A：えいがは おもしろかったですか。

B：いいえ、 つまらなかったです。

(3) A：天気(てんき)は よかったですか。

B：いいえ、 よくなかったです。

(4) A：こうえんの 花(はな)は きれいでしたか。

B：はい、 きれいでした。

(5) A：あおぞらどおりは にぎやかでしたか。

B：いいえ、 にぎやかでは ありませんでした。

バリエーション

(1) 学習者(がくしゅうしゃ)はグループに分(わ)かれて、名詞(めいし)と形容詞(けいようし)のリストを作(つく)る。教師(きょうし)は、いろいろな種類(しゅるい)の名詞(めいし)や形容詞(けいようし)が入(はい)るように注意(ちゅうい)する。

5-4 おいしかったですよ

活動 感想の言い方を考えて会話を完成させる。

かたち →

時間 ●●○

せつめい編

文-11　V ました

★文-12　A かったです／AN でした

★文-13　N でした

★（助-10　よ／ね）

使うことば

先週、（見る）、とても、（おもしろい）、あまり、まあまあ＊、コンサート＊、いい

談話の技術

準備するもの

手　順

1. ＜タスクシート＞の会話を読んで「～ね」、「～よ」のどちらかを選ぶ。選んだ理由も考える。
2. 正しい答えを確認する。
3. ペアになり、映画、本の名前などを自由に入れて、＜モデルテキスト＞のように会話を作る。

タスクシート

(1) A：B さんは 「タイタニック」を 見ましたか。
B：はい、見ました。Aさんは。
A：わたしも 先週 見ました。 とても ［おもしろかったですね／おもしろかったですよ］。

(2) A：B さんは 「もののけひめ」を 見ましたか。
B：いいえ。Aさんは。
A：見ました。 あまり ［おもしろくなかったですね／おもしろくなかったですよ］。

(3) A：B さんは レストランふじへ 行きましたか。
B：いいえ。Aさんは。
A：行きました。 ［まあまあでしたね／まあまあでしたよ］。

(4) A：B さんは GLAY（グレイ）の コンサートに 行きましたか。
B：ええ、行きました。Aさんは。
A：わたしも 行きました。 とても ［いい コンサートでしたね／いい コンサートでしたよ］。

＜答え＞ 1- ね、2- よ、3- よ、4- ね

バリエーション

(1) 学習者に最後の感想を自由に考えさせる。

先生へ

・「タイタニック」「もののけ姫」は 1997 年、98 年に日本ではやった映画の題名。
「レストランふじ」はレストランの名前。「GLAY」は実在の歌手のグループの名前。

5

5-5 休みのこと

活動 休みにしたこととその感想をたずねる／答える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-11　V ました

★文-12　A かったです／ AN でした

助-14　と（相手）

助-15　に（目的）

談話の技術

・応答する（よかったですね／そうですか）

準備するもの

使うことば

どう、とても、楽しい、友だち、買い物〔する〕、映画、（見る）、あまり、（おもしろい）

▲ よかったですね

手　順

1. テープを聞いて、だれが何をしたか、どうだったかメモをとる。
2. テープの内容とメモが合っているかどうか確認する。
3. ペアになり、＜モデルテキスト＞のように休みにしたこととその感想についてたずねたり答えたりする。
4. ペアの相手から聞いたことをクラスで発表する。

モデルテキスト

(1) さとう：すずきさんは、日(にち)よう日(び) 何(なに)を しましたか。

すずき：学校(がっこう)で たかはしさんと テニスを しました。

さとう：テニスは どうでしたか。

すずき：とても たのしかったです。

さとう：よかったですね。

(2) すずき：さとうさんは、日(にち)よう日(び) 何(なに)を しましたか。

さとう：おかあさんと デパートへ 買(か)いものに 行(い)きました。

すずき：何(なに)を 買(か)いましたか。

さとう：あかい かさを 買(か)いました。

すずき：よかったですね。

(3) 田中(たなか)　：わたなべさんは、土(ど)よう日(び) 何(なに)を しましたか。

わたなべ：友(とも)だちと えいがを 見(み)に 行(い)きました。

田中(たなか)　：えいがは どうでしたか。

わたなべ：あまり おもしろくなかったです。

田中(たなか)　：そうですか。

先生へ

- 会話(かいわ)の最後(さいご)では、相手(あいて)にとっていいことなら「よかったですね」と言(い)う。よくないことの場合(ばあい)は「そうですか」と相手(あいて)を気(き)づかうように言(い)うように注意(ちゅうい)する。
- 曜日(ようび)の後(あと)には「に」をつけてもよい。「せつめい編(へん)」の「助 -02 に（時(とき)）」参照(さんしょう)。

5

5-6 手紙♡

活動 休みにしたこととその感想を手紙に書く／読む。返事を書く。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

★文-11　V ました

★文-12　A かったです／AN でした

★文-13　N でした

助-14　と（相手）

助-15　に（目的）

助-16　が（接続）

談話の技術

・内容を構成する（手紙）

準備するもの

手紙を書く紙

使うことば

手紙、クラス、（友だち）、休み、（どう）、とても、楽しい、少し、つかれる、（あまり）、返事〔する〕＊、買い物〔する〕、（それから）、食事〔する〕、料理

▲ お元気ですか／（さようなら）

手　順

1. 教師と学習者全員で＜モデルテキスト＞の手紙を読む。そのときに手紙の形式を確認する。
2. 4、5人のグループに分かれる。グループごとに「休み」、「日曜日」など時を決める。
3. ＜モデルテキスト＞（1）のように、休みや日曜日など、最近したこととその感想を手紙形式で書く。
4. 教師はグループごとに手紙を集めて、学習者がほかのグループの学習者の手紙を受け取るように配る。
5. 学習者はもらった手紙を読んで、＜モデルテキスト＞（2）のように書いた学習者に返事を書く。

モデルテキスト

(1) クラスの 友(とも)だちへ

お元気(げんき)ですか。

休(やす)みは どうでしたか。わたしは おにいさんと こうえんで サッカーを しました。とても たのしかったですが、少(すこ)し つかれました。

へん事(じ)を ください。

9月(がつ)18日(にち)

トニーより

(2) トニーさんへ

お手(て)がみ、ありがとう。

わたしは 休(やす)みに かぞくと デパートへ 買(か)いものに 行(い)きました。それから、レストランで 食事(しょくじ)を しました。少(すこ)し 高(たか)かったですが、おいしい りょうりでした。

さようなら

9月(がつ)18日(にち)

シルビアより

先生へ

- ＜モデルテキスト＞のような手紙(てがみ)の構成(こうせい)を説明(せつめい)する。
  ①（相手(あいて)の名前(なまえ)）さんへ
  ② お元気(げんき)ですか。……
  ③ へんじをください。（または「さようなら」）
  ④ 日付(ひづけ)
  ⑤（書(か)いた人(ひと)の名前(なまえ)）より
- 「お手紙(てがみ)」の「お」は丁寧(ていねい)さを表(あら)わす。
- 手紙(てがみ)には、母語(ぼご)でくわしい情報(じょうほう)やコメントを書(か)き加(くわ)えてもよいことにする。

5-7 映画を見に行きませんか♡

活動 休日の活動に友だちを誘う／誘いを受ける・断る。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-14　V ましょう

★文-15　V ませんか

助-14　と（相手）

助-15　に（目的）

使うことば

街、映画、（プール）、（公園）、デパート、アイスクリーム＊、ジョギング〔する〕＊、買い物〔する〕、（見る）

▲ N はちょっと……（都合が悪いです）。

談話の技術

準備するもの

手　順

1. 学習者は下のリストの中から、休みや日曜日などに友だちとしたいことを 5 つ選んで、ノートに書く。

- テニスをします
- サッカーをします
- 街へ行きます
- 音楽を聞きます
- 映画を見に行きます
- プールで泳ぎます
- 公園でジョギングをします
- 図書館で勉強します
- アイスクリームを食べに行きます
- デパートへ買い物に行きます

2. ＜モデルテキスト＞（1）のように、ほかの学習者を 1 で選んだ活動に誘う。
3. 誘われた人は、誘われた活動が自分のリストにあったら、誘いを受ける。ない場合は断る。
4. いっしょにする人が見つかったらその人の名前をリストの項目の横に書く。同じ人の名前を 2 回以上書いてはいけない。
5. だれと何をするか、みんなの前で＜モデルテキスト＞（2）のように報告する。

モデルテキスト

（1）誘(さそ)う

A：Bさん、 日(にち)よう日(び)に テニスを しませんか。

B：はい、 しましょう。

A：Cさん、 日(にち)よう日(び)に まちへ 行(い)きませんか。

C：日(にち)よう日(び)は ちょっと……（つごうが わるいです）。

A：Dさん、 日(にち)よう日(び)に えいがを 見(み)ませんか。

D：えいがは ちょっと……。

（2）報告(ほうこく)

A：わたしは Bさんと 日(にち)よう日(び)に テニスを します。

バリエーション

（1）いっしょにする人(ひと)が早(はや)く見(み)つかった人(ひと)が勝(か)ちになるルールをつけ加(くわ)える。

（2）リストを使(つか)わないで、学習者(がくしゅうしゃ)が自由(じゆう)に誘(さそ)う内容(ないよう)を考(かんが)える。

先生へ

・＜手順(てじゅん)＞のリストが学習者(がくしゅうしゃ)にとってなじみのない場合(ばあい)は、なじみのあるものに変(か)える。

・どの学習者(がくしゅうしゃ)も誘(さそ)う役(やく)、誘(さそ)われる役(やく)になるように注意(ちゅうい)する。

5-8 さそいましょう

活動 自分で休日の活動を考えて友だちを誘う／誘いを受ける・断る。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-14　Vましょう

★文-15　Vませんか

助-15　に（目的）

談話の技術

・応答する（いいですね）

・相手の発話を聞いて話を進める（じゃあ）

・話を構成する（誘う）

準備するもの

使うことば

誘う＊、パーティー、いい、いっしょに、ホール＊、コンサート＊、いつ、忙しい、ひま、海

▲よかったら／ちょっと、都合が悪い／また今度

手順

1. テープを聞いて、会話の内容と誘うときの会話の流れや表現を確認する。
2. 学習者はいつ、どんな活動に友だちを誘いたいか考える。
3. ペアになり、＜モデルテキスト＞のように会話をする。
4. みんなの前で会話を発表する。

モデルテキスト

(1) さとう：あした、すずきさんの うちで パーティーが あります。
田中さんも 行きませんか。
田中　：いいですね。何時からですか。
さとう：7時からです。
田中　：じゃあ、いっしょに 行きましょう。

(2) わたなべ：田中さん、ABC ホールで GLAY（グレイ）の
コンサートが あります。いっしょに 行きませんか。
田中　：いつですか。
わたなべ：土よう日です。
田中　：土よう日は ちょっと、つごうが わるいです。
わたなべ：そうですか。じゃあ、また 今ど。

(3) いとう：たかはしさん、日よう日は いそがしいですか。
たかはし：いいえ、ひまです。
いとう：よかったら、海へ およぎに 行きませんか。
たかはし：いいですね。行きましょう。

先生へ

- ＜手順＞1では、はじめにイベントや行事の情報を伝えたり、相手の都合を確認してから誘うことに注意する。
- GLAY（グレイ）は実在の歌手のグループの名前。
- 映画の広告など誘う内容に関係があるものが手元にある場合はそれを使ってもよい。

5-9 ポスター♡

活動 ポスターや招待状を書く。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

★文-15　V ませんか

助-14　と（相手）

助-15　に（目的）

談話の技術

準備するもの

紙、色鉛筆やサインペンなどの道具

使うことば

ポスター＊、料理、作る、1～12月、1～31日、家庭科室＊、犬、赤ちゃん＊、パーティー、みんな、いっしょに、踊る＊、（体育館＊）

▲ みんなで

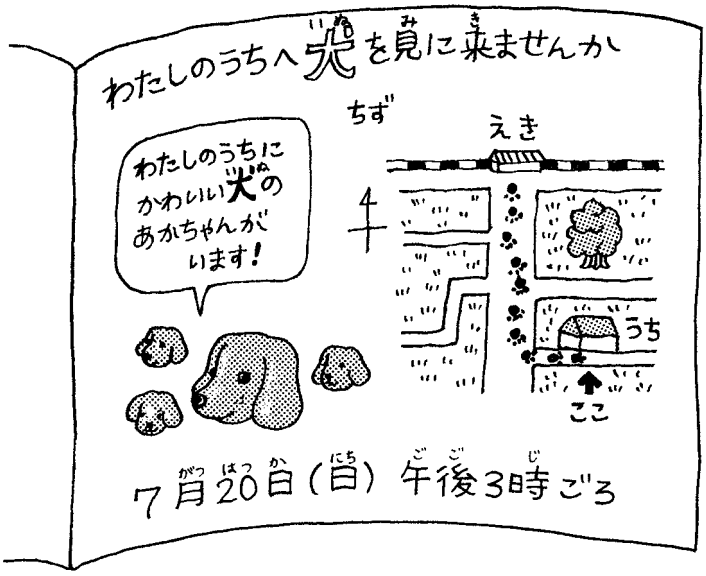
手　順

1. ＜モデルテキスト＞のポスターや招待状を読み、どんなイベントや行事か話し合う。
2. 4、5人のグループでイベントを考える。
3. ＜モデルテキスト＞を参考にしてイベントのポスターや招待状を作る。
4. 教室の壁などにはる。

モデルテキスト

（1）ポスター

（2）招待状



（3）ポスター

パーティーを　します！

みんなで　いっしょに　おどりませんか。

12月23日（金）午後4時～7時

みどり高校　たいいくかん

先生へ

- 日本語で書けない情報は母語で書いてもよいことにする。
- ＜かたち＞はクラスでもペアでもよい。

6-1 「て形」のビンゴ

活動 「て形」の動詞を聞き取る。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★活-01　Vて形

談話の技術

準備するもの

使うことば

(書く)、(読む)、立つ、座る、開ける、閉める、(見る)、話す、貸す、(行く)、(来る)、(する)、取る、教える、(勉強〔する〕)、(帰る)、(泳ぐ)、(飲む)、(浴びる)、(起きる)、(寝る)、言う、上げる、待つ、走る

手　順

1. 教師が黒板に動詞の「ます形」を16個書く。
2. 学習者はノートに4×4のます目をかき、16個の動詞の「ます形」をすきなます目の中に入れる。
3. 教師が動詞の「て形」を言う。
4. 教師が言った動詞の「ます形」に×をつける。
5. ×がたてか横かななめに4つ並んだら「ビンゴ！」と言う。最初に「ビンゴ！」と言った学習者が勝ち。
6. 「ビンゴ」と言った生徒は、×が並んだ4つの動詞の「て形」をもう一度言って、クラスで正しいかどうか確認する。

バリエーション

(1) 教師は動詞の「て形」を1つずつ書いたカードを用意する。＜手順＞3の代わりに、学習者は1人ずつ順番に裏返しのカードを取って、大きい声で読む。

(2)「て形」の代わりに「～てください」、「～ています」の文型を使う。

(3) 学習者がます目に動詞の「て形」を書き、書いた後で正しいかどうか教師といっしょに確認する。その後で教師は動詞の「ます形」を言う。

(4) 黒板に書く動詞を母語にする。

6

6-2 わたしは先生です

活動 指示を聞いて行動する。
行動を指示する。

かたち

時間 (1) ●○○
(2) ●○○

せつめい編

★文-16　Vてください
　文-18　Aく／ANにVます
★文-19　もう／まだ
　活-01　Vて形
　助-17　で（手段／材料）

談話の技術

・応答する（はい）
・相手の発話を聞いて話を進める（じゃあ）

準備するもの

使うことば

立つ、座る、開ける、（見る）、（書く）、上げる、（読む）、（～ページ）、（かたかな）、（名前）、手、言う、（きれい）、早い、もう、まだ
▲もう一度

手順

1. ＜モデルテキスト＞（1）のような教師の指示を聞いて、学習者は指示に合った行動かジェスチャーをする。
2. 学習者の1人が教師役をする。
3. ＜モデルテキスト＞（2）のように、教師役と学習者役がやりとりをしてから、指示に合ったジェスチャーをする。

モデルテキスト

教師の指示例（下線はほかのことばに変えることができる）

（1）・立って ください。

・すわって ください。

・30ページを あけて ください。

・田中さんを 見て ください。

・かたかなで 名前を 書いて ください。

・手を 上げて ください。

・35ページを 読んで ください。

・もう一ど 言って ください。

（2）A：かたかなで きれいに 名前を 書いて ください。

B：はい。（書き始める）

A：もう、書きましたか。

B：いいえ、まだです。

A：じゃあ、はやく 書いて ください。

B：（急いで書く）

A：35ページの もんだいを 読んで ください。

B：はい。（読み始める）

A：もう、読みましたか。

B：いいえ、まだです。

A：じゃあ、はやく 読んで ください。

B：（急いで読む）

バリエーション

（1）＜手順＞1でみんなが慣れたら、教師が1人の学習者を指名して、その学習者が1人でジェスチャーをする。

（2）＜手順＞2で学習者の人数が多い場合はグループに分かれて行う。

先生へ

- やさしい指示や「もう／まだ」などの質問と答えは、ふだんの授業のときくりかえして使うと学習者はよく覚える。
- ＜モデルテキスト＞の（2）は、「せつめい編」の「文-18　Aく／ANにVます」と「文-19　もう／まだ」を勉強した後で練習する。

6-3 おねがいします

活動 依頼する／依頼を受ける・断る。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-16　Vてください

活-01　Vて形

助-17　で（手段／材料）

談話の技術

- 会話を始める（すみませんが）
- 応答する（はい、いいですよ）

準備するもの

使うことば

（書く）、貸す、取る、使う、待つ、（かたかな）、閉める、開ける、（窓）、（ドア）

手　順

1. 教師は黒板に次のようなリストを日本語で書く。

- かたかなで名前を書きます
- 本を取ります
- ドアを開けます
- 窓を閉めます
- 辞書を貸します

2. ペアになって＜モデルテキスト＞のように黒板のリストを参考にして、いろいろな依頼をする。依頼された人は受けたり、断ったりする。依頼を受ける場合は依頼されたことを動作で表わすように指示する。

モデルテキスト

(1) A：すみませんが、かたかなで 名前(なまえ)を 書(か)いて くださいませんか。

B：はい、いいですよ。

A：ありがとうございます。

(2) A：すみませんが、本(ほん)を とって くださいませんか。

B：はい、 いいですよ。 どうぞ。（本(ほん)をとってわたす）

A：ありがとうございます。

(3) A：すみませんが、じ書(しょ)を かして くださいませんか。

B：はい、 いいですよ。 どうぞ。（辞書(じしょ)をわたす）

A：ありがとうございます。

(4) A：すみませんが、じ書(しょ)を かして くださいませんか。

B：すみません。わたしも つかいます。ちょっと まって ください。

A：はい。

先生へ

・練習(れんしゅう)の後(あと)で、学習者(がくしゅうしゃ)にどんなことを頼(たの)まれたか、その依頼(いらい)を受(う)けたか断(ことわ)ったかを母語(ぼご)で言(い)わせて確認(かくにん)する。

・「すみませんが」は依頼(いらい)の前置(まえお)きで、「すみません」は相手(あいて)の依頼(いらい)を断(ことわ)って申(もう)し訳(わけ)ない気持(きも)ちを表(あら)わす。「せつめい編(へん)」の「助 -16 が（接続(せつぞく)）」を参照(さんしょう)。

6-4 名前を書いてください

活動 指定した方法で名前を書くように言う／指定通りに名前を書く。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

文-16　Vてください

★文-18　Aく／ANにVます

活-01　Vて形

★助-17　で（手段／材料）

談話の技術

- 会話を始める（すみません）
- 応答する（はい、いいですよ／はい）

準備するもの

使うことば

（大きい）、（小さい）、ていねい、（きれい）、（赤い）、（黒い）、～語、（かたかな）、（書く）、（名前）

手順

1. 名前を書くときの方法を次のように黒板に書き、意味と「Vて形、Aく、ANに」などの形を確認する。

① 大きく書きます
② 小さく書きます
③ ていねいに書きます
④ きれいに書きます
⑤ 赤いペンで書きます
⑥ 黒いペンで書きます
⑦ ○○語で書きます
⑧ かたかなで書きます

2. 学習者はノートに①～⑧の番号をたてに書く。
3. 学習者は＜モデルテキスト＞（1）のように、①から⑧の方法で8人の人に名前を書くように言う。
4. 後でノートを見せながら、ペアやグループで＜モデルテキスト＞（2）のように報告をする。

モデルテキスト

（1）A：すみません、名前を 書いて ください。

B：はい、いいですよ。

A：大きく 書いて ください。

B：はい。

（2）報告

A：Bさんは 大きく 名前を 書きました。 Cさんは ていねいに 名前を 書きました。Dさんは かたかなで 名前を 書きました。…

バリエーション

（1）＜手順＞2のとき、書き方の数を決めるのではなく、時間を決めて集めた名前の数を競争する。ただし、8通りの書き方が含まれるようにする。

6-5 どこですか

活動 ほかの人が考えている場所について、質問をして当てる。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-17　Vてもいいです

活-01　Vて形

談話の技術

準備するもの

使うことば

走る、（公園）、（体育館＊）、（図書館）、病院、（プール）、（教室）、（食堂）、（読む）、（食べる）、たばこ、吸う、（寝る）、歌う、（散歩〔する〕）、話す

▲ だめです／わかりました

手　順

1. 教師は＜使うことば＞にある場所の語彙を黒板に書く。必要な場合は意味を確認する。
2. 教師は1人の学習者にほかの学習者に聞こえないように黒板に書いた場所の語彙の中から1つ言う。
3. ほかの学習者は＜モデルテキスト＞のように2の学習者に質問しながらその場所を当てる。

モデルテキスト

A：そこで サッカーを しても いいですか。

B：いいえ、 だめです。

C：そこで はしっても いいですか。

B：はい、 いいです。

D：(手を上げて) はい、 わかりました。 こうえんですか。

B：いいえ、 こうえんでは ありません。

E：(手を上げて) はい、 わかりました。 たいいくかんですか。

B：はい、 そうです。

先生へ

- この練習の「～てもいいですか。」は、許可を求めているのではなく、その場所のルールをたずねている。
- 国によって、また場所によって、してもいいことが違うので状況に合わせて問題を作る。

6

6-6 科目の名前

活動 科目の名前と絵を結びつける。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

談話の技術

準備するもの

科目を表わす絵

使うことば

科目＊、（日本語＊）、英語、数学＊、化学＊、生物＊、物理＊、社会＊、歴史＊、地理＊、美術＊、体育＊、（音楽）、～語、（名前）

手　順

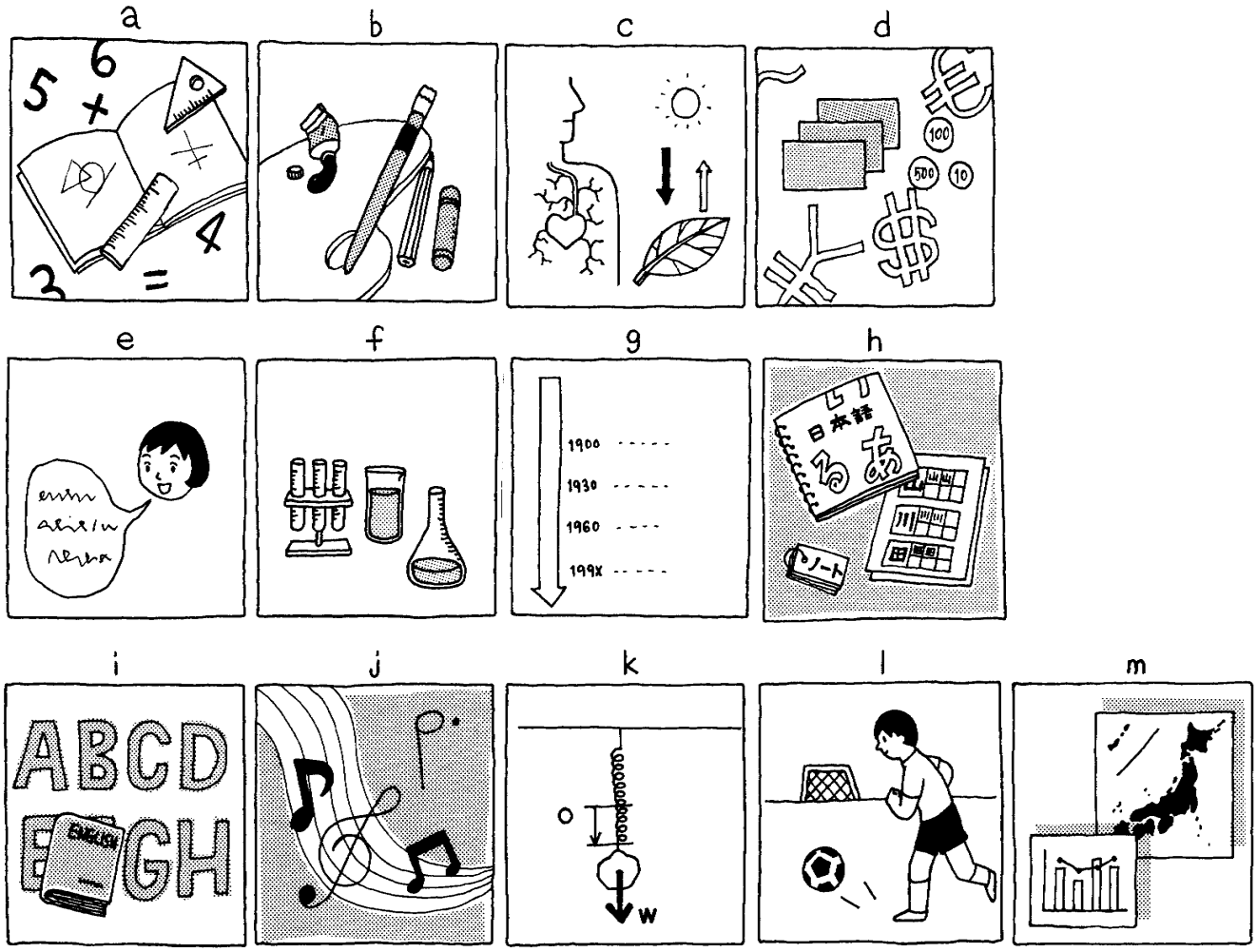
1. ＜タスクシート＞の科目名と関係のある絵を選ぶ。

タスクシート

① 日本語　（　　）	② 英語　（　　）	③ すう学　（　　）
④ か学　（　　）	⑤ 生ぶつ　（　　）	⑥ ぶつり　（　　）
⑦ 社会　（　　）	⑧ れきし　（　　）	⑨ ちり　（　　）
⑩ びじゅつ　（　　）	⑪ たいいく　（　　）	⑫ おんがく　（　　）
⑬ ～語　（　　）		

＜答え＞

① h　② i　③ a　④ f　⑤ c　⑥ k　⑦ d　⑧ g　⑨ m　⑩ b　⑪ l　⑫ j　⑬ e



バリエーション

やさしい日本語や母語で書いた説明と、日本語の科目名を結びつける。

説明例

・歌を歌います。レコードやテープやCDなどを聞きます。→音楽

・スポーツをします。→体育

・ひらがなや漢字を勉強します。→日本語

・絵をかきます。→美術

・私たちの国のことばです。→～語

・計算をします。グラフをかきます。→数学

・C、H、Clなどの記号を使います。→化学

・動物や植物について勉強します。→生物

・外国や国内のいろいろな場所について勉強します。→地理

・昔のできごとや文化を勉強します。→歴史

・振り子や光の実験をします。→物理

・経済や政治を勉強します。→社会

・アメリカやイギリスなどのことばです。第1外国語として勉強しています。→英語

先生へ

・国や学校によって科目名や科目の内容が違うので、適当に変える。

・＜タスクシート＞⑬の「～語」には学習者の母語名を入れる。

6 - 7 時間割

活動 時間割を見て、内容を確認する。
時間割を書く。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★助 -18　に（基準）

談話の技術

準備するもの

時間割

使うことば

～時間目＊、～回、（～週間）、（日本語＊）、英語、数学＊、化学＊、生物＊、物理＊、社会＊、歴史＊、地理＊、美術＊、体育＊、（音楽）、～語、科目＊

手　順

1. クラスで科目の名前を確認する。
2. 学習者は、ノートに自分のクラスの時間割を日本語で書く。
3. 学習者は、ペアになって時間割について＜モデルテキスト＞のように話す。

モデルテキスト

A：木よう日に　すう学が　ありますか。

B：はい、　あります。

A：何時間目ですか。

B：1時間目です。

A：1時間目は　何時から　何時までですか。

B：8時45分から　9時35分までです。

A：日本語は　1週間に　何回　ありますか。

B：1週間に　4回　あります。

バリエーション

（1）日本の時間割と比較する。

（日本の時間割例）

		月	火	水	木	金	土
1時間目	8：45～ 9：35	生物	体育	英語	数学	世界史	生物
2時間目	9：45～10：35	古文	生物	英語	英語	体育	数学
3時間目	10：45～11：35	現国	保健	生物	芸術	古文	英語
4時間目	11：45～12：35	世界史	世界史	数学	芸術	数学	HR
5時間目	1：15～ 2：05	コミ	生活	漢文	世界史	現国	
6時間目	2：15～ 3：05	英語	生活	英語	英語	英語	
7時間目	3：15～ 4：05				コミ		

現国＝現代国語、生物＝生物学、保健＝保健体育、

コミ＝オーラルコミュニケーション（Aural communication、英会話）、

芸術＝音楽、美術、書道から1科目を選択、古文＝日本の古典文学、漢文＝中国の文学、

世界史＝世界の歴史、HR ＝ホームルーム（クラスのミーティング）

先生へ

- ＜バリエーション＞の日本の高校の時間割例は、『日本語教育通信26号』「写真で見る日本人の生活」（1996年11月）より転載した。
- 日本の高校では時間割の「1時間」は、50分を意味する。

7-1 言えたらあげる

活動 動詞の「ます形」を見て「た形」を言う。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★活-02　V た形

談話の技術

準備するもの

カード用の紙（学習者の数× 10）

使うことば

（飲む）、（行く）、（話す）、（見る）、（ある）、（食べる）、（いる）、（泳ぐ）、（帰る）、（来る）、（する）、（読む）、（作る）、（買う）、（聞く）、（起きる）、（寝る）、（開ける）、（たつ）、（すわる）、（使う）、（書く）、（取る）、（閉める）、（浴びる）、乗る、降りる、出る、入る、歩く、曲がる、わたる、登る、着く、通る

手　順

1. 学習者にカード用の紙を一人 10 枚ずつ配る。
2. 学習者は 2 つのグループ（A、B）に分かれる。教師は、黒板にそれぞれのグループのために違う動詞の「ます形」を 10 ずつ書く。
3. 学習者は、10枚のカードの表に自分のグループの動詞の「ます形」を書く。裏にはその「た形」を書く。書いた後で、クラス全体でチェックし、間違いがあったら直す。
4. A の学習者と B の学習者でペアを作る。
5. 交互にカードの「ます形」を見せ、「た形」を言わせる。相手が正しく言えたらカードをわたす。言えなかったら正しい形を教えて、持ち主がそのまま持っている。
6. 最後にカードの枚数が多い方が勝ち。

バリエーション

（1）グループAとBで、カードを交換してもう一度やる。

（2）カードに動詞の「ます形」と「た形」を書く代わりに、母語訳と「た形」を書く。

（3）カードの枚数を増やしたり減らしたりする。

先生へ

・カードを作るのを宿題にすると、時間が節約できる。

・練習する動詞は、それまでに学習した動詞から選ぶ方法と、ブロック7の移動の動詞も含めて選ぶ方法がある。移動の動詞を入れる場合は、練習の前に意味や活用のグループを教える。

7-2 めずらしい経験♡

活動 自分の経験を言う／ほかの人の経験をたずねる。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文 -20　V たことがあります

活 -02　V た形

助 -21　に（帰着点）

使うことば

乗る、（行く）、（話す）、天ぷら、お茶、飛行機、外国、日本人＊、みなさん

談話の技術

準備するもの

手順

1. 学習者は、ほかの人がしたことがないようなことで、自分が経験したことを書く。
2. 4、5 人のグループに分かれて学習者は 1 人ずつ自分の経験を言い、同じ経験がある人がいるかどうか＜モデルテキスト＞のように、グループの人にたずねる。同じ経験がある学習者は手をあげる。
3. グループの中でいちばんめずらしい経験をした学習者は、クラスのみんなに同じ経験がある人がいるかどうか聞く。

モデルテキスト

A：わたしは 日本(にほん)の おちゃを 飲(の)んだ ことが あります。
みなさんは 日本(にほん)の おちゃを 飲(の)んだ ことが ありますか。

・てんぷらを 食(た)べた ことが あります。
・ひこうきに のった ことが あります。
・外国(がいこく)へ 行(い)った ことが あります。
・日本人(にほんじん)と 日本語(にほんご)で 話(はな)した ことが あります。

バリエーション

（1）ゲームにするために以下(いか)のような ルールを作(つく)ってもよい。
同(おな)じ経験(けいけん)がある人(ひと)、1人(ひとり)につき1点(いってん)として、点数(てんすう)を計算(けいさん)する。点数(てんすう)の少(すく)ない人(ひと)が勝(か)ち、または1番(ばん)になる。

（2）グループに分(わ)かれてたずねるのでは なく、1人(ひとり)ずつたずねて回(まわ)る。

（3）クラス全体(ぜんたい)に向(む)かって自分(じぶん)の経験(けいけん)を話(はな)し、同(おな)じ経験(けいけん)があるかどうかたずねる。

先生へ

・経験(けいけん)について書(か)くとき、未習(みしゅう)の名詞(めいし)は母語(ぼご)を使(つか)ってもよいことにする。

7-3 旅行の思い出

活動 過去の旅行について話す。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

★文-21　V たり V たりします
文-22　疑問詞 ＋ か…肯定
文-23　疑問詞 ＋ も…否定
活-02　V た形

談話の技術

・応答する（よかったですね／そうですか）

準備するもの

地図（世界地図）

使うことば

休み、ええ、冬休み＊、ハワイ＊、ローマ＊、旅行〔する〕、建物、暑い、有名、教会＊、イタリア、（海）、（そして）、（行く）

▲（よかったですね）

手順

1. テープを聞いて、だれが、どこで、何をしたか、メモを取る。
2. クラスで答えを確認する。また、質問のし方や答え方を確認する。
3. 学習者はペアになる。
4. ペアで、過去の旅行について＜モデルテキスト＞のように会話をする。行き先やそこでの行動は想像でもいい。
5. みんなの前で会話を発表する。聞いている人はだれがどこに行ったかメモを取る。教師は会話の後で、聞いていた人に内容について質問する。

モデルテキスト

(1) すずき：たかはしさん、休みに どこかへ 行きましたか。
たかはし：ええ、ハワイへ りょ行に 行きました。
すずき：ハワイで 何を しましたか。
たかはし：有名な たてものを 見たり 海で およいだり しました。
すずき：どうでしたか。
たかはし：あつかったですが、とても たのしかったです。
すずき：よかったですね。

(2) 田中　：いとうさん、冬休みに どこかへ 行きましたか。
いとう：いいえ、どこへも 行きませんでした。
田中　：そうですか。
いとう：田中さんは どこかへ 行きましたか。
田中　：はい、ローマへ 行きました。
いとう：ローマで 何を しましたか。
田中　：古い きょう会へ 行ったり、イタリアりょうりを 食べたり しました。
いとう：どうでしたか。
田中　：きょう会は とても きれいでした。そして、イタリアりょうりは おいしかったです。
いとう：よかったですね。

バリエーション

(1) 旅行の予定を話す。

先生へ

・「12-6 クイズ『日本』」(2) a の世界地図をタスクシートにして、行った人と行き先を書かせてもよい。

7-4 旅行に行きましょう♡

活動 観光地のポスターやパンフレットを書く／読む。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

文-20　Vたことがあります

文-21　VたりVたりします

活-02　Vた形

談話の技術

準備するもの

観光地の写真や絵はがき、パンフレットなど

使うことば

もうすぐ＊、たくさん、めずらしい、春、山、桜、祭り＊、近く、温泉＊、海岸＊、魚、(ダンス＊)、(踊る＊)、ダイビング〔する〕＊、(海)、のんびり＊、入る

▲ いちばん、ようこそ

手　順

1. ＜モデルテキスト＞のポスターを見て、内容を確認する。観光ポスターやパンフレットにはどのようなことが書かれているか、また旅行の行き先を決める条件としてどのようなものがあるか母語で話し合う。
2. 4、5人のグループでその国、地域の観光地や名所を決める。
3. グループで観光案内のポスターやパンフレットを作る。教師は必要な語彙を与える。難しい語彙は母語で書いてもよいことにする。
4. ポスターを教室の壁にはったり、おたがいが作ったパンフレットを読み合ったりする。どこに行きたいか話し合ってもよい。

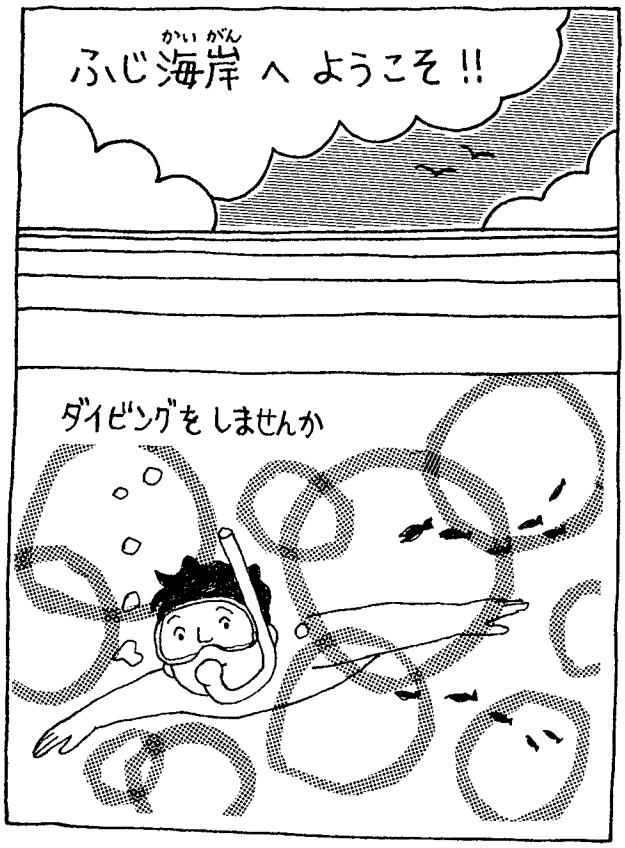
モデルテキスト

(1)　もうすぐ 春です。こだま山へ さくらを 見に 行きませんか。
こだま山の あお空こうえんに さくらが 300本ぐらい あります。
きれいな さくらを 見たり おいしい 食べものを 食べたり
しませんか。 4月1日から 5日まで さくらまつりが あります。
ちかくに あさひおんせんも あります。

(2)　ふじ海がんへ ようこそ！
おいしい 魚りょうりを 食べたり、たのしい ダンスを
おどったり しませんか。ダイビングを した ことが ありますか。
ふじ海がんの 海は せかいで いちばん きれいです。
めずらしい 魚が たくさん います。

(1)

(2)



先生へ

・国によっては広告の表現に制限がある。「せかいでいちばん～」などの表現を使うときは気をつける。

7-5 どこで・どこを・どこから

活動 与えられたことばを使って文を作る。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

（助-11　で（場所））

（助-12　から／まで）

（助-17　で（手段／材料））

★助-19　を（起点）

★助-20　を（経路）

★助-21　に（帰着点）

談話の技術

準備するもの

使うことば

駅、バス停＊、橋、道、バス、自転車、電車、車、タクシー、乗る、降りる、わたる

▲歩いて

手　順

1. 教師は①（場所）、②（乗り物）、③（動詞）の3種類のことばのリストを黒板に書く。
2. 学習者は、①②③からことばを選んで、必要な助詞を考えて、<モデルテキスト>のような文を作る。
3. 作った文を発表し、確認する。

①うち、学校、公園、駅、バス停、橋、道

②バス、自転車、電車、車、タクシー、歩いて

③乗ります、降ります、行きます、帰ります、わたります

モデルテキスト

- 駅で　電車に　のります。
- バスていで　バスを　おります。
- 駅から　こうえんまで　あるいて　行きます。
- うちまで　電車で　かえります。
- はしを　わたります。

バリエーション

（1）3人ずつのグループで、文を作る。1番目の人は、「① ＋ 助詞」を言う。2番目の人は「② ＋ 助詞」を言う（「歩いて」の場合は助詞がいらない）。3番目の人は、③の動詞を選んで文を完成させる。

（2）以下のように教師が文型を提示するとやさしくなり、基本的な練習になる。

文型 A（場所）で（乗り物）に乗る／を降りる
文型 B（場所）へ（乗り物）で行く／帰る
文型 C（場所）を（乗り物）でわたる
文型 D（場所）から（場所）まで（乗り物）で行く／帰る

先生へ

- この活動の前に名詞と助詞の組み合わせの練習が必要。たとえば、以下のような文で助詞のあなうめをするなど。助詞の必要のないところは「×」を入れる。

文型 A：駅で　電車に　乗ります。
駅で　電車を　降ります。
バス停で　バスに　乗ります。
バス停で　バスを　降ります。

文型 B：{学校／駅／公園}へ　{バス／自転車／電車／車／タクシー}で／歩いて×　行きます。
うちへ　{バス／自転車／電車／車／タクシー}で／歩いて×　帰ります。

文型 C：道を　歩いて×　わたります。
橋を　{バス／自転車／電車／車／タクシー}で／歩いて×　わたります。

文型 D：{うち／学校／公園／駅／バス停}から　{学校／公園／駅／バス停}まで　{バス／自転車／電車／車／タクシー}で／歩いて×　行きます。
{学校／公園／駅／バス停}から　うちまで　{バス／自転車／電車／車／タクシー}で／歩いて×　帰ります。

7-6 うちから学校まで

活動 移動経路について聞く／書く。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

（助-12　から／まで）
（助-17　で（手段／材料））
★助-19　を（起点）
★助-20　を（経路）
★助-21　に（帰着点）

談話の技術

準備するもの

使うことば

出る、歩く、かかる、乗る、降りる、着く、わたる、通る、（毎朝）、分、（それから）、（そして＊）、駅、電車、バス停＊、バス、橋、（病院）、（前）、入口、～つ目、～通り＊
▲歩いて

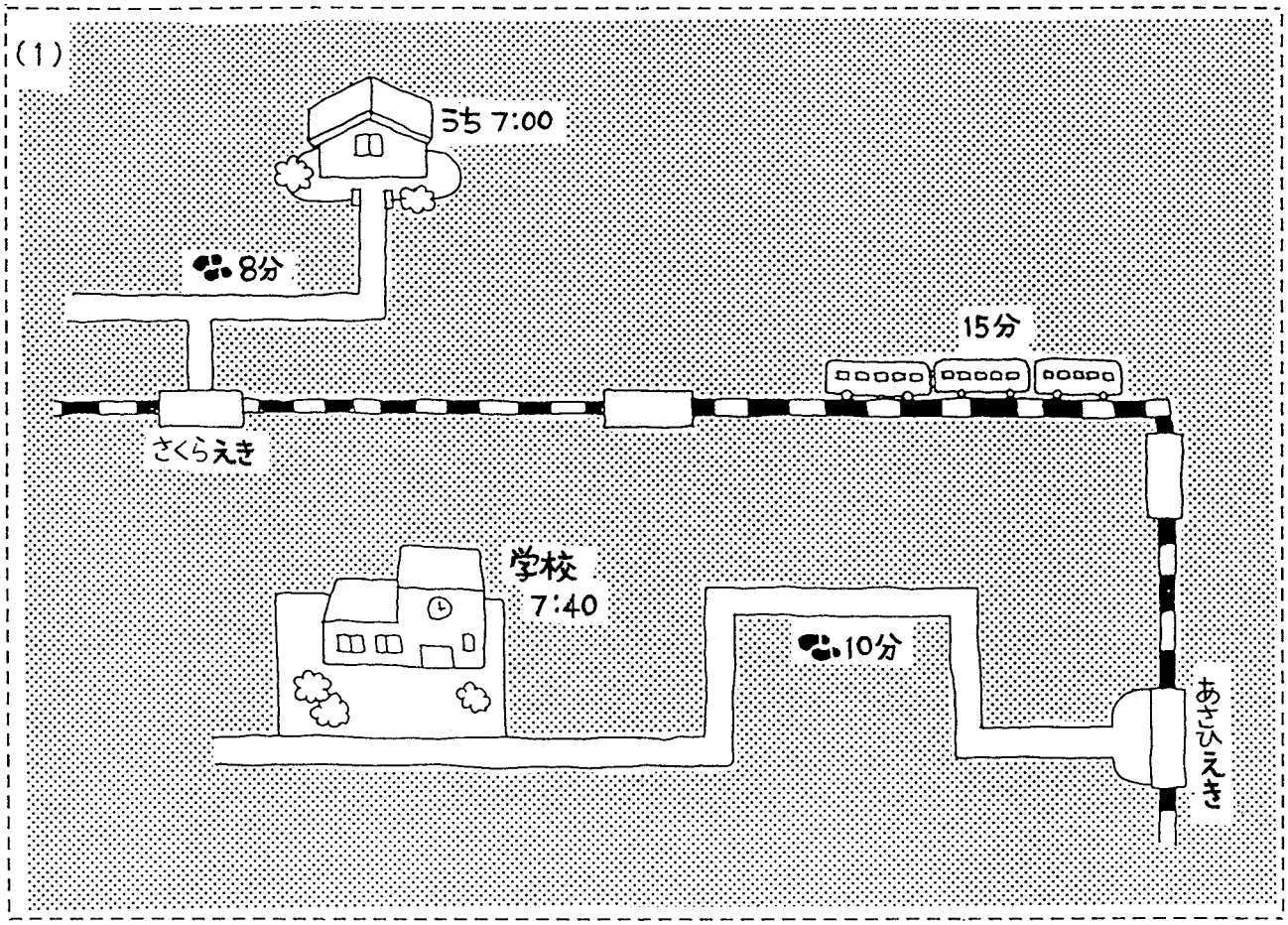
手　順

1. 交通、移動の語彙や表現を確認する。
2. (1) (2) の地図を見ながらテープを聞く。
3. ＜モデルテキスト＞ (1) のテープを聞きながら、＜タスクシート＞ (1) または (2) に答えを書く。
4. 地図を見ながら、＜タスクシート＞の文の内容を確認する。ことばや文型も確認する。
5. ＜モデルテキスト＞のように地図と道順の説明を書く。
6. クラスで地図を見せながらみんなの前で発表する。

モデルテキスト

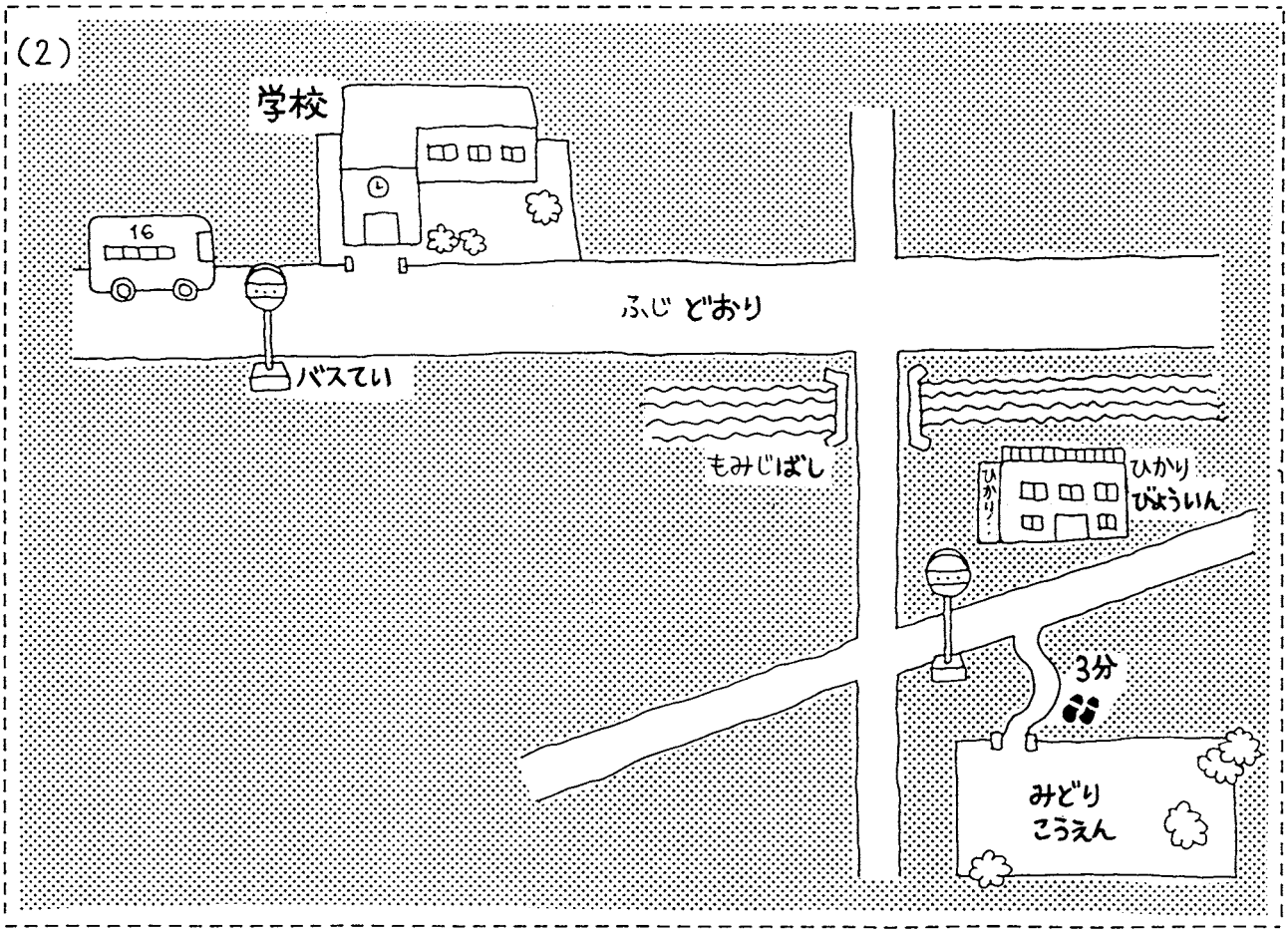
（1）わたしの うちから 学校まで

わたしは 毎朝 7時に うちを 出ます。 うちから さくら駅まで あるきます。 8分ぐらい かかります。 さくら駅で 電車に のります。 15分ぐらい 電車に のります。 さくら駅から 三つ目の あさひ駅で 電車を おります。 あさひ駅から 学校まで あるいて 10分ぐらいです。 たいてい 7時40分ごろ 学校に つきます。



(2) 学校から みどりこうえんまで

学校の 前に バスていが あります。そこで 16ばんの バスに のります。バスは ふじどおりを とおります。それから、もみじばしを わたります。ひかりびょういんの 前で バスを おります。そして、3分ぐらい あるきます。みどりこうえんの 入口に つきます。



タスクシート

（1）1 助詞を入れる

わたしは 毎朝7時に うち （　　） 出ます。 うちから
さくら駅（　　）あるきます。 8分ぐらい かかります。
さくら駅で 電車（　　）のります。 15分ぐらい 電車（　　）
のります。さくら駅から 三つ目の あさひ駅で 電車（　　）おりま
す。 あさひ駅（　　） 学校まで あるいて 10分ぐらいです。
たいてい 7時40分ごろ 学校（　　）つきます。

（1）2 動詞を入れる

わたしは 毎朝7時に うちを（　　）。 うちから
さくら駅まで（　　）。 8分ぐらい（　　）。
さくら駅から 電車に（　　）。 15分ぐらい 電車に
（　　）。さくら駅から 三つ目の あさひ駅で 電車を
（　　）。 あさひ駅から 学校まで あるいて 10分ぐらいです。
たいてい 7時40分ごろ 学校に （　　）。

バリエーション

（1）＜モデルテキスト＞(2) について (1)
と同じようなタスクシート作って
練習する。

先生へ

・うちから学校までの行き方が学生の間であまり変化がない場合は、＜モデルテキスト＞（2）のように、学校またはうちから、公園や駅、大きいデパートなど学習者が知っている場所への行き方にする。

7-7 駅はどこですか

活動 ペアで情報の違う地図を持って、行き方をたずねる／教える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★助 -20　を（経路）

談話の技術

- 会話を始める（すみません）
- 会話を終わる（どうもありがとうございました）
- 応答する（いいえ、どういたしまして）
- 確認する（～ですね）

準備するもの

使うことば

駅、角、そば、（前）、右、まっすぐ、左、郵便局、スーパー＊、花屋、交番、橋、わたる、～つ目、（デパート）、曲がる、（それから）、（図書館）、映画館

▲ いいえ、どういたしまして

手　順

1. ＜モデルテキスト＞にある行き方をたずねたり、教えたりするときの表現を確認する。
2. 学習者はペアになって、それぞれ A または B の地図を持つ。
3. 地図の上に書いてある、わからない場所への行き方をペアの相手にたずねる。相手は＜モデルテキスト＞のように行き方を教える。
4. 3 でたずねた人は場所がわかったら、その名前を地図に書き込む。
5. 役割を交替する。
6. 全部の場所がわかったら、おたがいに地図を見せて確認する。

モデルテキスト

A：すみません、デパートは　どこですか。

B：デパートですか。まっすぐ　行(い)って　ください。二(ふた)つ目(め)の
かどを　みぎに　まがって　ください。

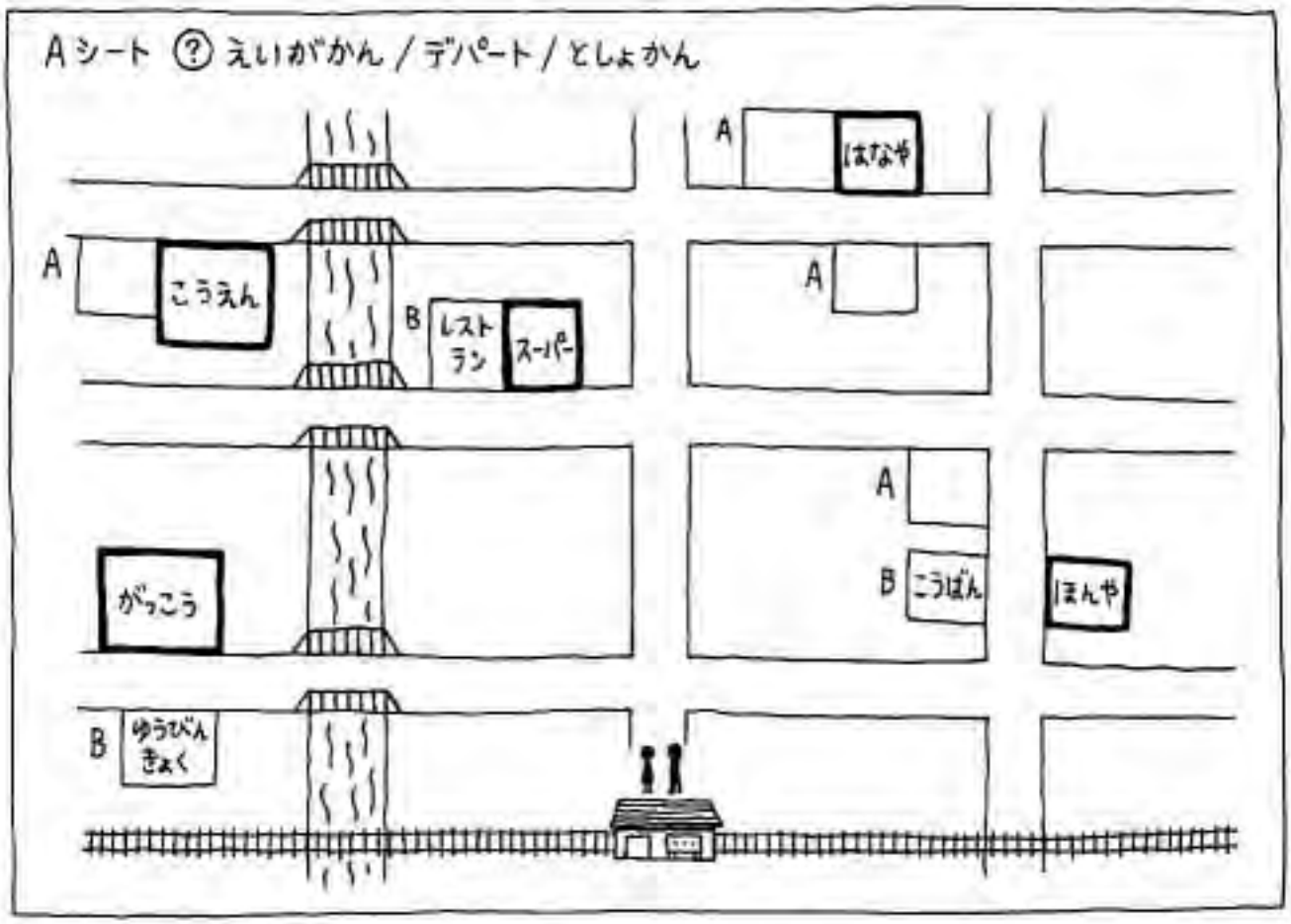
A：二(ふた)つ目(め)の　かどを　みぎですね。

B：はい。それから、まっすぐ　行(い)って　ください。デパートは
一(ひと)つ目(め)の　かどに　あります。

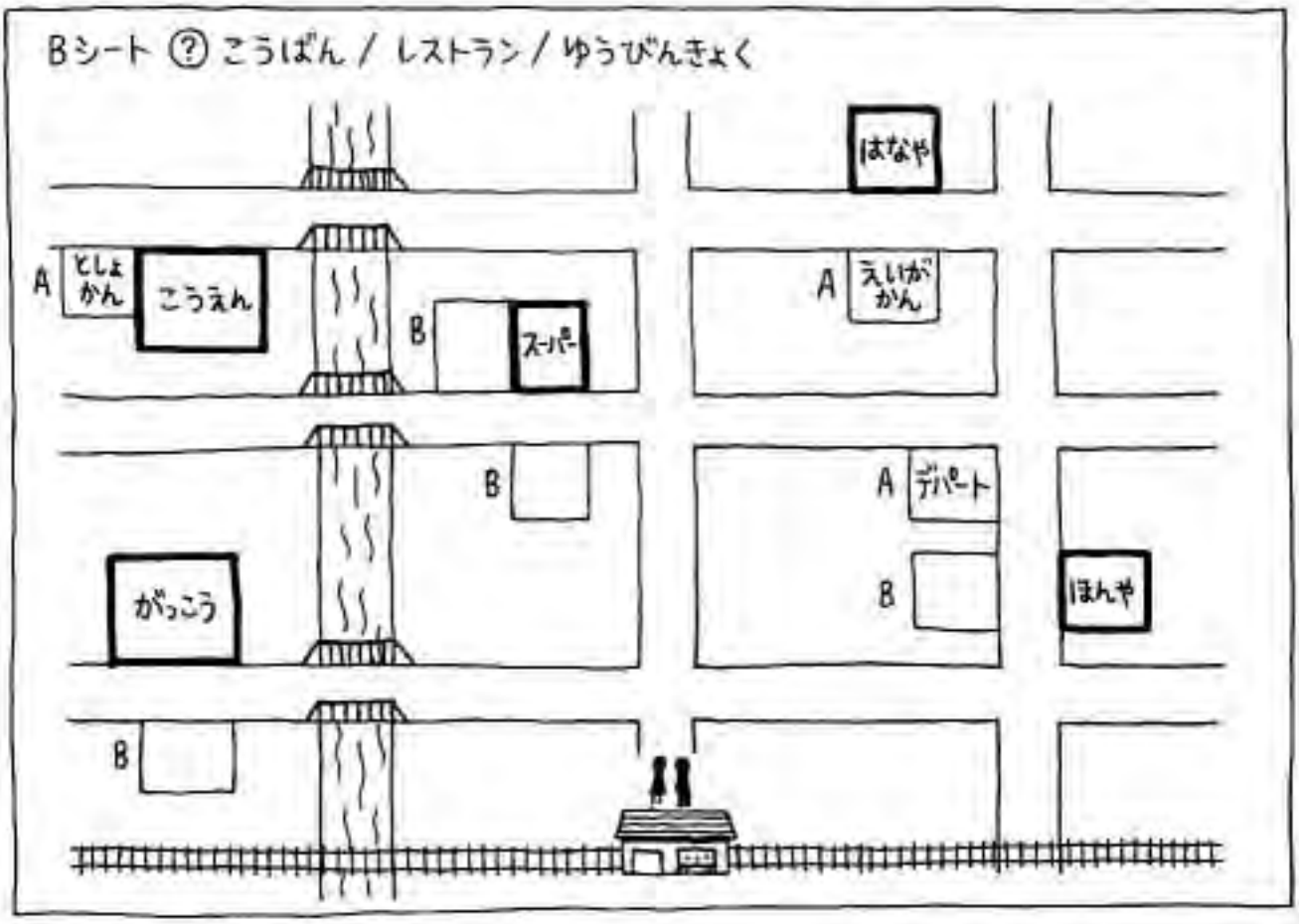
A：一(ひと)つ目(め)の　かどですね。どうも　ありがとうございました。

B：いいえ、どういたしまして。

Aシート ? えいがかん / デパート / としょかん



Bシート ? こうばん / レストラン / ゆうびんきょく



7-8 どのコースがいいですか

活動 旅行のコースの説明を読んで すきなコースを選ぶ。

かたち →

時間 ●●○

せつめい編

（助 -12　から／まで）
（助 -17　で（手段／材料）
助 -20　を（経路）
助 -21　に（帰着点）

談話の技術

準備するもの

使うことば

半日、コース＊、川、（海）、山、海岸、道、滝＊、旅行〔する〕、見学〔する〕＊、バス、電車、船＊、ロープウェイ＊、昼ごはん、魚、えび＊、水族館＊、後ろ、近く、（中）、かかる、（それから）、村、岸、そば、わたる、乗る、歩く、登る、（行く）、（帰る）

手　順

1. 学習者は＜モデルテキスト＞を読んで、教師と内容や表現などを確認する。
2. 3つのコースの中からどこへ行きたいか、なぜそれを選んだかクラスで母語で話し合う。

モデルテキスト

コースA　さくら川への 半日コース

みどり村まで バスで 行きます。3時間ぐらい かかります。
バスで さくら川を わたります。みどり村から あさひ村まで ふねで
行きます。1時間ぐらい ふねに のります。それから、レストランで
ひるごはんを 食べます。ひるごはんの 後、バスで かえります。

コースB　ふじ海がんへの 半日コース

もみじ村まで 電車に のります。2時間ぐらい かかります。
海の ちかくの 道を 1時間半ぐらい あるきます。海がんで
魚や えびなどの りょうりを 食べます。水ぞくかんを
見学します。電車で かえります。

コースC　ひかり山への 半日コース

あおぞら村まで 電車に のります。2時間半ぐらい かかります。
あおぞら村から こだまたきまで 山の 中の 道を 1時間ぐらい
あるきます。たきの そばから ロープウェイで 山に のぼります。
電車で かえります。ひるごはんは ありません。

バリエーション

(1) コースを図にかく。
(2) 料金をつけて、選ぶ条件の1つにする。

8-1 辞書形の練習

活動 辞書形を確認し、覚えるためのゲームをする。

かたち (1) (2)

時間 (1) ●○○ (2) ●○○

せつめい編

★活-03　V辞書形

談話の技術

準備するもの

動詞の絵カード

使うことば

集める、とる、折る、働く、会う、泊まる＊、(乗る)、(旅行する)、(行く)、(来る)、(寝る)、(書く)、(見る)、(読む)、(聞く)、(歌う)、(食べる)、(泳ぐ)、(作る)、(買う)、(飲む)、(帰る)、(教える)、(貸す)、(降りる)、(入る)、(出る)、(わたる)、(座る)、(立つ)、(開ける)、(閉める)、(使う)、(話す)、写真、折り紙

手順

(1) クラスの練習

1. 教師は、学習者に動詞の絵カードを見せたり、ジェスチャーをしたりしてキューを出す。
2. 学習者は、教師の示した動詞の「ます形」と辞書形を言う。

(2) ○×ゲーム

1. 学習者はペアになって、2人で5×5のます目のシートを1枚作る。
2. 学習者は1つのます目に、1つの動詞を「ます形」で書く。25のます目をうめる。
3. 各ペアで○をかく人、×をかく人を決める。
4. 1人ずつ動詞の辞書形を言って、聞いた動詞の「ます形」に3で決めた○と×をつける。たて、横、ななめ、どれでも自分のマークが5つ並んだ方が勝ち。

バリエーション

（1）＜手順＞（2）のバリエーション

クラスを2つに分けて、○×ゲームをする。

（2）その他の辞書形の練習

＜バリエーションの手順＞

1. 学習者は、今までに学習した動詞を順番に「ます形」で言う。
2. 教師は 学習者の言った動詞を黒板に書く。
3. 学習者は前の人が言った動詞の辞書形を言って、次の人の問題として「ます形」を言う。

例） 教師：行きます

A：行く、食べます

B：食べる、飲みます

C：飲む、話します……

先生へ

・『日本語教育通信18号』の「授業のヒント」（1994年2月）に○×ゲームのくわしい説明とそのほかの動詞の活用練習がある。

8

8-2 趣味は何ですか

活動 ジェスチャーを見て、その人の趣味を当てる。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文-25　Vこと
活-03　V辞書形

談話の技術

準備するもの

使うことば

趣味、切手を集める、写真をとる、絵をかく、歌を（歌う）、（作る）、（する）、バスケットボール＊

手順

1. クラスを2つのチームに分ける。
2. 一方のチームから学習者が1人出て、趣味がわかるようなジェスチャーをする。
3. ほかの人はジェスチャーを見て、＜モデルテキスト＞のような文型を使って趣味を当てる。
4. 趣味が当たったら、その人のいるチームが1点をもらって、そのチームから次のジェスチャーをする人が出る。
5. 同じように2～4をくりかえす。
6. 時間か回数を決めて最後に点数が多いチームが勝ち。

モデルテキスト

田中(たなか)さんの しゅみは きっ手(て)を あつめる ことです。

ジョーさんは えいがを 見(み)る ことが すきです。

先生へ

・多少(たしょう)、不自然(ふしぜん)ではあるかもしれないが、練習(れんしゅう)のために、趣味(しゅみ)がテニスなどの場合(ばあい)は、「テニスです。」ではなく、「テニスをすることです。」と書(か)かせる。

8

8-3 友だちと何をしますか

活動 文章とグラフを読んで理解する。クラスで同じ調査をする。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

文-25　Vこと
活-03　V辞書形

談話の技術

準備するもの

使うことば

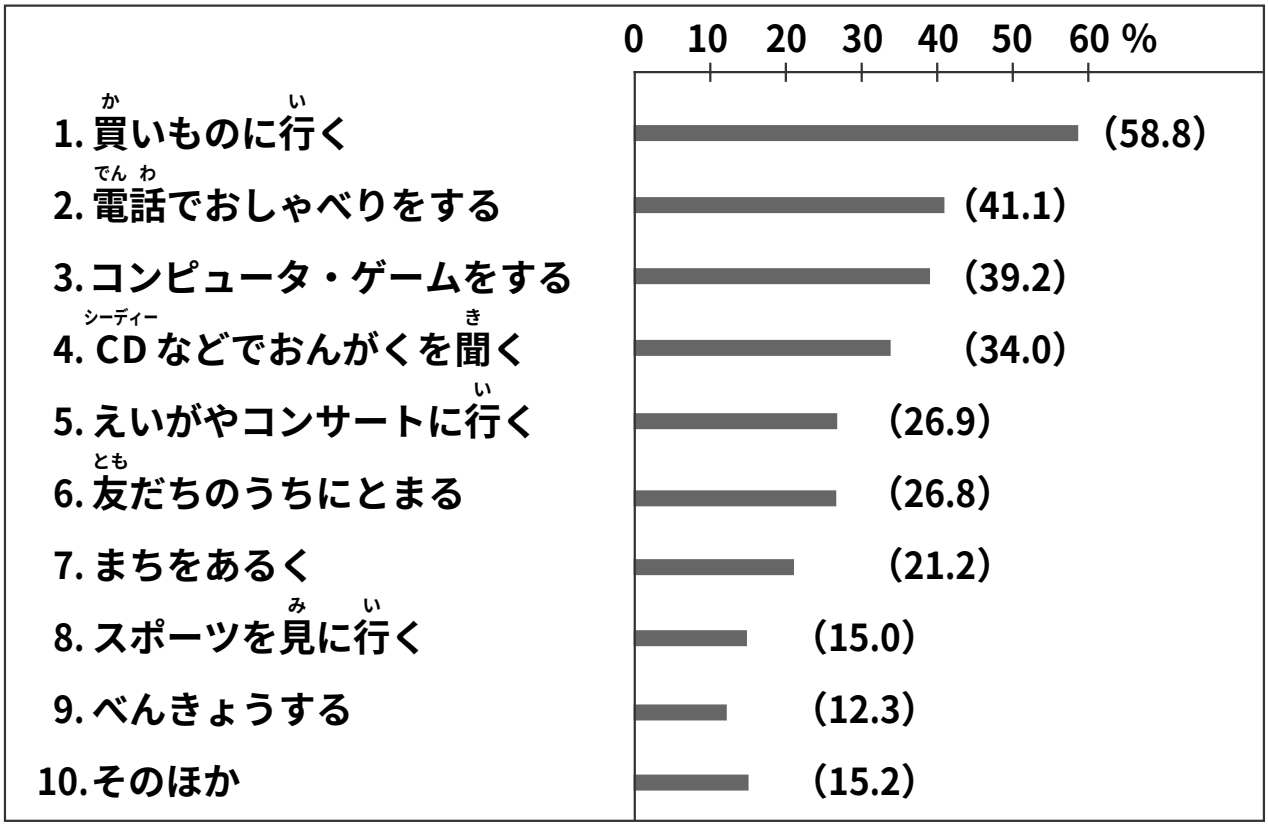
グラフ、答え、高校生、電話〔する〕、おしゃべり＊、コンピュータゲーム＊、泊まる＊、街、その他＊、（クラス）、結果＊、会う、生徒
▲ ～と比べる

手　順

1. ＜モデルテキスト＞を読む前に次のことについてクラスで母語で話す。
   - 休みの日に友だちと会うかどうか。
   - 友だちと会う人は、いっしょに何をするか。
2. ＜モデルテキスト＞とグラフを読む。
3. クラスでグラフの項目について調べ、人数を確認する。
4. 3の結果を見て、人数の多い順にグラフにする。
5. ＜タスクシート＞の（　）の中に適当なことばを入れて自分のクラスについて文章を作る。

モデルテキスト

みなさんは、休みの日に友だちと何をしますか。下のグラフは日本の高校生のこたえです。日本の高校生は、休みの日に友だちと買いものに行ったり、会っておしゃべりをしたりします。電話のおしゃべりやいっしょにおんがくを聞くこともすきです。みなさんのこたえとくらべましょう。



タスクシート

みなさんは、休みの 日に 友だちと 何を しますか。この グラフは（　　）高校（　　）クラスの 生との こたえです。（　　）クラスの 生とは、休みの 日に 友だちと（　　）たり（　　）たりします。（　　）ことや（　　）ことも すきです。

バリエーション

(1) 日本の高校生と比べて、順位など同じところや違うところを見つける。母語で違う理由を考える。

先生へ

・上のグラフは『青少年教育データブック』(国立オリンピック記念青少年総合センター) の「友だちと休日によくしていること」を参考に作った。

8-4 友だちはどの人ですか

活動 人の行動や服装を説明して、どの人か当てさせる／当てる。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-24　Vています

談話の技術

準備するもの

使うことば

（本を読む）、折り紙＊を折る＊、歌を歌う、（寝る）、（テープを聞く）、絵をかく、（手紙を書く）、めがねをかける、（スカート）をはく、（ズボン）をはく、（パンを食べる）、（ジュースを飲む）

手　順

1. ペアになって、それぞれAまたはBのシートを持つ。
2. ＜モデルテキスト＞のようにペアの相手に絵の人の名前を言って、その人がしていることを説明する。
3. おたがいにシートの人の名前が全部わかるようにする。

モデルテキスト

A：マリーさんは　うたを　うたって　います。

B：マリーさんは　4ばんの　人ですか。

A：はい、　そうです。

A：アルンさんは　めがねを　かけています。

B：アルンさんは　5ばんの　人ですか。

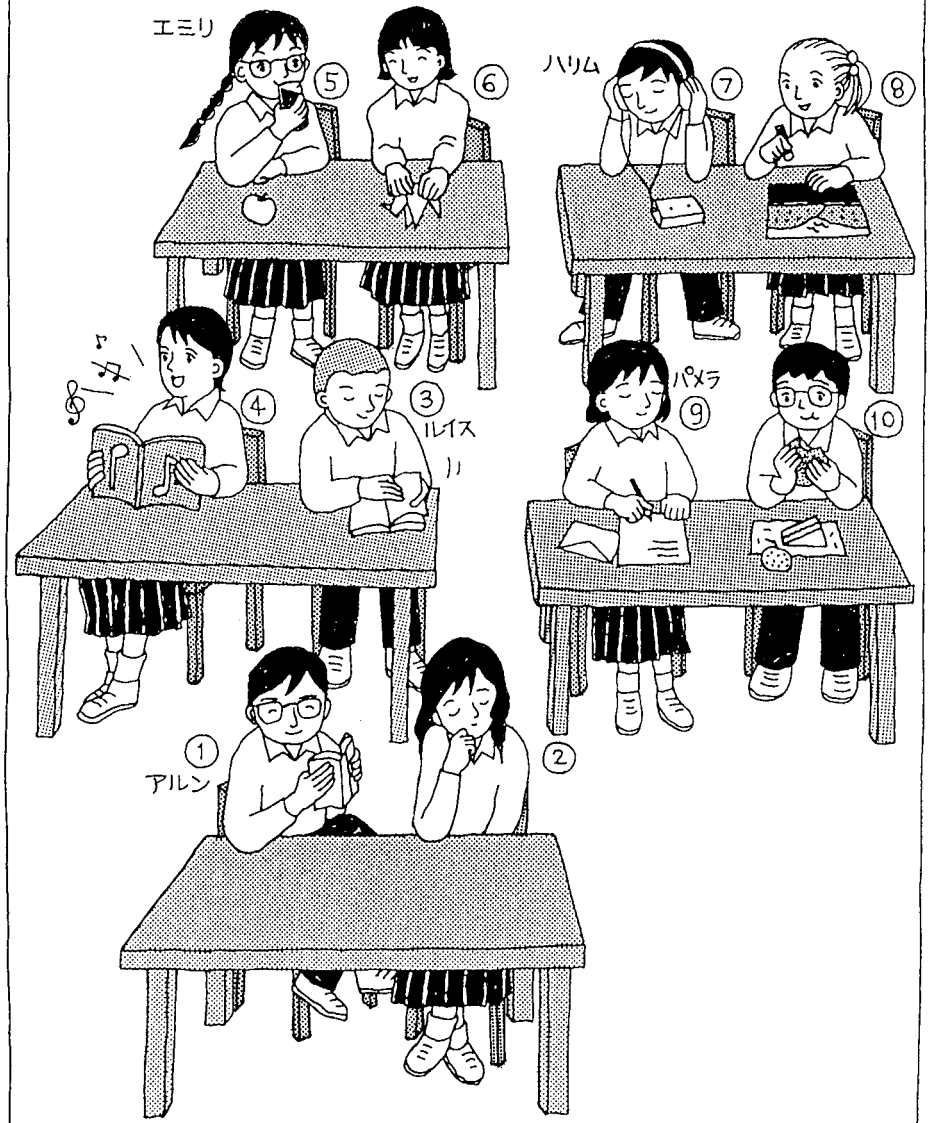
A：いいえ、　ちがいます。

バリエーション

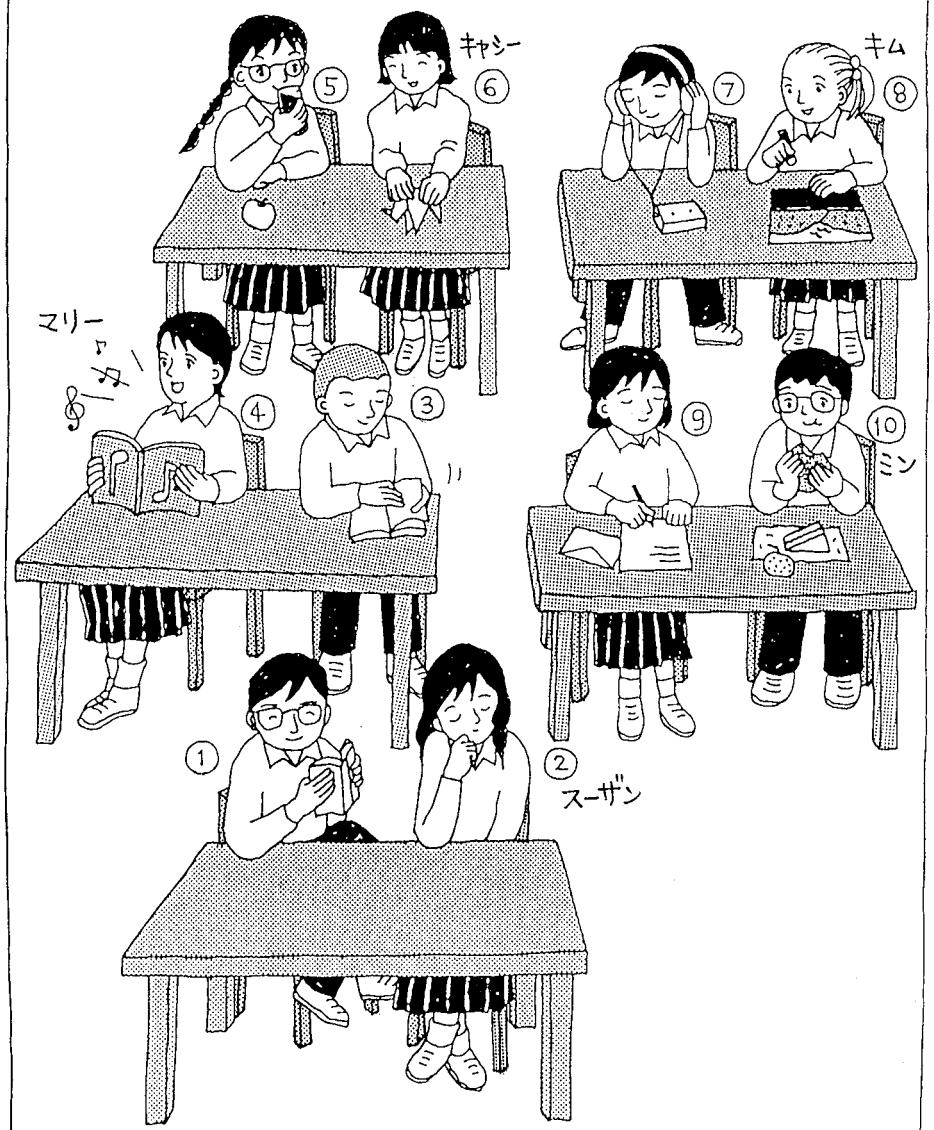
（1）名前と人の説明（何をしているか、何を身につけているか）を紙に書いて、交換する。

（2）絵の中にいる全員の名前を両方のシートの下に書いておく。どの人かわからない人について質問する。質問の文型は「～さんは何をしていますか」または「～さんは歌を歌っていますか」のどちらかに決める。

A


エミリ
⑤
⑥
ハリム
⑦
⑧
④
③
ルイス
パメラ
⑨
⑩
①
アルン
②

B


⑤
キャシー
⑥
⑦
キム
⑧
マリー
④
③
⑨
⑩
ミン
①
②
スーザン

8-5 アルバイト

活動 最近の様子を知らせる手紙を読んで、返事を書く。

かたち

時間 ●●●+

せつめい編

文-24　Vています

助-22　が（主語）

助-23　は

助-24　だけ

助-25　から（理由）

談話の技術

・内容を構成する（手紙）

準備するもの

使うことば

（アルバイト＊）、終わる、こちら、そちら、今日、レジ＊、仕事、働く、お金、CDプレーヤー＊、うれしい＊、（前）、

では、また

▲（お元気ですか）／～について

手　順

1. 読む前に下のどちらかについて話し合う。話し合いに母語を使用してもよい。
   - 外国の高校生に手紙を書くとしたら、自分の日常生活のことでどんなことを書くか。
   - アルバイトの経験について。（時期、仕事の種類、もらったお金の使い方、よかったことなど）
2. 日本の高校生からもらった手紙として、＜モデルテキスト＞を読む。
3. 語彙、表現、内容の確認をする。
4. 自分の日常生活かアルバイトの経験について＜タスクシート＞の書き出しを使って手紙を書く。書く相手は「田中のりおさん（＜モデルテキスト＞の手紙の書き手）」か友だちにする。

モデルテキスト

いとうさとこさんへ

　お元気ですか。夏休みが おわりましたが、こちらは まだあついです。そちらは どうですか。

　きょうは、わたしの アルバイトについて 書きます。わたしは夏休みに アルバイトを しました。スーパーの レジの し事でした。1週間に 3日だけ、日よう日と 水よう日と 土よう日にはたらきました。1日に 5時間 し事を しました。

　アルバイトの お金で CDプレーヤーを 買いました。前からとても ほしかったですから、とても うれしいです。これで 毎日すきな おんがくを 聞いて います。

　いとうさんは アルバイトを した ことが ありますか。

　では、また お手がみを ください。さようなら。

1999年9月30日

田中のりおより

8

タスクシート

（手紙例 1）

A さんへ

お元気ですか。

きょうは（　　）に ついて 書きます。……

（手紙例 2）

田中のりおさんへ

お手がみ ありがとう。

わたしも アルバイトを した ことが あります。……

先生へ

・日本語の手紙では、最初のあいさつと本文の間に、季節やその時期の自分の日常のことについて書くことが多い。季節の変化が少ないところでは「もうすぐテストがあります。毎晩遅くまで勉強しています。」などのような行事やできごとに関係があることを書いてもよい。

・ 手紙の構成については「5-6 手紙」を参照。

8-6 もしもし

活動 電話の会話を聞いて正しいメモを選ぶ。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

（助 -16　が（接続））

助 -22　が（主語）

談話の技術

- 話を構成する（電話）
- 順番をわたす（～が）
- 確認する（～ですね）
- 相手の発話を聞いて話を進める（じゃあ）
- 間をとる（ええと）

準備するもの

使うことば

もしもし、お宅＊、あした、ハイキング＊、変わる＊、待ち合わせ＊、場所＊、変える＊、～階、喫茶店、ええと、伝言＊、今晩、電話〔する〕、番号、それでは

▲ ～をお願いします／（またあした）／～という～／電話がほしいんですが／よろしくお願いします／失礼します

手　順

1. クラスで母語での電話の会話のし方を確認する。そして、日本語の電話の会話のし方を説明する。電話をした相手がいないときは伝言を残すことと、伝言のし方を説明する。
2. 学習者はテープの電話の会話（1）を聞いて、正しいメモを a、b、c の中から 1 つ選ぶ。教師と学習者は、会話の内容と選んだメモが合っているかどうか確認する。
3. （2）（3）の会話について（1）の会話と同じようにくりかえす。

モデルテキスト

(1)

さとう：もしもし、すずきさんの　おたくですか。

すずき：はい、そうですが。

さとう：あさひ高校の　さとうですが、ゆかりさんを　おねがいします。

すずき：わたしです。

さとう：あしたの　ハイキングですが、　時間が　かわりました。　7時半に
　　ふじ駅へ　来てください。

すずき：7時半に　ふじ駅ですね。　わかりました。

さとう：じゃあ、　また　あしたね。　さようなら。

すずき：ありがとう。　また　あした。

(2)

わたなべ：もしもし、田中さんの　おたくですか。

田中　：はい、そうですが。

わたなべ：ひかり高校の　わたなべですが、のりおさんを　おねがいします。

田中　：わたしです。

わたなべ：あしたの　まちあわせですが、ばしょを　かえても　いいですか。

田中　：どこですか。

わたなべ：こだまデパートの　1かいの　「さくら」という　きっさ店です。

田中　：こだまデパートの　「さくら」ですね。　ええと、　時間は…。

わたなべ：2時です。

田中　：2時に　「さくら」ですね。　わかりました。

わたなべ：じゃあ、また　あした。

田中　：また　あした。

8

(3)

いとう：もしもし、 たかはしさんの おたくですか。

たかはし：はい、 そうですが。

いとう：ふじ高校(こうこう)の いとうですが、 かおるさんを おねがいします。

たかはし：かおるは 今(いま) いませんが…。

いとう：そうですか。 じゃあ、 でん言(ごん)を おねがいしたいんですが…。

たかはし：はい、 いいですよ。

いとう：今晩(こんばん)、 電話(でんわ)が ほしいんですが…。 電話(でんわ)ばんごうは、

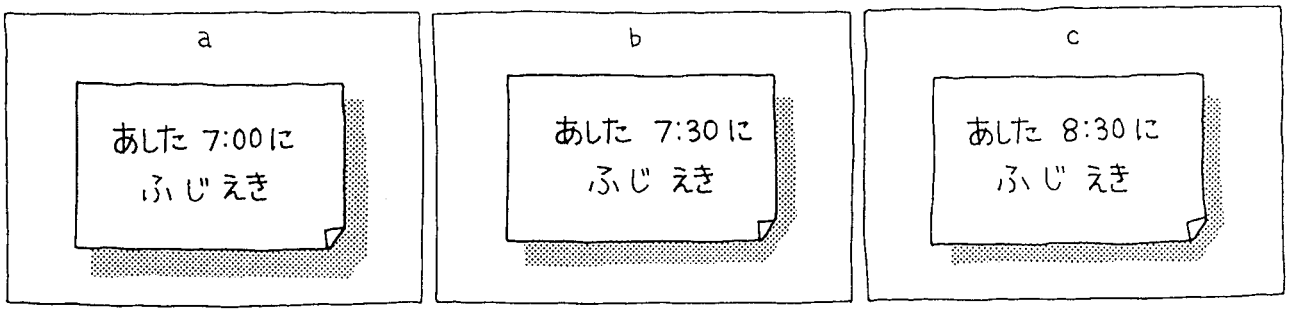
321-4576 です。

たかはし：いとう さんですね。 電話(でんわ)ばんごうは、 321-4576。 わかりました。

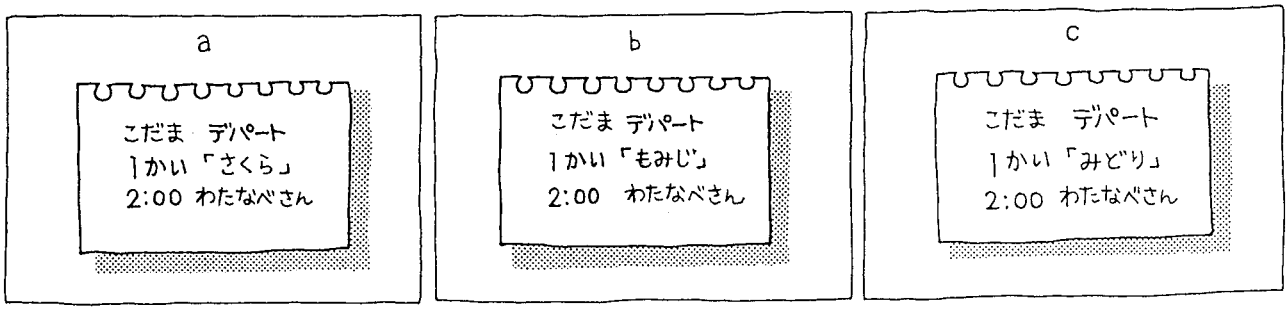
いとう：よろしく おねがいします。 それでは、 しつれいします。

たかはし：はい、 さようなら。

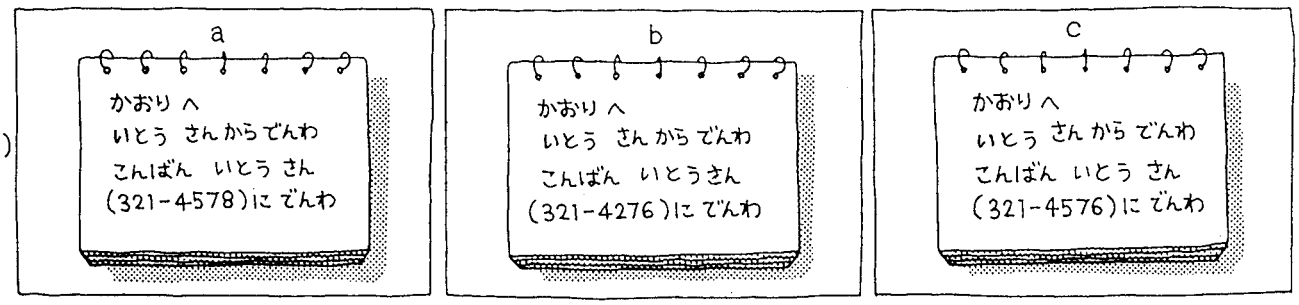
(1)



(2)



(3)



<答え(こた)>

(1) b (2) a (3) c

バリエーション

（1）学習者がメモを書く。日本語でも母語でもよい。

（2）学習者がペアやグループで電話の会話を作り、発表する。ほかの学習者はその会話を聞いて、メモを作る。

先生へ

・電話の会話は下のような構成である。

① もしもし～さんのお宅ですか。（相手の確認）

② ～ですが、～さんをお願いします。
（自分の名前を言って、話したい人を電話のところに呼んでもらう。）

③（用件を話す）

④ じゃあ、またあした。／それでは、失礼します。（終わりのあいさつ）

・▲の「電話がほしいんですが」の意味は「電話をかけてほしい」という意味であることに注意。

・（3）の電話番号「321-4576」は「サン・ニー・イチ・ノ・ヨン・ゴー・ナナ・ロク」と言う。電話番号を言うとき、「2」「5」はそれぞれ「ニー」「ゴー」と2拍になり、「ー」は「ノ」と言う。また、「0」は「ゼロ」、「レイ」の2通りの言い方がある。

8-7 日本の学校制度

活動 日本の学校制度の説明文を読む。自分の国の制度について書く。

かたち

時間 ●●●+

せつめい編

助 -22　が（主語）

助 -23　は

談話の技術

準備するもの

使うことば

制度＊、子ども、～歳、（小学校＊）、（入る）、～年間、国語＊、算数＊、理科＊、など、（教える）、外国語＊、（クラス）、ほとんど、後、中学校、始まる、（違う）、義務教育＊、ふつう、入学試験、おおぜい、受ける＊、短期大学＊、専門学校＊、～制＊

▲ ～によって／V（辞書形）ことがあります／～と言います

手　順

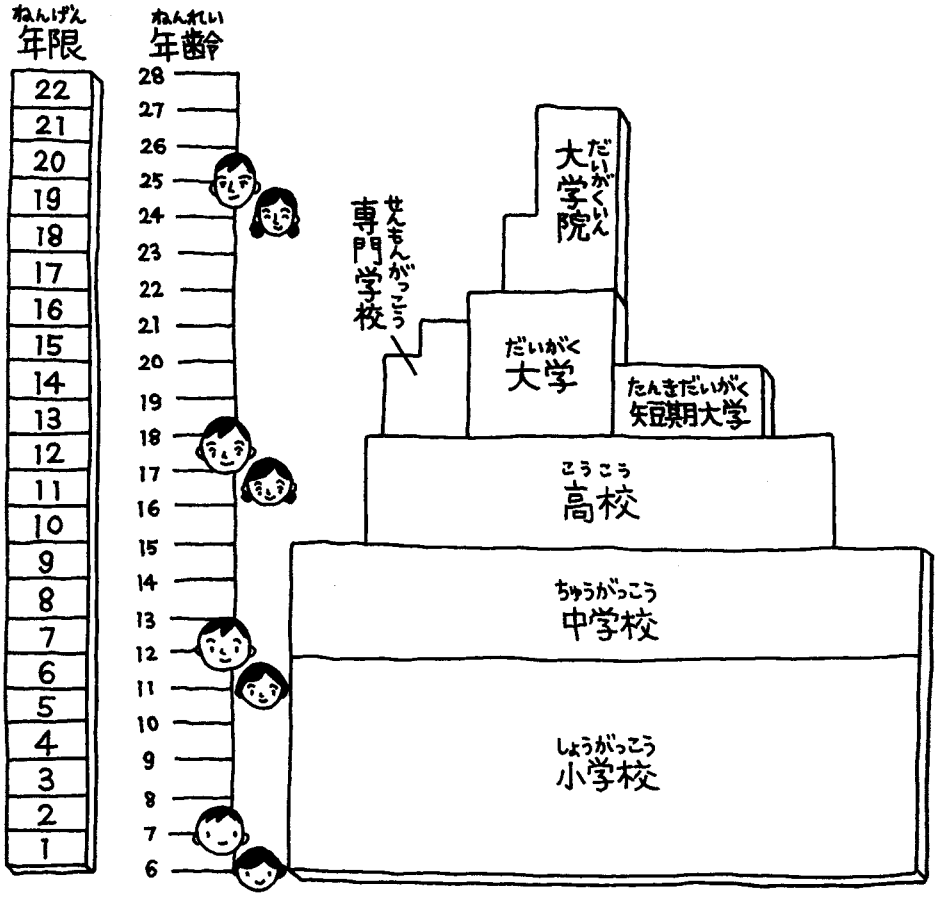
1. 読む前に自分の国の学校制度について確認する。後で日本の学校制度と比較できるように同じ形式の図をかいてもよい。
2. 自分の国の学校制度について確認しながら、学校の名前や「入学」、「卒業」などの語彙を導入する。
3. テキストを読む。
4. 日本の学校制度を図に書く。
5. 1の図と＜モデルテキスト＞を参考にして、自分の国の学校制度について文章を書く。

モデルテキスト

日本の 子どもは 6さいの とき、小学校に 入ります。小学校で 6年間べんきょうします。か目には、国語や、さんすう、りか、社会などがあります。クラスの 先生が、ほとんどの か目を おしえます。

小学校の 後、中学校に 入ります。中学校は 3年間です。中学校でも 国語や すう学、りか、社会などを べんきょうします。外国語の べんきょうも はじまります。 ほとんどの 生とが 英語を べんきょうします。か目によって 先生が ちがいます。小学校と 中学校はぎむきょういくです。

中学校の 後、 ほとんどの 生とが 高校へ 行きます。ふつう 入学しけんが あります。高校も 3年間です。高校でも 英語をべんきょうします。ほかの 外国語を べんきょうする ことも あります。高校の 後、 おおぜいの せいとが、 入学しけんを うけます。そして、大学や たんき大学、せんもん学校などに 行きます。大学は4年間ですが、 たんき大学と せんもん学校は たいてい 2年間です。日本の 学校せいどは 6・3・3・4せいと いいます。



バリエーション

（1）モデルテキストを読んだ後、学校制度の図、就学率、進学率の表（資料『文部省のあらまし』、『教育データランド』など）を使って、自分の国と比べて話し合いをする。

先生へ

・日本の高校では、全体の約1割の学校で英語以外の外国語を教えている。多いものから順に中国語、フランス語、朝鮮・韓国語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、イタリア語、ポルトガル語などがある。くわしくは『教育データランド』（時事通信社）を参照。

9-1 「ない形」クイズ

活動 動詞の「ます形」を見て、「ない形」を書く。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★活-04　Vない形

談話の技術

準備するもの

紙（学習者1人に1枚）

使うことば

飲む、（泳ぐ）、（使う）、（歩く）、（作る）、休む、走る、投げる＊、（する）、（来る）、（話す）

手順

1. 学習者1人1人に紙を配る。
2. 絵（1）のように紙を2つに折って、左に10の動詞の「ます形」を書く。紙の上に作った人の名前と、答えを書く人の名前を書くところを作る。
3. 教師は紙を集めて、作った人以外の人に配る。
4. 紙をもらった学習者は、動詞の「ます形」の右に「ない形」の活用を書いて、作った学習者に返す。作った学習者は答えを確認して、答えを書いた学習者にわたす。

バリエーション

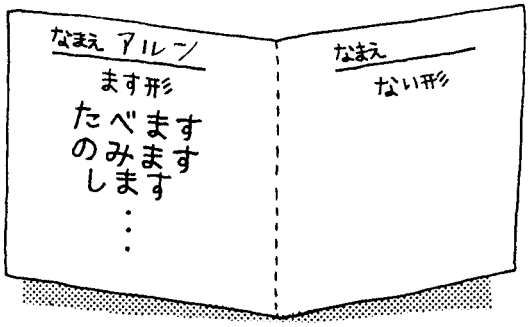
（1）教師が10以上の動詞を黒板に書いて、学習者はそのリストの中から10の動詞を選ぶ。

（2）紙を絵（2）のように3つに折って、左に「ます形」、真ん中に「ない形」（正解）を書き、右は答えを書くところにして、解答者が後で自分で答えを確認できるようにする。

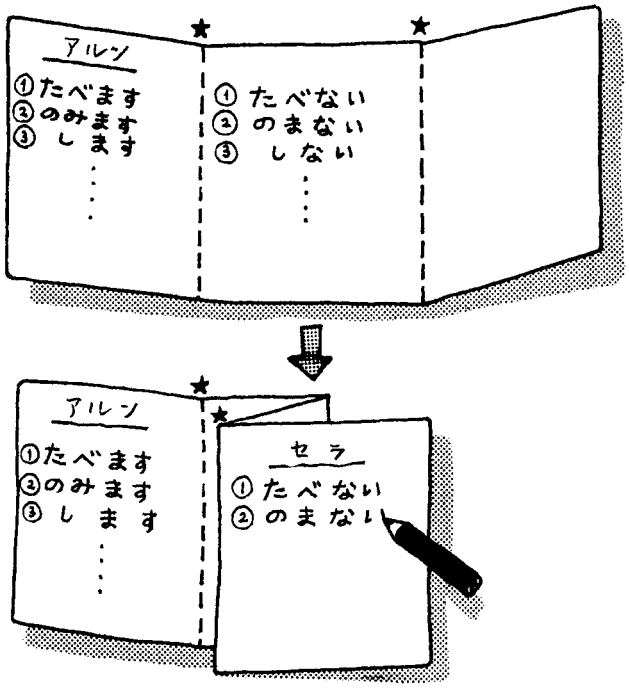
先生へ

・作った人と答えを書く人のペアに配慮が必要。

（1）



（2）



9-2 ペンを使わないでください♡

活動 すること、してはいけないことの指示をする／指示に従う。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

（文-16　Vてください）

★文-29　Vないでください

談話の技術

準備するもの

使うことば

丸＊、（手）、漢字、声、でも

▲（～という～）

手　順

1. 学習者はペアになる。
2. 1人は＜モデルテキスト＞（1）のように指示を与える。指示を聞いた人はその通りに動く。役割を交代する。
3. ＜モデルテキスト＞（2）のように、自分が指示されてしたことの内容をノートに書く。

モデルテキスト

（1）指示

- ノートに まるを かいて ください。でも、えんぴつを つかわないで ください。
- こくばんに 名前を 書いて ください。でも、右手を つかわないで ください。
- 「山」という かんじを 書いて ください。でも、じ書を 見ないで ください。
- うたを うたって ください。でも、～語で うたわないで ください。
- 「国」という かんじを ノートに 書いて ください。でも、先生に 聞かないで ください。
- たん生日を 言って ください。でも、大きい こえで 言わないで ください。

（2）報告

- ボールペンで ノートに まるを かきました。
- 左手で こくばんに 名前を 書きました。
- 「山」という かんじを 書きました。
- 日本語で うたを うたいました。
- 「国」という かんじを ノートに 書きました。
- 小さい こえで たん生日を 言いました。

先生へ

- ＜モデルテキスト＞（1）の「～語」は、学習者の母語などの言語名を入れる。

9-3 目・鼻・口

活動 ゲームで体の部分の名前を覚える。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

談話の技術

準備するもの

使うことば

足、頭、おなか、（顔）、口、（手）、鼻、耳、目、（歯）、髪＊

手　　順

（1）目目目目、耳！

1. 教師は「足、頭、おなか、顔、口、手、鼻、耳、目、歯、髪」の中から１つを言う。
2. 学習者は自分の体の中で教師が言った部分を指す。
3. 1と2を学習者が慣れるまでくりかえす。
4. 教師は「目目目目」と言いながら目を指し、大きな声で「耳」と言いながら、口を指す。
5. 学習者は教師と同じ動作をしないで、聞いた部分を指す。

（2）顔をかきましょう

1. 教師は大きい丸を黒板に書く。
2. １人の学習者が前に出て、目かくしをする。
3. ほかの学習者は「口、鼻、耳、目、歯、髪」を１つずつ言い、目かくしをした学習者は言われたものをかきこむ。

バリエーション

（1）日本の伝統的な遊び「福笑い」の方法を使う。

＜バリエーションの手順＞

1. 目、鼻、口などのない顔の絵と、顔の中の部分（目、鼻、口、まゆ）の絵を用意する。
2. 目かくしをした学習者が鼻や口などの顔の部分の絵を持ち、それを顔の紙の上にのせる。ほかの学習者は「もっと、右／左／上／下」などと言って、正しい位置を指示して助ける。

先生へ

・＜バリエーション＞で紹介した「福笑い」の方法は、顔の部分の絵を準備するとき、「目、鼻、口、耳」の練習になるが、実際のゲームでは、「右／左／上／下」の練習が中心になる。

9

9-4 宇宙人

活動 宇宙人の顔の特徴について聞いて、絵の中から正しいものを選ぶ。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文-27　N が A い／ AN です

談話の技術

準備するもの

使うことば

宇宙人＊、目、耳、鼻、口、髪＊

手　　順

1. テープを聞いて、テープの内容に合った宇宙人の絵を選ぶ。

モデルテキスト

（1）うちゅう人は　目が　大きいです。かみが　長いです。
耳が　小さいです。

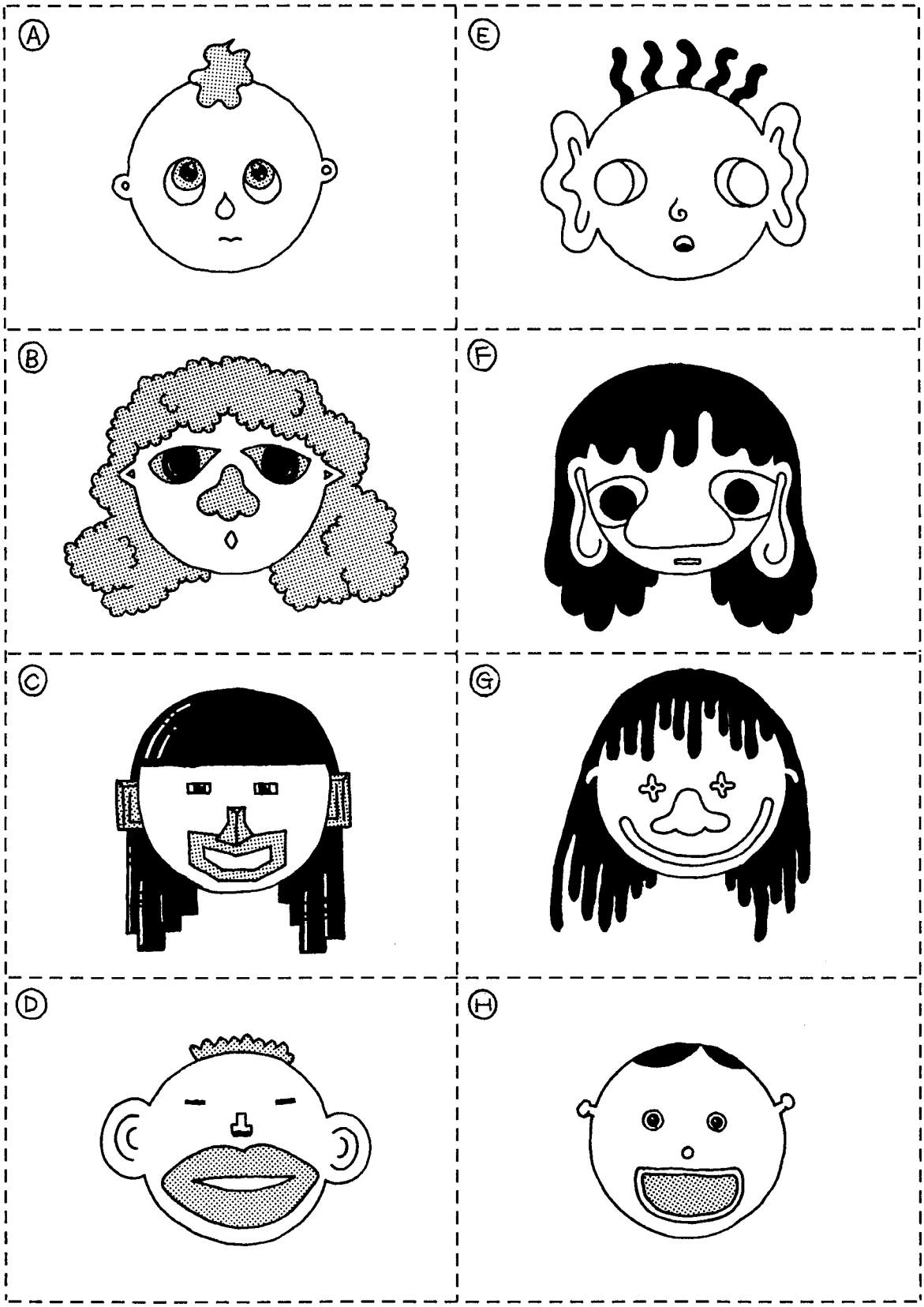
（2）うちゅう人は　かみが　みじかいです。口が　小さいです。
耳が　大きいです。

（3）うちゅう人は　かみが　長いです。口が　大きいです。
はなも　大きいです。

＜答え＞（1）B（2）E（3）G

バリエーション

（1）学習者の1人が宇宙人の絵を1つ選ぶ。ほかの学習者は「はい」か「いいえ」で答えられる質問をし、その人がどの絵を選んだか当てる。


A
E
B
F
C
G
D
H

9-5 お大事に

活動 医者や学校の医務室の先生になって、病気の人に指示をする。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

（文-16　Vてください）

★文-27　NがAい／ANです

★文-29　Vないでください

活-04　Vない形

談話の技術

・応答する（それはいけませんね）

・会話を終わる（お大事に）

準備するもの

使うことば

医者、病気、頭、痛い、風邪をひく、薬を飲む、（お風呂）に、お腹、（歯）、目、足、のど＊、気持ち＊、悪い、よく、休む、けが、つける

▲どうしましたか／それはいけませんね／お大事に

手順

1. クラス全体で、病気のときにしないこと、することを母語で話し合う。練習で使うことばや表現を日本語で何というか確認する。
2. 病気の人の役の学習者は自分の病状を決める。
3. 医者の役の学習者は＜モデルテキスト＞のように、病状についてたずね、した方がいいこととしない方がいいことを1つずつ言う。
4. アドバイスを聞いた学習者は、アドバイスをメモする。
5. 役割を交替する。
6. 学習者は、どんなアドバイスを受けたか発表する。

モデルテキスト

いしゃ　　：どう しましたか。
びょう気の人：目が いたいです。
いしゃ　　：それは いけませんね。長い 時間 テレビを 見ないで
　　ください。よく ねて ください。
びょう気の人：はい、そう します。
いしゃ　　：おだいじに。

いしゃ　　：どう しましたか。
びょう気の人：きのうから あたまが いたいです。
いしゃ　　：それは いけませんね。 この くすりを 飲んで ください。
　　きょうは おふろに 入らないで ください。
びょう気の人：はい、そう します。
いしゃ　　：おだいじに。

バリエーション

(1) ＜手順＞の 6 の代わりに、ペアで会話を発表する。

(2) 学習者はほかの人とペアになり、＜手順＞の 3 ～ 5 をくりかえす。教師は、学習者が2、3人と練習したことを確認したら、席にもどるように言う。

先生へ

・指示の例として、以下のようなものがある。
　気持ちが悪い … 部屋で休む、外で遊ばない。
　足にけがをした … 薬をつける、走らない。
・病気のときの対処は国によっても文化によっても異なることに注意。ここでは学習者の国の習慣でかまわない。

9-6 スポーツテスト

活動 運動能力についてのチェックシートを作って、質問する／答える。

かたち →

時間 ●●○

せつめい編

★文-26　Vこと／Nができます

談話の技術

準備するもの

使うことば

メートル、泳ぐ、キロメートル、自転車、ボール＊、投げる＊、バタフライ＊、秒＊走る

手　順

1. 学習者は＜モデルテキスト＞のように、グループで運動能力を調べるための項目を考える。
2. 学習者は作った項目を発表する。教師は黒板にメモする。
3. クラスで相談して項目ごとにポイントをつける。たとえば、やさしいものを1点にし、3点を最高点にする。
4. ペアになって、おたがいにテストの項目を質問する。
5. ペアの相手の答えを聞いてポイントを計算する。

モデルテキスト

スポーツテストの項目例

① 100 メートル　およぐ　ことが　できます。

② 5 キロメートル　はしる　ことが　できます。

③ じてん車に　のる　ことが　できます。

④ ボールを　20 メートル　なげる　ことが　できます。

⑤ バタフライで　およぐ　ことが　できます。

⑥ ～メートルを　～びょうで　はしる／およぐ　ことが　できます。

先生へ

- 国によって一般的なスポーツや運動が違うので、それに合わせて作る。
- ＜モデルテキスト＞⑥の「～メートル」、「～びょう」の「～」の部分には適当な数字を入れる。

9

9-7 健康チェック

活動 健康についての質問を読んで、健康度をチェックする。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-26　Vこと／Nができます

文-28　NがA／AN＋N

談話の技術

準備するもの

使うことば

（食事〔する〕）、（前）、牛乳、メートル、泳ぐ、以上、よく、心配＊、ビタミンC＊、果物、カルシウム＊、知る、多い、そのまま＊、もっと、健康＊、問題、合計＊、点＊

▲がんばってください／もう少し

手順

1. 母語で「健康な人」や「健康的な生活」について話し合う。
2. ＜タスクシート＞のチェック項目①～⑩を読んで、意味を確認する。
3. 学習者はそれぞれ自分の答えを選んで○をつける。
4. 「はい」は2点、「いいえ」は0点、そのほかは1点として、点数を計算する。⑦と⑧の質問は「はい」が0点、「いいえ」が2点になる。
5. 点数の合計を見て、自分がどのぐらい健康か報告する。

タスクシート

（1）

	2てん	1てん	0てん
①朝ごはんを　食べます	はい	ときどき	いいえ
②食事の　前に　手を　あらいます	はい	ときどき	いいえ
③ぎゅうにゅうが　すきです	はい		いいえ
④20メートルいじょう　およぐ　ことが　できます	はい		いいえ
⑤1時間いじょう　あるいた　ことが　あります	はい		いいえ
⑥よる　よく　ねる　ことが　できます	はい	ときどき	いいえ
⑦きらいな　食べものが　三ついじょう　あります	いいえ		はい
⑧しんぱいな　ことが　三ついじょう　あります	いいえ		はい
⑨ビタミンCが　多い　くだものを　食べます	たくさん	すこし	いいえ
⑩カルシウムが　多い　食べものを　しって　います	三ついじょう	二つ	いいえ
ごうけい			てん

（2）結果の見方（母語でもよい。）

16てん～14てん：とても　けんこうです。そのまま　がんばって　ください。

13てん～9てん　：まあまあ　けんこうです。　もうすこし　がんばって　ください。

8てん～　　：ちょっと　もんだいが　あります。　もっと　がんばって　ください。

バリエーション

（1）クラスでチェック項目の文を考えて増やす。

（2）ペアでおたがいにチェック項目を質問し、相手の答えをメモして、点数を知らせる。

先生へ

・文化や国の状況によって、質問の適切さが違ってくる。これはあくまでも一例である。

・体の健康と心の健康の両方を取り上げられるとよい。

9-8 料理を作りましょう

活動 料理や材料について話す。たずねる／答える。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★（助-17　で（手段／材料））

談話の技術

準備するもの

使うことば

牛肉、とうふ＊、野菜、すきやき＊、（作る）、パン、きゅうり＊、卵、サンドイッチ＊、とり肉、親子どんぶり＊、オムレツ＊、みそしる＊、カレー、豚肉、たまねぎ、じゃがいも、牛乳、果物、ごはん、（魚）

手　順

1. 料理と材料の関係を確認する。
2. ＜使うことば＞のことばを使って＜モデルテキスト＞（1）のような文を作る。
3. 作った文の意味を確認する。
4. 料理や材料について＜モデルテキスト＞（2）のような質問と答えの練習をする。

モデルテキスト

(1)

・ぎゅうにくと　とうふと　やさいで　すきやきを　つくります。

・パンと　きゅうりと　たまごで　サンドイッチを　つくります。

・たまごと　とりにくで　おやこどんぶりを　つくります。

・たまごで　オムレツを　つくります。

(2)

A：やさいと　とうふで　何(なに)を　つくりますか。

B：みそしるを　つくります。

A：何(なに)で　カレーを　つくりますか。

B：ぶたにくと　たまねぎと　じゃがいもで　つくります。

バリエーション

(1) 自国(じこく)の料理(りょうり)について話(はな)す。

(2)『写真(しゃしん)パネルバンク１.』の13（野菜(やさい)1）、14（野菜(やさい)2）、15（果物(くだもの)1）、16（果物(くだもの)2）、17（朝食(ちょうしょく)1）、18（朝食(ちょうしょく)2）、19（天(てん)ぷら）、20（すき焼(や)き）、21（すし・さしみ）、25（肉(にく)）などの料理(りょうり)や材料(ざいりょう)を見(み)て、文(ぶん)を作(つく)る。

先生へ

・料理名(りょうりめい)は母語(ぼご)でもよい。学習者(がくしゅうしゃ)に負担(ふたん)にならない範囲(はんい)で材料(ざいりょう)の日本語(にほんご)を教(おし)える。

10-1 赤くて丸いものは？♡

活動 2つの形容詞で説明する／それが何か考える。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文-30　Aくて／ANで／Nで

談話の技術

準備するもの

使うことば

細い、太い、（親切＊）、もの、ところ、人、重い、軽い、暗い、明るい、（こわい＊）、厚い、うすい

手　順

1. 教師は、「赤くて丸いもの」など形容詞を組み合わせたヒントを言う。
2. 学習者は座っている席順などで順番に、ヒントに合ったことばを日本語または母語で1つずつ言う。
3. ヒントに合ったことばが考えられず、答えにつまった人は、新しいヒントを出す。
4. 次の学習者から順番にヒントに合ったことばを1つずつ言う。

モデルテキスト

- あかくて まるい もの …… りんご、トマト、白うさぎの 目
- 小さくて 高い もの …… ダイヤモンドの ゆびわ、金の イヤリング、ノートがたの パソコン
- ほそくて 長い もの …… えんぴつ、はし、ベルト、いと
- しずかで しんせつな 人
- にぎやかで おもしろい 人
- しずかで きれいな ところ
- にぎやかで おもしろい ところ

バリエーション

(1) 4、5人のグループになり、グループの中で相談して、グループごとに答えを出していく。

(2) クラスで考えたヒントに合うことばをできるだけたくさん書く競争をする。

(3) 名詞などの語彙リストを使って練習する。

＜バリエーションの手順＞

1. 教師は黒板に、名詞や人の名前、場所の名前などの語彙リストを書く。
2. 学習者は、1人ずつそのうちの1つを選び、2つの形容詞で説明する。
3. ほかの学習者はどのことばか当てる。

先生へ

- 習ったことばはできるだけ日本語で言わせるが、母語でもよい。

10

10-2 この人はだれですか

活動 テープの内容と合った絵を選ぶ。クラスの人を説明する。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

（文-27　NがA／ANです）

（文-28　NがA／AN＋N）

★文-30　Aくて／ANで／Nで

談話の技術

準備するもの

使うことば

（めがね）、（かける）、動物、じょうず、背、（高い）、低い、ピアノ、ひく、（髪）、（花）

手　順

（1）聴解

1.学習者は、テープを聞いて、（a）～（h）の中から適当な絵を選ぶ。

（2）文型練習

1.学習者は、クラスの中の人を思い浮かべて＜モデルテキスト＞のような文を作り、発表する。ほかの人はだれのことか当てる。

モデルテキスト

① さとうさんは、かみが 長くて、めがねを かけて います。

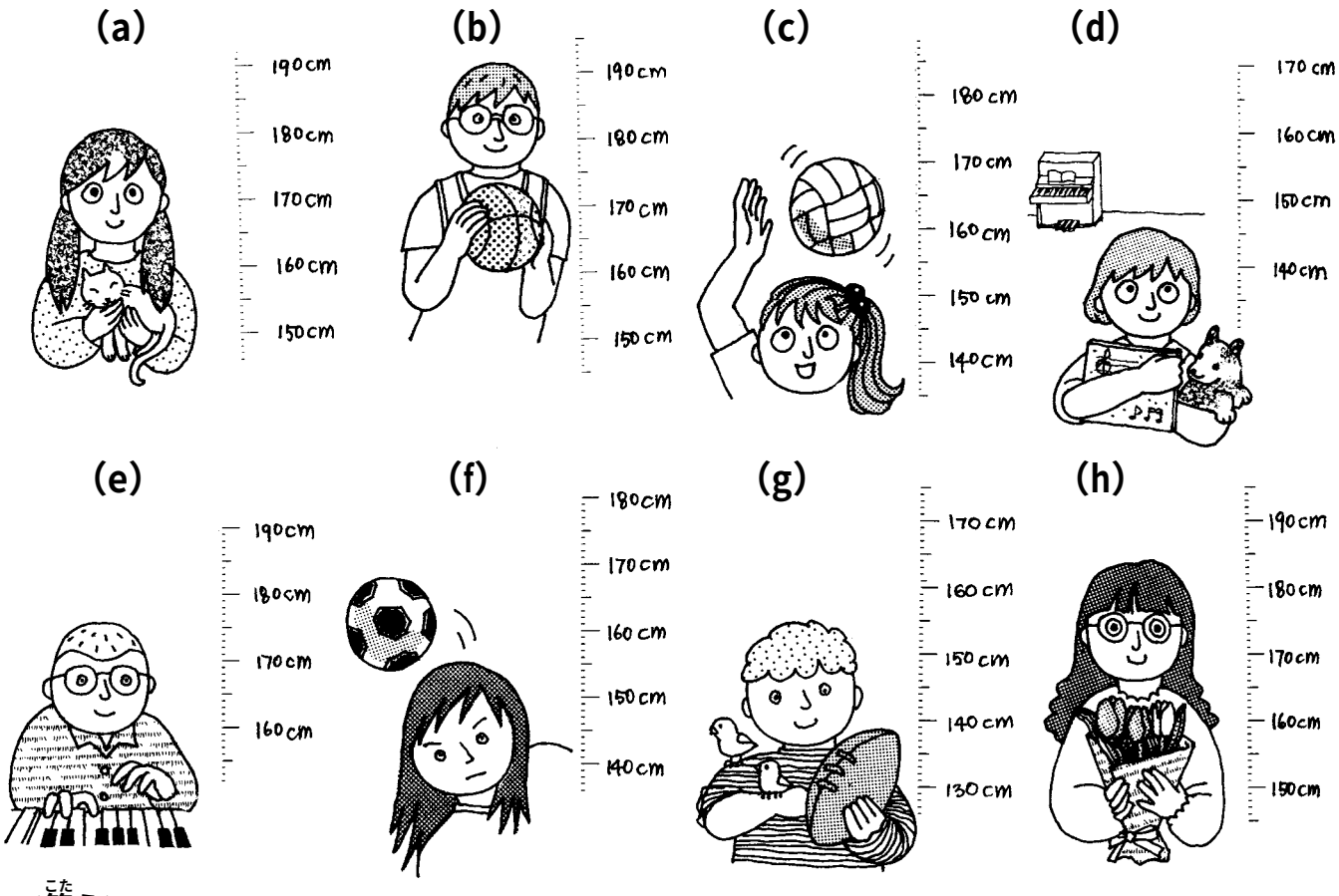
② すずきさんは、どうぶつが すきで、あまり せが 高くないです。

③ 田中さんは、目が 大きくて、ピアノを ひく ことが すきです。

④ たかはしさんは、せが 高くて、スポーツが すきです。

⑤ わたなべさんは、かみが みじかくて、めがねを かけて います。

⑥ いとうさんは、目が 大きくて、かみが 長くて、スポーツが すきです。



<答え>

① h　② g　③ d　④ b　⑤ e　⑥ c

バリエーション

(1) 絵を使って文を作る練習をする。

<バリエーションの手順>

1. 教師は絵の 8 人に名前をつける。
2. ペアになり、1 人が説明する。
3. もう 1 人が、名前を言う。

A：髪が長くて、サッカーがすきです。

B：木村さんですか。

A：はい、そうです。

(2)「せつめい編」の「文 -28　N が A ／ AN ＋ N」の文型を使う。

例　田中さんは目が大きくて、ピアノをひくことがすきな人です。

(3) <モデルテキスト>以外の語彙や表現を使って説明の文を考える。

先生へ

- 語順は「形容詞 ＋ 形容詞」「形容詞 ＋ 動詞」を基本としているが、状態を説明するような動詞（ここでは「めがねをかけています。」）は、前でも後でもよい。
- 絵の身長についてはそれぞれの国の平均的な高さによって数字を変える。単位を変えてもよい。
- 学習者の身体的特徴を取り上げるときは、学習者の気持ちに気をつける。
- 「背が高い、低い」の「背」は「せい」でもよい。ここでは、「せ」で練習する。
- 「髪」は「髪の毛」でもよい。

10-3 どっちが先♡

活動 2つの動作の順番を聞いて、生活習慣を比べる。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文-33　Vてから

談話の技術

準備するもの

使うことば

体、くつした、ズボン、もの、こと

手順

1. 教師は、下のリストのような人によって順番が異なる行動を2つずつ黒板に並べて書く。

①歯をみがく／朝ごはんを食べる
②お風呂に入る／宿題をする
③頭を洗う／体を洗う
④くつしたをはく／ズボンをはく
⑤すきなものを食べる／きらいなものを食べる（一度の食事の中で）
⑥すきなことをする／宿題をする

2. 学習者は自分がいつもする順番を示すように、2つの行動を「Vてから」でつないで文を作って書く。
3. ペアを作って、書いた文を相手に読んで聞かせる。聞いた人は、相手と同じ文に○をつける。
4. ○の数を数える。

モデルテキスト

① a.はを　みがいてから　朝ごはんを　食べます。
b.朝ごはんを　食べてから　はを　みがきます。

② a.おふろに　入ってから　しゅくだいを　します。
b.しゅくだいを　してから　おふろに　入ります。

③ a.あたまを　あらってから　からだを　あらいます。
b.からだを　あらってから　あたまを　あらいます。

④ a.くつ下を　はいてから　ズボンを　はきます。
b.ズボンを　はいてから　くつ下を　はきます。

⑤ a.すきな　ものを　食べてから　きらいな　ものを　食べます。
b.きらいな　ものを　食べてから　すきな　ものを　食べます。

⑤ a.すきな　ことを　してから　しゅくだいを　します。
b.しゅくだいを　してから　すきな　ことを　します。

バリエーション

(1) ○の数を競う。

先生へ

- つないだ文を書かせて提出させると、学習者の理解を確認することができる。
- ＜手順＞1の行動の組み合わせは学習者の生活習慣に合わせて考える。
- ③の「頭を洗う」は「髪を洗う」とも言う。

10-4 日曜日の計画

活動 「て形」や「Vてから」を使って行動の前後関係をたずねる／答える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-31　VてV

★文-33　Vてから

談話の技術

・会話を終わる（また今度）

準備するもの

使うことば

同じ、（違う）

▲（また今度）

手　順

1. 教師は学習者に休みの日によくすることを聞く。そのうち5つの行動を下のようなリストにして黒板に書く。

- テニスをする
- 買い物に行く
- 新しい映画を見る
- 図書館で勉強する
- ハンバーガーを食べる

2. 学習者は5つの行動のうちから3つ選んで、ノートに書く。

3. 学習者は＜モデルテキスト＞のようにほかの学習者に聞いて、自分と同じ計画の人を探す。

4. 相手が見つかったら、教師に報告する。

モデルテキスト

（1）同じ計画の人を探す。

① A：日よう日に 何を しますか。

B：新しい えいがを 見ます。

A：新しい えいがを 見てから、 何を しますか。

B：新しい えいがを 見てから、 ハンバーガーを 食べます。

A：ハンバーガーを 食べてから、 何を しますか。

B：ハンバーガーを 食べてから、 買いものに 行きます。

A：わたしも おなじです。 いっしょに 行っても いいですか。

B：いいですよ。 行きましょう。

② C：日よう日に 何を しますか。

D：と書かんで べんきょうします。

C：と書かんで べんきょうしてから、 何を しますか。

D：と書かんで べんきょうしてから、 テニスを します。

C：そうですか。 わたしは ちがいます。 また 今ど。

（2）報告

さとうさんと わたしは 新しい えいがを 見て、ハンバーガーを 食べて、買いものに 行きます。

先生へ

・1番目にすることを聞いて、自分にない計画だったら、その人への質問はやめて、次の人に質問するように学習者に言う。

・1人の学習者が質問する役と答える役の両方を練習できるように気をつける。

10-5 手紙をください♡

活動 ペンパル募集の文章を読む。返事を書きたい人を選ぶ。募集の文章を書く。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

文-30　A くて／AN で／N で

文-33　V てから

文-34　V たいです

助-26　に（対象）

談話の技術

内容を構成する（自己紹介）

準備するもの

使うことば

大すき、外国、生活＊、興味＊、じょうず、簡単＊、女の子、ギター、ひく、バレーボール＊、始める＊、カメラ、～台、持つ、京都＊、住む、ペンパル＊、どうして

▲（こんにちは）／友だちになる／～に興味がある／（～と言う）

手　順

1. 学習者は＜モデルテキスト＞(2) のペンパル募集の文章を読んで、A、B、C、D の中から返事を書きたい人を選ぶ。
2. ペアになって、＜モデルテキスト＞(1) のようにだれを選んだか話し合う。その理由も話す。
3. ＜モデルテキスト＞(2) の文章を参考に自分のペンパル募集の文章を書く。

モデルテキスト

（1）A：どの人に 手がみを 書きたいですか。

B：いとうさんに 手がみを 書きたいです。

A：どうしてですか。

B：わたしも おんがくが すきですから。

（2）ペンパル募集の文章

A こんにちは！

わたしの 名前は 田中のりおです。今、高校1年生で、サッカーが大すきです。 毎日 れんしゅうして います。外国の 生かつにきょうみが あります。英語を べんきょうして いますが、まだあまり じょうずでは ありません。日本語と かんたんな 英語で手がみを 書いて くださいませんか。どうぞ、よろしく。

B はじめまして。

わたしの 名前は いとうさとこと いいます。今、高校2年生で、17さいです。 わたしの 学校は 女の子だけの 学校です。わたしはおんがくを 聞いたり、ギターを ひいたり する ことが すきです。友だちに なって くださいませんか。

C こんにちは。 はじめまして。

わたしは たかはしかおると いいます。きょうとに すんでいます。バレーボールと 外国語の べんきょうが 大すきな高校1年生です。 高校に 入ってから、～語の べんきょうもはじめました。 お手がみを まって います。

10

D はじめまして。

わたしの 名前は すずきたくです。しゅみは しゃしんを とることと、えいがを 見る ことです。カメラを 2だい もって います。えいがが すきな 人と ペンパルに なりたいです。手がみは 日本語と かんたんな 英語で おねがいします。どうぞ、よろしく。

バリエーション

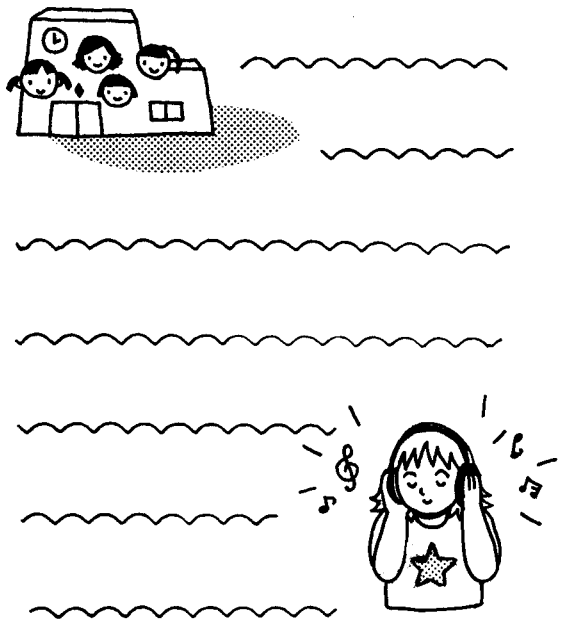
（1）＜手順＞1で選んだ人に返事を書く。

先生へ

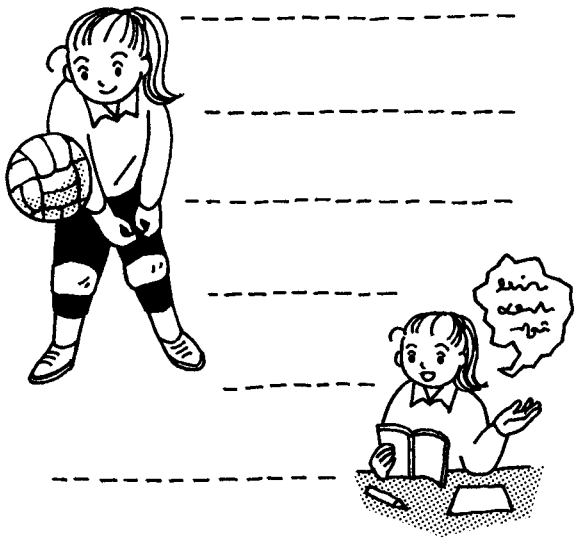
- 男子（A と D）の場合は、「わたし」を「ぼく」に入れかえることもできる。
- C「～語」は適当な言語名を入れる。
- 自己紹介の構成は、「1-6 自己紹介」を参照。
- ペンパル募集の記事を書くときは、趣味、性格、家族、性別、使える外国語などの中からすきなものを書くように指示する。
- 日本人の高校生や、ほかの国で日本語を勉強している高校生との文通の機会を作るとよい。日本人の場合、学習者の日本語のレベルを伝え、やさしい日本語で書くように依頼することが必要。
- 次ページの絵は拡大して＜モデルテキスト＞を書くのに使用できる。

A

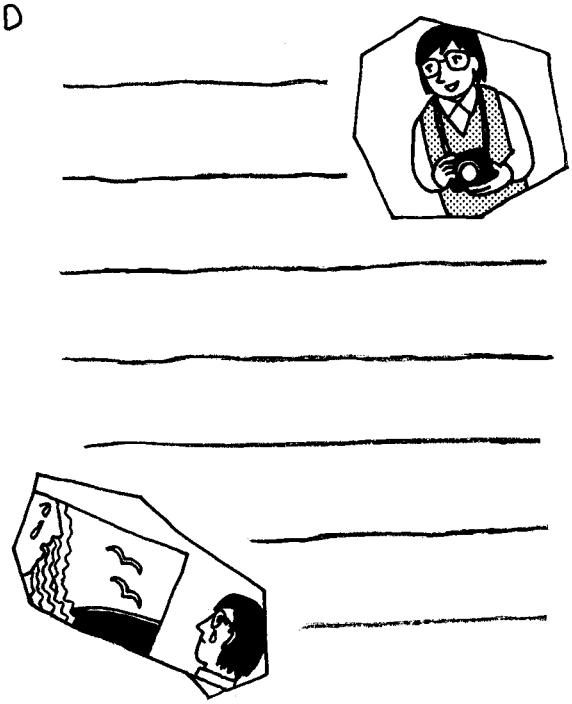
B



C



D



10

10-6 わたしの友だち♡

活動 生い立ちについてたずねる。／答える。友だちの生い立ちについて書く。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

文-33　Vてから

談話の技術

準備するもの

使うことば

ところ、生まれる、外、遊ぶ

手　順

1. ＜モデルテキスト＞（1）を読む。
2. 学習者はペアになり、＜モデルテキスト＞（2）のように友だちの生い立ちについてインタビューする。
3. （1）のように、インタビューで聞いたことを文章に書く。あとでほかの人がだれのことか当てるので、文章の中には友だちの名前は入れない。
4. 書いた文章を発表する。
5. ほかの人は発表を聞いて、だれのことか当てる。

モデルテキスト

（1）さとうゆかりさん

わたしの 友だちは、「みどりまち」という ところで 生まれました。子どもの とき、外で あそぶ ことが すきでした。中学生の とき、すきなか目は 社会でしたが、今は あまり すきでは ありません。わたしの友だちの しゅみは きっ手を あつめる ことで、高校に 入ってからきっ手を あつめて います。

（2）インタビュー

A：さとうさんは どこで 生まれましたか。

B：みどりまちで 生まれました。

A：子どもの とき、何が すきでしたか。

B：外で あそぶ ことが すきでした。

A：中学生の とき どんな か目が すきでしたか。

B：社会が すきでした。

A：今も 社会が すきですか。

B：いいえ、今は あまり すきでは ありません。

A：しゅみは 何ですか。

B：きっ手を あつめる ことです。

A：いつから きっ手を あつめて いますか。

B：高校に 入ってからです。

先生へ

- 学習者に合わせて、インタビューの質問の数や種類を変える。
- 生まれた町の名前を学習者がよく知っている場合は、「○○で生まれました。」にする。多くの学習者があまり知らない町の場合、「○○というところで生まれました。」になる。

10-7 どうやってしますか♡

活動 生活習慣などについてたずねる／答える。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文-31　V て V

★文-32　V ないで

談話の技術

準備するもの

使うことば

どうやって＊、砂糖、入れる、ことば、覚える、次、準備＊、値段＊、決める＊、（めがね）、（かける）

手　順

1. 学習者は＜タスクシート＞の①～⑥の［　］の動詞を「て形」や「ない形」にして、自分についての文にして、ノートに書く。
2. ペアになって、自分が作った文を質問の形にして相手に聞く。
3. 同じだったら○、違う答えだったら×を書く。
4. 結果を＜モデルテキスト＞のように発表する。

タスクシート

① 毎日、 朝ごはんを ＿＿＿＿＿＿ 学校へ 来ます。[食べる]

② いつも さとうを ＿＿＿＿＿＿ コーヒーを 飲みます。[入れる]

③ 新しい ことばを ＿＿＿＿＿＿ おぼえます。[書く]

④ たいてい つぎの 日の じゅんびを ＿＿＿＿＿＿ ねます。[する]

⑤ 買いものの とき、 ねだんを ＿＿＿＿＿＿ きめます。[見る]

⑥ お父さんは、いつも めがねを ＿＿＿＿＿＿ 新聞を 読みます。[かける]

モデルテキスト

Aさんも わたしも 毎日 朝ごはんを 食べて 学校へ 来ます。
Aさんは いつも さとうを 入れて コーヒーを 飲みますが、
わたしは さとうを 入れないで コーヒーを 飲みます。……

先生へ

・＜タスクシート＞の文は学習者の生活習慣に合わせて変える。

10-8 わたしの将来

活動 趣味や将来の希望について書かれた文章を読んで、希望の職業を当てる。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文 -34　V たいです

談話の技術

準備するもの

使うことば

将来＊、自分、いろいろ、便利、コンピュータ＊、ホームページ＊、プログラム＊、医者、手伝う＊、病気、世話＊、たいへん、がんばる、鳥、飼う＊、なおす＊、獣医＊、看護婦＊、プログラマー＊、コック＊

▲ ～のために／（～について）

手　順

1. 将来の進路や希望する職業について母語で自由に話す。
2. 学習者がつきたいと思っている職業を日本語で何というか教える。
3. ＜モデルテキスト＞を読む。
4. ＜モデルテキスト＞（1）～（5）の生徒がつきたいと思っている職業を下の a ～ e の中から選ぶ。

モデルテキスト

(1)　わたしの しゅみは りょうりや おかしを つくる ことです。
ときどき かぞくや 友(とも)だちの ために おいしい りょうりを
つくります。 しょう来(らい)、じ分(ぶん)の レストランで 毎日(まいにち) りょうりを
つくりたいです。

(2)　わたしは コンピュータが 大(だい)すきです。毎日(まいにち) ゲームを したり
いろいろな ホームページを 見(み)たり して います。しょう来(らい)、
もっと べんきょうして、べんりな プログラムを つくりたいです。

(3)　わたしは、しょう来(らい)、いしゃの し事(ごと)を 手(て)つだって、
びょう気(き)の 人(ひと)の せ話(わ)を したいです。よるも し事(ごと)が ありますから
たいへんですが、がんばります。

(4)　わたしは 日本語(にほんご)の べんきょうが すきです。もっと 日本語(にほんご)の
べんきょうを つづけたいです。そして、しょう来(らい)、子(こ)どもたちに
日本語(にほんご)や 日本(にほん)について おしえたいです。

(5)　わたしは 子(こ)どもの ときから どうぶつが すきです。今(いま)も うちで
いぬと とりを かって います。どうぶつの せ話(わ)を する ことは
たのしいです。 しょう来(らい)は、びょう気(き)の どうぶつを
なおしたいです。

a. 先生(せんせい)　b. じゅうい　c. かんごふ　d. プログラマー　e. コック

＜答(こた)え＞

(1) e　(2) d　(3) c　(4) a　(5) b

先生へ

・＜モデルテキスト＞は、『青少年の生活と意識に関する基本調査』（総務庁、平成8年）を参考にして、日本の高校生の希望の職業で主に上位のものを選んだ。ただし、男子の約40%、女子の約30%は「わからない。」と答えた。

男子：①プログラマー、建築士、技術者、通訳
②公務員
③会社員
④教師
⑤運転手、大工、工員

女子：①会社員
②看護婦、保母
③その他
④教師
⑤コック、美容師、理容師

11-1 どんな順番？

活動 行動の前後関係を言う／順番を当てる。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文 -35　まえに

★文 -36　あとで

（文 -33　V てから）

談話の技術

準備するもの

絵または文字カード（行動を表すもの）

使うことば

服を着る、（電話を）かける、（それから）

手　順

1. 学習者は（1）朝の習慣、または（2）自由時間の活動 5 枚の動作の絵の中から 3 枚選んで順番を決める。
2. 決めた順番を a ～ e の記号を使ってノートに書き、その下に＜モデルテキスト＞のように「まえに」を使った文を書く。
3. ペアになって、自分の文を読み、相手の動作の順番を当てる。
4. ノートを見せ合って答えを確認する。

モデルテキスト

（1）朝の習慣

A：はを　みがく　まえに　ふくを　きます。
　ふくを　きる　まえに　朝ごはんを　食べます。

B：「朝ごはんを　食べてから、ふくを　きます。それから、はを　みがきます。」ですか。

A：はい、そうです。

（2）自由時間の活動

B：テレビを　見る　まえに　買いものに　行きます。
　買いものに　行く　まえに　友だちに　電話を　かけます。

A：「電話を　かけます、テレビを　見ます、買いものに　行きます」ですか。

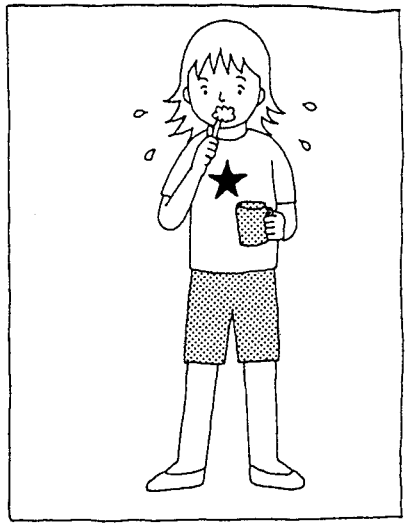
B：いいえ、ちがいます。

A：「電話を　かけます、買いものに　行きます、テレビを　見ます」ですか。

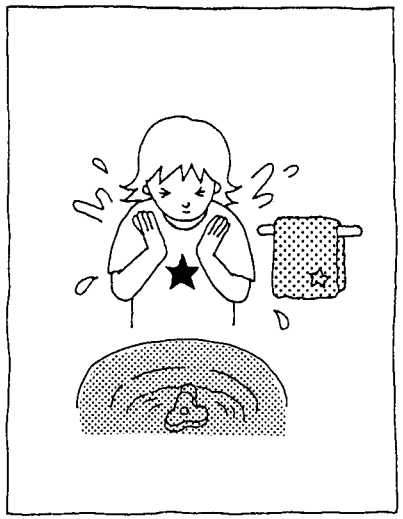
B：はい、そうです。

（1）

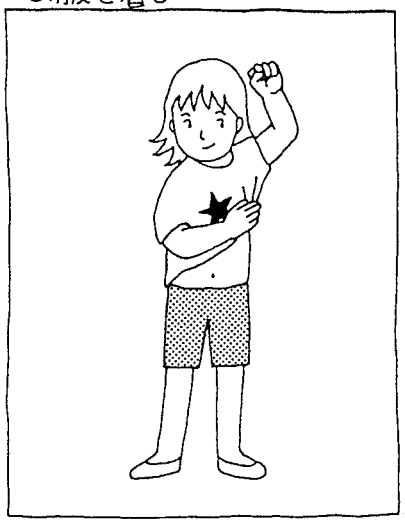
a.歯をみがく



b.顔を洗う

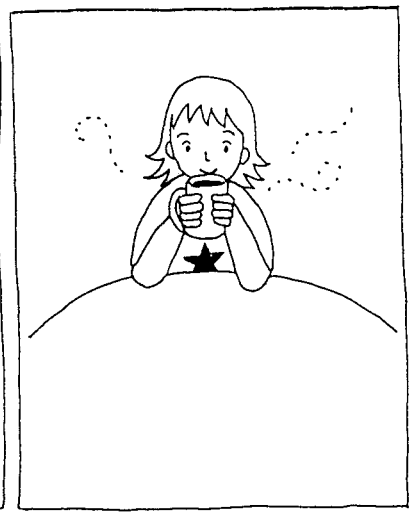


c.服を着る



d.朝ごはんを食べる

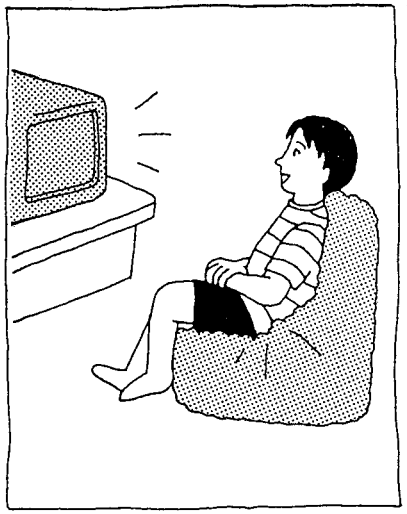
e.コーヒーを飲む



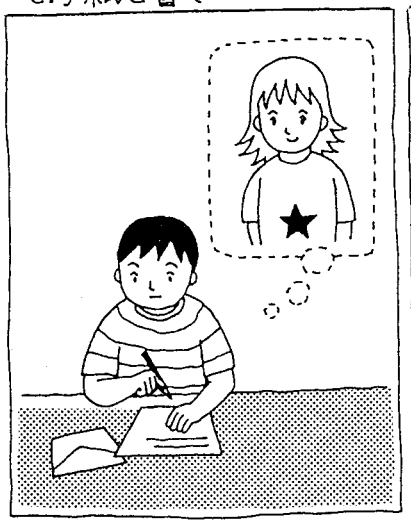
（2）

a.本を読む

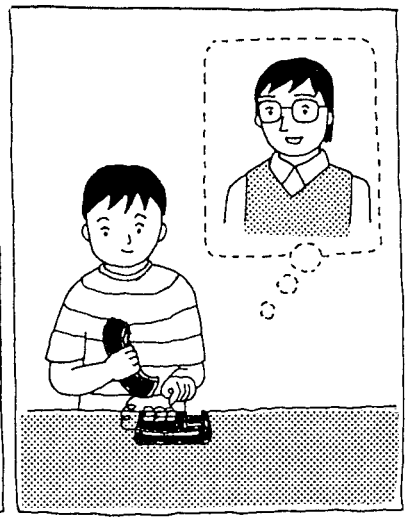
b.テレビを見る



c.手紙を書く



d.友だちに電話をかける



e.買い物に行く

バリエーション

(1)「あとで」だけを使(つか)う。

A：顔(かお)を洗(あら)ったあとで朝(あさ)ごはんを食(た)べます。朝(あさ)ごはんを食(た)べたあとでコーヒーを飲(の)みます。

B：「顔(かお)を洗(あら)います、朝(あさ)ごはんを食(た)べます、コーヒーを飲(の)みます」ですか。

A：はい、そうです。

(2)「まえに」と「あとで」を使(つか)う。

B：友(とも)だちに電話(でんわ)をかけるまえにテレビを見(み)ます。友(とも)だちに電話(でんわ)をかけたあとで本(ほん)を読(よ)みます。

A：「電話(でんわ)をかけます、テレビを見(み)ます、本(ほん)を読(よ)みます」ですか。

B：いいえ、ちがいます。

A：「テレビを見(み)ます、電話(でんわ)をかけます、本(ほん)を読(よ)みます」ですか。

B：はい、そうです。

先生へ

・ヒントを紙(かみ)やノートに書(か)かせると、後(あと)で教師(きょうし)がチェックできる。

11-2 何ですか

活動 クイズを作る／答える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-37　V＋N

談話の技術

準備するもの

使うことば

冷たい、切る、(泊まる＊)、建てる＊、コップ、スプーン、フォーク、茶碗、はさみ＊、はし、冷蔵庫、台所、売る、八百屋、切手

手　順

1. 学習者は＜モデルテキスト＞を参考にして、あるものや場所を考えて、それを日本語で説明する文をノートに書く。
2. 1人ずつ、書いた文を発表する。
3. ほかの人は聞いて、答えを当てる。

モデルテキスト

（1）もの

a. びょう気の　ときに　飲む　もの

b. 水や　ジュースを　入れる　もの

c. 食事の　ときに　つかう　もの

d. やさいや　にくや　つめたい　ものを　入れる　もの

e. かみを　きる　もの

（2）ばしょ

a. たてものの 中で およぐ ことが できる ところ

b. びょう気の ときに 行く ところ

c. うちの 中で りょうりを つくる ところ

d. やさいや くだものを うって いる みせ

e. 食事を する ところ

f. きっ手を 買ったり、手がみを 出したり する ところ

g. ～さん（有名な 人）が 行った ところ

h. ～さん（外国から 来た 有名な 人など）が とまった ところ

i. ～さん（有名な 人）が たてた たてもの

＜答え＞

（1）a. くすり　b. コップ　c. スプーン、フォーク、ちゃわん、はし　d. れいぞうこ　e. はさみ

（2）a. プール　b. びょういん　c. だいどころ　d. やおや　e. レストラン　f. ゆうびんきょく

バリエーション

（1）グループで点数を競う。

（2）日本語の単語の意味を日本語で説明する。

例）「病院」というのは何ですか。

→病気のときに行くところです。

（3）ノートに文を書かないで、考えた人が文を順番に言う。

（4）カルタ、辞書作りなどの活動へ発展させる。

先生へ

・g、h、i、はそれぞれの国や地域で有名な人や場所などについて言う。

11

11-3 インタビュー

活動 過去のことについてたずねる／答える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-37　V＋N

（助-16　が（接続））

談話の技術

・会話を始める（すみません／～をお願いしたいんですが）

・話を終わる（どうもありがとうございました）

・応答する（いいえ、どういたしまして）

準備するもの

使うことば

インタビュー＊、（生まれる）、（遊ぶ）、（覚える）、とき、きのう

▲（～について）

手　順

1. 3、4人のグループになって、過去のことについての話題を決めて、質問を考える。
2. グループの中でおたがいに質問をして、答えを＜タスクシート＞に書く。
3. 質問とグループの学習者の答えをみんなの前で発表する。

モデルテキスト

（1）子(こ)どものときについて

A：すみません、すずきさんの 子(こ)どもの ときについて
インタビューを おねがいしたいんですが。

B：いいですよ。

A：すずきさんが 生(う)まれた ところは、どこですか。

B：よこはまです。

A：いつも いっしょに あそんだ 人(ひと)は、だれですか。

B：友(とも)だちと おとうとです。

A：どうも ありがとうございました。

B：いいえ、どういたしまして。

（2）きのうの授業(じゅぎょう)について

A：すみません、きのうの じゅぎょうについて インタビューを
おねがいしたいんですが。

B：いいですよ。

A：たかはしさんが きのう べんきょうした か目(もく)は、何(なん)ですか。

B：すう学(がく)と 社会(しゃかい)と 日本語(にほんご)です。

A：きのう おぼえた ことばは、何(なん)ですか。

B：「入(い)れる」と 「れいぞうこ」です。

A：どうも ありがとうございました。

B：いいえ、どういたしまして。

タスクシート

（1）子供のときについて

	わたし	A さん	B さん	C さん
生まれた　ところ				
いっしょに　あそんだ　人				

（2）きのうの授業について

	わたし	A さん	B さん	C さん
きのう　べんきょうした　か目				
きのう　おぼえた　ことば				

先生へ

- （2）の「きのう勉強した科目」は、みんなが同じ答えになってしまう場合は「きのううちで勉強した科目」などのほかの質問にする。
- （1）、（2）のほかに、きのうの晩ごはん（食べた料理、作った人、いっしょに食べた人）、休みのこと（行った所、したこと、食べたもの、いっしょに行った人）、子供のときのこと（すきだった食べ物、よくしたこと）などの話題や質問がある。
- おもしろい質問やおもしろい答えについて母語で話し合うとよい。

11-4 どう思いますか

活動 動詞、形容詞、名詞の質問文に対して「と思います」を使って答える。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文 -38　とおもいます

★活 -05　常体形

使うことば

暑い、暖かい、寒い、涼しい、（静か）、（便利）、（にぎやか）、春、夏、秋、冬

談話の技術

準備するもの

手　順

1. 教師は＜モデルテキスト＞のAのように「です／ます」の形で質問する。

2. 学習者はBのように「～と思います」をつけた答えを言う。答え（「～と思います」の前の部分）が肯定か否定かは、教師が指定する。

モデルテキスト

A：行きますか。

B：はい、行くと　おもいます／いいえ、行かないと　おもいます。

A：見ましたか。

B：はい、見たと　おもいます／いいえ、見なかったと　おもいます。

A：あついですか。

B：はい、あついと　おもいます／いいえ、あつくないと　おもいます。

A：しずかですか。

B：はい、しずかだと　おもいます／いいえ、しずかでは　ないと
おもいます。

A：日本語ですか。

B：はい、日本語だと　おもいます／いいえ、日本語では　ないと
おもいます。

バリエーション

（1）絵や写真パネルなどを裏返したり、ものを隠したりして、見えないものを想像して答えを言わせると意味のある練習になる。

先生へ

・教師は、動詞、形容詞、名詞の文の過去、非過去の練習がバランスよくできるように気をつける。

11-5 昔のまち・今のまち・将来のまち

活動 時代による町の変化について文を書いて説明する／聞く。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

★文-38　とおもいます

★文-39　A く／AN に／N になります

活-05　常体形

談話の技術

準備するもの

使うことば

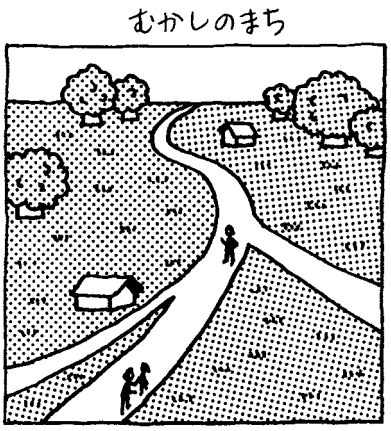
昔、町、将来＊、建物、木、（多い）、（静か）、にぎやか、車、（おおぜい）、思う＊、少ない、（生活＊）、（便利）、速い、なる

手　順

1. 昔と今と将来の同じ場所の絵をペアの数だけ用意する。
2. 学習者はペアになる。
3. ペアで＜モデルテキスト＞（1）（2）のように1枚ずつ絵を見ながら、町について説明をしたり推測したりする。
4. ＜モデルテキスト＞（3）のように2枚の絵を比べて町の変化を説明したり、推測したりする。
5. ＜モデルテキスト＞（4）のように将来の町を予測する。はじめは絵を見ないで予測して文を作り、後から絵を見る。
6. ＜モデルテキスト＞（5）のように2枚の絵を比べて町の変化を予測する。

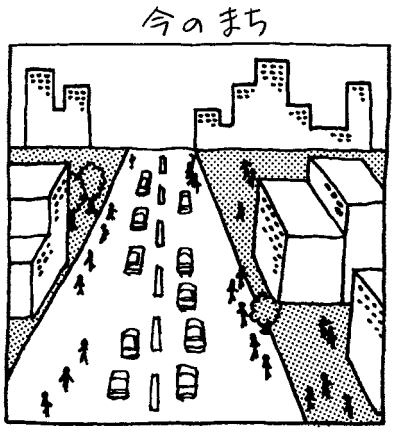
モデルテキスト

(1) むかし



- 高(たか)い たてものが ありませんでした。
- 木(き)が 多(おお)かったです。
- 人(ひと)が あまり いませんでした。
- まちは しずかだったと おもいます。
- まちは あまり にぎやかでは なかったと おもいます。

(2) 今(いま)



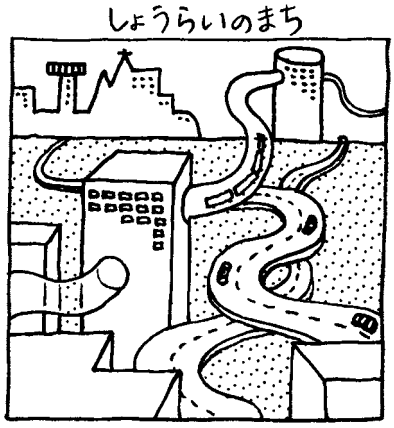
- 高(たか)い たてものが あります。
- 車(くるま)が 多(おお)いです。
- あるいて いる 人(ひと)が おおぜい います。
- まちは にぎやかです。

(3) むかしと 今(いま)を くらべて

- たてものが 多(おお)く なりました。
- 木(き)が 少(すく)なく なりました。
- 車(くるま)が 多(おお)く なりました。
- まちは にぎやかに なりました。

(4) しょう来

・高い たてものが 多いと おもいます。
・車が 少ないと おもいます。
・あるいて いる 人が 少ないと おもいます。
・生かつが べんりだと おもいます。
・新しい 電車は はやいと おもいます。



(5) 今と しょう来を くらべて

・車が 少なく なると おもいます。
・生かつが べんりに なると おもいます。
・あるいて いる 人が 少なく なると おもいます。

バリエーション

(1) 学習者が住んでいる所について、子供の頃と比べてどんな変化が起こったか言う。

11-6 どうなると思いますか

活動 4コマまんがを見て、展開を予測して言う。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-38　とおもいます
　活-05　常体形

談話の技術

準備するもの

使うことば

思う＊、男、もうすぐ、お弁当、切符、びっくりする＊、女、雨、降る、（ボール＊）、落ちる＊、けが、建物、（鳥）
▲持って帰る

手　順

1. 教師は4コマまんがを1コマずつ学習者に見せ、＜モデルテキスト＞のように質問する。
2. 学習者は、見えない部分を想像したり、次のコマを予想したりして、教師の質問に答える。

モデルテキスト

（1）①を見て

A：男の人は りょ行に 行きます。電車が 来ました。のる ことができると おもいますか。

B：のる ことが できると おもいます。／できないと おもいます。

②③を見て

A：このあと どうなると おもいますか。

B：ねると おもいます。／おべんとうを 食べると おもいます。／友だちに 会うと おもいます。

④を 見(み)て

A：男(おとこ)の 人(ひと)は どうして びっくりしましたか。

B：この 電車(でんしゃ)は ちがう ところに 行(い)く 電車(でんしゃ)だったからだと おもいます。／きっぷが なかったからだと おもいます。

(2) ①を 見(み)て

A：女(おんな)の 人(ひと)が あるいて います。これから どうなると おもいますか。

B：雨(あめ)が ふると おもいます。／たてものに 入(はい)ると おもいます。／買(か)いものに 行(い)くと おもいます。

②を 見(み)て

A：このあと どうなると おもいますか。

B：ボールは 女(おんな)の 人(ひと)の あたまの 上(うえ)に おちると おもいます。／女(おんな)の 人(ひと)は 上(うえ)を 見(み)ると おもいます。／女(おんな)の 人(ひと)は けがを すると おもいます。

③を 見(み)て

A：このあと どうなると おもいますか。

B：とりは ボールを 食(た)べると おもいます。／とりと ボールは 下(した)に おちると おもいます。

④を 見(み)て

A：このあと どうなると おもいますか。

B：女(おんな)の 人(ひと)は とりに 「ありがとう」と 言(い)うと おもいます。／とりは ボールを もって かえると おもいます。

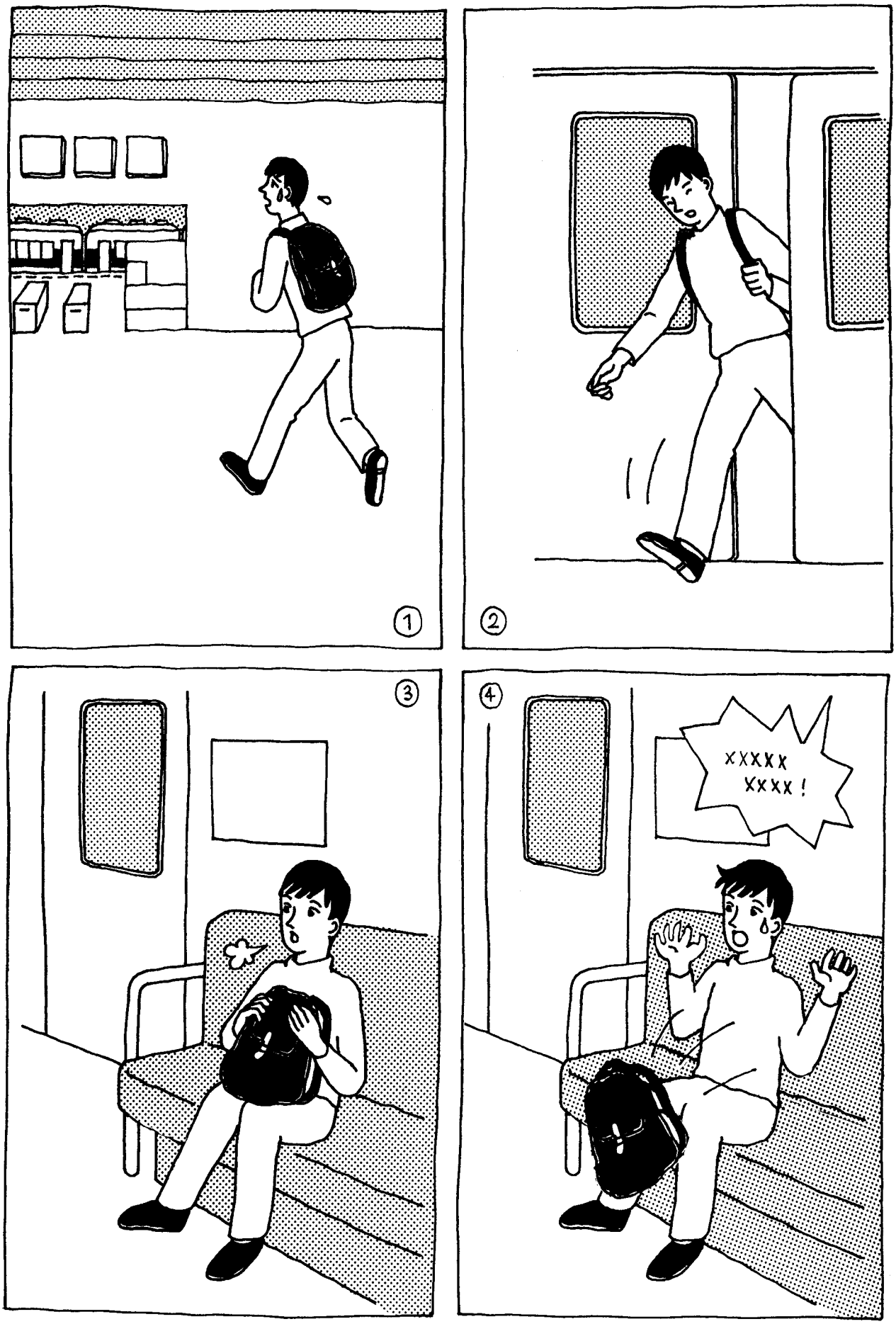
バリエーション

(1) 学習者(がくしゅうしゃ)が個人(こじん)やグループで 4 コマまんがをかいて、ほかの学習者(がくしゅうしゃ)に予測(よそく)させる。

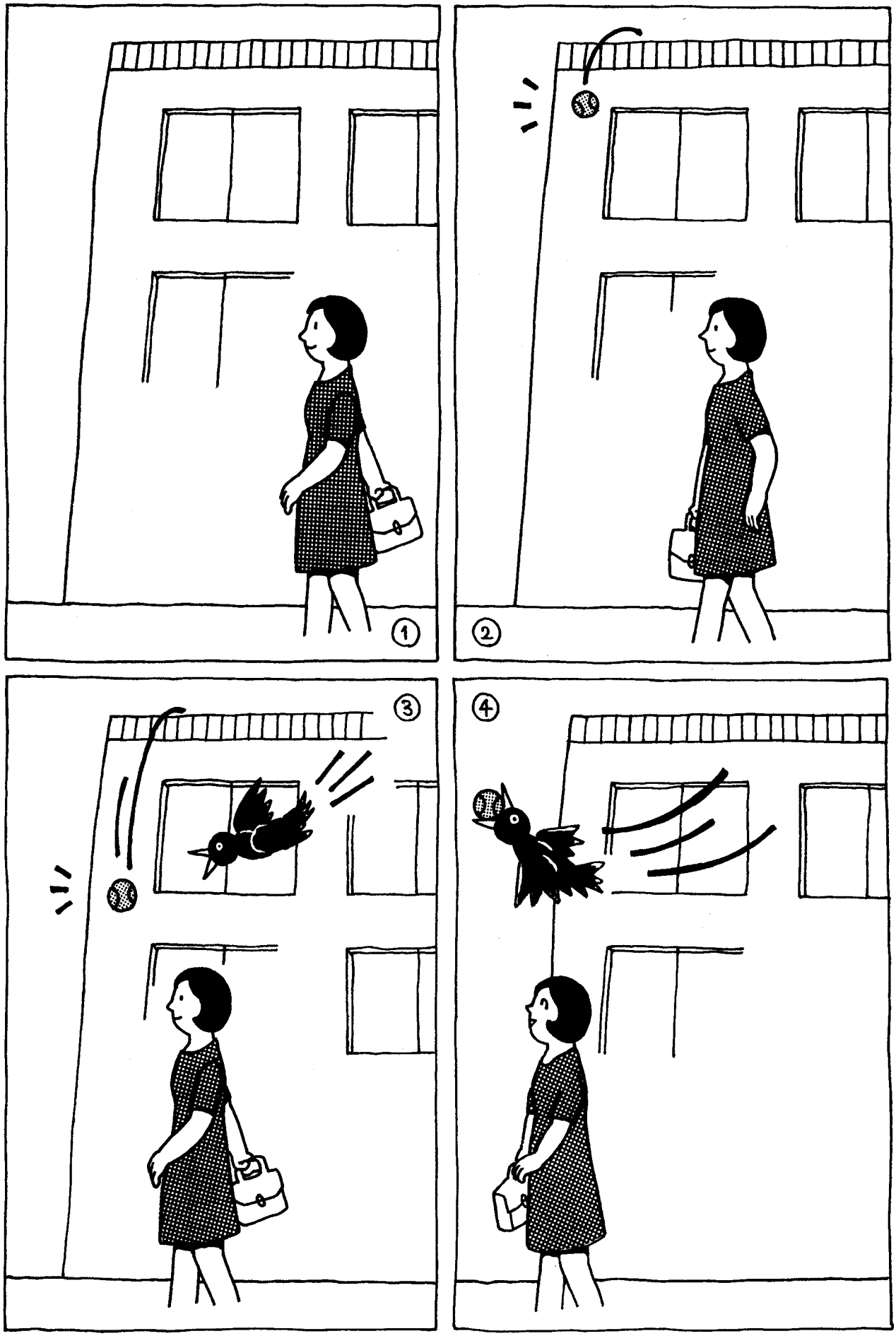
先生へ

・予測(よそく)はできるだけいろいろなものが出(で)たほうがよい。学習者(がくしゅうしゃ)に予測(よそく)させた後(あと)で、なぜそう思(おも)うかたずねる。母語(ぼご)でもよい。

(1)



(2)



11-7 わたしの国の一年

活動 一年の気候の変化について、読む／書く。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

★文 -39　A く／AN に／N になります

談話の技術

準備するもの

使うことば

～年、春、夏、秋、冬、季節＊、とくに＊、暖かい、雨、降る、暑い、（登る）、木の葉＊、黄色、涼しい、雪、北、地方＊、スキー＊、スケート＊、水泳＊、キャンプ＊

▲（いちばん）

手　順

1. 日本の四季の変化について書かれた＜モデルテキスト＞を読む。
2. 学習者は絵を見て、学習者の国や地域の一年の変化がわかるように図をかく。
3. 学習者は＜タスクシート＞の（　）の中にことばを入れて、学習者の国や地域の一年の変化を説明する文章を作る。

モデルテキスト

日本の一年

日本には 春と 夏と 秋と 冬の 四つの きせつが あります。

春は、3月から 5月ごろまでです。あたたかく なって、いろいろな 花が さきます。さくらの 花は とくに きれいで、有名です。

夏は、6月から 8月ごろまでです。6月に 雨が たくさんふった 後で、7月と 8月には とても あつく なります。夏休みには みんな 海で およいだり 高い 山に のぼったりします。

秋は、9月から 11月ごろまでです。木のはが あかや きいろになって、こうえんや 山は とても きれいに なります。すずしくて くだものが おいしい きせつです。

冬は、12月から 2月ごろまでです。さむく なって、ゆきがふる ところも あります。北の ちほうや 山の ちかくでは スキーや スケートが できます。

水えいや キャンプが できますから、わたしは 夏が いちばん すきです。

タスクシート

（　　）の一年

（　　）には（　　）と（　　）…の（　　）つの

きせつが あります。

（　　）は、（　　）月から（　　）月ごろまでです。

（　　）なります。

（　　）は、（　　）月から（　　）月ごろまでです。

（　　）なります。

（　　）は、（　　）月から（　　）月ごろまでです。

（　　）なります。

（　　）は、（　　）月から（　　）月ごろまでです。

（　　）なります。

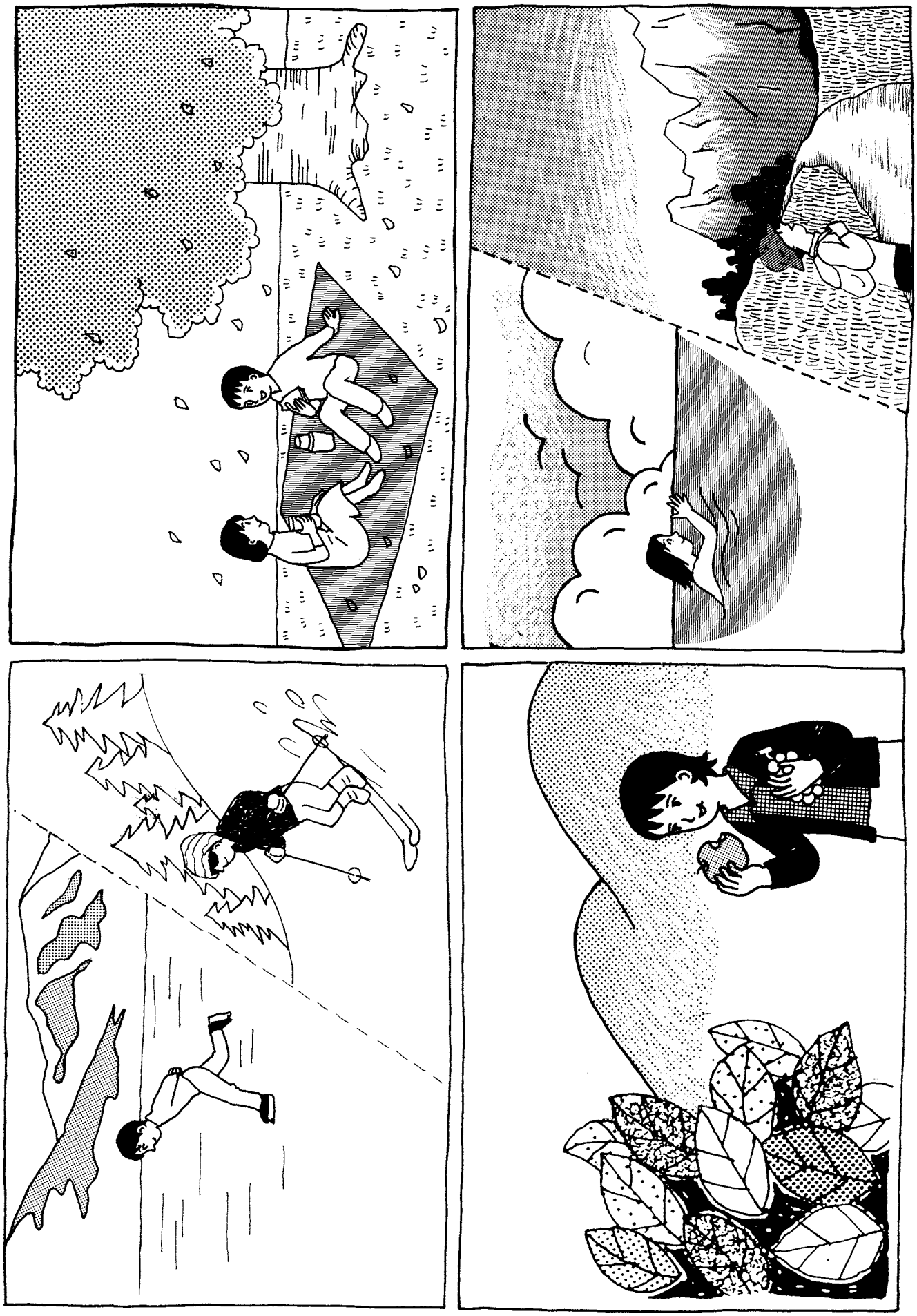
（　　）から、わたしは（　　）が　いちばん　すきです。

バリエーション

(1)「（　　）なります。」の後で、季節の特徴や特別な活動、行事などの文を追加してもよい。

先生へ

- 『写真パネルバンク Ⅲ.』の1（四季）、9（梅雨）、33（桜）、36（紅葉）、62（海水浴）、83（スケート）、84（スキー）を参考にする。
- 四季がない場合は、雨季、乾季などの気候の変化を書く。



12-1 あしたいいことがあるでしょう♡

活動 友だちに起きるいいことをおみくじに書く／読む。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-42　でしょう

談話の技術

準備するもの

使うことば

（点＊）、すぐ、おこづかい＊、来週、拾う＊、増える＊、試合＊、チケット＊、チーム＊、勝つ＊

▲ いいこと／友だちができる

手　順

1. 教師は学習者に日本のおみくじの説明をする。おみくじの内容の例として＜モデルテキスト＞を読む。
2. 教師はこれからクラスでおみくじを作ることを提案する。内容は、勉強、友だち、おこづかい、趣味などの中から学習者に選ばせ、近い将来何かいいことが起きるようなことを書くように指示する。
3. 学習者は２つのグループにわかれる。
4. 学習者は１人ずつ小さい紙に文を１つ書き、紙をきれいにたたんで、グループごとに箱に入れて集める。
5. グループで箱を交換し、ほかのグループからもらった箱の中から１人１つずつおみくじを引いて読む。

モデルテキスト

(1) べんきょう

・日本語の テストで いい てんを とるでしょう。

・すう学の しゅくだいが 少ないでしょう。

・かんじを すぐに 20 おぼえる ことが できるでしょう。

(2) 友だち

・小学校の ときの 友だちから 手がみが 来るでしょう。

・新しい 友だちが できるでしょう。

(3) おこづかい

・来週 いい アルバイトが できるでしょう。

・来月 おこづかいが ふえるでしょう。

・前から ほしかった ものを 買う ことが できるでしょう。

(4) しゅみ

・友だちから えいがの チケットを もらうでしょう。

・しあいで あなたの チームが かつでしょう。

・しあいで すきな チームが かつでしょう。

先生へ

・「友だちができる」の「できる」は特別な使い方。「新しく生まれる、発生する、完成する」の意味。「可能である、能力がある」とは違う。

12-2 それはいつですか

活動 「とき」を使った文を理解する。
「とき」を使って、文をつなぐ。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文 -40　とき

談話の技術

準備するもの

使うことば

お客さん＊、（京都＊）、お寺＊、見せる、考える＊

▲ お茶を出す

手　順

1. 学習者は、＜モデルテキスト＞(1) と (2) を読んで、それぞれ下の質問に母語で答える。

(1) へやをそうじするとき、お客さんはいるかどうか。
お茶を出すとき、お客さんはいるかどうか。

(2) 田中さんはどこで服を着たか。
どこで料理を食べたか。

2. ＜タスクシート＞の a、b とア、イを 1 つずつ結んで意味のある文を作る。

モデルテキスト

(1) a. おきゃくさんが 来(く)る とき、へやを そうじします。

b. おきゃくさんが 来(き)た とき、おちゃを 出(だ)します。

(2) a. 田中(たなか)さんは、パーティーに 行(い)く とき、きれいな ふくを きました。

b. 田中(たなか)さんは、パーティーに 行(い)った とき、りょうりを たくさん 食(た)べました。

タスクシート

(1) a. きょ年(ねん)、きょうとへ 行(い)く とき

b. きょ年(ねん)、きょうとへ 行(い)った とき

ア) 新(あたら)しい りょ行(こう)かばんを 買(か)いました。

イ) おてらの しゃしんを たくさん とりました。

(2) a. 新(あたら)しい ふくを 買(か)う とき

b. 新(あたら)しい ふくを 買(か)った とき

ア) 友(とも)だちに 見(み)せます。

イ) よく かんがえます。

<答(こた)え>

(1) a- ア、b- イ　(2) a- イ、b- ア

バリエーション

(1) 学習者(がくしゅうしゃ)がそれぞれ<モデルテキスト>(1)のような文(ぶん)を作(つく)り、交換(こうかん)して、後件(こうけん)の行動(こうどう)やできごとがいつ、どこであったか考(かんが)える。

(2) <モデルテキスト>(1)の練習(れんしゅう)を、動詞(どうし)の形(かたち)を選(えら)ぶ問題(もんだい)に変(か)える。

例(れい)) a.お客(きゃく)さんが{来(く)る／来(き)た}とき、へやをそうじします。

12-3 何と言いますか

活動 場面の説明を読んで、そのときに使う表現を考える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

文-40　とき

談話の技術

準備するもの

使うことば

プレゼント＊、もらう＊、あげる＊、わかる、ことば、借りる、貸す、意味、調べる＊、返す、集める＊、答える、あいさつ〔する〕＊、近所＊、お正月＊、留学生

▲ 誕生日おめでとう／いいえ、どういたしまして／おはようございます／こんばんは／あけましておめでとうございます／いただきます／ごちそうさまでした

手　順

1. あいさつの場面についての＜モデルテキスト＞を読んでその場面を想像して、質問に答える。

モデルテキスト

(1) あなたは たん生日に 友だちから プレゼントを もらいました。
プレゼントを もらった とき、友だちに 何と 言いますか。

(2) あなたは 友だちの ために たん生日の プレゼントを 買いました。
友だちに プレゼントを あげる とき、何と 言いますか。

(3) 日本語の じゅぎょうの とき、 わからない ことばが ありました。
となりの 人から じ書を かりて いみを しらべました。じ書を
かえす とき、 何と 言いますか。

(4) 先生が しゅくだいを あつめて います。でも、あなたは しゅくだいを
しませんでした。先生に 何と 言いますか。

(5) 日本語の じゅぎょうの とき、 となりの 人に じ書を かしました。
となりの 人は かえす とき、 あなたに 「ありがとう」と 言いました。
あなたは、何と こたえますか。

(6) あなたは いつも バスで 学校へ 行きます。 月よう日の 朝、 バスの
中で 先生に 会いました。 何と あいさつ しますか。

(7) 学校が おわってから 友だちの うちに 行きました。 よる 8時ごろに
うちへ かえる とき、きんじょの おじさんに 会いました。何と
あいさつ しますか。

(8) お正月に 日本人の りゅう学生の うちへ あそびに 行きました。何と
あいさつ しますか。

(9) 日本人の りゅう学生の うちで 晩ごはんを 食べます。 食べる まえに
何と 言いますか。

(10) 日本人の りゅう学生の うちで、 りゅう学生の お母さんが つくった
ケーキを 食べました。とても おいしかったです。食べた あとで、何と
言いますか。

＜答え＞

(1) ありがとう (2) 誕生日おめでとう (3) ありがとう (4) すみません、宿題を忘れました
(5) いいえ、どういたしまして (6) おはようございます (7) こんばんは (8) あけまして
おめでとうございます (9) いただきます (10) ごちそうさまでした

バリエーション

(1) あいさつの場面を作って、練習する。
(2) 母語のあいさつや使う状況と比べる。
(3) 説明を母語にする。

12-4 便利なマーク

活動 標識と説明文と場所の名前を合わせる。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

文-40　とき

談話の技術

準備するもの

使うことば

標識＊、新東京国際空港＊、成田＊、(場所＊)、説明＊、考える＊、線＊、結ぶ＊、はがき、貯金＊、遠い、緑、カード＊、出口、地震＊、火事＊、(男)、広い、～階建て＊、止まる、払う＊、禁煙＊、案内所＊、駐車場＊、トイレ、非常口＊

▲ おなかがすく

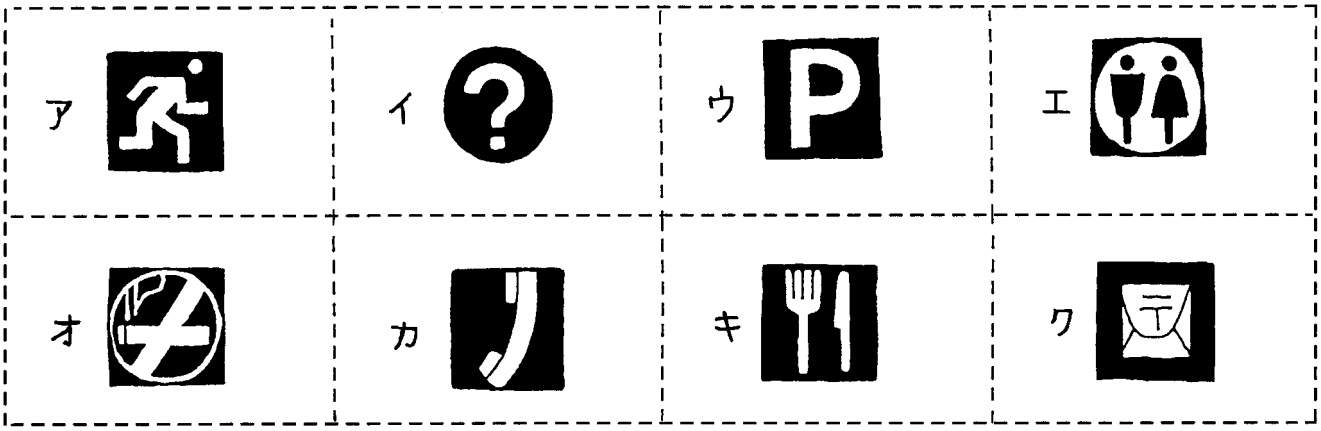
手　　順

1. 標識と説明文と場所の名前を合わせる。

モデルテキスト

日本の　まちや　大きい　たてものの　中には　いろいろな　ひょうしきが　あります。

つぎの　ひょうしきは　新東京国さい空こう（なり田空こう）に　ある　ものです。どんな　ばしょに　あると　おもいますか。ひょうしきと　ばしょの　名前と　せつめいを　かんがえて　せんで　むすびましょう。



(1) ここで たばこを すわないで ください。

(2) 行きたい ところの ばしょが わからないとき、ここで 聞きます。

(3) 外国に いる 友だちに 手がみを 出す ときに 行きます。きっ手や はがきを うって います。ちょ金を する こともできます。

(4) おなかが すいた とき 行きます。食事を したり 飲みものを 飲んだり する ことが できます。

(5) とおい ところに いる 人と 話を する ときに つかいます。日本では みどりのが 多いです。カードを つかう こともできます。

(6) 出口です。じしんや 火事の ときだけ この 出口から 外に 出ます。

(7) 駅や たてものの 中に あります。こうえんにも あります。男の 人と 女の 人は おなじ ところを つかう ことができません。

(8) 駅や 大きい たてものの そばに あります。とても ひろいです。2かいだてや 3かいだてのも あります。車が たくさんとまって います。たいてい 1時間 400円ぐらいです。

a. きんえん　b. 電話　c. あんないじょ　d. ちゅう車じょう　e. トイレ
f. レストラン　g. ゆうびんきょく　h. ひじょう口

<答え>　ア-(6)-h、イ-(2)-c、ウ-(8)-d、エ-(7)-e、オ-(1)-a、カ-(5)-b、キ-(4)-f、ク-(3)-g

12-5 日本の行事

活動 行事の説明文を読んで、シートから関係のあることばを探す。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

談話の技術

準備するもの

写真など、行事の説明ができるもの

使うことば

飾り＊、立てる＊、両親、神社＊、最後＊、そば＊、人形＊、飾る＊、星＊、紙、願い事＊、笹＊、豆＊、まく＊、年齢＊、数＊、お正月＊、節分＊、ひな祭り＊、こいのぼり＊、七夕＊、七五三＊、大みそか＊

手順

1. 絵を見ながら日本の伝統的な行事について、知っていることを話す。
2. ＜モデルテキスト＞を読んで、それがどんな行事か考える。
3. それぞれの＜モデルテキスト＞に関係があることばを＜タスクシート＞から探す。
4. 探したことばがどんな行事か、またはどんな行事に関係があるか確認する。月の順番に並べる。

モデルテキスト

（れい）新しい 1年が はじまります。「あけまして　おめでとう」と言います。

（1）5月ごろに 大きい 魚の かざりを 外に 立てます。

（2）3さいと 5さいと 7さいに なった 子どもは りょうしんと いっしょに じん社へ 行きます。

（3）1年の さい後の 日です。そばを 食べます。

（4）女の子の おまつりで、人ぎょうを かざります。

（5）7月に ある ほしの おまつりです。かみに ねがいごとを 書いて、ささに かざります。

（6）まめを まいて、年と おなじ かずの まめを 食べます。

タスクシート

こ	い	の	ぼ	り	ひ	ら	え
や	あ	わ	む	た	な	ば	た
す	へ	ぎ	く	せ	ま	ね	れ
お	し	ょ	う	が	つ	ず	と
お	ふ	ぬ	ろ	ふ	り	ぶ	が
み	ぐ	ど	し	ち	ご	さ	ん
そ	け	み	ぱ	も	に	ぺ	め
か	の	ざ	て	げ	ゆ	ほ	き

＜答え＞

こ	い	の	ぼ	り	ひ	ら	え
や	あ	わ	む	た	な	ば	た
す	へ	ぎ	く	せ	ま	ね	れ
お	し	ょ	う	が	つ	ず	と
お	ふ	ぬ	ろ	ふ	り	ぶ	が
み	ぐ	ど	し	ち	ご	さ	ん
そ	け	み	ぱ	も	に	ぺ	め
か	の	ざ	て	げ	ゆ	ほ	き

（例）お正月（1月）

（1）こいのぼり（5月 子供の日）

（2）七五三（11月）

（3）大みそか（12月）

（4）ひなまつり（3月）

（5）たなばた（7月）

（6）せつぶん（2月）

先生へ

・絵や『写真パネルバンクⅣ.』を使って説明してもよい。

a.1～13（お正月）、b.39～42（子供の日）、c.83（七五三）、

d.98（年越しそば）、e.25（ひな祭り）、f.52、53（七夕）、g.18、19（節分）

・gの「年」は「年齢」の意味。

お正月
節分
ひなまつり
こどもの日
七夕
七五三
大みそか

12-6 クイズ「日本」

活動 日本についてのクイズに答える。日本事情についての文章を読んで自分の国と比べる。

かたち

時間 （1）●○○ （2）●●○ （各）

せつめい編

文 -40　とき

助 -27　で（原因／理由）

談話の技術

準備するもの

使うことば

アジア大陸＊、どちら、～側、東、西、南、北、富士山＊、浅間山＊、阿蘇山＊、立山＊、島＊、北海道＊、本州＊、四国＊、九州＊、（お金）、単位、円、元＊、ドル＊、ウォン＊、国、きく＊、ゆり＊、ばら＊、首都＊、東京＊、大阪＊、京都＊、長野＊、プロスポーツ＊、柔道＊、すもう＊、お祭り＊、ひな祭り＊、七夕＊、七五三＊、お正月＊、雪まつり＊、横浜＊、名古屋＊、札幌＊、長崎＊、比べる＊、南北＊、（そして＊）、面積＊、約＊、万、世界＊、地図、実は＊、～番目＊、～か国＊、スイス＊、ベルギー＊、オランダ＊、二大都市＊、間＊、それで＊、飛行機、新幹線＊、乗り物＊、発達〔する〕＊、さむらい＊、江戸時代＊、汽車＊、（できる）、その後＊、どんどん＊、沖縄＊、まんなか＊、～か所、まず＊、一年中＊、もちろん、半袖＊、（着る）、咲く、（お弁当）、お花見＊、スノーボード＊、気温＊、～度

▲ ～は～よりA／AN（いちばん）

手　順

1. ＜モデルテキスト＞（1）のa～kを読んで、それぞれ後の4つのことばの中から正しい答えを選ぶ。答えは1つとは限らない。

2. ＜モデルテキスト＞（2）を読んで、最後の質問に答えたり、関連があることについて母語で話し合う。

モデルテキスト

（1）しっていますか

a. 日本は アジア大りくの どちらがわに ありますか。
（東・西・南・北）

b. 日本で いちばん 高い 山は、何という 山ですか。
（ふじ山・あさま山・あそ山・たて山）

c. 日本で いちばん 大きい しまの 名前は 何ですか。
（北海道・本州・四国・九州）

d. 日本の お金の たんいは 何ですか。 （円・元・ドル・ウォン）

e. 日本の 国の 花は 何ですか。 （さくら・きく・ゆり・ばら）

f. 12月は どの きせつですか。 （春・夏・秋・冬）

g. 日本の しゅとは どこですか。 （東京・大阪・きょうと・長野）

h. 日本に ある プロスポーツは どれですか。
（すもう・じゅう道・やきゅう・サッカー）

i. 日本の 高校は 何年ですか。 （2年・3年・4年・5年）

j. 女の子の おまつりの 名前は 何ですか。
（ひなまつり・たなばた・七五三・お正月）

k. ゆきまつりで 有名な まちは どこですか。
（よこはま・名古屋・さっぽろ・長崎）

＜答え＞ a-東、b-富士山、c-本州、d-円、e-桜、f-冬、g-東京、h-すもう、野球、サッカー、
i-3年、j-ひな祭り、k-札幌

（2）くらべましょう

a.　日本は 南北に 長い 国です。そして、本州、北海道、 九州、四国の 大きい 四つの しまと たくさんの 小さい しまがあります。 めんせきは、 やく38万㎢です。 せかいちずを 見てください。 日本は 大きい 国だと おもいますか、小さい国だと おもいますか。じつは、日本は せかいに ある やく170か国の 中で 54ばん目に 大きい 国です。 たとえば、いちばん 北に ある 北海道は、スイスや ベルギー、オランダより大きいです。

　あなたの 国は 日本より 大きいですか。

b.　東京と 大阪は、日本の 二大としです。し事や りょ行で東京と 大阪の 間を 行ったり 来たり する 人が たくさんいます。 それで、 ひ行き、新かんせん、バスなど いろいろなのりものが はったつしました。 さむらいが いた えど時だいは、東京から 大阪へ 行く とき、あるいて 行きました。1889年にき車が できましたが、 やく20時間 かかりました。 その後、新しい 電車が できて、どんどん 時間が みじかく なりました。むかし、 東京から 大阪まで あるいて やく2週間 かかりましたが、今、 新かんせんで 2時間半です。

　あなたの 国には、どんな のりものが ありますか。

c.　4月です。日本の いちばん 南に ある おきなわ、まん中の東京、いちばん 北の 北海道の 3かしょの 4月は どんなだと おもいますか。

　まず、おきなわです。一年中 ゆきが ふらない おきなわでは、もう 海で およいで いる 人が います。もちろん みんな 半そでを きて います。

　東京です。さくらが さいて います。そして、さくらが たくさん さいて いる こうえんで、おべんとうを 食べたり うたったり して みんな お花見を して います。

　北海道には まだ ゆきが あります。スキーを して いる 人が います。スノーボードを して いる 人も います。

　おきなわと 北海道では 気おんが 20どぐらい ちがいます。おなじ 4月ですが、おきなわは もう 夏で、東京は 春で、北海道は まだ 冬です。

　あなたの 国の 4月は どんな きせつですか。

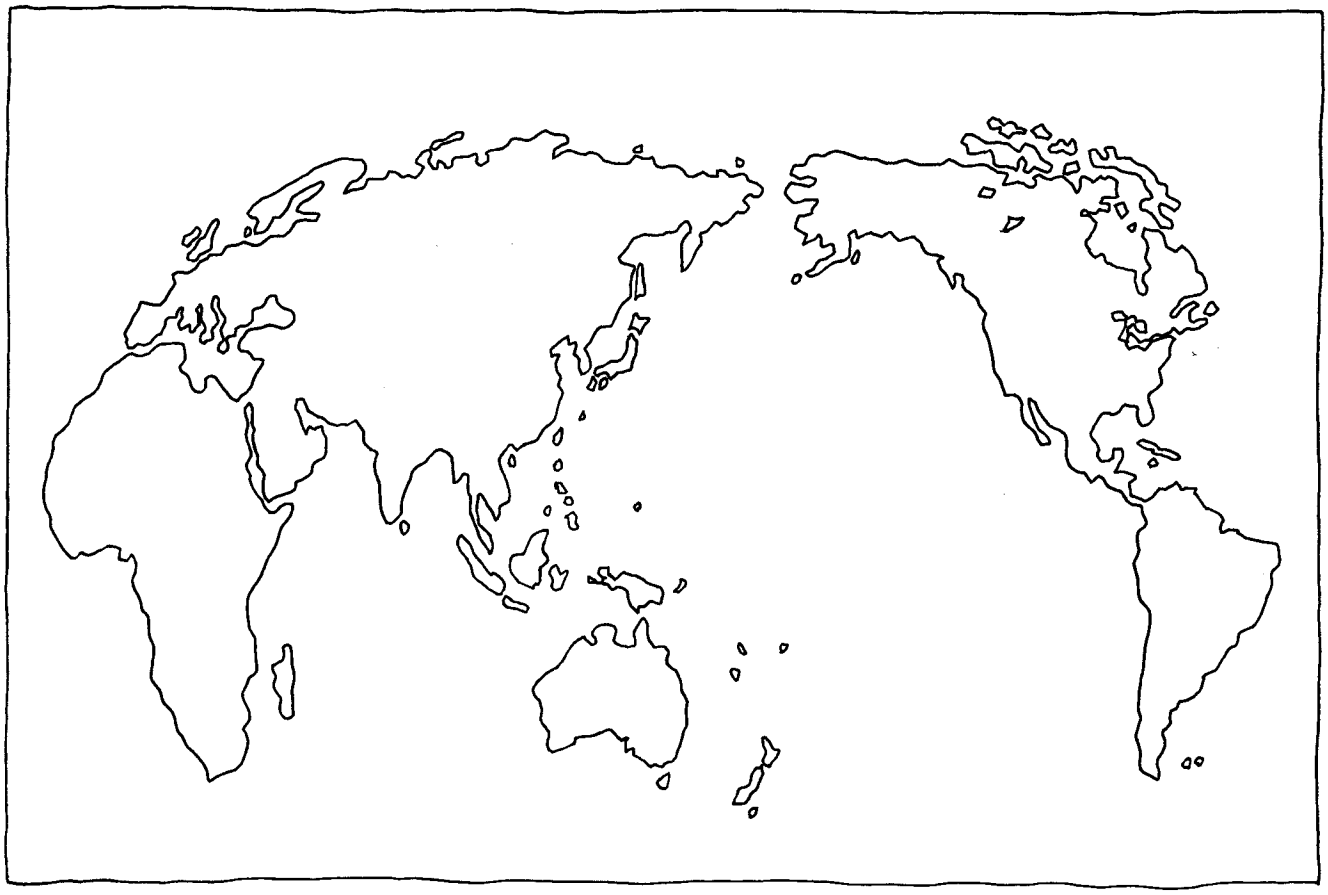
バリエーション

（1）＜モデルテキスト＞（2）の文章を参考にして自分の国の大きさや交通機関、国内の気候の違いなどについての作文を書く。

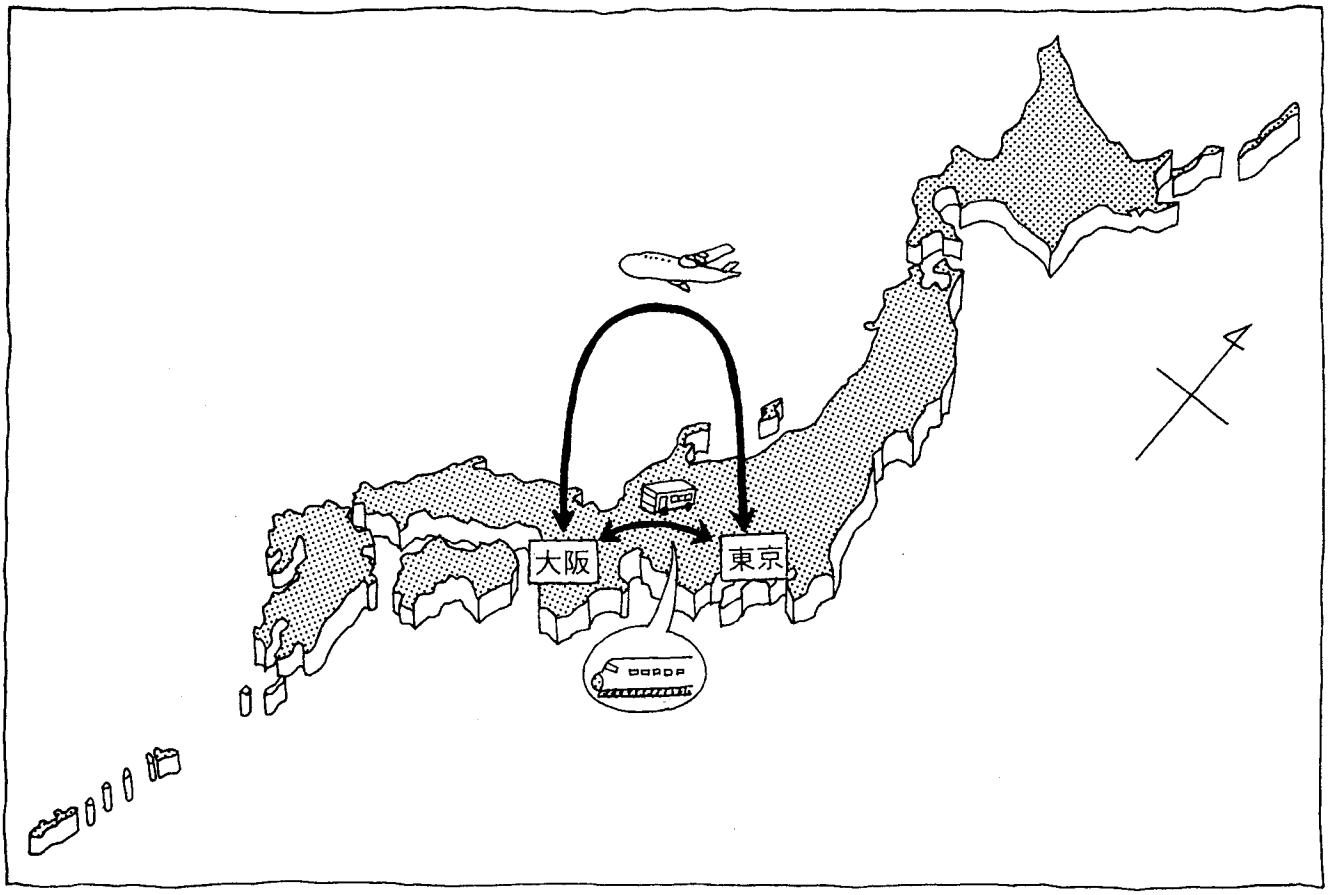
先生へ

- 学習者が日本についての知識をあまり持っていない場合は、事前に母語の読み物、先生の話、宿題などで情報を与える。
- （2）bの「き車ができました」の「できる」は「完成する、発生する」という意味で、可能や能力があることの意味ではない。
- 参考：『写真パネルバンク』
  （1）d→Ⅱ.社会生活シリーズ（29お金）、j→Ⅳ.行事シリーズ（25ひな祭り、53・54七夕、83七五三、1～13お正月）、k→Ⅲ.自然と余暇シリーズ（86札幌）

(2) a



(2) b



(2) c

12-7 有名な所

活動 有名な観光地についての会話を聞いて、内容を理解する。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

文-44　Vながら

談話の技術

- 確認する（～ですか）
- 相手の発話を聞いて話を進める（じゃあ）
- あいづちをうつ（ああ、～ですね）

準備するもの

観光地の写真

使うことば

有名、週末＊、途中＊、（お弁当）、景色＊、（雪）、（メートル）、（登る）、誘う＊、混む＊、初めて、～回目＊、ローラーコースター＊、ミッキーマウス＊、大仏＊、（びっくりする＊）、立派、（昔＊）、すごい＊、首都＊、ほか、鹿＊、子ども、富士山＊、奈良＊、東京ディズニーランド＊

▲ おなかがすく／楽しみにする／（いちばん）／持って来る

手　順

1. 教師が富士山、東京ディズニーランド、奈良など4、5か所のいろいろな観光地の写真を見せて、学習者と話し合う。
2. 学習者は週末に行った観光地について話しているテープを聞いて、1で話した場所のうち、どこへ行ったか考える。

モデルテキスト

(1) A：週(しゅう)まつは どうでしたか。

B：とても たのしかったです。でも、とても つかれました。
5時間(じかん)ぐらい あるきました。と中(ちゅう)で おなかが すきました。
もって 行(い)った おべんとうを みんなで 食(た)べました。けしきを
見(み)ながら 食(た)べた おべんとうは とても おいしかったです。

A：いちばん 上(うえ)まで のぼりましたか。

B：いいえ、と中(ちゅう)までです。

A：ゆきは ありましたか。

B：上(うえ)には ありましたが、ゆきが ある ところまで
行(い)きませんでした。

A：日本(にほん)で いちばん 高(たか)い 山(やま)ですよね。

B：はい。3776メートルです。今(こん)どは いちばん 上(うえ)まで
行(い)きたいです。いっしょに 行(い)きませんか。

A：行(い)きたいです。ぜひ さそって ください。

(2) A：週(しゅう)まつは どうでしたか。

B：とても たのしかったです。でも、こんで いました。

A：はじめてですか。

B：いいえ、5かい目(め)です。

A：うわあ、5かい目(め)ですか。

B：はい。1かいで ぜんぶ 見(み)る ことが できませんから。
いとうさんは 行(い)った ことが ありますか。

A：いいえ。でも、いつか 行(い)きたいです。そして、有名(ゆうめい)な
ローラーコースターに のりたいです。ミッキーマウスと
いっしょに しゃしんを とりたいです。

B：じゃあ、今(こん)ど いっしょに 行(い)きましょう。

(3) A：週まつは どうでしたか。

B：とても たのしかったです。

A：大ぶつは どうでしたか。

B：とても 大きくて びっくりしました。おてらの たてものも りっぱでした。むかしの 人は すごいですね。

A：むかし しゅとだった ところですからね。ほかに 何か 見ましたか。

B：たくさん しかを 見ました。

A：しかですか。

B：はい、ちかくの こうえんに たくさん いました。しかの 子どもが とても かわいかったです。

A：ああ、こうえんの しかですね。

B：そうです。今ど しゃしんを もって きます。

A：ぜひ 見せて ください。たのしみに して います。

＜答え＞

(1) 富士山 (2) 東京ディズニーランド (3) 奈良

先生へ

- ＜手順＞の1で、教師は、母語でその観光地について、学習者が興味を持ちそうな話をするとよい。
- 『写真パネルバンクⅢ.』の86（札幌）、88（日光）、90（東京）、101（富士山）、103（奈良）、104（京都）などが使える。

12-8 ごみの出し方・集め方

活動 ごみの問題について読む／話す。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

文-41　Vてあります

談話の技術

準備するもの

使うことば

ごみ＊、出す、集める＊、(町)、ルール＊、ビニール＊、びん＊、かん＊、ペットボトル＊、リサイクル＊、いろいろ、守る＊、また、入口、箱、置く、プラスチック＊、皿、(牛乳)、パック＊、入れる、方法＊、減らす＊、考える＊、チェックリスト＊、ふくろ＊、最後＊、大切、止める＊、エアコン＊、つける、トイレットペーパー＊

▲V（「ます形」から「ます」をとった形）方／Vてみる＊

手　順

1. ＜モデルテキスト＞（1）を読む前にクラスで昔なかった新しい問題について母語で話し合う。
2. ＜モデルテキスト＞（1）を読む。
3. ＜モデルテキスト＞（2）を読んで、いつもしていることに○をつける。
4. 以下のことについて話し合う。
   - 集めた新聞紙、牛乳パック、ペットボトルは、次に何になると思うか。
   - （2）の「チェックリスト」のほかに環境のために個人やみんなでしていることは何か。

モデルテキスト

（1）ゴミの 出(だ)しかた・あつめかた

田中(たなか)さんの まちでは、ゴミの 出(だ)しかたの ルールが あります。ビニールや 食(た)べものの ゴミは 火(か)よう日(び)と 木(もく)よう日(び)に 出(だ)します。新聞(しんぶん)、びん、かん、ペットボトルなど リサイクルできる ゴミは 水(すい)よう日(び)に 出(だ)します。

ゴミを あつめる ばしょには、いろいろな ことが 書(か)いて あります。 たとえば、「ルールを まもりましょう」と 大(おお)きく 書(か)いて あります。そして、ゴミを 出(だ)す よう日(び)が 書(か)いて あります。

また、 スーパーの 入口(いりぐち)には、リサイクルの ための 大(おお)きい はこが おいて あります。買(か)いものを した 人(ひと)が、プラスチックの さらや ぎゅうにゅうの パックを あらって もって 来(き)て、この はこに 入(い)れます。 この ほうほうで プラスチックや かみの パックも リサイクルできます。

リサイクルの ほうほうや ゴミを へらす ほうほうを もっと かんがえて みませんか。

（2）チェックリスト

a. ふくろや　かばんを　もって、買いものに　行きます。

b. ノートや　ボールペンを　さい後まで　つかいます。

c. かみを　大せつに　つかいます。

d. 水を　とめて、はを　みがきます。

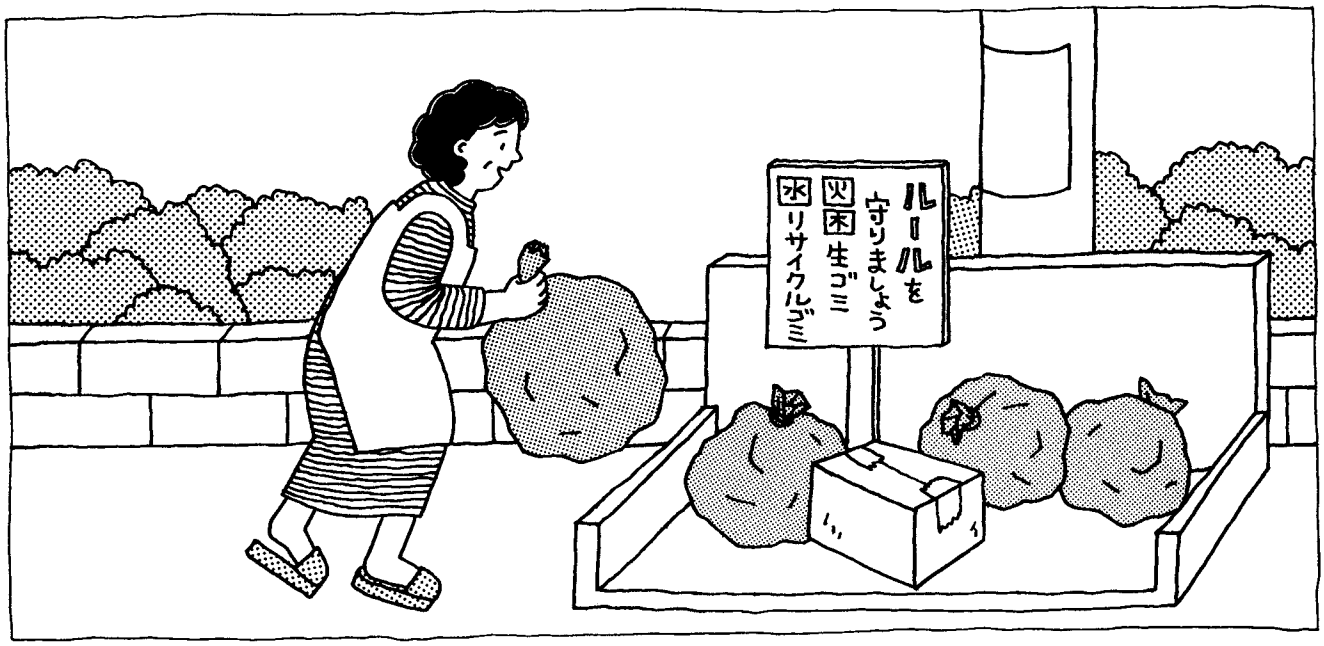
e. 少し　あつい　ときや　さむい　とき、エアコンを　つけません。

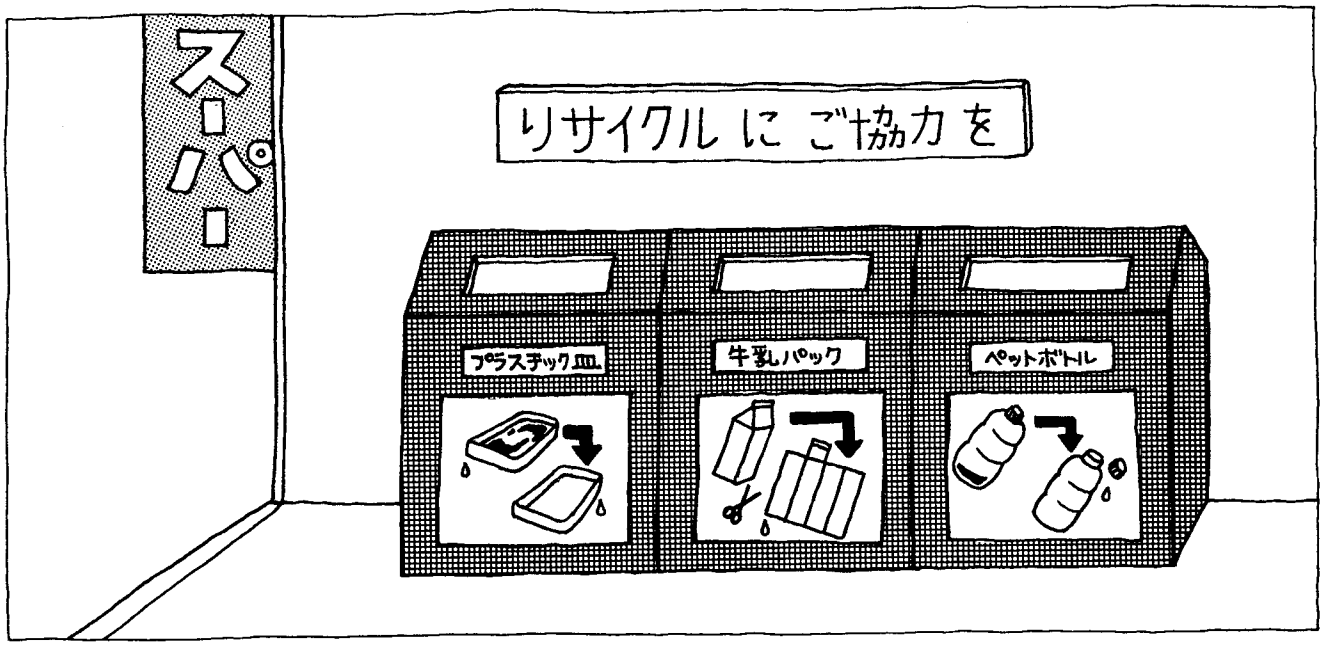
f. リサイクルの　ノートや　トイレットペーパーなどを　買います。

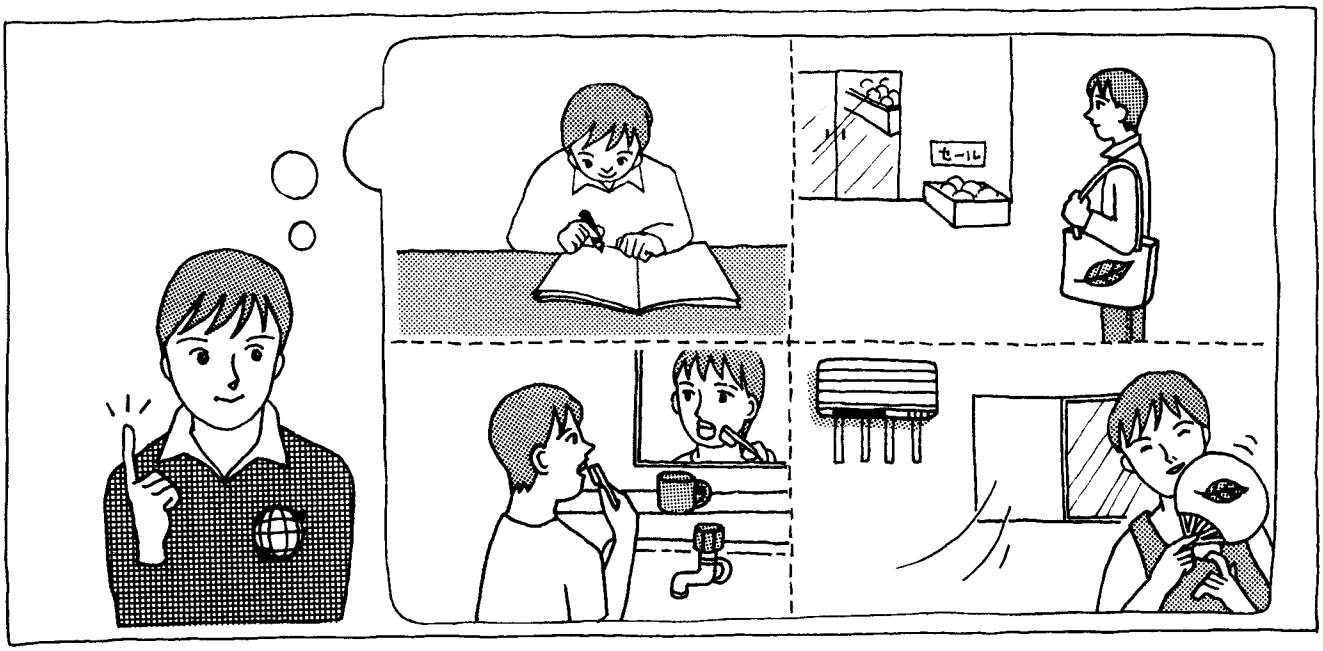
g.（学習者がいつもしていることを書く。）

先生へ

・リサイクルや環境問題の現状や取り組みは国によって違う。チェックリストは、それぞれの実状に合ったものを作る。


ルールを守りましょう
火 生ゴミ
水 リサイクルゴミ


スーパー
リサイクルにご協力を
プラスチック皿
牛乳パック
ペットボトル


セール

12-9 有名人♡

活動 有名人の紹介文を読んで理解する。

かたち

時間 (1)、(2)、(3) 各 ●●●

せつめい編

文-40　とき

文-44　Vながら

談話の技術

準備するもの

使うことば

有名人、田村亮子＊、柔道＊、そして、選手＊、アトランタ＊、オリンピック＊、銀メダル＊、とる、とき、男の子、いっしょうけんめい＊、バルセロナ＊、～回目＊、卒業〔する〕＊、自動車、続ける＊、質問〔する〕＊、勤める、有名、土井隆雄＊、～人目＊、宇宙飛行士＊、アメリカ人＊、ケネディ宇宙センター＊、スペースシャトル＊、コロンビア＊、宇宙＊、宇宙服＊、小錦八十吉＊、(ハワイ＊)、アメリカンフットボール＊、力＊、強い、すもう＊、力士＊、ぜんぜん＊、わかる

▲V（辞書形）ために

手　順

1. ＜モデルテキスト＞を読んで内容を理解する。
2. ＜モデルテキスト＞の後の質問に答える。

モデルテキスト

（1）田村亮子さん

田村さんは、 じゅう道の せん手です。 からだは 小さいですが、1996年の アトランタオリンピックで ぎんメダルを とりました。

田村さんは、 小学校2年生の とき じゅう道を はじめました。じゅう道が 大すきで、 学校が おわってから いつも 男の子たちと いっしょに じゅう道の れんしゅうを して いました。そして、いっしょうけんめい じゅう道の れんしゅうを して、高校生の とき、 バルセロナオリンピックに 出ました。

アトランタオリンピックは 2かい目の オリンピックでした。

田村さんは 1998年に 大学を そつぎょうして、「トヨタじどう車」という 車の 会社に 入りました。 そして、し事を しながら じゅう道の れんしゅうを つづけて います。

◆つぎの しつもんに こたえましょう。

① 田村さんは、何の せん手ですか。

② 田村さんは、いつから その スポーツの れんしゅうを して いますか。

③ 田村さんは、何という 会社に つとめて いますか。

④ 田村さんは、どうして 有名に なりましたか。

(2) 土井隆雄(どいたかお)さん

どいさんは、日本人(にほんじん)で 5人目(にんめ)の うちゅうひ行(こう)しです。
1997年(ねん)11月(がつ)20日(はつか)に アメリカの ケネディうちゅうセンターから
スペースシャトル「コロンビア」に のって、うちゅうへ 行(い)きました。

どいさんは、スペースシャトルに のった とき 43さいでしたが、
中学生(ちゅうがくせい)の ときから うちゅうに 行(い)きたいと おもって いました。
どいさんは、うちゅうふくを きて スペースシャトルの 外(そと)で
し事(ごと)を したり、テレビで 日本(にほん)の 子(こ)どもたちと 話(はな)したり しました。

◆つぎの しつもんに こたえましょう。

① どいさんは、スペースシャトルに のって、どこへ
行(い)きましたか。

② どいさんは、何(なん)さいの とき スペースシャトルに
のりましたか。

③ どいさんは、うちゅうで 何(なに)を しましたか。

④ どいさんは、どうして 有名(ゆうめい)に なりましたか。

(3) 小錦八十吉さん

こにしきさんは、ハワイで 生まれました。高校生のとき、アメリカンフットボールの せん手でした。からだが 大きくて、とても ちからが つよかったです。

こにしきさんは、高校を そつぎょうしてから、すもうの りきしになる ために 日本へ 来ました。はじめて 日本へ 来たとき、日本語がぜんぜん わかりませんでした。でも、日本人の りきしと いっしょにすもうの れんしゅうを しました。一生けんめい べんきょうしましたから、今は 日本語が とても じょうずです。そして、すもうも 一生けんめい れんしゅうして、つよい りきしになりました。

◆つぎの しつもんに こたえましょう。

① こにしきさんは どこで 生まれましたか。

② こにしきさんは、いつ 日本へ 来ましたか。

③ こにしきさんは、どうして 日本へ 来ましたか。

④ こにしきさんは、どうやって 日本語が じょうずになりましたか。

＜答え＞

（1）田村亮子さん

①柔道の選手です。②小学校2年生のときからです。③「トヨタ自動車」に勤めています。

④（例）オリンピックで銀メダルをとりましたから。／柔道が強かったですから。

（2）土井隆雄さん

①宇宙へ行きました。②43歳のときです。③宇宙服を着てスペースシャトルの外で仕事をしたり、テレビで日本の子供たちと話したりしました。

④（例）宇宙へ行きましたから。

（3）小錦八十吉さん

①ハワイで生まれました。②高校を卒業してから日本へ来ました。③すもうの力士になるために日本へ来ました。④（例）日本人の力士といっしょにすもうの練習をしたり、一生けんめい勉強したりしましたから。

バリエーション

（1）有名人の役の人を決めて、クラスやグループでインタビューのロールプレイをする

（インタビュー例）

質問する役：毎日、何時間ぐらい練習をしますか。

田村さん役：○○時間ぐらい練習をします。

質問する役：銀メダルをとったとき、どんな気持ちでしたか。

田村さん役：うれしかったです。

質問する役：また、オリンピックに出たいですか。

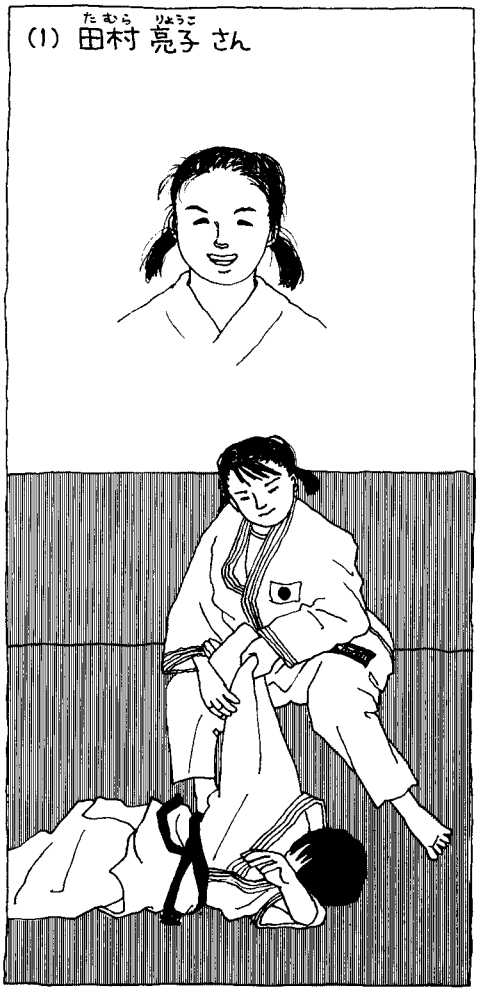
田村さん役：はい、出たいです。

（2）知っている有名人について、どんな人か、何をした人かなど簡単な文章を書く。

先生へ

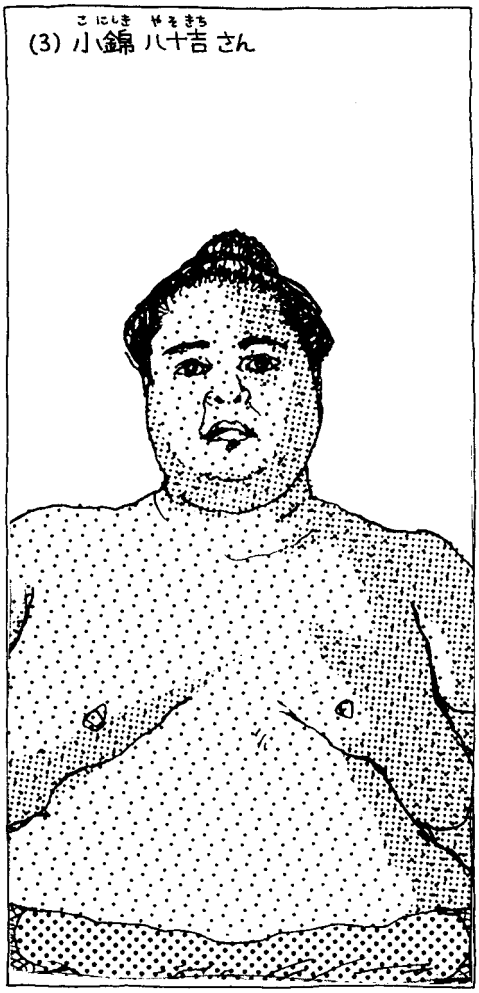
- ④の質問の答えはいろいろな可能性があるので、学習者に自由に想像させる。
- 参考：『写真パネル Ⅲ.』70（柔道）、72（すもう）
- 「小錦」の本名は「塩田八十吉」。「小錦」は力士のときの名前。今は、「KONISHIKI」という名前でタレント活動をしている。
- 「力士」は話しことばでは「おすもうさん」ということもある。

(1) 田村 亮子 さん



(2) 土井 隆雄 さん

(3) 小錦 八十吉 さん



12-10 かさじぞう

活動 絵を見て、内容を予想する。物語を読む。

かたち

時間 ●●●+

せつめい編

文-43　しか…否定

談話の技術

・相手の発話を聞いて話を進める(じゃあ)

準備するもの

使うことば

かさ＊、じぞう＊、ある＊、びんぼう＊、(おじいさん)、(おばあさん)、あみがさ＊、町、(売る)、年、大みそか＊、出かける、お正月＊、もち＊、市場＊、夕方、だんだん、(寒い)、途中＊、大雪＊、並ぶ、おじぞうさん＊、肩＊、積もる＊、かわいそう＊、のせる＊、最後＊、(自分)、あげる＊、真っ白＊、遅い＊、(声)、聞こえる＊、止まる、音＊、戸、荷物、向こう、見える＊、方、かぶる、宝物＊、そして＊、迎える＊

▲ むかしむかし／いってらっしゃい／いいこと／よういさ／音がする

手　順

1. 学習者は読む前に絵だけを順番に見て、グループごとにストーリーを考えて、発表する。
2. 教師は「かさ」と「じぞう」のことばの確認をする。この話の中の「かさ」はかぶるタイプのものであること、「じぞう」は石でできているものであることを教える。
3. ＜モデルテキスト＞を読む。
4. 母語で予想したストーリーとの違いを話し合う。
5. 学習者は＜モデルテキスト＞(2)の質問に答える。
6. 絵を見ながら、テープを聞く。
7. 母語でこの話はどんなことを伝えようとしているか話し合う。
8. 学習者は絵だけを使い、ストーリーを思い出しながら話す。

モデルテキスト

（1）かさじぞう

　むかし むかし、ある ところに、びんぼうな おじいさんと おばあさんが いました。おじいさんは、毎日(まいにち) あみがさを つくって、まちで うって いました。

　ある 年(とし)の 大(おお)みそかに、おじいさんは かさを 五(いつ)つ まちへ うりに 行(い)きました。出(で)かける 前(まえ)に、おばあさんに 言(い)いました。「かさを うって、お正月(しょうがつ)の もちを 買(か)って かえります。」それを 聞(き)いて、おばあさんは、「じゃあ、まって います。いってらっしゃい。」と 言(い)いました。

　まちの いちばは にぎやかでした。でも、おじいさんの かさを 買(か)う 人(ひと)は いませんでしたから、 おじいさんは もちを 買(か)う ことができませんでした。

　ゆうがた、だんだん さむく なって、ゆきが ふって きました。おじいさんが うちへ かえる と中(ちゅう)で、大(おお)ゆきに なりました。道(みち)に ならんで いる おじぞうさんの あたまや かたの 上(うえ)に ゆきが たくさん つもって いました。おじいさんは、おじぞうさんが かわいそうだと おもって、もっていた かさを おじぞうさんの あたまに のせました。でも、 おじぞうさんは 六人(ろくにん)で、かさは 五(いつ)つしか ありませんでした。おじいさんは、さい後(ご)の おじぞうさんに じ分(ぶん)の かさを あげて、うちへ かえりました。

おばあさんは、ゆきで まっ白に なった おじいさんから、
おじぞうさんと かさの 話を 聞いて、「いいことを しましたね。」と
言いました。そして、二人は ごはんを 食べて、ねました。

その日の よる おそく、 外から「よういさ。よういさ。」と いう
こえが 聞こえました。こえは だんだん 大きく なって、
おじいさんの うちの 前で とまりました。それから、ドスンと いう
おとが しました。

おじいさんと おばあさんは おきて、 とを あけました。
うちの 前に 大きい にもつが ありました。そして、むこうの
ほうに 六人の かさを かぶった 人が 見えました。その 人たちは
まちの ほうへ あるいて 行きました。

おじいさんと おばあさんは にもつを あけました。そこには、
お正月の もちや、魚や、たからものが たくさん 入って
いました。そして、二人は いい お正月を むかえる ことが
できました。

(2) しつもん

1. 大(おお)みそかに、おじいさんは かさを いくつ うりに 行(い)きましたか。

2. おじいさんは かさを うる ことが できましたか。

3. ① おじいさんは おじぞうさんを 見(み)て 何(なに)を しましたか。

   ② それは どうしてですか。

4. おばあさんは、おじいさんから 話(はなし)を 聞(き)いて、何(なん)と 言(い)いましたか。

5. 六人(ろくにん)の人(ひと)が もって 来(き)た にもつは 何(なん)でしたか。

6. にもつを もって 来(き)た 人(ひと)は だれだと おもいますか。

7. おじいさんと おばあさんは どんな 人(ひと)だと おもいますか。

8. おじいさんと おばあさんは どう なったと おもいますか。

＜答(こた)え＞

1. 五(いつ)つ売(う)りに行(い)きました。

2. いいえ、できませんでした。

3. ① おじぞうさんの頭(あたま)にかさをのせました。

   ② おじぞうさんがかわいそうだと思(おも)ったからです。

4. 「おじいさんはいいことをしましたね。」と言(い)いました。

5. お正月(しょうがつ)のもちや、魚(さかな)や、宝物(たからもの)でした。

6. (例(れい)) 六人(ろくにん)のおじぞうさんだと思(おも)います。

7. (例(れい)) 貧乏(びんぼう)ですが、親切(しんせつ)な人(ひと)です。

8. (例(れい)) お金持(かねも)ちになりました。

バリエーション

(1) 1～8の絵を切りはなして大きくする。
8人の学習者が1枚ずつ絵を持って見せながら＜モデルテキスト＞を音読し、ほかの人に聞かせる。

先生へ

・おじぞうさんについて紹介するとき、『写真パネルバンクⅤ.』の57（稲を刈る）も使える。
・(2)の3②、6、7、8の質問の答えはいろいろな可能性がある。日本語で答えさせるよりも、母語での答えも受けつけた方が、感じたことや、考えたことを自由に話せて学習者は興味を持つだろう。

1
2
3
4
5
6
7
8

巻末（かんまつ）

1. 教室で使う表現

1. 授業の始めと終わり

① はじめましょう。

② おわりましょう。

2. 指示

① 言って　ください。

② 聞いて　ください。

③ 書いて　ください。

④ 見て　ください。

⑤ 読んで　ください。

⑥ しつもんして　ください。

⑦ こたえて　ください。

⑧ 立って　ください。

⑨ すわって　ください。

⑩ もう一ど　言って　ください。

⑪ いっしょに　言って　ください。

⑫ 一まいずつ　とって　ください。

⑬ ～ページを　あけて　ください。

⑭ かたかなで　～を　書いて　ください。

⑮ 手を　上げて　ください。

⑬ と ⑭ の「～」には適当なことばを入れる。

3. 理解の確認

① A：わかりましたか。
　B：はい、わかりました。

② A：わかりましたか。
　B：いいえ、わかりません。

4. 生徒から先生へ

① しつもんが　あります。

② プリントを　ください。

2. 練習一覧

	B	No.	名前	分類	活動
2	1	1	聞いてください	語彙	指示を理解して、それに合ったジェスチャーをする。
4	1	2	数字	語彙	歌やビンゴで数字やあいさつを覚える。
6	1	3	すきな数字	文型	すきな数字を言う。
8	1	4	１時ですか	文型・語彙	相手の考えた時刻を当てる。
10	1	5	すきなものクイズ ♡	文型	すきなものを言う。
12	1	6	自己紹介 ▪▪ ♡	聴解・会話	テープの自己紹介を聞いて、問題に答える。自己紹介をする。
16	1	7	何時に起きますか ▪▪ ♡	聴解・会話	起きる時刻と寝る時刻をたずねる／答える。
18	2	1	教室にあるもの	語彙	見たものの名前を覚えて書く。
20	2	2	ペンがありますか ♡	文型・会話	必要なものを借りる。
22	2	3	上・下・となり	語彙	位置のことばを理解して、それに合ったジェスチャーをする。
24	2	4	わたしのとなり	語彙	人の位置を説明する／説明を聞く。
26	2	5	それは何ですか	文型	図形についてたずねる／答える。
28	2	6	だれのですか	文型	文房具の持ち主を探す。
30	2	7	どこにありますか ♡	文型	教室の中で、実際にものの位置をたずねる／答える。
32	2	8	本は机の上にありますか	文型	教室の絵を見て、ものの位置をたずねる／答える。
34	2	9	机の上にかばんがあります ▪▪	文型	説明を聞いて、説明に合った絵を選ぶ。
36	2	10	わたしの学校 ▪▪ ♡	会話	学校の中を案内する。
40	2	11	行く・来る・帰る	文型	文に合った正しい動詞を選ぶ。
42	3	1	いくらですか	語彙	値段をたずねる／答える。
44	3	2	何本・いくつ ♡	語彙・文型	(1)（2）助数詞を覚える。(3）買いたいものと数量を言う。
48	3	3	ハンバーガーを食べます ♡	会話	食べたいものと飲みたいものをたずねる／答える。
50	3	4	ハンバーガーの店 ▪▪ ♡	聴解・会話	注文の会話を聞く。店で注文する／注文を受ける。
52	3	5	形容詞のビンゴ ♡	語彙・文型	形容詞を聞き取る。形容詞で名詞を修飾する。
54	3	6	どんなかばんですか ♡	文型	かばんの絵をかいて、説明する／説明を聞いて、絵を選ぶ。
56	3	7	新しいですか	文型	ほかの人が考えているものについて、質問をして当てる。
58	3	8	どんな店ですか ▪▪ ♡	会話	店についての情報を求める／与える。そして、その店に行くかどうか決める。
60	3	9	今、何がほしいですか ♡	文型	ほしいものについてたずねる／答える。
62	4	1	何番ですか	語彙	聞いたことばの絵を選んで絵の番号で答える。
66	4	2	わたしの一日 ♡	文型	一日の生活についてたずねる／答える。
68	4	3	７時間ぐらい寝ます ♡	文型	時間についての生活習慣をたずねる／答える。
70	4	4	いつも・ときどき・あまり ♡	文型	生活習慣について話す／聞く。
72	4	5	どこで・どこに	文型	動詞を見て助詞を選ぶ。
74	4	6	田中さんの一日 ▪▪	文型	内容を推測してから文章を読む。
76	4	7	いとうさんの一週間	文型・語彙	文章を読み、表の内容と合っているかどうかチェックする。
78	4	8	わたしの家族 ▪▪	語彙・読解	文章を読み、内容に合った絵を探す。
80	4	9	クロスワードパズル	語彙	横のかぎ、たてのかぎを読んで、適当なことばを入れる。
84	5	1	何月何日ですか	語彙	日にちをたずねる／答える。
86	5	2	テレビを見ましたか ♡	文型	過去の行動についてたずねる／答える。
88	5	3	楽しかったですか	文型	与えられたことばを使って質問文を作って、たずねる／答える。
90	5	4	おいしかったですよ	文型	感想の言い方を考えて会話を完成させる。
92	5	5	休みのこと ▪▪ ♡	会話	休みにしたこととその感想をたずねる／答える。
94	5	6	手紙 ♡	作文	休みにしたこととその感想を手紙に書く／読む。返事を書く。
96	5	7	映画を見に行きませんか ♡	文型	休日の活動に友だちを誘う／誘いを受ける・断る。
98	5	8	さそいましょう ▪▪ ♡	会話	自分で休日の活動を考えて友だちを誘う／誘いを受ける・断る。
100	5	9	ポスター ♡	作文	ポスターや招待状を書く。
102	6	1	「て形」のビンゴ	活用	「て形」の動詞を聞き取る。
104	6	2	わたしは先生です ▪▪	文型・会話	指示を聞いて行動する。行動を指示する。
108	6	3	おねがいします	会話	依頼する／依頼を受ける・断る。
110	6	4	名前を書いてください ♡	文型	指定した方法で名前を書くように言う／指定通りに名前を書く。
112	6	5	どこですか	文型	ほかの人が考えている場所について、質問をして当てる。

	かたち	時間	聞	話	読	書	せつめい編（文型・活用・助詞・語彙）
	クラス	●	○				
	クラス	(1) ● (2) ●	○	○			語 01
	グループ	●●	○	○		◎	文 02, 助 01
	ペア	●	○	○			文 01, 助 04, 語 01
	グループ→クラス	●●●	○	○			文 01, 文 02, 助 01, 助 04
	(1) クラス (2) グループ	(1) ● (2) ●●	○	○			文 01, 文 02, 助 01, 助 03
	(1) クラス (2) ペア	(1) ● (2) ●●	○	○			助 02, 助 04, 語 01
	クラス	●				○	
	ペア	●	○	○			文 03, 文 05
	クラス	●	○				
	ペア	●●	○	○			文 03, 文 05, 助 05, 助 07
	ペア	●	○	○			語 02
	グループ	●	○	○			助 05, 語 03
	クラス	●●	○	○			文 03, 文 04, 助 05, 助 07
	ペア	●●	○	○			文 03, 文 04, 助 05, 助 07
	クラス	●	○				文 03, 文 05, 助 05, 助 07
	ペア	●●●	○	○			文 03, 文 04, 助 05, 助 07, 語 04
	クラス	●	○	○			文 03, 助 06
	ペア	●	◎	◎		○	語 05
	(1) (3) クラス (2) ペア	(1) ● (2) ● (3) ●●	◎	◎		○	文 08, 助 08, 語 05, 語 06
	グループ	●●	○	○			助 08, 助 10, 語 05, 語 06
	(1) クラス (2) ペア	(1) ● (2) ●●	○	○			文 08, 助 08, 助 09, 助 10, 語 05, 語 06
	クラス	●●	○	○			文 06, 文 07,
	グループ	●●	○	○			文 07
	クラス	●	○	○			文 06
	クラス	●●	○	○			文 06, 助 10
	ペア	●	○	○			文 07, 文 09,
	クラス	●	○				
	ペア	●●	◎	◎		○	語 08
	グループ	●●	◎	◎		○	語 07, 語 08
	グループ	●●	◎	◎		○	文 10
	個人	●			○	○	(助 07), 助 11
	個人	●●			◎	○	助 11, 助 13, 語 07, 語 08
	個人	●●			○		助 11, 助 12, 語 07, 語 08
	個人	●●			○		
	個人	(1) ●● (2) ●●			○	○	文 10, 助 11
	グループ	●	○	○			
	ペア	●	◎	◎		○	文 11,
	ペア	●	◎	◎		○	文 12,
	個人→ペア	●●	○	◎	◎		文 11, 文 12, 文 13,(助 10)
	ペア	●●	○	○			文 11, 文 12, 助 14, 助 15
	個人	●●●			○	○	文 11, 文 12, 文 13, 助 14, 助 15, 助 16
	クラス	●●	◎	◎		○	文 14, 文 15, 助 14, 助 15
	ペア	●●	○	○			文 14, 文 15, 助 15
	グループ	●●●			○	◎	文 15, 助 14, 助 15
	クラス	●	◎			○	活 01
	クラス	(1) ● (2) ●	○	○			文 16, 文 18, 文 19, 活 01, 助 17
	ペア	●●	○	○			文 16, 活 01, 助 17
	クラス	●●	◎	◎		○	文 16, 文 18, 活 01, 助 17
	クラス	●●	○	○			文 17, 活 01

	B	No.	名前	分類	活動
114	6	6	科目の名前	語彙	科目の名前と絵を結びつける。
116	6	7	時間割 ▪▪	語彙・文型	時間割を見て、内容を確認する。時間割を書く。
118	7	1	言えたらあげる	活用	動詞の「ます形」を見て「た形」を言う。
120	7	2	めずらしい経験 ♡	文型	自分の経験を言う／ほかの人の経験をたずねる。
122	7	3	旅行の思い出 ▪▪ ♡	会話	過去の旅行について話す。
124	7	4	旅行に行きましょう ♡	読解・作文	観光地のポスターやパンフレットを書く／読む。
126	7	5	どこで・どこを・どこから	語彙・文型	与えられたことばを使って文を作る。
128	7	6	うちから学校まで ▪▪ ♡	聴解・作文	移動経路について聞く／書く。
132	7	7	駅はどこですか	会話	ペアで情報の違う地図を持って、行き方をたずねる／教える。
136	7	8	どのコースがいいですか	読解	旅行のコースの説明を読んで、すきなコースを選ぶ。
138	8	1	辞書形の練習	活用	辞書形を確認し、覚えるためのゲームをする。
140	8	2	趣味は何ですか	文型	ジェスチャーを見て、その人の趣味を当てる。
142	8	3	友だちと何をしますか ♡	読解・作文	文章とグラフを読んで理解する。クラスで同じ調査をする。
144	8	4	友だちはどの人ですか	文型	人の行動や服装を説明して、どの人か当てさせる／当てる。
148	8	5	アルバイト ▪▪ ♡	読解・作文	最近の様子を知らせる手紙を読んで、返事を書く。
152	8	6	もしもし ▪▪	会話・聴解	電話の会話を聞いて正しいメモを選ぶ。
156	8	7	日本の学校制度	読解・作文	日本の学校制度の説明文を読む。自分の国の制度について書く。
160	9	1	「ない形」クイズ	活用	動詞の「ます形」を見て、「ない形」を書く。
162	9	2	ペンを使わないでください ♡	文型	すること、してはいけないことの指示をする／指示に従う。
164	9	3	目・鼻・口	語彙	ゲームで体の部分の名前を覚える。
166	9	4	宇宙人 ▪▪	文型	宇宙人の顔の特徴について聞いて、絵の中から正しいものを選ぶ。
168	9	5	お大事に ▪▪ ♡	会話	医者や学校の医務室の先生になって、病気の人に指示をする。
170	9	6	スポーツテスト	文型	運動能力についてのチェックシートを作って、質問する／答える。
172	9	7	健康チェック	読解	健康についての質問を読んで、健康度をチェックする。
174	9	8	料理を作りましょう	文型	料理や材料について話す。たずねる／答える。
176	10	1	赤くて丸いものは？ ♡	文型・語彙	2つの形容詞で説明する／それが何か考える。
178	10	2	この人はだれですか ▪▪	文型・聴解	テープの内容と合った絵を選ぶ。クラスの人を説明する。
180	10	3	どっちが先 ♡	文型	2つの動作の順番を聞いて、生活習慣を比べる。
182	10	4	日曜日の計画 ▪▪ ♡	文型	「て形」や「Vてから」を使って行動の前後関係をたずねる／答える。
184	10	5	手紙をください ♡	読解・作文	ペンパル募集の文章を読む。返事を書きたい人を選ぶ。募集の文章を書く。
188	10	6	わたしの友だち ♡	読解・会話・作文	生い立ちについてたずねる／答える。友だちの生い立ちについて書く。
190	10	7	どうやってしますか ♡	文型	生活習慣などについてたずねる／答える。
192	10	8	わたしの将来	読解	趣味や将来の希望について書かれた文章を読んで、希望の職業を当てる。
196	11	1	どんな順番？	文型	行動の前後関係を言う／順番を当てる。
200	11	2	何ですか	語彙・文型	クイズを作る／答える。
202	11	3	インタビュー ▪▪ ♡	会話	過去のことについてたずねる／答える。
206	11	4	どう思いますか	文型	動詞、形容詞、名詞の質問文に対して「と思います」を使って答える。
208	11	5	昔のまち・今のまち・将来のまち	文型	時代による町の変化について文を書いて説明する／聞く。
212	11	6	どうなると思いますか	文型	4コマまんがを見て、展開を予測して言う。
216	11	7	わたしの国の一年 ▪▪ ♡	読解・作文	一年の気候の変化について、読む／書く。
220	12	1	あしたいいことがあるでしょう ♡	文型	友だちに起きるいいことをおみくじに書く／読む。
222	12	2	それはいつですか	文型	「とき」を使った文を理解する。「とき」を使って、文をつなぐ。
224	12	3	何と言いますか	読解・語彙	場面の説明を読んで、そのときに使う表現を考える。
226	12	4	便利なマーク	読解	標識と説明文と場所の名前を合わせる。
228	12	5	日本の行事	読解・語彙	行事の説明文を読んで、シートから関係のあることばを探す。
232	12	6	クイズ「日本」	読解	日本についてのクイズに答える。日本事情についての文章を読んで自分の国と比べる。
238	12	7	有名な所 ▪▪	聴解	有名な観光地についての会話を聞いて、内容を理解する。
242	12	8	ごみの出し方・集め方	読解	ごみの問題について読む／話す。
246	12	9	有名人 ♡	読解・会話	有名人の紹介文を読んで理解する。
252	12	10	かさじぞう ▪▪	読解	絵を見て、内容を予想する。物語を読む。

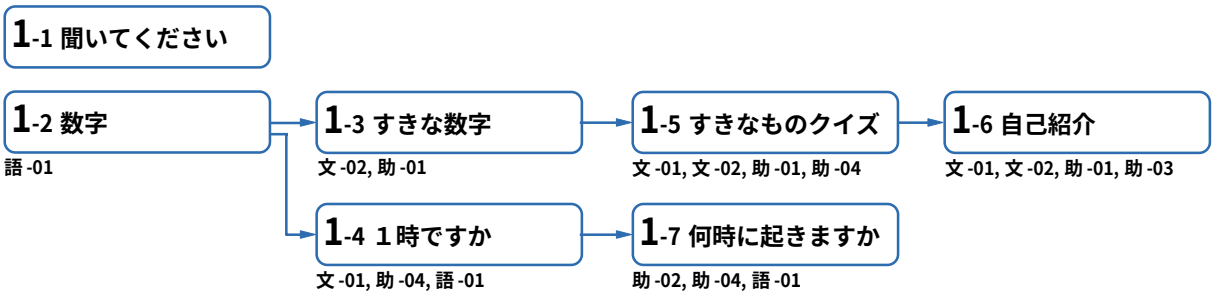
	かたち	時間	聞	話	読	書	せつめい編（文型・活用・助詞・語彙）
	個人	●			○		
	ペア	●●	◎	◎	○	○	助 18
	ペア	●	○	◎	○	○	活 02
	グループ	●	◎	◎		○	文 20, 活 02, 助 21
	ペア	●●●	○	○			文 21, 文 22, 文 23, 活 02
	グループ	●●●			○	○	文 20, 文 21, 活 02
	個人	●●			○	○	(助11, 助12, 助17), 助19, 助20, 助21
	個人	●●●	◎	○	○	◎	(助12, 助17), 助19, 助20, 助21
	ペア	●●	○	○			助 20
	個人→クラス	●●			○		(助12, 助17), 助20, 助21
	(1) クラス (2) ペア	(1) ● (2) ●		○		○	活 03
	クラス	●	○	○			文 25, 活 03
	クラス	●●●			◎	○	文 25, 活 03
	ペア	●●	○	○			文 24
	個人	●●●+			○	○	文 24, 助 22, 助 23, 助 24, 助 25
	クラス	●●	◎		○		(助16), 助22
	個人	●●●+			○	○	助 22, 助 23
	個人	●			○	○	活 04
	ペア	●	○	○		○	(文16), 文29
	クラス	●	○	○			
	クラス	●	○				文 27
	ペア	●●	○	○			(文16), 文27, 文29, 活 04
	グループ→クラス	●●	○	○			文 26
	個人	●●			○		文 26, 文 28
	クラス	●	○	○			(助 17)
	クラス	●	○	○			文 30
	クラス	●●	○	○			(文27, 文28), 文30
	ペア	●	○	○		◎	文 33
	クラス	●●	◎	◎		○	文 31, 文 33
	個人	●●●			○	○	文 30, 文 33, 文 34, 助 26
	クラス	●●●	◎	◎	○	◎	文 33
	ペア	●	○	○		◎	文 31, 文 32
	クラス	●●			○		文 34
	ペア	●●	○	○		◎	(文 33), 文 35, 文 36
	クラス	●●	○	○		◎	文 37
	グループ	●●	◎	◎		○	文 37, (助 16)
	クラス	●	○	○			文 38, 活 05
	ペア	●●●	○	○		◎	文 38, 文 39, 活 05
	クラス	●●	○	○			文 38, 活 05
	個人	●●●			○	○	文 39
	クラス	●●			○	○	文 42
	個人	●			○		文 40
	個人	●●			○	○	文 40
	個人	●●			○		文 40
	クラス	●●			○		
	クラス	(1) ● (2) ●● (各)			○		文 40, 助 27
	クラス	●●	○				文 44
	クラス	●●●		○	◎		文 41
	クラス	(1) (2) (3) 各●●●	○	○	◎		文 40, 文 44
	クラス	●●●+		○	◎		文 43

巻末

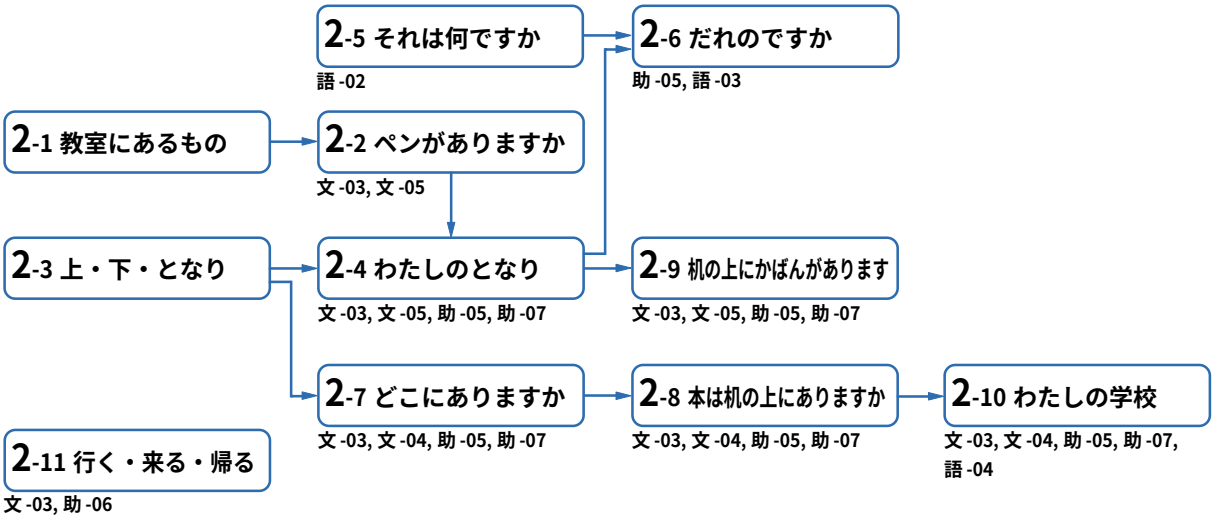
3. ブロック別練習の順序例

左から右に行くにしたがって、語→文→談話のように、より大きい単位を練習の対象としている。
それにともなって練習の手順も複雑になっている。

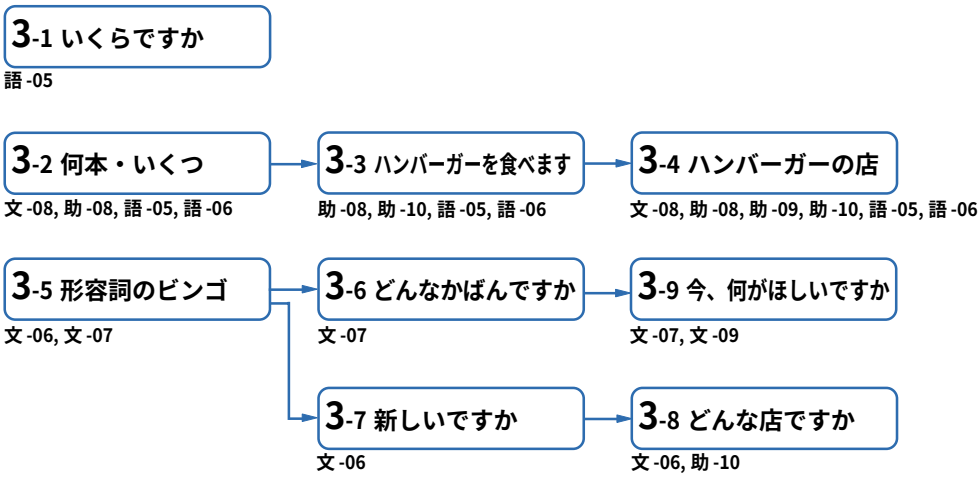
1 わたし



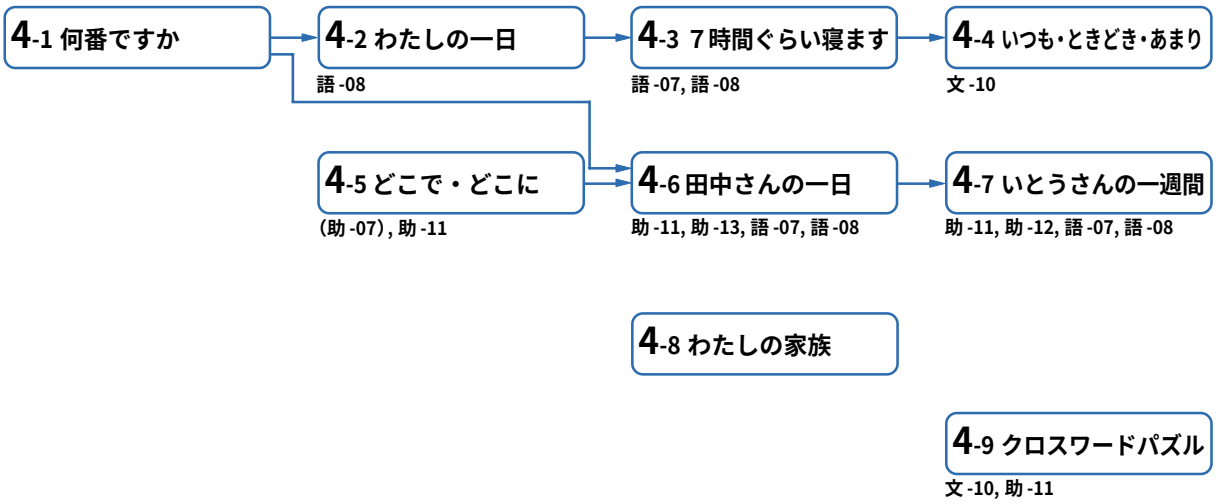
2 教 室



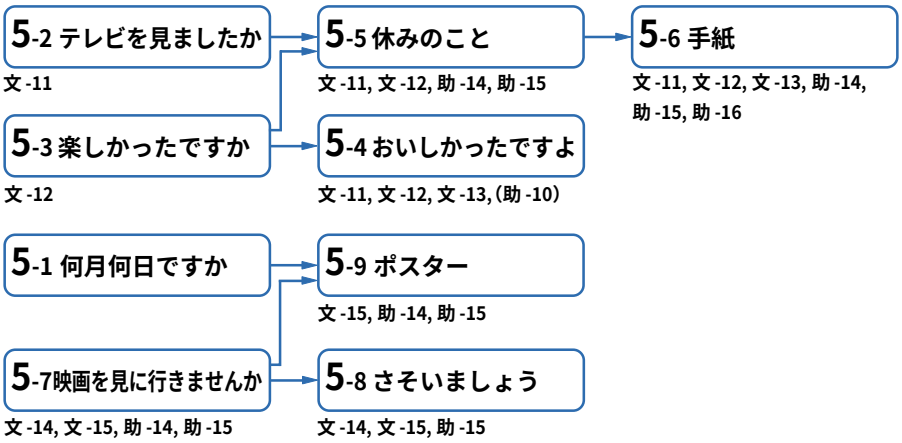
3 外 出



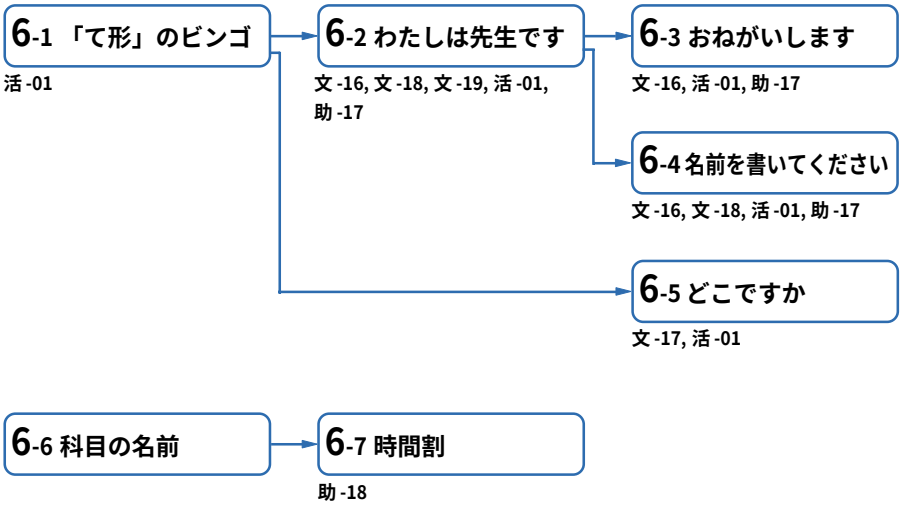
4 生 活



5 休みの日

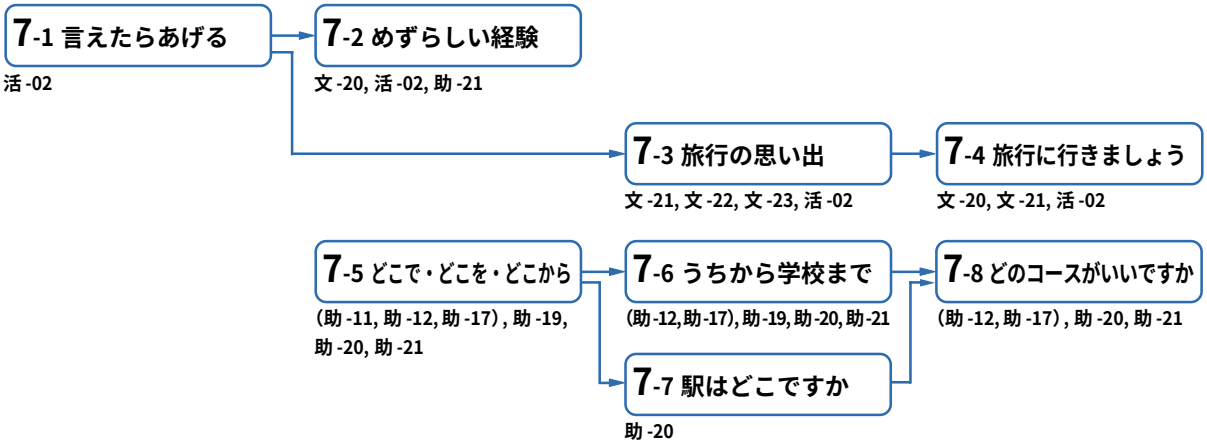


6 授 業

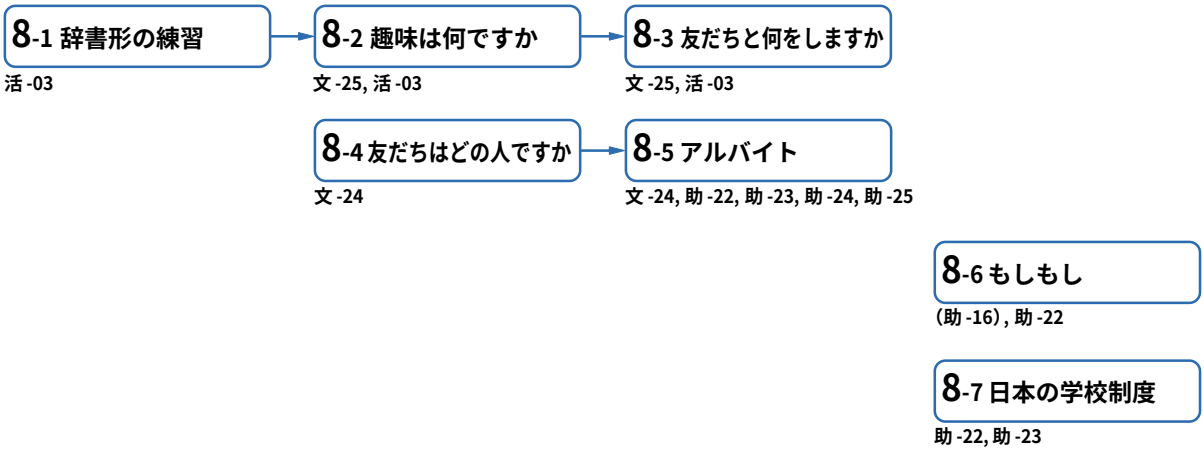


巻末

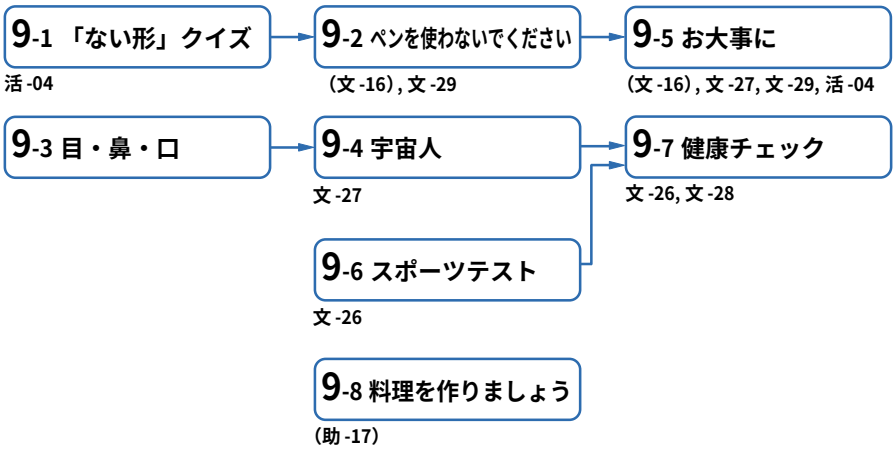
7 旅 行


7-1 言えたらあげる
活-02
7-2 めずらしい経験
文-20, 活-02, 助-21
7-3 旅行の思い出
文-21, 文-22, 文-23, 活-02
7-4 旅行に行きましょう
文-20, 文-21, 活-02
7-5 どこで・どこを・どこから
(助-11, 助-12, 助-17), 助-19, 助-20, 助-21
7-6 うちから学校まで
(助-12,助-17), 助-19, 助-20, 助-21
7-7 駅はどこですか
助-20
7-8 どのコースがいいですか
(助-12, 助-17), 助-20, 助-21

8 高校生


8-1 辞書形の練習
活-03
8-2 趣味は何ですか
文-25, 活-03
8-3 友だちと何をしますか
文-25, 活-03
8-4 友だちはどの人ですか
文-24
8-5 アルバイト
文-24, 助-22, 助-23, 助-24, 助-25
8-6 もしもし
(助-16), 助-22
8-7 日本の学校制度
助-22, 助-23

9 健 康


9-1 「ない形」クイズ
活-04
9-2 ペンを使わないでください
(文-16), 文-29
9-5 お大事に
(文-16), 文-27, 文-29, 活-04
9-3 目・鼻・口
9-4 宇宙人
文-27
9-7 健康チェック
文-26, 文-28
9-6 スポーツテスト
文-26
9-8 料理を作りましょう
(助-17)

10 友だち

- 10-1 赤くて丸いものは？ 文-30 → 10-2 この人はだれですか （文-27, 文-28）, 文-30
- 10-3 どっちが先 文-33 → 10-4 日曜日の計画 文-31, 文-33 → 10-6 わたしの友だち 文-33
- 10-5 手紙をください 文-30, 文-33, 文-34, 助26 → 10-8 わたしの将来 文-34
- 10-7 どうやってしますか 文-31, 文-32

11 昔と今

- 11-1 どんな順番？ （文-33）, 文-35, 文-36
- 11-2 何ですか 文-37 → 11-3 インタビュー 文-37,（助-16）
- 11-4 どう思いますか 文-38, 活-05 → 11-6どうなると思いますか 文-38, 活-05
- 11-4 どう思いますか → 11-5昔のまち・今のまち・将来のまち 文-38, 文-39, 活-05 → 11-7 わたしの国の一年 文-39

12 日 本

- 12-1 あしたいいことがあるでしょう 文-42
- 12-2 それはいつですか 文-40 → 12-3 何と言いますか 文-40 → 12-4 便利なマーク 文-40 → 12-6 クイズ「日本」 文-40, 助-27
- 12-5 日本の行事 → 12-7 有名な所 文-44 → 12-9 有名人 文-40, 文-44
- 12-8 ごみの出し方・集め方 文-41
- 12-10 かさじぞう 文-43

巻末

4. 談話単位の機能

この表では、「れんしゅう編1」の練習の中で談話レベルでの機能を集めた。場面や人間関係、言語使用の目的が実生活上のコミュニケーションに近いものを取り上げた。語彙、活用、文型の定着を目ざした基本的な練習での会話にも機能はあるが、この表では取り上げなかった。

A. 人に働きかけをする／受ける・断る

機能	練習番号
①依頼	2-2, 3-4, 6-3, 10-5
②指示	1-1, 6-2, 9-5
③誘い	5-8, 5-9

B. 情報の授受

機能	練習番号
①事実	1-7, 2-6, 2-7, 2-10, 3-8, 4-2, 4-3, 5-5, 7-3, 7-6, 7-7, 7-8, 8-6, 10-6, 11-3, 11-7
②感情・判断・意志	3-3, 3-8, 3-9, 5-5, 7-3

C. 人間関係を結ぶ・維持する

機能	練習番号
①自己紹介	1-6
②近況報告	5-6, 8-5

5. ＜談話の技術＞一覧

ひとまとまりの内容を持った会話をしたり、文章を書いたりする時に使う、内容構成にかかわる技術とその表現。

1. 話しことばの技術

(1) 話し手の技術

技術	表現	練習番号
① 会話を始める	～さん	1-5
	あのう	2-10
	すみません	2-2, 6-4, 7-7
	すみませんが	6-3
	すみません、～をお願いしたいんですが	11-3
② 会話を終わる	どうもありがとうございました	2-10, 7-7, 11-3
	お大事に	9-5
	また今度	10-4
③ 話を構成する		1-6, 5-8, 8-6
④ 順番をわたす	～が	8-6
⑤ 相手の発話を聞いて話を進める	じゃあ	1-7, 3-3, 3-8, 5-8, 6-2, 8-6, 12-7, 12-10
⑥ 間をとる	ええと	8-6

(2) 聞き手の技術

技術	表現	練習番号
① 応答する	はい、どうぞ	2-2
	はい	2-6, 3-4, 6-2, 6-4
	よかったですね	5-5, 7-3
	そうですか	3-8, 5-5, 7-3
	いいですね	5-8
	はい、いいですよ	6-3, 6-4
	いいえ、どういたしまして	7-7, 11-3
	それはいけませんね	9-5
② 確認する	～ですか	1-7, 2-10, 3-1, 12-7
	～ですね	3-3, 3-4, 7-7, 8-6
③ あいづちをうつ	そうですか	1-7, 4-2
	ああ、～ですか	2-10
	ああ、～ですね	12-7

2. 書きことばの技術

技術	表現	練習番号
内容を構成する		5-6, 8-5, 10-5

巻末

6. ＜モデルテキスト＞と＜タスクシート＞の漢字一覧

音読みの五十音順

ア	安
イ	一
	飲
ウ	右
	雨
エ	英＊
	駅
	円
カ	下
	火
	何
	夏＊
	花
	会
	海＊
	外
	学
	間
キ	気
	九
	休
	魚
	金
ク	空
ケ	月
	見
	元＊
	言
コ	五
	古
	午
	後
	語
	口
	行
	校
	高
	国
	今
サ	左
	三
	山
シ	子
	四
	耳
	事＊
	時
	七
	車
	社
	手
	週
	秋＊
	十
	出
	春＊
	書
	女
	小
	少
	上
	食
	新
	人
ス	水
セ	生
	正＊
	西
	千
	川
	先
	前
ソ	足
	村＊
タ	多
	大
	男
チ	中
	長
	朝＊
テ	天
	店
	田＊
	電
ト	土
	冬＊
	東
	道
	読
ナ	南
ニ	二
	日
	入
ネ	年
ハ	買
	白
	八
	半
	晩＊
ヒ	百
フ	父
	分
	聞
ホ	母
	北
	木
	本
マ	毎
	万
メ	名
モ	目
ユ	友
	有＊
ラ	来
リ	立
ロ	六
ワ	話

＊＝『日本語能力試験出題基準』４級外の漢字。
「東京、大阪、長野、名古屋、長崎、本州、九州」は漢字で表記した。

7. 語彙索引

(1) 五十音順語索引

各練習の＜使うことば＞の語彙を五十音順に並べた。書き方は以下の通り。
・漢字の表記は常用漢字の範囲とした。
・数字＝ブロック番号
・名＝名詞、固＝固有名詞、動＝動詞、イ＝イ形容詞、ナ＝ナ形容詞、副＝副詞、疑＝疑問詞、数＝助数詞か数詞、接＝接続詞、感＝感動詞、指＝指示詞、助＝助詞
・＊＝『日本語能力試験出題基準』4級外の語彙

あ

ああ		2-10	感	
あいさつ〔する〕		12-3	名	＊
アイスクリーム		5-7	名	＊
あいだ	間	12-6	名	＊
あう	会う	8-1,3	動	
あおい	青い	3-5,6,7,9	イ	
あかい	赤い	3-5,6,7,9/6-4	イ	
あかちゃん	赤ちゃん	5-9	名	＊
あかるい	明るい	10-1	イ	
あき	秋	11-4,7	名	
あける	開ける	6-1,2,3	動	
あげる		12-3,10	動	＊
あげる	上げる	6-1,2	動	
あさ	朝	4-4,6,7,9	名	
あさごはん	朝御飯	4-2,4,6,9	名	
あさまやま	浅間山	12-6	固	＊
あし	足	9-3,5	名	
アジアたいりく	～大陸	12-6	固	＊
あした	明日	4-9/8-6	名	
あそこ		2-10,11	指	
あそさん	阿蘇山	12-6	固	＊
あそぶ	遊ぶ	10-6/11-3	動	
あたたかい	暖かい	11-4,7	イ	
あたま	頭	9-3,5	名	
あたらしい	新しい	3-5,6,7,8,9	イ	
あつい	厚い	10-1	イ	
あつい	暑い	7-3/11-4,7	イ	
あつめる	集める	8-1,2/12-3,8	動	＊
あと	後	7-8/8-7	名	
アトランタ		12-9	固	＊
あなた		4-9	名	
あの		4-9	指	
あのう		2-10	感	＊
あびる	浴びる	4-1,2,5	動	
あまい	甘い	3-5,7,8	イ	
あまり		4-4,9/5-4,5,6	副	
あみがさ		12-10	名	＊
あめ	雨	11-6,7	名	
アメリカンフットボール		12-9	名	＊
あらう	洗う	4-1	動	
ある		2-2,7,8,9,10/4-7	動	
ある		12-10		＊
あるく	歩く	7-1,6,8/9-1	動	
アルバイト〔する〕		4-7/8-5	名	＊
あんないじょ	案内所	12-4	名	＊

い

いい		5-3,4,8	イ	
いいえ		1-4,5/2-8,10	感	
いう	言う	6-1,2	動	
いく	行く	2-11/3-8/4-1/7-1,2,3,8	動	
いくつ		3-2	疑	
いくら		3-1	疑	
いけ	池	2-10	名	
いしゃ	医者	9-5/10-8	名	
いじょう	以上	9-7		＊
いす		2-1,7,8,9	名	
いそがしい	忙しい	5-8	イ	
いたい	痛い	9-5	イ	
イタリア		7-3	固	＊
いち	１、一	1-2,3,4,5,7	数	
いちがつ	１月	5-1,9	数	
いちにち	一日	4-2,6	名	
いちねんじゅう	一年中	12-6	名	＊
いちば	市場	12-10	名	＊
いつ		5-1,8	疑	
いつか	５日	5-1,9	数	
いつか		12-7	副	＊
いっしょうけんめい	一生懸命	12-9	副	＊
いっしょに	一緒に	5-8,9		
いつつ	五つ	3-2,3,4	数	
いつも		4-4,6,9	副	
いぬ	犬	4-8/5-9	名	
いま	今	3-9	名	
いみ	意味	12-3	名	
いもうと	妹	4-8	名	
いりぐち	入口	7-6/12-8	名	
いる		2-4	動	
いれる	入れる	10-7/12-8	動	
いろいろ		10-8/12-7	ナ	

う

うえ	上	2-3,7,8,9	名	
ウォン		12-6	数	＊
うける	受ける	8-7	動	
うしろ	後ろ	2-3,4,7	名	
うすい	薄い	10-1	イ	
うた	歌	8-2,4	名	
うたう	歌う	6-5/8-1,2,4	動	
うち		2-11/4-1,6,9	名	
うちゅう	宇宙	12-9	名	＊
うちゅうじん	宇宙人	9-4	名	＊
うちゅうひこうし	宇宙飛行士	12-9	名	＊
うちゅうふく	宇宙服	12-9	名	＊
うまれる	生まれる	10-6/11-3	動	
うみ	海	5-8/7-3,4,8	名	

うる	売る	11-2/12-10	動	
うれしい		8-5	イ	＊

え

え		1-7		＊
え	絵	8-2,4	名	
エアコン		12-8	名	＊
えいが	映画	1-6/5-2,3,5,7	名	
えいがかん	映画館	7-7	名	
えいご	英語	6-6,7	名	
ええ		7-3	感	
ええと		8-6		＊
えき	駅	7-5,6,7	名	
えっ		1-7	感	＊
えどじだい	江戸時代	12-6	名	＊
えび		7-8	名	＊
えん	円	3-1,4/12-6	数	
えんぴつ	鉛筆	2-1,2,7,8,9/3-2	名	

お

おいしい		3-5,7,8/5-3	イ	
おおい	多い	9-7/11-5	イ	
おおきい	大きい	3-5,6,7,8,9/6-4	イ	
おおさか	大阪	12-6	固	＊
おおぜい	大勢	8-7/11-5	副	
おおみそか	大みそか	12-5,10	名	＊
おおゆき	大雪	12-10	名	＊
おかあさん	お母さん	4-8	名	
おかし	お菓子	4-9	名	
おかね	お金	8-5/12-6	名	
おきなわ	沖縄	12-6	固	＊
おきゃくさん	お客さん	12-2	名	＊
おきる	起きる	1-7/4-1,6	動	
おく	置く	12-8	動	
おこづかい		12-1	名	＊
おじいさん		4-8/12-10	名	
おしえる	教える	6-1/8-1,7	動	
おじぞうさん	お地蔵さん	12-10	名	＊
おしゃべり		8-3	名	＊
おしょうがつ	お正月	12-3,5,6,10	名	＊
おそい	遅い	12-10	イ	
おたく	お宅	8-6	名	＊
おちゃ	お茶	7-2	名	
おちる	落ちる	11-6	動	＊
おてら	お寺	12-2	名	＊
おと	音	12-10	名	＊
おとうさん	お父さん	4-8	名	
おとうと	弟	4-8	名	
おとこ	男	12-4	名	
おとこのこ	男の子	11-6/12-9	名	
おどる	踊る	5-9/7-4	動	＊
おなか		9-3,5	名	
おなじ	同じ	10-4	ナ	
おにいさん	お兄さん	4-8	名	
おねえさん	お姉さん	4-8,9	名	
おばあさん		4-8/12-10	名	
おはなみ	お花見	12-6	名	＊
おふろ	お風呂	4-5/9-5	名	
おべんとう	お弁当	11-6/12-6,7	名	
おぼえる	覚える	10-7/11-3	動	
おまつり	お祭り	12-6	名	＊
オムレツ		9-8	名	＊
おもい	重い	3-5,7,9/10-1	イ	
おもう	思う	11-5,6	動	＊
おもしろい		5-3,4,5	イ	
おやこどんぶり	親子～	9-8	名	＊
およぐ	泳ぐ	4-7/7-1,3/9-1,6,7	動	
オランダ		12-6	固	＊
おりがみ	折り紙	8-1,4	名	＊
おりる	降りる	7-1,5,6	動	
オリンピック		12-9	固	＊
おる	折る	8-1,4	動	＊
おわる	終わる	8-5	動	
おんがく	音楽	1-6/4-1/6-6,7	名	
おんがくしつ	音楽室	2-10	名	＊
おんせん	温泉	7-4	名	＊
おんな	女	11-6	名	
おんなのこ	女の子	10-5	名	

か

カード		12-4	名	＊
かい	～回	6-7	数	
かい	～階	8-6	数	
かいがん	海岸	7-4,8	名	＊
がいこく	外国	7-2/10-5	名	
がいこくご	外国語	8-7	名	＊
かいだて	～階建て	12-4	数	＊
かいめ	～回目	12-7,9	数	＊
かいもの〔する〕	買い物	5-2,5,6,7	名	
かう	飼う	10-8	動	＊
かう	買う	4-5,9	動	
かえす	返す	12-3	動	
かえる	帰る	2-11/4-1/7-1,8	動	
かえる	変える	8-6	動	＊
かお	顔	4-1/9-3	名	
かがく	化学	6-6,7	名	＊
かかる		7-6,8	動	
かく	書く	4-1,9/6-1,2,3,4	動	
かく		8-2,4	動	＊
かける		8-4/10-2,7/11-1	動	
かこく	～か国	12-6	数	＊
かさ	傘	3-2,9	名	
かさ	笠	12-10	名	＊
かざり	飾り	12-5	名	＊
かざる	飾る	12-5	動	＊
かじ	火事	12-4	名	＊
かしょ	～か所	12-6	数	＊
かす	貸す	6-1,3	動	
かず	数	12-5	名	＊
かぜ	風邪	9-5	名	
かぞく	家族	4-8	名	
かた	肩	12-10	名	＊
かたかな	片仮名	4-9/6-2,3,4	名	
かつ	勝つ	12-1	動	＊
がっこう	学校	2-10,11/4-1,6	名	
かていかしつ	家庭科室	5-9	名	＊

かど	角	7-7	名	
かばん		2-1,7,8,9/3-2,6,9	名	
かぶる		12-10	動	
かみ	紙	4-9/12-5	名	
かみ	髪	9-3,4/10-2	名	＊
カメラ		10-5	名	
かもく	科目	6-6,7	名	＊
かようび	火曜日	4-7	名	
からい	辛い	3-5,7,8	イ	
カラオケ		4-7	名	＊
からだ	体	10-3	名	
かりる	借りる	12-3	動	
かるい	軽い	3-5,7,9/10-1	イ	
カルシウム		9-7	名	＊
カレー		9-8	名	
カレンダー		2-1,8	名	
かわ	川	7-8	名	
がわ	～側	12-6		
かわいい		3-5,6,7,8,9	イ	
かわいそう		12-10	ナ	＊
かわる	変わる	8-6	動	＊
かん	缶	12-8	名	＊
かんがえる	考える	12-2,4,8	動	＊
かんごふ	看護婦	10-8	名	＊
かんじ	漢字	9-2	名	
かんたん	簡単	10-5	ナ	＊

き

き	木	11-5	名	
きいろ	黄色	11-7	名	
きいろい	黄色い	3-5,7,9	イ	
きおん	気温	12-6	名	＊
きく	聞く	4-1	動	
きく	菊	12-6	名	＊
きこえる	聞こえる	12-10	動	＊
きし	岸	7-8	名	＊
きしゃ	汽車	12-6	名	＊
きせつ	季節	11-7	名	＊
きた	北	11-7/12-6	名	
ギター		10-5	名	
きっさてん	喫茶店	8-6	名	
きって	切手	8-2/11-2	名	
きっぷ	切符	11-6	名	
きのう	昨日	5-2/11-3	名	
きのは	木の葉	11-7	名	＊
ぎむきょういく	義務教育	8-7	名	＊
きめる	決める	10-7	動	＊
きもち	気持ち	9-5	名	＊
キャンプ		11-7	名	＊
きゅう／く	９、九	1-2,3,4,5,7	数	
きゅうしゅう	九州	12-6	固	＊
ぎゅうにく	牛肉	9-8	名	
ぎゅうにゅう	牛乳	9-7,8/12-7	名	
きゅうり		9-8	名	＊
きょう	今日	8-5	名	
きょうかい	教会	7-3	名	＊
きょうしつ	教室	2-1,10,11/6-5	名	
きょうだい	兄弟	4-8	名	
きょうと	京都	10-5/12-2,6	固	＊
きょうみ	興味	10-5	名	＊
きる	着る	11-1/12-6	動	
きる	切る	11-2	動	
きれい		3-5,7,8,9/5-3/6-2,4	ナ	
キロメートル		9-6	数	
きんえん	禁煙	12-4	名	＊
きんじょ	近所	12-3	名	＊
ぎんメダル	銀～	12-9	名	＊
きんようび	金曜日	4-7	名	

く

く／きゅう	９、九	1-2,3,4,5,7	数	
くがつ	９月	5-1,9	数	
くすり	薬	9-5	名	
くだもの	果物	9-7,8	名	
くち	口	9-3,4	名	
くつ	靴	3-9	名	
くつした	靴下	3-9/10-3	名	
くに	国	12-6	名	
くらい	暗い	10-1	イ	
ぐらい		4-3,6,7		
クラス		5-6/8-3,7	名	
グラフ		8-3	名	＊
くらべる	比べる	12-6	動	＊
グラウンド		2-10	名	＊
くる	来る	2-11/4-1/7-1	動	
くるま	車	7-5/11-5	名	
くろい	黒い	3-5,6,7,9/6-4	イ	
ケーキ		3-2	名	＊

け

けが		9-5/11-6	名	
けしき	景色	12-7	名	＊
けしゴム	消しゴム	2-2,7	名	＊
けっか	結果	8-3	名	＊
げつようび	月曜日	4-7	名	
ｹﾈﾃﾞｨｳﾁｭｳｾﾝﾀｰ	～宇宙～	12-9	固	＊
げん	元	12-6	数	＊
けんがく〔する〕	見学	7-8	名	＊
けんこう	健康	9-7	名	＊

こ

ご	５、五	1-2,3,4,5,7	数	
ご	～語	6-4,6,7		
こいのぼり		12-5	名	＊
こうえん	公園	4-9/5-2,3,7/6-5	名	
ごうけい	合計	9-7	名	＊
こうこう	高校	1-6/4-8	名	＊
こうこうせい	高校生	8-3	名	＊
こうちゃ	紅茶	3-3,4	名	
こうばん	交番	7-7	名	
こえ	声	9-2/12-10	名	
コース		7-8	名	＊
コーヒー		3-3,4/4-1	名	
コーラ		3-2,3,4	名	＊
ごがつ	５月	5-1,9	数	
こくご	国語	8-7	名	＊

こくばん	黒板	2-8	名	＊
ここ		2-10,11	指	
ごご	午後	1-7	名	
ここのか	９日	5-1,9	数	
ここのつ	九つ	3-2,3,4	数	
ごぜん	午前	1-7	名	
こたえ	答え	8-3	名	＊
こたえる	答える	12-3	動	
こちら		8-5	指	
コック		10-8	名	＊
コップ		11-2	名	
こと	事	10-3	名	＊
ことば	言葉	10-7/12-3	名	
こども	子供	8-7/12-7	名	
こどものひ	子供の日	5-1	名	＊
こにしきやそきち	小錦八十吉	12-9	名	＊
この		2-6/4-9		
ごはん	御飯	4-1/9-8	名	
ごみ		12-8	名	＊
ごみばこ	～箱	2-8	名	＊
こむ	混む	12-7	動	＊
これ		2-5	指	
ごろ	～頃	4-2,6,7	固	
コロンビア		12-9	名	＊
こわい	怖い	3-5,7,8/10-1	イ	＊
コンサート		5-4,8	名	＊
こんばん	今晩	8-6/9-8	名	
コンピュータ		10-8	名	＊
コンピュータゲーム		8-3	名	＊

さ

さい	歳	8-7	数	
さいご	最後	12-5,8,10	名	＊
さかな	魚	7-4,8/9-8	名	
さく	咲く	12-6	動	
さくら	桜	7-4	名	＊
ささ	笹	12-5	名	＊
さそう	誘う	5-8/12-7	動	＊
さつ	～冊	3-2	数	
サッカー		1-6	名	＊
ざっし	雑誌	3-2/4-5,6	名	
さっぽろ	札幌	12-6	固	＊
さとう	砂糖	10-7	名	
さむい	寒い	11-4,7/12-10	イ	
さむらい	侍	12-6	名	＊
さら	皿	12-8	名	＊
さん	３、三	1-2,3,4,5,7	数	
さん	～さん	1-3,5,7		
さんがつ	３月	5-1,9	数	
さんすう	算数	8-7	名	＊
サンドイッチ		9-8	名	＊
さんぽ〔する〕	散歩	4-4	名	

し

し／よん	４、四	1-2,3,4,5,7	数	
じ	～時	1-2,4,7	数	
しあい	試合	12-1	名	＊
シーディー	CD	3-2,9	名	＊
シーディープレーヤー	CD～	8-5	名	＊
しか	鹿	12-7	名	＊
しかくい	四角い	3-6	イ	＊
しがつ	４月	5-1,9	数	
じかん	～時間	4-3,6	数	
じかんめ	～時間目	6-7	数	＊
しこく	四国	12-6	固	＊
じこしょうかい	自己紹介	1-6	名	＊
しごと〔する〕	仕事	8-5	名	
じしょ	辞書	2-1,8	名	
じしん	地震	12-4	名	＊
しずか	静か	3-5,7,9/5-3/11-4,5	ナ	
じぞう	地蔵	12-10	名	＊
した	下	2-3,7,8,9	名	
しち／なな	７、七	1-2,3,4,5,7	数	
しちがつ	７月	5-1,9	数	
しちごさん	七五三	12-5,6	名	＊
じつは	実は	12-6		＊
しつもん〔する〕	質問	12-9	名	
じてんしゃ	自転車	7-5/9-6	名	
じどうしゃ	自動車	12-9	名	
じぶん	自分	10-8/12-10	名	
しま	島	12-6	名	＊
じむしつ	事務室	2-10	名	＊
しめる	閉める	6-1,3	動	
じゃあ		1-7/3-3,8		
しゃかい	社会	6-6,7	名	＊
じゃがいも		9-8	名	＊
しゃしん	写真	8-1,2	名	
シャツ		3-2,9	名	
シャワー		4-1,2,5	名	
じゅうい	獣医	10-8	名	＊
じゅういち	11、十一	1-2,3,4,5,7	数	
じゅういちがつ	１１月	5-1,9	数	
じゅうがつ	１０月	5-1,9	数	
しゅうかん	～週間	4-7/6-7	数	
ジュース		3-3,4	名	＊
じゅうどう	柔道	12-6,9	名	＊
じゅうに	11、十二	1-2,3,4,5,7	数	
じゅうにがつ	12 月	5-1,9	数	
しゅうまつ	週末	12-7	名	＊
じゅぎょう	授業	4-7	名	
しゅくだい	宿題	4-2,5,6,9	名	
しゅと	首都	12-6,7	名	＊
しゅみ	趣味	8-2	名	＊
じゅんび	準備	10-7	名	＊
しょうがっこう	小学校	4-8/8-7	名	＊
じょうず	上手	10-2,5	ナ	
じょうぶ	丈夫	3-5,7,9	ナ	
しょうらい	将来	10-8/11-5	名	＊
ジョギング〔する〕		5-7	名	＊
しょくじ〔する〕	食事	5-6/9-7	名	
しょくどう	食堂	2-10,11/6-5	名	
しらべる	調べる	12-3	動	＊
しる	知る	9-7	動	
しろい	白い	3-5,6,7,9	イ	
しんかんせん	新幹線	12-6	名	＊
じんじゃ	神社	12-5	名	＊

しんせつ	親切	3-8/10-1	ナ	＊
しんとうきょうこくさいくうこう	新東京国際空港	12-4	固	＊
しんぱい	心配	9-7	ナ	＊
しんぶん	新聞	4-1,2,4,6	名	

す

すいえい	水泳	11-7	名	＊
スイス		12-6	固	＊
すいぞくかん	水族館	7-8	名	＊
すいようび	水曜日	4-7	名	
すう	吸う	6-5	動	
すうがく	数学	6-6,7	名	＊
スーパー		4-7/7-7	名	＊
スカート		3-9/8-4	名	
すき	好き	1-3,5,6	ナ	
スキー		11-7	名	＊
すきやき	すき焼き	9-8	名	＊
すぐ		12-1	副	
すくない	少ない	11-5	イ	
スケート		11-7	名	＊
すごい		12-7	イ	＊
すこし	少し	5-6	副	
すずしい	涼しい	11-4,7	イ	
スノーボード		12-6	名	＊
スプーン		11-2	名	
スペースシャトル		12-9	名	＊
スポーツ		1-6	名	
ズボン		3-9/8-4/10-3	名	
すむ	住む	10-5	動	
すもう	相撲	12-6,9	名	＊
する		4-1,2,4,5,6,7,9/8-2	動	
すわる	座る	6-1,2	動	

せ

せ / せい	背	10-2	名	
せい	～制	8-7		＊
せいかつ	生活	10-5/11-5	名	＊
せいと	生徒	8-3	名	
せいど	制度	8-7	名	＊
せいぶつ	生物	6-6,7	名	＊
せかい	世界	12-6	名	＊
せっけん		4-5	名	
せつぶん	節分	12-5	名	＊
せつめい〔する〕	説明	12-4	名	＊
せまい	狭い	3-8	イ	
せわ	世話	10-8	名	＊
せん	線	12-4	名	＊
せん	千	3-1	数	
せんしゅ	選手	12-9	名	＊
せんしゅう	先週	5-4	名	
せんせい	先生	2-7	名	
ぜんぜん	全然	12-9	副	＊
せんたく〔する〕	洗濯	5-2	名	
ぜんぶ	全部	3-4/4-8	名	
せんもんがっこう	専門学校	8-7	名	＊

そ

そう		1-5	指	
そうじ〔する〕	掃除	4-4	名	
そこ		2-10	指	
そして		4-6/7-3,6/12-6,9,10	接	＊
そちら		8-5	指	
そつぎょう〔する〕	卒業	12-9	名	＊
そと	外	10-6	名	
そのご	その後	12-6		＊
そのた	その他	8-3		＊
そのまま		9-7	副	＊
そば		7-7,8	名	
そば	（蕎麦）	12-5	名	＊
それ		2-5	指	
それから		4-8/5-6/7-6,7,8	接	
それで		12-6	接	＊
それでは		8-6		

た

だい	～台	10-5	数	
たいいく	体育	6-6,7	名	＊
たいいくかん	体育館	2-10/5-9/6-5	名	＊
だいがくせい	大学生	4-8,9	名	＊
だいすき	大好き	10-5	ナ	
たいせつ	大切	12-8	ナ	
たいてい		4-7	副	＊
だいどころ	台所	11-2	名	
ダイビング〔する〕		7-4	名	＊
だいぶつ	大仏	12-7	名	＊
たいへん	大変	10-8	ナ	
たかい	高い	3-5,7,8,9/10-2	イ	
たからもの	宝物	12-10	名	＊
たき	滝	7-8	名	＊
たくさん		7-4	副	
タクシー		7-5	名	
だす	出す	12-8	動	
たつ	立つ	6-1,2	動	
たてもの	建物	7-3/11-5,6	名	
たてやま	立山	12-6	固	＊
たてる	建てる	11-2	動	＊
たてる	立てる	12-5	動	＊
たなばた	七夕	12-5,6	名	＊
たのしい	楽しい	5-3,5,6	イ	
たばこ		6-5	名	
たべる	食べる	3-3/4-1,2,4,6	動	
たまご	卵	9-8	名	
たまねぎ	玉ねぎ	9-8	名	＊
たむらりょうこ	田村亮子	12-9	固	＊
だれ		1-5/2-6	疑	
たんい	単位	12-6	名	＊
たんきだいがく	短期大学	8-7	名	＊
たんじょうび	誕生日	5-1	名	
ダンス		7-4	名	＊
だんだん		12-10	副	

ち

ちいさい	小さい	3-5,6,7,8,9/6-4	イ	
チーズバーガー		3-3,4	名	＊
チーム		12-1	名	＊
チェック		9-7	名	＊

チェックリスト		12-8	名	＊
ちがう	違う	1-5/8-7/10-4	動	
ちかく	近く	7-4,8	名	
ちから	力	12-9	名	＊
チケット		12-1	名	＊
ちず	地図	12-6	名	
ちほう	地方	11-7	名	＊
ちゃわん	茶碗	11-2	名	
ちゅうがく	中学	4-8	名	＊
ちゅうがっこう	中学校	8-7	名	＊
ちゅうしゃじょう	駐車場	12-4	名	＊
ちょきん	貯金	12-4	名	＊
ちり	地理	6-6,7	名	＊

っ

ついたち	１日	5-1,9	数	
つかう	使う	6-3/9-1	動	
つかれる	疲れる	5-6	動	
つぎ	次	10-7	名	
つく	着く	7-1,6	動	
つくえ	机	2-1,7,8,9/3-7	名	
つくる	作る	5-9/8-1,2/9-1,8	動	
つける		9-5	動	＊
つける		12-8	動	
つづける	続ける	12-9	動	＊
つとめる	勤める	12-9	動	
つまらない		5-3	イ	
つめ	つ目	7-6,7	数	＊
つめたい	冷たい	11-2	イ	
つもる	積もる	12-10	動	＊
つよい	強い	12-9	イ	

て

て	手	6-2/9-2,3	名	
ていねい	丁寧	6-4	ナ	
テープ		2-1/3-2	名	
テープレコーダー		2-1,7,8	名	
でかける	出かける	12-10	動	
てがみ	手紙	4-1/5-6	名	
できる		12-6	動	＊
でぐち	出口	12-4	名	
テスト		5-1	名	
てつだう	手伝う	10-8	動	＊
テニス		1-6	名	＊
では		8-5	接	
デパート		4-5/5-7/7-7	名	
でも		9-2	接	
でる	出る	7-1,6	動	
テレビ		2-1,5,7,8/4-1,2,3,4,6	名	
テレビゲーム		5-3	名	＊
てん	点	9-7/12-1	名	＊
てんき	天気	5-3	名	
でんごん	伝言	8-6	名	＊
でんしゃ	電車	7-5,6,8	名	
てんぷら	天ぷら	7-2	名	＊
でんわ〔する〕	電話	8-3,6/11-1	名	

と

と	戸	12-10	名	
ど	度	12-6	数	
ドア		2-7,8/6-3	名	
どいたかお	土井隆雄	12-9	固	＊
トイレ		12-4	名	
トイレットペーパー		12-8	名	＊
どう		3-8/5-5,6	疑	
とうきょう	東京	12-6	固	＊
とうきょうディズニーランド	東京～	12-7	固	＊
どうして		10-5	疑	
どうぞ		2-2,7		
とうふ	豆腐	9-8	名	＊
どうぶつ	動物	10-2	名	
どうやって		10-7	疑	＊
とお	十	3-2,3,4	数	
とおい	遠い	12-4	イ	
とおか	１０日	5-1,9	数	
とおり / どおり	通り	5-3/7-6	名	＊
とおる	通る	7-1,6	動	＊
とき	時	11-3/12-9	名	
ときどき	時々	4-4,6,7	副	
とくに	特に	11-7	副	＊
とけい	時計	2-1,8	名	
どこ		2-7,10	疑	
ところ	所	10-1,6	名	
とし	年	12-10	名	
としょかん	図書館	2-10,11/6-5	名	
とちゅう	途中	12-7,10	名	＊
どちら		12-6	疑	
とても		5-4,5,6	副	
となり	隣	2-3,4,10	名	
とまる	泊まる	8-1,3/11-2	動	＊
とまる	止まる	12-4,10	動	
とめる	止める	12-8	動	＊
ともだち	友達	4-9/5-5,6	名	
どようび	土曜日	4-7	名	
とり	鳥	10-8/11-6	名	
とりにく	鶏肉	9-8	名	
とる	取る	6-1,3/12-9	動	
とる	撮る	8-1,2	動	
ドル		12-6	数	＊
どんどん		12-6	副	＊
どんな		3-6,9	疑	

な

なおす	治す	10-8	動	＊
なか	中	2-7/7-8	名	
ながい	長い	3-5,7,9	イ	
ながさき	長崎	12-6	固	＊
ながの	長野	12-6	固	＊
なげる	投げる	9-1,6	動	＊
なごや	名古屋	12-6	固	＊
なつ	夏	11-4,7	名	
なつやすみ	夏休み	5-1	名	
など		8-7	助	
なな／しち	７、七	1-2,3,4,5,7	数	

ななつ	七つ	3-2,3,4	数	
なに / なん	何	1-5,7/2-5	疑	
なのか	７日	5-1,9	数	
なまえ	名前	4-8,9/6-2,4,6	名	
なら	奈良	12-7	固	＊
ならぶ	並ぶ	12-10	動	
なりた	成田	12-4	固	＊
なる		11-5	動	
なんぼく	南北	12-6	名	＊

に

に	２、二	1-2,3,4,5,7	数	
にがつ	２月	5-1,9	数	
にぎやか		5-3/10-1/11-4,5	ナ	
にし	西	12-6	名	
にだいとし	二大都市	12-6	名	＊
にちようび	日曜日	4-4	名	
にほん	日本	2-11	名	＊
にほんご	日本語	2-10/6-6,7	名	＊
にほんじん	日本人	7-2	名	＊
にもつ	荷物	12-10	名	
にゅうがくしけん	入学試験	8-7	名	＊
にん	～人	4-8	数	
にんぎょう	人形	12-5	名	＊
にんめ	～人目	12-9	数	＊

ね

ねがいごと	願い事	12-5	名	＊
ネクタイ		3-2	名	
ねだん	値段	10-7	名	＊
ねる	寝る	1-7/4-1,3,6	動	
ねん	～年	11-7	数	
ねんかん	～年間	8-7	数	
ねんせい	～年生	1-6	数	＊
ねんれい	年齢	12-5	名	＊

の

ノート		2-1,8,9/3-2	名	
のせる		12-10	動	＊
のど		9-5	名	＊
のぼる	登る	7-1,8/11-7/12-7	動	
のむ	飲む	3-3/4-1/9-1,5	動	
のりもの	乗り物	12-6	名	＊
のる	乗る	7-1,2,5,6,8	動	
のんびり		7-4	副	＊

は

は	歯	4-1/9-3,5	名	
パーティー		5-8,9	名	
はい		1-4,5/2-6,7,8	感	
ハイキング		8-6	名	＊
ばいてん	売店	2-10	名	＊
はいる	入る	7-1,4/8-1,7	動	
はがき	葉書	12-4	名	
はく	履く	8-4	動	
はこ	箱	12-8	名	
はさみ		11-2	名	＊
はし	（箸）	11-2	名	
はし	橋	7-5,6,7	名	
はじまる	始まる	8-7	動	
はじめて	初めて	12-7	副	
はじめる	始める	10-5	動	＊
ばしょ	場所	8-6/12-4	名	＊
はしる	走る	6-1,5/9-1,6	動	
バス		7-5,6,8	名	
バスケットボール		8-2	名	＊
バスてい	～停	7-5,6	名	＊
バタフライ		9-6	名	＊
はたらく	働く	8-1,5	動	
はち	８、八	1-2,3,4,5,7	数	
はちがつ	８月	5-1,9	数	
はつか	２０日	5-1,9	数	
パック		12-8	名	＊
はったつ〔する〕	発達	12-6	名	＊
はな	花	4-9/10-2	名	
はな	鼻	9-3,4	名	
はなす	話す	6-1,5/7-1,2	動	
はなや	花屋	7-7	名	＊
はやい	速い	11-5	イ	
はやい	早い	6-2	イ	
ばら		12-6	名	＊
はらう	払う	12-4	動	＊
はる	春	7-4/11-4,7	名	
バルセロナ		12-9	固	＊
バレーボール		10-5	名	＊
ハワイ		7-3/12-9	固	＊
はん	半	1-4,7	名	
ばん	～番	1-5	数	
パン		4-6/9-8	名	
ハンカチ		3-2,9	名	
ばんごう	番号	8-6	名	
ばんごはん	晩御飯	4-2,6	名	
はんそで	半袖	12-6	名	＊
はんにち	半日	7-8	名	＊
ハンバーガー		3-2,3,4	名	＊
ばんめ	～番目	12-6	数	＊

ひ

ピアノ		10-2	名	＊
ひがし	東	12-6	名	
ひく		9-5	動	
ひく	弾く	10-2,5	動	
ひくい	低い	10-2	イ	
ひこうき	飛行機	7-2/12-6	名	
びじゅつ	美術	6-6,7	名	＊
ひじょうぐち	非常口	12-4	名	＊
ビタミンシー	～C	9-7	名	＊
ひだり	左	7-7	名	
びっくりする		11-6/12-7	動	＊
ビデオ		4-7	名	＊
ひと	人	3-8/10-1	名	
ひとつ	一つ	3-2,3,4	数	
ひとり	一人	4-8	数	
ひなまつり	ひな祭り	12-5,6	名	＊
ビニール		12-8	名	＊
ひま	暇	5-8	ナ	

ひゃく	百	3-1	数	
びょう	秒	9-6	数	＊
びょういん	病院	6-5/7-6/9-5	名	
びょうき	病気	9-5/10-8	名	
ひょうしき	標識	12-4	名	＊
ひらがな	平仮名	4-9	名	
ひるごはん	昼御飯	7-8	名	
ひろい	広い	3-8/12-4	イ	
ひろう	拾う	12-1	動	＊
びん	瓶	12-8	名	＊
びんぼう	貧乏	12-10	ナ	＊

ふ

プール		2-10,11/5-7/6-5	名	
ふえる	増える	12-1	動	＊
フォーク		11-2	名	
ふく	服	11-1/12-2	名	
ふくろ	袋	12-8	名	＊
ふじさん	富士山	12-6,7	名	＊
ぶたにく	豚肉	9-8	名	
ふたつ	二つ	3-2,3,4	数	
ふたり	二人	4-8	数	
ふつう	普通	8-7	副	＊
ふつか	２日	5-1,9	数	
ぶつり	物理	6-6,7	名	＊
ふでばこ	筆箱	2-7	名	＊
ふとい	太い	10-1	イ	
ふね	船	7-8	名	＊
ふゆ	冬	11-4,7	名	
ふゆやすみ	冬休み	7-3	名	＊
フライドポテト		3-3,4	名	＊
プラスチック		12-8	名	＊
ふる	降る	11-6,7	動	
ふるい	古い	3-5,6,7,8,9	イ	
プレゼント		12-3	名	＊
プログラマー		10-8	名	＊
プログラム		10-8	名	＊
プロスポーツ		12-6	名	＊
ふん / ぷん	分	4-3/7-6	数	

へ

ページ		1-1/6-2	数	
ベッド		4-5	名	
ペットボトル		12-8	名	＊
へや	部屋	4-4,5	名	
へらす	減らす	12-8	動	＊
ベルギー		12-6	固	＊
ペン		2-2,6,7/3-2	名	
べんきょう〔する〕	勉強	4-1,3,5,6/6-1	名	
へんじ〔する〕	返事	5-6	名	＊
ペンパル		10-5	名	＊
べんり	便利	3-5,7,9/10-8/11-4,5	ナ	

ほ

ほう	方	12-10	名	
ほうほう	方法	12-8	名	＊
ホームページ		10-8	名	＊
ホール		5-8	名	＊
ボール		9-6/11-6	名	＊
ボールペン		2-1,2,7,8	名	
ほか	外	12-7	名	
ほし	星	12-5	名	＊
ほしい		3-9	イ	
ポスター		5-9	名	＊
ほそい	細い	10-1	イ	
ほっかいどう	北海道	12-6	固	＊
ほとんど		8-7	副	＊
ほん	本	2-1,8/3-2/4-3	名	
ほん / ぼん / ぽん	本	3-2	数	
ほんしゅう	本州	12-6	固	＊
ほんだな	本棚	2-8	名	

ま

まあまあ		5-4		＊
まい	枚	3-2	数	
まいあさ	毎朝	4-2/7-6	副	
まいにち	毎日	4-3	副	
まえ	前	2-3,4,7,10/7-6,7/8-5/9-7	名	
まがる	曲がる	7-1,7	動	
まく		12-5	動	＊
まず		12-6	副	＊
まずい		3-8	イ	
また		8-5	副	
また		12-8	接	
まだ		6-2	副	
まち	町	11-5/12-8,10	名	
まち	街	5-7/8-3	名	
まちあわせ	待ち合わせ	8-6	名	＊
まつ	待つ	6-1,3	動	
まっしろ	真っ白	12-10	ナ	＊
まっすぐ		7-7	副	
まつり	祭り	7-4	名	＊
まど	窓	2-7,8/6-3	名	
まめ	豆	12-5	名	＊
まもる	守る	12-8	動	＊
まる	丸	9-2	名	＊
まるい	丸い	3-6	イ	
まん	万	12-6	数	
まんなか	真ん中	12-6	名	＊

み

みえる	見える	12-10	動	＊
みがく	磨く	4-1	動	
みぎ	右	7-7	名	
みじかい	短い	3-5,7,9	イ	
みせ	店	3-4	名	
みせる	見せる	12-2	動	
みそしる	みそ汁	9-8	名	＊
みち	道	7-5,8	名	
みっか	三日	5-1,9	数	
ミッキーマウス		12-7	固	＊
みっつ	三つ	3-2,3,4	数	
みどり	緑	12-4	名	
みなさん	皆さん	7-2	名	
みなみ	南	12-6	名	

みみ	耳	9-3,4	名	
みる	見る	4-1,2,3,4,6/5-2,4,5,7,9	動	
みんな		5-9	名	

む

むいか	６日	5-1,9	数	
むかえる	迎える	12-10	動	＊
むかし	昔	11-5/12-7	名	＊
むこう	向こう	12-10	名	
むずかしい	難しい	5-3	イ	
むすぶ	結ぶ	12-4	動	＊
むっつ	六つ	3-2,3,4	数	
むら	村	7-8	名	

め

め	目	9-3,4,5	名	
メートル		9-6,7/12-7	数	
めがね	眼鏡	8-4/10-2,7	名	
めずらしい	珍しい	7-4	イ	＊
めんせき	面積	12-6	名	＊

も

もう		6-2	副	
もうすぐ		7-4/11-6	副	＊
もくようび	木曜日	4-7	名	
もしもし		8-6		
もち		12-10	名	＊
もちろん		12-6	副	＊
もつ	持つ	10-5	動	
もっと		9-7	副	
もの	物	2-1/10-1,3	名	
もらう		12-3	動	＊
もんだい	問題	9-7	名	

や

やおや	八百屋	11-2	名	
やきゅう	野球	1-6	名	＊
やく	約	12-6		＊
やさい	野菜	9-8	名	
やすい	安い	3-5,7,8,9	イ	
やすみ	休み	5-6/7-3	名	
やすむ	休む	9-1,5	動	
やっつ	八つ	3-2,3,4	数	
やま	山	7-4,8	名	

ゆ

ゆうがた	夕方	12-10	名	
ゆうびんきょく	郵便局	7-7	名	
ゆうめい	有名	7-3/12-7,9	ナ	
ゆうめいじん	有名人	12-9	名	＊
ゆき	雪	11-7/12-7	名	
ゆきまつり	雪祭り	12-6	名	＊
ゆり		12-6	名	＊

よ

ようか	８日	5-1,9	数	
よく		9-5,7	副	
よこ	横	2-8,9	名	
よこはま	横浜	12-6	固	＊
よっか	４日	5-1,9	数	
よっつ	四つ	3-2,3,4	数	
よむ	読む	4-1,2,3,4,5,6/6-1,2,5	動	
よる	夜	4-4,7	名	
よん／し	４、四	1-2,3,4,5,7	数	

ら

らいしゅう	来週	12-1	名	

り

りか	理科	8-7	名	＊
りかしつ	理科室	2-10	名	＊
りきし	力士	12-9	名	＊
リサイクル		12-8	名	＊
りっぱ	立派	12-7,8	ナ	
りゅうがくせい	留学生	12-3	名	
りょうしん	両親	12-5	名	
りょうり	料理	3-8/5-6,9	名	
りょこう〔する〕	旅行	7-3,8	名	
りんご		3-2,8	名	＊

る

ルール		12-8	名	＊

れ

れいぞうこ	冷蔵庫	11-2	名	
れきし	歴史	6-6,7	名	＊
レジ		8-5	名	＊
レストラン		4-5,9	名	
れんしゅう〔する〕	練習	4-7	名	

ろ

ロープウェイ		7-8	名	＊
ローマ		7-3	名	＊
ローラーコースター		12-7	名	＊
ろく	６、六	1-2,3,4,5,7	数	
ろくがつ	６月	5-1,9	数	

わ

わかる	分かる	12-3,9	動
わたし	（私）	1-6/2-4,6,7,10	名
わたる	渡る	7-1,5,6,7,8	動
わるい	悪い	5-3/9-5	イ

(2) 表現索引

	(練習番号)	
あけましておめでとうございます	12-3	
ありがとう	1-2,2-6	○
ありがとうございました	1-5,3-4	○
歩いて	7-5,7-6	
いいえ、どういたしまして	7-7,11-3,12-3	○
いいこと	12-1,12-10	
いただきます	12-3	○
いちばん	7-4,11-7,12-6,12-7	
いってらっしゃい	12-10	
いらっしゃいませ	3-4	○
お元気ですか	5-6,8-5	
お大事に	9-5	
お茶を出す	12-2	
音がする	12-10	
おなかがすく	12-4,12-7	
お願いします	3-4	○
おはようございます	1-2,12-3	○
お待ちください	3-4	
がんばってください	9-7	
ごちそうさまでした	12-3	○
こんにちは	1-2,10-5	○
こんばんは	1-2,12-3	○
さようなら	1-2,5-6	○
失礼します	8-6	○
すみません	1-2,2-2	○
それはいけませんね	9-5	
楽しみにする	12-7	
だめです	6-5	
誕生日おめでとう	12-3	
ちょっと、都合が悪い	5-8	
電話がほしいんですが	8-6	
～と言います	8-7,10-5	
～という	8-6,9-2	
どうしましたか	9-5	
どうぞよろしくお願いします	1-6	○
どうもありがとう	2-7	○
どうもありがとうございました	2-10	○
～と比べる	8-3	
友だちができる	12-1	
友だちになる	10-5	
～に興味がある	10-5	
～について	8-5,10-8,11-3	
～によって	8-7	

	(練習番号)	
～のために	10-8	
はじめまして	1-6	○
～はちょっと	5-7	
～は～よりA／AN	12-6	
また今度	5-8,10-4	
また明日	1-2,4-9,8-6	
みんなで	5-9	
むかしむかし	12-10	
もう一度	6-2	
もう少し	9-7	
持って帰る	11-6	
持って来る	12-7	
ようこそ	7-4	
よういさ	12-10	
よかったですね	5-5,7-3	
よかったら	5-8	
よろしくお願いします	8-6	○
わかりました	6-5	
～をお願いします	8-6	
V（「ます形」から「ます」をとった形）方	12-8	
V（辞書形）ことがある	8-7	
V（辞書形）ために	12-9	
Vてみる	12-8	

注意：「1-1聞いてください」の表現は巻末「1.教室で使う表現」を参照。

○＝『日本語能力試験出題基準』4級「あいさつ語等表現」内のもの

8.「せつめい編 1」との対応表

項目番号	項目名	「れんしゅう編 1」の練習番号							ページ
文 - 01	N です	1-4	1-5	1-6					2
文 - 02	N がすきです	1-3	1-5	1-6					4
文 - 03	V ます	2-2	2-4	2-7	2-8	2-9	2-10	2-11	14
文 - 04	N は N にあります／います	2-7	2-8	2-10					16
文 - 05	N に N があります／います	2-2	2-4	2-9					18
文 - 06	A いです／ AN です	3-5	3-7	3-8					30
文 - 07	A い／ AN な N	3-5	3-6	3-9					32
文 - 08	N をください	3-2	3-4						34
文 - 09	N がほしいです	3-9							36
文 - 10	あまり…否定	4-4	4-9						48
文 - 11	V ました	5-2	5-4	5-5	5-6				60
文 - 12	A かったです／ AN でした	5-3	5-4	5-5	5-6				62
文 - 13	N でした	5-4	5-6						64
文 - 14	V ましょう	5-7	5-8						65
文 - 15	V ませんか	5-7	5-8	5-9					66
文 - 16	V てください	6-2	6-3	6-4	9-2	9-5			74
文 - 17	V てもいいです	6-5							76
文 - 18	A く／ AN に V ます	6-2	6-4						78
文 - 19	もう／まだ	6-2							80
文 - 20	V たことがあります	7-2	7-4						88
文 - 21	V たり V たりします	7-3	7-4						90
文 - 22	疑問詞＋か…肯定	7-3							92
文 - 23	疑問詞＋も…否定	7-3							93
文 - 24	V ています	8-4	8-5						100
文 - 25	V こと	8-2	8-3						102
文 - 26	V こと／ N ができます	9-6	9-7						112
文 - 27	N が A い／ AN です	9-4	9-5	10-2					114
文 - 28	N が A ／ AN ＋ N	9-7	10-2						116
文 - 29	V ないでください	9-2	9-5						117
文 - 30	A くて／ AN で／ N で	10-1	10-2	10-5					120

項目番号	項目名	「れんしゅう編1」の練習番号							ページ
文 - 31	VてV	10-4	10-7						122
文 - 32	Vないで	10-7							124
文 - 33	Vてから	10-3	10-4	10-5	10-6				126
文 - 34	Vたいです	10-5	10-8						128
文 - 35	まえに	11-1							132
文 - 36	あとで	11-1							134
文 - 37	V＋N	11-2	11-3						136
文 - 38	とおもいます	11-4	11-5	11-6					138
文 - 39	Aく／ANに／Nになります	11-5	11-7						140
文 - 40	とき	12-2	12-3	12-4	12-6	12-9			142
文 - 41	Vてあります	12-8							144
文 - 42	でしょう	12-1							146
文 - 43	しか…否定	12-10							148
文 - 44	Vながら	12-7	12-9						150
活 - 01	Vて形	6-1	6-2	6-3	6-4	6-5			82
活 - 02	Vた形	7-1	7-2	7-3	7-4				94
活 - 03	V辞書形	8-1	8-2	8-3					103
活 - 04	Vない形	9-1	9-5						118
活 - 05	常体形	11-4	11-5	11-6					141
助 - 01	と（並列）	1-3	1-5	1-6					5
助 - 02	に（時）	1-7							6
助 - 03	も	1-6							8
助 - 04	か（疑問）	1-4	1-5	1-7					10
助 - 05	の	2-4	2-6	2-7	2-8	2-9	2-10		20
助 - 06	へ	2-11							22
助 - 07	に（場所）	2-4	2-7	2-8	2-9	2-10	4-5		23
助 - 08	を（対象）	3-2	3-3	3-4					38
助 - 09	で（基準／範囲）	3-4							40
助 - 10	よ／ね	3-3	3-4	3-8	5-4				42
助 - 11	で（場所）	4-5	4-6	4-7	4-9	7-5			50

項目番号	項目名	「れんしゅう編 1」の練習番号							ページ
助 - 12	から／まで	4-7	7-5	7-6	7-8				52
助 - 13	や（並列）	4-6							54
助 - 14	と（相手）	5-5	5-6	5-7	5-9				68
助 - 15	に（目的）	5-5	5-6	5-7	5-8	5-9			70
助 - 16	が（接続）	5-6	8-6	11-3					72
助 - 17	で（手段／材料）	6-2	6-3	6-4	7-5	7-6	7-8	9-8	84
助 - 18	に（基準）	6-7							86
助 - 19	を（起点）	7-5	7-6						96
助 - 20	を（経路）	7-5	7-6	7-7	7-8				97
助 - 21	に（帰着点）	7-2	7-5	7-6	7-8				98
助 - 22	が（主語）	8-5	8-6	8-7					104
助 - 23	は	8-5	8-7						106
助 - 24	だけ	8-5							108
助 - 25	から（理由）	8-5							110
助 - 26	に（対象）	10-5							130
助 - 27	で（原因／理由）	12-6							152
語 - 01	時刻	1-2	1-4	1-7					12
語 - 02	これ／それ／あれ	2-5							24
語 - 03	この／その／あの	2-6							26
語 - 04	ここ／そこ／あそこ	2-10							28
語 - 05	数	3-1	3-2	3-3	3-4				44
語 - 06	助数詞	3-2	3-3	3-4					46
語 - 07	時間	4-3	4-6	4-7					56
語 - 08	ぐらい／ごろ	4-2	4-3	4-6	4-7				58

先生へ

◇青字で示した練習はその項目に焦点を当てた練習。

（「れんしゅう編」では、青字の練習の「せつめい編」項目に★がついている。）

巻末

9. 参考文献

市川尚監修（2000）『学校のインターネット 2　遊んで学べるホームページ図鑑』芸文社

伊藤光晴他（2000）『社会　5 上』教育出版株式会社　15-5

岩波書店編集部編（2000）『これからどうなる 21 －予測・主張・夢』岩波書店　20-6

宇土正彦編著（1998）『新版体育の学習 4 年』光文書院　14-5

大濱徹也他（1997）『中学生の社会科　歴史』日本文教出版　16-3

国際交流基金日本語国際センター（1995）『写真パネルバンク Ⅰ. 衣食住と道具シリーズ』日本出版貿易　13-6

――――（1997）『写真パネルバンク Ⅱ. 社会生活シリーズ』日本出版貿易　14-3, 16-4, 18-6

――――（1998）『写真パネルバンク Ⅲ. 自然と余暇シリーズ』日本出版貿易　16-5, 16-6, 16-7

――――（1996）『写真パネルバンク Ⅳ. 行事シリーズ』日本出版貿易　16-6

――――（1998）『写真パネルバンク Ⅴ. 日常生活シリーズ』日本出版貿易

国立天文台（1998）『理科年表（1998 年版）』丸善　15-6

実野恒久（1996）『ペットボトルで動くオリジナルのおもちゃをつくろう』黎明書房　15-5

（株）食品流通情報センター（2000）『若者ライフスタイル資料集 2000』株式会社食品流通情報センター　20-8

総務庁青少年対策本部編（1997）『日本の青少年の生活と意識』大蔵省印刷局　17-2

総務庁統計局編（2000）『世界の統計』大蔵省印刷局　15-6

総務庁統計局（2001）『日本統計年鑑（平成 13 年）』大蔵省印刷局　15-6

竹井史郎（1992）『やさしいこうさく 2　ぎゅうにゅうパックのこうさく』小峰書店　15-5

文化外国語専門学校編（1994）『文化中級日本語 Ⅰ』凡人社

――――（1997）『文化中級日本語 Ⅱ』凡人社

文献のあとについている番号は関連する練習番号。

番号のないものは「れんしゅう編」作成上参考にした教材。

監修者　佐久間勝彦　聖心女子大学教授
執筆者　国際交流基金日本語国際センター専任講師
木山登茂子　　坪山由美子
八田直美　　向井園子
イラスト制作者　　四釜陽子
改訂版制作協力者　伊藤宏美　島田徳子

教科書を作ろう（改訂版）　れんしゅう編１
2002年3月20日発行

教科書を作ろう　れんしゅう編
1999年3月12日初版第1刷発行
2001年6月10日初版第3刷発行

企画・編集・発行：国際交流基金日本語国際センター
〒336-0002　埼玉県さいたま市北浦和５丁目６番36号
電話　048-834-1183
FAX　048-831-7846
印刷　　：アサヒ印刷株式会社

©2002 The Japan Foundation　　Printed in Japan
ISBN 4-87540-048-9

教科書を作ろう

中等教育向け 初級日本語素材集

（改訂版）

れんしゅう編 2

国際交流基金
The Japan Foundation

はじめに

国際交流基金日本語国際センターでは、海外における日本語教育への支援の一つとして教材開発支援を行っています。その一環として、海外で日本語を勉強する中等教育段階の学習者向け教材を作成するときの参考となるように、1999年3月に『教科書を作ろう』を、2001年5月に『続 教科書を作ろう』を刊行しました。その後、多くの先生方にご使用いただきました。そして、ご使用いただいた先生方からの多くのご意見を受け、今回、『教科書を作ろう（改訂版）』の刊行に至りました。

わたしたちは『教科書を作ろう』を作るにあたって、世界中のさまざまな環境で日本語を教えている先生方が、今までの経験から得たアイディアをどんどん加えて、学習者に合った教材を作成するために利用していただきたいと考えていました。そして、教材を作るための素材集として『教科書を作ろう』を制作しました。その考えは、改訂にあたっても変わっていません。

中等教育段階での日本語教育は、国・地域によって、その目的、学習時間、学習環境がさまざまです。みなさんの国の学習者に合った教科書や教材を作るには、翻訳が必要なところ、もっと詳しい説明が必要なところ、学習者が親しみ易いように語彙を替えた方がいいところなどがあるでしょう。『教科書を作ろう』を利用するみなさんとわたしたちの共同作業の結果として、生徒がページを開くのを楽しみにするような教科書や教材が多くの国で開発されることを期待しています。

今回、大きく改訂した点は、『教科書を作ろう』『続 教科書を作ろう』の「せつめい編」をまとめて1冊にし、より使いやすくしたことです。「れんしゅう編」は今までと同様、2冊に分かれています。『教科書を作ろう』「れんしゅう編」を「れんしゅう編１」に、『続 教科書を作ろう』「れんしゅう編」を「れんしゅう編２」に改めました。また、「せつめい編」「れんしゅう編」とも使用漢字や学習項目の級別表示などを、平成14（2002）年度からの「日本語能力試験出題基準」の一部改訂に合わせてあります。

わたしたちは、今後も、みなさんが『教科書を作ろう（改訂版）』を利用して教材を作っていく過程で感じた疑問や問題は何か、また、どのような教材を作り、どのように利用したかなどを教えていただきたいと考えています。みなさんからの報告をお待ちしています。

最後になりましたが、最初の『教科書を作ろう』の制作から、今回の改訂版に至るまで監修をひきうけていただきました聖心女子大学の佐久間勝彦教授には、さまざまな助言や励ましのことばをいただきました。ここに心からお礼申し上げます。

2002年春

執筆者一同

目　　次

はじめに ……iii

『教科書を作ろう』について ……viii
「れんしゅう編２」について……xii

れんしゅう

13　ホームステイ

13-1　留学生の悩み相談 …… 2
13-2　入ってはいけません ……8
13-3　あげもらいパス ……12
13-4　手袋をもらいました ……14
13-5　プレゼント ……16
13-6　日本でホームステイ ……20
13-7　富士山に登ってみたいです ……24

14　学校生活

14-1　られるリレー ……28
14-2　泳げますか ……30
14-3　学校クイズ ……32
14-4　いろいろな学校 ……34
14-5　ポートボール ……38
14-6　月曜日はちょっと ……42
14-7　ごめんなさい ……46
14-8　たいへんな一日 ……50

15　わたしの町

15-1　ポスター ……54
15-2　歌「日本サバイバル」……58
15-3　ここはどうですか……60
15-4　わたしが市長になったら ……62
15-5　リサイクル ……66
15-6　地理のクイズ ……70
15-7　順番にならべましょう ……74
15-8　どちらのほうがいい店ですか……78

16　歴史と観光

16-1　日本とくらべる ……80
16-2　有名人にインタビュー ……82
16-3　日本の歴史 ……86
16-4　おまわりさんの交番日記……90
16-5　すずめのお宿 ……94
16-6　ぜひ、わたしの町に来てください ……98
16-7　歌舞伎……104

17　わたしの将来

17-1　「意向形」カードゲーム……110
17-2　人気がある仕事 …… 112

17-3　何のためですか 116
17-4　高いかもしれません 118
17-5　何になろうと思っていますか 122
17-6　仲間探し 128
17-7　将来の夢 130

18　学校行事

18-1　春になると… 134
18-2　準備をしておきます 138
18-3　ボランティア 142
18-4　ジェスチャー・ゲーム 146
18-5　劇をすることにします 148
18-6　クラブ紹介 150
18-7　忙しい２学期 156
18-8　日本の学校行事 160

19　コミュニケーション

19-1　来週の木曜日の試験 166
19-2　新聞を読んで 168
19-3　十二支の中にねこがいない理由 170
19-4　手紙を出したのに 176
19-5　お礼のカード 180
19-6　山田さんへの手紙 184
19-7　ホームステイの報告 188

20　現在と未来

20-1　E メールを始めてから 194
20-2　お化けアパート 196
20-3　留学生が見た日本 202
20-4　書きやすいペン 206
20-5　コンピュータの教育 208
20-6　いろいろな未来 212
20-7　未来のニュース 218
20-8　調査「未来はどうなる？」 224
20-9　わたしたちの未来 230

巻末

1. 教室で使う表現 241
2. 練習一覧 242
3. ブロック別練習の順序例 246
4. 談話単位の機能 250
5. ＜談話の技術＞一覧 251
6. ＜モデルテキスト＞と＜タスクシート＞の漢字一覧 252
7. 語彙索引
　(1) 五十音順語彙索引 253
　(2) 表現索引 265
8.「せつめい編２」との対応表 266
9. 参考文献 268

『れんしゅう編１』目次

1　わたし

1-1　聞いてください 2
1-2　数字 4
1-3　すきな数字 6
1-4　1時ですか 8
1-5　すきなものクイズ 10
1-6　自己紹介 12
1-7　何時に起きますか 16

2　教室

2-1　教室にあるもの 18
2-2　ペンがありますか 20
2-3　上・下・となり 22
2-4　わたしのとなり 24
2-5　それは何ですか 26
2-6　だれのですか 28
2-7　どこにありますか 30
2-8　本は机の上にありますか 32
2-9　机の上にかばんがあります 34
2-10　わたしの学校 36
2-11　行く・来る・帰る 40

3　外出

3-1　いくらですか 42
3-2　何本・いくつ 44
3-3　ハンバーガーを食べます 48
3-4　ハンバーガーの店 50
3-5　形容詞のビンゴ 52
3-6　どんなかばんですか 54
3-7　新しいですか 56
3-8　どんな店ですか 58
3-9　今、何がほしいですか 60

4　生活

4-1　何番ですか 62
4-2　わたしの一日 66
4-3　7時間ぐらい寝ます 68
4-4　いつも・ときどき・あまり 70
4-5　どこで・どこに 72
4-6　田中さんの一日 74
4-7　いとうさんの一週間 76
4-8　わたしの家族 78
4-9　クロスワードパズル 80

5　休みの日

5-1　何月何日ですか 84
5-2　テレビを見ましたか 86
5-3　楽しかったですか 88
5-4　おいしかったですよ 90
5-5　休みのこと 92
5-6　手紙 94
5-7　映画を見に行きませんか 96
5-8　さそいましょう 98
5-9　ポスター 100

6　授業

6-1　「て形」のビンゴ 102
6-2　わたしは先生です 104
6-3　おねがいします 108
6-4　名前を書いてください 110
6-5　どこですか 112
6-6　科目の名前 114
6-7　時間割 116

7　旅行

7-1　言えたらあげる 118

7-2　めずらしい経験 120
7-3　旅行の思い出 122
7-4　旅行に行きましょう 124
7-5　どこで・どこを・どこから 126
7-6　うちから学校まで 128
7-7　駅はどこですか 132
7-8　どのコースがいいですか 136

8　高校生

8-1　辞書形の練習 138
8-2　趣味は何ですか 140
8-3　友だちと何をしますか 142
8-4　友だちはどの人ですか 144
8-5　アルバイト 148
8-6　もしもし 152
8-7　日本の学校制度 156

9　健康

9-1　「ない形」クイズ 160
9-2　ペンを使わないでください 162
9-3　目・鼻・口 164
9-4　宇宙人 166
9-5　お大事に 168
9-6　スポーツテスト 170
9-7　健康チェック 172
9-8　料理を作りましょう 174

10　友だち

10-1　赤くて丸いものは？ 176
10-2　この人はだれですか 178
10-3　どっちが先 180
10-4　日曜日の計画 182
10-5　手紙をください 184
10-6　わたしの友だち 188
10-7　どうやってしますか 190
10-8　わたしの将来 192

11　昔と今

11-1　どんな順番？ 196
11-2　何ですか 200
11-3　インタビュー 202
11-4　どう思いますか 206
11-5　昔のまち・今のまち・将来のまち 208
11-6　どうなると思いますか 212
11-7　わたしの国の一年 216

12　日本

12-1　あしたいいことがあるでしょう 220
12-2　それはいつですか 222
12-3　何と言いますか 224
12-4　便利なマーク 226
12-5　日本の行事 228
12-6　クイズ「日本」 232
12-7　有名な所 238
12-8　ごみの出し方・集め方 242
12-9　有名人 246
12-10　かさじぞう 252

巻末

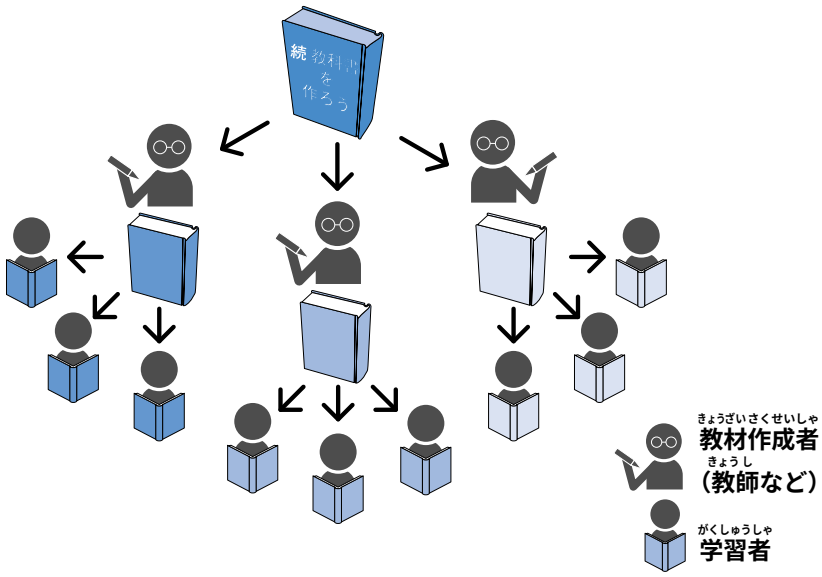
1. 教室で使う表現 261
2. 練習一覧 262
3. ブロック別練習の順序例 266
4. 談話単位の機能 270
5. ＜談話の技術＞一覧 271
6. ＜モデルテキスト＞と＜タスクシート＞の漢字一覧 272
7. 語彙索引
　（1）五十音順語彙索引 273
　（2）表現索引 282
8. 「せつめい編１」との対応表 283
9. 参考文献 286

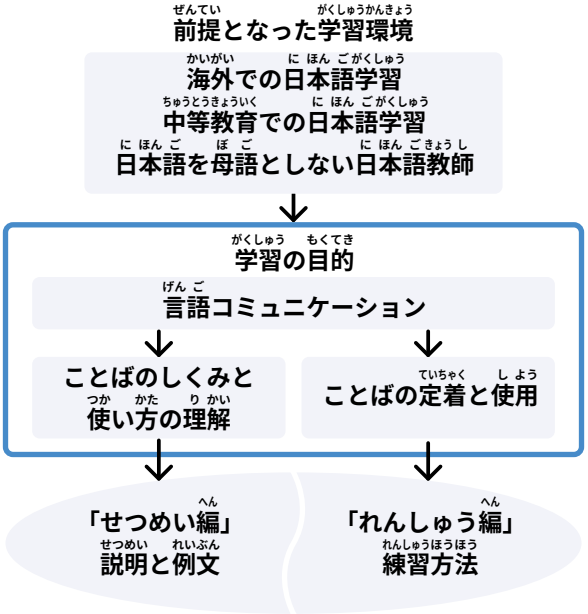
『教科書を作ろう』について

『教科書を作ろう』は、教科書や教材を作るための素材集で、このような素材集の制作は、新しい試みです。これを手にとったみなさんにこの『教科書を作ろう』を有効に活用していただくために「教科書・教材作成用の素材集とは何なのか」「どのように使うことができるのか」を説明しましょう。

1.『教科書を作ろう』とは

『教科書を作ろう』は、教材作成者が海外で日本語を勉強する中等教育段階の学習者用の教科書・教材を作るときに参考となるように日本語の説明、例文、練習をまとめたものです。学習者用の教科書・教材にするには、教材作成者が、その目的、カリキュラム、教師および学習者の状況などに応じて加工することが必要です。





『教科書を作ろう』には、「せつめい編」と「れんしゅう編」があります。２編の制作にあたっては、日本語を勉強する学習者の学習環境と学習目的を左の図のように考えました。「せつめい編」には、ことばのしくみと使い方の理解のための説明と例文をまとめました。「れんしゅう編」には、ことばの定着と使用を目的とした練習方法をまとめました。

また、執筆にあたっては、以下のことに配慮しました。

- 海外の学習者間での日本語によるコミュニケーションを意識する
- 外国人の教材作成者や教材使用者を意識する
- 日本語について知ることと日本語を使うことの両方に対応できるようにする
- 段階的な学習を示す
- 図やイラストなどの視覚的な素材の活用の可能性を示す

＜『教科書を作ろう（改訂版）』の概要＞

対象とした使用者	日本語教材作成者、中等教育段階（中学・高校）の日本語教師
対象とした学習者	中等教育段階の学習者
学習段階	初級（日本語能力試験３級相当）
内訳	「せつめい編」 せつめい編１：日本語能力試験４級及び３級の一部の文法・文型 84 項目の説明と例文 せつめい編２：日本語能力試験３級相当の文法・文型 48 項目の説明と例文 「れんしゅう編」 れんしゅう編１：「せつめい編１」に対応する 100 の練習（音声テープ付き） れんしゅう編２：「せつめい編２」に対応する 61 の練習（音声テープ付き）

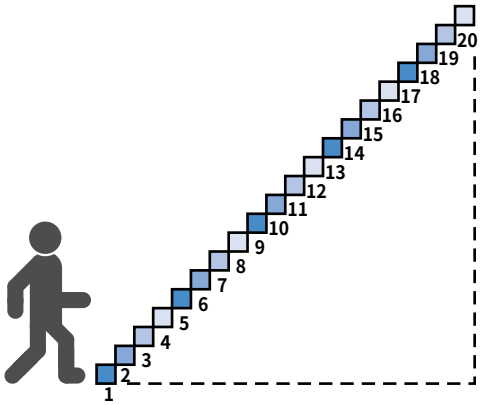
2. 教材構成のモデルとしての『教科書を作ろう』

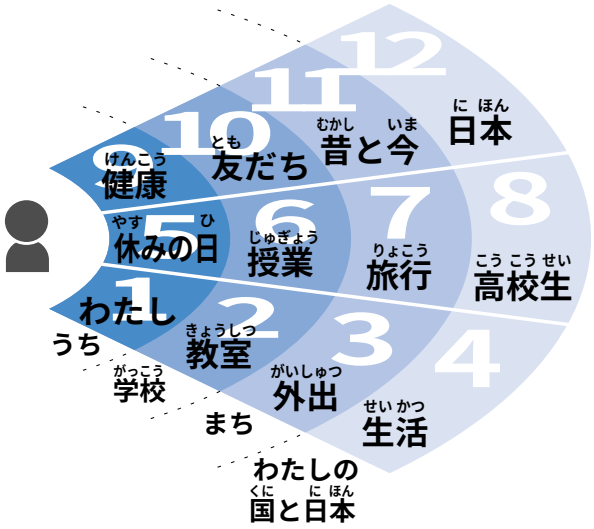
『教科書を作ろう』は、素材集を提供すると同時に教材構成のモデルを示すことを目的としています。私たちは、教科書・教材を作るときには段階的な学習、学習の目標設定、また、学習者の達成感を考慮することが大切だと考えています。『教科書を作ろう』は、この考え方を具体的に示す教材モデルの一つとして、以下のような構成をとりました。この構成は、「せつめい編」「れんしゅう編」に共通しています。

（1）ブロックについて

ブロックは、学習内容のまとまりで、全体で、20 ブロックあります。

そして、ブロック番号は「1→2→3→…→20」と学習を積み上げていく順番と段階を示しています。「せつめい編1」「れんしゅう編1」は1～12 ブロック、「せつめい編 2」「れんしゅう編 2」は 13～20 ブロックで構成されています。





「せつめい編 1」「れんしゅう編 1」

「せつめい編 2」「れんしゅう編 2」

(2)「話題」について

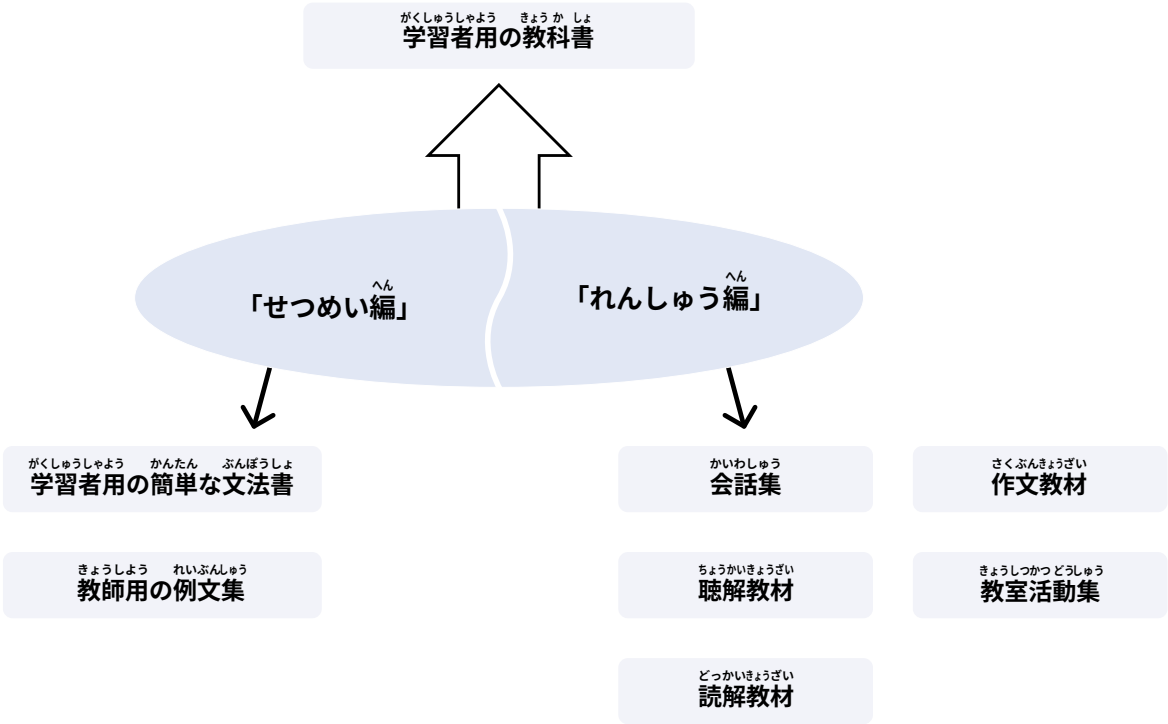
海外の学習者の生活を考えた、学習者に身近な「話題」が各ブロックに当てはめられています。「話題」は、「うち→学校→まち→私の国と日本」という学習者に身近なものから少しずつ遠くへ向かう空間的な広がりにそって、各ブロックに当てはめられています。この「うち→学校→まち→私の国と日本」は、1～12ブロックで3回、13～20ブロックで2回、全部で5回繰り返されています。また、四つのブロックごとに一まとまりとなり、全部で五つの学習段階を示しています。

(3) 学習項目の配列

「せつめい編」の132項目は、その難易度と、「話題」に関連した言語活動に配慮して、20のブロックに分けられています。

3. 『教科書を作ろう』の利用について

『教科書を作ろう』からは、学習者用の教科書以外にもいろいろな教材を作ることができます。『教科書を作ろう』を使ってできる教材例を紹介しましょう。また、そのほかにも日本語教師研修用教材の作成にも利用できます。



ほかに、日本語教師研修用教材の作成にも利用できます。さまざまな教材開発に利用してください。

最後に、みなさんが『教科書を作ろう』を使って教科書、教材を作成する場合、著作権の許諾を国際交流基金日本語国際センターから得る必要はありませんが、作成した場合は、以下のことをお願いします。

① 完成したものを3部、国際交流基金日本語国際センター制作事業課まで送ってください。

国際交流基金日本語国際センター制作事業課
住所：〒336-0002　埼玉県さいたま市北浦和5-6-36
電話：048-834-1183
FAX：048-831-7846
ホームページ：http://www.jpf.go.jp/j/urawa/index.html

② 完成したものには、この『教科書を作ろう』を使ったことを書いてください。
例1）この本は、国際交流基金日本語国際センターが作った『教科書を作ろう』を一部翻訳して作りました。
例2）この本は、国際交流基金日本語国際センターが作った『教科書を作ろう』から一部を転載して作りました。

「れんしゅう編2」について

1.「れんしゅう編」とは

「れんしゅう編」では、学習者が日本語でコミュニケーションができるようになるために必要な練習を紹介しています。「れんしゅう編」には、以下のような特徴があります。

目標はコミュニケーション

ことばは、自分を表現したり相手を理解したりするコミュニケーションのために使われます。ですから、学習の初歩の段階から四技能を使って、できるだけ日本語でコミュニケーションの体験ができることがよいと考えました。

学習者同士のコミュニケーション

海外での日本語の学習を考えて、日本語を使ったコミュニケーションの相手としては、いっしょに勉強しているクラスの人を想定しました。そして、学習者が練習を通して、少しずつクラスの人や自分の新しい側面を発見したりすることができるように工夫しました。知識も経験も共有している学習者同士なら、少ないことばでも、理解し合えるはずです。また、自分自身の気持ちや体験を表現する練習のほうが、なじみのない場面を設定して行う練習よりも、ことばの練習にはよいと考えたからです。

練習の種類の多様性

練習には、文型の定着を目指すものから、実際にコミュニケーションを体験するものまでいろいろな段階の練習があります。ことばが使えるようになるためには基本的な定着練習が必要ですが、その練習ができるだけ楽しくできるように、「れんしゅう編」ではゲームなど、多様な種類の練習を取り入れました。そして、コミュニケーションを体験する練習では定着練習で学習したことが応用できるようになっています。また、課題を解決するために日本語を使うプロジェクトワークと呼ばれる総合的な練習も取り入れました。練習の流れは、巻末「3. ブロック別練習の順序例」にくわしく紹介しました。

日本のことを知る

海外の中等教育段階の学習者が日本語を学習しながら、日本人や日本について少しずつ知識を増やすことができるような読む練習や聞く練習も取り入れました。

「れんしゅう編」は、『教科書を作ろう』のブロック構成にそって書かれています。教材作成者のみなさんが、別の構成で教材を作成するときには、それに合わせて練習を書きかえたり、新しい練習を加えたりしてお使いください。『教科書を作ろう（改訂版）』では、「れんしゅう編１」にブロック１から12までの練習が、「れんしゅう編２」にブロック13から20までの練習がおさめてあります。

2.「れんしゅう編 2」の見方

①左の大きい数字がブロックの番号。右の小さい数字がブロック内での練習の番号。

②練習の名前。

③付属テープがあることを示す。

④学習者が話したり書いたりする内容を自由に考えて、その内容を伝え合う練習であることを示す。

⑤練習の種類。「活用」「文型」「会話」「聴解」「読解」「作文」のいずれか。2つ以上の組み合わせもある。

⑥練習のとき使う技能を示す。
聞く　話す
読む　書く
2つ以上の技能を使う練習の場合、よく使う技能は青の白抜きで示す(例)。

⑦練習の内容の簡単な説明。何をするか、どんな場面か、どんな機能か、どんなゲームかなどを簡単に示す。

⑧練習のタイプを示す。
個人（1人）
ペア（2人）
グループ（4、5人）
クラス全体
矢印（→）は練習の中で形態が変わることを示す(例 →)。

⑨練習にかかる時間の目安を示す。●○○は約15分程度。●●●+は、1コマが45～50分の授業の場合、2コマ以上必要であることを示す。但し、練習のしかたや学習者の人数などによって変わる。

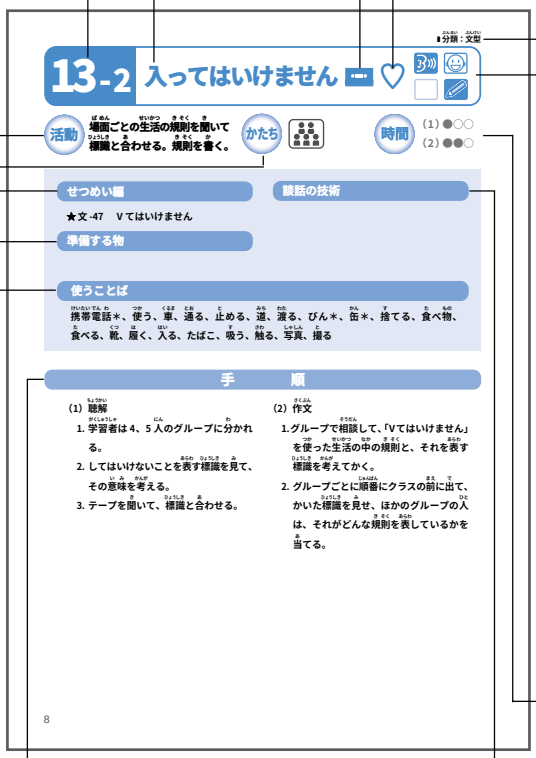
⑩練習に使われている「せつめい編」の項目。特に大切な項目や練習の目的になっている項目は、★で示す。それ以前のブロックで使われたものには（　）が付いている。

⑪ひとまとまりの内容を持った会話をしたり、文章を書いたりするときに使う、内容構成に関わる技術と、それに使われる表現。

⑫練習に必要な物。ただし以下の物は省略した。
- 学習者が普通持っているペンなどの文房具
- 黒板や机などたいていの教室にある物
- 付属の表、イラストやタスクシート

⑬＜モデルテキスト＞に使われていることばや練習のときに使うことば。それまでのブロックで未出のものを中心に取り上げた。『日本語能力試験出題基準』3級以外のものには＊がついている。▲はあいさつ表現や慣用表現。

⑭練習のし方。進め方。



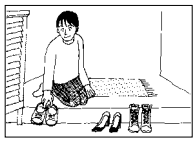
⑮ 練習の会話例、発表例、作文例。付属テープのスクリプト、読み物など。

モデルテキスト

13

(1) 玄関

ここは、げんかんです。げんかんはうちの入り口です。くつでうちに上がってはいけません。くつは、げんかんでぬぎます。ぬいだくつは、きちんとならべます。でも、すぐはかないときは、げたばこにしまったほうがいいです。



(2) 風呂場

ここはふろ場です。日本のおふろの入り方をせつめいしましょう。まず、おゆに入るまえに、体をあらいます。おゆは、家族みんなが使いますから、おゆの中で体をあらってはいけません。

⑯ 学習者が書き込んで使う用紙の例。

タスクシート

13

「してもいい」「してはいけない」のどちらかに○を入れてください。

	してもいい	してはいけない
ぬいだくつをげんかんにならべる		
おゆの中で体をあらう		
おふろを出るまえに、おゆをすてる		
ご飯茶わんを手に持って、ご飯を食べる		
かた手で物をうけとる		
自分のスリッパでトイレに入る		
スリッパをはいて、たたみの部屋に入る		
たたみの部屋ですわるとき、ざぶとんを使う		

バリエーション

(1) 自分の国の生活習慣と比べて違いを話し合う。

先生へ

・イラストのほかに日本の家の写真や資料などを見せてもよい。
（『写真パネルバンク』Ⅰ.衣食住と道具シリーズ　34（玄関）、38（和室）、45（トイレ）、46（風呂）、Ⅴ.日常生活シリーズ　15（昼ご飯を食べる）参照。）
・「うちに上がる」は、玄関などから一段高い家の中に入ること。

23

⑰ ＜手順＞で示した練習方法以外の練習の方法、アイディア。

⑱ 練習をするときに教師が注意することや知っておくといいこと。＜モデルテキスト＞についての情報など。

巻末に一覧や索引があるもの

①～⑩→巻末 2. 練習一覧

⑪→巻末 5. ＜談話の技術＞一覧

⑬→巻末 7. 語彙索引（1）五十音順語彙索引、（2）表現索引

⑮、⑯で使った漢字→巻末 6. ＜モデルテキスト＞と＜タスクシート＞の漢字

＜モデルテキスト＞と＜タスクシート＞の表記について

・漢字の表記

漢字の使用を日本語能力試験3級の漢字（『日本語能力試験出題基準』のリストに掲載されている284字）とそれに18字を加えた302字に制限した（巻末6.「＜モデルテキスト＞と＜タスクシート＞の漢字一覧」）。それ以外に、「大阪」「奈良」は漢字で表記した。

・数字の表記

人数（一人、二人）と一つ～十以外は、算用数字（1、2、3～）を使用した。ただし、テキスト内の統一をとるために、人数（一人、二人）と一つ～十も算用数字で表記した文章もある。

固有名詞について

日本人の人名については、実在の人物以外は、以下の名前を使用した。ここで使った名字は、現在、日本人に多い名字である。

（名字） いとう、さとう、すずき、たかはし、田中、わたなべ、山田、山本

（男性の名前） けん、けんじ、たかし、いちろう

（女性の名前）まり、ゆか、みゆき、みどり、花子、まゆみ、ひかる、かおる

町、村、川、通り、学校などの固有名詞は、「あさひ、さくら、ひかり、みどり、東、南、北、西」を使用した。いずれも架空の地名・学校名。

また、「○○」「××」「△△」などは固有名詞の代わり。

3. 付属テープについて

「れんしゅう編」の中の24の練習の＜モデルテキスト＞を付属テープに録音した。テープ録音したものは、各練習または巻末「2.練習一覧」を参照。テープの使い方は、主に聴解練習と練習の発話モデルとしての使用であり、＜手順＞に示した。この素材集が対象としている、海外の中等教育段階の学習者に配慮して、日本で市販されているテープに比べてスピードを遅くした。

れんしゅう編２

13-1 留学生の悩み相談

活動 悩みを相談する／助言する。

かたち (1) (2)

時間 (1) ●○○ (2) ●●○

せつめい編

★文-45　んです

★文-46　Vたほうがいいです

文-48　Vてみます

準備する物

談話の技術

・相手の発話を聞いて話を進める（じゃあ）

・応答する（はい／そうですか）

・間をとる（ん…）

使うことば

学校、友だち、いる、クラブ＊、入る、ホストファミリー＊、料理、好き、相談〔する〕、じゃあ、話す、ことば、わかる、でも、だんだん、慣れる、あまり、心配〔する〕、がんばる、勉強、先生、頭、痛い、保健室＊、行く、授業、～中、眠い、なる、早い、寝る、面白い、テレビ番組＊、ある、長い、見る、借りる、本、なくす、同じ、買う、返す、聞く、財布、落とす、交番

▲どうしたんですか／そうします／大変ですね

手　順

(1) 聴解

1. 学習者は、4、5人のグループに分かれる。
2. 教師は、各グループにカードのセットを配る。
3. 学習者はカードを見て、留学生がどんな悩みを持っているか、そして、どんな助言をしたらいいかを考える。
4. テープを聞き、グループで相談して(1)～(8)のそれぞれに当てはまるカードを選ぶ。
5. もう一度テープを聞いて、自分たちが考えた助言と同じかどうか確認する。

(2) 会話

1. 学習者は、ペアになって、カードの中からそれぞれが1枚ずつカードを選び、それを見ながら、＜モデルテキスト＞のように悩みを相談する会話を練習する。

モデルテキスト

（1） A：どうしたんですか。

B：学校(がっこう)に友(とも)だちがいないんです。

A：そうですか。じゃあ、クラブに入(はい)ったほうがいいですよ。

B：はい。じゃあ、そうします。

（2） A：どうしたんですか。

B：ホストファミリーの料理(りょうり)が好(す)きじゃないんです。

A：そうですか。じゃあ、ホストファミリーにそうだんしたほうがいいですよ。

B：はい。じゃあ、そうします。

（3） A：どうしたんですか。

B：ホストファミリーが話(はな)すことばがわからないんです。

A：たいへんですね。でも、だんだんなれるから、あまり心(しん)ぱいしないほうがいいですよ。

B：はい。じゃあ、がんばります。

（4） A：どうしたんですか。

B：学校(がっこう)の勉強(べんきょう)がわからないんです。

A：そうですか。じゃあ、先生(せんせい)にそうだんしたほうがいいですよ。

B：はい。じゃあ、そうします。

（5） A：どうしたんですか。

B：頭がいたいんです。

A：そうですか。じゃあ、ほけん室に行ったほうがいいですよ。

B：はい。じゃあ、そうします。

（6） A：どうしたんですか。

B：じゅ業中にねむくなるんです。

A：そうですか。じゃあ、早くねたほうがいいですよ。

B：でも、おもしろいテレビばんぐみがあるんです。

A：テレビはあまり長く見ないほうがいいですよ。

B：はい。

（7） A：どうしたんですか。

B：友だちに借りた本をなくしたんです。

A：そうですか。

B：同じ本を買って、かえしたほうがいいですか。

A：ん…。友だちに聞いてみたほうがいいですよ。

B：はい。じゃあ、そうします。

（8） A：どうしたんですか。

B：さいふをおとしたんです。

A：そうですか。じゃあ、こうばんに行ったほうがいいですよ。

B：はい。じゃあ、そうします。

＜答え＞

（1）イ （2）ウ （3）ア （4）エ （5）オ （6）カ （7）ク （8）キ

バリエーション

（1）そのほかの会話練習

自国に来た日本人の留学生の悩みとその解決方法を考えて、会話をする。

先生へ

- ＜モデルテキスト＞（8）の「交番」を「警察」にするなど、必要なら各国の事情に合った会話の内容に変えてもよい。
- 会話練習の場合には、下のような会話のパターンを使うとよい。

A：どうしたんですか。

B：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿んです。

A：そうですか。／たいへんですね。

　じゃ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿た／ないほうがいいですよ。

B：はい。じゃ、そうします。／はい。

ア
○△×
◆☆……
イ
ウ
エ
オ
カ
キ
ク

13-2 入ってはいけません

活動 場面ごとの生活の規則を聞いて絵と合わせる。規則を書く。

かたち

時間 (1) ●○○ (2) ●●○

せつめい編

★文-47　Vてはいけません

談話の技術

準備する物

使うことば

携帯電話＊、使う、車、通る、止める、道、渡る、びん＊、缶＊、捨てる、食べ物、食べる、靴、履く、入る、たばこ、吸う、触る、写真、撮る

手　順

(1) 聴解

1. 学習者は4、5人のグループに分かれる。
2. してはいけないことを表す絵を見て、その意味を考える。
3. テープを聞いて、絵と合わせる。

(2) 作文

1. グループで相談して、「Vてはいけません」を使った生活の中の規則と、それを表す絵を考えてかく。
2. グループごとに順番にクラスの前に出て、かいた絵を見せる。ほかのグループの人は、それがどんな規則を表しているかを当てる。

モデルテキスト

（1）けいたい電話(でんわ)を使(つか)ってはいけません。

（2）車(くるま)は通(とお)ってはいけません。

（3）車(くるま)を止(と)めてはいけません。

（4）道(みち)をわたってはいけません。

（5）びんやかんをすててはいけません。

（6）食(た)べ物(もの)を食(た)べてはいけません。

（7）くつをはいて入(はい)ってはいけません。

（8）たばこをすってはいけません。

（9）さわってはいけません。

（10）写真(しゃしん)をとってはいけません。

＜答(こた)え＞

（1）カ　（2）ウ　（3）コ　（4）エ　（5）ア　（6）ケ　（7）キ　（8）ク（9）オ　（10）イ

ア
もえるごみ
びん・カン
イ
ウ
エ
オ
カ
キ
ク
ケ
コ

13-3 あげもらいパス

活動 「あげます」「もらいます」を使いながらボールをパスする。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文-50　あげます

★文-51　もらいます

談話の技術

準備する物

テニスボールなどの柔らかいボール

使うことば

あげる、もらう

手順

1. 生徒は立って輪になる。
2. 一人の生徒がボールを持つ。
3. 「○○さんにあげます。」と言ってから、その生徒にボールを投げる。
4. ボールを受け取った生徒は「××さんにもらいました。」と言う。
5. 3と4を繰り返す。

モデルテキスト

A：（ボールを投げる前に）B さんにあげます。

B：（ボールを受け取って）A さんにもらいました。

13-4 手袋をもらいました♡

活動 プレゼント交換をして、だれに何をもらったかを発表する。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-51　もらいます

談話の技術

準備する物

写真の入った広告、封筒（学習者の数）、大きい袋

使うことば

手袋、もらう

手　順

1. 教師は、学習者一人一人に小さい封筒を配る。
2. 学習者は、表に自分の名前を書いて、教師が持っている袋に入れる。
3. 全員が封筒を袋に入れたら、学習者は袋から封筒を一人１つずつ取り出す。
4. 学習者は、封筒の宛名の人に合ったプレゼントを広告から選ぶ。その写真を切り抜いて封筒に入れる。封筒の裏に自分の名前を書く。
5. 教師は封筒を集めて、宛名の生徒に配る。
6. 学習者はもらった封筒を開けて、一人ずつ＜モデルテキスト＞のように、だれから何をもらったか言う。

モデルテキスト

○○さんに手ぶくろをもらいました。

バリエーション

(1) 学習者同士が下のように質問したり答えたりする。

A：何をもらいましたか。

B：手袋をもらいました。

A：だれにもらいましたか。

B：C さんにもらいました。

A：C さん、どうして B さんに手袋をあげたんですか。

C：Bさんは手袋が好きだろうと思ったからです。

先生へ

- 学習者に写真や絵の入った広告を持って来させるとよい。
- 適当な広告がなければ、絵カードを使ったり、生徒に絵をかかせたりする。
- 学習者が自分宛の封筒を取らないようにする。
- 物の名前を日本語で言えないときは、母語を使わせてもよい。

13-5 プレゼント

活動 プレゼントをあげたりもらったりしたことについての文を読む／書く。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-50　あげます

★文-51　もらいます

談話の技術

準備する物

使うことば

高校、入る、そのとき、両親、腕時計＊、もらう、それから、おばあさん、学校、持って行く、かばん、軽い、便利、子供の日＊、弟、こいのぼり、おもちゃ、あげる、お母さん、誕生日、自分、編む＊、白い、マフラー＊、それ、とても、喜ぶ、お姉さん、きれい、石、ブローチ＊、作る、ケーキ、焼く、みんな、食べる

手　順

1. ＜モデルテキスト＞を読んで、＜タスクシート＞にそれぞれのプレゼントをあげた人、もらった人を書く。
2. ＜タスクシート＞を見ながら、「あげます」「もらいます」を使って文を書く。

モデルテキスト

かおるさんの報告

わたしは、4月に高校に入りました。そのとき、両親にうで時計をもらいました。それから、おばあさんに学校へ持って行くかばんをもらいました。軽くてべんりなかばんです。

5月5日の子どもの日に、弟は、おばあさんにこいのぼりをもらいました。わたしはおもちゃをあげました。

10月4日は、お母さんのたん生日でした。わたしは、自分であんだ白いマフラーを、お母さんにあげました。お母さんはそれをもらって、とてもよろこびました。お姉さんは、きれいないしでブローチを作って、お母さんにあげました。

それから、わたしは、お姉さんとたん生日のケーキをやいて、みんなで食べました。

タスクシート

	あげた人(ひと)		もらった人(ひと)
	(両親(りょうしん))	→	(かおるさん)
	( )	→	( )
	( )	→	( )
	( )	→	( )
	( )	→	( )
	( )	→	( )

バリエーション

(1) ＜モデルテキスト＞を参考にして、自分がプレゼントをあげたり、もらったりしたことについて作文を書く。

先生へ

- 答えを書くとき、「わたし」は「かおるさん」に替えさせる。ほかは文中のことばを使う。
- 家族の呼称について、「母」「姉」などを使わせたい場合は、テキスト中の語彙を入れ替える。ただし、この場合、＜タスクシート＞に答えを書いたり、文を書いたりするときに、呼称が変わるので、注意が必要。
- 「そのとき」「それ」などはここでは文脈指示の用法。「せつめい編」語 -09「こそあど」参照。

13-6 日本でホームステイ

活動 日本でホームステイをするときの注意を聞いて、理解する。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-46　V たほうがいいです

★文-47　V てはいけません

　文-49　V かた

談話の技術

準備する物

使うことば

ここ、玄関、うち、入口、靴、上がる、脱ぐ、きちんと、並べる、でも、すぐ、履く、下駄箱＊、しまう、風呂場＊、日本＊、お風呂、入る、説明〔する〕＊、お湯、体、洗う、家族、みんな、使う、中、温まる＊、そのあと＊、出る、また、捨てる、茶碗、受け取る＊、両手＊、片手＊、ご飯、ご飯茶碗＊、持つ、はし、あまり、難しい、練習〔する〕、トイレ、スリッパ、自分、外、畳、部屋、上、歩く、座る、座布団

▲もう一度

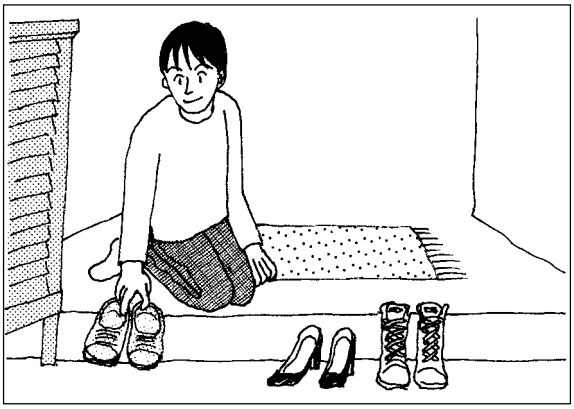
手　順

1. イラストを見ながらテープを聞く。
2. テープを聞いてから、＜タスクシート＞に答えを書く。必要ならもう一度聞く。

モデルテキスト

(1) げんかん

ここはげんかんです。げんかんはうちの入口です。くつでうちに上がってはいけません。くつはげんかんでぬぎます。ぬいだくつはきちんとならべます。でも、すぐはかないときは、げたばこにしまったほうがいいです。

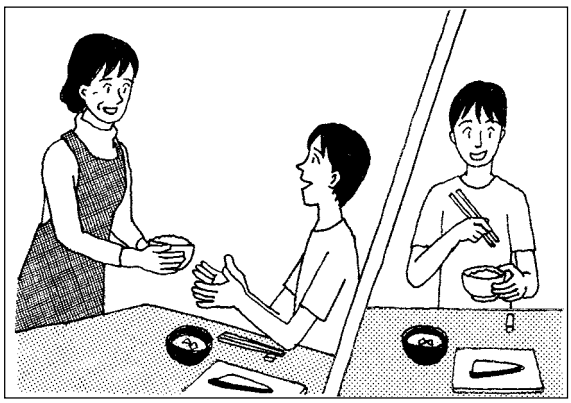


(2) ふろ場

ここはふろ場です。日本のおふろの入り方を説明しましょう。まず、おゆに入るまえに、体を洗います。おゆは家族みんなが使いますから、おゆの中で体を洗ってはいけません。体を洗ってから、おゆに入ってあたたまります。そのあと、おゆから出て、もう一度洗ってから、またおゆに入ってもいいです。おふろから出るとき、おゆをすててはいけません。

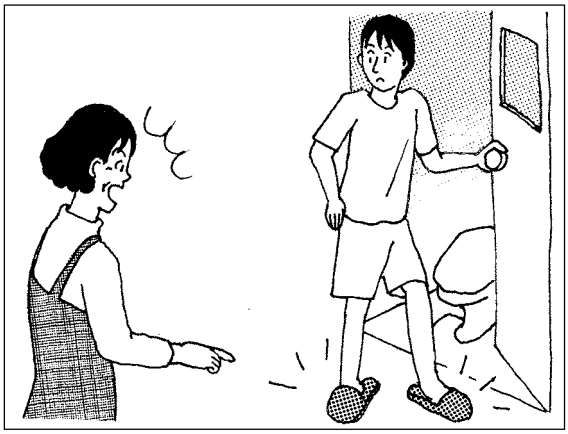
(3) 食事

茶わんなどをうけとるときは、両手でうけとります。かた手でうけとってはいけません。ご飯を食べるときは、ご飯茶わんを持って食べたほうがいいです。はしの使い方はあまりむずかしくありませんから、練習してみてください。



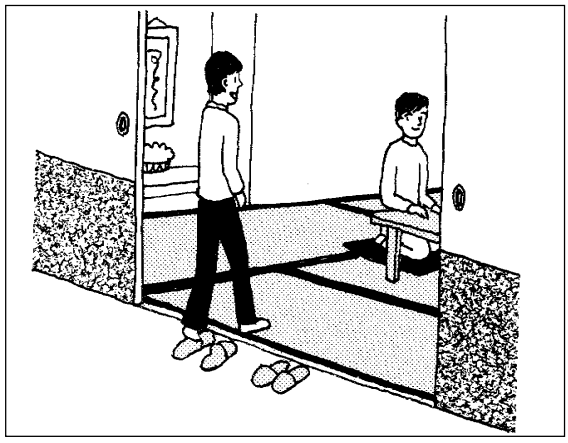
(4) トイレ

トイレに入るときは、トイレのスリッパをはきます。自分のスリッパをはいてトイレに入ったり、トイレのスリッパをはいてトイレの外に出たりしてはいけません。



(5) たたみの部屋

たたみの部屋に入るときは、入口でスリッパをぬぎます。スリッパをはいてたたみの上を歩いてはいけません。たたみの部屋では、すわるとき、ざぶとんを使います。



タスクシート

「する」「してはいけない」のどちらかに○を入れてください。

	する	してはいけない
ぬいだくつはきちんとならべる		
おゆの中で体を洗う		
おふろから出るとき、おゆをすてる		
ご飯茶わんを持って、ご飯を食べる		
かた手で物をうけとる		
自分のスリッパでトイレに入る		
スリッパをはいて、たたみの部屋に入る		
たたみの部屋ですわるとき、ざぶとんを使う		

バリエーション

(1) 自分の国の生活習慣と比べて、違いを話し合う。

先生へ

- イラストのほかに日本の家の写真や資料などを見せてもよい。
- 『写真パネルバンク Ⅰ.衣食住と道具シリーズ』 34（玄関）、38（和室）、45（トイレ）、46（風呂）、『Ⅴ.日常生活シリーズ』15（昼ご飯を食べる）参照。
- 「うちに上がる」は、玄関などから一段高い家の中に入ること。

13-7 富士山に登ってみたいです♡

活動 ホームステイの家族への手紙を読む／書く。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

★文-48　Vてみます

文-49　Vかた

談話の技術

・内容を構成する（手紙）

準備する物

使うことば

手紙、書く、人、どんな、思う、日本＊、する、～様、来月、行く、高校、～年生＊、家族、～人、両親、弟、スポーツ、音楽、日本語＊、好き、今、一生懸命、勉強〔する〕、まだ、じょうず、ですから＊、少し、心配、文化、いろいろ、所、例えば、富士山＊、登る、それから、相撲＊、見る、日本料理＊、嫌い、食べ物、だけ、きゅうり＊、でも、外、物、大丈夫、初めて、わかる、いっぱい、教える、会う、日

▲はじめまして／どうぞよろしくお願いします／みなさん／楽しみにする／では、さようなら／（名前）より

手　順

1. 日本へ行くとしたら、どんなことをしてみたいかクラスで話し合う。
2. 質問を読んでから、＜モデルテキスト＞の手紙を読む。
3. 質問に答える。
4. ＜タスクシート＞の（　　）にことばを入れて、＜モデルテキスト＞のように、ホームステイの家族に向けた手紙を書く。

モデルテキスト

◆ 質問

(1) この手紙を書いた人はどんな人ですか。

(2) この人は、日本でどんなことをしてみたいと思っていますか。

たかはしいちろうさま

はじめまして。わたしはトム・リーです。来月日本へ行きます。

わたしは高校1年生です。家族は4人で、両親と弟とわたしです。

わたしはスポーツと音楽と日本語が好きです。

今、日本語を一生けんめい勉強していますが、まだ、じょうずではありません。ですから、少し心ぱいです。日本で、日本語や日本の文化を勉強したいと思っています。

日本では、いろいろなところへ行ってみたいと思います。たとえば、ふじ山にのぼってみたいと思います。それから、すもうを見てみたいです。いろいろな日本料理も食べてみたいと思います。わたしは、きらいな食べ物が一つだけあります。きゅうりです。でも、ほかの物はだいじょうぶです。

日本ははじめてですから、わからないことがいっぱいあると思います。わからないときは、教えてください。どうぞよろしくおねがいします。

みなさんに会う日を楽しみにしています。

では、さようなら

2月20日　　トム・リーより

＜答え＞

(1)（例）名前はトム・リーで、高校1年生です。来月日本へ行きます。家族は4人で、スポーツと音楽と日本語が好きです。

(2)（例）いろいろな所へ行ってみたい、富士山に登ってみたい、相撲を見てみたい、それから、いろいろな日本料理を食べてみたいと思っています。

タスクシート

（　　）さま

（　　）。わたしは（　　）です。

今度、日本へ行きます。

わたしは（　　）年生です。家族は（　　）で、

（　　）です。わたしは

（　　）が好きです。今日本語を勉強しています。

日本では、（　　）たいと

思います。それから、（　　）たいです。

日本では、わからないことがたくさんあると思います。わからない

ときは、教えてください。（　　）

みなさんに会う日を楽しみにしています。

（　　）

（　　）月（　　）日

（　　）より

先生へ

- ＜手順＞1は、学習者が＜モデルテキスト＞の内容を身近に感じられるようにするため。
- ＜手順＞2では、＜モデルテキスト＞を読む前に質問を読ませて、必要な情報を読み取る練習をさせる。
- 作文を書くまえに、必要なら、手紙の書き方を確認する。
- ＜質問＞への答え方は、＜答え＞の通りでなくてもよい。

14-1 られるリレー

活動 動詞の「ます形」を可能形にかえる。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★活-06　可能形

談話の技術

準備する物

使うことば

書く、読む、話す、借りる、行く、来る、作る、弾く、食べる、使う、歌う、する、取る、覚える、勉強〔する〕、運転〔する〕、帰る、泳ぐ、飲む、起きる、寝る、言う、走る、遊ぶ、乗る、持つ、着る、履く

手　順

1. 3つか4つのグループに分かれる。
2. 各グループで順番を決め、1番になった学習者がチョークを持つ。
3. 1番の学習者は「スタート」の合図で前に出て、黒板に動詞の辞書形を1つ書く。書いたらすぐにチョークを2番目の生徒に渡す。
4. 2番目の生徒は、黒板に書かれている動詞のとなりに可能形を書く。それから、最初の辞書形の下に、別の動詞の辞書形を1つ書いて、チョークを次の学習者に渡す。
5. 4を繰り返す。
6. 教師は適当な時間を決めてやめるように言う。
7. みんなで黒板に書かれた動詞が正しいかどうか確認する。

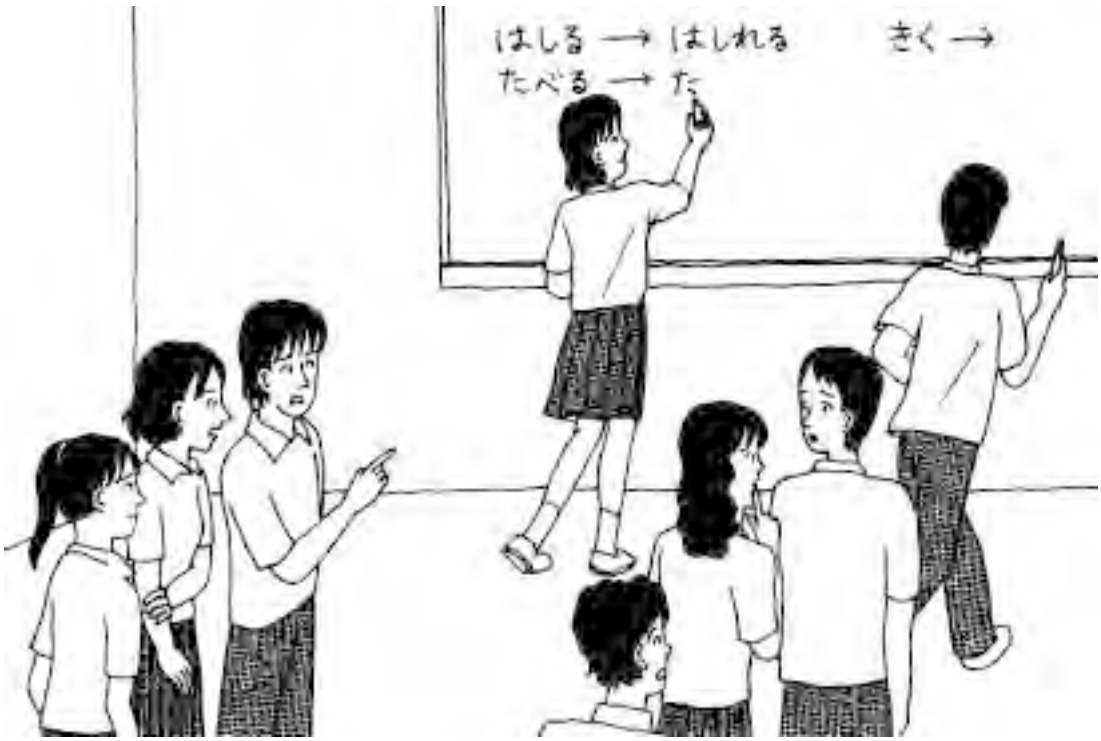
バリエーション

(1) 辞書形の代わりに「ます形」を書く。
(2) 学習者が動詞を考える代わりに、教師が黒板に動詞を書いておいたり、動詞のカードをならべておいたりして、学習者に動詞を選ばせる。
(3) たくさんの動詞を正しく書いたグループを勝ちとする。

14

先生へ

- この練習は、可能形以外にも、ほかの動詞の活用形の練習として使える。
- この練習のほかに、「れんしゅう編1」の6-1「て形のビンゴ」、7-1「言えたらあげる」、8-1「辞書形の練習」、9-1「ない形クイズ」、「れんしゅう編2」の17-1「意向形カードゲーム」の練習方法が利用できる。
- ＜使うことば＞の動詞は、ブロック14の練習で使われる動詞を中心に選んでいる。これらの動詞以外にも、教師が適当なことばを選んで練習するとよい。



14-2 泳げますか

活動 何ができるか質問する／質問に答える。質問した結果を報告する。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-52　V（られ）ます（可能）
活-06　可能形

準備する物

談話の技術

- 会話を始める（～さん）
- 応答する（はい）
- あいづちをうつ（そうですか）
- 会話を終わる（どうもありがとうございました）

使うことば

泳ぐ、辛い、料理、食べる、日本語＊、本、読む、少し

▲どうもありがとうございました

手　順

1. 4、5人のグループに分かれる。
2. 学習者はそれぞれノートに下のような表の枠を書き、自分も含めて同じグループの人の名前を書く。
3. ほかの人ができるかどうか知りたいことを3つ考えて、例のように表の「できること」のところに書く。自分が「できる」ことには「○」、「少しできる」ことには「△」、「できない」ことには「×」を書く。
4. グループの中で＜モデルテキスト＞（1）のように、表に書いたことを質問する。相手の答えを聞いて、3.と同じように「○、△、×」を表に書く。
5. ＜モデルテキスト＞（2）を参考にして、グループ、またはクラスのみんなの前で結果を発表する。

できること	わたし	キムさん	Bさん	Cさん
（例）およげる	○	×	×	○

モデルテキスト

（1）インタビュー

A　：キムさん。

キム：はい。

A　：キムさんはおよげますか。

キム：いいえ、およげません。

A　：からい料理が食べられますか。

キム：はい、食べられます。

A　：日本語の本が読めますか。

キム：はい、少し読めます。

A　：そうですか。どうもありがとうございました。

（2）発表

わたしとCさんはおよげます。キムさんとBさんとCさんはからい料理が食べられます。みんな日本語の本が少し読めます。

バリエーション

（1）学習者に考えさせる代わりに、教師がいくつかできることの例を黒板に書いて、学習者に選ばせる。

（2）質問した結果をノートに書く。

（3）インタビューの結果を使って、＜クイズ例＞のように言い、ほかのグループの学習者はだれのことか当てる。

＜クイズ例＞

ギターがひけます。

じょうずに歌が歌えます。

泳げます。

だれですか。

先生へ

・できるということがはっきりわかっていることを聞くとおもしろくないので、できるかどうか知らないことをインタビューするように指示する。

・会話のモデルとして、練習のまえにテープを聞かせるとよい。

14-3 学校クイズ

活動 学校の中の場所でできることについて質問する／答える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文 -52　V（られ）ます（可能）

活 -06　可能形

談話の技術

準備する物

使うことば

学校、クイズ＊、場所、当てる＊、そこ、絵、かく、パン、買う、売店＊

手　順

1. 教師は黒板に、教室やプールなどの学校の場所の名前を書く。クラス全員でそこで何ができるかを確認する。
2. 学習者はペアになる。
3. ペアの一人は黒板に書いてある場所の中から１つ選んで、ノートに写す。そのとき、ペアの相手には見せてはいけない。
4. ペアのもう一人は、＜モデルテキスト＞のように、その場所でできることについて、「はい」「いいえ」で答えられる質問をする。
5. はじめの学習者は「はい」または「いいえ」だけで答える。
6. 「はい」と言われたら、「そこは○○ですか」と質問できる。
7. 4～6を場所が当たるまで繰り返す。
8. 正しい答えがでたら、役割を交代する。

モデルテキスト

A：場所をあててください。

B：そこでえがかけますか。

A：いいえ、かけません。

B：そこでパンが買えますか。

A：はい、買えます。

B：そこは売店ですか。

A：はい、そうです。

バリエーション

(1) グループごとにクイズをする。

(2) 時間を決めて、時間内にたくさんの場所を当てたペアを勝ちとして競争する。

(3)「れんしゅう編1」2-10「わたしの学校」のような校内図を使う。

先生へ

- 場所の名前はそれぞれの学校に合わせて、決める。

  場所の名前（そこでできること）の例：

  美術室（絵をかく、工作を作る）、理科室（実験をする、火を使う）

  家庭科室（料理を作る、ミシンを使う）、校庭（スポーツをする、遊ぶ）

  プール（泳ぐ）、事務室（鉛筆を借りる）

  体育館（スポーツをする）、保健室（薬をもらう、休む）

  LL（テープを聞く、日本語の練習をする）

  コンピュータ室（インターネットを使う、Eメールを出す）

- ここでの「V（られ）ます」の用法は「Vことができます」の可能の意味と同じである。
- 「そこ」は、ここでは文脈指示の用法。「せつめい編」語-09「こそあど」参照。
- 会話のモデルとして、練習の前にテープを聞かせるとよい。
- 参考：『写真パネルバンクⅡ.社会生活シリーズ』137（美術室）、138（図書室）、139（体育館）

14-4 いろいろな学校

活動 日本の学校の制服の紹介を聞く。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文 -53　なければなりません

★文 -54　V なくてもいいです

談話の技術

準備する物

使うことば

学校、大きい、東京＊、制服＊、着る、服、毎日、考える、そして、黒い、靴、履く、かばん、持つ、男、生徒、髪、短い、切る、京都＊、デザイン＊、いい、思う、特に、ネクタイ、かっこいい＊、女、普通、毎月、一日、朝礼＊、大阪＊、新しい、規則、少ない、好き、アクセサリー、付ける、伸ばす＊

▲ネクタイをする

手　順

1. 学習者はペアになる。
2. 4 つの絵を見て、それぞれの学校ではどんなきまりがあるか考えて、話し合う。
3. テープを聞いて、内容と合っている絵を選ぶ。
4. もう一度テープを聞いて、ペアでお互いに絵の学校について説明する。

モデルテキスト

(1) わたしの学校は大きい学校で、東京にあります。学校へ行くときは、せい服を着なければなりません。せい服があるから、学校へ着て行く服を毎日考えなくてもいいです。そして、黒いくつをはいて、黒いかばんを持たなければなりません。男の生とはかみを短く切らなければなりません。

(2) わたしの学校は京都にあります。わたしの学校のせい服は、デザインがいいと思います。特に、ネクタイがかっこいいです。男の生とも女の生ともネクタイをします。ふつうの日は、せい服を着なくてもいいです。毎月一日のちょうれいのときには、せい服を着なければなりません。

(3) わたしの学校は大阪にあります。新しい学校で、学校のきそくは少ないです。せい服がないから、毎日好きな服を着て、学校へ行くことができます。アクセサリーをつけてもいいです。男の生とが、かみをのばしてもいいです。でも、学校へ着て行く服を毎日考えなければなりません。

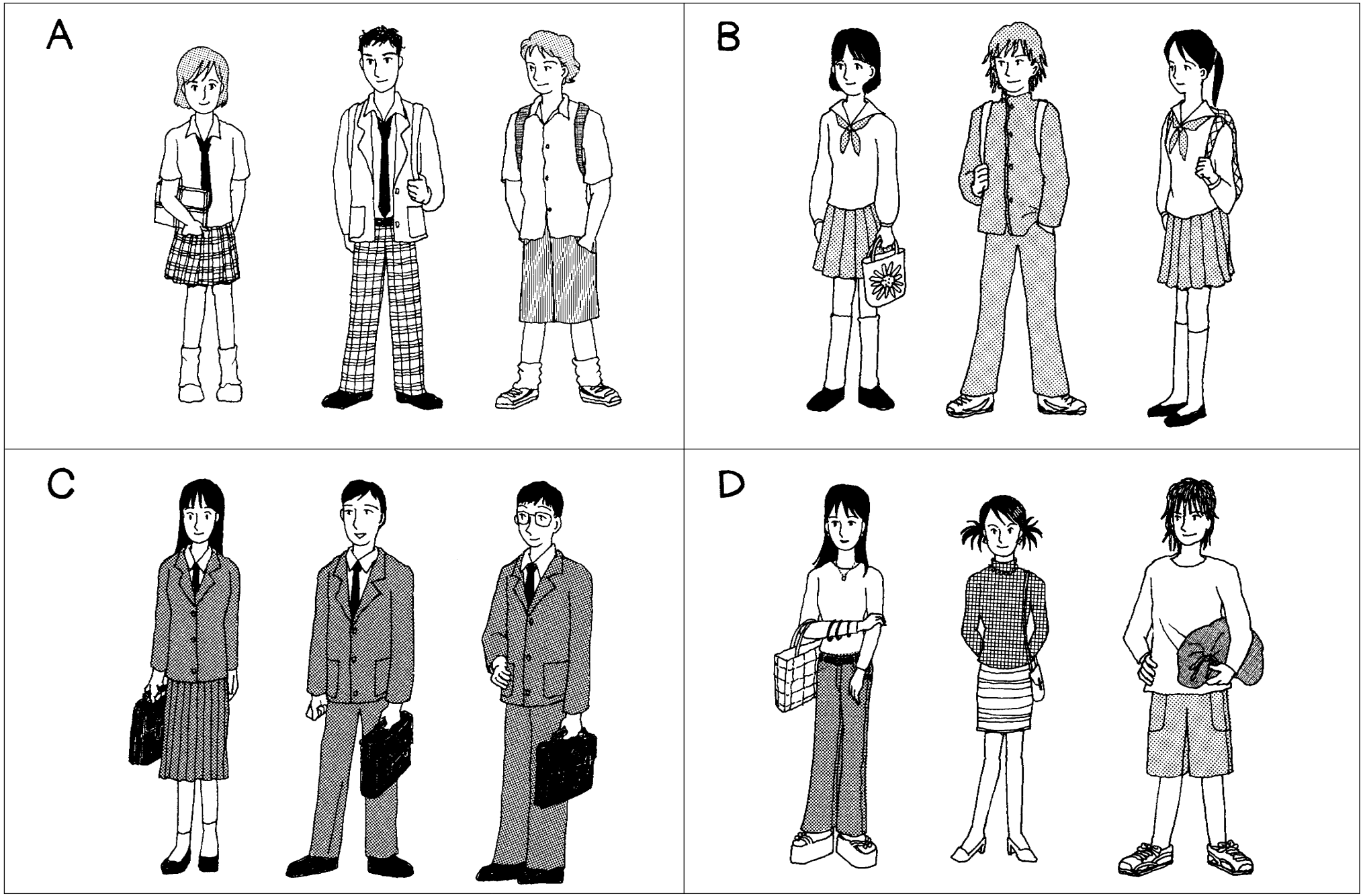
＜答え＞（1）C、（2）A、（3）D

バリエーション

（1）＜モデルテキスト＞を参考にして、自分の学校の規則を紹介する作文を書く。

先生へ

- 練習の前に、制服など身につけるものに関することばを確認する。


A
B
C
D

14-5 ポートボール

活動 スポーツのルールを理解する。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

（文 -47　V てはいけません）
文 -52　V（られ）ます（可能）
★文 -53　なければなりません
助 -28　までに

談話の技術

準備する物

使うことば

ポートボール＊、知る、小学生＊、よく、やる、スポーツ、バレーボール＊、同じ、大きさ、ボール＊、使う、どんな、似る、思う、～人、チーム＊、作る、その、中、ゴールマン＊、ガードマン＊、ゴール＊、台＊、上、受け取る＊、相手＊、前、じゃま、ゲーム＊、始める、まず、両方、～ずつ、出る、コート＊、真ん中、立つ、そして、ジャンプ〔する〕＊、審判＊、投げる、手、たたく＊、ドリブル〔する〕＊、パス〔する〕＊、自分、運ぶ、～点、もらう、点、取る、～分、終わる、その、たくさん、勝つ、ルール＊、選手＊、片手＊、両手＊、持つ、続ける、～歩＊、以上、歩く、外、サイドライン＊

▲じゃまをする／点をとる／がんばれ／～対～／おめでとう／ざんねんだったね

手　順

1. 学習者は＜モデルテキスト＞を読む。
2. 似たスポーツがあるかどうか考える。
3. できれば実際にポートボールをやってみる。

モデルテキスト

ポートボールを知っていますか。日本の小学生がよくやるスポーツで、バレーボールと同じぐらいの大きさのボールを使います。どんなスポーツににていると思いますか。

ポートボールのやり方

① 6人のチームを作る。（5人でもいい。）その中の1人はゴールマン、1人はガードマンになる。

② ゴールマンはゴールの台の上で、ボールをうけとらなければならない。ガードマンは、あい手のチームのゴールマンの前にいて、ゴールマンのじゃまをする。

③ ゲームを始めるとき、まず、両方のチームから1人ずつ出て、コートの真ん中に立つ。そして、ジャンプして、しんぱんがなげたボールを手でたたく。

④ ボールをドリブルしたり、パスしたりして、自分のチームのゴールにボールを運ぶ。そして、自分のチームのゴールマンにボールをなげる。ゴールマンがボールをうけとったとき、1てんもらえる。

⑤ ゲームは6分で終わる。そのときまでに、てんをたくさんとったチームがかつ。

ポートボールのルール

① せん手はかた手でドリブルしなければならない。ドリブルしたあとで、ボールを両手で持ってから、つづけてドリブルしてはいけない。
また、ボールを持って、3歩以上歩いてはいけない。

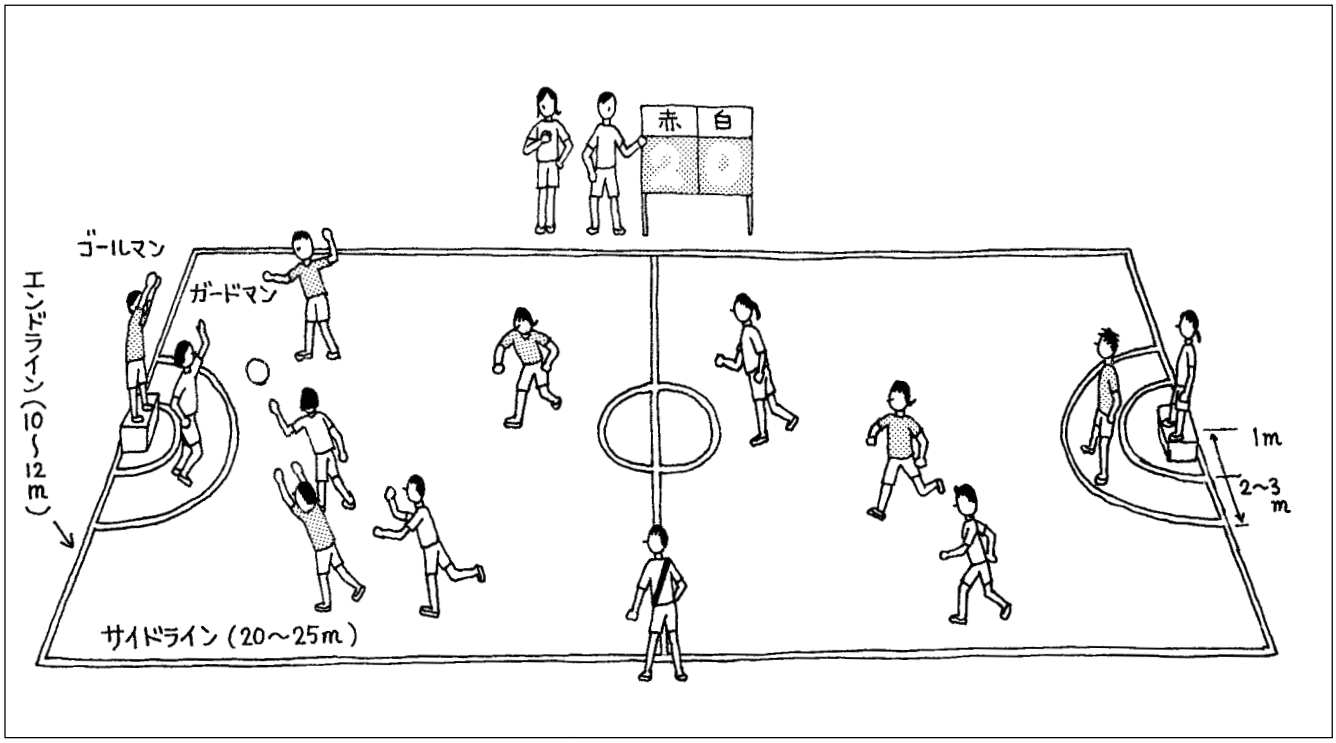
② ボールがコートの外に出たときは、サイドラインの外からボールをなげなければならない。

バリエーション

（1）＜モデルテキスト＞を参考にして、スポーツかゲームを説明する作文を書く。

先生へ

- ポートボールはバスケットボールやハンドボールに似ている。
- 実際にやってみるとき、細かいルールは、バスケットボールやハンドボールのルールを参考にするとよい。
- ゲームのとき使う表現：
  応援するとき：がんばれ！
  ゲームの結果報告：3 たい 6 で、赤チームがかちました
  勝ったチームに：おめでとう
  負けたチームに：ざんねんだったね
- 「その」はここでは文脈指示の用法。「せつめい編」語 -09「こそあど」参照。
- 「A さ／AN さ」は学習項目として扱っていないので、ここでは「大きさ」は語彙として扱う。
- 参考文献：宇土正彦編著（1998）『新版体育の学習 4 年』光文書院



14-6 月曜日はちょっと

活動 理由を言って友達の誘いを断る。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文 -53　なければなりません

助 -28　までに

準備する物

談話の技術

- 会話を始める（～さん）
- 応答する（ああ、そうですか／そうですか）
- 相手の発話を聞いて話を進める（じゃあ）
- 話を構成する（誘い）

使うことば

予定表＊、予定、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日、映画、見る、行く、次、家庭科＊、宿題、どう、数学、都合、悪い、勉強、大丈夫、買い物、理科＊、また、今度、漢字、覚える、ピアノ、練習、親戚＊、美術＊、うち、ああ、じゃあ

▲～はちょっと／都合が悪い／ごめんなさい

手　順

1. ＜モデルテキスト＞の＜ルディさんの予定表＞を見ながらテープを聞く。そのとき、誘い方や都合の悪いときの理由の言い方を確認する。
2. 教師は黒板に＜予定表＞の枠を書く。学習者はそれをノートに写す。
3. 教師は黒板に＜モデルテキスト＞（3）を書く。
4. 学習者はそれぞれ自分のノートの予定表に、好きな予定を選んで書く。3日は予定を書かないで空けておく。「つぎの日」は実際の曜日にする。
5. 自分が誘いたいことを決める。
6. 学習者は、＜モデルテキスト＞（1）（2）のように、ほかの学習者を誘って、予定が合う人をさがす。相手が見つかるまで会話を続ける。

モデルテキスト

・ルディさんの予定

	日	月	火	水	木	金	土
予定	月曜日までに、家てい科のしゅく題をします。	◯	すう学の勉強をします。	木曜日までに、理科のしゅく題をします。	◯	親せきのうちに行きます。	◯

(1)

A　　：ルディさん、日曜日に映画を見に行きませんか。

ルディ：日曜日ですか。日曜日はちょっと…。月曜日までに家てい科のしゅく題をしなければならないんです。

A　　：ああ、そうですか。じゃあ、火曜日はどうですか。

ルディ：すみません。火曜日も都合が悪いです。すう学の勉強をしなければならないんです。

A　　：じゃあ、土曜日はどうですか。

ルディ：土曜日はだいじょうぶです。土曜日に行きましょう。

(2)

B　　：ルディさん、水曜日に買い物に行きませんか。

ルディ：水曜日ですか。水曜日はちょっと…。木曜日までに理科のしゅく題をしなければならないんです。

B　　：ああ、そうですか。じゃあ、火曜日はどうですか。

ルディ：すみません。火曜日も都合が悪いです。すう学の勉強をしなければならないんです。

B　　：じゃあ、日曜日はどうですか。

ルディ：日曜日も都合が悪いです。月曜日までに家てい科のしゅく題をしなければならないんです。

B　　：そうですか。じゃあ、また今度行きましょう。

ルディ：ごめんなさい。

(3) 予定

漢字をおぼえます。

すう学の勉強をします。

ピアノを練習します。

（つぎの日）までに、びじゅつのしゅく題をします。

（つぎの日）までに、家てい科のしゅく題をします。

（つぎの日）までに、理科のしゅく題をします。

親せきのうちに行きます。

バリエーション

(1) 教師がいくつかの例を黒板に書いて選ばせる代わりに、何に誘うかを学習者に考えさせる。

例：買物、コンサート、スポーツの試合、釣り、キャンプ

14-7 ごめんなさい

活動 自分のやった失敗について謝る。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文 55　Vてしまいます

談話の技術

準備する物

使うことば

花びん、壊す、大丈夫、窓ガラス＊、割る＊、お皿、コード＊、踏む、財布、忘れる、払う、電話番号＊、間違える、おはし、落とす、別、持って来る、カーテン、汚す＊、洗う

▲ごめんなさい／気をつける

手　順

1. 学習者は3、4人のグループに分かれる。
2. 教師はグループごとに8枚の場面カードを配る。
3. 学習者はグループの中で場面カードの絵を見て、どんな場面か、そこで何を言うのか考える。
4. テープを聞いて話していることを確認する。
5. 場面カードの表を下にして重ねて、グループの真ん中に置く。
6. 一人ずつ、カードを一枚めくる。カードの絵を見ながら＜モデルテキスト＞のように、自分の失敗を言って謝る。
7. カードを引いた人のとなりの人が、謝った人に適当な答えを考えて言う。

モデルテキスト

(1) A：ごめんなさい。かびんをこわしてしまいました。

B：だいじょうぶですか。気(き)をつけてくださいね。

(2) A：ごめんなさい。まどガラスをわってしまいました。

B：だいじょうぶですか。気(き)をつけてくださいね。

(3) A：ごめんなさい。おさらをわってしまいました。

B：だいじょうぶですか。気(き)をつけてくださいね。

(4) A：ごめんなさい。コードをふんでしまいました。

B：気(き)をつけてくださいね。

(5) A：ごめんなさい。さいふをわすれてしまいました。

B：じゃあ、わたしがはらいましょう。

(6) A：ごめんなさい。電話(でんわ)ばんごうをまちがえてしまいました。

B：気(き)をつけてくださいね。

(7) A：ごめんなさい。おはしをおとしてしまいました。

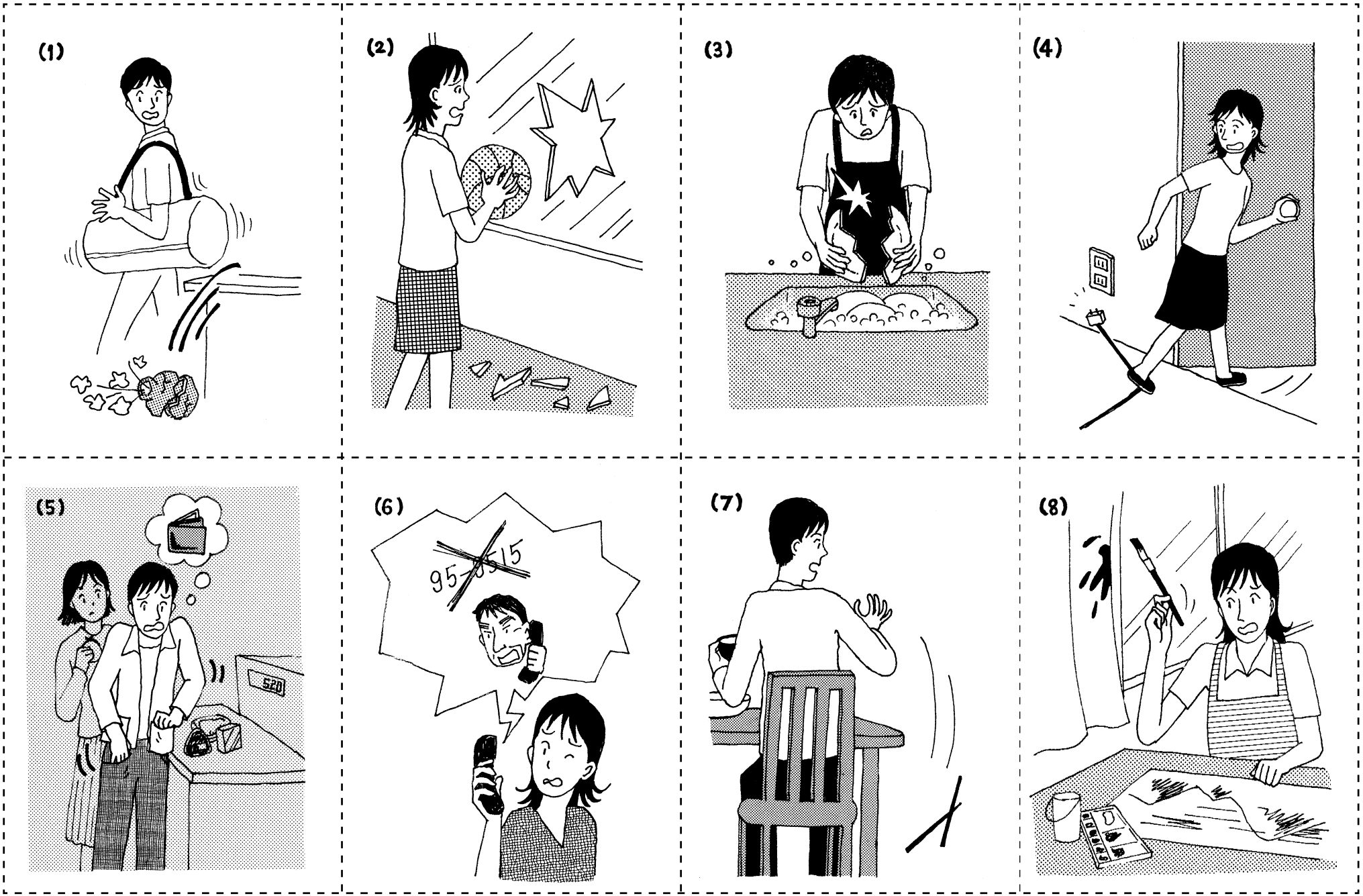
B：じゃあ、別(べつ)のおはしを持(も)って来(き)ましょう。

(8) A：ごめんなさい。カーテンをよごしてしまいました。

B：すぐに洗(あら)ってください。

先生へ

- 「こわす」「わる」「ふむ」「おとす」「よごす」はふつう意志動詞に分類されるが、ここでは無意志的な意味で使われる。
- 「皿」「はし」は丁寧に言うときに「お皿」「おはし」というが、男性の場合、「皿」ということのほうが多い。


(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
520
(6)
95-0515
(7)
(8)

14-8 たいへんな一日 ♡

活動 失敗したことについて書かれた文章を理解する。自分の失敗について書く。

かたち

時間 (1) ●●○ (2) ●●○

せつめい編

文-52　V（られ）ます（可能）

★文-55　V てしまいます

文-56　A／AN／V すぎます

談話の技術

・内容を構成する

準備する物

使うことば

たいへん、一日、先週、あまり、いい、夜、姉、映画、ビデオ＊、たくさん、見る、とても、面白い、でも、遅い、寝る、朝、起きる、いつも、乗る、バス、歩く、学校、～時間目＊、授業、遅れる、恥ずかしい、午後、体育＊、時間、水泳、急ぐ、水着＊、忘れる、大好き、泳ぐ、暑い、帰る、おなか、すく、テーブル、ケーキ、その、それ、祖母、あげる、プレゼント、作る、母、怒る、それで、謝る、だから、晩ご飯、おいしい、料理、残す＊、父、一生懸命、早い

▲おなかがすく

手　順

(1) 読解

1. 絵を見て、この人がどんな一日を過ごしたか考える。
2. ＜モデルテキスト＞を読んで、質問に答える。

(2) 作文

1. ＜モデルテキスト＞を参考にして、自分の失敗や困った経験についての作文を書く。

モデルテキスト

たいへんな一日

先週の月曜日はあまりよくない一日でした。

日曜日の夜、姉と映画のビデオをたくさん見ました。とてもおもしろかったです。でも、映画を見すぎておそくねたから、月曜日の朝、起きられませんでした。いつも乗るバスが行ってしまったから、歩いて学校へ行きました。そして、一時間目のじゅ業におくれてしまって、はずかしかったです。

月曜日の午後、体いくの時間に水えいをしました。でも、朝急いでいたから、水着をわすれてしまいました。わたしは水えいが大好きですが、およぐことができませんでした。月曜日はとても暑かったから、およぎたかったです。

学校から帰ったとき、とてもおなかがすいていました。テーブルの上にケーキがあったから、わたしはそのケーキを食べてしまいました。
でも、それはそ母にあげるプレゼントでした。ケーキを作った母はおこりました。わたしはあやまりました。

ケーキを食べすぎて、おなかがすいていませんでした。だから、晩ご飯をたくさんのこしてしまいました。それは父が一生けんめい作った料理でした。父はおこりました。わたしは父にもあやまりました。

その日は早くねました。たいへんな一日でした。

質問：先週の月曜日に、どんなことがありましたか。

（れい）日曜日におそくねたから、月曜日の朝、起きられませんでした。

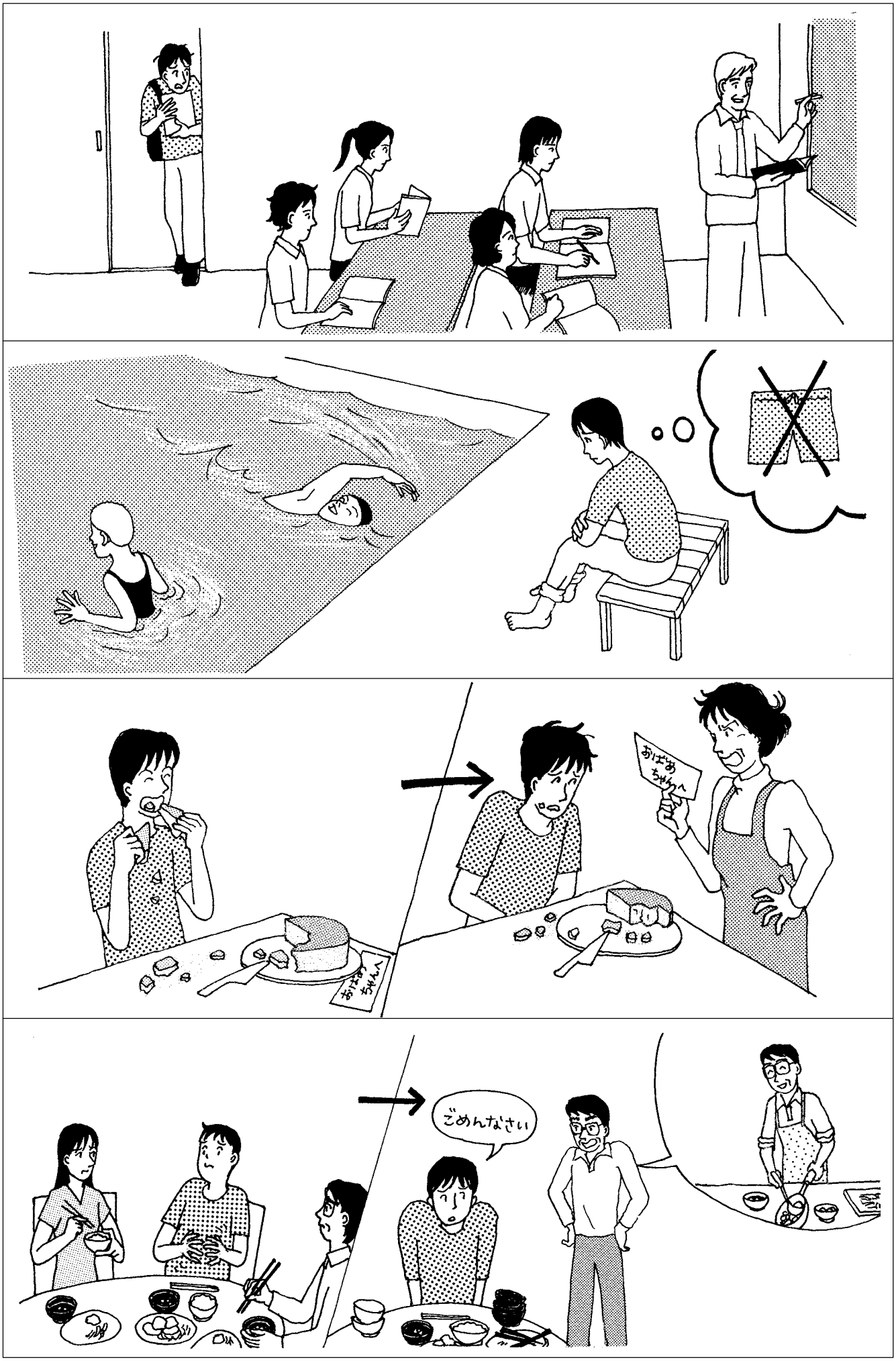
バスが行ってしまったから、一時間目のじゅ業におくれてしまいました。

バリエーション

（1）読んだあと質問に答える代わりに、＜モデルテキスト＞を見ないで絵を見ながらどんな一日だったか説明する。

先生へ

- ＜手順＞（2）の場合、教師が次のような質問をして、学習者がそれに答える形で作文を書かせるとよい。
  - ①いつ、どこで、だれが、何をしていましたか。
  - ②どんな失敗／困った経験をしましたか。
  - ③そのあとどうなりましたか。
- 練習のまえに、「姉」「祖母」「父」「母」などの家族名称を確認する。
- 「その」「それ」はここでは文脈指示の用法。「せつめい編」語 -09「こそあど」参照。


おばあちゃんへ
おばあちゃんへ
ごめんなさい

15-1 ポスター

活動 ポスターの絵を見て、それに合った呼びかけのことばを考える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-57　たら

談話の技術

準備する物

使うことば

ポスター、箱、中、星、ある、～円、プレゼント〔する〕、すぐ、飲む、ペット＊、いる、電話〔する〕、缶＊、ごみ箱＊、入れる、元＊、場所、戻す＊、温泉＊、どうぞ、頭、痛い、こんな、ねこ、見つける、ジュース＊、本、読む、北海道＊、来る

手　順

1. 学習者はグループに分かれる。
2. ポスターの絵を見て、何のポスターか考える。
3. ポスターを見ながら、「たら」を使って＜タスクシート＞の _____ を埋めて、呼びかけのことばを完成する。

タスクシート

（れい）はこの中にほしがあったら、1000円プレゼントします！

（1）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、すぐ「スグナオール」を飲みましょう。

（2）ペットのタマがいなくなりました。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、電話してください。

（3）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、かんはごみばこへ入れましょう。

（4）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、元の場所にもどしてください。

（5）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、あさひおんせんへ、どうぞ！

＜答えの例＞

（1）頭が痛くなったら　（2）こんなねこを見つけたら　（3）ジュースを飲んだら

（4）本を読んだら　（5）北海道へ来たら

バリエーション

（1）呼びかけのことばの全文を出して、ポスターの絵と合わせる。

（2）ポスターの絵を見て、呼びかけのことばの全文を考える。

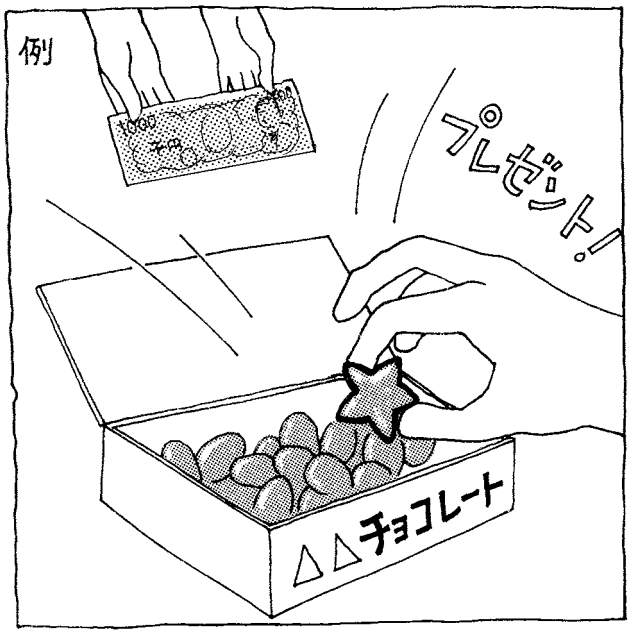
（3）「たら」を使って言えるような呼びかけのことばを考え、ポスターを作る。

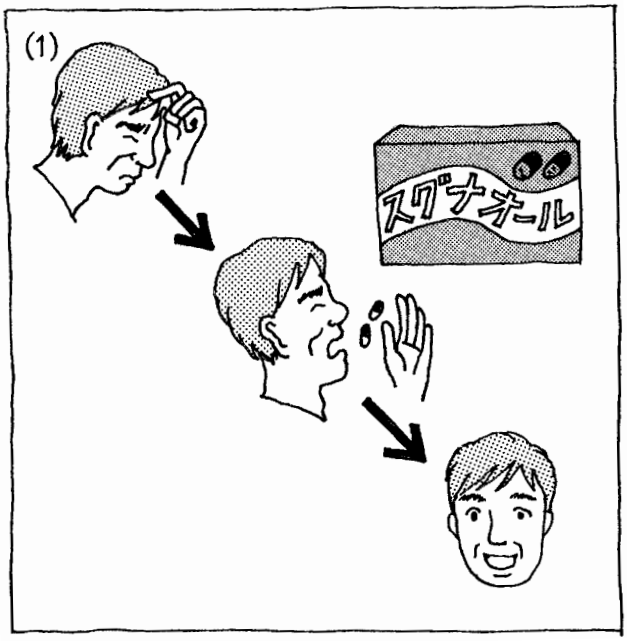
例　この人を見たら、すぐ電話してください。

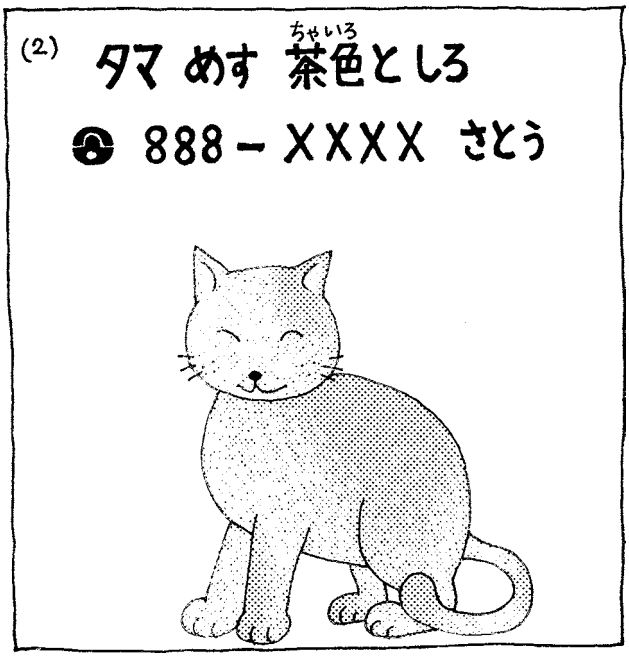
なやみがあったら、相談してください。

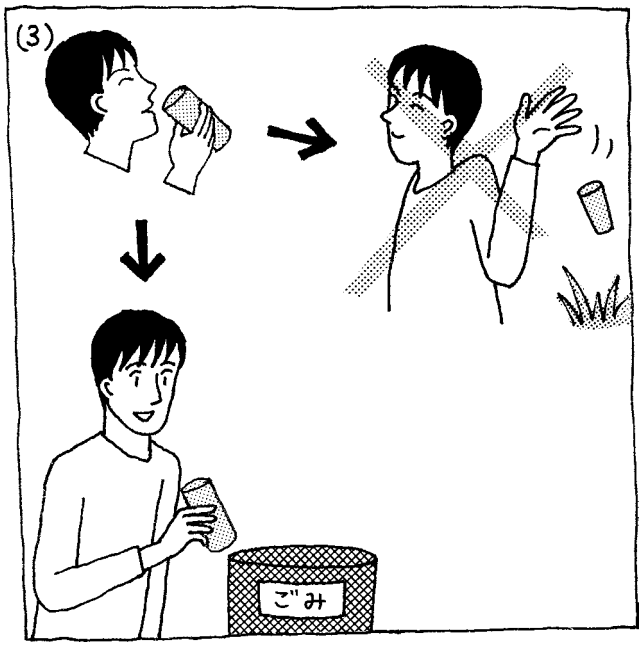
先生へ

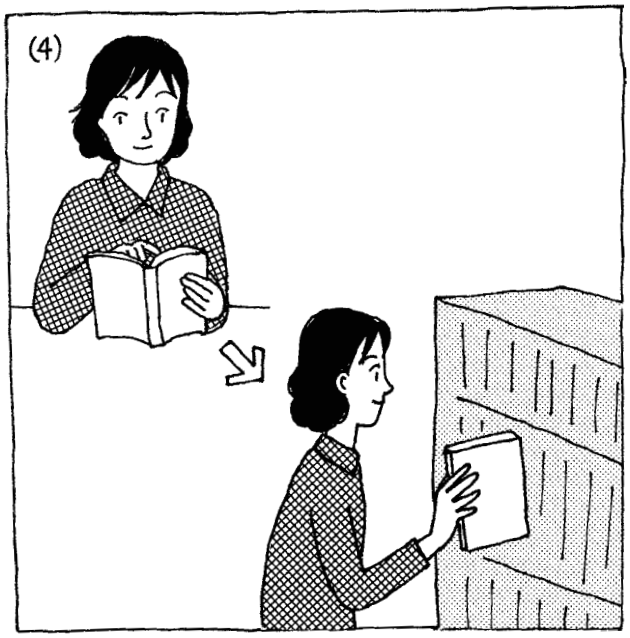
・（5）は「北海道へ行ったら」という答えでもよい。

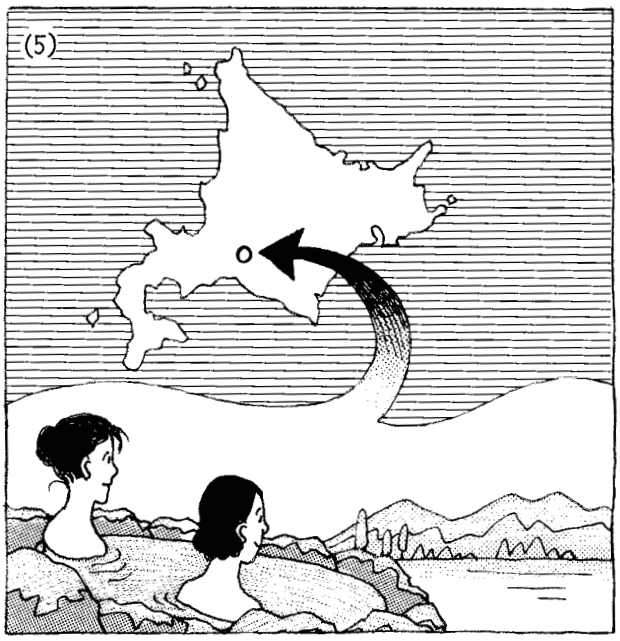

例
プレゼント!
△△チョコレート


(1)
スワナオール


(2)
タマ めす 茶色(ちゃいろ)としろ
888－XXXX さとう


(3)
ごみ


(4)


(5)

15-2 歌「日本サバイバル」

活動 歌で「～たら」の使い方を覚える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-57　たら

談話の技術

準備する物

使うことば

歌、日本＊、サバイバル＊、病気、～番、なる、火事、どろぼう、入る、電話番号＊、案内、時間、知る、天気予報、電話、かける、大丈夫、安心、でも、もしも

手　　順

1. ＜モデルテキスト＞の歌で「たら」の使い方を覚える。

モデルテキスト

日本サバイバル

病気になったら 119 ばん（ひゃくじゅうきゅうばん）
火事のときにも 119 ばん（ひゃくじゅうきゅうばん）
どろぼうが入ったら 110 ばん（ひゃくとおばん）
電話ばんごうあんないは 104（いちれいよん）
今の時間を知りたかったら 117（いちいちなな）
天気よほうを聞きたかったら 177（いちなななな）
電話をかけたら、だいじょうぶ
電話をかけたら、安心だ
でも、もしも電話がなかったら…
ああ、日本サバイバル　日本サバイバル　日本サバイバル

日本サバイバル

♩= 148

G C
びょうきにー なったらー ひゃーくじゅうきゅーうばーん

G A D7
かじのー ときにもー ひゃーくじゅうきゅーうばーん ど

G C
ーろぼうが はーいーったら ひゃくとおばーん でんわ

Bm E Am D7 G
ばんごうー あんないはー いちれいよんー

B7 Em
いまのじかんを しりたかったら いちいちなな ー

A7 D Em F D7
てんきよほうを ききたかーったら いちななな ー ー

G Em7 Am D7 G Em7 Am D7 D♯dim
でんわをかけたら だいじょうぶ でんわをかけたら あんしんだ でも

Em Bm Am D
もしもー でんわがー なかーーったらー ああ

E♭ F G E♭ F G
にっぽん サバイバール にっぽん サバイバール

E♭ F G
にっぽん サバイバール

先生へ

- 電話番号の言い方は、普通「いちいちなな」(117) のように言う。「ひゃくじゅうきゅうばん」(119) や「ひゃくとおばん」(110) は習慣的に違う読み方をする。
- 「日本」には「にほん」「にっぽん」の二通りの読み方がある。
- 附属テープには、歌の入った演奏のあとにカラオケがついている。

15-3 ここはどうですか

活動 ある場所で、したいと思っていることができるかどうかについて質問する／答える。

かたち →

時間 ●●○

せつめい編

（文-52　V（られ）ます（可能））

★文-57　たら

★文-58　ても

談話の技術

準備する物

小さいカード　10×グループの数

使うことば

ここ、どう、公園、犬、散歩〔する〕、昼寝＊、デパート、おしゃれ＊、洋服、買う、スーパー＊、食べ物、安い、町、郵便局、手紙、出す、切手、図書館、静か、本、読む、借りる、山、ハイキング＊、スキー＊、レストラン、おいしい、日本料理＊、食べる、行く、えっ＊

手　順

1. クラス全体で、＜モデルテキスト＞（1）のように自分たちの町にある公園や店や観光地を10以上あげ、それぞれその場所で「できること」を考える。教師はそれを黒板に書いていく。
2. 学習者は3、4人のグループに分かれる。
3. 教師は各グループにカードを10枚ずつ配る。
4. 各グループで、学習者は黒板に書いてある場所の中から、場所を10選び、カードに1つずつ書く。
5. カードを裏返して机の上に重ねて置く。
6. 一人が黒板の中から「できること」を1つ選ぶ。カードを取って、となりの人にカードを見せながら、その「できること」を使って、＜モデルテキスト＞（2）のようにとなりの人と会話練習をする。
7. 会話が終ったら、カードをもどし、ほかのカードとまぜる。
8. 順番に6と7を繰り返す。

モデルテキスト

（1）場所とできること

場所の名前	できること
あさひこうえん	犬とさん歩できます。昼ねができます。
さくらデパート	おしゃれな洋服が買えます。
ひかりスーパー	食べ物が安く買えます。
東町ゆうびんきょく	手紙が出せます。切手が買えます。
あさひ図書館	しずかに本が読めます。本が借りられます。
さくら山	ハイキングができます。スキーができます。
日本レストランみどり	おいしい日本料理が食べられます。
・	・
・	・

（2）会話

A：Bさん、日本料理が食べたいんですが、ここはどうですか。

（カードをBに見せる。）

（カードの場所が質問と合っていたら）

B：ああ、日本レストランみどりへ行ったら食べられますね。

（カードの場所が質問と合っていなかったら）

B：えっ、あさひこうえんへ行っても食べられませんよ。

先生へ

・グループに分かれて練習をするまえに、1つのグループをクラスの前に出して、練習させて確認するとわかりやすい。

15-4 わたしが市長になったら

活動

(1) 市長になりたい人のスピーチを聞いて主張を理解する。

(2) 自分が市長になったらどうするか考えて簡単なスピーチをする。

かたち

(1) (2)

時間

(1) ●○○

(2) ●●●

せつめい編

文-57　たら

★文-59　A く／AN に／N にします

★文-60　V ようにします

談話の技術

話を終わる（よろしくお願いします）

準備する物

使うことば

市長＊、なる、～市、スピーチ＊、高校、毎週、休み、それから、夏休み、もっと、長い、自分、好き、たくさん、駅、前、デパート、大きい、きれい、そして、にぎやか、町、空き地＊、公園、子供、遊ぶ、場所、多い、花、植える、木、切る、自然＊、豊か＊、広い、体育館＊、プール、作る、毎日、いろいろ、話す、いい、思う

▲みなさん／よろしくお願いします

手　順

(1) 文型

1. タスクシートの ____ の部分を正しい形に変える。
2. テープを聞いて、____ の答えがあっているかどうか確認する。

(2) 会話

1. ＜タスクシート＞を参考にして、自分が市長になったら、どんなことをしたいか考えて、簡単なスピーチをする。

タスクシート

(1)

すずき花子です。

わたしが市長になったら、高校では毎週月曜日を

＿＿＿＿＿＿（休み）＿＿＿＿＿＿ します。

それから、夏休みをもっと＿＿＿＿＿＿（長い）＿＿＿＿＿＿ します。

夏休みが長くなったら、自分の好きなことがたくさん

できるからです。みなさん、よろしくおねがいします。

(2)

さとうたかしです

わたしが市長になったら、駅の前にあるデパートを

＿＿＿＿＿＿（大きい）＿＿＿＿＿＿ します。

それから、駅の前を ＿＿＿＿＿＿（きれい）＿＿＿＿＿＿ します。

そして、＿＿＿＿＿＿（にぎやかな町）＿＿＿＿＿＿ します。

よろしくおねがいします。

(3)

田中まゆみです。

わたしが市長になったら、空き地を＿＿＿（こうえん）＿＿＿ して、

子どもたちがあそべる場所を ＿＿＿＿＿＿（多い）＿＿＿＿＿＿ します。

それから、花をうえて、木を ＿＿＿（切らない）＿＿＿ します。

そして、自ぜんのゆたかな町にします。

みなさん、よろしくおねがいします。

(4)

いとうけんじです。

わたしが市長になったら、スポーツこうえんを＿＿＿（広い）＿＿＿

します。体いく館やプールも作ります。

それから、毎日、いろいろな人と＿＿＿＿＿＿（話す）＿＿＿＿＿＿ します。

そして、この町を ＿＿＿＿＿＿（いい町）＿＿＿＿＿＿ したいと思います。

よろしくおねがいします。

モデルテキスト

みなみ市の市長になりたい人がスピーチをしています。

(1) すずき花子です。わたしが市長になったら、高校では毎週月曜日を休みにします。それから、夏休みをもっと長くします。夏休みが長くなったら、自分の好きなことがたくさんできるからです。みなさん、よろしくおねがいします。

(2) さとうたかしです。わたしが市長になったら、駅の前にあるデパートを大きくします。それから、駅の前をきれいにします。そして、にぎやかな町にします。よろしくおねがいします。

(3) 田中まゆみです。わたしが市長になったら、空き地をこうえんにして、子どもたちがあそべる場所を多くします。それから、花をうえて、木を切らないようにします。そして、自ぜんのゆたかな町にします。みなさん、よろしくおねがいします。

(4) いとうけんじです。わたしが市長になったら、スポーツこうえんを広くします。体いく館やプールも作ります。それから、毎日、いろいろな人と話すようにします。そして、この町をいい町にしたいと思います。よろしくおねがいします。

バリエーション

(1) ＜タスクシート＞の（　　）のことばを消して、テープを聞き、_____にことばを書く。

(2) どの候補者がいいか、なぜいいと思うかを発表する。日本語で発表するのが難しければ、母語で行ってもよい。

先生へ

・手順（2）の場合、次のようなスピーチのパターンに当てはめるとよい。

　_____（名前）_____です。

　わたしが市長になったら、_____します／したいと思います。

　それから、_____します／したいと思います。

　よろしくお願いします。

・手順（2）で、「Vようにする」を使う場合、意志動詞で本人の心がけを述べる場合に限って練習させる。

　（例）町の人の意見を聞くようにします。

15-5 リサイクル

活動
(1) リサイクルの工作のやり方を読んで理解する。
(2) やり方を読んで工作する。

かたち

時間
(1) ●●○
(2) ●●●+

せつめい編

文-57　たら

文-59　A く／AN に／N にします

談話の技術

準備する物

使うことば

リサイクル＊、牛乳パック＊、葉書、作る、準備〔する〕、物、はさみ＊、ミキサー＊、のり＊、細かい、網＊、新聞、など、紙、洗う、切る、平ら＊、水、入れる、ビニール＊、取る、手、小さい、中、～間＊、混ぜる＊、どろどろ＊、出す、上、すくう＊、外、当てる＊、押す、干す＊、乾く、形

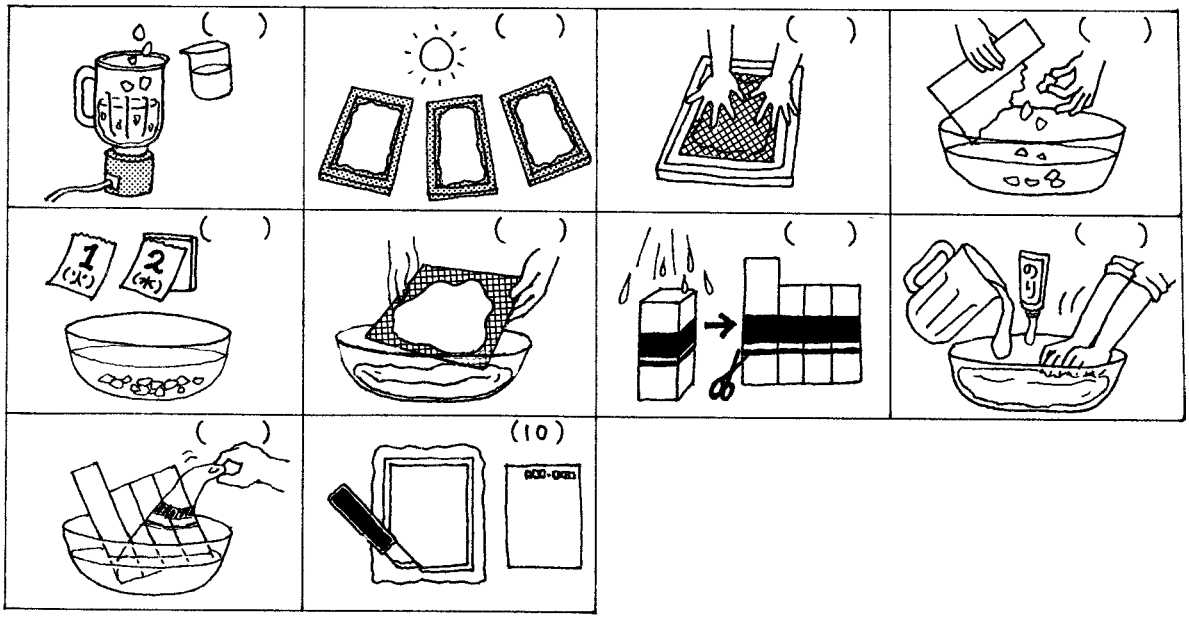
▲できあがり

手　　順

(1) 1. 身近なもののリサイクルについて母語で話し合う。
2. ＜タスクシート＞の絵がどんなことを表しているか見て確認する。
3. ＜モデルテキスト＞を読んで、＜タスクシート＞の絵に順番を書く。
4. ＜モデルテキスト＞をもう一度読んで順番を確認する。

(2) 1. ＜モデルテキスト＞を読みながら葉書を作る。

タスクシート



モデルテキスト

牛にゅうパックではがきを作りましょう。

じゅんびする物：牛にゅうパック、はさみ、ミキサー、のり、こまかいあみ、新聞などの紙

1. 牛にゅうパックを洗って、はさみで切って平らにする。
2. 水に入れて、牛にゅうパックのビニールをとる。
3. ビニールをとったら、紙を手で小さく切って水の中に入れる。
4. 紙を２日間水の中に入れる。
5. 紙と水を、ミキサーでまぜてどろどろにする。
6. ミキサーから出して、のりを入れて手でまぜる。
7. あみで、どろどろになった紙をすくう。
8. ほかの紙にあてて上からおす。
9. あみをとってほす。
10. かわいたら、切ってはがきのかたちにする。できあがり。

バリエーション

(1) ほかのリサイクル工作を紹介する。

＜リサイクル工作例＞

ペットボトルでけん玉を作りましょう。

準備する物：ペットボトル、

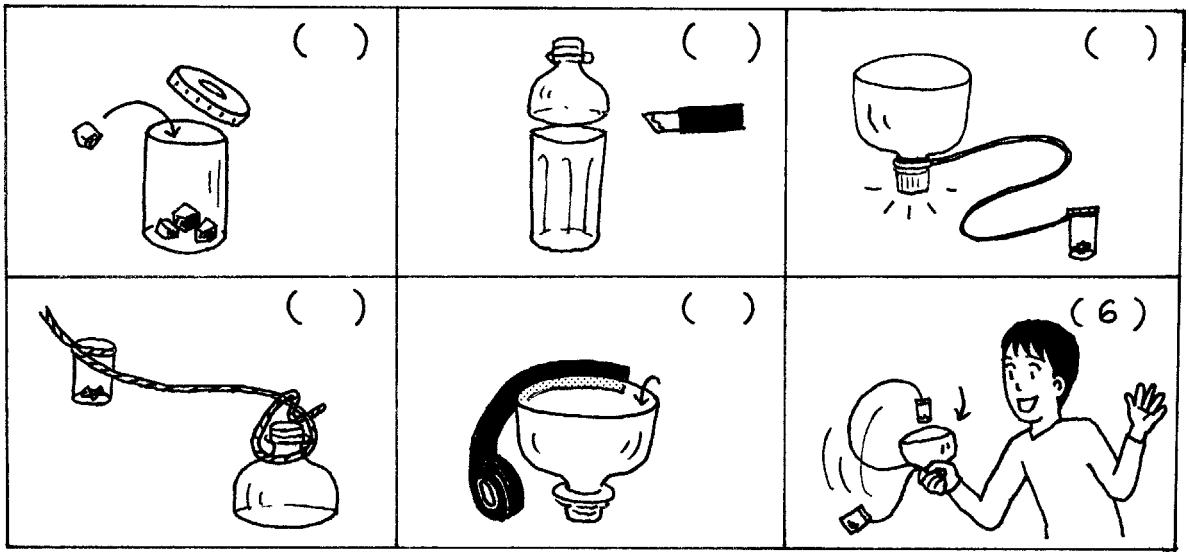
ボトルのキャップ、

フィルムのケース、糸、

じょうぶなテープ、カッター

1. ペットボトルの上のほうをカッターで切る。上のほうだけ使う。
2. 切ったところは危ないから、じょうぶなテープをはる。
3. フィルムのケースに小さい石を入れて重くする。
4. フィルムのケースのふたで糸をはさむ。糸の反対の端をペットボトルのキャップのところに結ぶ。
5. キャップを閉めたら、できあがり。
6. できあがったら、ペットボトルのキャップのところを持って、フィルムのケースを中に入れて遊ぶ。

＜タスクシート＞



先生へ

- 工作や料理の作り方は常体形で書かれる場合が多い。
- ＜手順＞（2）で実際に、使う小さい網は、すしを作るための巻すを使うとよい。
- ミキサーがない場合、紙を水といっしょに煮て、どろどろにする。
- 参考文献：

実野恒久（1996）『ペットボトルで動くオリジナルのおもちゃをつくろう』黎明書房
伊藤光晴他（2000）『社会　5上』教育出版株式会社

15-6 地理のクイズ

活動 いろいろな町や国についてのクイズを出す／それに答える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-61　より…ほう

★文-62　NとNとどちら

談話の技術

準備する物

使うことば

地理、クイズ＊、カナダ＊、中国＊、どちら、広い、思う、長い、ナイル川＊、アマゾン川＊、高い、富士山＊、エベレスト＊、マウント・クック＊、キリマンジャロ＊、寒い、京都＊、冬、ロンドン＊、暖かい、モスクワ＊、夏、ハワイ＊、人口、多い、インド＊、大阪＊、ロサンジェルス＊、雨、バンコック＊、シンガポール＊、少ない、カイロ＊、リマ＊

手　順

1. 教師は授業の前に、ペアの数の＜クイズカード＞を用意する。
2. 学習者はペアになる。教師はカードを1セットずつそれぞれのペアに配る。
3. 学習者はカードの表のほうを下にして重ねる。
4. ペアで交代で一枚ずつカードを取る。カードを取った人は＜モデルテキスト＞のようにクイズを出す。
5. もう一人はクイズに答える。
6. カードを見て答えを確認する。答えが正しければカードがもらえる。

モデルテキスト

A：カナダと中国とどちらが広いですか。

B：カナダより中国のほうが広いと思います。

A：いいえ。カナダのほうが広いです。

バリエーション

(1) 教師や学習者が調べたデータをもとに、
学習者が各自でクイズを作る。

先生へ

- ＜クイズカード＞に「＊」が付いているのが正しい答え。
- 次のようなゲームの表現を使うとよい。
  正しい答えを言った人に対して　→　「あたり」「ピンポーン」
  答えを間違った人に対して　→　「はずれ」「ブー」
- 学習者によっては、＜クイズカード＞の形容詞や、正解の「＊」をとる。
- 単位（km, ℃など）は特に読ませなくてもいい。

＜参考＞		
	mm	ミリメートル
	m	メートル
	km	キロメートル
	km^2	平方キロメートル
	℃	度

- ＜クイズカード＞の統計資料は『理科年表（1998年版）』（国立天文台）、『日本統計年鑑（平成13年）』（総務庁統計局）、『世界の統計』（総務庁統計局編）を参考にした。
- 「雨が多い」「雨が少ない」のカードのデータは、一年のうち、その町でいちばん雨が多い／少ない月の降雨量。
- ＜クイズカード＞にある山・川・都市などのある国・地域は以下の通り。

川	ナイル川（アフリカ）、アマゾン川（南アメリカ）
山	エベレスト（ネパール）、マウント・クック（ニュージーランド） キリマンジャロ（タンザニア）
場所	ロンドン（イギリス）、モスクワ（ロシア）、 ハワイ／ロサンジェルス（アメリカ） バンコック（タイ）、カイロ（エジプト）、リマ（ペルー）

＜クイズカード＞

広（ひろ）い

カナダ＊	997,000km^2
中国（ちゅうごく）	959,000km^2

長（なが）い

ナイル川（がわ）＊	6,695km
アマゾン川（がわ）	6,516km

高（たか）い

ふじ山（さん）	3,776m
エベレスト＊	8,848m

高（たか）い

マウント・クック	3,754m
キリマンジャロ＊	5,895m

寒（さむ）い

京都（きょうと）の冬（ふゆ）	4℃
ロンドンの冬（ふゆ）＊	3.8℃

あたたかい

モスクワの夏（なつ）	18.2℃
ハワイの冬（ふゆ）＊	22.7℃

人口（じんこう）が多（おお）い

インド	936,000,000人（にん）
中国（ちゅうごく）＊	1,200,000,000人（にん）

人口（じんこう）が多（おお）い

大阪（おおさか）	2,600,000人（にん）
ロサンジェルス＊	3,550,000人（にん）

雨（あめ）が多（おお）い

バンコック＊	344mm
シンガポール	330mm

雨（あめ）が少（すく）ない

カイロ	5mm
リマ＊	4mm

15-7 順番にならべましょう

活動 聞いたことを理解してカードを順番にならべる。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文-61　より…ほう

談話の技術

準備する物

使うことば

順番、並べる、町、スーパー＊、大きい、小さい、ハンバーガー＊、～屋、高い、安い

手　順

1. 学習者はペアになる。
2. 一人が＜モデルテキスト＞を読む。
   もう一人はそれを聞いて、4枚のカードをならべる。＜モデルテキスト＞（1）は小さいほうから大きいほうへならべる。（2）は安いほうから高いほうへならべる。わかるまでくり返し読む。
3. クラス全体で答え合わせをする。

モデルテキスト

（1）この町にはA、B、C、D、4つのスーパーがあります。Aスーパーより B スーパーのほうが大きいです。BスーパーよりCスーパーのほうが小さいです。DスーパーよりCスーパーのほうが大きいです。CスーパーよりAスーパーのほうが大きいです。

（2）この町には4つのハンバーガー屋があります。バーガープリンスよりミスターバーガーのほうが高いです。でも、ミスターバーガーよりバーガーあさひのほうがもっと高いです。にこにこバーガーのほうがバーガープリンスより安いです。

<答え>

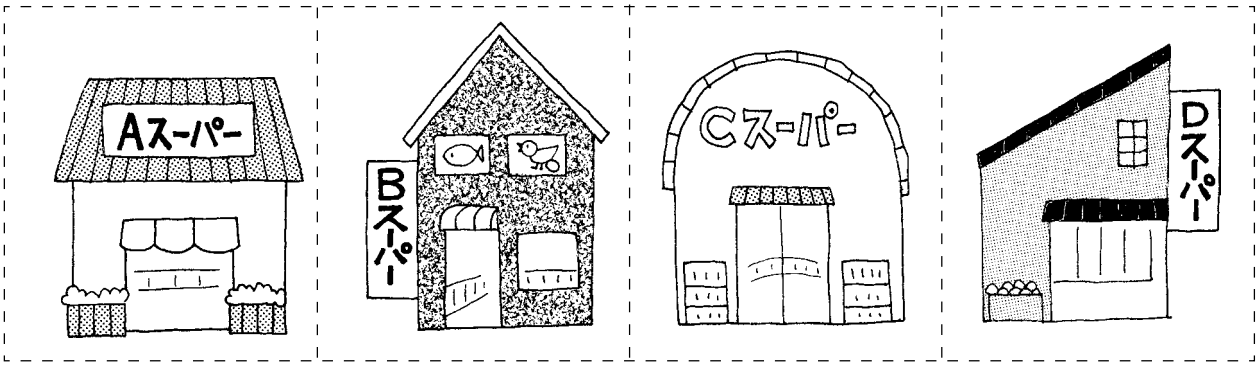
（1）（小さいほうから順番に）

D、C、A、B

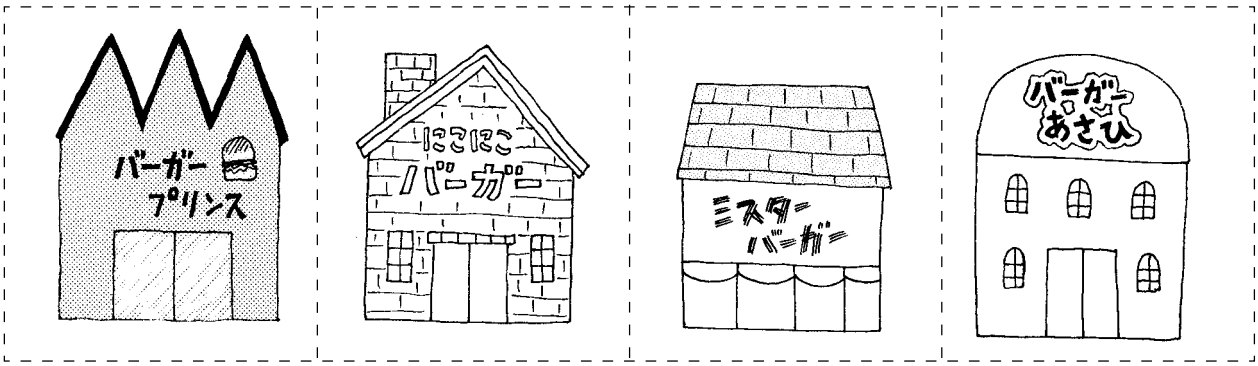
（2）（安いほうから順番に）

にこにこバーガー、バーガープリンス、ミスターバーガー、バーガーあさひ

スーパー



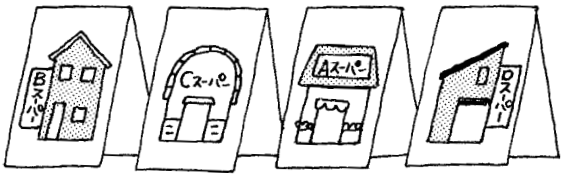
ハンバーガー屋



バリエーション

(1) 学習者はカードの順番を高い順、または安い順に、2つずつ比べて説明する。

(2) 1人が好きな順番で4枚のカードを並べる。ほかの人は3つだけ質問して順番を当てる「マスターマインド」というゲームにすることもできる。そのとき、絵のようにカードをたてて、相手に見えないようにするとよい。



＜(2) の質問例＞

A：AスーパーはBスーパーより高いですか。

B：いいえ。

A：BスーパーよりCスーパーのほうが高いですか。

B：はい。

先生へ

・スーパーやハンバーガー屋の名前は学習者になじみのある店の名前を使ってもよい。

15-8 どちらのほうがいい店ですか

活動

(1) 2つの店について調査の報告を理解する。

(2) よく買い物に行く店について調べて、ほかの店と比べる。

かたち

(1) (2)

時間

(1) ●●○

(2) ●●●+

せつめい編

★文-61　より…ほう

★文-62　NとNとどちら

談話の技術

話を構成する（報告）

準備する物

使うことば

どちら、いい、店、～屋、ノート、値段、～冊、～円、コピー＊、～枚、近い、遠い、きれい、売る、物、多い、少ない、サービス＊、文房具屋＊、発表〔する〕＊、近く、ある、それから、でも、そして、調べる、結果＊、グループ＊、思う

▲～について

手　順

(1) 聴解

1. テープを聞いて、<タスクシート>のあてはまるほうに○をつける

(2) プロジェクトワーク

1. 学習者に、よく買い物に行く店を言わせて黒板に書く。このとき、同じ種類の店が2つずつ組になるようにする。
   例）文房具屋（あさひ屋、さくら屋）
2. 学習者は4、5人のグループに分かれる。
3. グループで同じ種類の店を2つ選ぶ。それぞれのグループが違う種類の店を選ぶ。
4. グループごとに<タスクシート>を参考にして、どんなことについて調査するか決める。
5. それぞれのグループが2つの店について調査する。
6. 調査してきた結果を、<モデルテキスト>を参考にしてグループごとに発表する。

タスクシート

	あさひ屋	さくら屋
ノートのねだん	1さつ　100／120円	1さつ　100／120円
コピーのねだん	1まい　10／8円	1まい　10／8円
学校から…	近い／遠い	近い／遠い
店が…	きれい／きれいじゃない	きれい／きれいじゃない
売っている物が…	多い／少ない	多い／少ない
サービスが…	いい／よくない	いい／よくない
どちらが…	あさひ屋のほうがいい　／　さくら屋のほうがいい	

モデルテキスト

　わたしたちは、文ぼうぐ屋についてはっぴょうします。学校の近くには、あさひ屋とさくら屋があります。あさひ屋もさくら屋もノートは1さつ100円です。コピーのねだんは、さくら屋よりあさひ屋のほうが高いです。あさひ屋は1まい10円ですが、さくら屋は1まい8円です。それから、あさひ屋のほうが、さくら屋より学校から近いです。あさひ屋のほうが、店がきれいです。でも、さくら屋のほうが、売っている物が多いです。そして、サービスもいいです。

　しらべたけっか、わたしたちのグループは、さくら屋のほうが、安くていい店だと思います。

先生へ

・＜手順＞（2）のプロジェクトワークは、まず、＜手順＞（1）の聴解練習の後、1～4を行い、5は宿題とし、6を次の授業で行うとよい。

16-1 日本とくらべる

活動 日本と自国の地理的な情報を比較する。

かたち →

時間 ●●●+

せつめい編

★文-63　Nは Nより

談話の技術

準備する物

使うことば

日本＊、面積＊、人口、いちばん、高い、山、富士山＊、長い、川、信濃川＊、大きい、小さい、多い、少ない、低い、短い、湖、琵琶湖＊

手　順

1. 教師は下のような表を黒板に書く。学習者は、表を写して、自分の国の面積、人口、いちばん高い山、いちばん長い川、いちばん大きい湖などを調べて、表を埋めてくる。

2. 次の時間に、調べてきた結果を＜モデルテキスト＞のように発表する。

	日本	（自分の国）
めんせき	377,800km²	km²
人口	120,000,000 人	人
いちばん高い山	ふじ山（3,776 m）	m
いちばん長い川	しなの川（367km）	km
いちばん大きいみずうみ	びわこ（671km²）	km²

モデルテキスト

(1)（国の名前）は、日本より大きいです／日本より小さいです。

(2)（国の名前）の人口は、日本より多いです／日本より少ないです。

(3)（山の名前）は、ふじ山より高いです／ふじ山より低いです。

(4)（川の名前）は、しなの川より長いです／しなの川より短いです。

(5)（湖の名前）は、びわこより大きいです／びわこより小さいです。

バリエーション

(1) 発表した文を書く。

(2) 表以外のことについて調べてくる。
例：GDP、人口密度

先生へ

- 「N は N より」は肯定形で練習させるようにする。
- 国土、地理などの情報は、下の日本国外務省ホームページ参照：
  「世界の国一覧」 http://www.mofa.go.jp/mofaj/world/ichiran/index.html
  「世界いろいろ雑学ランキング」 http://www.mofa.go.jp/mofaj/world/juni2/index.html

16-2 有名人にインタビュー♡

活動 インタビューで聞きたいことを考えて、発表する。

かたち →

時間 ●●○

せつめい編

★文-64　かどうか／疑問詞…か

談話の技術

・話を構成する（報告）

準備する物

使うことば

インタビュー〔する〕＊、宇宙飛行士＊、若田光一＊、思う、そして、どうして、なる、子供、宇宙＊、興味、これから、どんな、仕事、シドニー・オリンピック＊、マラソン＊、金メダル＊、とる、高橋尚子＊、いつ、始める、練習、たいへん、次、出る、聞く

▲興味がある

手　順

1. 4、5人のグループに分かれる。
2. グループごとに、インタビューしてみたい日本の有名人を決める。
3. 聞いてみたいことを、＜モデルテキスト＞（1）のように、リストにする。
4. ＜モデルテキスト＞（2）を参考にして、だれにどんなことをインタビューしたいか、各グループから一人ずつ出て、クラスで発表する。

モデルテキスト

（1）インタビューで質問すること

① 宇宙飛行士の若田光一さんに

・どうしてうちゅうひ行しになりたいと思ったか

・子どものときから、うちゅうにきょうみがあったかどうか

・これからどんな仕事をしたいと思っているか

② シドニー・オリンピックのマラソンで、金メダルをとった高橋尚子さんに

・いつマラソンを始めたか

・練習のとき何がたいへんだったか

・つぎのオリンピックにも出たいと思っているかどうか

（2）発表

① わたしたちは、うちゅうひ行しのわか田光一さんにインタビューしたいと思います。そして、どうしてうちゅうひ行しになりたいと思ったか、子どものときからうちゅうにきょうみがあったかどうか、これからどんな仕事をしたいと思っているか聞きたいと思います。

② わたしたちは、シドニー・オリンピックのマラソンで金メダルをとった高はしなお子さんにインタビューしたいと思います。そして、いつマラソンを始めたか、練習のとき何がたいへんだったか、つぎのオリンピックにも出たいと思っているかどうか聞きたいと思います。

バリエーション

(1) 有名人ではなく、地域に住んでいる日本人にインタビューするための質問を考える。

(2) 特定の個人ではなく、「相撲の力士」「日本の総理大臣」「○○会社の社長」のように特定の役職に就いている人にインタビューするという設定で質問を考える。

先生へ

- 質問と発表に「かどうか」、「疑問詞…か」の両方を使うように指導する。
- 質問項目を挙げるときは、「新しい仕事をする予定があるか」のように、「どうか」を付けない言い方のほうが一般的であるが、練習のために「(か) どうか」を使わせるようにする。
- 「れんしゅう編 1」「12-9 有名人」の有名人にインタビューするという設定で質問を考えてもいい。

16-3 日本の歴史

活動 歴史についての文を読んで、年代順に並べる。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

（文 -49　V かた）

文 -65　N という N

談話の技術

準備する物

使うことば

歴史、動物、捕る、木の実＊、拾う、今、江戸＊、東京＊、政治、中心＊、なる、米、作る、伝わる＊、仏教＊、紫式部＊、女、人、いちばん、古い、小説、源氏物語＊、寺子屋＊、学校、子供、勉強〔する〕、明治時代＊、ヨーロッパ＊、アメリカ、新しい、文化、技術、入る、世界、木、建物、法隆寺＊、できる、京都＊、首都＊、奈良＊、できごと＊、～中、戦い＊

▲入ってくる

手　順

1. ＜タスクシート＞の表の絵を見て、それぞれの時代がどんな時代かクラスで話し合う。

2. ＜タスクシート＞の文を読み、どの時代の出来事か考えて、年表の（　）の中に当てはまる文の番号を書く。

タスクシート

(1) 動物をとったり、木のみをひろったりして食べていた。

(2) えど（今の東京）がせいじの中心になった。

(3) こめの作り方がつたわった。

(4) ぶっ教がつたわった。

(5) むらさきしきぶという女の人が、日本でいちばん古い小説（げんじ物語）を書いた。

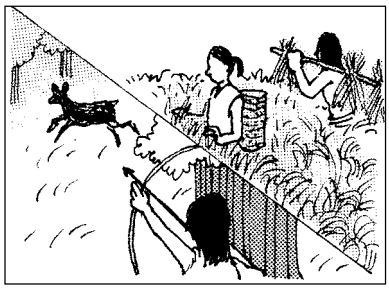
(6) 寺子屋という学校で子どもたちが勉強した。

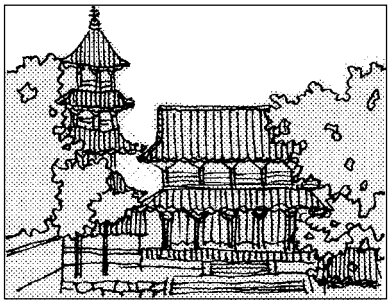
(7) ヨーロッパやアメリカから新しい文化やぎじゅつが入ってきた。

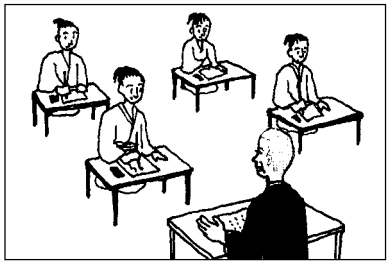
(8) 世界でいちばん古い木の建物（ほうりゅう寺）ができた。

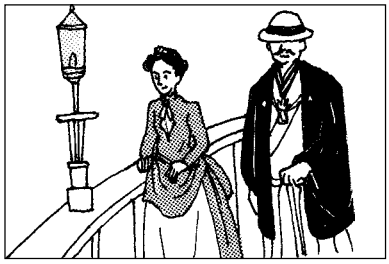
(9) 京都が首都になった。

	できごと	
	せいじ	文化
10000年前		ア（　）
――――	――――――――――	――――――――
200年		イ（　）
紀元前		
紀元後		
600年		ウ（　）
700年	奈良が首都になった。 オ（　）	エ（　）
1000年		カ（　）
	日本中で、たたかいがたくさんあった。	
1600年	キ（　）	ク（　）
1800年	えどが東京という名前になった。	ケ（　）









＜答え＞

ア（1）、イ（3）、ウ（4）、エ（8）、オ（9）、カ（5）、キ（2）、ク（6）、ケ（7）

先生へ

- 『中学生の社会科　歴史』日本文教出版（1997）参照。

16-4 おまわりさんの交番日記

活動 交番での会話を聞く／できごとについて書かれた文章を読む。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

（文 -45　んです）

（文 -55　V てしまいます）

文 -64　かどうか／疑問詞…か

★助 -30　と（引用）

談話の技術

準備する物

地図など

使うことば

おまわりさん、交番、日記、男、人、あのう、道、落ちる、じゃあ、名前、住所、えっ＊、落とす、わかる、お礼、もらう、要る、財布、どこ、どんな、黒い、これ、～ぐらい、それ、さっき、届ける、来る、言う、本当に、午前、～ごろ、若い、落し物＊、持って来る、何も、その、すぐ、～歳、女、とても、困る、聞く、似る、見せる、喜ぶ、見つかる

▲帰っていく／ああ、よかった／あ、ちょっと／ありがとうございました／気をつけて

手　順

1. 教師は、どんな人が、何をしに交番に来たか、そして、おまわりさんはどうしたかを聞き取るように指示する。
2. 学習者は、テープを聞いて、必要ならメモをとる。
3. 1. の質問の答えをみんなで確認する。
4. ＜タスクシート＞を読む。
5. もう一度テープを聞いて、＜タスクシート＞の _____ に答えを書く。

モデルテキスト

男の人　　：あのう…。これ、道におちていたんですが…。

おまわりさん：そうですか。じゃあ、ここに名前と住所を書いてください。

男の人　　：えっ…。

おまわりさん：おとした人がわかったら、おれいがもらえますよ。

男の人　　：いいえ、おれいはいりません。（どこかへ行ってしまう。）

おまわりさん：あ、ちょっと…。

（10分後）

女の人　　：さいふをおとしてしまったんです。

おまわりさん：どこでおとしましたか。

女の人　　：わかりません。

おまわりさん：どんなさいふですか。

女の人　　：黒くて、これぐらいのさいふです。

おまわりさん：じゃあ、これですか。

女の人　　：あ、そうです。それです。

おまわりさん：さっき、男の人がとどけに来たんです。道におちていたと言っていました。

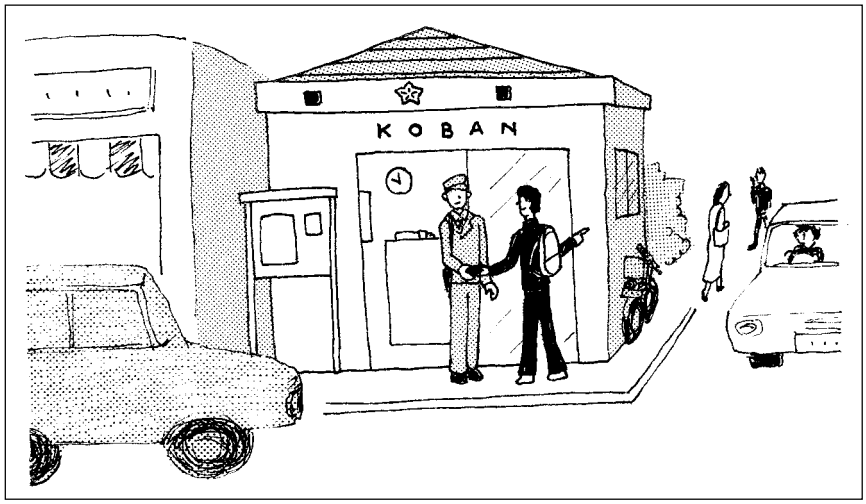
女の人　　：ああ、よかった。ありがとうございました。あのう、その男の人におれいを言いたいんですが。

おまわりさん：名前も住所も書かないで行ってしまったんです。

女の人　　：そうですか。

おまわりさん、ほんとうにありがとうございました。

おまわりさん：気をつけて。



タスクシート

下の「おまわりさんのこうばんにっき」の_____に、おまわりさんが言ったこと、または、聞いたことを入れてください。

おまわりさんのこうばんにっき

4月23日（月）

午前10時ごろ、わかい男の人がおとし物のさいふを持って来た。その人に「①_____」と言ったが、何も書かないで行ってしまった。おとした人がわかったら、おれいがもらえるのだが、その人は「②_____」と言った。

そのすぐあと、20さいぐらいの女の人が③_____と言って、こうばんに来た。とてもこまっていた。④_____聞いたら、10時ごろに男の人が持ってきた黒いさいふにいた。女の人に見せたら、「⑤_____」と言ってよろこんでいた。見つかってよかった。

＜答え＞

① ここに名前と住所を書いてください。② いいえ、お礼はいりません。

③ さいふを落としてしまった　④ どんなさいふか　⑤ ああ、よかった。

先生へ

- 必要なら練習の前に日本の交番について説明するとよい。
- 日本の交番は、地域のパトロールや道を教える以外にも、通行人などの相談にも応じる。警察官は「おまわりさん」とも呼ばれる。『写真パネルバンクⅡ.社会生活シリーズ』76（交番）参照。
- ＜タスクシート＞の_____の部分で、「　」があるところには、言ったことをそのまま書く。「　」がないところには、言ったことを言い換えて書くので、注意する。
- ＜モデルテキスト＞の中で、「お礼がもらえる」というときに使われている「お礼」は、感謝の印として渡すお金のこと。

16-5 すずめのお宿

活動 昔話を読む。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

（文-50　あげます）

（文-51　もらいます）

文-65　N というN

助-29　ので

★助-30　と（引用）

語-09　こそあど

談話の技術

準備する物

使うことば

国、動物、すずめ＊、お宿＊、昔、ある＊、優しい、おじいさん、おばあさん、住む、小さい、鳥、いつも、食べ物、もらう、この、隣、うち、こわい、意地悪＊、けんか、ご飯、でも、それで、すると、そこ、ああ、ここ、こら＊、大事、やつ＊、だれ、声、聞こえる、怒る、泣く、帰る、次、心配〔する〕、どう、どこか、病気、捜す、森＊、王様＊、お礼、そして、おいしい、ごちそう〔する〕、珍しい、踊り、お土産、あげる、好き、箱、持って帰る、見せる、重い、だから、言う、お金、入る、もっと、欲しい、会う、お化け＊、物語＊、あと、選ぶ

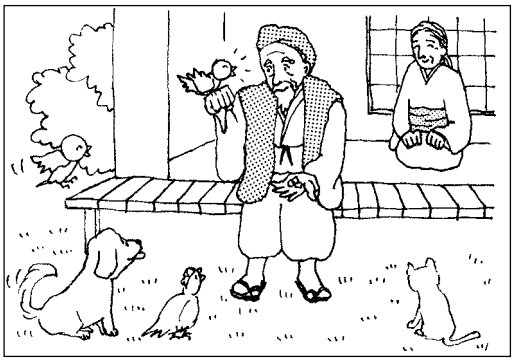
▲ 出てくる／帰ってくる／どうしたんでしょう／ありがとうございます／お礼に

手　順

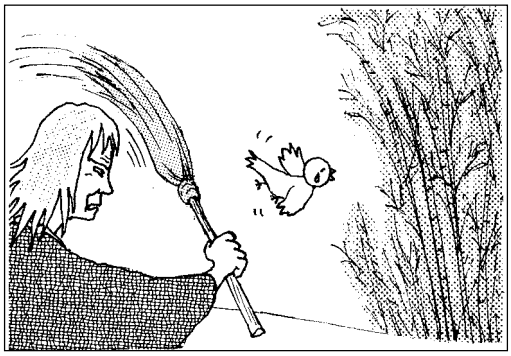
1. 物語を読む前に、絵を見て、どんな物語なのか考える。
2. 物語を読んだあと、問題に答える。
3. それぞれが、なぜその答えを選んだか、理由を言う。母語で言ってもよい。

モデルテキスト

すずめのおやど

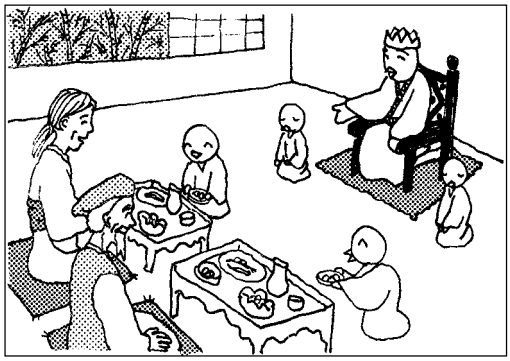


　むかし、むかし、あるところにやさしいおじいさんとおばあさんが住んでいました。小さい鳥や動物たちは、いつもおじいさんとおばあさんに食べ物をもらっていました。このおじいさんとおばあさんのとなりのうちに、こわくていじわるなおじいさんとおばあさんが住んでいました。このおじいさんとおばあさんは、いつもけんかをしていました。

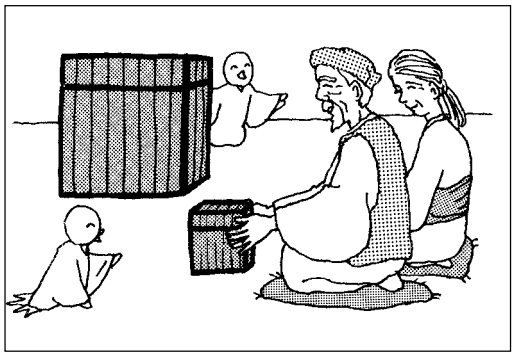


　ある日、すずめという小さい鳥が、ご飯をもらいに、やさしいおじいさんとおばあさんのうちに来ました。でも、おじいさんとおばあさんは、いませんでした。それで、すずめは、となりのうちに行きました。すると、そこにもご飯がありました。「ああ、ここにもご飯があります。少しもらいましょう。」と言って、すずめはそのご飯を少し食べました。すると、「こら、わたしたちの大事なご飯を食べたやつはだれだ！」大きい声が聞こえて、こわいおばあさんが出てきて、おこりました。すずめはこわくて、なきながらすずめの国へ帰りました。

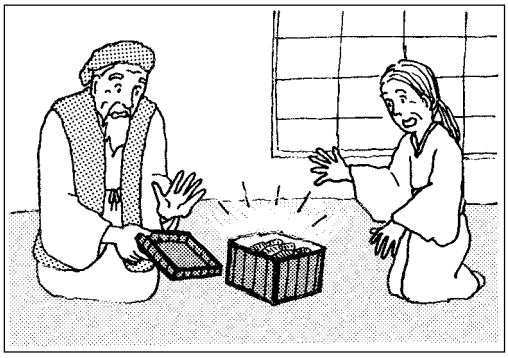
うちに帰ってきたやさしいおじいさんとおばあさんは、すずめがつぎの日から来ないので、心ぱいしました。「どうしたんでしょう。どこかで病気になったんでしょうか。」二人はすずめをさがしに行きました。森の中に、すずめの国がありました。すずめのおうさまは、二人に「おじいさん、おばあさん、いつも食べ物をありがとうございます。今日は、おれいにごちそうしましょう。」と言いました。そして、二人はおいしいごちそうを食べたり、めずらしいおどりを見たりしました。



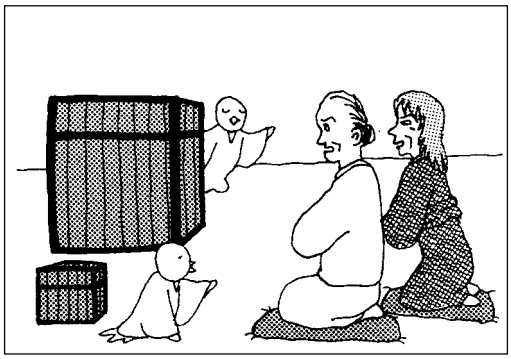
おじいさんとおばあさんが帰るとき、おうさまは、「おみやげをあげます。好きなはこを一つ持って帰ってください。」と言って、大きいはこと小さいはこを見せました。おじいさんとおばあさんは、「大きいはこはとても重いでしょう。だから、小さいはこをもらいます。」と言って、小さいはこをもらいました。



二人がうちに帰って、はこの中を見たら、お金がたくさん入っていました。やさしいおじいさんとおばあさんは、となりのおじいさんとおばあさんにもお金をあげました。



いじわるなおじいさんとおばあさんは、「もっとお金がほしいねえ。わたしたちもすずめの国へ行きましょう。」と言って、森の中へ行きました。そして、すずめのおうさまに会いました。おうさまは、二人にも二つのはこを見せました。（つづく）



◆問題

この物語は、このあとどうなると思いますか。つぎの三つの中から、えらんでください。

① いじわるなおじいさんとおばあさんも、小さいはこをもらいました。中にはお金が入っていました。

② いじわるなおじいさんとおばあさんは、大きいはこをもらって帰りました。中にはお化けが入っていました。

③ いじわるなおじいさんとおばあさんは、はこをもらいませんでした。

先生へ

- ＜モデルテキスト＞を読む前に、準備として、自国に動物が出てくる昔話があるか、どんな動物が出てくるか話し合わせるとよい。すずめが身近にいない場合は、絵か写真を見せておくとよい。
- すずめは『写真パネルバンク Ⅲ.自然と余暇シリーズ』22（鳥）を参照。
- 読むまえに絵を見て内容を予測させるのは、興味を持たせるためなので、間違っていてもかまわない。
- 問題の答えは、実際の物語によると、②が正しいが、ここでは正解を一つとせず、学習者がいろいろ想像して答えてもよいこととする。
- 一般的に知られている「舌切りすずめ」という昔話では、優しいおじいさんと、意地悪なおばあさんが登場し、すずめはおばあさんに舌を切られてしまう。ここに出した「すずめのお宿」は、その話をもとに、書き直したもの。

16-6 ぜひ、わたしの町に来てください

活動 観光地の紹介を読む／書く。

かたち (1) (2)

時間 (1) ●●○ (2) ●●●+

せつめい編

文-65　N というN

文-66　疑問詞＋でも…肯定

助-29　ので

準備する物

観光案内のパンフレット・地図など

談話の技術

・内容を構成する（紹介文）

使うことば

京都＊、古い、町、建物、お寺、神社、多い、～中、祭＊、特に、有名、葵祭＊、祇園祭＊、時代祭＊、祇園＊、所、いつ、伝統的＊、踊り、きれい、着物、着る、女、料理、日本料理＊、店、豆腐＊、ぜひ、観光地＊、楽しむ、観光客＊、桜＊、花、咲く、春、木の葉＊、赤、黄色、変わる、秋、季節、ホテル、早い、予約〔する〕、特徴＊、食べ物、行事＊、観光、注意〔する〕

▲みなさん／～にいい

手順

(1)

1. ＜モデルテキスト＞を読んで、＜タスクシート＞（1）のア欄に答えを書く。

(2)

1. 4、5人のグループに分かれる。
2. グループごとに自分の国のどの町を紹介するか決める。
3. ＜タスクシート＞（1）のイ欄に紹介する内容を考えて書く。
4. ＜タスクシート＞（2）を使って、紹介文を書く。
5. グループごとに自分たちの観光地を紹介する。

モデルテキスト

京都は日本の古い町で、古い建物がたくさんあります。

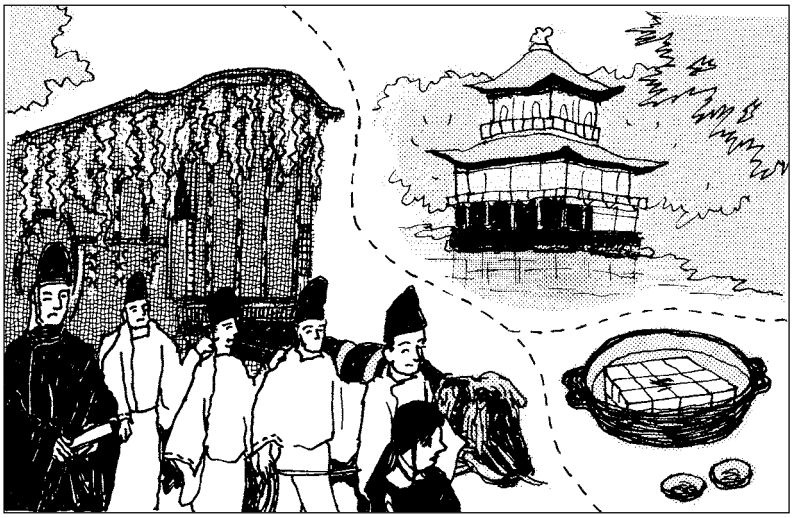
お寺や神社が多いので、一年中いろいろなまつりがあります。特に有名なのは、5月のあおいまつりと、7月のぎおんまつりと、10月の時代まつりです。

京都のぎおんという所では、いつでも、でんとうてきなおどりが見られます。町で、きれいな着物を着た女の人を見ることもできます。

でんとうてきな日本料理が食べられる店も、たくさんあります。とうふの料理が有名なので、ぜひ食べてみてください。

京都は、有名なかん光地なので、一年中たくさんのかん光きゃくが来ます。さくらの花がさく春と、木のはが赤やき色にかわる秋は、特にきれいなきせつです。そのころは、かん光きゃくがとても多いので、ホテルを早くよやくしたほうがいいですよ。

京都は、いつでも、だれでも、楽しめる所ですから、みなさん、ぜひ一度来てみてください。



タスクシート

（1）

	ア．京都	イ．（観光地の名前）
① 町の特ちょう		
② 有名な行事（月）	あおいまつり（5月）	
③ かん光にいい場所		
④ 有名な食べ物		
⑤ 特にいいきせつ		
⑥ ちゅう意すること		

＜答え＞

①古い町で、古い建物がたくさんある。②葵祭（5月）、祇園祭（7月）、時代祭（10月）

③ 祇園　④ 豆腐の料理　⑤ 春と秋　⑥ 春と秋には、ホテルを早く予約したほうがいい。

（2）

_____のところにことばを書いて、町のしょうかい文を作ってください。

① 町の特徴：

_____は_____で、_____がたくさんあります。

② 有名な行事：

_____があります。

特に有名なのは、_____です。

③ 観光にいい場所：

_____という所では、_____

を見ることができます。

④ 有名な食べ物：

_____がたくさんあります。

特に_____が有名です。

⑤ いい季節：

_____は、特にいいきせつです。

⑥ 注意すること：

_____は、_____ので、

_____ほうがいいです。

⑦ 誘いのことば：

_____は、_____から、

ぜひ来てみてください。

バリエーション

(1) グループの発表を聞いたあと、どこに行きたいと思ったか、クラスで話す。理由も言う。

先生へ

- 日本の観光地のパンフレットや『写真パネルバンク』があれば、それを使って日本の観光地案内をしてもよい。
- 『写真パネルバンク Ⅳ. 行事シリーズ』48（葵祭）、『Ⅲ. 自然と余暇シリーズ』104（京都）参照。
- 作文には、＜タスクシート＞（2）の「① 町の特徴」のような項目は書かない。
- ＜タスクシート＞（1）のイ欄には、当てはまる項目だけ書けばよい。
- ＜タスクシート＞（2）が使いにくい場合は、紹介する観光地に合わせて、変えてもよい。
- ＜タスクシート＞（2）に書きこませるまえに、下のような京都の例を示すとよい。

（例）

① 町の特徴：
京都は＿古い町＿で、＿古い建物／お寺や神社＿がたくさんあります。

② 有名な行事：
＿一年中いろいろな祭＿があります。特に有名なのは、＿5月の葵祭と、7月の祇園祭と、10月の時代祭＿です。

③ 観光にいい場所：
＿祇園＿という所では、＿伝統的な踊りや、きれいな着物を着た女の人＿を見ることができます。

④ 有名な食べ物：
＿伝統的な日本料理が食べられる店＿がたくさんあります。特に＿とうふの料理＿が有名です。

⑤ いい季節：
＿春と秋＿は、特にいい季節です。

⑥ 注意すること：
＿春と秋＿は、＿観光客が多い＿ので、＿ホテルを早く予約した＿ほうがいいです。

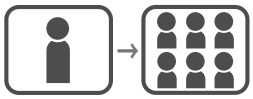
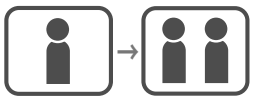
⑦ 誘いのことば：
＿京都＿は、＿いつでも、だれでも楽しめる所です＿から、ぜひ来てみてください。

16-7 歌舞伎

活動

（1）日本の伝統についてのインタビューを聞く。
（2）自国の伝統についてのインタビューをする。

かたち

（1）

（2）


時間

（1）●●○
（2）●●●+

せつめい編

（文 -45　んです）
（文 -49　V かた）
文 -63　N は N より
文 -65　N という N

準備する物

談話の技術

- 会話を始める（あのう）
- 会話を終わる（どうもありがとうございました）
- 相手の発話を聞いて話を進める（じゃあ）
- 間をとる（そうですね…）
- 確認する（～んですね）
- あいづちをうつ（そうですか）
- 応答する（えっ、そうなんですか／ええ、いいですよ）
- 話を構成する（インタビュー）

使うことば

あのう、歌舞伎＊、芝居＊、知る、どんな、歌、踊り、面白い、いつ、～ごろ、始まる、～世紀＊、阿国＊、女、人、始める、～ぐらい、続く、昔、同じ、体、動く、音楽、でも、ことば、言う、など、違う、ですから＊、楽しむ、着物、着る、きれい、出る、男、えっ＊、役＊、長い間＊、練習〔する〕、本当＊、いろいろ、わかる
▲～について／人気がある／残念ですが／どうもありがとうございました／どういたしまして

手　　順

(1) 聴解

1. 学習者はテープを聞いて、質問に答える。
2. クラスで答えを確認する。

(2) インタビュー

1. 次の授業までに、学習者はそれぞれ、自分の国の伝統について調べてくる。
2. ＜インタビューの流れと表現＞を見て、インタビューの表現を確認する。
3. ペアになり、一人が、相手が調べてきたことについてインタビューをし、調べてきた人が答える。
4. ペアの役割を交代する。

モデルテキスト

アン：あのう…、かぶきというしばいについて知りたいんですが、聞いてもいいですか。

山本：ええ、いいですよ。

アン：かぶきは、どんなしばいですか。

山本：そうですね…、かぶきというのは、歌やおどりがある、とてもおもしろいしばいです。

アン：そうですか。いつごろ始まったんですか。

山本：17世紀です。おくにという女の人が始めました。

アン：じゃあ、400年ぐらいつづいているんですね。

山本：ええ、そうです。

アン：今のかぶきは、むかしのかぶきと同じですか。

山本：体の動き方や音楽などは同じです。でも、ことばや言い方などは少しちがいます。ですから、今の人も楽しめますよ。

アン：そうですか。着物を着たきれいな女の人を見ることができますか。

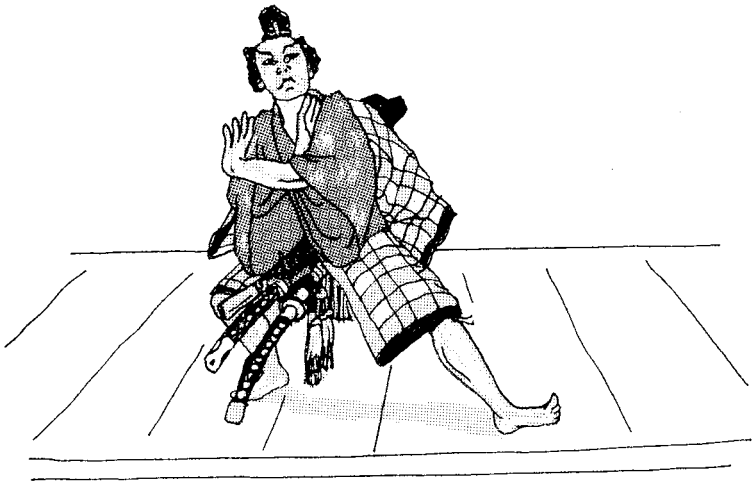
山本：いいえ。ざんねんですが、かぶきに出る人はみんな男の人なんです。

アン：えっ、そうなんですか。

山本：でも、女の人の役を長い間練習している人は、ほんとうの女の人よりきれいですよ。

アン：そうですか。わたしも見てみたいです。
かぶきについていろいろなことがわかりました。どうもありがとうございました。

山本：どういたしまして。



◆質問

① かぶきはどんなしばいですか。

② いつごろ始まりましたか。

③ 今のかぶきは、むかしのかぶきと同じですか。

④ 男の人も女の人もかぶきに出ますか。

＜答え＞

① 歌舞伎は、歌や踊りがある芝居です。

② 17 世紀に始まりました。

③ 体の動き方や音楽などは同じですが、ことばや言い方などは少し違います。

④ いいえ。歌舞伎に出る人はみんな男の人です。

＜インタビューの流れと表現＞

インタビューをする人	答える人
インタビューを始める （かぶきというしばい）について知りたいんですが、聞いてもいいですか。	ええ、いいですよ。
質問する （かぶき）は、どんな（しばい）ですか。	そうですね…。 （かぶき）は、（歌やおどりがある、とてもおもしろいしばい）　です。
あいづちをうつ そうですか。	
聞いたことを確認する じゃ、（400年ぐらいつづいている）んですね。	（17世紀です。 おくにという女の人が始めました。）
聞いたことに驚きを表す えっ、そうなんですか。	（かぶきに出る人はみんな男の人なんです。）
インタビューを終わる （かぶき）についていろいろなことがわかりました。どうもありがとうございました。	**お礼のことばに返事をする** どういたしまして。

バリエーション

(1) インタビューの結果をクラスに報告する。

(2) ペアでインタビューをするときに、1組ずつクラスの前に出てやる。

先生へ

- ＜インタビューの流れと表現＞のインタビューの表現は、クラスを2つに分けて、それぞれA、Bの役を交代で練習させるとよい。
- 『写真パネルバンク Ⅲ. 自然と余暇シリーズ』57（歌舞伎）参照。

17-1 「意向形」カードゲーム

活動 ゲームを通して、「意向形」を練習する。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★活-07　意向形

談話の技術

準備する物

カード用の紙（学習者の数 × 20）

使うことば

借りる、覚える、取る、走る、作る、食べる、起きる、寝る、着る、受ける、あげる、帰る、入る、なる、乗る、使う、歌う、言う、手伝う、書く、弾く、行く、履く、働く、泳ぐ、読む、飲む、遊ぶ、持つ、話す、勉強〔する〕、運転〔する〕、する、来る

手　順

1. 学習者は3人ずつのグループに分かれる。
2. 教師はカード用の紙を一人に20枚ずつ配る。
3. 教師は 30 の動詞の「ます形」を 10 ずつ 3 列に分けて黒板に書く。
4. 学習者はそれぞれ違う列の動詞の「ます形」を1枚のカードに1つずつ書く。残りの 10 枚のカードに、それぞれの動詞の「意向形」を書く。
5. 書いたあとで、クラスでそれぞれの動詞の意向形を確認し、間違いがあったら直す。
6. グループ内で、「ます形」のカードと「意向形」のカードを別々にまとめる。そして 2 種類のカードを分けて、動詞を書いた面を下にして机の上に並べる。
7. 一人ずつ、順に2枚ずつカードをめくり、同じ動詞の「ます形」と「意向形」のカードが出たら、取る。例えば、「書きます」「書こう」。違っていたら元にもどす。
8. 全部のカードがなくなるまで 7 を繰り返す。

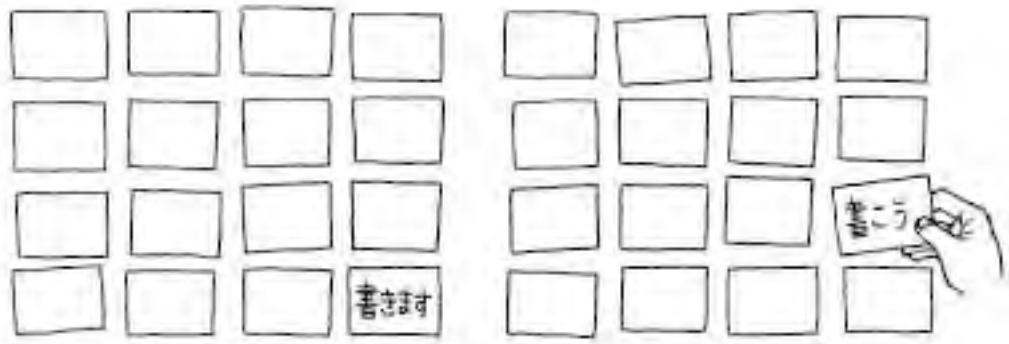
バリエーション

(1) カードをいちばんたくさん取った学習者の勝ちとする。

(2) カルタのように、「意向形」のカードだけを並べて、一人が「ます形」のカードを1枚ずつ読み、ほかの人たちがそれに合う「意向形」のカードを取る。

先生へ

- ＜使うことば＞の動詞は、ブロック17の練習で使われる動詞を中心に選んでいる。
- 未習の動詞を交ぜて練習させてもよい。
- この練習は「意向形」以外にも、ほかの活用形の練習としても使える。
- この練習のほかに、「れんしゅう編」の6-1「て形のビンゴ」、7-1「言えたらあげる」、8-1「辞書形の練習」、9-1「ない形クイズ」、「れんしゅう編2」の14-1「られるリレー」の練習方法が利用できる。



17-2 人気がある仕事

活動 クラスで、将来希望する仕事の調査をして、発表する。

かたち →

時間 ●●○

せつめい編

（文-64　かどうか／疑問詞…か）

★文-67　V（よ）うとおもいます

活-07　意向形

談話の技術

話を構成する

準備する物

使うことば

将来、エンジニア＊、なる、会社員＊、グループ＊、いちばん、仕事、生徒、～人、～番目＊、それから、そして、まだ、決める、公務員、医者、デザイナー＊、スポーツ選手＊、看護婦、弁護士＊、通訳＊、運転手、コック＊、スチュワーデス＊

▲人気がある

手　順

1. 7、8人のグループに分かれる。
2. グループ内で、一人一人が＜モデルテキスト＞（1）のように、自分の希望する仕事を発表し、グループのみんなの発表結果を記録する。
3. それぞれが、自分のグループの発表結果を、＜モデルテキスト＞（2）のようにまとめて書く。
4. グループの代表が、書いたものを読んで、グループの発表結果をクラスに報告する。
5. 2、3人の生徒が前に出て、発表された仕事と人数を、黒板に書いて、クラスで人気のある仕事の順位を調べる。

モデルテキスト

（1）発表(はっぴょう)

A：わたしは、しょうらいエンジニアになろうと思(おも)っています。

B：わたしは、しょうらい先生(せんせい)になろうと思(おも)っています。

C：わたしは、しょうらい会社員(かいしゃいん)になろうと思(おも)っています。

D：しょうらい何(なに)になるか、まだきめていません。

E：しょうらい何(なに)になるか、わかりません。

（2）報告(ほうこく)

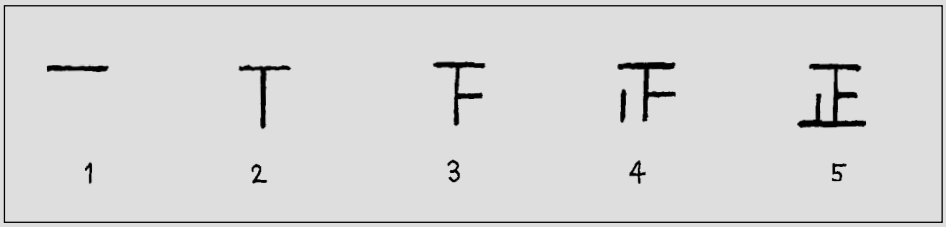
わたしたちのグループでいちばん人気(にんき)がある仕事(しごと)は、エンジニアです。エンジニアになろうと思(おも)っている生(せい)とは、3人(にん)います。2ばん目(め)に人気(にんき)がある仕事(しごと)は会社員(かいしゃいん)で、2人(ふたり)います。それから、こうむ員(いん)になろうと思(おも)っている人(ひと)と、先生(せんせい)になろうと思(おも)っている人(ひと)が、1人(ひとり)ずついます。そして、何(なに)になるかまだきめていない人(ひと)が、1人(ひとり)います。

バリエーション

（1）調査をするまえに、学習者に人気がある仕事を予測させ、調査したあとで、予測が当たったかどうか調べる。

先生へ

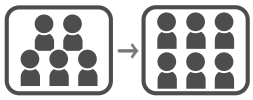
- 男女で希望する仕事に差が出る場合もあるので、男女比が同じクラスでは男子生徒と女子生徒で分けて統計をとってもいい。
- 人数を数えるときに、下のように「正」の字を使って、数えることを紹介してもよい。



- 職業名には母語を使わせてもよい。
- 日本の青少年に人気がある職業には、会社員、技術者、公務員、スポーツ選手、看護婦、教師、画家やデザイナー、弁護士や医者などがある。（『日本の青少年の生活と意識』総務庁　青少年対策本部編 1997 年参照）

17-3 何のためですか ♡

活動 しようと思っている行動の目的を聞く／言う。

かたち 

時間 ●●○

せつめい編

★文-67　V（よ）うとおもいます

★文-70　ために

活-07　意向形

談話の技術

準備する物

使うことば

自転車、アルバイト、バスケットボール＊、練習、早い、日本語＊、勉強〔する〕、大学、試験、ガイド＊、一生懸命、毎朝、ジョギング＊、スポーツ、選手＊、健康＊

手　順

1. 学習者は4、5人のグループに分かれる。
2. それぞれの学習者が、これからしようと思っていることとその目的を、＜モデルテキスト＞（1）のように「ために」を使って書いて、グループ内で発表する。発表した文を全員がノートに書く。
3. グループごとに、一人ずつ自分がしようと思っていることをクラスの前で言う。ほかのグループの人は、グループ内で相談して、その行動の目的を当てる。そのときに、＜モデルテキスト＞（2）を参考にして、聞いたり答えたりする。

モデルテキスト

(1) 自転車を買うために、アルバイトをしようと思っています。
バスケットボールの練習のために、早く学校へ来ようと思っています。
日本語を勉強するために、大学に行こうと思っています。

(2) ① A：わたしは一生けんめい日本語の勉強をしようと思っています。
B：試験のためですか。
A：いいえ。
C：日本へ行くためですか。
A：いいえ。
D：ガイドになるためですか。
A：はい、そうです。ガイドになるために、一生けんめい日本語の勉強をしようと思っています。

② A：わたしは毎朝ジョギングをしようと思っています。
B：スポーツのせん手になるためですか。
A：いいえ。
C：けんこうのためですか。
A：はい、そうです。けんこうのために、ジョギングをしようと思っています。

バリエーション

(1) たくさん当てたグループが勝ち。

(2)「～ために～しようと思います」の文を考えさせる時に、教師が行動の部分の例を提示し、学習者に目的の部分だけを考えさせる。

先生へ

・長い休みや１年の目標について話すなど、状況に応じて設定を考える。

17-4 高いかもしれません ♡

活動 日本でホームステイをすると き必要な物を想像して言う。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-67　V（よ）うとおもいます

★文-68　かもしれません

活-07　意向形

談話の技術

準備する物

使うことば

物、値段、高い、それで、クレジットカード＊、持って行く、思う、病気、薬、ホストファミリー＊、ことば、わかる、辞書、ガールフレンド＊、ボーイフレンド＊、E メール＊、コンピュータ、枕＊、固い、国、聞く、絵葉書＊、バス、電車、キックボード＊

▲ ～について

手　順

1. 教師は、絵を学習者に見せて、日本へホームステイに行くとしたら、どんな物を持って行くか聞く。

2. 学習者は、絵の中から持って行くものを選んで、それを持って行く理由を考える。そして、＜モデルテキスト＞のように書いて、発表する。

モデルテキスト

(1) 物のねだんがとても高いかもしれません。それで、クレジットカードを持って行こうと思います。

(2) 日本で病気になるかもしれません。それで、薬を持って行こうと思います。

(3) ホストファミリーのことばがわからないかもしれません。それで、じ書を持って行こうと思います。

(4) ガールフレンド／ボーイフレンドからEメールがくるかもしれません。それで、コンピュータを持って行こうと思います。

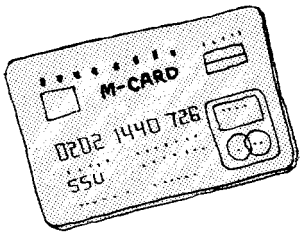
(5) 日本のまくらはかたいかもしれません。それで、まくらを持って行こうと思います。

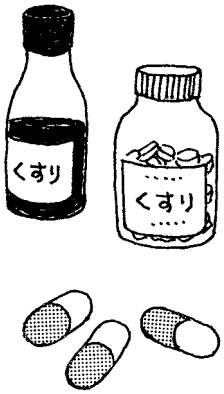
(6) 日本の人がわたしたちの国について聞くかもしれません。それで、えはがきを持って行こうと思います。

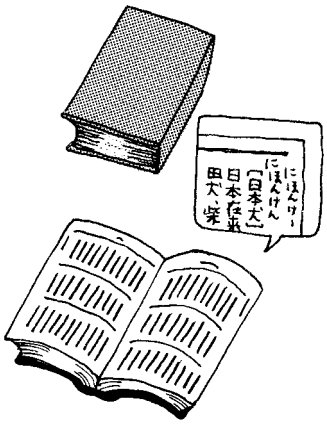
(7) バスや電車が高いかもしれません。それで、キックボードを持って行こうと思います。

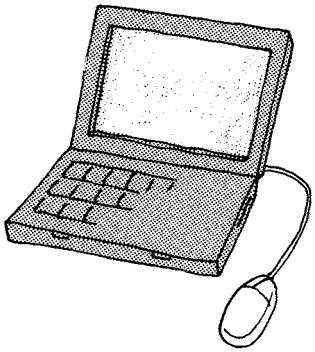
バリエーション

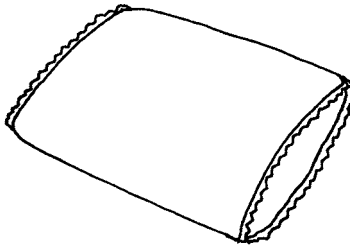
(1) 絵にかいてある物以外の持って行く物を考えて発表する。

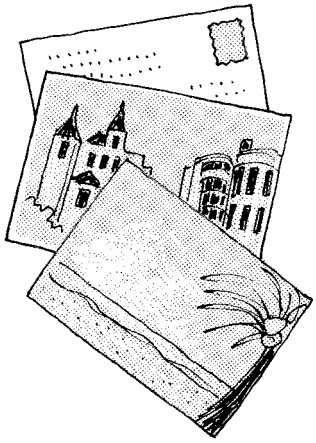

M-CARD

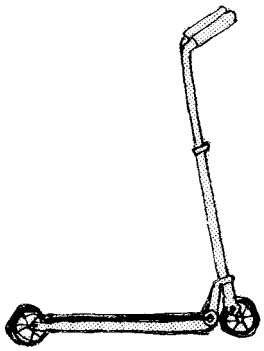

くすり
くすり


にほんけん
〔日本犬〕
日本在来
犬種。柴









17-5 何になろうと思っていますか

活動 卒業後の進路について相談する会話を聞く／会話をする。

かたち (1) (2)

時間 (1) ●○○ (2) ●●○

せつめい編

★文-67　V（よ）うとおもいます

文-69　の（名詞化）

文-70　ために

活-07　意向形

準備する物

談話の技術

- 会話を終わる（じゃあ、がんばってください／ありがとうございます）
- 相手の発話を聞いて話を進める（じゃあ）
- あいづちをうつ（そうですか）
- 応答する（はい）

使うことば

将来、思う、司書＊、どうして、小学生＊、だから、大学、文学部＊、入る、外国、文学、勉強〔する〕、そして、町、図書館、働く、高校、卒業〔する〕、がんばる、看護婦、母、夜、たいへん、すばらしい、仕事、専門学校＊、体育＊、ぼく、小学校、野球＊、始める、ずっと、～部＊、プロ野球＊、選手＊、プロ＊、難しい、生徒、教える、体育大学＊、両親、手伝う、農家＊、野菜、作る、鶏＊、育てる、牛＊、飼う＊、農業＊、それに、子供、父、どんな、よく、卵、牛乳、物、売る、すぐ

▲ありがとうございます／がんばってください

手　　順

（1）聴解

1. 学習者はテープを聞いて、会話の内容を＜タスクシート＞（1）にメモする。
2. もう一度テープを聞いて、答えを確認する。

（2）会話

1. 学習者はペアを作って、先生役と生徒役を決める。
2. ＜モデルテキスト＞（1）のように、先生役の学習者は、将来どんな仕事をしたいか、大学に行こうと思っているかどうかを生徒役の学習者に質問する。
3. 生徒役の学習者は、自分が希望していることについて、できるだけ詳しく答える。そして、どうしてそうしたいと思ったのか説明する。
4. 先生役の学習者は、生徒役の学習者の話を聞きながら、メモする。母語でメモを取ってもよい。
5. 役割を交代して②～④を繰り返す。
6. 生徒役の学習者の将来の夢について、＜モデルテキスト＞(2)を参考にして、＜タスクシート＞（2）に書き、みんなの前で発表する。

モデルテキスト

(1) 聴解

① 先生　　：たかはしさんは、しょう来何になろうと思っていますか。

たかはし：し書になろうと思っています。

先生　　：そうですか。それはどうしてですか。

たかはし：わたしは、小学生のときから本を読むのがとても好きです。だから、日本や外国の文学の勉強がしたいです。そして、し書になって、しょう来町の図書館で働きたいと思っています。

先生　　：高校をそつ業したら、大学に行こうと思っていますか。

たかはし：はい、大学の文学部に入ろうと思っています。

先生　　：じゃあ、がんばってください。

たかはし：はい、ありがとうございます。

② 先生　　：すずきさんは、しょう来何になろうと思っていますか。

すずき　：わたしは、かんごふになろうと思っています。

先生　　：そうですか。どうしてですか。

すずき　：母はかんごふです。夜も働かなければならなくて、たいへんですが、とてもすばらしい仕事だと思います。だから、わたしもかんごふになりたいと思っています。

先生　　：大学に行こうと思っていますか。

すずき　：いいえ。わたしはかんごふになるために、せんもん学校で勉強しようと思っています。

先生　　：そうですか。がんばってください。

すずき　：はい、ありがとうございます。

③ 先生：田中さんは、しょう来何になろうと思っていますか。

田中：体いくの先生になろうと思っています。ぼくは、小学校１年生のときに野きゅうを始めて、ずっと野きゅう部に入っています。小学生のときは、プロ野きゅうのせん手になりたいと思っていました。でも、プロになるのはとてもむずかしいので、今は、高校の体いくの先生になろうと思っています。生とたちに野きゅうを教えたいです。

先生：じゃあ、大学に行こうと思っていますか。

田中：はい。体いく大学に入りたいと思っています。

先生：そうですか。じゃあ、がんばってください。

田中：はい、がんばります。

④ 先生　：さとうさんは、どんな仕事をしようと思っていますか。

さとう：両親の仕事を手つだおうと思っています。

先生　：さとうさんのうちは、のう家ですね。

さとう：はい。野菜を作ったり、にわとりをそだてたりしています。牛もかっています。

先生　：どうしてのう家の仕事をしたいんですか。

さとう：のうぎょうが好きだからです。それに、子どものときから父の仕事を手つだっていますから、どんな仕事かよくわかっています。しょう来は、野菜やたまごや牛にゅうからいろいろな物を作って、売りたいと思っています。

先生　：そうですか。さとうさんは、大学に行こうと思っていますか。

さとう：いいえ。高校をそつ業したら、すぐ働こうと思っています。

先生　：そうですか。じゃあ、がんばってください。

さとう：はい、ありがとうございます。

（2）発表

たかはしさんは小学生のときから本を読むのが好きですから、大学に行って文学を勉強しようと思っています。そして、しょう来し書になろうと思っています。

タスクシート

（1）

名前	やりたい仕事	どうして	大学へ行くか
たかはし	し書	本を読むのが好きだから	○
すずき			
田中			
さとう			

＜答え＞

鈴木：看護婦 - とてもすばらしい仕事だと思うから - ×

田中：体育の先生 - 生徒たちに野球を教えたいから - ○

佐藤：農家の仕事 - 農業が好きだから - ×

（2）発表

（　　）さんは、（　　）から、

（　　）と思っています。

そして、しょう来（　　）と思っています。

先生へ

- 職業名は17-2を参照。
- ＜タスクシート＞（1）の「どうして」の欄の答え方は「とてもすばらしい仕事だと思う」のように、違う答え方でもよい。

17-6 仲間探し

活動 休みの日の予定をたずねる／答える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-67　V（よ）うとおもいます

活-07　意向形

準備する物

談話の技術

- 応答する（いいですね／いいですよ）
- あいづちをうつ（そうですか）
- 会話を終わる：（じゃあ、また今度／じゃあ、またいつか行きましょう）

使うことば

買い物、思う、いっしょに、前、バス停＊、会う、ハイキング＊、出かける、また、いつか、カラオケ＊、いっしょ、ほか、約束、今度、映画、釣り＊、ゲーム＊、テニス、パーティー、音楽

▲またいつか行きましょう／すみません／また今度

手　順

1. 教師は学習者に今度の日曜日にすることを聞く。そのうち10の行動を下のようなリストにして黒板に書く。

・買い物に行く	・勉強をする
・映画を見る	・ハイキングに行く
・カラオケに行く	・つりに行く
・ゲームをする	・テニスをする
・パーティーをする	・音楽を聞く

2. 学習者は10の行動の中から2つ選んで、ノートに書く。

3. 学習者は＜モデルテキスト＞（1）のようにほかの学習者に聞いて、仲間を探す。その時、会う時間と場所も決める。2つの行動は、同じ時間にならないように注意し、不都合なことがあれば断る。また、仲間は一人だけではなく、二人以上でもいい。その時には、初めに約束をした友達にも知らせる。

4. 学習者はクラス全体に、＜モデルテキスト＞（2）のように今度の日曜日の予定を報告する。

モデルテキスト

(1) 会話

① いとう　：日曜日に買い物に行こうと思うんですが、田中さんは。
田中　：わたしも買い物に行こうと思っています。
いとう　：じゃあ、いっしょに行きませんか。
田中　：いいですね。行きましょう。
いとう　：じゃあ、10時に学校の前のバスていで会いませんか。
田中　：いいですよ。

② すずき　：日曜日にハイキングに行こうと思うんですが、山田さんは。
山田　：わたしは日曜日には出かけたくないです。
すずき　：そうですか。じゃあ、またいつか行きましょう。

③ たかはし：日曜日にカラオケに行こうと思うんですが、さとうさんは。
さとう　：わたしもカラオケに行きます。山本さんもいっしょです。4時にあさひ駅の前で会うやくそくです。いっしょに行きませんか。
たかはし：4時ですか…。すみません、4時はほかのやくそくがあります。
さとう　：そうですか。じゃあ、また今度。

(2) 報告

① わたしは、今度の日曜日に田中さんと買い物に行きます。
② 今度の日曜日に、わたしは山本さんといっしょにカラオケに行きます。

バリエーション

(1) いっしょに行動する仲間をできるだけ多く集める。

17-7 将来の夢♡

活動

(1) 将来の夢についての文章を読んで理解する。
(2) 自分の将来について作文を書く。

かたち

時間

(1) ●●○
(2) ●●●

せつめい編

★文-67　V（よ）うとおもいます
文-69　の（名詞化）
文-70　ために
活-07　意向形

談話の技術

・内容を構成する

準備する物

使うことば

高校、卒業〔する〕、大学、入る、先生、なる、いちばん、近い、そして、きれい、大好き、小学生＊、若い、男、ユーモア＊、明るい、悪い、大きい、声、しかる、クラス、生徒、みんな、小学校、同じ、夢、将来、子供、教える、好き、喜ぶ、教育学部＊、一生懸命、仕事、どうして、アンケート＊、そのほか＊、答える、働く
▲そう思う

手　順

(1) 読解

1. ＜モデルテキスト＞を読んで、そのあとの質問に答える。

(2) 作文

1. ＜タスクシート＞の将来についてのアンケートに答える。
2. ＜タスクシート＞に書いた答えを使い、＜モデルテキスト＞を参考にして、将来の夢についての作文を書く。

モデルテキスト

しょう来のゆめ

田中みゆき

わたしは高校をそつ業したら、大学に入ろうと思っています。しょう来先生になりたいからです。先生になるためには、大学でいろいろ勉強しなければなりません。

いちばん入りたい大学は、かんとう大学です。その大学は、わたしのうちから近いです。そして、とても大きくて、きれいな大学です。わたしの大すきな先生も、かんとう大学をそつぎょうしました。

その先生は、山田先生といいます。わたしが小学生のときの先生です。山田先生はわかい男の先生で、ユーモアがあって、明るい先生でした。わたしたちが悪いことをしたときは、大きい声でわたしたちをしかりましたが、クラスの生とはみんな、山田先生が大好きでした。

小学校をそつ業するとき、わたしも山田先生と同じ先生になろうと思いました。先生になるのは、今もわたしのゆめです。先月、わたしは山田先生に会いに行きました。そして、しょう来小学校の先生になろうと思っていると言いました。わたしは子どもが大好きで、教えるのも好きだと言いました。先生は、とてもよろこんでいました。

今は、大学の教いく学部に入るために、勉強しています。一生けんめい勉強して、大学に入って、いい先生になろうと思っています。

◆ 質問

(1) 田中さんがいちばん入りたいと思っている大学は、どこですか。

(2) 田中さんは、しょう来何になろうと思っていますか。

(3) いつからそう思っていますか。

(4) その仕事をしようと思っているのは、どうしてですか。二つ書いてください。

＜答え＞

① 関東大学です。

② 小学校の先生になろうと思っています。

③ 小学生のときからそう思っています。

④ 子どもが好きで、教えるのも好きだからです。

タスクシート

しょう来についてのアンケート

名前（　　）

1. 高校をそつ業してから、何をしようと思っていますか。

① 学校へ行く（大学・そのほか）　②働く　③そのほか

A. ①と答えた人

どんな勉強をしようと思っていますか。

B. ②と答えた人

どこで働こうと思っていますか。

C. ③と答えた人

何をしようと思っていますか。

2. しょう来何になろうと思っていますか。

3. それはどうしてですか。

バリエーション

(1) 学習者の「将来の夢」の作文を集めて、作文集を作る。

先生へ

・＜モデルテキスト＞中の、「先生になろうと思いました。」という表現は、「先生になろうと決心した」という意味。

18-1 春になると・・・

活動 「と」を使った条件文を次々につなげて言う。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★助 -31　と（条件）

談話の技術

準備する物

使うことば

春、なる、暖かい、桜＊、咲く、お花見、集まる、にぎやか、鳥、虫、増える、静か

手　順

1. 教師は、(1)の絵を学習者に見せて、＜モデルテキスト＞（1）の文を黒板に書く。さらに、(2）の文の初めの半分を黒板に書く。
2. 学習者は、(2)の絵を見て、文の続きを考えて言う。
3. 正しい文が出たら、（3）以降も同じように、絵を見て文を作る。
4. 最後の文までいったら、全体を確認する。

モデルテキスト

（1）春になると、あたたかくなります。

（2）あたたかくなると、さくらがさきます。

（3）さくらがさくと、たくさんの人がお花見に来ます

（4）たくさんの人がお花見に来ると、にぎやかになります。

（5）にぎやかになると、鳥がいなくなります。

（6）鳥がいなくなると、むしがふえます。

（7）むしがふえると、人がいなくなります。

（8）人がいなくなると、しずかになります。

先生へ

・非過去形で練習させること。

・ある条件で必ず起こることか、習慣的なことを言うように指導する。

・最初の文として使えるほかの題には次のようなものが考えられる：

日本語を勉強すると…

夜遅く寝ると…

休みになると…

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)

18-2 準備をしておきます♡

活動

(1) 準備することのリストを見て、その行事を当てる。
(2) ある行事のためにどんな準備が必要か考えて言う。

かたち

(1) (2)

時間

(1) ●○○
(2) ●○○

せつめい編

★文-72　Vておきます

談話の技術

準備する物

使うことば

留学生、お別れパーティー＊、キャンプ＊、旅行、劇＊、飛行機、チケット＊、パスポート＊、作る、ホテル、予約〔する〕、友だち、手紙、お金、貯める＊、円＊、換える＊、ホストファミリー＊、あげる、お土産、習う、プレゼント、食べ物、飲み物、招待状＊、スピーチ＊、練習〔する〕、場所、借りる、CD＊、テープ、ポスター＊、はる＊、服、用意〔する〕、道具、椅子、並べる、役＊、決める、ことば、覚える、声、テント＊、張る＊、料理、調べる、天気予報、コンサート、店、材料＊、水、切る、洗う、お湯、沸かす、メニュー＊、皿、ゲーム＊、考える、賞品＊

▲声を出す

手　順

(1) 読解

1. ＜モデルテキスト＞(2)「準備すること」を読んで、①～④のそれぞれが、＜モデルテキスト＞(1) ア～エのどの行事か考える。

(2) 作文

1. 3、4人のグループに分かれ、グループごとに文化祭の出し物を選んで、その準備として必要なことを考えて、書き出す。
2. グループごとに、書いたことを発表する。

モデルテキスト

（1）行事

ア. 留学生のお別れパーティー　　イ. キャンプ

ウ. 日本への旅行　　エ. げき

（2）準備すること

①

- ひ行きのチケットを買っておく
- パスポートを作っておく
- ホテルをよやくしておく
- 日本の友だちに手紙を書いておく
- お金をためておく
- お金を円にかえておく
- ホストファミリーにあげるおみやげを買っておく
- 日本語を習っておく

②

- プレゼントを買っておく
- 食べ物や飲み物を買っておく
- しょうたいじょうを書いておく
- お別れのスピーチを練習しておく
- 場所を借りておく
- ＣＤやテープを借りておく

③

- ポスターを作って、はっておく
- 服を用意しておく
- 道ぐを用意しておく
- いすをならべておく
- 役をきめておく
- ことばをおぼえておく
- 大きい声を出す練習をしておく

④

- 食べ物や飲み物を買っておく
- テントを借りておく
- テントをはる練習をしておく
- 作る料理をきめておく
- 行き方をしらべておく
- 天気よほうを見ておく

＜答え＞

①ウ、②ア、③エ、④イ

先生へ

- ＜手順＞（2）のための文化祭の出し物とその準備例：

  「コンサート」：

  - ポスターを作って、はっておく
  - いすを並べておく
  - 歌を覚えておく
  - マイクやスピーカーを用意しておく

  「食べ物の店」：

  - 材料を買っておく
  - 水を用意しておく
  - 材料を洗っておく
  - お湯を沸かしておく
  - メニューを作っておく
  - 皿を用意しておく

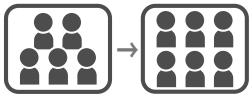
  「ゲームの店」：

  - ゲームを考えておく
  - 道具を用意しておく
  - 賞品を用意しておく
  - ポスターを作っておく
- 「文化祭」が学習者になじみのないものであれば、学習者の学校で行っている行事にする。例えば、体育祭（運動会）、球技大会（スポーツ大会）、合唱コンクール、遠足、学芸会、テスト、防災訓練など。
- 行事の名前は学習者の母語でもよい。
- 日本の学校についての情報は、下のホームページ参照：

  「KIDS WEB JAPAN：学校へ行こう」http://jin.jcic.or.jp/kidsweb/school-j.html

18-3 ボランティア

活動 自分で決めたことを言う／あみだくじで決まったことを言う。

かたち 

時間 ●●○

せつめい編

★文-73　Vこと／Nになります

★文-74　Vこと／Nにします

準備する物

談話の技術

- 相手の発話を聞いて話を進める（じゃあ）
- 間をとる（ええと）
- 確認する（～ですね）

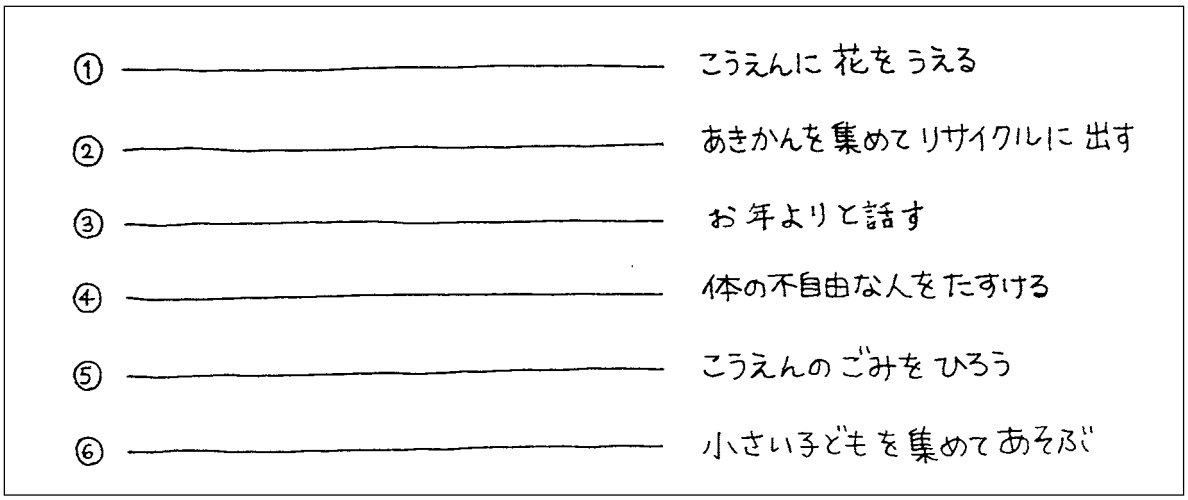
使うことば

公園、花、植える、空き缶＊、集める、リサイクル＊、出す、お年寄り＊、話す、体、不自由＊、助ける＊、ごみ、拾う、子供、遊ぶ、どれ、同じ、仕事、探す

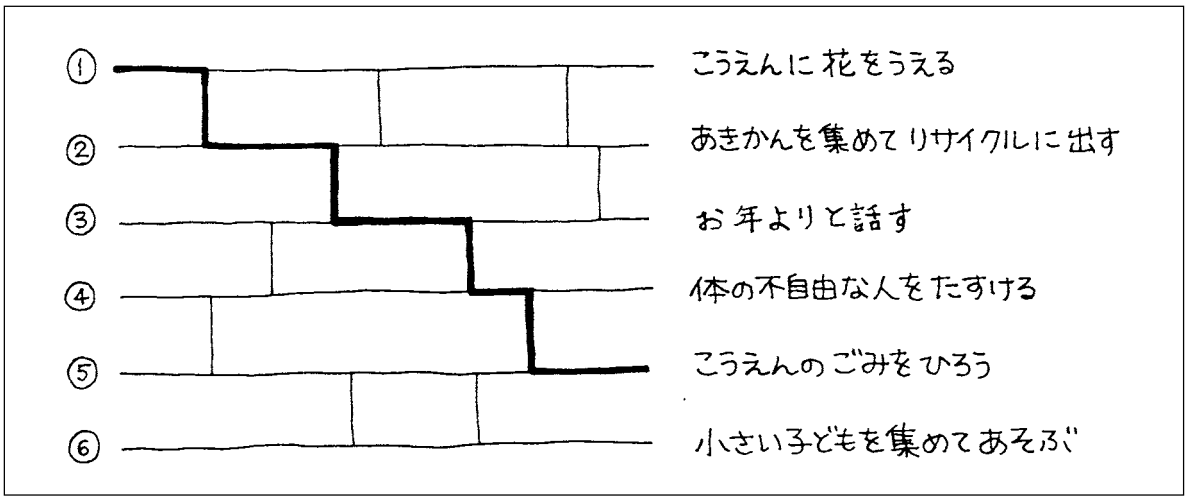
手　順

1. 初めに、教師はクラスのみんなで地域のボランティア活動をすることになり、生徒の担当する活動をこれから決めるという状況設定を説明する。
2. 教師は次のような手順であみだくじを作る。
   ①図（1）のように長い横線を活動の数だけ黒板に書く。
   ②線の左端に数字を書き、右端に活動を書く。活動の部分はできれば隠しておく。
3. 活動の数と同じ人数のグループを作る。
4. 各グループの中で、順番を決め、決めた順番に、一人ずつ＜モデルテキスト＞（1）のように、あみだくじの番号を選ぶ。すでに他の人が選んだ番号は選べないことにする。
5. 図（2）のように横線の間に短い縦線を適当に書く。図（2）の左の番号から横線と縦線を順番にたどっていき、結びついた活動がその番号の活動になる。
6. 学習者は＜モデルテキスト＞（2）のように会話をしながら、ほかのグループで同じ活動になった人を探す。
7. いっしょに活動をするグループが決まったら、自分たちのグループが何をするかを＜モデルテキスト＞（3）のように発表する。

あみだくじの図（ず）（1）



あみだくじの図（ず）（2）



モデルテキスト

（1）A：B さんはどれにしますか。

B：わたしは 1 にします。

C さんはどれにしますか。

C：ええと、わたしは 3 にします。

D さんはどれにしますか。

D：じゃあ、わたしは 2 にします。

E さんはどれにしますか。

E：わたしは 5 にします。

F さんは。

F：わたしは 6 にします。

A：じゃあ、わたしは 4 ですね。

（2）G：Bさんは何(なに)をすることになりましたか。

B：わたしは、こうえんのごみをひろうことになりました。

G さんは、何(なに)をすることになりましたか。

G：わたしも、こうえんのごみをひろうことになりました。

じゃあ、同(おな)じ仕事(しごと)をする人(ひと)をさがしましょう。

（3）わたしたちは、こうえんのごみをひろうことになりました。

バリエーション

(1) クラス全員が参加して行う別の活動を設定する。

例：文化祭

先生へ

- あみだくじは、縦に長い線を引いて、その間に横の線を引くのが一般的だが、ここでは、黒板に書きやすいように、横書きにした。
- 実際に仕事の分担などを決めるときに、あみだくじを使うことができる。

18-4 ジェスチャー・ゲーム

活動 ジェスチャーを見て、その様子から状況を推測して言う。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-71　そうです（様態）

談話の技術

準備する物

使うことば

寒い、忙しい、元気、落ちる、熱い、暑い、倒れる、痛い、うれしい、おいしい、重い、面白い、悲しい、楽しい、つまらない、強い、眠い、まずい、遅れる、泣く、眠る、踏む

手　順

1. 教師は、ことばを使わずにジェスチャーだけで表現できそうな形容詞と動詞を黒板に書く。
2. 学習者は、5～7人のグループに分かれる。
3. グループごとに、一人ずつ黒板に書いてある形容詞か動詞を1つ選び、それをジェスチャーを使って表現する。グループの他の人は、その様子を見て、＜モデルテキスト＞のように「～そう」を使って、ジェスチャーで表していることばを当てる。
4. 答えが当たったら、次の人と交代する。

モデルテキスト

寒(さむ)そうです

いそがしそうです

元気(げんき)そうです

おちそうです

たおれそうです

バリエーション

(1) 全部(ぜんぶ)のグループが同時(どうじ)にスタートし、全員(ぜんいん)がジェスチャーをして正解(せいかい)が出(で)たグループは、その場(ば)に座(すわ)ることにし、いちばん早(はや)く終(お)わったグループが勝(か)ちとする。

(2) ジェスチャーが上手(じょうず)にできた人(ひと)が、みんなの前(まえ)でジェスチャーをして、ほかの人(ひと)が当(あ)てる。

先生へ

・ことばを使(つか)わずにジェスチャーだけで、状況(じょうきょう)が表現(ひょうげん)しやすい形容詞(けいようし)と動詞(どうし)：

形容詞(けいようし)：熱(あつ)い、暑(あつ)い、忙(いそが)しい、痛(いた)い、うれしい、おいしい、重(おも)い、おもしろい、悲(かな)しい、元気(げんき)、寂(さび)しい、寒(さむ)い、楽(たの)しい、つまらない、強(つよ)い、眠(ねむ)い、まずい

動詞(どうし)　：落(お)ちる、遅(おく)れる、倒(たお)れる、泣(な)く、眠(ねむ)る、踏(ふ)む

18-5 劇をすることにします ♡

活動 決めたことと決めた理由を書く。

かたち

時間 ●○○

せつめい編

★文-74　Vこと／Nにします

談話の技術

準備する物

使うことば

文化祭＊、劇＊、歌、歌う、カレー屋＊、ハンバーガー屋＊、富士山＊、車、電車、テレビ、ドラマ＊、サッカー、CD＊、洋服、母の日＊、花、あげる、スカーフ＊、高校生、バレーボール＊、～部＊、入る、水泳、空手＊、習う、お茶

▲おなかがすく

手　順

1. 学習者はペアになる。
2. ＜モデルテキスト＞（1）の①～⑧を読んで、それぞれの学習者はどちらかの答えを選び、＜モデルテキスト＞（2）のように、決めたことと決めた理由を書く。
3. ペアでお互いに決めたことを話す。

モデルテキスト

（1）①文化(ぶんか)さいでげきをします。／文化(ぶんか)さいで歌(うた)を歌(うた)います。

②おなかがすいたら、カレー屋(や)に行(い)きます。／

おなかがすいたら、ハンバーガー屋(や)に行(い)きます。

③ふじ山(さん)へ車(くるま)で行(い)きます。／ふじ山(さん)へ電車(でんしゃ)で行(い)きます。

④8時(じ)からテレビでドラマを見(み)ます。／

8時(じ)からテレビでサッカーを見(み)ます。

⑤お金(かね)があったら、ＣＤ(シーディー)を買(か)います。／

お金(かね)があったら、洋服(ようふく)を買(か)います。

⑥母(はは)の日(ひ)に花(はな)をあげます。／母(はは)の日(ひ)にスカーフをあげます。

⑦高校生(こうこうせい)になったら、バレーボール部(ぶ)に入(はい)ります。／

高校生(こうこうせい)になったら、水(すい)えい部(ぶ)に入(はい)ります。

⑧時間(じかん)があったら、空手(からて)を習(なら)います。／

時間(じかん)があったら、お茶(ちゃ)を習(なら)います。

（2）わたしは歌(うた)が好(す)きだから、文化(ぶんか)さいで歌(うた)を歌(うた)うことにします。

18-6 クラブ紹介

活動

(1) クラブ活動についての説明を聞く。
(2) 話し合って、入るクラブを選ぶ。

かたち

(1) (2)

時間

(1) ●●○
(2) ●●○

せつめい編

（文 -53　V なければなりません）
★文 -71　そうです（様態）
★文 -74　V こと／N にします
助 -31　と（条件）

準備する物

談話の技術

- 会話を始める（あのう）
- 相手の発話を確認する（～ですか）
- 間をとる（ええと）
- 相手の発話を聞いて話を進める（じゃあ）
- 応答する（ああ、～ですね）
- あいづちをうつ（ええ）

使うことば

ぼく、クラブ＊、強い、毎日、練習、厳しい、グラウンド＊、～周＊、走る、それから、バット＊、ボール＊、片付ける、でも、先輩、親切、相談〔する〕、楽しい、先生、優しい、絵、かく、道具、～週間、毎月、ですから＊、じょうず、体育館＊、準備運動＊、疲れる、掃除〔する〕、試合、なかなか、チーム＊、勝つ、朝、夕方、夏休み、大切、コンクール＊、大変、生徒、全員＊、歌、新聞、記事＊、作る、好き、考える、国語＊、社会、成績＊、～部＊、野球＊、美術＊、バスケットボール＊、コーラス＊、クラブ活動＊

▲ ～について

手　　順

（1）聴解

1. クラスの中で、クラブ活動をしている人に、どんなクラブに入っているか、練習はどのくらいあるかなどを聞く。クラブの名前は母語でも構わない。
2. 日本の学校にはどんなクラブ活動があるか、イラストを見て、クラブの名前を確認する。日本語が難しければ、母語でも構わない。
3. テープを聞き、クラブの説明と合う絵を選ぶ。

（2）会話

1. テープをもう一度聞く。
2. ペアを作り、＜モデルテキスト＞（2）のように話し合って、自分の入るクラブを決める会話をする。

モデルテキスト

（1）聴解

①ぼくたちのクラブはとても強いです。毎日練習があります。土曜日も日曜日も練習をしなければなりません。練習はきびしいです。毎日グラウンドを 10 しゅう走らなければなりません。それから、1 年生は練習のあとで、バットやボールをかたづけなければなりません。でも、先ぱいはとても親切で、先ぱいに何でもそうだんすることができます。

②わたしたちのクラブはとても楽しいです。先生も先ぱいもとてもやさしいです。えをかく道ぐを買わなければなりませんが、あまり高くありません。クラブの日は 1 週間に 1 日だけですが、毎月 1 まい、えをかかなければなりません。ですから、えがとてもじょうずになります。

③わたしたちのクラブは、練習のまえに、体いく館を 10 しゅう走ります。練習のまえに、じゅんび運動をたくさんしなければなりません。練習をすると、とてもつかれます。1 年生は練習のあとで、体いく館をそうじしなければなりません。強くないと、試合に出られません。ですから、1 年生のときは、なかなか試合に出られません。でも、わたしたちのチームは強くて、いつもかちます。

④わたしたちのクラブは、毎日朝と夕方に練習をしなければなりません。夏休みのあと、大切なコンクールがありますから、夏休みも毎日練習をします。練習はたいへんですが、クラブの生とはぜん員コンクールに出られます。毎日練習をしますから、歌がじょうずになります。

⑤わたしたちのクラブでは、毎日新聞を読まなければなりません。き事の書き方を勉強しなければならないからです。先生はやさしいですが、先ぱいはきびしいです。でも、わたしたちは新聞を作ることがとても好きです。毎日いろいろなき事を読んで、それについて考えたり書いたりするので、国語や社会のせいせきがよくなります。

＜答え＞

①ウ. 野球部、②カ. 美術部、③ア. バスケットボール部、④オ. コーラス部、⑤イ. 新聞部

（2）会話

A：あのう、クラブ活動は何にするんですか。

B：ええと、何がいいと思いますか。

A：（　バスケットボール部　）はどうですか。

B：（　バスケットボール部　）ですか。（　練習がたいへん　）そうだから、ちょっと…

A：じゃあ、（　びじゅつ部　）はどうですか。

B：（　びじゅつ部　）ですか。

A：ええ。

B：ああ、（　おもしろ　）そうですね。（　びじゅつ部　）にします！

バリエーション

(1) ＜手順＞（2）で、テープを聞く代わりに、＜モデルテキスト＞(1) を読み、クラブを選ぶ会話をする。

(2) 教師は、日本の学校のクラブを選択肢として与え、学習者は、その中から入るクラブを選ぶ会話をする。

(3) 自分たちのクラブの紹介文を書く。練習のスケジュールや決まりなどの厳しい面だけでなく、活動をする利点も入れるようにする。

＜バリエーション (3) の手順＞

1. 同じクラブに入っている人が集まってグループになり、＜モデルテキスト＞（1）を参考にしながら、自分たちが入っているクラブについての紹介文を書く。個人で書いても構わない。
2. 紹介文ができたら、みんなの前で発表する。

先生へ

- ＜手順＞（2）の会話は、＜モデルテキスト＞（2）の（　　）に適当なことばを入れて完成し、練習するとよい。
- 「たいへんそう」「おもしろそう」の代わりに、「おもしろくなさそう」「きびしくなさそう」のように否定形が入る場合もある。
- 「～そう」を使った表現例：
  「練習がたいへんそう」「男の子／女の子が多そう」「むずかしそう」
- ＜バリエーション＞（2）の選択肢としては以下のようなものがある。
  例：野球部、テニス部、バスケットボール部、水泳部、柔道部、剣道部、サッカー部、美術部、茶道部、コーラス部、書道部、科学部、演劇部
- クラブの名前は、「野球部」のように、あとに「部」をつけて呼ぶ。日本語がわからない場合には、「部」だけを後につけて母語を使うこともできる。
- 『写真パネルバンク Ⅱ. 社会生活シリーズ』147 （クラブ活動）参照。
- 日本の学校についての情報は、下のホームページ参照：
  「KIDS WEB JAPAN：学校へ行こう」http://jin.jcic.or.jp/kidsweb/school-j.html

＜クラブの名前＞

ア. バスケットボール部　イ. 新聞部　ウ. 野球部　エ. サッカー部　オ. コーラス部
カ. 美術部

18-7 忙しい２学期

活動 日本の学校行事について話している会話を聞く。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

文-71　そうです（様態）

文-72　Vておきます

文-73　Vこと／Nになります

文-74　Vこと／Nにします

談話の技術

準備する物

使うことば

留学〔する〕＊、同じ、クラス、～学期＊、予定、予定表＊、いちばん、長い、行事＊、まず、球技大会＊、球技＊、ことば、わかる、バレーボール＊、バスケットボール＊、ボール＊、使う、スポーツ、野球＊、自分、得意＊、楽しい、出る、中間テスト＊、～週間、毎日、テスト、たいへん、だから、あと、修学旅行＊、旅行、今年、飛行機、北海道＊、最初、～間＊、町、ホテル、泊まる、次、山、近く、旅館、スキー＊、わあ＊、楽しみ、マラソン大会＊、海、～キロ、走る、マラソン＊、初めて、ゆっくり、期末テスト＊、最後、終わる、冬休み＊、忙しい、がんばる

▲もうすぐ／少しずつ

手　順

1. テープを聞くまえに、教師は、学習者にどんな学校行事があるか考えさせ、確認する。
2. 学習者はテープを聞きながら、＜タスクシート＞の行事リストから適当なものを選んで、＜予定表＞の「行事」の欄に聞いた順に書く。
3. クラスで＜タスクシート＞の行事を確認する。
4. もう一度テープを聞いて、それぞれの行事がどんなものか、わかったことを＜予定表＞の右側のメモ欄に書く。
5. それぞれの行事についてわかったことを発表する。

モデルテキスト

リンさんは日本に留学しています。同じクラスのすずきさんが、リンさんに2がっきのよていを説明しています。

すずき：リンさん、これが2学きのよていひょうです。
　　2学きはいちばん長くて、行事がたくさんあります。

リン　：そうですか。

すずき：まず、もうすぐきゅうぎ大会があります。「きゅうぎ」ということばはわかりますか。

リン　：いいえ。

すずき：バレーボールやバスケットボールなどの、ボールを使うスポーツです。

リン　：ああ、野きゅうの「きゅう」と同じですか。

すずき：そうです。きゅうぎ大会では、みんな自分のとくいなきゅうぎをします。とても楽しいですよ。わたしは、バスケットボールに出ようと思っています。

リン　：わたしはバレーボール。

すずき：きゅうぎ大会のあとに、中間テストがあります。月曜日から金曜日まで、1週間毎日テストがあります。

リン　：たいへんそうですね。

すずき：ええ。だから、今から少しずつ勉強しておきましょう。
　　そのあとは、しゅう学旅行です。

リン　：しゅう学旅行。

すずき：ええ。2年生がみんなで行く旅行です。今年は、ひ行きで北海道へ行くことになりました。さいしょの二日間は、町の中にあるホテルにとまって、つぎの二日間は、山の近くにある旅館にとまります。スキーをすることもできます。

リン　：わあ、スキー。楽(たの)しみですね。

すずき：ええ。それから、12月(がつ)にはマラソン大会(たいかい)があります。学校(がっこう)から海(うみ)まで10キロ走(はし)ります。

リン　：わたしはマラソンをしたことがないんです。

すずき：はじめての人(ひと)でもだいじょうぶですよ。いっしょにゆっくり走(はし)りましょう。そして、きまつテストがあります。きまつテストは、2学(がっ)きのさい後(ご)のテストです。

リン　：それが終(おわ)わると、冬休(ふゆやす)みですね。

すずき：そうです。2学(がっ)きはいそがしいけれど、楽(たの)しいこともたくさんありますから、がんばりましょうね。

タスクシート

行事リスト： マラソン大会、中間テスト、きまつテスト、きゅうぎ大会、しゅう学旅行

予定表

	行事	メモ
1		
2		
3		
4		
5		

＜答え＞

	行事	メモ
1	きゅうぎ大会	自分のとくいなスポーツをする
2	中間テスト	1 週間毎日テストがある
3	しゅう学旅行	2 年生が北海道へ行く／スキーもできる
4	マラソン大会	学校から海まで 10 キロ走る
5	きまつテスト	2 学きのさい後のテスト

バリエーション

(1) タスクシートのメモを見ながら、「そうです」（様態）を使って、それぞれの行事について短い感想を書く。

(2) 行事のリストを提示しないで、書かせる。

先生へ

- ＜タスクシート＞のメモ欄の書き方は一通りではないので、＜答え＞の通りでなくてもよい。
- 日本の学校についての情報は、下のホームページ参照：
  「KIDS WEB JAPAN：学校へ行こう」http://jin.jcic.or.jp/kidsweb/school-j.html

18-8 日本の学校行事 ♡

活動
(1) 日本の学校行事についての文章を読んで理解する。
(2) 学習者の学校の行事を説明する作文を書く。

かたち
(1) (2)

時間
(1) ●●○
(2) ●●●

せつめい編

文-73　Vこと／Nになります
★助-31　と（条件）

談話の技術

・内容を構成する

準備する物

使うことば

今度、文化祭＊、国、学校行事＊、調べる、教える、でも、まず、紹介〔する〕、次、新しい、学年＊、始まる、担任＊、変わる、そして、入学〔する〕、卒業〔する〕、学期＊、～学期＊、それぞれ＊、中間テスト＊、期末テスト＊、終わる、長い、休み、夏休み、冬休み＊、春休み＊、来年、楽しい、行事＊、合唱コンクール＊、マラソン大会＊、秋、例えば、体育祭＊、赤、白、黄色、青、チーム＊、分かれる＊、～メートル、競走＊、リレー＊、綱引き＊、クラブ＊、食べ物、飲み物、売る、劇＊、コンサート、外国、発表〔する〕＊、近づく＊、毎日、遅く＊、残る、準備、外、家族、大勢、だから、にぎやか、大切、毎年、京都＊、奈良＊、修学旅行＊、お寺、神社、木の葉＊、楽しみ＊、間、遠足＊、～組＊、予定

▲皆さん／はじめまして／～について／楽しみにする／もう一つ／それでは、さようなら

手　順

(1) 読解

1. ＜モデルテキスト＞の手紙を読む。
2. ＜タスクシート＞に日本の学校の年間のスケジュールを記入する。
3. 答えを確認する。

(2) 作文

1. 返事の手紙を書く前に、日本の学校行事と自国の学校行事の違いについて話し合い、自分の学校の行事について＜タスクシート＞の表にメモする。
2. 返事の手紙を書く。

モデルテキスト

　みなさん、はじめまして。わたしたちはさくら高校の2年生です。わたしたちは、今度文化さいのために、みなさんの国の学校行事についてしらべることになりました。みなさんの学校行事について教えてください。でも、まず、わたしたちの学校の行事をしょうかいします。

　日本の学校の1年は、4月からつぎの年の3月までです。4月には、新しい学年が始まって、たんにんの先生やクラスがかわります。そして、新しい1年生が入学します。1年に三つの学きがあります。1学きは4月から7月まで、2学きは9月から12月まで、3学きは1月から3月までです。

それぞれの学きに、中間テストときまつテストがあります。そして、学きが終わると、長い休みがあります。夏休みと冬休みと春休みです。3月になると、3年生がそつ業します。来年の春休みが終わって4月になると、わたしたちは3年生になります。

　わたしたちの学校では、楽しい行事がいろいろあります。わたしたちが楽しみにしているのは、まず、5月の合しょうコンクールと、6月のマラソン大会です。秋にはたくさんの行事があります。たとえば、9月の体いくさいや、10月の文化さいです。体いくさいでは、赤、白、き色、青の4つのチームに分かれて、100メートルきょう走や、リレーや、つな引きなどをします。文化さいでは、クラスやクラブでいろいろなことをします。たとえば、食べ物や飲み物を作って売ったり、げきやコンサートをしたり、日本や外国のことについてしらべて、発ぴょうしたりします。文化さいが近づくと、毎日おそくまで学校にのこって、みんなでじゅんびをします。文化さいには、家族やほかの学校の生となどがおおぜい来ます。だから、とてもにぎやかで楽しいです。

秋には、もう一つ大切な行事があります。11月になると2年生は毎年京都と奈良へしゅう学旅行に行きます。京都と奈良では、お寺や神社などを見ます。秋になると、木のはが赤やき色にかわるので、秋の京都と奈良はとてもきれいだと、先生が言っていました。だから、行くのがとても楽しみです。2年生がしゅう学旅行に行っている間に、1年生と3年生は遠そくに行きます。

みなさんの学校ではどんな行事がありますか。教えてください。

それでは、さようなら

さくら高校2年1くみ
山本けんじ

タスクシート

学校の１年間のよてい

月	さくら高校の行事	学き／休み	(　自分の学校　)の行事	学き／休み
4月	学年が始まる／ １年生が入学する			
5月	合しょうコンクール	１学き		
6月				
7月				
8月		夏休み		
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				

＜答え＞

学校の１年間のよてい

月	さくら高校の行事	学き／休み
4月	学年が始まる／１年生が入学する	1学き
5月	合しょうコンクール	
6月	マラソン大会	
7月		
8月		夏休み
9月	体いくさい	2学き
10月	文化さい	
11月	しゅう学旅行、えんそく	
12月		冬休み
1月		3学き
2月		
3月	3年生がそつ業する	春休み

先生へ

- 作文を書くまえに、必要な未習の語彙や表現を母語の訳もつけて黒板に書くとよい。
- 作文の構成は、＜モデルテキスト＞を参考にする。

  作文構成の例：①初めのあいさつ
  ②手紙を書いている理由
  ③1年のスケジュール
  ④主な行事とそれぞれの説明
  ⑤結び
- ＜手順＞（2）の返事の手紙は宿題にしてもよい。
- 日本の学校についての情報は、下のホームページ参照：

  「KIDS WEB JAPAN：学校へ行こう」http://jin.jcic.or.jp/kidsweb/school-j.html

19-1 来週の木曜日の試験

活動 ほかの人から聞いたことを別の人に伝える。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-78　そうです（伝聞）

談話の技術

準備する物

使うことば

試験、科目＊、数学、日本語＊、いつ、どこ、だれ、どんな、持って来る、物、来週、～時間目＊、場所、勉強〔する〕、教室、図書館、クラス、全員＊、～番、生徒、だけ、受ける、計算機＊、辞書

手　順

1. 教師は下のような表を黒板に書く。学習者はノートに写す。
2. 学習者は5人ずつのグループに分かれる。
3. グループの中で、表の(1)～(5)の情報の係を決める。
4. 教師は、教室の外に(1)～(5)の＜じょうほうカード＞をはっておく。
5. 教師が合図をして、まず各グループの(1)の係の人が情報カードを見に行く。カードに書かれた情報を覚えて、＜モデルテキスト＞のように各グループに報告する。ほかの学習者は、聞いた情報を表にメモする。(2)～(5)の係も同じように繰り返す。
6. 全てのグループが情報を書き終わったら、グループごとに答えを発表して、クラスで確認する。

（れい）科目	すう学	⇒	日本語
(1)　いつ	2時間目	⇒	
(2)　どこ	いつも勉強している教室	⇒	
(3)　だれ	クラスぜんいん	⇒	
(4)　どんな試験	読んだり書いたりする試験	⇒	
(5)　持って来る物	計さんき	⇒	

モデルテキスト

（れい）来週の木曜日の試験は、すう学ではなくて日本語になるそうです。

（1）試験は、2時間目ではなくて、3時間目になるそうです。

（2）試験の場所は、いつも勉強している教室ではなくて、図書館だそうです。

（3）クラスのぜん員ではなくて、（1ばんから15ばんまでの生と）だけが試験をうけるそうです。

（4）試験は、読んだり書いたりする試験ではなくて、話す試験だそうです。

（5）試験では、計さんきではなくて、日本語のじ書を使うそうです。

じょうほうカード

（れい）来週の木曜日の試験は、すう学ではなくて、日本語になります	（1）来週の木曜日の試験は、2時間目ではなくて、3時間目になります。
（2）試験の場所は、いつも勉強している教室ではなくて、図書館です。	（3）クラスぜん員ではなくて、（1ばんから15ばんまでのせいと）だけが試験をうけます。
（4）試験は、読んだり書いたりする試験ではなくて、話す試験です。	（5）試験では、計さんきではなくて、日本語のじ書を使います。

バリエーション

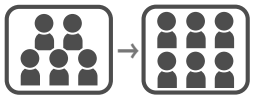
（1）クラスから学習者が5人出て情報係になり、それぞれ自分の担当の情報を各グループに伝える。

先生へ

- 最初に（例）を使って、活動の方法を学習者に示すとよい。
- 情報カードの（3）は、クラスの状況によって、内容を変える。
  （例）　名前のイニシャルがA～Mの生徒
- 「試験」以外の話題にする場合、学校内のできごとなど、学習者に身近な話題にする。

19-2 新聞を読んで

活動 ニュースで聞いたことを伝える。

かたち 

時間 ●●○

せつめい編

★文-78　そうです（伝聞）

談話の技術

話を構成する（報告）

準備する物

新聞の記事（グループの数）

使うことば

新聞、いつ、どこ、どんな、先週、～市、マラソン大会＊、走る、ニュース、報告〔する〕＊

手　順

1. 教師は、授業の前に、学習者の母語で書かれた新聞の記事をグループの数だけ選んでおく。記事はできるだけ日本語でも言える簡単な内容のものを選ぶ。
2. 学習者は4、5人のグループに分かれる。
3. 教師はグループに1つずつ新聞の記事を配る。
4. 教師は黒板に＜タスクシート＞の表を書く。学習者は表をノートに写す。
5. 学習者はグループで協力して、新聞記事を読んで、その大まかな内容（いつ、どこで、何が、だれが、どうした）を表に書く。その際、日本語がわからない場合は母語でメモしてもよい。
6. 表のメモを見ながら、＜モデルテキスト＞のように記事の内容をみんなの前で報告する。

タスクシート

いつ	どこで	何が、だれが、どうした
（れい） 先週の日曜日	みどり市で	マラソン大会がありました。 300人の人が走りました。

モデルテキスト

ニュースです。先週の日曜日、みどり市でマラソン大会があったそうです。300人の人が走ったそうです。

バリエーション

（1）テレビや新聞で知ったニュースについて、
「そうです」を使って報告する。

先生へ

・学習者にとってわかりやすいニュースをさがすのが難しければ、教師が簡単な日本語でニュースを作って提示する。

（例）

① きのう、日本の京都でおまつりがあって、昔の着物を着た人が町を歩きました。お祭りを見るために、たくさんの人が集まりました。

② 先週、日本の九州でたくさんの雨がふって、洪水になりました。たくさんの人が近くの学校に逃げました。

③ きのう、午後5時ごろ、あさひ町で交通事故が起きました。トラックが歩いている人にぶつかって、3人がけがをして、1人が亡くなりました。

④ 来週から、5チャンネルで「未来のわたし」という新しいテレビ番組が始まります。高校生がタイムマシンで、未来に行く話です。
（「タイムマシン」とは、時間を旅行することができる乗り物のこと。）

19-3 十二支の中にねこがいない理由

活動 十二支についての会話を聞く／読む。

かたち

時間 ●●●

せつめい編

文-75　V（ら）れます（受身）

文-78　そうです（伝聞）

活-08　受身形

談話の技術

準備する物

使うことば

十二支＊、猫、理由、動物、絵、入る、年賀状＊、馬＊、来年、毎年、決まる、一回り〔する〕＊、ほか、順番、ねずみ＊、とら＊、牛＊、うさぎ＊、たつ＊、蛇＊、羊＊、猿＊、鳥＊、犬、いのしし＊、あれっ＊、ああ、こんな、昔、神様＊、呼ぶ、こう、選ぶ、早い、順＊、偉い＊、ところが＊、忘れる、覚える、わざと＊、違う、教える、歩く、遅い、出発〔する〕、着く、背中、飛び降りる＊、こっそり＊、～番、それで、次、走る、油断〔する〕、速い、最後、こうして、喜ぶ、驚く、怒る、追いかける＊、生まれる

▲ 出てくる／～年に～度／どうもありがとう／～の方／気がつく

手　順

（1）聴解

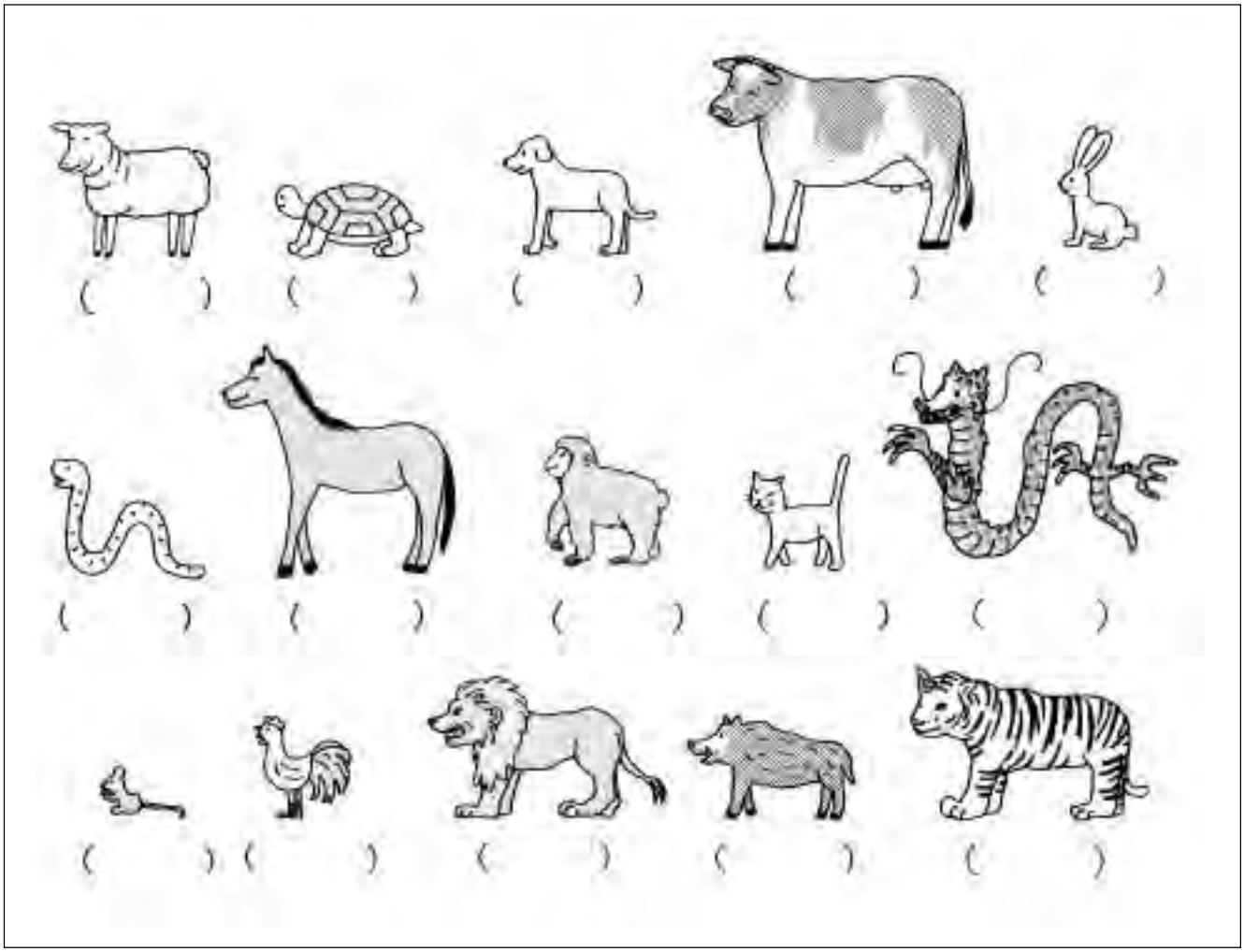
1. ＜タスクシート＞の中の動物の名前を確認する。質問を読んで、内容を確認する。
2. テープを聞いて、質問に答える。

（2）読解

1. ＜モデルテキスト＞（2）を読んで質問に答える。

タスクシート

①話の中に出てきた動物はどれですか。（　　）に○を書いてください。



②①で○をつけた動物の中で、十二支に入っていないのは、どの動物ですか。

③十二支の動物の中で、あなたの国にいる動物はどれですか。

モデルテキスト

（1）聴解

ナリン　：年がじょうを書いているんですか。

いちろう：はい。

ナリン　：そのえは何ですか。

いちろう：うまです。来年はうま年なんです。

ナリン　：うま年？ うま年って何ですか。

いちろう：毎年その年の動物がきまっているんです。来年はうまの年なんです。この毎年きまっている動物を十二支と言うんですよ。12 の動物がいるからです。12 の動物が 12 年で一回りします。

ナリン　：うまのほかの動物は何ですか。

いちろう：12 の動物はじゅんばんに、ねずみ、牛、とら、うさぎ、たつ、へび、うま、ひつじ、さる、とり、犬、いのししです。

ナリン　：あれっ？犬がいるのに、どうしてねこはいないんですか。

いちろう：ああ、それにはこんな話があります。…

＜答え＞

① ひつじ、犬、牛、うさぎ、へび、うま、さる、ねこ、たつ、ねずみ、とり、とら、いのしし

② ねこ

（2）読解

「十二支の中にねこがいない理由」

むかし、むかし、動物たちが神さまによばれました。神さまは動物たちにこう言いました。

「みんなの中から12の動物をえらぶことにします。来年の1月1日の朝、わたしのうちへ早く来たじゅんにえらびます。えらばれた動物はじゅんばんに、12年に1度、その年のいちばんえらい動物になることができます。」

それを聞いて、動物たちはみんな「12の動物にえらばれたい」と思いました。ところが、ねこは神さまのうちへ行く日がいつか、わすれてしまいました。ねこはねずみに聞きました。

「ねずみさん、神さまのうちへ行く日はいつか、おぼえていますか。」

ねこに聞かれたねずみは、

「ねこさん、それは1月2日ですよ。」

と言って、わざとちがう日を教えました。

1月1日の朝になりました。牛は歩くのがとてもおそいので、前のばんに出発しました。ところが、朝、神さまのうちの前に着いたとき、牛のせ中からねずみがとびおりました。ねずみは、こっそり牛のせ中にのって来たのでした。

ねずみは、

「牛さん、どうもありがとう。でも、わたしが一ばんですよ！」

と言って、神さまのうちに入りました。それで、いちばん早く神さまのうちに着いた動物は、ねずみになってしまいました。牛のつぎには、とら、うさぎが来ました。走るのがはやいうまや犬はゆだんして、さい後のほうになってしまいました。

こうして、12の動物がきまりました。

つぎの日の朝、ねこが来ました。

ねこは、ほかの動物たちがいないので、自分が一ばんだと思って、よろこびました。でも、神さまに、「12ひきの動物はもうきまってしまいました。」と言われて、おどろきました。ねこは、ねずみにちがう日を教えられたことに気がついて、とてもおこりました。そのときから、ねこはねずみを見ると、いつもおいかけているそうです。

（福島地方に伝わる民話から）

◆ 質問

① 神さまは、どうしたら十二支の動物になれると言いましたか。

② ねずみは、どうやって一ばんになったのですか。

③ どうして十二支の中にねこがいないのですか。

④ あなたは、何年に生まれましたか。あなたの生まれた年の動物をしらべてみましょう。

年	十二支	年	十二支	年	十二支
1980	さる	1985	牛	1990	うま
1981	とり	1986	とら	1991	ひつじ
1982	犬	1987	うさぎ	1992	さる
1983	いのしし	1988	たつ	1993	とり
1984	ねずみ	1989	へび	1994	犬

＜答え＞

①来年の１月１日の朝、神様のうちへ早く行ったじゅんに、12の動物が十二支になれます。

②牛の背中に乗って来て、神様のうちの前で飛び降りたからです。

③ねずみが猫にわざと違う日を教えたからです。

先生へ

- ＜タスクシート＞のイラストの動物の名前は、上段左から、ひつじ、かめ、犬、牛、うさぎ、へび、うま、さる、ねこ、たつ、ねずみ、とり、ライオン、いのしし、とら。
- ＜手順＞(2)の読解の質問は、学習者が＜答え＞の通りに答えなくても、内容が合っていればよい。
- 「いぬ」「うし」は十二支では下の特別な漢字を使うが、＜モデルテキスト＞の中では「犬」「牛」を使った。

  十二支の漢字

  子（ねずみ）、丑、寅、卯（うさぎ）、辰、巳（へび）、午、未、申、酉、戌、亥（いのしし）

19-4 手紙を出したのに

活動 意味を考えて、前半と後半をつないで１つの文にする。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★助 -32　のに

談話の技術

準備する物

使うことば

手紙、出す、もう、おなか、すく、昼ご飯、返事、まだ、電話、すぐ、壊れる、仕事、手伝う、全然、ヒーター＊、つける、砂糖、入れる、暖かい、高い、ラジカセ、コーヒー、甘い、祖母、～歳、セーター、着る、休み、父、もう、夜、元気、いつも、学校、遅れる、料理、おいしい、妹、うち、近い

手　順

1. 前半の文と意味がつながる後半の文を選び、線で結ぶ。
2. 「のに」を使って１つの文にして、書く。

タスクシート

（れい）手紙を出しました。　　・もう、おなかがすきました。

昼ご飯をたくさん食べました。　　・へんじが来ません。

→手紙を出したのに、へんじが来ません。

→昼ご飯をたくさん食べたのに、もう、おなかがすきました。

(1)「10時までに来てください。」と言いました。	・ゆかさんは「ありがとう」と言いません。
(2) まりさんは電話をすると言いました。	・すぐこわれてしまいました。
(3) わたしが仕事をてつだいました。	・ぜんぜん電話をしてくれません。
(4) ヒーターをつけました。	・まさるさんはまだ来ていません。
(5) さとうをたくさん入れました。	・あたたかくなりません。
(6) 高いラジカセを買いました。	・このコーヒーはあまくないです。
(7) わたしのそ母は 80 さいです。	・けんさんはセーターを着ています。
(8) 今日は休みの日です。	・だれも食べません。
(9) もう夜の 9 時です。	・とても元気です。
(10) 今日はあたたかいです。	・いつも学校におくれます。
(11) この料理はおいしいです。	・妹はまだ帰って来ません。
(12) すずきさんのうちは近いです。	・父は仕事に行かなければなりません。

19

＜答え＞

(1)「10時までに来てください。」と言ったのに、まさるさんはまだ来ていません。

(2) まりさんは電話をすると言ったのに、ぜんぜん電話をしてくれません。

(3) わたしが仕事を手伝ったのに、ゆかさんは「ありがとう。」と言いません。

(4) ヒーターをつけたのに、暖かくなりません。

(5) 砂糖をたくさん入れたのに、このコーヒーは甘くないです。

(6) 高いラジカセを買ったのに、すぐ壊れてしまいました。

(7) わたしの祖母は80さいなのに、とても元気です。

(8) 今日は休みの日なのに、父は仕事に行かなければなりません。

(9) もう夜の9時なのに、妹はまだ帰ってきません。

(10) 今日は暖かいのに、けんさんはセーターを着ています。

(11) この料理はおいしいのに、だれも食べません

(12) 鈴木さんのうちは近いのに、いつも学校におくれます。

バリエーション

(1) 前半の文だけを提示して、後半の文を考えさせる。

(2) 前半の文と後半の文をコピーしてばらばらに切ったものを、1枚ずつクラス全員に配り、1つの文になる相手を探す。

先生へ

・「のに」の前に来る文の文末の形に注意するように指導する。

19-5 お礼のカード♡

活動 だれかがしてくれたことに対して、お礼のカードを書く。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-77　Vてくれます

談話の技術

内容を構成する（お礼）

準備する物

カード用の紙（学習者の数）

使うことば

お礼、カード、だれ、先週、誕生日、パーティー、開く、びっくり〔する〕、歌、歌う、うれしい、おいしい、ケーキ、夏休み、プール、連れて行く、泳ぐ、ボール＊、遊ぶ、楽しい、また、勉強、教える、人形、送る、かわいい、家族、友だち、見せる、部屋、飾る、今度、写真

▲ありがとう／（名前）より／ありがとうございました／どうもありがとう

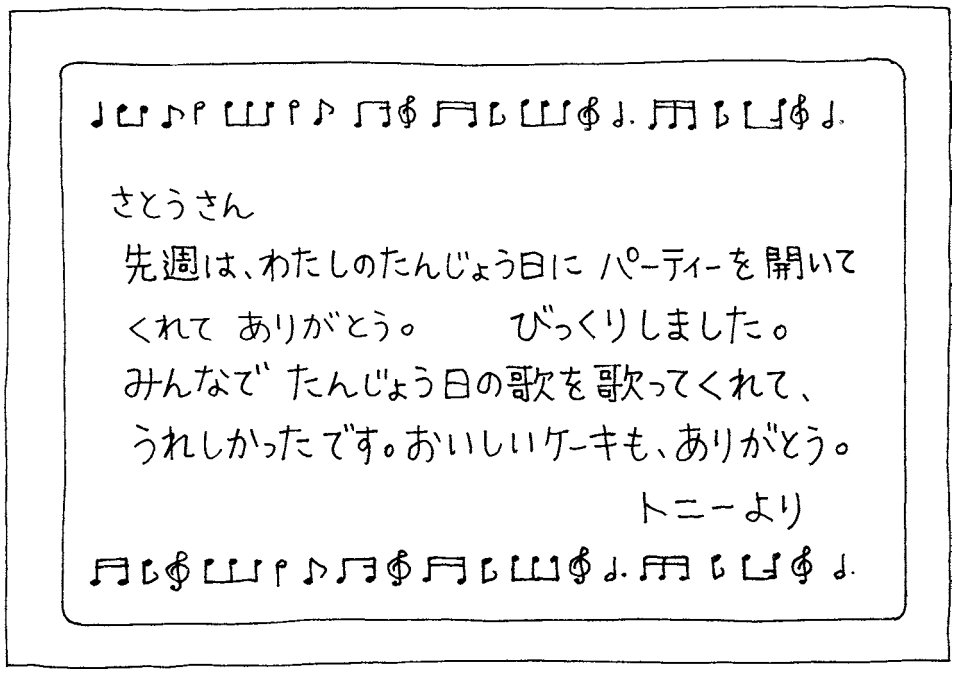
手　順

1. 学習者は、だれかが自分のために何かしてくれたときのことを思い出して、下のような表をノートに書く。
2. 表の中から、特にお礼を言いたい人を選び、＜モデルテキスト＞のように、お礼のカードを書く。

だれが	何をしてくれたか
さとうさん	わたしのたん生日にパーティーを開いてくれた
すずきさん	夏休みにプールにつれて行ってくれた
いとうさん	月曜日に勉強を教えてくれた
山田さん	日本から人ぎょうを送ってくれた
・	・
・	・

モデルテキスト

(1)


さとうさん
先週は、わたしのたんじょう日に パーティーを開いて
くれて ありがとう。　びっくりしました。
みんなで たんじょう日の歌を歌ってくれて、
うれしかったです。おいしいケーキも、ありがとう。
トニーより

(2) すずきさん

夏休みにプールにつれて行ってくれて、ありがとう。
およいだり、ボールであそんだりして、とても楽しかったです。
また行きましょう。

○○より

(3) いとうさん

月曜日に勉強を教えてくれて、ありがとうございました。とてもよく
わかりました。わからなかったら、また聞きに行ってもいいですか。

○○より

(4) 山田さん

日本から人ぎょうを送ってくれて、どうもありがとう。かわいいですね。
家族や友だちにも見せました。今、わたしの部屋にかざってあります。
今度、写真を送ります。

○○より

バリエーション

（1）カードを書く代わりに、下の例のように説明をする。

（例）わたしはトニーさんにカードを書きました。トニーさんは、わたしのたんじょう日に、パーティーを開いてくれました。みんなでたんじょう日の歌を歌ったり、おいしいケーキを買ってきたりしてくれて、とてもうれしかったです。

先生へ

- ＜モデルテキスト＞の「○○より」の○○には、自分の名前を入れる。
- お礼の言い方は、相手との関係や感謝の度合いで変えるように指導する。

（例）相手が目上の人や、あまり親しくない人の場合：「どうもありがとうございました」
相手が親しい場合：「ありがとう」

19-6 山田さんへの手紙

活動 お礼の手紙を読む。

かたち →

時間 ●●●

せつめい編

★文-75　V（ら）れます（受身）

文-76　V てもらいます

★文-77　V てくれます

活-08　受身形

（助-30　と（引用））

談話の技術

準備する物

使うことば

日本人＊、友だち、電気製品＊、作る、会社、勤める、東京＊、町、クラブ＊、入る、文化祭＊、書道＊、空手＊、発表、頼む、教える、上手、両方、面白い、おすし＊、持って来る、おいしい、部屋、楽しい、ほめる、終わる、お礼、手紙、でも、気持ち、伝わる、心配、ことば、直す、料理、それから、ぼく、一生懸命、やる、うれしい、大好き、また

▲両方とも／どうもありがとうございました

手　順

1. ＜モデルテキスト＞を読む。
2. ＜タスクシート＞の（　　）のことばを、お礼の気持ちが伝わるように直す。
3. クラスで、答え合わせをして、直したほうがいい理由について、話し合う。その際、母語で話し合ってもいい。

モデルテキスト

タンさんには日本人の友だちがいます。山田さんという人です。山田さんは電気せいひんを作る会社につとめています。3年前に東京からこの町に来たそうです。

タンさんは高校の日本語クラブに入っています。先週の日曜日、高校の文化さいがあったとき、タンさんは日本語クラブで書道と空手の発ぴょうをしました。タンさんは、山田さんにたのんで、書道も空手も教えてもらいました。まだあまりじょうずではありませんが、タンさんは両方ともおもしろいと思っています。山田さんは、おすしを作って、持って来ました。タンさんはとてもおいしいと思いました。

たくさんの人が日本語クラブの部屋に来て、楽しかったと言いました。タンさんは、書道と空手の発ぴょうのあとで、おおぜいの人にほめられました。文化さいが終ったあと、タンさんは山田さんに日本語でおれいの手紙を書きました。でも、タンさんは、おれいの気持ちがつたわるかどうか、心ぱいです。

タスクシート

タンさんの手紙の（　　）のことばをなおしてください。

山田さん
先週の日曜日に、文化さいに（　来て　）どうもありがとうございました。
山田さんが（　持って来た　）おすしは、とてもおいしかったです。
みんなおいしいと言っていました。山田さんは料理がじょうずですね。
それから、山田さんが（　ぼくに教えた　）書道と空手の発ぴょうはどうでしたか。あまりうまくできなかったかもしれません。でも、一生けんめいやりました。たくさんの人が、（　ぼくをほめました　）。うれしかったです。ぼくは書道も空手も大好きです。
また教えてください。

タン

＜答え＞

山田さん
先週の日曜日に、文化さいに来てくれて、どうもありがとうございました。
山田さんが持って来てくれたおすしは、とてもおいしかったです。
みんなおいしいと言っていました。山田さんは料理がじょうずですね。
それから、山田さんが~~ぼくに~~教えてくれた書道と空手の発ぴょうはどうでしたか。あまりうまくできなかったかもしれません。でも、一生けんめいやりました。たくさんの人が~~ぼくを~~ほめてくれました。うれしかったです。ぼくは書道も空手も大好きです。
また教えてください。

タン

バリエーション

（1）手紙を直すのが難しい場合は、＜答え＞と＜タスクシート＞を両方見せて、どうして違うのかを話し合う。この場合、ことばの使い方を日本語で説明するのがたいへんなら、母語を使ってもよい。

先生へ

・話し手のために行われた行為を表すとき、客観的な行為を述べるだけだと、相手にお礼の気持ちが伝わらないことに気付かせるのが練習の目的。

19-7 ホームステイの報告

活動 ホームステイの報告をしている会話を聞いて理解する。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

文-75　V（ら）れます（受身）

★文-76　Vてもらいます

★文-77　Vてくれます

活-08　受身形

助-32　のに

談話の技術

準備する物

使うことば

～か月、～間＊、ホームステイ＊、日本人＊、経験、話、ホストファミリー＊、家族、お父さん、お母さん、お姉さん、弟、年上＊、～歳、年下＊、初めて、スキー＊、長野＊、住む、頼む、連れて行く、温泉＊、料理、教える、すきやき＊、覚える、へえ＊、食べ物、好き、魚、納豆＊、まだ、じょうず、初め、話す、全然、わかる、心配、ジェスチャー＊、使う、絵、かく、それから、簡単、ことば、たいへん、楽しい、それで、ほとんど、説明〔する〕、週末＊、歴史、社会、ときどき、答える、もっと、おじいさん、おばあさん、お兄さん、妹

▲ 帰ってくる／～について／少しずつ

手　順

1. ＜タスクシート＞を見てテープの内容を予測する。
2. テープを聞いて、＜タスクシート＞に答えを書く。答えが書けるまで、何回聞いてもいい。
3. テープを聞いたり、＜モデルテキスト＞を読んだりして、答えを確認する。

モデルテキスト

カレンさんは日本に1か月ホームステイをして、帰ってきました。カレンさんの高校にいる日本人のさとう先生と、ホームステイのけい験について話をしています。

さとう先生：カレンさん、日本でのホームステイはどうでしたか。

カレン　　：とてもよかったです。いろいろなけい験をしました。

さとう先生：ホストファミリーはどんな家族でしたか。

カレン　　：お父さんとお母さんと、お姉さんのみゆきさんと、弟のけんたくんでした。みゆきさんは、わたしより年上で17さいでした。けんたくんは、わたしより年下で14さいでした。

さとう先生：ホストファミリーとどんなことをしましたか。

カレン　　：スキーをしました。わたしは、はじめてスキーをしました。長野に住んでいたので、お父さんにたのんで、スキーにつれて行ってもらいました。おんせんにもつれて行ってもらいました。うちでは、よく料理をしました。お母さんに聞いて、日本の料理を教えてもらいました。わたしはすきやきの作り方をおぼえました。

さとう先生：へえ、すごいですねえ。食べ物はどうでしたか。

カレン　　：日本の食べ物が好きになりました。日本へ行く前は、魚が食べられなかったのに、今は好きになりました。なっとうはまだ食べられませんが…

さとう先生：カレンさんは日本語がとてもじょうずになりましたね。

カレン　　：そうですか。ありがとうございます。はじめはみんなが何を話しているか、ぜんぜんわかりませんでした。１か月間、日本で生活できるかどうか、とてもしんぱいでした。はじめホストファミリーは、ジェスチャーをたくさん使ったり、えをかいたりしてくれました。それから、かんたんなことばで話してくれました。

さとう先生：ホストファミリーは、ジェスチャーやえを使ったり、かんたんなことばで話したりしてくれたんですね。

カレン　　：ええ。はじめはたいへんでしたが、毎日ホストファミリーと話をするのは楽しかったです。それで、少しずつ新しいことばをおぼえました。それから、ホストファミリーに、わたしの国についていろいろ聞かれました。ほとんど日本語で説明できました。

さとう先生：どんなことをよく聞かれましたか。

カレン　　：学校で何を勉強するか、週まつは何をするか、毎日どんなものを食べるか…。それから、わたしの国のれきしや社会についても聞かれました。ときどき、日本語で答えられなかったので、もっと勉強しなければならないと思いました。来年、ホストファミリーがわたしのうちに来るので、そのときは、もっとじょうずに話したいです。

タスクシート

1. カレンさんのホストファミリーにはだれがいましたか。ぜんぶで何人(なんにん)でしたか。	おじいさん（　）　おばあさん（　） お父(とう)さん　（　）　お母(かあ)さん　（　） お兄(にい)さん　（　）　お姉(ねえ)さん　（　） 弟(おとうと)　（　）　妹(いもうと)　（　） ぜんぶで（　　）人(にん)
2. ホストファミリーはどこに住(す)んでいましたか。	
3. カレンさんはホストファミリーにどんなことをしてもらいましたか。	・スキーにつれて行(い)ってもらった。 ・ ・
4. ホストファミリーは、カレンさんと話(はな)すときに、どんなことをしてくれましたか。	・ジェスチャーを使(つか)ってくれた。 ・ ・
5. カレンさんはホストファミリーにどんなことを聞(き)かれましたか。	・学校(がっこう)で何(なに)を勉強(べんきょう)するか ・ ・ ・

＜答え＞

1. お父さん、お母さん、お姉さん、弟　　全部で４人
2. 長野
3. ・温泉に連れて行ってもらった。
   ・料理を教えてもらった。
4. ・絵を使ってくれた。
   ・簡単なことばで話してくれた。
5. ・週末は何をするか
   ・毎日どんなものを食べるか
   ・カレンさんの国の歴史や社会

バリエーション

（1）テープでの会話の内容をもとに、自分が日本でホームステイをしたら、どんなことを話すか、ホストファミリーとどのようにコミュニケーションするか考え、クラスで話し合う。

先生へ

・＜タスクシート＞の答えは常体形で書くように指導する。

20-1 E メールを始めてから ♡

活動 新しい道具を使うようになって起こった生活の変化について書く／言う。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文 -79　V ようになります

談話の技術

準備する物

使うことば

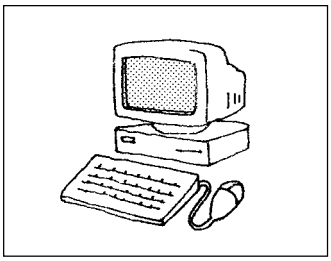
E メール＊、始める、コンピュータ、使う、テレビゲーム＊、外、遊ぶ、ビデオカメラ＊、ふつう、カメラ、携帯電話＊、出す、かける

手　　順

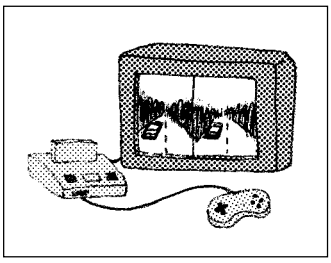
1. 学習者はペアになる。
2. 教師は黒板に＜モデルテキスト＞（1）の「E メールを始めてから」のように＜モデルテキスト＞の文の前半を書く。
3. ペアで黒板の文に続く後半の文を、できるだけたくさん考えて書く。
4. 10 分程度時間がたったら、ペアごとに発表する。

モデルテキスト

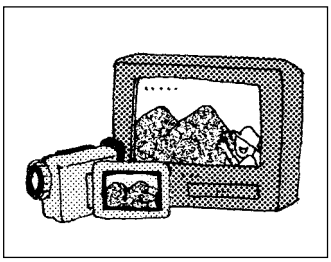
(1) Eメールを始めてから、コンピュータをよく使うようになりました。



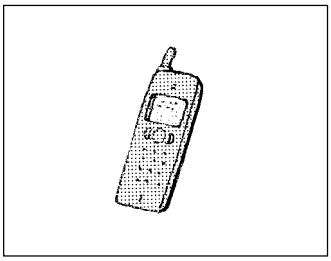
(2) テレビゲームを始めてから、外であそばなくなりました。



(3) ビデオカメラを使うようになってから、ふつうのカメラを使わなくなりました。



(4) けいたい電話を使うようになってから、どこからでも電話がかけられるようになりました。



バリエーション

(1) 最近自分の生活に起こった変化について言う。

(例) ジョギングを始めてから、朝早く起きるようになりました。

先生へ

・学習者自身の変化だけではなく、社会一般に起こった変化について文を考えて書かせる。

20-2 お化けアパート

活動 音を聞いて、わかったことを報告する。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-80　Vみたいです／ようです

談話の技術

準備する物

使うことば

ボス＊、命令＊、アパート、～前、しかし、遅い、声、音、聞こえる、それで、お化け＊、呼ぶ、さて＊、仕事、秘密＊、調べる、それぞれ＊、部屋、起こる＊、報告〔する〕＊、マイク＊、付ける、想像〔する〕＊、～号室＊、例＊、いっしょに、やる、寝る、起きる、トイレ、歯、磨く、ご飯、風邪、ひく、病気、料理、電話、鳴る、友だち、ある、消防車＊、火事、テレビ、つける、ひま、音楽、番組、歌う、歌、へた、ドラマ＊、泣く、日本語＊、パーティー、踊る、誕生日、ろうそく＊、火、消す、倒れる、探す、泥棒、猫、踏む、逃げる、笑う

手　順

1. 学習者はペアになる。それぞれのペアに15枚の絵を配る。
2. クラスで「ボスからの命令」のテープを聞いて、内容がわかったか確認する。
3. クラスで、「1号室」を例として、下のように練習の方法を確認する。
   ①「1号室」の部分全部を聞き、学習者は、何が起こっているかを想像する。
   ②もう一度テープを聞く。教師はチャイムが鳴るごとにテープをとめる。学習者は、＜モデルテキスト＞(2)の(例)のように「Vみたいです」を使って言う。
   ③教師は、確認のために黒板に答えを書く。
   ④それぞれのペアは、黒板の答えに合う絵を、15枚の絵の中から、3枚選び、起こった順番に並べる。
   ⑤クラスで、絵とその順番を確認する。
4. 「2号室」から「5号室」は、ペアで行う。一人が音を聞いて「1号室」を参考にして報告し、もう一人が絵を3枚選んで順番にならべる。
5. 2つの部屋が終わったら、役割を交代する。
6. もう一度テープを聞いて、クラス全体で答えを確認する。

モデルテキスト

(1) ボスからのめいれい

東町のアパートは、20年前からだれも住んでいません。しかし、夜おそくなると、中からいろいろな声や音が聞こえるそうです。それで、「お化けアパート」とよばれています。

さて、みんなの仕事は、このお化けアパートのひみつをしらべることです。それぞれの部屋で何が起こってるか聞いて、ほうこくしてください。

このアパートには、部屋が5つあります。それぞれの部屋には、マイクがつけてあります。それぞれの部屋で何が起こっているかそうぞうして、ほうこくしてください。

1ごう室はれいです。みんなでいっしょに聞いて、いっしょにやってみましょう。

(2) 報告

(れい) 1ごう室

①「だれかねているみたいです。」

②「起きたみたいです。」

③「トイレに入ったみたいです。」

④「はをみがいているみたいです。」

⑤「ご飯を食べているみたいです。」

⑥「かぜをひいているみたいです。」「病気みたいです。」

2 ごう室

①「料理をしているみたいです。」

②「電話がなっているみたいです。」

③「友だちからの電話みたいです。」

④「何かあったみたいです。」

⑤「しょうぼう車が来たみたいです。」「火事みたいです。」

3 ごう室

①「テレビをつけたみたいです。」「ひまみたいです。」

②「音楽のばんぐみを見ているみたいです。」

「いっしょに歌っているみたいです。」

「歌がへたみたいです。」

③「ドラマを見て、ないているみたいです。」

④「日本語を勉強しているみたいです。」

⑤「ねてしまったみたいです。」

4 ごう室

①「パーティーをしているみたいです。」

②「おどっているみたいです。」

③「だれかのたん生日みたいです。」

「たん生日のパーティーみたいです。」

④「ろうそくの火をけしているみたいです。」

「ろうそくがたくさんあるみたいです。」

⑤「だれかたおれたみたいです。」

5 ごう室

①「だれもいないみたいです。」

②「だれか来たみたいです。」「二人いるみたいです。」

③「何かをさがしているみたいです。」「どろぼうみたいです。」

④「ねこをふんだみたいです。」

⑤「どろぼうがにげたみたいです。」

⑥「ねこがわらっているみたいです。」

「ねこのお化けだったみたいです。」

バリエーション

(1) 教師が1つ1つの音でテープを止めて、学習者は想像したことを書く。

(2) クラスを半分に分ける。一方のグループだけ、別室でテープを聞き、部屋で何が起こっているかメモし、もう一方のグループに報告する。役割を交代して、全員が同じように練習できるようにする。

先生へ

- 探偵団であるという設定にし、はじめに生徒に説明する。
- 「ボスからの命令」の内容を理解したかどうか確認するために、＜モデルテキスト＞(1) を読ませる。
- LL教室、またはペアの数だけテープレコーダーがあり、ヘッドホーンが使えれば、ペアごとに練習してもよい。
- 学習者に報告させるとき、「アラームがなりました。」「せきをしています。」など、聞こえたことをそのまま報告させないようにする。
- テープの中の音（ _____ の音には対応するイラストがある。〔　〕はイラストの記号。）

1号室

① いびきの音

② 目覚まし時計の音、目覚まし時計を止める音、ふとんから出る音〔イ〕

③ トイレのドア、水洗の音

④ 歯磨きの音、うがいの音〔ケ〕

⑤ 食器を使ってごはんを食べている音

⑥ せき、くしゃみ数回、鼻をかむ音〔シ〕

2号室

① 野菜を切る音、炒める音、鼻歌〔カ〕

② 電話の鳴る音、電話を受ける音

③ 電話で楽しそうに話す声〔オ〕

④ 火が燃える音、パニックになった叫び声

⑤ 消防自動車のサイレン、水をかける音〔サ〕

3号室

① あくびの声、テレビをつける音〔キ〕

② テレビの音楽に合わせて、一緒に歌うへたな声

③ チャンネルをかえる音、ドラマの声、悲しそうな音楽、泣き声〔セ〕

④ チャンネルをかえる音、日本語会話の番組、リピートする声〔エ〕

⑤ いびきの音、日本語会話の番組の小さい音

4号室

① 大勢の声、笑い声、食器の音〔コ〕

② 音楽に合わせてリズムを踏む音、かけ声〔ス〕

③ 誕生日を祝う声

④ 拍手の中、ろうそくを吹き消す音が長く続く〔ア〕

⑤ 息を吹きすぎて詰まった音、ばたんと倒れる音、みんなが騒ぐ音

5号室

① 何の音もしない〔ク〕

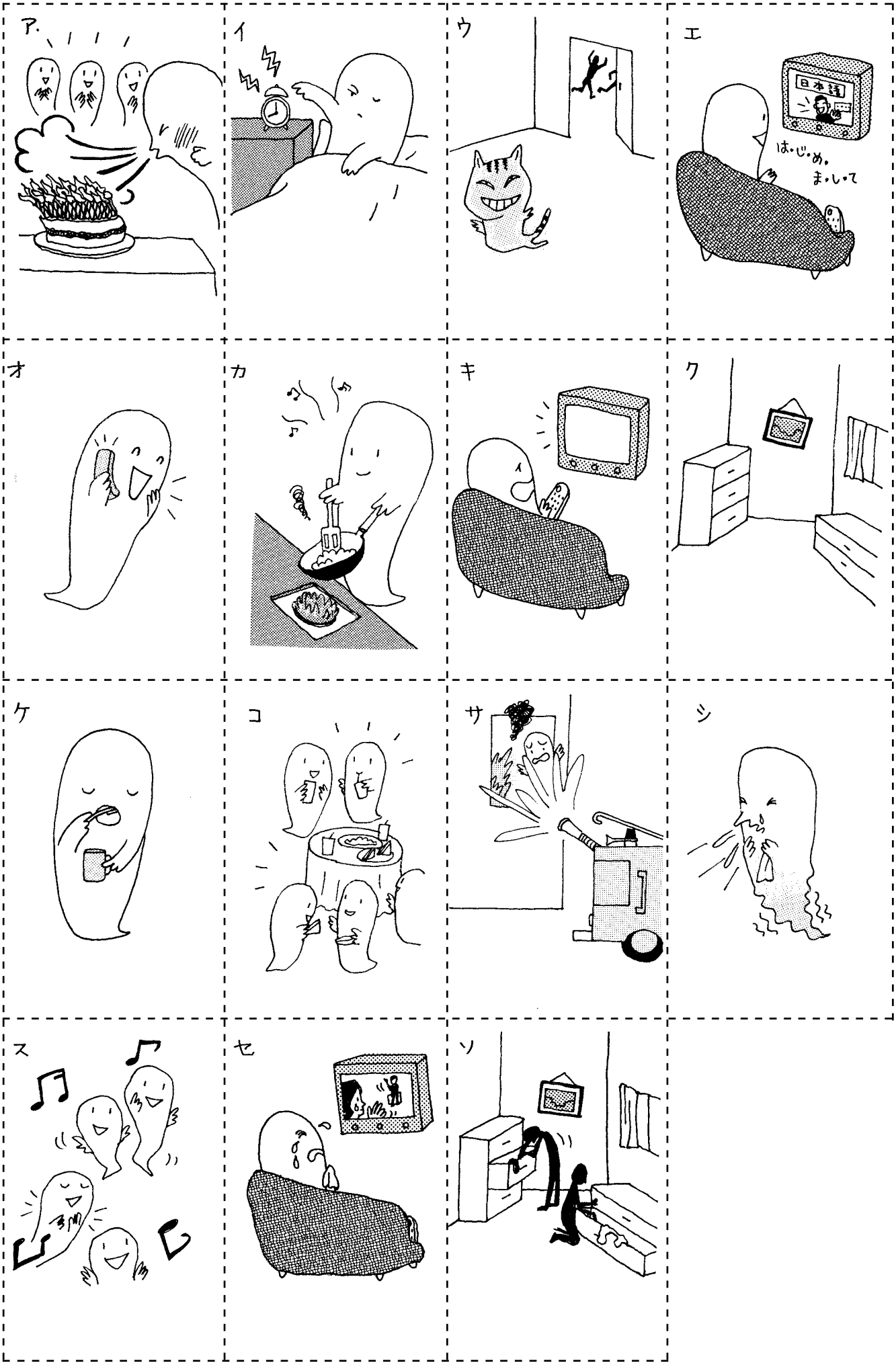
② ドアが静かに開く音、静かに歩く音、人がぶつかる音、「しー」の声

③ 引出しを開ける音、物を探る音〔ソ〕

④ 猫のギャーという声、人の悲鳴

⑤ 猫の怒った声、逃げる足音、ドアが閉まる音

⑥ 猫の笑い声〔ウ〕


ア.
イ
ウ
エ
日本語
はじめまして
オ
カ
キ
ク
ケ
コ
サ
シ
ス
セ
ソ

20-3 留学生が見た日本

活動 町の様子を見て、そこからわかることを言う。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-80　みたいです／ようです

談話の技術

準備する物

使うことば

東、アイスクリーム＊、～屋、人気＊、並ぶ、日本人＊、ハンバーガー＊、好き、理由、店、国、料理、インド料理＊、イタリア料理＊、タイ料理＊、ロシア料理＊、看板＊、英語、使う、子供、大人、漫画、電車、リサイクル＊、ごみ箱＊、ポスター＊、お化粧＊、クリスマス＊、祝う＊、かざり＊、キャラクター＊、はやる＊、かばん、シャツ、多い、キックボード＊、乗る、車、空気、走る、せき＊、マスク＊

手　順

1. 日本の町の様子を表す絵の中の、(1)～(3)の部分を見て、そこからどんなことがわかるか考える。
2. ＜モデルテキスト＞を読んで、自分の考えたことと同じかどうか確認する。
3. 4、5人のグループになる。
4. グループで、絵を見て、そこから日本人の生活、習慣を考えて、＜モデルテキスト＞のように書く。さらに、なぜそう思ったか理由を書く。
5. クラスでそれぞれのグループが、書いたことを発表する。

モデルテキスト

(1) このアイスクリーム屋は人気があるみたいだ。

理由：たくさんの人がならんでいる。

(2) 日本人は、ハンバーガーが好きみたいだ。

理由：ハンバーガー屋がたくさんある。

(3) 日本人は、いろいろな国の料理を食べるみたいだ。

理由：インド料理、イタリア料理、タイ料理、ロシア料理などの店がある。

先生へ

- 理由の部分は、難しければ母語で言ってもよい。
- 外国人は、その国で自分が見たり聞いたりしたことから、いろいろ推測しながら、その国への理解を深めていく。時には、大きな勘違いもするが、それも含めて外国文化に接するときの楽しさだということが理解できるとよい。
- 絵を見て、次のような文を作ることができる。

①店の看板に英語をよく使うみたいだ。
理由：英語の看板がたくさんある。

②子供だけでなく、大人も、漫画を読むみたいだ。
理由：電車の中でまんがを読んでいる大人がたくさんいる。

③日本人はよくリサイクルをするみたいだ。
理由：町の中にたくさんリサイクルのごみ箱がある。

④「ひかる」という人はとても人気があるみたいだ。
理由：「ひかる」という人のポスターがたくさんある。

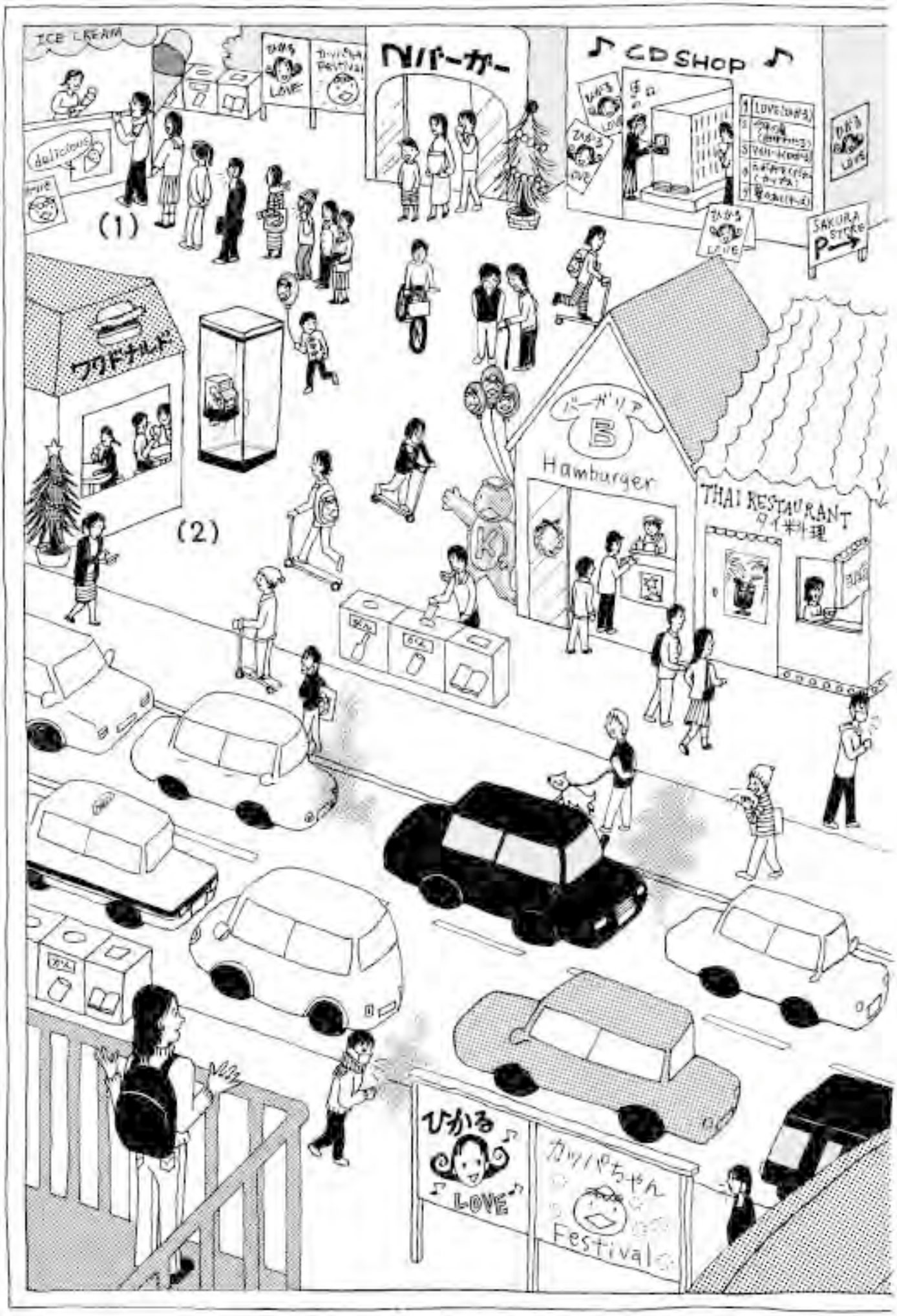
⑤電車の中でお化粧をしても恥ずかしくないみたいだ。
理由：電車の中でお化粧をする人たちがいる。

⑥日本人はクリスマスを祝うみたいだ。
理由：町の中にクリスマスの飾りがある。

⑦「カッパちゃん」というキャラクターがはやっているみたいだ。
理由：「カッパちゃん」のかばんを持っている人やシャツを着ている人が多い。

⑧キックボードがはやっているみたいだ。
理由：キックボードに乗っている人が多い。

⑨車が多くて、空気がよくないみたいだ。
理由：たくさん車が走っていて、せきをしている人や、マスクをしている人がいる。


ICE CREAM
delicious
ひかる LOVE
カッパちゃん Festival
ハンバーガー
CD SHOP
SAKURA STORE
(1)
フクドナルド
(2)
バーガリア
Hamburger
THAI RESTAURANT
タイ料理
ひかる LOVE
カッパちゃん Festival

ひかる
LOVE
NAMBU
なんぶデパート
MERRY
Christmas
Italian
MENU
CURRY
インドカレー
(3)
20%
OFF!
ウェディング
HAPPY
ABトラベル

20-4 書きやすいペン

活動 商品の使いにくい点を言って、ほかの物に換えてもらう。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-82　Vやすいです

★文-83　Vにくいです

準備する物

談話の技術

- 会話を始める（すみません）
- 応答する（はい）
- 会話を終わる（どうもありがとう）

使うことば

ペン、コンピュータ、電話、辞書、コップ、いす、かばん、眼鏡、靴、セーター、はさみ＊、時計、はし、使う、書く、かける、飲む、読む、座る、持つ、履く、着る、切る、わかる

▲すみません／どうぞ／どうもありがとう

手　順

1. 教師は黒板に①の物の名前のリストと②の動詞のリストを書く。
2. クラスで、①のそれぞれの物と合う動詞を②から探し、確認する。
3. 学習者はペアになる。
4. 黒板のことばを使って、<モデルテキスト>のように、商品の問題点を言い、別の物に換えてもらう。
5. 1つの会話が終ったら役割を交代する。

モデルテキスト

（店で）

きゃく：すみません。このペンは書きにくいんですが。もっと書きやすいペンはありませんか。

（ペンを持つ）

店の人：もっと書きやすいペンですね。

きゃく：はい。

店の人：はい、どうぞ。（ペンを客に渡す）

きゃく：どうもありがとう。

① ペン、コンピュータ、電話、じしょ、コップ、いす、かばん、めがね、くつ、セーター、はさみ、時計、はし

② 使う、書く、かける、飲む、読む、すわる、持つ、はく、着る、切る、わかる

20

先生へ

・物の名前と、それに合う動詞

ペン - 書く、使う ／ コンピュータ - 使う ／ 電話 - かける、使う ／ 辞書 - 読む、使う、（説明が）わかる ／ コップ - 飲む、持つ、使う ／ いす - 座る ／ かばん - 持つ、使う ／ 眼鏡 - かける、使う ／ くつ - 履く ／ セーター - 着る ／ はさみ - 切る、使う ／ 時計 -（時間が）わかる ／ はし - 使う

20-5 コンピュータの教育

活動 グラフを見て説明文を書く。

かたち

時間 ●●○

せつめい編

★文-81　Vていきます／Vてきます

談話の技術

準備する物

使うことば

初めて、コンピュータ、使う、高校、調査＊、グラフ＊、日本人＊、結果＊、～前、だんだん、減る＊、今年、将来、もっと、中学校、増える、少し、～ずつ、思う、小学校、急に、小さい

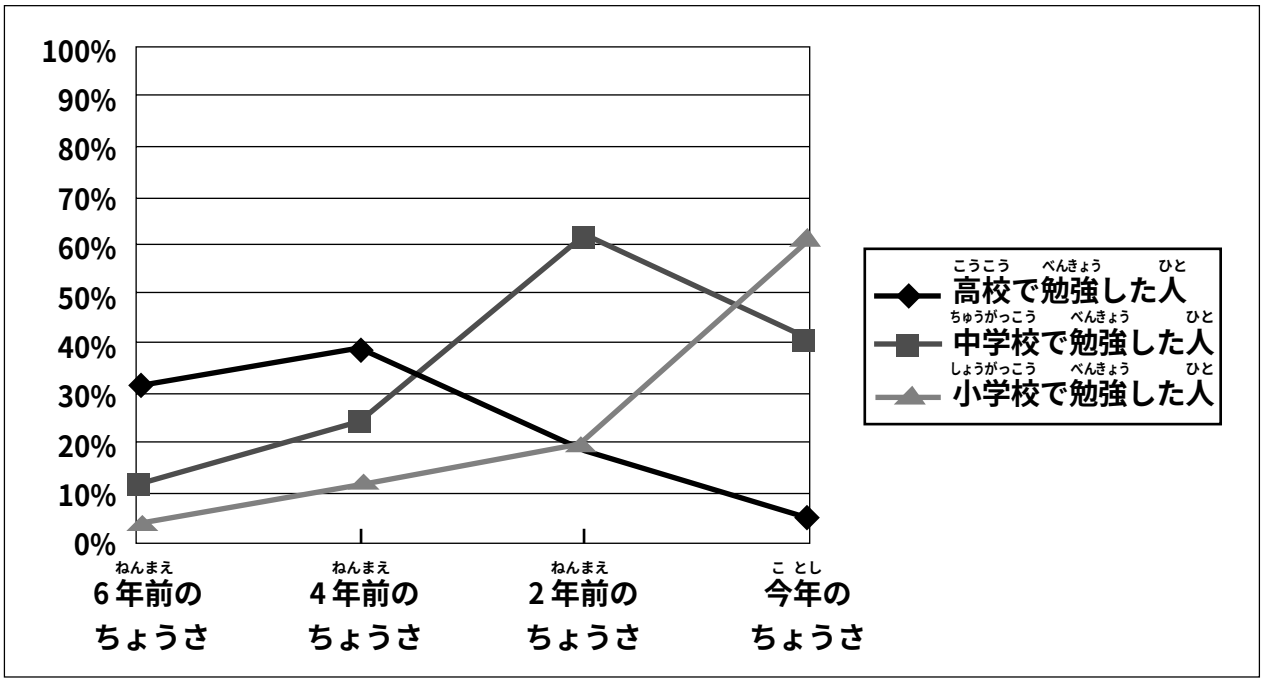
▲～によると／（数）分の（数）

手　順

1. グラフを見て、その中でわかる変化について、「ふえてくる・へってくる・ふえていく・へっていく」を使って言う練習をする。
2. 学習者は、＜タスクシート＞の説明文の（　）の中に「ふえてくる・へってくる・ふえていく・へっていく」のどれかを正しい形に直して書く。
3. クラスでグラフを見ながら、答えを入れた＜タスクシート＞を読んで確認する。

タスクシート

コンピュータの使い方をはじめて勉強したのはいつか　（高校３年生にしたちょうさ）



このグラフは、「コンピュータの使い方をはじめて勉強したのはいつか」と日本の高校３年生に聞いたちょうさのけっかです。

(1) 高校のときにはじめてコンピュータの使い方を勉強した人は、４年前からだんだん（へってきました）。今年は４年前の４分の１になりました。
しょう来、もっと（　　）だろうと思います。

(2) 中学校ではじめて勉強した人は、2年前までふえていましたが、2年前から少しずつ（　　）。
しょう来も（　　）だろうと思います。

(3) 小学校ではじめて勉強した人は、２年前まで少しずつふえていました。
そして、２年前から急に（　　）。
しょう来、もっと（　　）だろうと思います。

(4) このグラフによると、小さいときにコンピュータを勉強する人が、どんどん（　　）。
これからはもっと（　　）だろうと思います。

＜答え＞

（1）へっていく　　（2）へってきました・へっていく

（3）ふえてきました・ふえていく　　（4）ふえてきました・ふえていく

バリエーション

（1）手近にある統計資料を使って変化を説明する。

先生へ

- 練習をする前に、「増えてくる・減ってくる・増えていく・減っていく」の違いをクラスで確認する。
- ＜タスクシート＞の中の「増えている」は、「増える」という変化が継続していることを表す。
- ここで使用しているデータは、統計資料読み取りのために作成したもの。実際の調査のデータではない。

20-6、20-7、20-8、20-9について

20-6、20-7、20-8、20-9の各練習は、これまでに習った文法や文型で書かれています。しかし、それぞれの＜モデルテキスト＞には、日本語能力試験出題基準3級に入っていない語彙がたくさん含まれています。けれども、語彙リストを付けるなどして、まだ学習者が習っていない語彙の意味がわかるようにすれば、決して難しくはないでしょう。学習時間などに応じて、段落に分けて読む、何回も聞くなど、工夫して利用してください。

20-6 いろいろな未来

活動 未来に関する文章を読む。

かたち → **時間** ●●●+

せつめい編

（文-75　V（ら）れます（受身））
★文-79　Vようになります
文-80　みたいです／ようです
文-82　Vやすいです
文-83　Vにくいです
（活-08　受身形）

談話の技術

準備する物

使うことば

未来＊、ロボット＊、まだ、コンピュータ、人間＊、命令〔する〕＊、動く、しかし、将来、自分、考える、技術、使う、作る、計画、現在＊、だけ、サッカー＊、チーム＊、試合、研究、進める＊、勝つ、強い、例えば、火事、海、場所、そして、助ける＊、資源＊、探す、また、持つ、料理、掃除、買い物、仕事、いちばん、学校、世界、～中＊、大勢、インターネット＊、利用〔する〕、授業、受ける、先生、同じ、クラス、友だち、つながる＊、話し合い＊、生徒、年、国、美術＊、手、感じる＊、体育＊、バスケットボール＊、クラブ活動＊、話す、遊ぶ、きっと、生活、最近、携帯電話＊、どんどん、腕時計＊、大きさ、写真、送る、電話、合う、便利、道具、町、環境＊、問題、道、混む＊、空気、汚れる、ガソリン、電気、車、あまり、汚す＊、乗る、観光丸＊、宇宙＊、ロケット＊、宇宙旅行＊、地球＊、大切

▲～にとって／～だけでなく～も

手　順

1. 学習者はそれぞれ、＜モデルテキスト＞の（1）～（3）の3つの文章の中から読みたいものを、題名を見て選ぶ。
2. 選んだ文章を読んで、質問に答える。
3. クラスの中で同じテキストを選んだ学習者を探し、3、4人のグループになる。
4. グループで、答えを確認する。

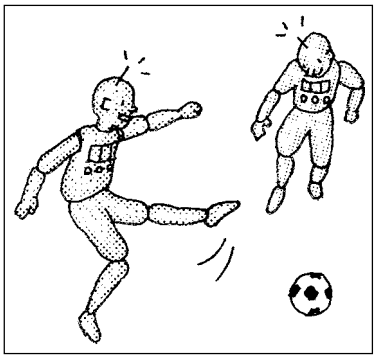
モデルテキスト

(1) み来のロボット

今はまだ、コンピュータは人間がめいれいしないと動かない。しかし、しょう来はコンピュータが自分で考えて動くようになるだろう。このぎじゅつを使ってロボットを作る計画がある。げんざい、ロボットだけのサッカー・チームを作って、人間と試合をするという研究が進められている。2050年までには、人間のチームにかてる、強いロボットのサッカー・チームができるようだ。

ロボットは、サッカーだけでなく、ほかのこともできるようになる。ロボットは、たとえば火事や海の中など、人間にとって行きにくい場所に行くことができるようになる。そして、人間をたすけたり、しげんをさがしたりすることもできるようになるだろう。

また、しょう来は、どこのうちもロボットを持つようになるだろう。料理を作るロボット、そうじをするロボット、買い物をするロボットなどができるだろう。人間の仕事をロボットがするようになったら、人間は何をしたらいいだろう。み来の人間にとって、自分が何をするか考えるのが、いちばんたいへんな仕事になるかもしれない。



◆ 質問

① 2050年には何ができますか。

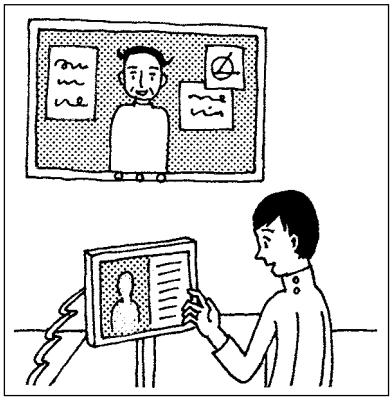
② ロボットはどんなところに行けますか。

③ あなたはどんなロボットがほしいですか。どうしてですか。

(2) み来の学校

げんざい、世界中のおおぜいの人がインターネットをり用して勉強している。しょう来は、もっとおおぜいの人がコンピュータを使って勉強するようになるだろう。そして、学校に行かなくても、うちでコンピュータを使って、じゅ業がうけられるようになるだろう。そのコンピュータは先生とだけではなくて、同じクラスの友だちともつながっているので、みんなで話しあいをすることもできる。同じじゅ業をうけている生との中には、いろいろな年の人がいる。いろいろな国の人もいる。

今も、コンピュータはいろいろなじゅ業で使われている。びじゅつやぎじゅつなどでは、コンピュータを使って、先生たちのぎじゅつを、手でかんじることができるようになるかもしれない。体いくのじゅ業では、一人でサッカーやバスケットボールができるようになるかもしれない。



でも、み来になっても、学校に行く生ともいるだろうと思う。たとえばクラブ活動をしたり、友だちと話したり、あそんだりするために、学校に行きたいと思う生とは、きっとおおぜいいるだろう。

◆ 質問

①しょう来は、どうやって学校のじゅ業をうけるようになるでしょうか。

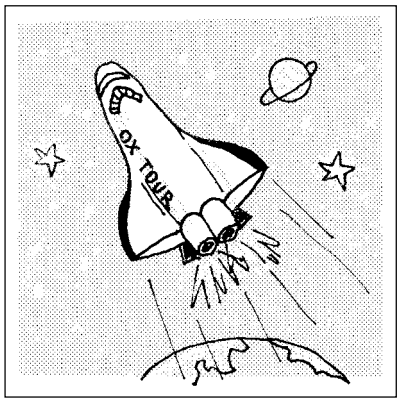
②しょう来、コンピュータはどんなじゅ業で使われるでしょうか。

③しょう来学校に行かなくてもよくなっても、学校に行ったほうがいいと思いますか。どうしてですか。

(3) み来の生活

さい近、けいたい電話がどんどん小さくなって、うで時計と同じ大きさのものもできたそうだ。また、写真も送れる電話があるそうだ。だが、小さくなりすぎると、使いにくいと思う人もいるかもしれない。しょう来は、今より人間の体にあった、もっとべんりな電話ができるだろう。

今、大きい町ではどこでも、かんきょうが問題になっている。道がこんで、空気がよごれている。さい近は、ガソリンではなくて電気で動く車が作られている。これからは、みんな空気をあまりよごさない車に乗るようになるだろう。



また、日本では「かん光まる」といううちゅうロケットを作る計画がある。これからは、おおぜいの人が乗れるロケットが作られて、だれでもうちゅう旅行ができるようになるだろう。もしうちゅうに行ったら、「もっとちきゅうを大切にしよう」と考えるようになるかもしれない。

◆ 質問

① しょう来の電話はどうなるでしょうか。

② かんきょうの問題をなくすために、みんなどうするようになるでしょうか。

③ あなたはうちゅう旅行に行きたいですか。どうしてですか。

＜答え＞

(1) ① 2050年には、人間のチームに勝てる、強いロボットのサッカー・チームができるようです（みたいです）。

② 火事や海の中など、人間にとって行きにくい場所に行けます。

(2) ① 学校に行かなくても、うちでコンピュータを使って授業を受けられるようになるでしょう。

② 美術や技術などでは、コンピュータを使って、先生たちの技術を手で感じることができるようになるかもしれません。体育の授業では、一人でサッカーやバスケットボールができるようになるかもしれません。

(3) ① 今より人間の体に合った、もっと便利な電話ができるでしょう。

② みんな、空気をあまり汚さない車に乗るようになるでしょう。

バリエーション

(1) グループごとに読んだ文章について発表する。その際、簡単にまとめて発表するのが難しければ、母語で発表してもいい。

(2) インターネットで日本語を読むことができたら、次のようなホームページから情報を集める。

＜参考になるホームページ＞

・ロボット

http://www.robocup.or.jp/（日本語）ロボカップ

http://www.honda.co.jp/robot/ （日本語）本田技研工業株式会社（ロボット）

・学校

http://www.wnn.or.jp/wnn-s/index.html（日本語・英語）こねっとワールド

http://www.wschool.net/（日本語・英語）World School Network

・交通

http://www.transport-pf.or.jp/（日本語・英語）みんなののりもの（財団法人 運輸振興協会）

http://www.nal.go.jp/Welcome-e.html（日本語・英語）NAL 文部科学省航空宇宙技術研究所

http://www.spacetopia.com/ja/tourism/jrs.html（日本語・英語）スペーストピア

先生へ

・未来(みらい)についての文章(ぶんしょう)は『これからどうなる 21- 予測(よそく)・主張(しゅちょう)・夢(ゆめ)』（岩波書店(いわなみしょてん)）を参考(さんこう)にした。

20-7 未来のニュース

活動 ニュースを聞いて、そのニュースの背景について推測する。

かたち →

時間 ●●○

せつめい編

文-79　Vようになります

文-80　みたいです／ようです

文-81　Vていきます／Vてきます

文-82　Vやすいです

準備する物

談話の技術

・内容を構成する（報告）

使うことば

ニュース、まず、初め、台風、～号＊、近づく＊、夏、東北地方＊、進む、方向＊、変える、ジェット機＊、雲、パイロット＊、キャスター＊、変わる、がんばる、レーダー＊、なかなか、イヤホーン＊、同じ、大きさ、機械、外国語＊、翻訳〔する〕、もっと、前、それでは、ことば、増える、国際会議＊、付ける、わかる、聞こえる、～間＊、スイッチ＊、入れる、えっ＊、今度、中国語＊、現在＊、簡単、すぐ、悪い、便利、そして、最近、病気、部分＊、手術＊、外、治す＊、特別、棒＊、形、近づける＊、研究、怖い、どんどん

▲ あと（時間）／お忙しいところ、ありがとうございました／がんばってください／～だけでなく～も／すみません／ごめんなさい／失礼しました

手　順

1. クラス全体で、ニュースのテープを聞く。何年の、どんなニュースかなど、ニュースのだいたいの内容を聞きとる。
2. もう一度テープを聞いて、それぞれの学習者が、その年までに何ができるようになるかを書く。何人かの学習者が発表して、答えを確認する。
3. ＜モデルテキスト＞（1）①～③の中から、好きなニュースを選んで、＜モデルテキスト＞（2）のように、いつ、何ができるようになるかと、それぞれについての自分の意見を書く。

モデルテキスト

（1）ニュース

①おはようございます。2050年9月10日の朝のニュースです。まず、はじめに、台風のニュースです。台風20ごうが日本に近づいていますが、今年の夏、日本の東北地方では雨が少なかったので、台風が進む方こうを東北地方にかえることになりました。今、ジェットきでくもを作って、台風の方こうをかえています。パイロットの山田さんに聞いてみましょう。

キャスター：山田さん。

山田　　：はい。山田です。

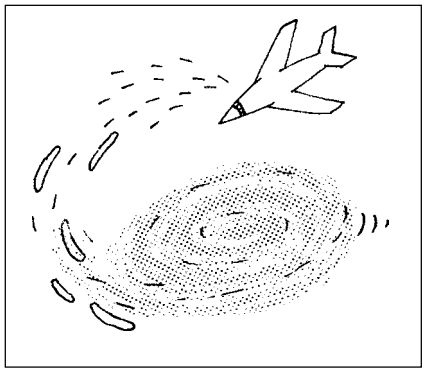
キャスター：どうですか。台風の進む方こうはかわりましたか？

山田　　：はい。今、がんばっていますが、この台風は30分前にレーダーで見たときより大きくなったみたいで、なかなか方こうがかえられないんです。

キャスター：そうですか。あとどれぐらい時間がかかりそうですか。

山田　　：そうですね。30分ぐらいかかると思います。

キャスター：わかりました。おいそがしいところ、ありがとうございました。がんばってください。



② 2015年4月17日のニュースです。

イヤホーンと同じ大きさのきかいを使って、外国語をほんやくすることができるようになりました。ほんやくのきかいは、前はもっと大きかったです。このきかいは、小さくなっただけでなく、ほんやくできることばもふえました。それでは、今、国さい会ぎでこのきかいを使っているリーさんと話してみましょう。わたしもきかいをつけてみます。

（機械を取り付ける）

キャスター：リーさん。

リー　　：はい。リーです。

キャスター：わたしの話していることがわかりますか。

リー　　：はい。よくわかります。わたしのはどうですか。

キャスター：はい。こちらでは日本語で聞こえます。よくわかります。

リー　　：そうですか。わたしは3年間日本語を勉強しました。でも、このきかいがあったら、外国語を勉強しなくてもいいですね。

キャスター：そうですね。

リー　　：あれ！…すみません。スイッチを入れていませんでした。わたしは日本語で話していました。ごめんなさい。

キャスター：えっ！日本語で話していたんですか。

リー　　：しつれいしました。（スイッチを入れる）今度はどうですか。

キャスター：はい。日本語が聞こえます。リーさん、ほんとうに中国語で話していますか。

リー　　：はい。今度は中国語で話しています。どうですか。

キャスター：はい。日本語になっています。でも、リーさんはこのきかいを使わなくてもいいですね。

リー　　：ははは、そうですね。

キャスター：どうもありがとうございました。

③2032年6月6日のニュースです。

げんざいは、小さいきかいでかんたんに体の中を見ることができます。すぐにどこが悪いかわかって、とてもべんりです。そして、さい近、体の中の病気の部分を、手じゅつをしないで、外からなおすことができるようになりました。特別なきかいを使うそうです。げんざい、病院でそのきかいを使っているさとうさんに聞いてみましょう。

キャスター：さとうさん。おはようございます。

さとう　　：はい。さとうです。おはようございます。

キャスター：今度、手じゅつをしないで、外から病気をなおすきかいができたそうですね。

さとう　　：はい。これからは、かんたんに病気がなおせるようになります。

キャスター：それは大きいきかいですか。

さとう　　：いいえ、30cmぐらいのほそくて長いきかいです。これです。ぼうのかたちです。

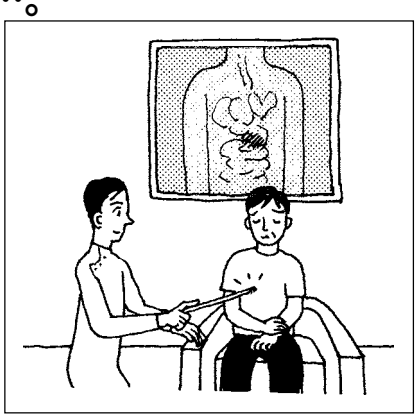
キャスター：そうですか。とても小さいんですね。

さとう　　：はい。このきかいを近づけるだけで病気がなおせます。とても使いやすいです。研究が進むと、これからもっと小さくなっていくと思いますよ。

キャスター：そうですか。病院に行くのがこわくなくなりますね。

さとう　　：そうですね。どんどん来てください。

キャスター：ううん。あまり行きたくないですが…。どうもありがとうございました。



（2）報告文

① 2050年までに、ジェットきでくもを作って、台風が進む方こうを、かえられるようになります。今は毎年、台風の雨や風で、たくさんの人がこまっていますが、雨が少なくてこまっている場所もあるので、そこに台風が行ったらいいと思います。

② 2015年までに、イヤリングやピアスと同じ大きさのきかいを使って、外国語をほんやくすることができるようになります。こんなきかいがあったら、外国語を勉強しなくてもいいのでべんりです。

③ 2032年には、手じゅつをしないで、病気をなおすことができるようになっています。30cmのほそくて長いきかいを使います。わたしは病院に行くのがきらいですが、こんなきかいがあったら、病院はこわくないです。

バリエーション

（1）テープレコーダーが2台以上あったら、それぞれのニュースを別々のテープに録音し、グループごとに違うニュースを聞いて、報告する。

先生へ

- ニュース①で、「台風」になじみのない地域の場合、テープを聞く前に学習者に以下のような説明をする。
  「台風は、赤道に近い海の上でできる嵐のこと。日本には夏から秋に近づき、特に沖縄・九州地方によく来る。台風はいろいろな被害を与えるが、台風の雨は、米を作るために役立つ。」
- 報告文は、＜モデルテキスト＞（2）の通りでなくても、学習者が、内容を理解していればよい。
- 「A さ／AN さ」は学習項目として扱っていないので、ここでは「大きさ」を語彙として扱う。

20-8 調査「未来はどうなる？」♡

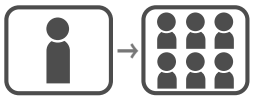
活動

(1) 未来の社会について、日本人に聞いた調査結果を読む／クラスで調査をする。

(2) 未来の社会について、どう考えているかインタビューする。

かたち

(1)



(2)

時間

(1) ●●○

(2) ●●○

せつめい編

文-79　Vようになります

準備する物

談話の技術

- 会話を始める（すみません）
- 応答する（はい、どうぞ）
- 間をとる（そうですね…）
- 会話を終わる（わかりました／どうもありがとうございました）
- 話を構成する（インタビュー）

使うことば

高校生、考える、21世紀＊、社会、男女平等＊、がん＊、治す＊、町、田舎、世界、平和＊、科学、進む、人間＊、幸せ＊、希望＊、生活、豊か＊、お金持ち＊、貧しい＊、差＊、若い、宇宙旅行＊、地震、起きる、環境＊、悪い、エネルギー＊、宇宙人＊、会う、地球＊、温暖化＊、防ぐ＊、ごみ、問題、なくす、パーセント（%）＊、未来＊、乗り物、インタビュー＊、便利、速い、できる、すぐ

▲すみません／～について／どうぞ

手　　順

（1）読解・調査

1. 学習者はそれぞれ＜モデルテキスト＞（1）①または②の調査結果の表を読む。クラスで内容を確認する。
2. クラスの中で同じ項目について調査をする。一人の学習者が調査項目を声を出して読み、それと同じ意見の人に手をあげてもらい、その数を数える。
3. クラスの調査結果を、＜モデルテキスト＞（1）の日本の調査結果と比べ、＜モデルテキスト＞（2）のようにその結果を言う。

（2）インタビュー

1. 学習者はペアになり、未来の社会がどうなるかについて＜モデルテキスト＞（3）のように、お互いにインタビューする。

モデルテキスト

（1）読解

①日本の高校生が考える21世紀の社会（%）

	日本の高校生	（　　）クラス
男女びょうどうになる	77.8	
がんなどの病気がなおせるようになる	76.6	
町よりいなかのほうが住みやすくなる	73.7	
今より世界が平和になる	36.1	
科学が進んで、人間はしあわせになる	35.4	
人間にとって、きぼうがある社会になる	35.3	
今より生活がゆたかになる	29.0	
お金持ちとまずしい人のさが少なくなる		

日本青年団協議会「21世紀の夢に関する調査」1998年11月～1999年1月調査　より

20

②日本のわかい人が21世紀にできるようになると思っていること（%）

	日本のわかい人	（　　）クラス
がんをなおすこと	57.7	
AIDS（HIV）をなおすこと	55.2	
うちゅう旅行	41.8	
地しんが起きる前にわかること	37.8	
かんきょうに悪くないエネルギーを作ること	28.9	
うちゅう人と会うこと	16.4	
ちきゅうのおんだん化をふせぐこと	15.9	
ごみ問題をなくすこと	14.9	

東京経済大学「21世紀に期待すること」1998年7月　より

（2）調査結果を比べる

わたしたちのクラスで、「人間にとってきぼうのある社会になる」と思っている人は、日本の高校生より多いです。60%いました。

わたしたちのクラスでは、「ガンをなおすことができるようになる」と思っている人がたくさんいます。日本の高校生と同じです。

（3）インタビュー

A：すみません。み来の社会についてインタビューしたいんですが。

B：はい。どうぞ。

A：B さんは、み来の社会はどうなると思いますか？

B：そうですね…。今よりべんりになると思います。

A：どんなところがべんりになると思うんですか。

B：今よりはやいのり物ができて、行きたいところにすぐ行けるようになると思います。

A：わかりました。どうもありがとうございました。

バリエーション

（1）日本人と学習者の調査結果を比較した作文を書く。

先生へ

・＜手順＞（2）では、事前に次のページのようなインタビューの進め方を指導する。

・参考文献：『若者ライフスタイル資料集 2000』（株）食品流通情報センター（編集・発行）

＜インタビューの進め方＞

インタビューをする人	答える人
インタビューを始める すみません。 みらいの社会についてインタビューしたいんですが。	
	応答する はい、どうぞ。／はい、何ですか。
質問する ～さんは、みらいはどうなると思いますか。	
	質問に答える （未来の社会について考えていること）
くわしく聞く そうですか。 どんなところが（相手の言ったこと）んですか。 ---------- または ---------- **理由を聞く** そうですか。 どうして（相手の言ったこと）んですか。	
	答える （自分の意見をくわしく説明する） ---------- または ---------- （自分の意見の理由を言う）
インタビューを終わる わかりました。 どうもありがとうございました。	

20-9 わたしたちの未来 ♡

活動 グループごとに自分たちの考える未来について文章を書き、日本の学校に送る。

かたち

時間 ●●●+

せつめい編

文-79　Vようになります

文-80　みたいです／ようです

文-82　Vやすいです

準備する物

談話の技術

内容を構成する（紹介）

使うことば

未来＊、社会、いろいろ、考える、今、～市、人口、季節、雨季＊、乾季＊、～中＊、商業＊、盛ん、中心＊、公園、木、運動場＊、休み、遊ぶ、最近、増える、いくつか、問題、まず、いつも、道、混む＊、市役所＊、かかる、使う、次、出る、ガス＊、空気、悪い、通る、そば、枯れる＊、ときどき、せき＊、グループ＊、話し合う＊、地下鉄、モノレール＊、意見、また、お金、大切、知らせる、増やす＊、最後、まとめる＊、たいへん、きれい、そして、安心〔する〕、生活〔する〕、みなさん

▲はじめまして／～について／これらの～

手　順

1. ＜モデルテキスト＞（1）を読む。クラスで内容を確認する。
2. 20-7の報告文や、20-8のクラス調査とインタビューの結果などを使って、「未来の社会」について作文を書く。書くときに、＜モデルテキスト＞（2）「作文の構成」を参考にする。
3. 作文を集めて、日本の学校などに送る。

モデルテキスト

（1）作文

「み来の△△市」

はじめまして。わたしたちはＸＸＸ国の○○高校で日本語を勉強しています。日本語のクラスで、み来の社会についていろいろ考えてみました。

み来の社会について書く前に、今の△△市について書きたいと思います。

わたしたちの住んでいる△△市は大きい町です。人口は 10 万人くらいです。きせつは雨きとかんきがあります。一年中暑いです。雨がよくふります。しょう業がさかんです。20 年前ぐらいまでは小さい町でしたが、今は大きい町になりました。町の中心に大きいこうえんがあります。木がたくさんあって、新しい運動場もあって、休みの日にはたくさんの人があそびに来ます。

△△市は、とてもきれいで住みやすい町ですが、さい近車がふえたので、いくつかの問題があります。

まず、いつも道がこんでいます。町の中の車を少なくするために、市役所は、「バスにのりましょう」と言っていますが、バスで行くと時間がかかるので、みんなあまり使いたくないみたいです。

つぎに、車から出るガスで町の空気が悪くなっています。町の中にも木がたくさんありますが、車がたくさん通る道のそばの木はかれそうです。わたしたちも、そんな道を歩くと、ときどきせきが出ます。

20

わたしたちは、これらの問題についてグループで話し合いました。「地下てつやモノレールを作ったほうがいい」と言った人がたくさんいました。また、「地下てつやモノレールを作ったらお金がかかるので、町の人に木が大切だと知らせて、木をふやしたほうがいい」と言った人もいました。

さい後に、わたしたちの意見をまとめてみます。今は車が多くてたいへんですが、みらいの△△市は、地下てつやモノレールができて、車が少なくなっていくだろうと思います。木がふえて、今より空気がきれいになっていくでしょう。そして、みんなが安心して生活できるようになるだろうと思います。

みなさんはどう思いますか。みなさんの町はどんなところか教えてください。

（2）作文の構成

「＿○○＿＿の未来」

あいさつ

はじめまして。わたしたちは（　国名　）の（　学校名　）で日本語を勉強しています。（　クラスまたは自分の紹介　）

↓

テーマを紹介する

日本語のクラスで、み来の○○についていろいろ考えてみました。

↓

＜現在のようす＞

まず、み来の○○について書く前に、今のことについて書きたいと思います。

現在は（　話題にしたいこと、たとえば自分の町の現在のようす　）。

↓

＜現在のようすについて考えたこと＞

わたしたちは、これら（の問題）について（グループ／クラス）で（話し合いました／考えました／インタビューしました…）。

……という意見の人がたくさんいました。また、……という意見もありました。

↙　↘

結論 ＜未来について＞1

（　もし未来の○○が今と違うと思ったら　）

わたしたちの意見をまとめてみます。

今は…ですが、み来の○○は、…。

結論 ＜未来について＞2

（　もし未来の○○が今とあまり変わらないと思ったら　）

わたしたちの意見をまとめてみます。

み来の○○は今とかわらない

でしょう。…

↓　↓

文章を終る

みなさんはどう思いますか、みなさんの考えを教えてください。また、みなさんの（町／学校…）はどうか教えてください。

バリエーション

(1) 日本の学校に姉妹校があったら、そことの交流の一つの活動として、作文をまとめて送ることができる。また、日本以外のほかの国で日本語を勉強している学校と交流する際に、作文交換をすることもできる。

(2) グループやクラスで作った文章をコンピュータに入力し、ホームページを作る。ホームページの例は、p.235～p.237を参照。

先生へ

- 「作文の構成」の太字の部分は母語に訳す。
- 学習者に身近なテーマ（学校や町など）の様子を書いたほうが学習者にとって書きやすい。
- 参考になるホームページ：
  http://jin.jcic.or.jp/kidsweb/（日本語・英語）KIDS WEB JAPAN
  日本の文化や学校について紹介しているホームページ。その中で「学校へ行こう」のページはホームページを作るとき、参考になる。

（注）ホームページの例の表記には、3級外の漢字も含まれている。

学校紹介
わたしたちの教室です。
学校にはりすがいます。
見えますか。
朝、はすの花がさきます。
七夕のとき、たんざくにねがいごとを書きました。

「みらいの△△市」

はじめまして。わたしたちは×××国の○○高校で日本語を勉強しています。日本語のクラスで、みらいの社会についていろいろ考えてみました。

わたしたちの住んでいる△△市は大きい町です。人口は 10万人くらいです。きせつは雨きとかんきがあります。一年中あついです。雨がよくふります。しょうぎょうがさかんです。20年前ぐらいまでは小さい町でしたが、今は大きい町になりました。町の中心に大きいこうえんがあります。木がたくさんあって、新しい運動場もあって、休みの日にはたくさんの人があそびに来ます。

△△市は、とてもきれいで住みやすい町ですが、さいきん車がふえたので、いくつかの問題があります。

まず、いつも道がこんでいます。町の中の車を少なくするために、市役所は、「バスにのりましょう」と言っていますが、バスで行くと時間がかかるので、みんなあまり使いたくないみたいです。

つぎに、車から出るガスで町の空気が悪くなっています。町の中にも木がたくさんありますが、車がたくさん通る道のそばの木はかれそうです。わたしたちも、そんな道を歩くと、ときどきせきが出ます。

わたしたちは、これらの問題についてグループで話しあいました。「地下てつやモノレールを作ったほうがいい」と言った人がたくさんいました。また、「地下てつやモノレールを作ったらお金がかかるので、町の人に木が大切だと知らせて、木をふやしたほうがいい」と言った人もいました。

さいごに、わたしたちの意見をまとめてみます。今は車が多くてたいへんですが、みらいの△△市は、地下てつやモノレールができて、車が少なくなっていくだろうと思います。木がふえて、今より空気がきれいになっていくでしょう。そして、みんなが安心して生活できるようになるだろうと思います。

みなさんはどう思いますか。みなさんの町はどんなところか教えてください。

巻末（かんまつ）

1. 教室で使う表現

1. 授業のはじめと終わり

① じゃあ、はじめましょう。
② じゃあ、おわりましょう。

2. 先生の指示

① (こたえを) 言ってください。
もう一度言ってください。
いっしょに言ってください。
大きいこえで言ってください。
② (テープを) 聞いてください。
よく聞いてください。
もう一度聞いてください。
③ (ノートに) 書いてください。
かたかなで「〜」と書いてください。
④ (こくばんを) 見てください。
(本を) 見ないでください。
⑤ (〜ページを) 読んでください。
大きいこえで読んでください。
こえを出さないで読んでください。
⑥ (〜さんに) 質問してください。
⑦ こたえてください。
大きい声でこたえてください。
⑧ (となりの人と) 話してください。
⑨ 立ってください。
せきにもどってください。
一まいずつとってください。
(本を／〜ページを) ひらいてください。
本をとじてください。
手を上げてください。
⑩ 〜人のグループになってください。
ペアになってください。
⑪ (だれが／なにが／どれが…か) 考えてください。
⑫ (答え合わせのとき)
じゃあ、みんなでいっしょにやってみましょう。
⑬ (試験のとき)
はじめてください。
やめてください。
⑭ しずかにしてください。

3. 先生から生徒へ

① (理解を確認する)
わかりましたか。
何か質問がありますか。
② (生徒をほめる)
そうですね。
いいですね。
よくできました。
③ (生徒が答えを間違えたとき)
おしいですね。
そうですか。もう一度考えてください。

4. 生徒から先生へ

① (先生に声をかける)
先生。
② もう一度言ってください。
③ 聞こえません。
④ こくばんの字が (小さくて) 読めません。
⑤ 質問があります。
⑥ わかりません。
⑦ 宿題は、何ですか。
⑧ 宿題は、いつまでですか。
⑨ (プリントを) ください。
⑩ (プリントが) たりません。
⑪ (プリントが) あまりました。
⑫ すみません。(えんぴつを) わすれました。
⑬ ごめんなさい。
⑭ まどをあけてもいいですか。
⑮ トイレに行ってもいいですか。
⑯ (授業が終わってかえるとき)
先生、さようなら。
先生、また明日。

巻末

2. 練習一覧

	B	No.	名前	分類	活動
2	13	1	留学生の悩み相談 ▪▪ ♡	文型	悩みを相談する／助言する。
8	13	2	入ってはいけません ▪▪ ♡	文型	場面ごとの生活の規則を聞いて絵と合わせる。規則を書く。
12	13	3	あげもらいパス	文型	「あげます」「もらいます」を使いながらボールをパスする。
14	13	4	手袋をもらいました ♡	文型	プレゼント交換をして、だれに何をもらったかを発表する。
16	13	5	プレゼント	文型	プレゼントをあげたりもらったりしたことについての文を読む／書く。
20	13	6	日本でホームステイ ▪▪	聴解	日本でホームステイをするときの注意を聞いて、理解する。
24	13	7	富士山に登ってみたいです ♡	読解・作文	ホームステイの家族への手紙を読む／書く。
28	14	1	られるリレー	活用	動詞の「ます形」を可能形にかえる。
30	14	2	泳げますか ▪▪ ♡	文型	何ができるか質問する／質問に答える。質問した結果を報告する。
32	14	3	学校クイズ ▪▪	文型	学校の中の場所でできることについて質問する／答える。
34	14	4	いろいろな学校 ▪▪	聴解	日本の学校の制服の紹介を聞く。
38	14	5	ポートボール	読解	スポーツのルールを理解する。
42	14	6	月曜日はちょっと ▪▪ ♡	会話	理由を言って友達の誘いを断る。
46	14	7	ごめんなさい ▪▪	文型	自分のやった失敗について謝る。
50	14	8	たいへんな一日 ♡	読解・作文	失敗したことについて書かれた文章を理解する。自分の失敗について書く。
54	15	1	ポスター	文型	ポスターの絵を見て、それに合った呼びかけのことばを考える。
58	15	2	歌「日本サバイバル」 ▪▪	文型	歌で「～たら」の使い方を覚える。
60	15	3	ここはどうですか	文型	ある場所で、したいと思っていることができるかどうかについて質問する／答える。
62	15	4	わたしが市長になったら ▪▪ ♡	文型・会話	(1) 市長になりたい人のスピーチを聞いて主張を理解する。 (2) 自分が市長になったらどうするか考えて簡単なスピーチをする。
66	15	5	リサイクル	読解	リサイクルの工作のやり方を読んで理解する。
70	15	6	地理のクイズ	文型	いろいろな町や国についてのクイズを出す／それに答える。
74	15	7	順番にならべましょう	文型	聞いたことを理解してカードを順番にならべる。
78	15	8	どちらのほうがいい店ですか ▪▪ ♡	聴解・会話	(1) 2つの店について調査の報告を理解する。 (2) よく買い物に行く店について調べて、ほかの店と比べる。
80	16	1	日本とくらべる	文型	日本と自国の地理的な情報を比較する。
82	16	2	有名人にインタビュー ♡	文型	インタビューで聞きたいことを考えて、発表する。
86	16	3	日本の歴史	読解	歴史についての文を読んで、年代順に並べる。
90	16	4	おまわりさんの交番日記 ▪▪	聴解・読解	交番での会話を聞く／できごとについて書かれた文章を読む。
94	16	5	すずめのお宿 ▪▪	読解	昔話を読む。
98	16	6	ぜひ、わたしの町に来てください ▪▪ ♡	読解・作文	観光地の紹介を読む／書く。
104	16	7	歌舞伎 ▪▪ ♡	聴解・会話	(1) 日本の伝統についてのインタビューを聞く。 (2) 自国の伝統についてのインタビューをする。
110	17	1	「意向形」カードゲーム	活用	ゲームを通して、「意向形」を練習する。
112	17	2	人気がある仕事 ▪▪ ♡	文型	クラスで、将来希望する仕事の調査をして、発表する。
116	17	3	何のためですか ♡	文型	しようと思っている行動の目的を聞く／言う。
118	17	4	高いかもしれません ♡	文型	日本でホームステイをするとき必要な物を想像して言う。
122	17	5	何になろうと思っていますか ▪▪ ♡	聴解・会話	卒業後の進路について相談している会話を聞く／会話をする。
128	17	6	仲間探し ▪▪ ♡	会話	休みの日の予定をたずねる／答える。
130	17	7	将来の夢 ♡	読解・作文	(1) 将来の夢についての文章を読んで理解する。 (2) 自分の将来について作文を書く。
134	18	1	春になると…	文型	「と」を使った条件文を次々につなげて言う。
138	18	2	準備をしておきます ♡	文型	(1) 準備することのリストを見て、その行事を当てる。 (2) ある行事のためにどんな準備が必要か考えて言う。
142	18	3	ボランティア	文型	自分で決めたことを言う／あみだくじで決まったことを言う。
146	18	4	ジェスチャー・ゲーム	文型	ジェスチャーを見て、その様子から状況を推測して言う。
148	18	5	劇をすることにします ♡	文型	決めたことと決めた理由を書く。
150	18	6	クラブ紹介 ▪▪ ♡	聴解・会話	(1) クラブ活動についての説明を聞く。 (2) 話し合って、入るクラブを選ぶ。

かたち	時間	聞	話	読	書	せつめい編（文型・活用・助詞・語彙）
(1) グループ　(2) ペア	(1) ●　(2) ●●	○	○			文 45, 文 46, 文 48
グループ	(1) ●　(2) ●●	◎	○		◎	文 47
クラス	●		○			文 50, 文 51
クラス	●●		○			文 51
個人	●●			○	○	文 50, 文 51
個人	●●	○				文 46, 文 47, 文 49
個人	●●●			○	○	文 48, 文 49
グループ	●				○	活 06
グループ	●●	○	◎			文 52, 活 06
ペア	●●	○	◎			文 52, 活 06
ペア	●●	○	○			文 53, 文 54
クラス	●●●			○		(文 47), 文 52, 文 53, 助 28
クラス	●●	○	○			文 53, 助 28
グループ	●●		○			文 55
個人	(1) ●●　(2) ●●			○	○	文 52, 文 55, 文 56
グループ	●●			○	○	文 57
クラス	●●	○	○			文 57
クラス→グループ	●●	○	○			(文 52), 文 57, 文 58
(1) クラス (2) 個人	(1) ● (2) ●●●	○	○		○	文 57, 文 59, 文 60
個人	(1) ●●　(2) ●●●+			○		文 57, 文 59
ペア	●●	○	○			文 61, 文 62
ペア	●	○				文 61
(1) クラス (2) グループ	(1) ●● (2) ●●●+	○	○			文 61, 文 62
個人→クラス	●●●+		○			文 63
グループ→クラス	●●		○		○	文 64
個人	●●			○		(文 49), 文 65
個人	●●●	○		○		(文 45, 文 55), 文 64, 助 30
個人	●●			○		(文 50, 文 51), 文 65, 助 29, 助 30, 語 09
(1) 個人 (2) グループ	(1) ●●　(2) ●●●+		○	◎	◎	文 65, 文 66, 助 29
(1) 個人→クラス (2) 個人→ペア	(1) ●● (2) ●●●+	◎	◎		○	(文 45, 文 49), 文 63, 文 65
グループ	●		○		○	活 07
グループ→クラス	●●	○	◎		◎	(文 64), 文 67, 活 07
グループ→クラス	●●	○	○		○	文 67, 文 70, 活 07
個人	●●		○		○	文 67, 文 68, 活 07
(1) クラス (2) ペア	(1) ●　(2) ●●	◎	◎		○	文 67, 文 69, 文 70, 活 07
クラス	●●	○	◎		○	文 67, 活 07
個人	(1) ●● (2) ●●●			○	○	文 67, 文 69, 文 70, 活 07
クラス	●		○			助 31
(1) クラス (2) グループ	(1) ● (2) ●			○	○	文 72
グループ→クラス	●●		◎	○		文 73, 文 74
グループ	●●		○			文 71
ペア	●		○	○	○	文 74
(1) クラス (2) ペア	(1) ●● (2) ●●	○	○			(文 53), 文 71, 文 74, 助 31

巻末

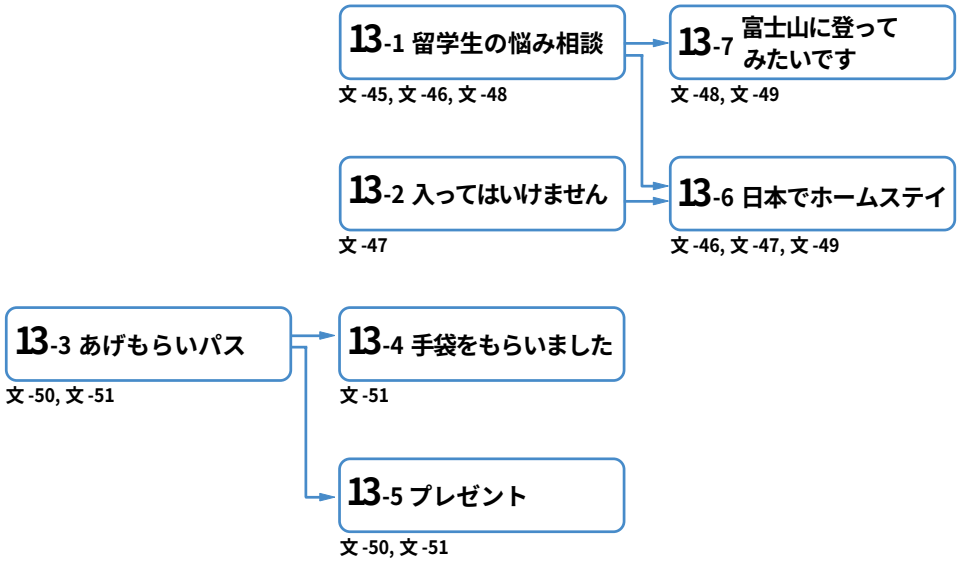
	B	No.	名前	分類	活動
156	18	7	忙しい 2 学期	聴解	日本の学校行事について話している会話を聞く。
160	18	8	日本の学校行事 ♡	読解・作文	(1) 日本の学校行事についての文章を読んで理解する。 (2) 学習者の学校の行事を説明する作文を書く。
166	19	1	来週の木曜日の試験	文型	ほかの人から聞いたことを別の人に伝える。
168	19	2	新聞を読んで	文型	ニュースで聞いたことを伝える。
170	19	3	十二支の中にねこがいない理由	聴解・読解	十二支についての会話を聞く／読む。
176	19	4	手紙を出したのに	文型	意味を考えて、前半と後半をつないで 1 つの文にする。
180	19	5	お礼のカード ♡	作文	だれかがしてくれたことに対して、お礼のカードを書く。
184	19	6	山田さんへの手紙	読解	お礼の手紙を読む。
188	19	7	ホームステイの報告	聴解	ホームステイの報告をしている会話を聞いて理解する。
194	20	1	E メールを始めてから♡	文型	新しい道具を使うようになって起こった生活の変化について書く／言う。
196	20	2	お化けアパート	会話	音を聞いて、わかったことを報告する。
202	20	3	留学生が見た日本	文型	町の様子を見て、そこからわかることを言う。
206	20	4	書きやすいペン	文型	商品の使いにくい点を言って、ほかの物に換えてもらう。
208	20	5	コンピュータの教育	文型	グラフを見て説明文を書く。
212	20	6	いろいろな未来	読解	未来に関する文章を読む。
218	20	7	未来のニュース ♡	聴解	ニュースを聞いて、そのニュースの背景について推測する。
224	20	8	調査「未来はどうなる？」♡	読解・会話	(1) 未来の社会について、日本人に聞いた調査結果を読む／クラスで調査をする。 (2) 未来の社会について、どう考えているかインタビューする。
230	20	9	わたしたちの未来♡	作文	グループごとに自分たちの考える未来について文章を書き、日本の学校に送る。

	かたち	時間	聞	話	読	書	せつめい編（文型・活用・助詞・語彙）
	クラス	●●	○				文 71, 文 72, 文 73, 文 74
	（1）クラス （2）個人	（1）●● （2）●●●			○	○	文 73, 助 31
	グループ	●●	◎	◎		○	文 78
	グループ→クラス	●●		○		○	文 78
	個人	●●●	◎		◎	○	文 75, 文 78, 活 08
	個人	●●			○	○	
	個人	●●				○	文 77, 助 32
	個人→クラス	●●●			◎	○	文 75, 文 76, 文 77, 活 08（助 30）
	個人	●●	◎			○	文 75, 文 76, 文 77, 活 08, 助 32
	ペア	●●		○		○	文 79
	ペア	●●	○	○			文 80
	グループ	●●		○		○	文 80
	ペア	●●		○			文 82, 文 83
	個人	●●			○	○	文 81
	個人→グループ	●●●＋			○		(文 75), 文 79, 文 80, 文 82, 文 83,(活 08)
	クラス→個人	●●	○			○	文 79, 文 80, 文 81, 文 82
	（1）個人→クラス （2）ペア	（1）●● （2）●●	○	◎	◎		文 79
	グループ	●●●＋			○	○	文 79, 文 80, 文 82

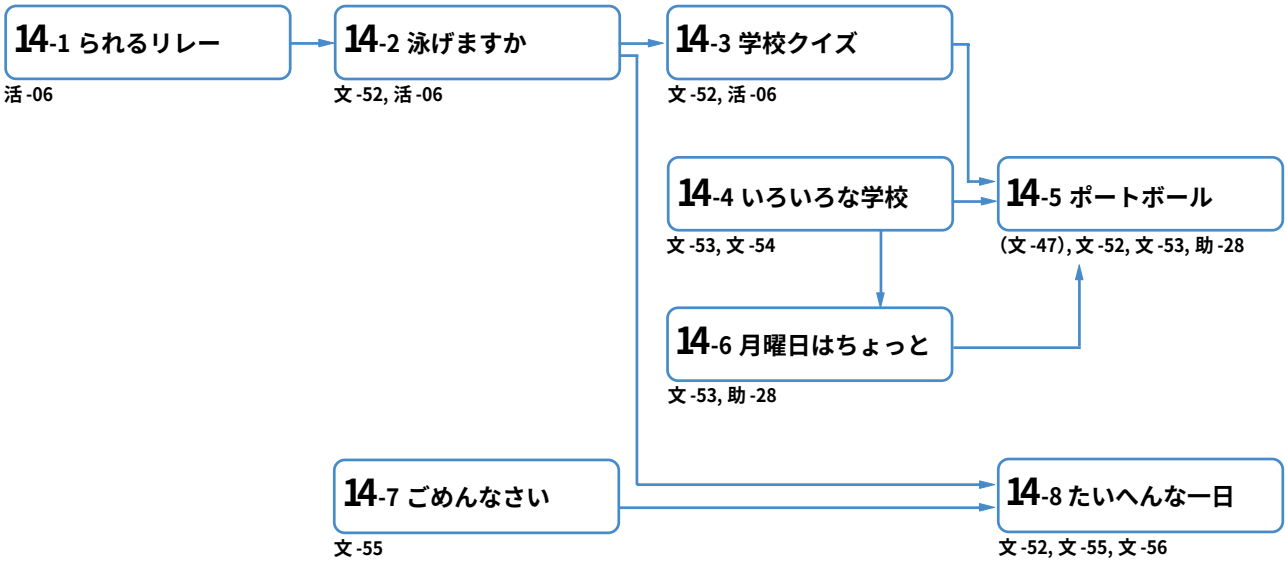
3. ブロック別練習の順序例

左から右に行くにしたがって、語→文→談話のように、より大きい単位を練習の対象としている。
それにともなって練習の手順も複雑になっている。

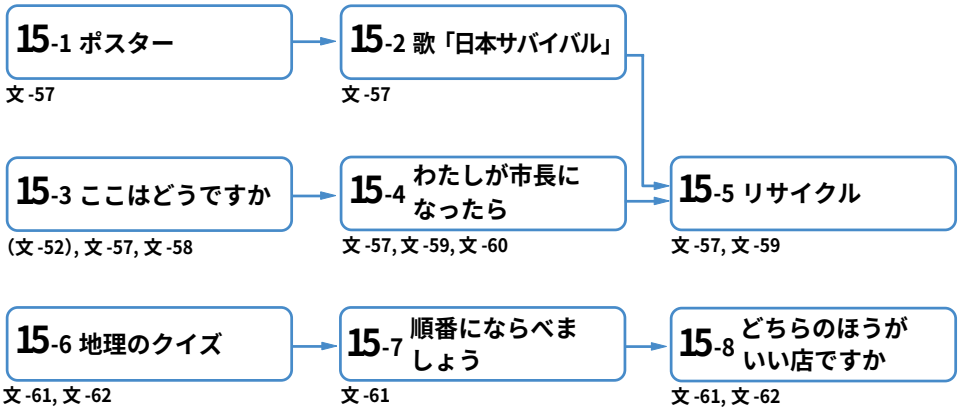
13 ホームステイ



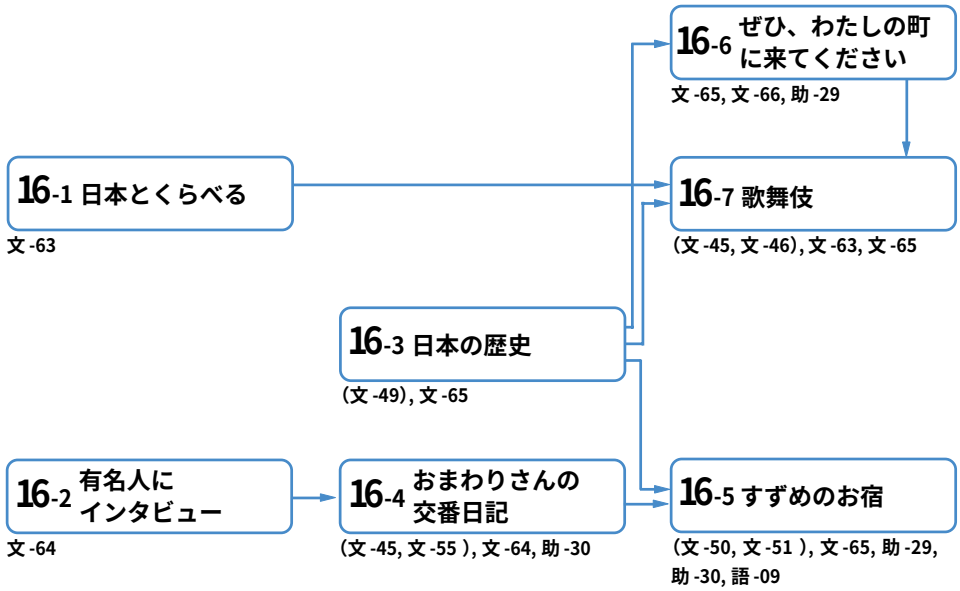
14 学校生活



15 わたしの町

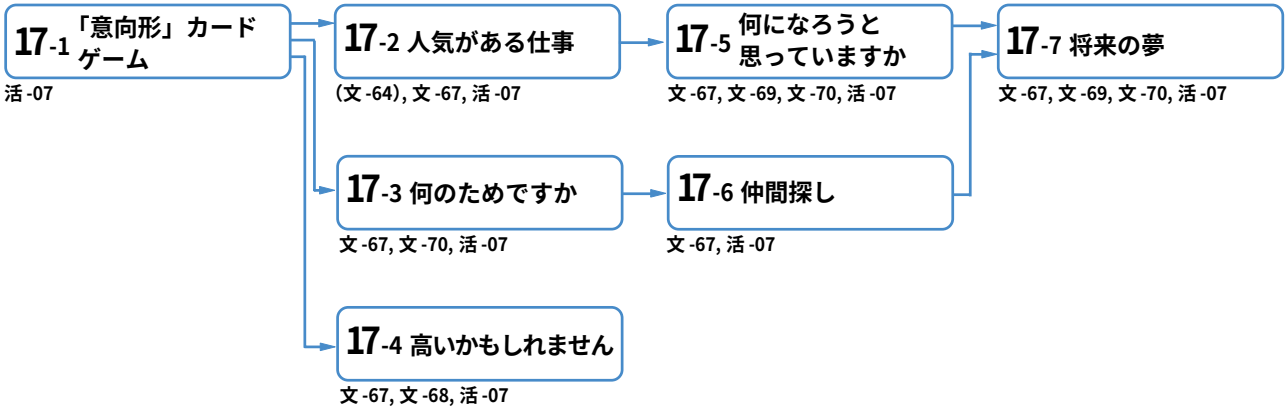


16 歴史と観光

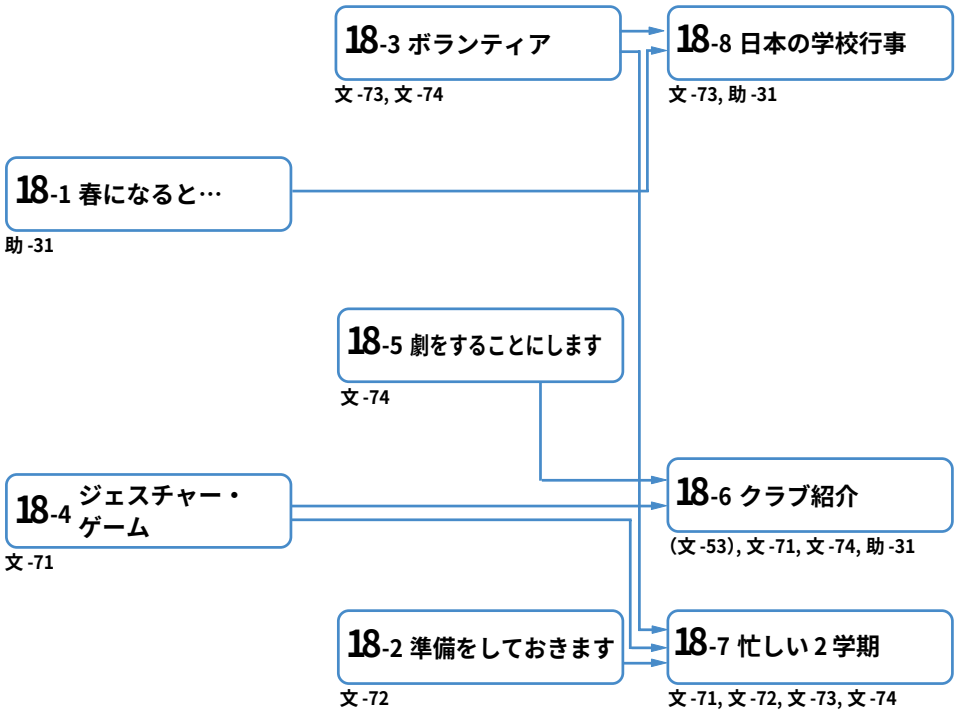


巻末

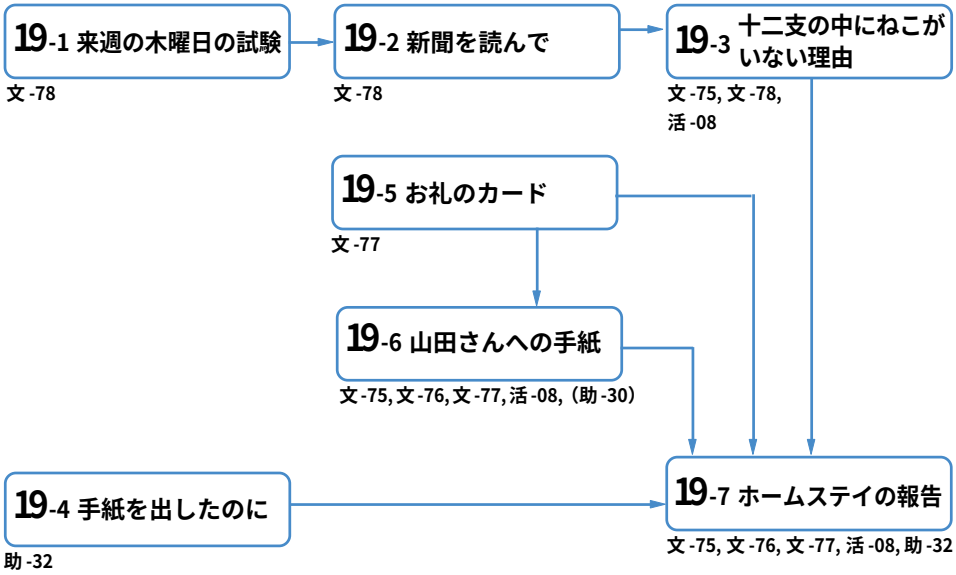
17 わたしの将来



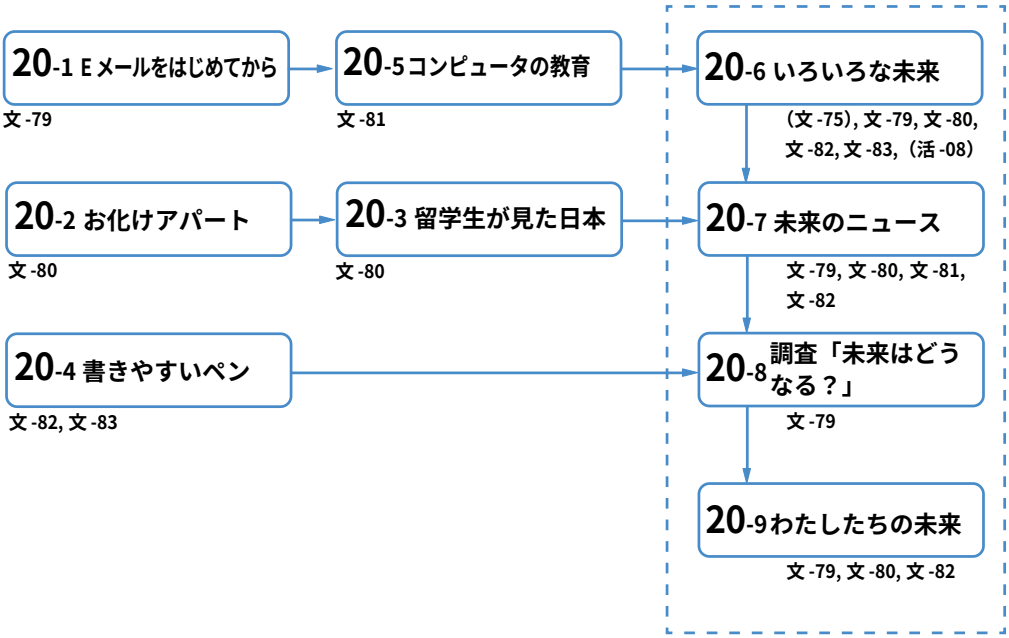
18 学校行事



19 コミュニケーション



20 現在と未来



(注) 点線内は総合的な練習。

巻末

4. 談話単位の機能

この表では、「れんしゅう編2」の練習で扱った談話単位の機能を集めた。場面や人間関係、言語使用の目的が実生活上のコミュニケーションに近いものを取り上げた。活用、文型の定着を目指した単文単位の練習や、基本的な質問・答えの会話は、この表では取り上げていない。

A. 人に働きかけをする／受ける・断る

機能	練習番号
助言	13-1
誘い	14-6, 17-6
謝り	14-7
苦情	20-4

B. 情報の授受

機能	練習番号
事実・事情	13-1, 14-2, 14-6, 15-8, 16-6, 16-7, 17-2, 18-8, 20-9
感情・判断・意志	17-5, 17-7, 18-3, 18-6, 20-8

C. 人間関係を結ぶ・維持する

機能	練習番号
自己紹介	13-7
お礼	19-5

5. ＜談話の技術＞一覧

ひとまとまりの内容を持った会話をしたり、文章を書いたりするときに使う、内容構成に関わる技術とその表現。

1. 話しことばの技術

(1) 話し手の技術

技術	表現	練習番号
① 会話を始める	～さん	14-2, 14-6, 15-3
	あのう	16-7, 18-6
	すみません	20-4, 20-8
② 会話を終わる	どうもありがとうございました／ ありがとうございます／ どうもありがとう	14-2, 16-7, 17-5, 20-4, 20-8
	じゃあ、がんばってください	17-5
	じゃあ、また今度	17-6
	じゃあ、またいつか行きましょう	17-6
	わかりました	20-8
③ 話を構成する		14-6, 15-8, 16-2, 16-7, 17-2, 17-6, 19-2, 20-8
④ 相手の発話を聞いて話を進める	じゃあ	13-1, 14-6, 16-7, 17-5, 18-3, 18-6
⑤ 間をとる	ん…	13-1
	そうですね…	16-7, 20-8
	ええと	18-3, 18-6

(2) 聞き手の技術

技術	表現	練習番号
① 応答する	はい	13-1, 14-2, 17-5, 20-4
	ああ、そうですか	14-6
	そうですか	13-1, 14-6
	ああ、～ですね	18-6
	ええ、いいですよ	16-7
	えっ、そうなんですか	16-7
	いいですよ	17-6
	いいですね	17-6
	ええ	18-6
	はい、どうぞ	20-8
② 確認する	～んですね	16-7
	～ですね	18-3
	～ですか	18-6
③ あいづちをうつ	そうですか	14-2, 16-7, 17-5, 17-6
	ええ	18-6

2. 書きことばの技術

技術	表現	練習番号
内容を構成する		13-7, 14-8, 16-6, 17-7, 18-8, 19-5, 20-7, 20-9

6. ＜モデルテキスト＞と＜タスクシート＞の漢字一覧

音読みの五十音順

ア
悪安暗以意一引員院飲雨運映駅円遠屋音下化＊火花何科＊夏家歌画会回海界開外学楽活＊間寒漢館顔気紀＊起

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ク
帰休究急牛京強教近金区空兄計軽月犬見建研県験元言古午後語口広考行光好校高合国黒今菜作三山産

ケ

コ

サ

シ
子止支＊市仕使始姉思紙試字自寺＊事持時室質写社車借弱手首秋終週習集十住重出春所書暑女小少上乗進

ス
場色食心神＊真森新親人図水世生西声青夕赤切説川先洗前早走村送族太多体大代台題短男地池知茶着中

セ

ソ

タ

チ

ツ
昼町長鳥朝通低弟天店転田電都土度冬東答頭同動道働特読二日入年売買白発飯病不父部＊風服物分文聞

テ

ト

ニ

ネ

ハ

ヒ

フ

ヘ
平＊別勉便歩母方北木本毎妹万民名明目門問夜野役＊薬友由有用洋曜来理立留＊旅両料林＊練＊和＊話

ホ

マ

ミ

メ

モ

ヤ

ユ

ヨ

ラ

リ

レ

ワ

＊＝『日本語能力試験出題基準』3級外の漢字。

7. 語彙索引

(1) 五十音順語彙索引

提出語彙を五十音順に並べた。書き方は以下の通り。

- 左の列から、「見出し語（かな）／見出し語（漢字）／提出ブロック・練習番号／品詞／『日本語能力試験出題基準』3級外の語彙の表示」。
- 漢字表記は常用漢字の範囲とした。ただし、同音異義語の区別をするために常用漢字外の漢字を使用した場合は、（　　）が付いている。固有名詞はこの範囲に限定されない。
- 数字はブロック番号と練習番号を表している。ただし、同じブロック内の練習番号は「,」で区切っている。
- 品詞の表し方
  名＝名詞、固＝固有名詞、動＝動詞、イ＝イ形容詞、ナ＝ナ形容詞、副＝副詞、助＝助詞、疑＝疑問詞、数＝助数詞、接＝接続詞、感＝感動詞、指＝指示詞
- 「＊」は、『日本語能力試験出題基準』3級外の語彙。

あ行

ああ		14-6/16-5/19-3	感	
アイスクリーム		20-3	名	＊
あいだ	間	18-8	名	
あいて	相手	14-5	名	＊
あう	会う	13-7/16-5/17-6/20-8	動	
あう	合う	20-6	動	
あお	青	18-8	名	
あおいまつり	葵祭	16-6	固	＊
あか	赤	16-6/18-8	名	
あがる	上がる	13-6	動	
あかるい	明るい	17-7	イ	
あき	秋	16-6/18-8	名	
あきかん	空き缶	18-3	名	＊
あきち	空き地	15-4	名	＊
アクセサリー		14-4	名	
あげる		13-3,5/14-8/16-5/17-1/18-2,5	動	
あさ	朝	14-8/18-6	名	
あそぶ	遊ぶ	14-1/15-4/17-1/18-3/19-5/20-1,6,9	動	
あたたかい	暖かい	15-6/18-1/19-4	イ	
あたたまる	温まる	13-6	動	＊
あたま	頭	13-1/15-1	名	
あたらしい	新しい	14-4/16-3/18-8	イ	
あつい	暑い	14-8/18-4	イ	
あつい	熱い	18-4	イ	
あつまる	集まる	18-1	動	
あつめる	集める	18-3	動	
あてる	当てる	14-3/15-5	動	＊
あと	後	16-5/18-7	名	
あね	姉	14-8	名	
あのう		16-4,7	感	
アパート		20-2	名	
あまい	甘い	19-4	イ	
アマゾンがわ	アマゾン川	15-6	固	＊
あまり		13-1,6/14-8/20-6	副	
あみ	網	15-5	名	＊
あむ	編む	13-5	動	＊
あめ	雨	15-6	名	
アメリカ		16-3	固	
あやまる	謝る	14-8	動	
あらう	洗う	13-6/14-7/15-5/18-2	動	
ある		13-1/15-1,8/20-2	動	
ある	ある（或る）	16-5		＊
あるく	歩く	13-6/14-5,8/19-3	動	
アルバイト		17-3	名	
あれっ		19-3	感	＊
アンケート		17-7	名	＊
あんしん〔する〕	安心〔する〕	15-2/20-9	名	
あんない	案内	15-2	名	
いい		14-4,8/15-4,8	イ	
イーメール	Ｅメール	17-4/20-1	名	＊
いう	言う	14-1/16-4,5,7/17-1	動	
いく	行く	13-1,7/14-1,6/15-3/17-1	動	
いくつか		20-9		
いけん	意見	20-9	名	
いし	石	13-5	名	
いしゃ	医者	17-2	名	
いじょう	以上	14-5	名	
いじわる	意地悪	16-5	ナ	＊
いす	椅子	18-2/20-4	名	
いそがしい	忙しい	18-4,7	イ	
いそぐ	急ぐ	14-8	動	
いたい	痛い	13-1/15-1/18-4	イ	
イタリアりょうり	イタリア料理	20-3	名	＊
いちにち	一日	14-8	名	
いちばん		16-1,3/17-2,7/18-7/20-6	副	
いつ		16-2,6,7/19-1,2	疑	
いつか		17-6		
いっしょ	一緒	17-6	名	
いっしょうけんめい	一生懸命	13-7/14-8/17-3,7/19-6	副	
いっしょに	一緒に	17-6/20-2	副	
いっぱい		13-7	副	
いつも		14-8/16-5/19-4/20-9	副	

いなか	田舎	20-8	名	
いぬ	犬	15-3/19-3	名	
いのしし		19-3	名	＊
いま	今	13-7/16-3/20-9	名	
いもうと	妹	19-4,7	名	
イヤホーン		20-7	名	＊
いりぐち	入口	13-6	名	
いる	居る	13-1/15-1	動	
いる	要る	16-4	動	
いれる	入れる	15-1,5/19-4/20-7	動	
いろいろ		13-7/15-4/16-7	ナ	
いろいろ		20-9	副	
いわう	祝う	20-3	動	＊
インターネット		20-6	名	＊
インタビュー〔する〕		16-2/20-8	名	＊
インド		15-6	固	＊
インドりょうり	インド料理	20-3	名	＊
うえ	上	13-6/14-5/15-5	名	
うえる	植える	15-4/18-3	動	
うき	雨季	20-9	名	＊
うけとる	受け取る	13-6/14-5	動	＊
うける	受ける	17-1/19-1/20-6	動	
うごく	動く	16-7/20-6	動	
うさぎ		19-3	名	＊
うし	牛	17-5/19-3	名	＊
うた	歌	15-2/16-7/18-5,6/19-5/20-2	名	
うたう	歌う	14-1/17-1/18-5/19-5/20-2	動	
うち		13-6/14-6/16-5/19-4	名	
うちゅう	宇宙	16-2/20-6	名	＊
うちゅうじん	宇宙人	20-8	名	＊
うちゅうひこうし	宇宙飛行士	16-2	名	＊
うちゅうりょこう	宇宙旅行	20-6,8	名	＊
うでどけい	腕時計	13-5/20-6	名	＊
うま	馬	19-3	名	＊
うまれる	生まれる	19-3	動	
うみ	海	18-7/20-6	名	
うる	売る	15-8/17-5/18-8	動	
うれしい		18-4/19-5,6	イ	
うんてん〔する〕	運転〔する〕	14-1/17-1	名	
うんてんしゅ	運転手	17-2	名	
うんどうじょう	運動場	20-9	名	＊
え	絵	14-3/18-6/19-3,7	名	
えいが	映画	14-6,8/17-6	名	
えいご	英語	20-3	名	
えき	駅	15-4	名	
えっ		15-3/16-4,7/20-7	感	＊
えど	江戸	16-3	固	＊
エネルギー		20-8	名	＊
えはがき	絵葉書	17-4	名	＊
エベレスト		15-6	固	＊

えらい	偉い	19-3	イ	＊
えらぶ	選ぶ	16-5/19-3	動	
えん	～円	15-1,8	数	
えん	円	18-2	名	＊
エンジニア		17-2	名	＊
えんそく	遠足	18-8	名	＊
おいかける	追いかける	19-3	動	＊
おいしい		14-8/15-3/16-5/18-4/19-4,5,6	イ	
おうさま	王様	16-5	名	＊
おおい	多い	15-4,6,8/16-1,6/20-3	イ	
おおきい	大きい	14-4/15-4,7/16-1/17-7	イ	
おおきさ	大きさ	14-5/20-6,7	名	
おおさか	大阪	14-4/15-6	固	＊
おおぜい	大勢	18-8/20-6	名	
おかあさん	お母さん	13-5/19-7	名	
おかね	お金	16-5/18-2/20-9	名	
おかねもち	お金持ち	20-8	名	＊
おきる	起きる	14-1,8/17-1/20-2,8	動	
おくに	阿国	16-7	固	＊
おくる	送る	19-5/20-6	動	
おくれる	遅れる	14-8/18-4/19-4	動	
おけしょう	お化粧	20-3	名	＊
おこる	怒る	14-8/16-5/19-3	動	
おこる	起こる	20-2	動	＊
おさら	お皿	14-7/18-2	名	
おじいさん		16-5/19-7	名	
おしえる	教える	13-7/17-5,7/18-8/19-3,5,6,7	動	
おしゃれ		15-3	ナ	＊
おす	押す	15-5	動	
おすし		19-6	名	＊
おそい	遅い	14-8/19-3/20-2	イ	
おそく	遅く	18-8	名	＊
おちゃ	お茶	18-5	名	
おちる	落ちる	16-4/18-4	動	
おてら	お寺	16-6/18-8	名	
おと	音	20-2	名	
おとうさん	お父さん	19-7	名	
おとうと	弟	13-5,7/19-7	名	
おとこ	男	14-4/16-4,7/17-7	名	
おとしもの	落し物	16-4	名	＊
おとしより	お年寄り	18-3	名	＊
おとす	落とす	13-1/14-7/16-4	動	
おとな	大人	20-3	名	
おどり	踊り	16-5,6,7	名	
おどる	踊る	20-2	動	
おどろく	驚く	19-3	動	
おなか		14-8/19-4	名	
おなじ	同じ	13-1/14-5/16-7/	ナ	
		17-7/18-3,7/20-6,7		
おにいさん	お兄さん	19-7	名	

おねえさん	お姉さん	13-5/19-7	名	
おばあさん		13-5/16-5/19-7	名	
おばけ	お化け	16-5/20-2	名	＊
おはし	お箸	14-7	名	
おはなみ	お花見	18-1	名	
おふろ	お風呂	13-6	名	
おぼえる	覚える	14-1,6/17-1/18-2/19-3,7	動	
おまわりさん		16-4	名	
おみやげ	お土産	16-5/18-2	名	
おもい	重い	16-5/18-4	イ	
おもう	思う	13-7/14-4,5/15-4,6,8/16-2/17-4,5,6/20-5	動	
おもしろい	面白い	13-1/14-8/16-7/18-4/19-6	イ	
おもちゃ		13-5	名	
おやど	お宿	16-5	名	＊
おゆ	お湯	13-6/18-2	名	
およぐ	泳ぐ	14-1,2,8/17-1/19-5	動	
おれい	お礼	16-4,5/19-5,6	名	
おわかれパーティー	お別れパーティー	18-2	名	＊
おわる	終わる	14-5/18-7,8/19-6	動	
おんがく	音楽	13-7/16-7/17-6/20-2	名	
おんせん	温泉	15-1/19-7	名	＊
おんだんか	温暖化	20-8	名	＊
おんな	女	14-4/16-3,4,6,7	名	

か行

カーテン		14-7	名	
カード		19-5	名	＊
ガードマン		14-5	名	＊
ガールフレンド		17-4	名	＊
がいこく	外国	17-5/18-8	名	
がいこくご	外国語	20-7	名	＊
かいしゃ	会社	19-6	名	
かいしゃいん	会社員	17-2	名	＊
ガイド		17-3	名	＊
かいもの	買い物	14-6/17-6/20-6	名	
カイロ		15-6	固	＊
かう	買う	13-1/14-3/15-3	動	
かう	飼う	17-5	動	＊
かえす	返す	13-1	動	
かえる	帰る	14-1,8/16-5/17-1	動	
かえる	換える	18-2	動	＊
かえる	変える	20-7	動	
かがく	科学	20-8	名	
かかる		20-9	動	
かく	書く	13-7/14-1/17-1/20-4	動	
かく	（描く）	14-3/18-6/19-7	動	
がくねん	学年	18-8	名	＊
かげつ	か月	19-7	数	
かける		15-2/20-1,4	動	
かざり	飾り	20-3	名	＊
かざる	飾る	19-5	動	
かじ	火事	15-2/20-2,6	名	
ガス		20-9	名	＊
かぜ	風邪	20-2	名	
かぞく	家族	13-6,7/18-8/19-5,7	名	
ガソリン		20-6	名	
かたい	固い	17-4	イ	
かたち	形	15-5/20-7	名	
かたづける	片付ける	18-6	動	
かたて	片手	13-6/14-5	名	＊
かつ	勝つ	14-5/18-6/20-6	動	
がっき	学期	18-7,8	数	＊
がっき	学期	18-8	名	＊
かっこいい		14-4	イ	＊
がっこう	学校	13-1,5/14-3,4,8/16-3/19-4/20-6	名	
がっこうぎょうじ	学校行事	18-8	名	＊
がっしょうコンクール	合唱コンクール	18-8	名	＊
かていか	家庭科	14-6	名	＊
かなしい	悲しい	18-4	イ	
カナダ		15-6	固	＊
かばん		13-5/14-4/20-3,4	名	
かびん	花瓶	14-7	名	
かぶき	歌舞伎	16-7	名	＊
かみ	紙	15-5	名	
かみ	髪	14-4	名	
かみさま	神様	19-3	名	＊
カメラ		20-1	名	
かもく	科目	19-1	名	＊
かようび	火曜日	14-6	名	
からい	辛い	14-2	イ	
カラオケ		17-6	名	＊
からだ	体	13-6/16-7/18-3	名	
からて	空手	18-5/19-6	名	＊
かりる	借りる	13-1/14-1/15-3/17-1/18-2	動	
かるい	軽い	13-5	イ	
カレーや	カレー屋	18-5	名	＊
かれる	枯れる	20-9	動	＊
かわ	川	16-1	名	
かわいい		19-5	イ	
かわく	乾く	15-5	動	
かわる	変わる	16-6/18-8/20-7	動	
かん	缶	13-2/15-1	名	＊
かん	間	15-5/18-7/19-7/20-7		＊
がん	癌	20-8	名	＊
かんがえる	考える	14-4/18-2,6/20-6,8,9	動	
かんき	乾季	20-9	名	＊
かんきょう	環境	20-6,8	名	＊

かんこう	観光	16-6	名	＊
かんこうきゃく	観光客	16-6	名	＊
かんこうち	観光地	16-6	名	＊
かんこうまる	観光丸	20-6	固	＊
かんごふ	看護婦	17-2,5	名	
かんじ	漢字	14-6	名	
かんじる	感じる	20-6	動	＊
かんたん	簡単	19-7/20-7	ナ	
がんばる	頑張る	13-1/17-5/18-7/20-7	動	
かんばん	看板	20-3	名	＊
き	木	15-4/16-3/20-9	名	
きいろ	黄色	16-6/18-8	名	
ぎおん	祇園	16-6	固	＊
ぎおんまつり	祇園祭	16-6	固	＊
きかい	機械	20-7	名	
きく	聞く	13-1/16-2,4/17-4	動	
きこえる	聞こえる	16-5/20-2,7	動	
きじ	記事	18-6	名	＊
ぎじゅつ	技術	16-3/20-6	名	
きせつ	季節	16-6/20-9	名	
きそく	規則	14-4	名	
きちんと		13-6	副	＊
キックボード		17-4/20-3	名	＊
きって	切手	15-3	名	
きっと		20-6	副	
きのは	木の葉	16-6/18-8	名	＊
きのみ	木の実	16-3	名	＊
きびしい	厳しい	18-6	イ	
きぼう	希望	20-8	名	＊
きまつテスト	期末テスト	18-7,8	名	＊
きまる	決まる	19-3	動	
きめる	決める	17-2/18-2	動	
きもち	気持ち	19-6	名	
きもの	着物	16-6,7	名	
キャスター		20-7	名	＊
キャラクター		20-3	名	＊
キャンプ		18-2	名	＊
きゅうぎ	球技	18-7	名	＊
きゅうぎたいかい	球技大会	18-7	名	＊
きゅうに	急に	20-5	副	
ぎゅうにゅう	牛乳	17-5	名	
ぎゅうにゅうパック	牛乳パック	15-5	名	＊
きゅうり		13-7	名	＊
きょういくがくぶ	教育学部	17-7	名	＊
ぎょうじ	行事	16-6/18-7,8	名	＊
きょうしつ	教室	19-1	名	
きょうそう	競走	18-8	名	
きょうと	京都	14-4/15-6/16-3,6/18-8	固	＊
きょうみ	興味	16-2	名	
きらい	嫌い	13-7	ナ	

キリマンジャロ		15-6	固	＊
きる	着る	14-1,4/16-6,7/17-1/19-4/20-4	動	
きる	切る	14-4/15-4,5/18-2/20-4	動	
きれい		13-5/15-4,8/16-6,7/17-7/20-9	ナ	
キロ		18-7	数	
きんメダル	金メダル	16-2	名	＊
きんようび	金曜日	14-6	名	
クイズ		14-3/15-6	名	＊
くうき	空気	20-3,6,9	名	
くすり	薬	17-4	名	
くつ	靴	13-2,6/14-4/20-4	名	
くに	国	16-5/17-4/18-8/20-3,6	名	
くみ	組	18-8	数	＊
くも	雲	20-7	名	
ぐらい		16-4,7	助	
グラウンド		18-6	名	＊
クラス		17-7/18-7/19-1/20-6	名	
クラブ		13-1/18-6,8/19-6	名	＊
グラフ		20-5	名	＊
クラブかつどう	クラブ活動	18-6/20-6	名	＊
クリスマス		20-3	名	＊
くる	来る	14-1/15-1/16-4/17-1	動	
グループ		15-8/17-2/20-9	名	＊
くるま	車	13-2/18-5/20-3,6	名	
クレジットカード		17-4	名	＊
くろい	黒い	14-4/16-4	イ	
けいかく	計画	20-6	名	
けいけん	経験	19-7	名	
けいさんき	計算機	19-1	名	＊
けいたいでんわ	携帯電話	13-2/20-1,6	名	＊
ケーキ		13-5/14-8/19-5	名	＊
ゲーム		14-5/17-6/18-2	名	＊
げき	劇	18-2,5,8	名	＊
けす	消す	20-2	動	
げたばこ	下駄箱	13-6	名	＊
けっか	結果	15-8/20-5	名	＊
げつようび	月曜日	14-6	名	
けんか		16-5	名	
げんかん	玄関	13-6	名	
げんき	元気	18-4/19-4	ナ	
けんきゅう	研究	20-6,7	名	
けんこう	健康	17-3	名	＊
げんざい	現在	20-6,7	名	＊
げんじものがたり	源氏物語	16-3	固	＊
こいのぼり		13-5	名	＊
こう		19-3	指	
ごう	～号	20-7	数	＊
こうえん	公園	15-3,4/18-3/20-9	名	
こうこう	高校	13-5,7/15-4/17-5,7/20-5	名	
こうこうせい	高校生	18-5/20-8	名	

ごうしつ	～号室	20-2	数	＊
こうして		19-3		＊
こうばん	交番	13-1/16-4	名	
こうむいん	公務員	17-2	名	
こえ	声	16-5/17-7/18-2/20-2	名	
コート		14-5	名	＊
コード		14-7	名	＊
コーヒー		19-4	名	
コーラス		18-6	名	＊
ゴール		14-5	名	＊
ゴールマン		14-5	名	＊
こくご	国語	18-6	名	＊
こくさいかいぎ	国際会議	20-7	名	＊
ここ		13-6/15-3/16-5	指	
ごご	午後	14-8	名	
ごぜん	午前	16-4	名	
こたえる	答える	17-7/19-7	動	
ごちそう〔する〕		16-5	名	
コック		17-2	名	＊
こっそり		19-3	副	＊
コップ		20-4	名	
ことし	今年	18-7/20-5	名	
ことば	言葉	13-1/16-7/17-4/18-2,7/19-6,7/20-7	名	
こども	子供	15-4/16-2,3/17-5,7/18-3/20-3	名	
こどものひ	子供の日	13-5	名	＊
この		16-5	指	
ごはん	ご飯	13-6/16-5/20-2	名	
ごはんぢゃわん	ご飯茶碗	13-6	名	＊
コピー		15-8	名	＊
こまかい	細かい	15-5	イ	
こまる	困る	16-4	動	
ごみ		18-3/20-8	名	
ごみばこ	ごみ箱	15-1/20-3	名	＊
こむ	混む	20-6,9	動	＊
こめ	米	16-3	名	
こら		16-5	感	＊
これ		16-4	指	
これから		16-2		
ごろ	～頃	16-4,7		
こわい	怖い	16-5/20-7	イ	
こわす	壊す	14-7	動	
こわれる	壊れる	19-4	動	
コンクール		18-6	名	＊
コンサート		18-2,8	名	
こんど	今度	14-6/17-6/18-8/19-5/20-7	名	
こんな		15-1/19-3	指	
コンピュータ		17-4/20-1,4,5,6	名	

さ行

さ	差	20-8	名	＊
サービス		15-8	名	＊
さい	歳	16-4/19-4,7	数	
さいきん	最近	20-6,7,9	名	
さいご	最後	18-7/19-3/20-9	名	
さいしょ	最初	18-7	名	
サイドライン		14-5	名	＊
さいふ	財布	13-1/14-7/16-4	名	
ざいりょう	材料	18-2	名	＊
さがす	捜す／探す	16-5/18-3/20-2,6	動	
さかな	魚	19-7	名	
さかん	盛ん	20-9	ナ	
さき	先	19-3	名	
さく	咲く	16-6/18-1	動	
さくら	桜	16-6/18-1	名	＊
さつ	～冊	15-8	数	
サッカー		18-5/20-6	名	＊
さっき		16-4	副	
さて		20-2	接	＊
さとう	砂糖	19-4	名	
サバイバル		15-2	名	＊
ざぶとん	座布団	13-6	名	＊
さま	～様	13-7		
さむい	寒い	15-6/18-4	イ	
さら	皿	18-2	名	
さる	猿	19-3	名	＊
さわる	触る	13-2	動	
さんぽ〔する〕	散歩〔する〕	15-3	名	
し	市	15-4/19-2/20-9	名	
しあい	試合	18-6/20-6	名	
しあわせ	幸せ	20-8	ナ	＊
シーディー	CD	18-2,5	名	＊
ジェスチャー		19-7	名	＊
ジェットき	ジェット機	20-7	名	＊
しかし		20-2,6	接	
しかる	叱る	17-7	動	
じかん	時間	14-8/15-2	名	
じかんめ	時間目	14-8/19-1	数	＊
しけん	試験	17-3/19-1	名	
しげん	資源	20-6	名	＊
しごと	仕事	16-2/17-2,5,7/18-3/19-4/20-2,6	名	
ししょ	司書	17-5	名	＊
じしょ	辞書	17-4/19-1/20-4	名	
じしん	地震	20-8	名	
しずか	静か	15-3/18-1	ナ	
しぜん	自然	15-4	名	＊
じだいまつり	時代祭	16-6	固	＊

巻末

しちょう	市長	15-4	名	＊
じてんしゃ	自転車	17-3	名	
シドニー・オリンピック		16-2	固	＊
しなのがわ	信濃川	16-1	固	＊
しばい	芝居	16-7	名	＊
じぶん	自分	13-5,6/14-5/15-4/18-7/20-6	名	
しまう		13-6	動	
じゃあ		13-1/14-6/16-4		
しゃかい	社会	18-6/19-7/20-8,9	名	
しやくしょ	市役所	20-9	名	＊
しゃしん	写真	13-2/19-5/20-6	名	
シャツ		20-3	名	
じゃま	邪魔	14-5	ナ	
ジャンプ〔する〕		14-5	名	＊
しゅう	周	18-6	数	
じゅう	～中	16-3,6/20-6,9		＊
しゅうがくりょこう	修学旅行	18-7,8	名	＊
しゅうかん	週間	18-6,7	数	
じゅうしょ	住所	16-4	名	
ジュース		15-1	名	＊
じゅうにし	十二支	19-3	名	＊
しゅうまつ	週末	19-7	名	＊
じゅぎょう	授業	13-1/14-8/20-6	名	
しゅくだい	宿題	14-6	名	
しゅじゅつ	手術	20-7	名	＊
しゅっぱつ〔する〕	出発〔する〕	19-3	名	
しゅと	首都	16-3	名	＊
じゅん	順	19-3	名	＊
じゅんばん	順番	15-7/19-3	名	＊
じゅんび〔する〕	準備〔する〕	15-5/18-8	名	
じゅんびうんどう	準備運動	18-6	名	＊
しょうかい〔する〕	紹介〔する〕	18-8	名	
しょうがくせい	小学生	14-5/17-5,7	名	＊
しょうがっこう	小学校	17-5,7/20-5	名	
しょうぎょう	商業	20-9	名	＊
じょうず	上手	13-7/18-6/19-6,7	ナ	
しょうせつ	小説	16-3	名	
しょうたいじょう	招待状	18-2	名	＊
しょうひん	賞品	18-2	名	＊
しょうぼうしゃ	消防車	20-2	名	＊
しょうらい	将来	17-2,5,7/20-5,6	名	
ジョギング		17-3	名	＊
しょどう	書道	19-6	名	＊
しらせる	知らせる	20-9	動	
しらべる	調べる	15-8/18-2,8/20-2	動	
しる	知る	14-5/15-2/16-7	動	
しろ	白	18-8	名	
しろい	白い	13-5	イ	
シンガポール		15-6	固	＊

じんこう	人口	15-6/16-1/20-9	名	
じんじゃ	神社	16-6/18-8	名	
しんせき	親戚	14-6	名	＊
しんせつ	親切	18-6	ナ	
しんぱい〔する〕	心配〔する〕	13-1,7/16-5/19-6,7	名	
しんぱん	審判	14-5	名	＊
しんぶん	新聞	15-5/18-6/19-2	名	
すいえい	水泳	14-8/18-5	名	
スイッチ		20-7	名	＊
すいようび	水曜日	14-6	名	
すう	吸う（すう）	13-2	動	
すうがく	数学	14-6/19-1	名	
スーパー		15-3,7	名	＊
スカーフ		18-5	名	＊
すき	好き	13-1,7/14-4/15-4/16-5/17-7/18-6/19-7/20-3	ナ	
スキー		15-3/18-7/19-7	名	＊
すきやき	すき焼	19-7	名	＊
すく		14-8/19-4	動	
すぐ		13-6/15-1/16-4/17-5/19-4/20-7,8	副	
すくう		15-5	動	＊
すくない	少ない	14-4/15-6,8/16-1	イ	
すこし	少し	13-7/14-2/20-5	副	
すすむ	進む	20-7,8	動	
すずめ		16-5	名	＊
すすめる	進める	20-6	動	＊
スチュワーデス		17-2	名	＊
ずつ		14-5/20-5	助	
ずっと		17-5	副	
すてる	捨てる	13-2,6	動	
すばらしい	素晴らしい	17-5	イ	
スピーチ		15-4/18-2	名	＊
スポーツ		13-7/14-5/17-3/18-7	名	
スポーツせんしゅ	スポーツ選手	17-2	名	＊
すむ	住む	16-5/19-7	動	
すもう	相撲	13-7	名	＊
スリッパ		13-6	名	
する		13-7/14-1/17-1	動	
すると		16-5	接	
すわる	座る	13-6/20-4	動	
せいかつ〔する〕	生活〔する〕	20-6,8,9	名	
せいき	世紀	16-7	数	＊
せいじ	政治	16-3	名	
せいせき	成績	18-6	名	＊
せいと	生徒	14-4/17-2,5,7/18-6/19-1/20-6	名	
せいふく	制服	14-4	名	＊
セーター		19-4/20-4	名	
せかい	世界	16-3/20-6,8	名	
せき	（咳）	20-3,9	名	＊

せつめい〔する〕	説明〔する〕	13-6/19-7	名	
せなか	背中	19-3	名	
ぜひ	是非	16-6	副	
ぜんいん	全員	18-6/19-1	名	＊
せんしゅ	選手	14-5/17-3,5	名	＊
せんしゅう	先週	14-8/19-2,5	名	
せんせい	先生	13-1/17-7/18-6/20-6	名	
ぜんぜん	全然	19-4,7	副	
せんぱい	先輩	18-6	名	
せんもんがっこう	専門学校	17-5	名	＊
そうじ〔する〕	掃除〔する〕	18-6/20-6	名	
そうぞう〔する〕	想像〔する〕	20-2	動	＊
そうだん〔する〕	相談〔する〕	13-1/18-6	名	
そこ		14-3/16-5	指	
そして		14-4,5/15-4,8/16-2,5 17-2,5,7/18-8/20-6,7,9	接	
そだてる	育てる	17-5	動	
そつぎょう〔する〕	卒業〔する〕	17-5,7/18-8	名	
そと	外	13-6/14-5/20-1,7	名	
その		14-5,8/16-4	指	
そのあと		13-6		＊
そのとき		13-5		
そのほか		17-7		＊
そば		20-9	名	
そぼ	祖母	14-8/19-4	名	
それ		13-5/14-8/16-4	接	
それから		13-5,7/15-4,8/ 17-2/18-6/19-6,7	接	
それぞれ		18-8/20-2	名	＊
それで		14-8/16-5/17-4/19-3,7/20-2	接	
それでは		20-7	接	
それに		17-5		

た行

だい	台	14-5	名	＊
たいいく	体育	14-8/17-5/20-6	名	＊
たいいくかん	体育館	15-4/18-6	名	＊
たいいくさい	体育祭	18-8	名	＊
たいいくだいがく	体育大学	17-5	名	＊
だいがく	大学	17-3,5,7	名	
だいじ	大事	16-5	ナ	
だいじょうぶ	大丈夫	13-7/14-6,7/15-2	ナ	
だいすき	大好き	14-8/17-7/19-6	ナ	
たいせつ	大切	18-6,8/20-6,9	ナ	
たいふう	台風	20-7	名	
たいへん		14-8/16-2/17-5/ 18-6,7/19-7/20-9	ナ	
たいら	平ら	15-5	ナ	＊
タイりょうり	タイ料理	20-3	名	＊
たおれる	倒れる	18-4/20-2	動	
たかい	高い	15-6,7/16-1/17-4/19-4	イ	
たかはしなおこ	高橋尚子	16-2	固	＊
だから		14-8/16-5/17-5/18-7,8	接	
たくさん		14-5,8/15-4	副	
だけ		13-7/19-1/20-6	助	
だす	出す	15-3,5/18-3/19-4/20-1	動	
たすける	助ける	18-3/20-6	動	＊
たたかい	戦い	16-3	名	＊
たたく	叩く	14-5	動	＊
たたみ	畳	13-6	名	
たつ	立つ	14-5	動	
たつ	(辰)	19-3	名	＊
たてもの	建物	16-3,6	名	
たとえば	例えば	13-7/18-8/20-6	副	
たのしい	楽しい	18-4,6,7,8/19-5,6,7	イ	
たのしみ	楽しみ	18-7,8	名	
たのしむ	楽しむ	16-6,7	動	
たのむ	頼む	19-6,7	動	
たばこ		13-2	名	
たべもの	食べ物	13-2,7/15-3/16-5,6/ 18-2,8/19-7	名	
たべる	食べる	13-2,5/14-1,2/15-3/17-1	動	
たまご	卵	17-5	名	
ためる	貯める	18-2	動	＊
だれ		16-5/19-1,5	疑	
たんじょうび	誕生日	13-5/19-5/20-2	名	
だんじょびょうどう	男女平等	20-8	名	＊
だんだん		13-1/20-5	副	
たんにん	担任	18-8	名	＊
ちいさい	小さい	15-5,7/16-1,5/20-5	イ	
チーム		14-5/18-6,8/20-6	名	＊
ちかい	近い	15-8/17-7/19-4	イ	
ちがう	違う	16-7/19-3	動	
ちかく	近く	15-8/18-7	名	
ちかづく	近づく	18-8/20-7	動	＊
ちかづける	近づける	20-7	動	＊
ちかてつ	地下鉄	20-9	名	
ちきゅう	地球	20-6,8	名	＊
チケット		18-2	名	＊
ちち	父	14-8/17-5/19-4	名	
ちゃわん	茶碗	13-6	名	
ちゅう	～中	13-1		
ちゅうい〔する〕	注意〔する〕	16-6	名	
ちゅうがっこう	中学校	20-5	名	
ちゅうかんテスト	中間テスト	18-7,8	名	＊
ちゅうごく	中国	15-6	固	＊
ちゅうごくご	中国語	20-7	名	＊
ちゅうしん	中心	16-3/20-9	名	＊
ちょうさ	調査	20-5	名	＊
ちょうれい	朝礼	14-4	名	＊

ちり	地理	15-6	名	
ついたち	一日	14-4	名	
つうやく	通訳	17-2	名	＊
つかう	使う	13-2,6/14-1,5/17-1/18-7/19-7/20-1,3,4,5,6,9	動	
つかれる	疲れる	18-6	動	
つぎ	次	14-6/16-2,5/18-7,8/19-3/20-9	名	
つく	着く	19-3	動	
つくる	作る	13-5/14-1,5,8/15-4,5/16-3/17-1,5/18-2,6/19-6/20-6	動	
つける	付ける	14-4/20-2,7	動	
つける		19-4/20-2	動	
つごう	都合	14-6	名	
つたわる	伝わる	16-3/19-6	動	＊
つづく	続く	16-7	動	
つづける	続ける	14-5	動	
つとめる	勤める	19-6	動	
つながる		20-6	動	＊
つなひき	綱引き	18-8	名	＊
つまらない		18-4	イ	
つよい	強い	18-4,6/20-6	イ	
つり	釣り	17-6	名	＊
つれていく	連れて行く	19-5,7	動	
て	手	14-5/15-5/20-6	名	
テープ		18-2	名	
テーブル		14-8	名	
でかける	出かける	17-6	動	
てがみ	手紙	13-7/15-3/18-2/19-4,6	名	
できごと	出来事	16-3	名	＊
できる		16-3/20-8	動	
デザイナー		17-2	名	＊
デザイン		14-4	名	＊
ですから		13-7/16-7/18-6	接	＊
テスト		18-7	名	
てつだう	手伝う	17-1,5/19-4	動	
でてくる	出てくる	19-3	動	＊
テニス		17-6	名	
デパート		15-3,4	名	
てぶくろ	手袋	13-4	名	
でも		13-1,6,7/14-8/15-2,8/16-5,7/18-6,8/19-6	接	
てらこや	寺子屋	16-3	名	＊
でる	出る	13-6/14-5/16-2,7/18-7/20-9	動	
テレビ		18-5/20-2	名	
テレビゲーム		20-1	名	＊
テレビ番組	テレビ番組	13-1	名	＊
てん	点	14-5	名	
てん	～点	14-5	数	
でんき	電気	20-6	名	
でんきせいひん	電気製品	19-6	名	＊
てんきよほう	天気予報	15-2/18-2	名	
でんしゃ	電車	17-4/18-5/20-3	名	
テント		18-2	名	＊
でんとうてき	伝統的	16-6	ナ	＊
でんわ	電話〔する〕	15-1,2/19-4/20-2,4,6	名	
でんわばんごう	電話番号	14-7/15-2	名	＊
トイレ		13-6/20-2	名	
どう		14-6/15-3/16-5	疑	
とうきょう	東京	14-4/16-3/19-6	固	＊
どうぐ	道具	18-2,6/20-6	名	
どうして		16-2/17-5,7	疑	
どうぞ		15-1	副	
とうふ	豆腐	16-6	名	＊
どうぶつ	動物	16-3,5/19-3	名	
とうほくちほう	東北地方	20-7	固	＊
とおい	遠い	15-8	イ	
とおる	通る	13-2/20-9	動	
ときどき		19-7/20-9	副	
とくい	得意	18-7	ナ	＊
とくちょう	特徴	16-6	名	＊
とくに	特に	14-4/16-6	副	
とくべつ	特別	20-7	ナ	
とけい	時計	20-4	名	
どこ		16-4/19-1,2	疑	
どこか		16-5		
ところ	所	13-7/16-6	名	
ところが		19-3	接	＊
とし	年	20-6	名	
としうえ	年上	19-7	名	＊
としした	年下	19-7	名	＊
としょかん	図書館	15-3/17-5/19-1	名	
どちら		15-6,8	疑	
とても		13-5/14-8/16-4	副	
とどける	届ける	16-4	動	
となり	隣	16-5	名	
とびおりる	飛び降りる	19-3	動	＊
とまる	泊まる	18-7	動	
とめる	止める	13-2	動	
ともだち	友だち	13-1/18-2/19-5,6/20-2,6	名	
どようび	土曜日	14-6	名	
とら		19-3	名	＊
ドラマ		18-5/20-2	名	＊
とり	鳥	16-5/18-1/19-3	名	
ドリブル〔する〕		14-5	名	＊
とる	撮る	13-2	動	
とる	取る	14-1,5/15-5/16-2/17-1	動	
とる	捕る	16-3	動	
どれ		18-3	疑	
どろどろ		15-5	副	＊

どろぼう	泥棒	15-2/20-2	名	
どんどん		20-6,7	副	
どんな		13-7/14-5/16-2,4,7/17-5/19-1,2	疑	

な行

ナイルがわ	ナイル川	15-6	固	＊
なおす	直す	19-6	動	
なおす	治す	20-7,8	動	＊
なか	中	13-6/14-5/15-1,5	名	
ながい	長い	13-1/15-4,6/16-1/18-7,8	イ	
ながいあいだ	長い間	16-7	名	＊
なかなか		18-6/20-7	副	
ながの	長野	19-7	固	＊
なく	泣く	16-5/18-4/20-2	動	
なくす		13-1/20-8	動	
なげる	投げる	14-5	動	
なつ	夏	15-6/20-7	名	
なっとう	納豆	19-7	名	＊
なつやすみ	夏休み	15-4/18-6,8/19-5	名	
など		15-5/16-7	助	
なにも	何も	16-4		
なまえ	名前	16-4	名	
なら	奈良	16-3/18-8	固	＊
ならう	習う	18-2,5	動	
ならぶ	並ぶ	20-3	動	
ならべる	並べる	13-6/15-7/18-2	動	
なる		13-1/15-2,4/16-2,3/17-1,2,7/18-1	動	
なる	鳴る	20-2	動	
なれる	慣れる	13-1	動	
にぎやか		15-4/18-1,8	ナ	
にげる	逃げる	20-2	動	
にじゅういっせいき	21 世紀	20-8	名	＊
にちようび	日曜日	14-6	名	
にっき	日記	16-4	名	
にほん	日本	13-6,7/15-2/16-1	名	＊
にほんご	日本語	13-7/14-2/17-3/19-1/20-2	名	＊
にほんじん	日本人	19-6,7/20-3,5	名	＊
にほんりょうり	日本料理	13-7/15-3/16-6	名	＊
にゅうがく〔する〕	入学〔する〕	18-8	名	
ニュース		19-2/20-7	名	
にる	似る	14-5/16-4	動	
にわとり	鶏	17-5	名	＊
にん	人	13-7/14-5/17-2	名	
にんき	人気	20-3	名	＊
にんぎょう	人形	19-5	名	
にんげん	人間	20-6,8	名	＊
ぬぐ	脱ぐ	13-6	動	
ネクタイ		14-4	名	
ねこ	猫	15-1/19-3/20-2	名	
ねずみ		19-3	名	＊
ねだん	値段	15-8/17-4	名	
ねむい	眠い	13-1/18-4	イ	
ねむる	眠る	18-4	動	
ねる	寝る	13-1/14-1,8/17-1/20-2	動	
ねんがじょう	年賀状	19-3	名	＊
ねんせい	年生	13-7	名	＊
のうか	農家	17-5	名	＊
のうぎょう	農業	17-5	名	＊
ノート		15-8	名	
のこす	残す	14-8	動	＊
のこる	残る	18-8	動	
のばす	伸ばす	14-4	動	＊
のぼる	登る	13-7	動	
のみもの	飲み物	18-2,8	名	
のむ	飲む	14-1/15-1/17-1/20-4	動	
のり		15-5	名	＊
のりもの	乗り物	20-8	名	
のる	乗る	14-1,8/17-1/19-3/20-3,6	動	

は行

は	歯	20-2	名	
パーセント（%）		20-8	数	＊
パーティー		17-6/19-5/20-2	名	
ハイキング		15-3/17-6	名	＊
ばいてん	売店	14-3	名	＊
はいる	入る	13-1,2,5,6/15-2/16-3,5/17-1,5,7/18-5/19-3,6	動	
パイロット		20-7	名	＊
はがき	葉書	15-5	名	
はく	履く	13-2,6/14-1,4/17-1/20-4	動	
はこ	箱	15-1/16-5	名	
はこぶ	運ぶ	14-5	動	
はさみ		15-5/20-4	名	＊
はし	(箸)	13-6/20-4	名	
はじまる	始まる	16-7/18-8	動	
はじめ	初め	19-7/20-7	名	
はじめて	初めて	13-7/18-7/19-7/20-5	副	
はじめる	始める	14-5/16-2,7/17-5/20-1	動	
ばしょ	場所	14-3/15-1,4/18-2/19-1/20-6	名	
はしる	走る	14-1/17-1/18-6,7/19-2,3/20-3	動	
バス		14-8/17-4	名	
パス〔する〕		14-5	名	＊
はずかしい	恥ずかしい	14-8	イ	
バスケットボール		17-3/18-6,7/20-6	名	＊
パスポート		18-2	名	＊
バス停	バス停	17-6	名	＊
はたらく	働く	17-1,5,7	動	

巻末

バット		18-6	名	＊
はっぴょう〔する〕	発表〔する〕	15-8/18-8/19-6	名	＊
はな	花	15-4/16-6/18-3,5	名	
はなし	話	19-7	名	
はなしあい	話し合い	20-6	名	＊
はなしあう	話し合う	20-9	動	＊
はなす	話す	13-1/14-1/15-4/17-1/18-3/19-7/20-6	動	
はは	母	14-8/17-5	名	
ははのひ	母の日	18-5	名	＊
はやい	早い	13-1/14-8/16-6/17-3/19-3	イ	
はやい	速い	19-3/20-8	イ	
はやる		20-3	動	＊
はらう	払う	14-7	動	
はる	春	16-6/18-1	名	
はる	(貼)る	18-2	動	
はる	張る	18-2	動	＊
はるやすみ	春休み	18-8	名	＊
バレーボール		14-5/18-5,7	名	＊
ハワイ		15-6	固	＊
ばん	番	15-2/19-1,3	数	
パン		14-3	名	
ばんぐみ	番組	20-2	名	
バンコック		15-6	固	＊
ばんごはん	晩ご飯	14-8	名	
ハンバーガー		15-7/20-3	名	＊
ハンバーガーや	ハンバーガー屋	18-5	名	＊
ばんめ	番目	17-2	数	＊
ひ	日	13-7	名	
ひ	火	20-2	名	
ピアノ		14-6	名	
ヒーター		19-4	名	＊
ひがし	東	20-3	名	
ひく	弾く	14-1/17-1	動	
ひく	ひく	20-2	動	
ひくい	低い	16-1	イ	
ひこうき	飛行機	18-2,7	名	
びじゅつ	美術	14-6/18-6/20-6	名	＊
びっくりする		19-5	動	
ひつじ	羊	19-3	名	＊
ビデオ		14-8	名	＊
ビデオカメラ		20-1	名	＊
ひと	人	13-7/16-3,4,7	名	
ひとまわり〔する〕	一回り〔する〕	19-3	名	＊
ビニール		15-5	名	＊
ひま	暇	20-2	ナ	
ひみつ	秘密	20-2	名	＊
びょうき	病気	15-2/16-5/17-4/20-2,7	名	
ひらく	開く	19-5	動	
ひるごはん	昼ご飯	19-4	名	
ひるね	昼寝	15-3	名	＊
ひろい	広い	15-4,6	イ	
ひろう	拾う	16-3/18-3	動	
びわこ	琵琶湖	16-1	固	＊
びん	瓶	13-2	名	＊
ぶ	～部	17-5/18-5,6		＊
プール		15-4/19-5	名	
ふえる	増える	18-1/20-5,7,9	動	
ふく	服	14-4/18-2	名	
ふじさん	富士山	13-7/15-6/16-1/18-5	固	＊
ふじゆう	不自由	18-3	ナ	＊
ふせぐ	防ぐ	20-8	動	＊
ふつう	普通	14-4/20-1	名	
ぶっきょう	仏教	16-3	名	＊
ぶぶん	部分	20-7	名	＊
ふむ	踏む	14-7/18-4/20-2	動	
ふやす	増やす	20-9	動	＊
ふゆ	冬	15-6	名	
ふゆやすみ	冬休み	18-7,8	名	＊
ふるい	古い	16-3,6	イ	
プレゼント〔する〕		14-8/15-1/18-2	名	
プロ		17-5	名	＊
ブローチ		13-5	名	＊
ふろば	風呂場	13-6	名	＊
プロやきゅう	プロ野球	17-5	名	＊
ふん／ぷん	分	14-5	数	
ぶんか	文化	13-7/16-3	名	
ぶんがく	文学	17-5	名	
ぶんがくぶ	文学部	17-5	名	＊
ぶんかさい	文化祭	18-5,8/19-6	名	＊
ぶんぼうぐや	文房具屋	15-8	名	＊
へいわ	平和	20-8	ナ	＊
へえ		19-7	感	＊
へた	下手	20-2	ナ	
べつ	別	14-7	名	
ペット		15-1	名	
へび	蛇	19-3	名	＊
へや	部屋	13-6/19-5,6/20-2	名	
へる	減る	20-5	動	＊
ペン		20-4	名	
べんきょう〔する〕	勉強〔する〕	13-1,7/14-1,6/16-3/17-1,3,5/19-1,5	名	
べんごし	弁護士	17-2	名	＊
へんじ	返事	19-4	名	
べんり	便利	13-5/20-6,7,8	ナ	
ほ／ぽ	～歩	14-5	数	＊
ぼう	棒	20-7	名	＊
ほうこう	方向	20-7	名	＊
ほうこく〔する〕	報告〔する〕	19-2/20-2	名	＊
ほうりゅうじ	法隆寺	16-3	固	＊

ボーイフレンド		17-4	名	＊
ポートボール		14-5	名	＊
ホームステイ		19-7	名	＊
ボール		14-5/18-6,7/19-5	名	＊
ほか	外	13-7/15-5/17-6/18-8/19-3	名	
ぼく	僕	17-5/18-6/19-6	名	
ほけんしつ	保健室	13-1	名	＊
ほし	星	15-1	名	
ほしい	欲しい	16-5	イ	
ほす	干す	15-5	動	＊
ボス		20-2	名	＊
ポスター		15-1/18-2/20-3	名	＊
ホストファミリー		13-1/17-4/18-2/19-7	名	＊
ほっかいどう	北海道	15-1/18-7	固	＊
ホテル		16-6/18-2,7	名	
ほとんど		19-7	副	
ほめる	褒める	19-6	動	
ほん	本	13-1/14-2/15-1,3	名	
ほんとう	本当	16-7	名	
ほんとうに	本当に	16-4	副	
ほんやく〔する〕	翻訳〔する〕	20-7	名	

ま行

まい	～枚	15-8	数	
まいあさ	毎朝	17-3	名	
マイク		20-2	名	＊
まいしゅう	毎週	15-4	名	
まいつき	毎月	14-4/18-6	名	
まいにち	毎日	14-4/15-4/18-6,7,8	名	
まいねん	毎年	18-8/19-3	名	
マウント・クック		15-6	固	＊
まえ	前	14-5/15-4/17-6/20-2,5,7	名	
まくら	枕	17-4	名	＊
まず		14-5/18-7,8/20-7,9	接	
まずい		18-4	イ	
マスク		20-3	名	＊
まずしい	貧しい	20-8	イ	＊
まぜる	混ぜる	15-5	動	＊
また		13-6/14-6/17-6/19-5,6	副	
また		20-6,9	接	
まだ		13-7/17-2/19-4,7/20-6	副	
まち	町	15-3,4,7/16-6/17-5/18-7/19-6/20-6,8	名	
まちがえる	間違える	14-7	動	
まつり	祭	16-6	名	＊
まどガラス	窓ガラス	14-7	名	＊
まとめる		20-9	動	＊
マフラー		13-5	名	＊
マラソン		16-2/18-7	名	＊
マラソンたいかい	マラソン大会	18-7,8/19-2	名	＊
まんが	漫画	20-3	名	
まんなか	真ん中	14-5	名	
みがく	磨く	20-2	動	
ミキサー		15-5	名	＊
みじかい	短い	14-4/16-1	イ	
みず	水	15-5/18-2	名	
みずうみ	湖	16-1	名	
みずぎ	水着	14-8	名	＊
みせ	店	15-8/16-6/18-2/20-3	名	
みせる	見せる	16-4,5/19-5	動	
みち	道	13-2/16-4/20-6,9	名	
みつかる	見つかる	16-4	動	
みつける	見つける	15-1	動	
みなさん		20-9	名	
みらい	未来	20-6,8,9	名	＊
みる	見る	13-1,7/14-6,8	動	
みんな		13-5,6/17-7	名	
むかし	昔	16-5,7/19-3	名	
むし	虫	18-1	名	
むずかしい	難しい	13-6/17-5	イ	
むらさきしきぶ	紫式部	16-3	固	＊
めいじじだい	明治時代	16-3	名	＊
めいれい〔する〕	命令〔する〕	20-2,6	名	＊
メートル		18-8	数	
めがね	眼鏡	20-4	名	
めずらしい	珍しい	16-5	イ	
メニュー		18-2	名	＊
めんせき	面積	16-1	名	＊
もう		19-4	副	
もくようび	木曜日	14-6	名	
もしも		15-2	副	＊
モスクワ		15-6	固	＊
もつ	持つ	13-6/14-1,4,5/17-1/20-4,6	動	
もっていく	持って行く	13-5/17-4	動	
もってかえる	持って帰る	16-5	動	
もってくる	持って来る	14-7/16-4/19-1,6	動	
もっと		15-4/16-5/19-7/20-5,7	副	
もと	元	15-1	名	＊
もどす	戻す	15-1	動	＊
もの	物	13-7/15-5,8/17-4,5/19-1	名	
ものがたり	物語	16-5	名	＊
モノレール		20-9	名	＊
もらう		13-3,4,5/14-5/16-4,5	動	
もり	森	16-5	名	
もんだい	問題	20-6,8,9	名	

や行

や	～屋	15-7,8/20-3		
やきゅう	野球	17-5/18-6,7	名	＊
やく	焼く	13-5	動	

やく	役	16-7/18-2	名	＊
やくそく	約束	17-6	名	
やさい	野菜	17-5	名	
やさしい	優しい	16-5/18-6	イ	
やすい	安い	15-3,7	イ	
やすみ	休み	15-4/18-8/19-4/20-9	名	
やつ		16-5	名	＊
やま	山	15-3/16-1/18-7	名	
やる		14-5/19-6/20-2	動	
ゆうがた	夕方	18-6	名	
ゆうびんきょく	郵便局	15-3	名	
ゆうめい	有名	16-6	ナ	
ユーモア		17-7	名	＊
ゆたか	豊か	15-4/20-8	ナ	＊
ゆだん〔する〕	油断〔する〕	19-3	名	＊
ゆっくり		18-7	副	
ゆめ	夢	17-7	名	
よういしする〕	用意〔する〕	18-2	名	
ようふく	洋服	15-3/18-5	名	
ヨーロッパ		16-3	固	＊
よく		14-5/17-5	副	
よごす	汚す	14-7/20-6	動	＊
よごれる	汚れる	20-6	動	
よてい	予定	14-6/18-7,8	名	
よていひょう	予定表	14-6/18-7	名	＊
よぶ	呼ぶ	19-3/20-2	動	
よむ	読む	14-1,2/15-1,3/17-1/20-4	動	
よやく〔する〕	予約〔する〕	16-6/18-2	名	
よる	夜	14-8/17-5/19-4	名	
よろこぶ	喜ぶ	13-5/16-4/17-7/19-3	動	

ら行

らいげつ	来月	13-7	名	
らいしゅう	来週	19-1	名	
らいねん	来年	18-8/19-3	名	
ラジカセ		19-4	名	
りか	理科	14-6	名	＊
リサイクル		15-5/18-3/20-3	名	＊
リマ		15-6	固	＊
りゆう	理由	19-3/20-3	名	
りゅうがくする〕	留学〔する〕	18-7	名	＊
りゅがくせい	留学生	18-2	名	
りよう〔する〕	利用〔する〕	20-6	名	
りょうしん	両親	13-5,7/17-5	名	
りょうて	両手	13-6/14-5	名	＊
りょうほう	両方	14-5/19-6	名	
りょうり	料理	13-1/14-2,8/16-6/18-2/19-4,6,7/20-2,3,6	名	
りょかん	旅館	18-7	名	
りょこう	旅行	18-2,7	名	
リレー		18-8	名	＊
ルール		14-5	名	＊
れい	例	20-2	名	＊
レーダー		20-7	名	＊
れきし	歴史	16-3/19-7	名	
レストラン		15-3	名	
れんしゅう〔する〕	練習〔する〕	13-6/14-6/16-2,7/17-3/18-2,6	名	
ろうそく		20-2	名	＊
ロケット		20-6	名	＊
ロサンジェルス		15-6	固	＊
ロシアりょうり	ロシア料理	20-3	名	＊
ロボット		20-6	名	＊
ロンドン		15-6	固	＊

わ行

わあ		18-7	感	＊
わかい	若い	16-4/17-7/20-8	イ	
わかす	沸かす	18-2	動	
わかたこういち	若田光一	16-2	固	＊
わかる	分かる	13-1,7/16-4,7/17-4/18-7/19-7/20-4,7	動	
わかれる	分かれる	18-8	動	＊
わざと		19-3	副	＊
わすれる	忘れる	14-7,8/19-3	動	
わたる	渡る	13-2	動	
わらう	笑う	20-2	動	
わる	割る	14-7	動	＊
わるい	悪い	14-6/17-7/20-7,8,9	イ	

(2) 表現索引

	(練習番号)	
ああ、よかった	16-4	
あ、ちょっと	16-4	
あと（時間）	20-7	
ありがとう	19-5	○
ありがとうございました	16-4,19-5	○
ありがとうございます	16-5,17-5	○
お忙しいところありがとうございました	20-7	
おなかがすく	14-8,18-5	
おめでとう	14-5	○
お礼に	16-5	
帰っていく	16-4	
帰ってくる	16-5,19-7	
がんばってください	17-5,20-7	
がんばれ	14-5	
気がつく	19-3	
興味がある	16-2	
気をつけて	16-4	
気をつける	14-7	
声を出す	18-2	
ごめんなさい	14-6,14-7,20-7	○
これらの～	20-9	
残念だったね	14-5	
残念ですが	16-7	
失礼しました	20-7	○
じゃまをする	14-5	
少しずつ	18-7,19-7	
すみません	17-6,20-4,20-7,20-8	○
そう思う	17-7	
そうします	13-1	
それでは、さようなら	18-8	○
～対～	14-5	
たいへんですね	13-1	
～だけでなく～も	20-6,20-7	
楽しみにする	13-7,18-8	
都合が悪い	14-6	
できあがり	15-5	
出てくる	16-5,19-3	
では、さようなら	13-7	○
点をとる	14-5	
どういたしまして	16-7	○
どうしたんでしょう	16-5	
どうしたんですか	13-1	

	(練習番号)	
どうぞ	20-4,20-8	
どうぞよろしくお願いします	13-7	○
どうですか	14-6	
どうもありがとう	19-3,19-5,20-4	○
どうもありがとうございました	14-2,16-7,19-6	○
～にいい	16-6	
～について	15-8,16-7,17-4,18-6,18-8,19-7,20-8,20-9	
～にとって	20-6	
～によると	20-5	
人気がある	16-7,17-2	
ネクタイをする	14-4	
～年に～度	19-3	
～の方	19-3	
入ってくる	16-3	
はじめまして	13-7,18-8,20-9	○
～はちょっと	14-6	
(数）分の（数）	20-5	
またいつか行きましょう	17-6	
また今度	17-6	
皆さん	13-7,15-4,16-6,18-8	
もう一度	13-6	
もうすぐ	18-7	
もう一つ	18-8	
（名前）より	13-7,19-5	
よろしくお願いします	15-4	○
両方とも	19-6	

○＝『日本語能力試験出題基準』3級
「あいさつ語等表現」内のもの

巻末

8.「せつめい編 2」との対応表

項目番号	項目名	「れんしゅう編 2」の練習番号							ページ
文 -45	んです	13-1	16-4	16-7					154
文 -46	V たほうがいいです	13-1	13-6						156
文 -47	V てはいけません	13-2	13-6	14-5					158
文 -48	V てみます	13-1	13-6	13-7					160
文 -49	V かた	13-6	13-7	16-3	16-7				162
文 -50	あげます	13-3	13-5	16-5					164
文 -51	もらいます	13-3	13-4	13-5	16-5				166
文 -52	V（られ）ます（可能）	14-2	14-3	14-5	14-8	15-3			168
文 -53	V なければなりません	14-4	14-5	14-6	18-6				170
文 -54	V なくてもいいです	14-4							172
文 -55	V てしまいます	14-7	14-8	16-4					174
文 -56	A ／ AN ／ V すぎます	14-8							176
文 -57	たら	15-1	15-2	15-3	15-4	15-5			182
文 -58	ても	15-3							186
文 -59	A く／ AN に／ N にします	15-4	15-5						188
文 -60	V ようにします	15-4							190
文 -61	より…ほう	15-6	15-7	15-8					192
文 -62	N と N とどちら	15-6	15-8						194
文 -63	N は N より	16-1	16-7						198
文 -64	かどうか／疑問詞…か	16-2	16-4	17-2					200
文 -65	N という N	16-3	16-5	16-6	16-7				202
文 -66	疑問詞 + でも…肯定	16-6							204
文 -67	V（よ）うとおもいます	17-2	17-3	17-4	17-5	17-6	17-7		212
文 -68	かもしれません	17-4							214
文 -69	の（名詞化）	17-5	17-7						216
文 -70	ために	17-3	17-5	17-7					218
文 -71	そうです（様態）	18-4	18-6	18-7					222
文 -72	V ておきます	18-2	18-7						224
文 -73	V こと／ N になります	18-3	18-7	18-8					226
文 -74	V こと／ N にします	18-3	18-5	18-6	18-7				228
文 -75	V（ら）れます（受身）	19-3	19-6	19-7	20-6				232

項目番号	項目名	「れんしゅう編2」の練習番号							ページ
文-76	Vてもらいます	19-6	19-7						234
文-77	Vてくれます	19-5	19-6	19-7					236
文-78	そうです（伝聞）	19-1	19-2	19-3					238
文-79	Vようになります	20-1	20-6	20-7	20-8	20-9			244
文-80	みたいです／ようです	20-2	20-3	20-6	20-7	20-9			246
文-81	Vてきます／Vていきます	20-5	20-7						250
文-82	Vやすいです	20-4	20-6	20-7	20-9				252
文-83	Vにくいです	20-4	20-6						254
活-06	可能形	14-1	14-2	14-3					178
活-07	意向形	17-1	17-2	17-3	17-4	17-5	17-6	17-7	220
活-08	受身形	19-3	19-6	19-7	20-6				240
助-28	までに	14-5	14-6						180
助-29	ので	16-5	16-6						206
助-30	と（引用）	16-4	16-5	19-6					208
助-31	と（条件）	18-1	18-6	18-8					230
助-32	のに	19-4	19-7						242
語-09	こそあど	16-5							210

先生へ

◇ 青字で示した練習はその項目に焦点を当てた練習。

（青字の練習の「せつめい編」項目には、「れんしゅう編」で★がついている。）

巻末

9. 参考文献

市川尚監修（2000）『学校のインターネット 2　遊んで学べるホームページ図鑑』芸文社

伊藤光晴他（2000）『社会　5 上』教育出版株式会社　15-5

岩波書店編集部編（2000）『これからどうなる 21 －予測・主張・夢』岩波書店　20-6

宇土正彦編著（1998）『新版体育の学習 4 年』光文書院　14-5

大濱徹也他（1997）『中学生の社会科　歴史』日本文教出版　16-3

国際交流基金日本語国際センター（1995）『写真パネルバンク Ⅰ. 衣食住と道具シリーズ』日本出版貿易　13-6

――――（1997）『写真パネルバンク Ⅱ. 社会生活シリーズ』日本出版貿易　14-3, 16-4, 18-6

――――（1998）『写真パネルバンク Ⅲ. 自然と余暇シリーズ』日本出版貿易　16-5, 16-6, 16-7

――――（1996）『写真パネルバンク Ⅳ. 行事シリーズ』日本出版貿易　16-6

――――（1998）『写真パネルバンク Ⅴ. 日常生活シリーズ』日本出版貿易

国立天文台（1998）『理科年表（1998 年版）』丸善　15-6

実野恒久（1996）『ペットボトルで動くオリジナルのおもちゃをつくろう』黎明書房　15-5

（株）食品流通情報センター（2000）『若者ライフスタイル資料集 2000』株式会社食品流通情報センター　20-8

総務庁青少年対策本部編（1997）『日本の青少年の生活と意識』大蔵省印刷局　17-2

総務庁統計局編（2000）『世界の統計』大蔵省印刷局　15-6

総務庁統計局（2001）『日本統計年鑑（平成 13 年）』大蔵省印刷局　15-6

竹井史郎（1992）『やさしいこうさく 2　ぎゅうにゅうパックのこうさく』小峰書店　15-5

文化外国語専門学校編（1994）『文化中級日本語 Ⅰ』凡人社

――――（1997）『文化中級日本語 Ⅱ』凡人社

文献のあとについている番号は関連する練習番号。

番号のないものは「れんしゅう編」作成上参考にした教材。

監修者　佐久間勝彦　　聖心女子大学教授
執筆者　坪山由美子　　国際交流基金日本語国際センター専任講師
　　古川嘉子　　国際交流基金日本語国際センター専任講師
　　向井園子　　国際交流基金日本語国際センター専任講師
　　小松知子　　国際交流基金派遣専門家
イラスト制作者　四釜陽子
作曲者　明石隼汰

協力者　内田紀子　　大泉貴広　　金子雄大　　菊池民子
　　榛葉久美　　隈井正三　　髙崎三千代　　滝野有紀子
　　新山恒志　　畠山理恵　　平賀牧恵　　福谷正子
　　藤沢好恵　　峯布由紀　　矢崎満夫　　矢部まゆみ
（五十音順）

改訂版制作協力者　伊藤宏美　島田徳子

教科書を作ろう（改訂版）　れんしゅう編2
2002年3月20日発行

続 教科書を作ろう　れんしゅう編
2001年5月30日発行

企画・編集・発行：国際交流基金日本語国際センター
〒336-0002　埼玉県さいたま市北浦和5丁目6番36号
電話　048-834-1183
FAX　048-831-7846
印刷　　：アサヒ印刷株式会社

©2002 The Japan Foundation　　Printed in Japan
ISBN 4-87540-049-7